岩手県総合計画審議会

令和８年度第１回県民の幸福感に関する分析部会

日時：令和８年５月 11 日（月）14：00～16：00

場所：エスポワールいわて　特別ホール

次　　第

１　開　会

２　挨　拶

３　議　題

（１）　部会長及び副部会長の選出について

（２）　県民の幸福感に関する分析部会について（審議内容と分析方針等）

（３）　県民意識調査等の結果概要について

（４）　分野別実感の分析について

（５）　その他

４　閉　会

配付資料一覧

○資料１　　県民の幸福感に関する分析部会について・・・・・・・・・・・・・・・３
○資料２　　県民の幸福感に関する分析方針（案）・・・・・・・・・・・・・・・・５
○資料３　　令和８年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）・・・・・・・・９
○資料４　　令和８年県の施策に関する県民意識調査（補足調査）結果（概要）・・21
○資料５　　【県民意識調査】属性別平均値と基準年・計画開始年値との有意差・・29
○資料６　　【県民意識調査】分野別実感の属性差・・・・・・・・・・・・・・・・47
○資料７　　【補足調査】分野別実感の回答取りまとめ結果・・・・・・・・・・・・73
○資料８　　分野別実感の変動等要因推定(基準年比較)（上昇・低下・高値・低値）99
・資料８－１　【補足調査】分野別実感の変動（上昇・横ばい・低下）・・・・・・105
・資料８－２　【補足調査】有意差が見られた属性の回答（基準年比較）・・・・・143
・資料８－３　【補足調査】要因の具体的な内容（基準年比較）・・・・・・・・・185
・資料８－４　【補足調査】一貫して高値・低値の回答・・・・・・・・・・・・・241
○資料９　　分野別実感の変動要因推定(計画開始年比較)（上昇・低下）・・・・・313
・資料９－１　【補足調査】分野別実感の変化（上昇・横ばい・低下）・・・・・・317
・資料９－２　【補足調査】有意差が見られた属性の回答（計画開始年比較）・・・355
・資料９－３　【補足調査】要因の具体的な内容（計画開始年比較）・・・・・・・435
○資料 10　　【県民意識調査】広域振興圏別分野別実感の推移及び【補足調査】回答取りまとめ結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・475
○資料 11　　【県民意識調査】「子育て」分野の属性別実感の推移・・・・・・・・483

○参考資料１　県民の幸福感に関する分析部会運営要領・・・・・・・・・・・・487
○参考資料２　県の施策に関する県民意識調査　調査票・・・・・・・・・・・・489
○参考資料３　県の施策に関する県民意識調査　調査結果・・・・・・・・・・・515
○参考資料４　県の施策に関する県民意識調査（補足調査）調査票・・・・・・・523
○参考資料５　県の施策に関する県民意識調査（補足調査）調査結果・・・・・547

県民の幸福感に関する分析部会について

１　部会の役割

県民の幸福に着目して策定した**「いわて県民計画（2019～2028）」を着実に推進**していくため、**県民の主観的な幸福感の変動要因を把握し政策立案に反映していく必要**があることから、**県民意識調査等で把握した県民の主観的な幸福感を専門的かつ県民目線で分析**するとともに、定期的に総合計画審議会に審議状況を報告する。

２　部会委員等部会の構成

別紙の名簿のとおり

３　審議内容案

県民意識調査や別途実施する補足調査結果を踏まえ、県民意識の変動要因の分析（結果の解釈等）結果等を取りまとめた**年次レポート**を**作成・公表**し、**総合計画審議会に報告**する。

４　今年度の審議日程及び主な審議内容

月日	審議内容等
第１回部会開催 **５月 11 日（月）**	・部会長等の選出 ・分析方針の決定 ・県民意識調査等の結果概要 ・分野別実感の変動要因検討
第２回部会開催 **５月 18 日（月）**	・分野別実感の変動要因検討
第３回部会開催 **６月１日（月）**	・分野別実感の変動要因検討 ・追加分析
第４回部会開催 **６月 15 日（月）**	・分野別実感の変動要因検討 ・追加分析
第５回部会開催 **８月３日（月）**	・「幸福について考えるワークショップ」における意見等 ・年次レポート素案
第６回部会開催 **９月９日（水）**	・年次レポート案 ・次年度分析方針、補足調査内容等
総合計画審議会 11 月頃	・年次レポートの報告

※　８月から実施する政策評価については、年次レポート素案により実施

別紙

県民の幸福感に関する分析部会委員等

【委員】　　（五十音順・敬称略）

氏　名	現所属	備考
蛎﨑　奈津子	岩手医科大学看護学部 教授	総合計画審議会委員
竹村　祥子	浦和大学社会学部 教授	
谷藤　邦基	岩手県立大学地域政策研究センター 客員教授	
Ｔｅｅ　Ｋｉａｎ　Ｈｅｎｇ	岩手県立大学総合政策学部 教授	
吉野　英岐	岩手県立大学 特命教授	
和川　　央	岩手県立大学宮古短期大学部 准教授	
渡部　あさみ	岩手大学人文社会科学部 教授	

令和８年度県民の幸福感に関する分析方針（案）

Ⅰ　分析目的

政策推進プランの進捗状況を把握するために行う政策評価に、県民意識調査の結果を通じて県民の幸福実感を反映し、政策等の検討材料とすることを目的として実施する。

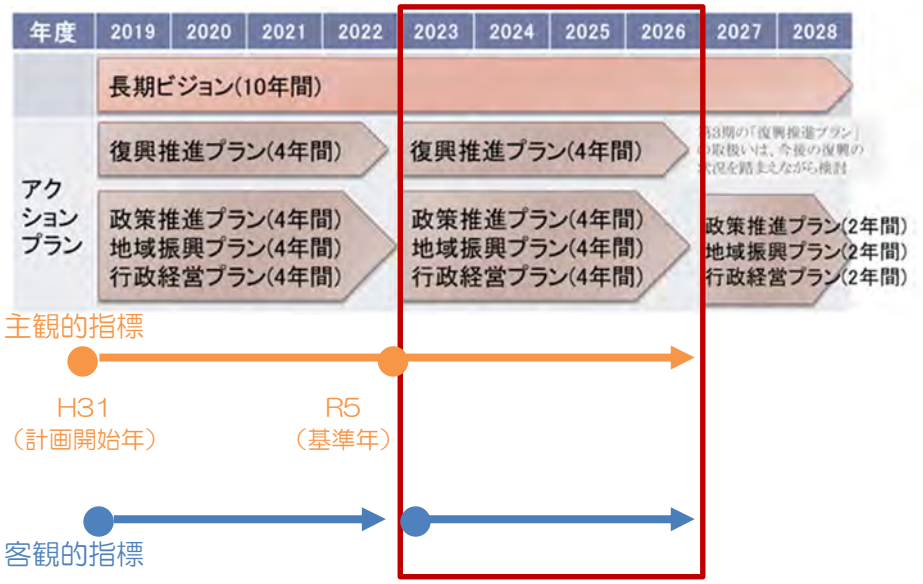
Ⅱ　基本的考え方

本部会における分析とは、県民意識調査により得られた分野別実感について、その変動した要因等を分析することを指し、県は、この分析によって得られた結果を政策評価の仕組みに基づくマネジメントサイクルに活用する。

詳細分析の対象は、政策推進プランの推進において設定された 10 の政策分野に係る分野別実感のうち、実感が低下した分野を優先的に分析することを基本とする。

なお、令和５年度から第２期政策推進プランが開始されたことに伴い、第２期政策推進プランの開始直前の県民意識調査の調査年である令和５年を基準年とした変動要因について分析を行うとともに、長期的な視点でも変動を把握するため、計画開始年である平成 31 年との比較も行う。

いわて県民計画（2019～2028）の計画期間及び構成のイメージ



Ⅲ　分析手順

○　主観的幸福感、分野別実感の概況の把握（令和８年県民意識調査結果の属性分析）

県民意識の属性別での特徴を把握するため、令和８年県民意識調査結果を対象に、主観的幸福感と分野別実感の属性差の有無を分析。

○　分野別実感の変動要因の推測（基準年（令和５年）との２時点比較）

・　県民意識の変化の状況を把握するため、基準年と令和８年の県民意識調査の結果から、２時点間で有意に変化した分野別実感や属性の有無を分析。

・　２時点間で実感が上昇・低下した分野について、補足調査において当該分野別実感が上昇・低下した人の回答項目等から、その要因を推測。

○　分野別実感が一貫して高値又は低値で推移している属性の把握とその要因の推測

平成 28 年から今年までの県民意識調査の結果から、分野別実感の平均値が一貫して高値（４点以上）又は低値（３点未満）で推移している属性について、令和８年補足調査において当該属性に該当し、高値にあっては「感じる・やや感じる」、低値にあっては、「感じない・あまり感じない」と回答した人の回答項目等から、その要因を推測。

○　分野別実感の変動要因の推測（計画開始年（平成 31 年）との２時点比較）

・　県民意識の変化の長期的な変動要因を推測するため、計画開始年と令和８年の県民意識調査の結果から、２時点間で有意に変化した分野別実感や属性の有無を把握。

・　２時点間で実感が上昇・低下した分野について、補足調査において当該分野別実感が上昇・低下した人の回答項目等から、その要因を推測。

○　追加分析として、近年の社会情勢の変化が各分野へ与える影響等について分析（詳細内容は部会内で検討）。

○　以上の結果を、年次レポートにまとめる。

※）令和４年に補足調査に追加した「心身の健康」の実感に係る理由の解析については、以下の手順とする。

a）　「心身の健康」の実感変動で選別

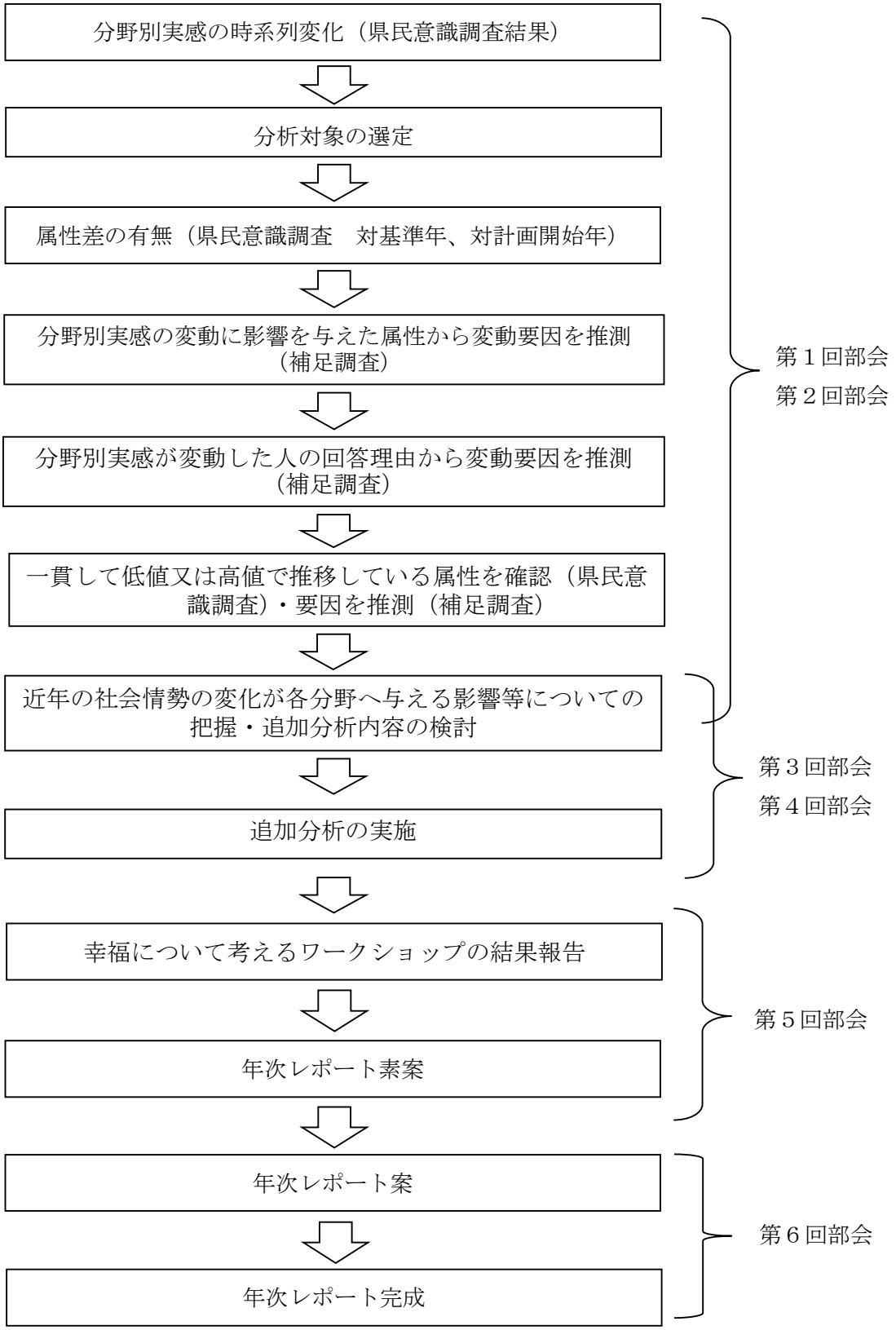
b）　「からだの健康」と「こころの健康」の実感を踏まえ、以下の通り分類（以下、「からだの健康」で例示）

・　実感が上昇した人：「心身の健康」の実感上昇＋「からだの健康」の実感（「感じる」及び「やや感じる」と回答）

・　実感が横ばいの人：「心身の健康」の実感横ばい＋「からだの健康」の実感（「どちらでもない」と回答）

・　実感が低下した人：「心身の健康」の実感低下＋「からだの健康」の実感（「あまり感じない」及び「感じない」と回答）

【分析フロー】


分野別実感の時系列変化（県民意識調査結果）
分析対象の選定
属性差の有無（県民意識調査　対基準年、対計画開始年）
分野別実感の変動に影響を与えた属性から変動要因を推測（補足調査）
分野別実感が変動した人の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
一貫して低値又は高値で推移している属性を確認（県民意識調査）・要因を推測（補足調査）
近年の社会情勢の変化が各分野へ与える影響等についての把握・追加分析内容の検討
追加分析の実施
幸福について考えるワークショップの結果報告
年次レポート素案
年次レポート案
年次レポート完成
第１回部会
第２回部会
第３回部会
第４回部会
第５回部会
第６回部会

令和8年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）

令和8年度「県民の幸福感に関する分析部会」用

１ 調査の目的

「いわて県民計画(2019～2028)」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか、また、どの程度幸福度を感じているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

２ 調査の概要

(1) 調査対象　　県内に居住する18歳以上の個人
(2) 調査対象者数　5,000人
(3) 抽出方法　　選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
(4) 調査方法　　設問票によるアンケート調査（郵送法）
(5) 調査時期　　令和８年１～２月（毎年調査）
(6) 調査項目　　幸福度について他
(7) 回収者数　　3,318人
(8) 有効回収率　66.4%（3,318人/5,000人）
(9) 回答者の属性

【男女別】	回答者数	割合
男性	1,593	(48.0)
女性	1,712	(51.6)
その他	4	(0.1)
不明	9	(0.3)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	992	(29.9)
県南広域振興圏	1,000	(30.1)
沿岸広域振興圏	767	(23.1)
県北広域振興圏	559	(16.8)

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	37	(1.1)
20～29歳	172	(5.2)
30～39歳	252	(7.6)
40～49歳	421	(12.7)
50～59歳	546	(16.5)
60～69歳	686	(20.7)
70歳以上	1,204	(36.3)
不明	0	(0.0)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	261	(7.9)
家族従業者	71	(2.1)
会社役員・団体役員	179	(5.4)
常用雇用者	946	(28.5)
臨時雇用者	406	(12.2)
学生	55	(1.7)
専業主婦(主夫)	281	(8.5)
無職	767	(23.1)
その他	97	(2.9)
不明	255	(7.7)

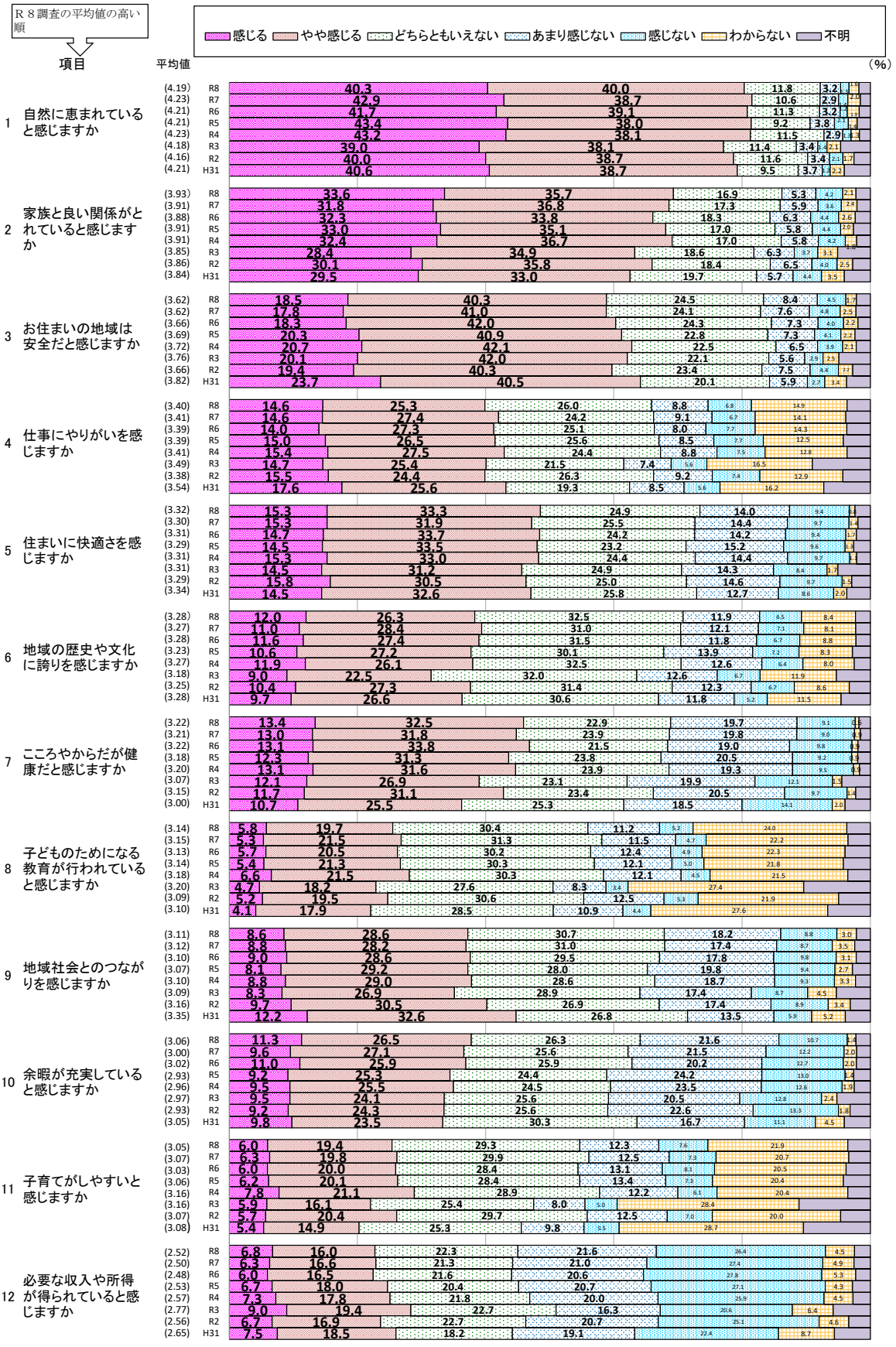
（　　）内は%

（注） 小数点第1位未満四捨五入の関係から、内訳の計が100%にならない場合があります。

問3　県では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。
希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

問3－1　現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

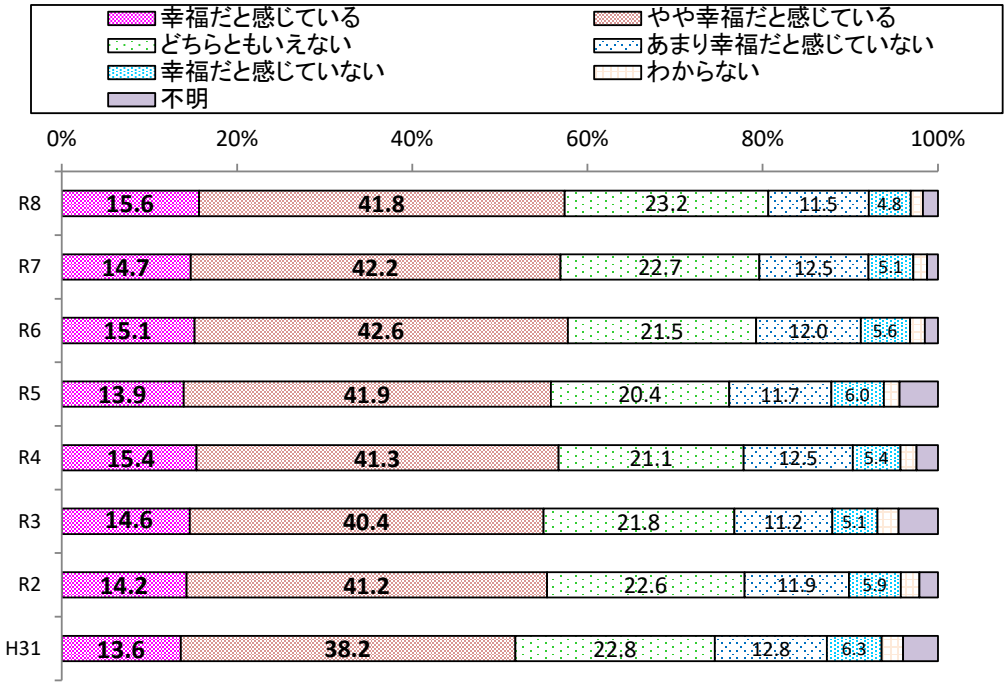
H31調査からR8調査までの分野別実感12項目の回答割合は下表のとおり。（単純集計結果）



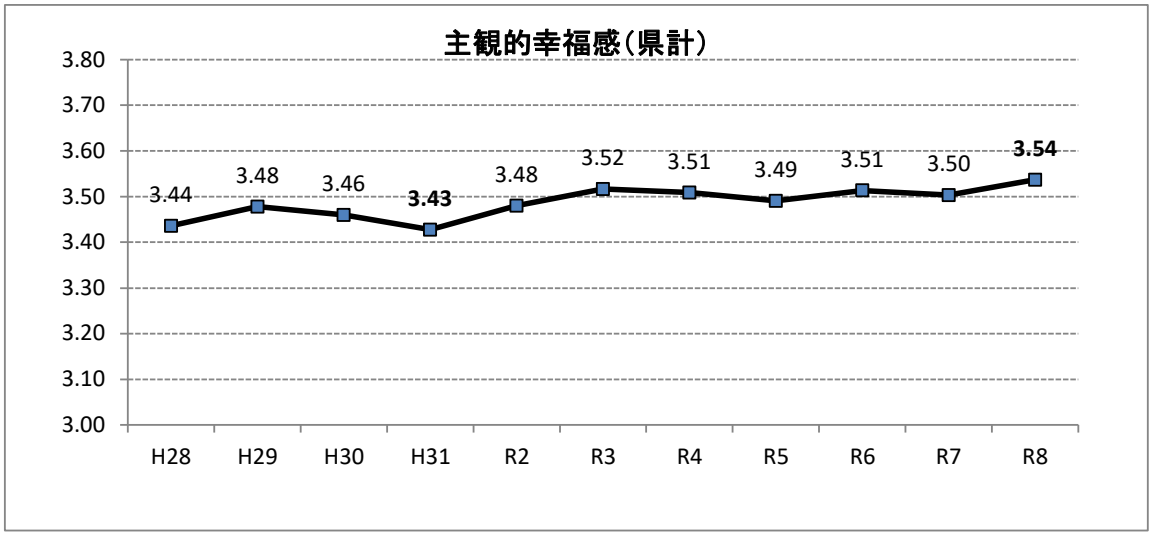
「平均点の算出方法について」
「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化したもの。

問３－２　あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

○ H31調査からR8調査までの回答割合は下表のとおり。（単純集計結果）



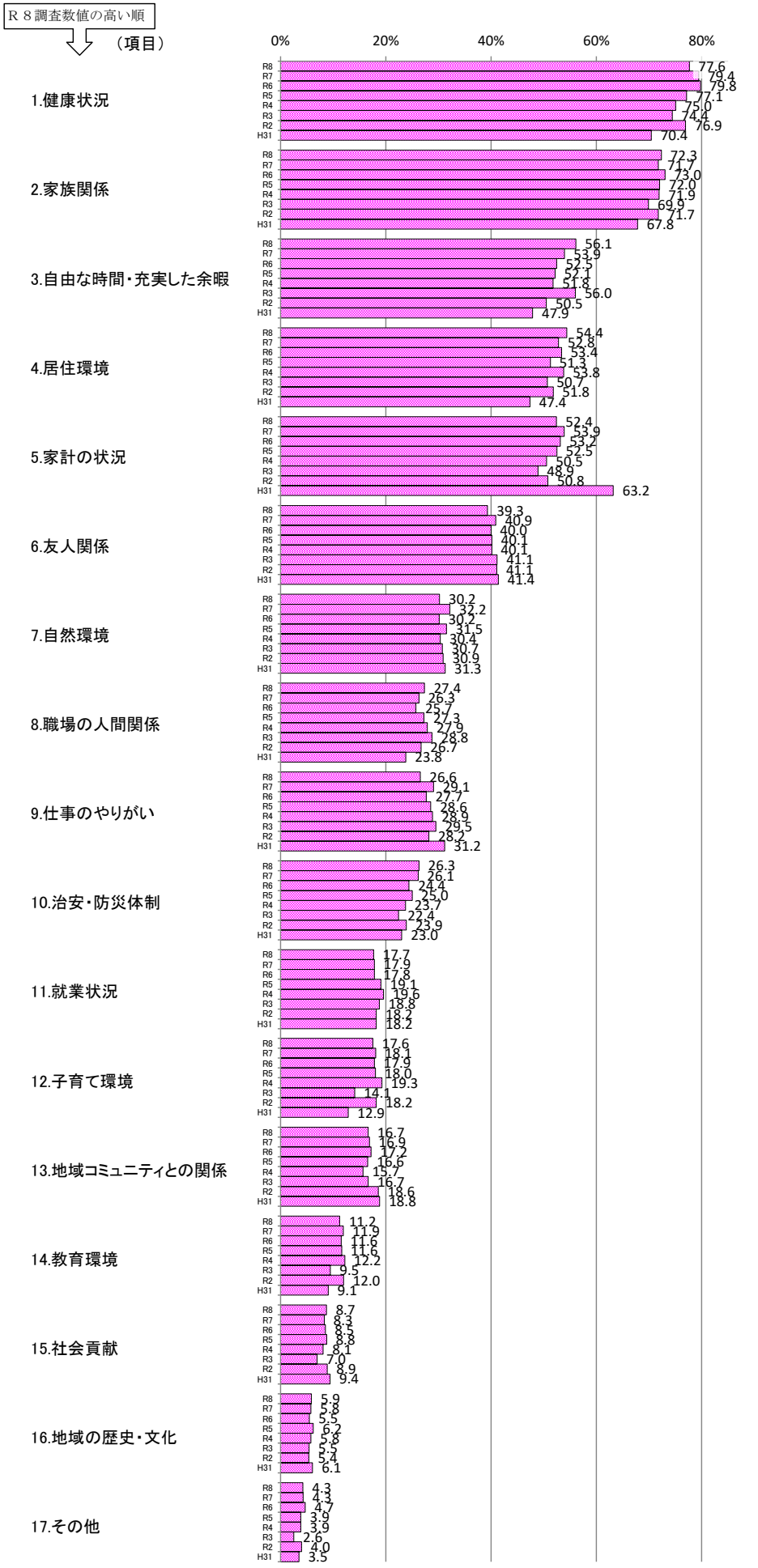
【参考】県計平均値



問3－3　あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

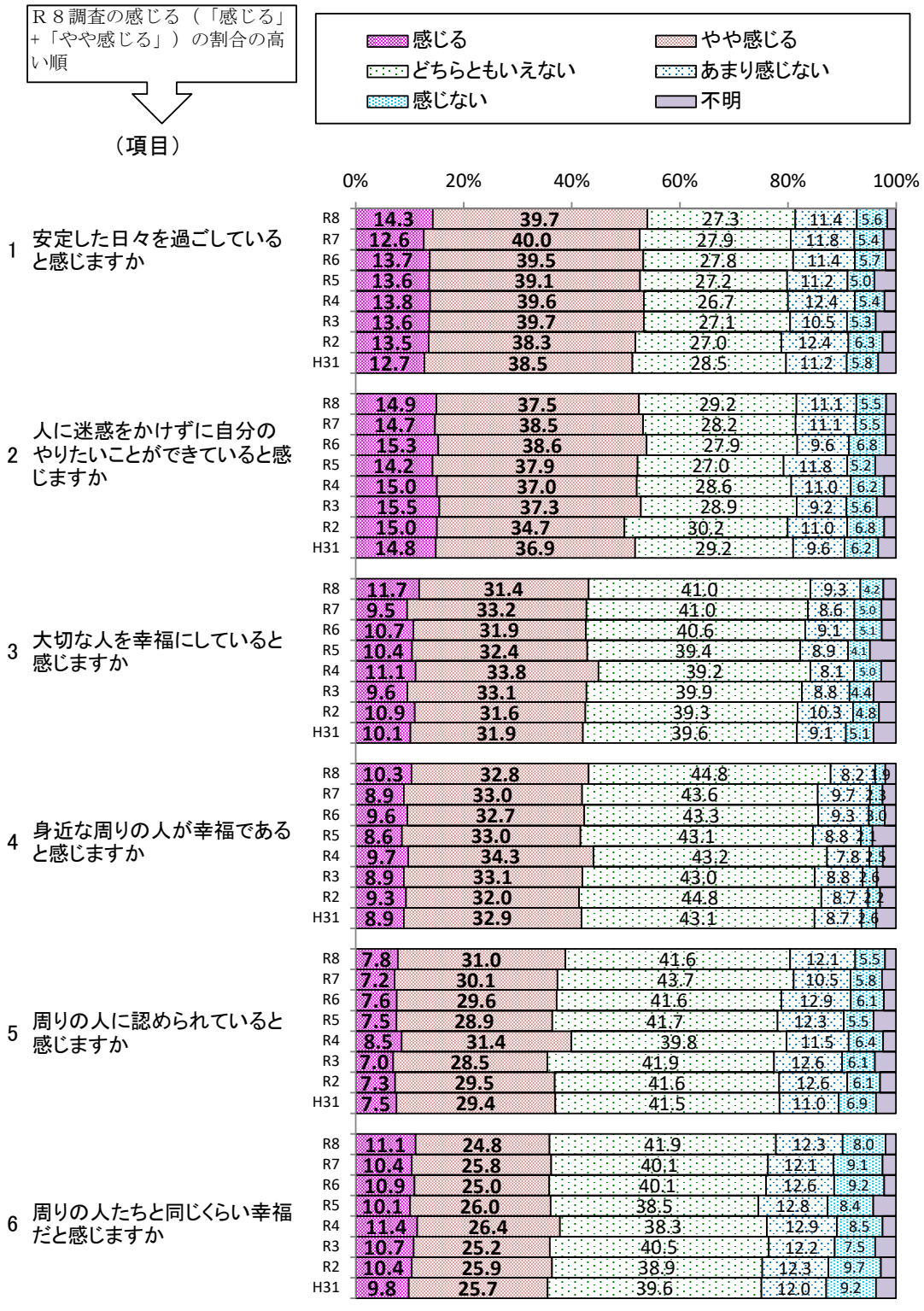
○ H31調査からR8調査において、健康状況、家族関係が上位1、2位となっている。

（単純集計結果）



問３－４　身近な周りの人の幸福等について、あなたの実感をおたずねします。

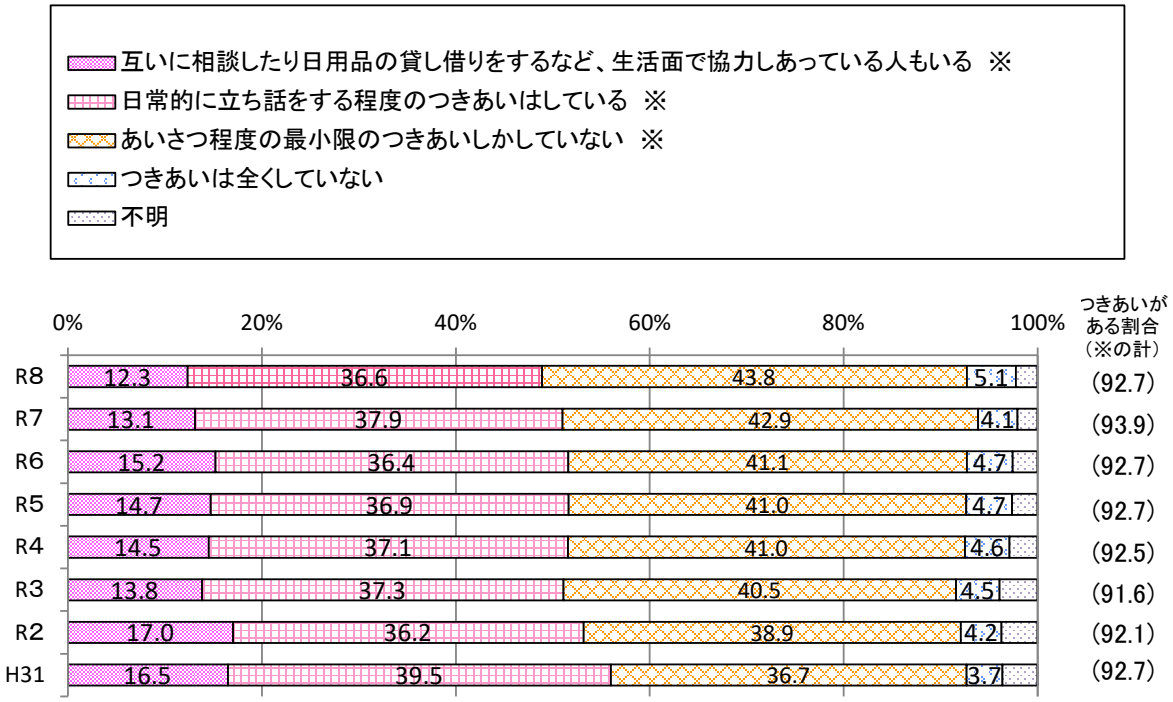
○ H31調査からR8調査までの回答割合は下表のとおり。（単純集計結果）



問4　県では、幸福に関連する項目として、「つきあい・交流」、「信頼」、「社会参加」といった「つながり」に注目しており、ここからはあなたの「つながり」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

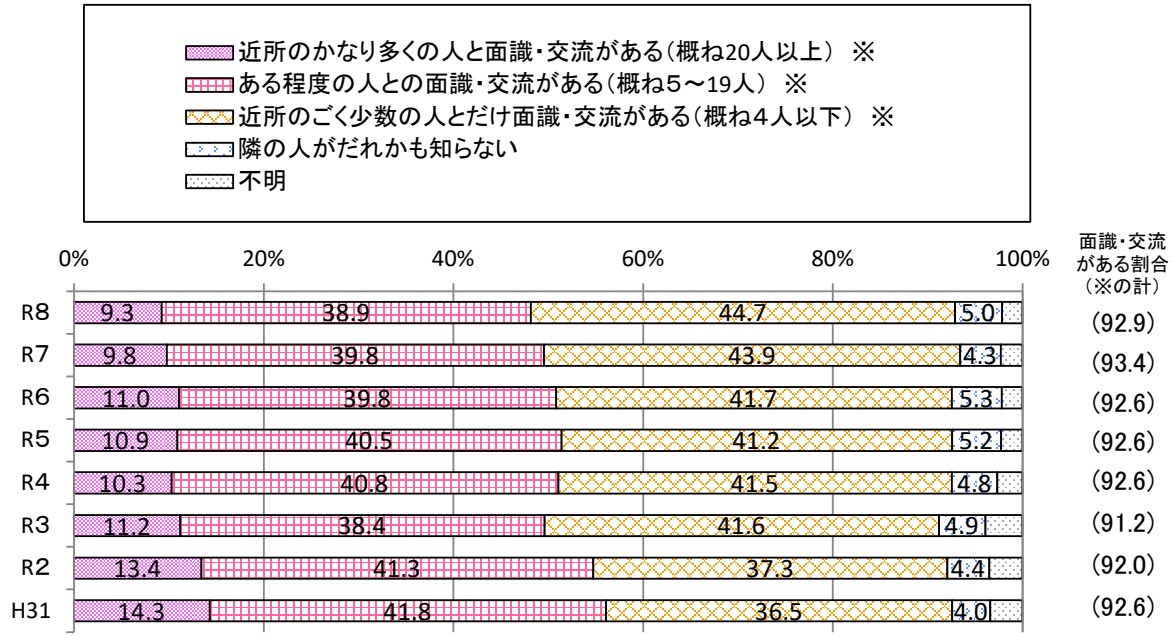
問4－1　あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。

○ H31調査からR8調査の回答割合は下表のとおり。（単純集計結果）



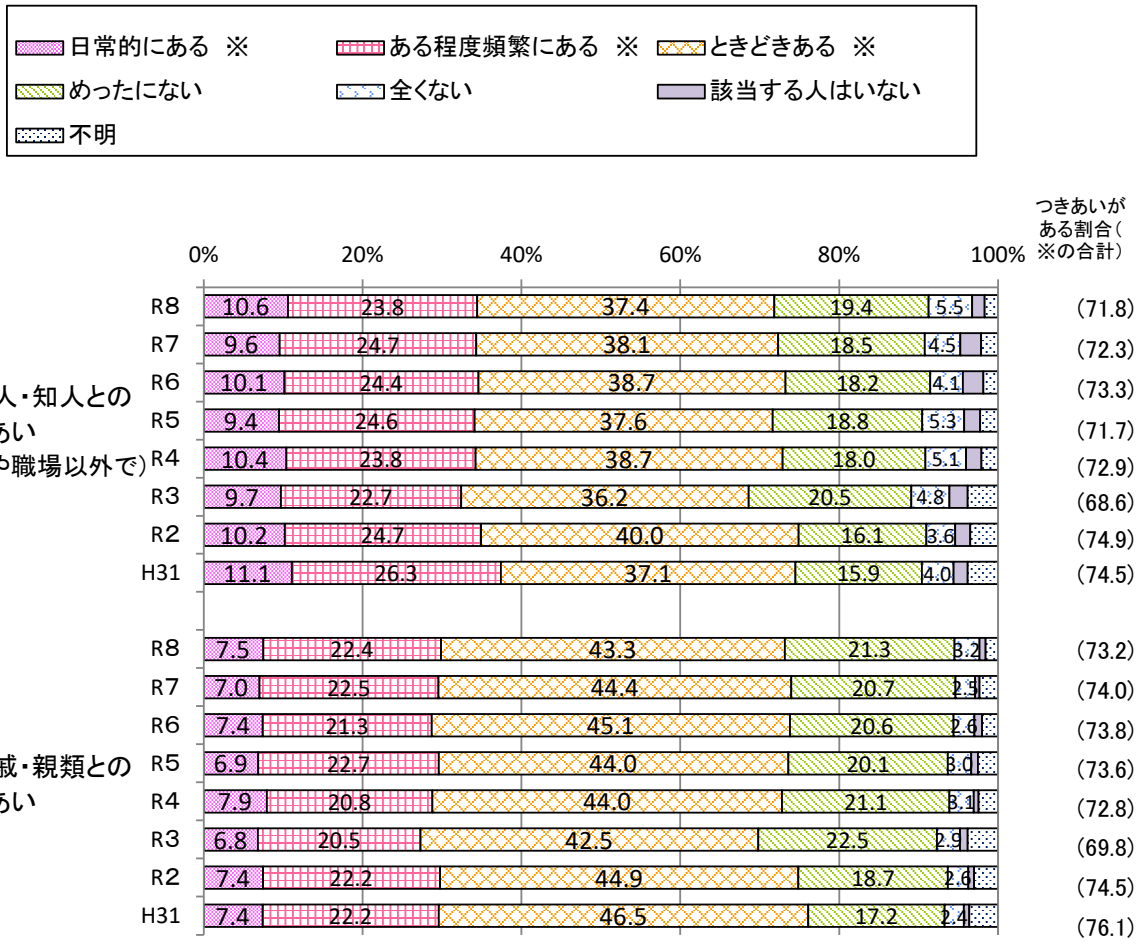
問4－2　つきあっているご近所の方の数は、どのくらいですか。

○ H31調査からR8調査の回答割合は下表のとおり。（単純集計結果）



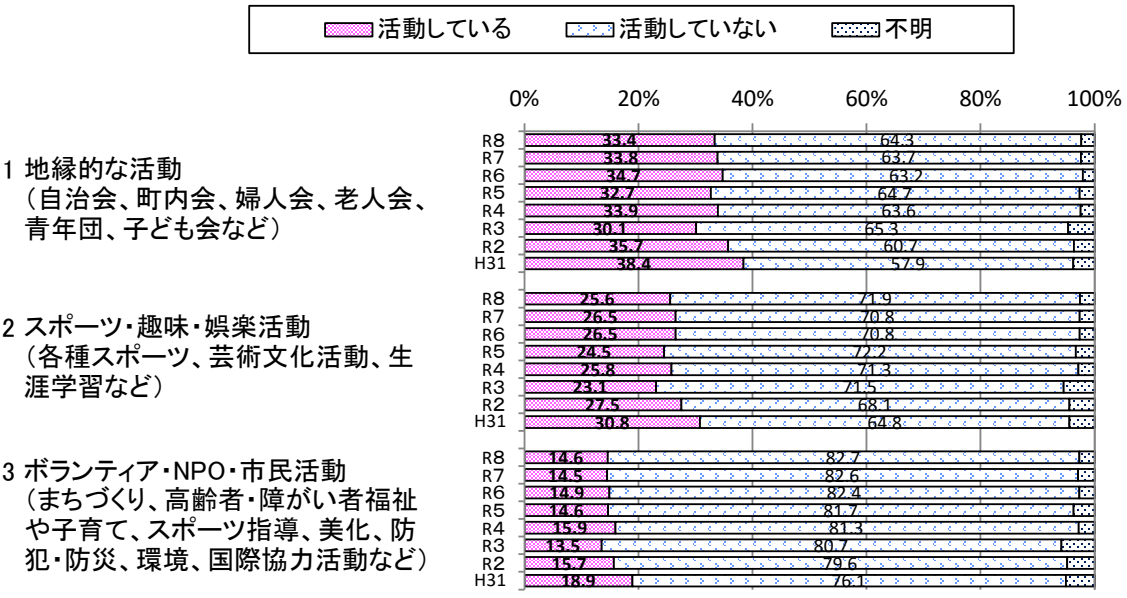
問４－３　あなたは、①友人・知人、②親戚・親類とどのようなおつきあいをされていますか。

○ H31調査からR8調査の回答割合は下表のとおり。（単純集計結果）



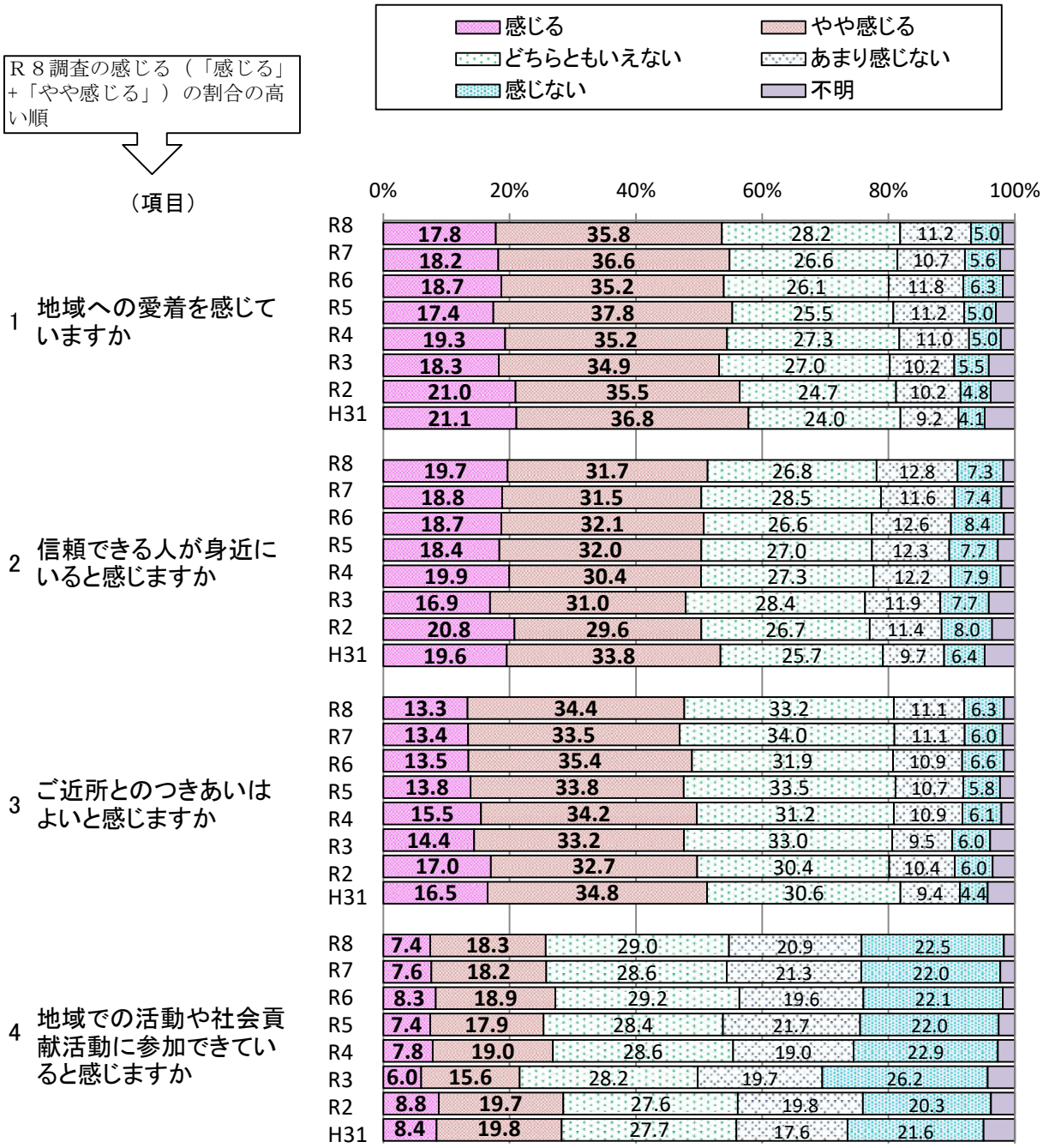
問４－４　あなたは現在、①地縁的な活動、②スポーツ・趣味・娯楽活動、③ボランティア・NPO・市民活動をされていますか。

○ H31調査からR8調査の回答割合は下表のとおり。（単純集計結果）



問４－５　あなたのお住まいの地域（小・中学校区から市町村の範囲）に対する実感をおたずねします。

○ H31調査からＲ８調査の回答割合は下表のとおり。（単純集計結果）



「県民意識調査」分野別実感の時系列分析結果（R5 を基準年として比較）

政策分野	分野別実感	平均値の推移							
		H31	R2	R3	R4	R5（基準年）	R6	R7	R8（当該年）
Ⅰ健康・余暇	(1) 心身の健康	3.00	3.15	3.07	3.20	3.18	3.22	3.21	3.22
							－(0.05)	－(0.03)	－(0.05)
	(2) 余暇の充実	3.05	2.93	2.97	2.96	2.93	3.02	3.00	3.06
							↑(0.09)	**↑(0.07)**	**↑(0.13)**
Ⅱ家族・子育て	(3) 家族関係	3.84	3.86	3.85	3.91	3.91	3.88	3.91	3.93
							－(△0.03)	－(0.01)	－(0.03)
	(4) 子育て	3.08	3.07	3.16	3.16	3.06	3.03	3.07	3.05
							－(△0.03)	－(0.01)	－(△0.01)
Ⅲ教育	(5) 子どもの教育	3.10	3.09	3.20	3.18	3.14	3.13	3.15	3.14
							－(0.00)	－(0.01)	－(△0.00)
Ⅳ居住環境・コミュニティ	(6) 住まいの快適さ	3.34	3.29	3.31	3.31	3.29	3.31	3.30	3.32
							－(0.02)	－(0.00)	－(0.03)
	(7) 地域社会とのつながり	3.35	3.16	3.09	3.10	3.07	3.10	3.12	3.11
							－(0.03)	－(0.05)	－(0.04)
Ⅴ安全	(8) 地域の安全	3.82	3.66	3.76	3.72	3.69	3.66	3.62	3.62
							－(△0.03)	**↓(△0.07)**	**↓(△0.07)**
Ⅵ仕事・収入	(9) 仕事のやりがい	3.54	3.38	3.49	3.41	3.39	3.39	3.41	3.40
							－(0.00)	－(0.02)	－(0.00)
	(10) 必要な収入や所得	2.65	2.56	2.77	2.57	2.53	2.48	2.50	2.52
							－(△0.05)	－(△0.03)	－(△0.01)
Ⅶ歴史・文化	(11) 歴史・文化への誇り	3.28	3.25	3.18	3.27	3.23	3.28	3.27	3.28
							－(0.06)	－(0.04)	**↑(0.06)**
Ⅷ自然環境	(12) 自然のゆたかさ	4.21	4.16	4.18	4.23	4.21	4.21	4.23	4.19
							－(0.00)	－(0.02)	－(△0.02)

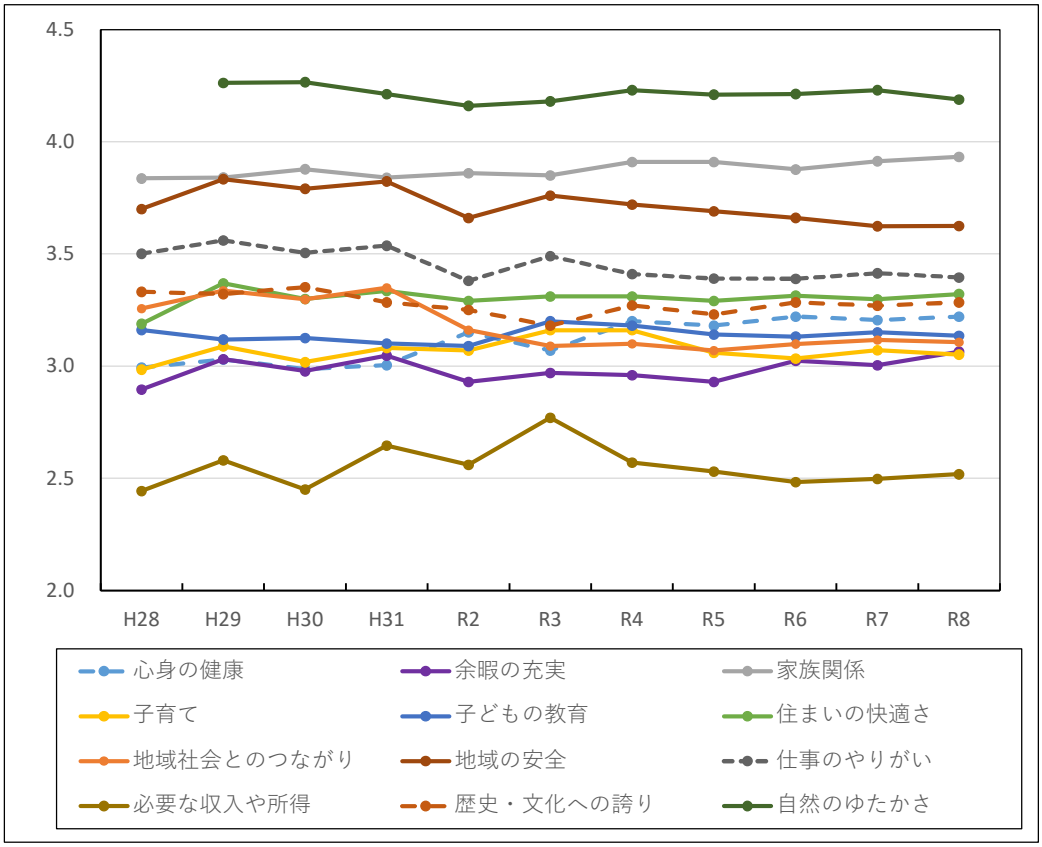
(注) ①（ ）は基準年調査との差。
なお、四捨五入の関係から年平均値とその差の合計が一致しない場合があります。
② ｔ検定の結果、５％水準で有意な変化が確認できた分野は、網掛けと矢印で表記しています。

「県民意識調査」分野別実感の時系列分析結果（H31 年比較）

政策分野	分野別実感	平均値の推移							
		H31（計画開始年）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8（当該年）
Ⅰ健康・余暇	(1) 心身の健康	3.00	3.15	3.07	3.20	3.18	3.22	3.21	3.22
			↑ (0.15)	↑ (0.07)	↑ (0.20)	↑ (0.17)	↑ (0.22)	↑ (0.20)	↑ (0.22)
	(2) 余暇の充実	3.05	2.93	2.97	2.96	2.93	3.02	3.00	3.06
			↓ (△0.12)	↓ (△0.08)	↓ (△0.09)	↓ (△0.11)	－ (△0.02)	－ (△0.04)	－ (0.02)
Ⅱ家族・子育て	(3) 家族関係	3.84	3.86	3.85	3.91	3.91	3.88	3.91	3.93
			－ (0.02)	－ (0.01)	↑ (0.07)	↑ (0.07)	－ (0.04)	↑ (0.07)	↑ (0.09)
	(4) 子育て	3.08	3.07	3.16	3.16	3.06	3.03	3.07	3.05
			－ (△0.01)	↑ (0.08)	↑ (0.08)	－ (△0.02)	－ (△0.05)	－ (△0.01)	－ (△0.03)
Ⅲ教育	(5) 子どもの教育	3.10	3.09	3.20	3.18	3.14	3.13	3.15	3.14
			- (△0.01)	↑ (0.10)	↑ (0.08)	－ (0.03)	－ (0.03)	－ (0.05)	－ (0.03)
Ⅳ居住環境・コミュニティ	(6) 住まいの快適さ	3.34	3.29	3.31	3.31	3.29	3.31	3.30	3.32
			－ (△0.05)	－ (△0.02)	－ (△0.03)	－ (△0.04)	－ (△0.02)	－ (△0.04)	－ (△0.01)
	(7) 地域社会とのつながり	3.35	3.16	3.09	3.10	3.07	3.10	3.12	3.11
			↓ (△0.19)	↓ (△0.25)	↓ (△0.25)	↓ (△0.28)	↓ (△0.25)	↓ (△0.23)	↓ (△0.24)
Ⅴ安全	(8) 地域の安全	3.82	3.66	3.76	3.72	3.69	3.66	3.62	3.62
			↓ (△0.16)	↓ (△0.06)	↓ (△0.10)	↓ (△0.13)	↓ (△0.16)	↓ (△0.20)	↓ (△0.20)
Ⅵ仕事・収入	(9) 仕事のやりがい	3.54	3.38	3.49	3.41	3.39	3.39	3.41	3.40
			↓ (△0.16)	－ (△0.05)	↓ (△0.12)	↓ (△0.15)	↓ (△0.15)	↓ (△0.12)	↓ (△0.14)
	(10) 必要な収入や所得	2.65	2.56	2.77	2.57	2.53	2.48	2.50	2.52
			↓ (△0.09)	↑ (0.13)	↓ (△0.07)	↓ (△0.11)	↓ (△0.16)	↓ (△0.15)	↓ (△0.13)
Ⅶ歴史・文化	(11) 歴史・文化への誇り	3.28	3.25	3.18	3.27	3.23	3.28	3.27	3.28
			－ (△0.03)	↓ (△0.11)	－ (△0.01)	↓ (△0.06)	－ (0.00)	－ (△0.02)	－ (△0.00)
Ⅷ自然環境	(12) 自然のゆたかさ	4.21	4.16	4.18	4.23	4.21	4.21	4.23	4.19
			↓ (△0.05)	－ (0.03)	－ (0.02)	－ (0.00)	－ (0.00)	－ (0.02)	－ (△0.02)

(注) ①（ ）は計画開始年調査との差。
なお、四捨五入の関係から年平均値とその差の合計が一致しない場合があります。
② ｔ検定の結果、５％水準で有意な変化が確認できた分野は、網掛けと矢印で表記しています。

【分野別実感の推移】



	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
心身の健康	2.99	3.03	2.99	3.00	3.15	3.07	3.20	3.18	3.22	3.21	3.22
余暇の充実	2.90	3.03	2.98	3.05	2.93	2.97	2.96	2.93	3.02	3.00	3.06
家族関係	3.84	3.84	3.88	3.84	3.86	3.85	3.91	3.91	3.88	3.91	3.93
子育て	2.98	3.09	3.02	3.08	3.07	3.16	3.16	3.06	3.03	3.07	3.05
子どもの教育	3.16	3.12	3.13	3.10	3.09	3.20	3.18	3.14	3.13	3.15	3.14
住まいの快適さ	3.19	3.37	3.30	3.34	3.29	3.31	3.31	3.29	3.31	3.30	3.32
地域社会とのつながり	3.26	3.34	3.30	3.35	3.16	3.09	3.10	3.07	3.10	3.12	3.11
地域の安全	3.70	3.83	3.79	3.82	3.66	3.76	3.72	3.69	3.66	3.62	3.62
仕事のやりがい	3.50	3.56	3.51	3.54	3.38	3.49	3.41	3.39	3.39	3.41	3.40
必要な収入や所得	2.44	2.58	2.45	2.65	2.56	2.77	2.57	2.53	2.48	2.50	2.52
歴史・文化への誇り	3.33	3.32	3.35	3.28	3.25	3.18	3.27	3.23	3.28	3.27	3.28
自然のゆたかさ		4.26	4.27	4.21	4.16	4.18	4.23	4.21	4.21	4.23	4.19

令和8年県の施策に関する県民意識調査(補足調査)結果

1 調査の目的

県民の幸福に着目して策定した「いわて県民計画（2019～2028）」を着実に推進していくため、「県の施策に関する県民意識調査」で把握した分野別実感の変動要因を把握し、政策評価に反映していくことを目的に、調査対象者を固定し複数年継続して調査を行うパネル調査を実施するもの。

2 調査の概要

(1) 調査対象　　県内に居住する18歳以上の個人
(2) 調査対象者数　592人（各広域振興圏約150人）
(3) 調査方法　　設問票によるアンケート調査（郵送法）
(4) 調査時期　　令和８年１～２月
(5) 有効回収率　　95.9%(568人/592人)
(6) 回答者の属性

【男女別】	回答者数	割合
男性	289	(50.9)
女性	277	(48.8)
その他・不明	2	(0.4)

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	0	(0.0)
20～29歳	27	(4.8)
30～39歳	87	(15.3)
40～49歳	108	(19.0)
50～59歳	112	(19.7)
60～69歳	114	(20.1)
70歳以上	119	(21.0)
不明	1	(0.2)

【所得別】	回答者数	割合
100万円未満	101	(17.8)
100万円～300万円未満	243	(42.8)
300万円～500万円未満	151	(26.6)
500万円～700万円未満	41	(7.2)
700万円～1000万円未満	18	(3.2)
1000万円～1500万円未満	6	(1.1)
1500万円以上	2	(0.4)
不明	6	(1.1)

【居住形態別】	回答者数	割合
持家(一戸建て)	451	(79.4)
持家(集合住宅)	14	(2.5)
借家(一戸建て)	27	(4.8)
借家(集合住宅)	58	(10.2)
その他	13	(2.3)
不明	5	(0.9)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	158	(27.8)
県南広域振興圏	144	(25.4)
沿岸広域振興圏	137	(24.1)
県北広域振興圏	129	(22.7)
その他	0	(0.0)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	46	(8.1)
家族従業者	12	(2.1)
会社役員・団体役員	44	(7.7)
常用雇用者	231	(40.7)
臨時雇用者	83	(14.6)
学生	4	(0.7)
専業主婦(主夫)	42	(7.4)
無職	80	(14.1)
その他	21	(3.7)
不明	5	(0.9)

【子どもの数別】	回答者数	割合
１人	90	(15.8)
２人	198	(34.9)
３人	109	(19.2)
４人	19	(3.3)
５人以上	4	(0.7)
子どもはいない	145	(25.5)
不明	3	(0.5)

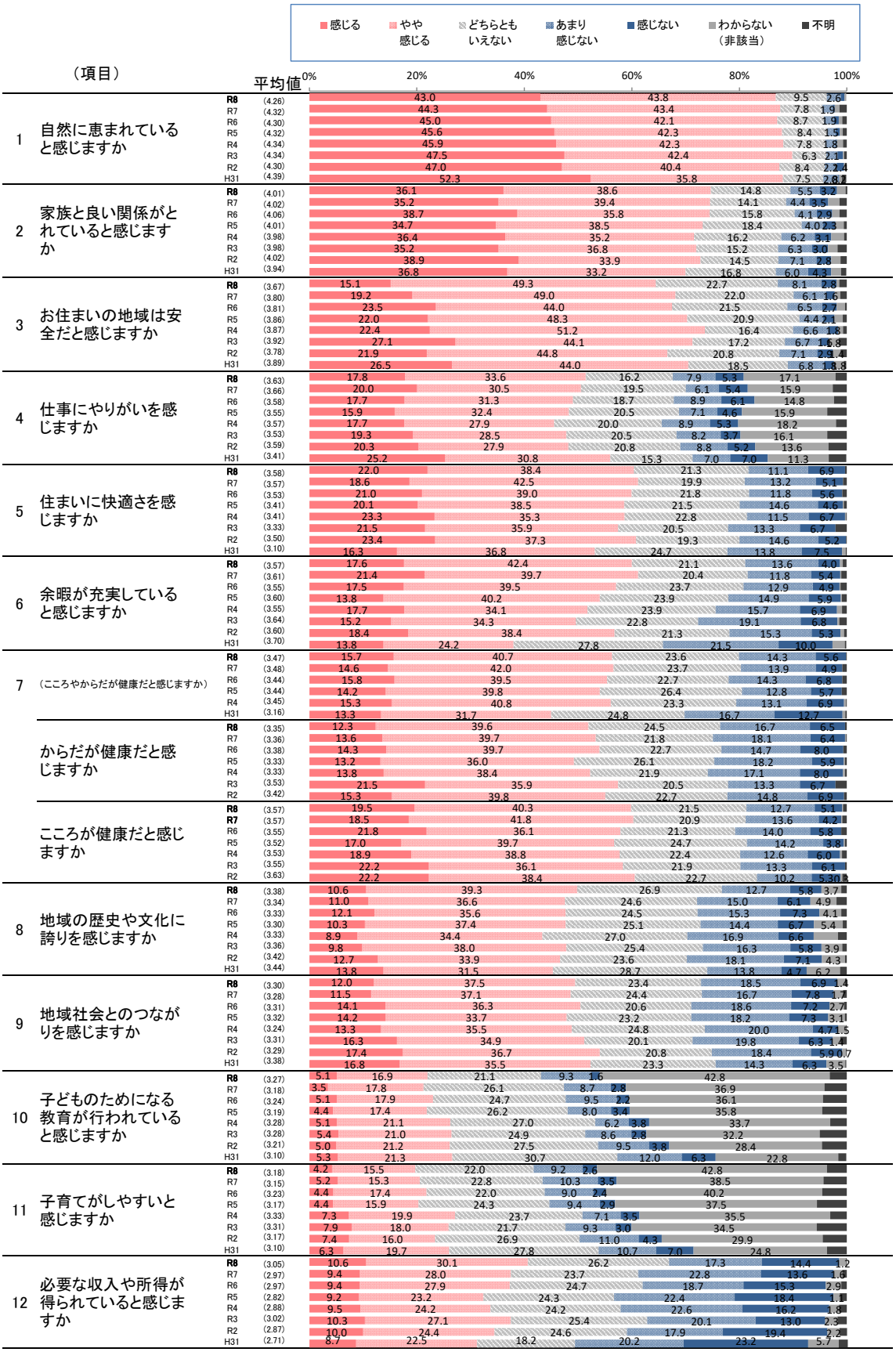
【世帯構成別】	回答者数	割合
ひとり暮らし	56	(9.9)
同居人あり	491	(86.4)
単身赴任	8	(1.4)
寮、老人ホームその他の施設	2	(0.4)
その他	7	(1.2)
不明	4	(0.7)

【世帯構成別】	回答者数	割合
ひとり暮らし	64	(11.3)
夫婦のみ	138	(24.3)
2世代世帯	378	(66.5)
(2世代世帯のうち核家族)	353	(62.1)
3世代世帯	91	(16.0)
その他	31	(5.5)
不明	2	(0.4)

【居住年数】	回答者数	割合
1年未満	0	(0.0)
1～5年未満	1	(0.2)
5～10年未満	8	(1.4)
10～20年未満	20	(3.5)
20年以上	535	(94.2)
不明	4	(0.7)

問1　現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

○　「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の86.8%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の74.7%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の64.4%となっている。



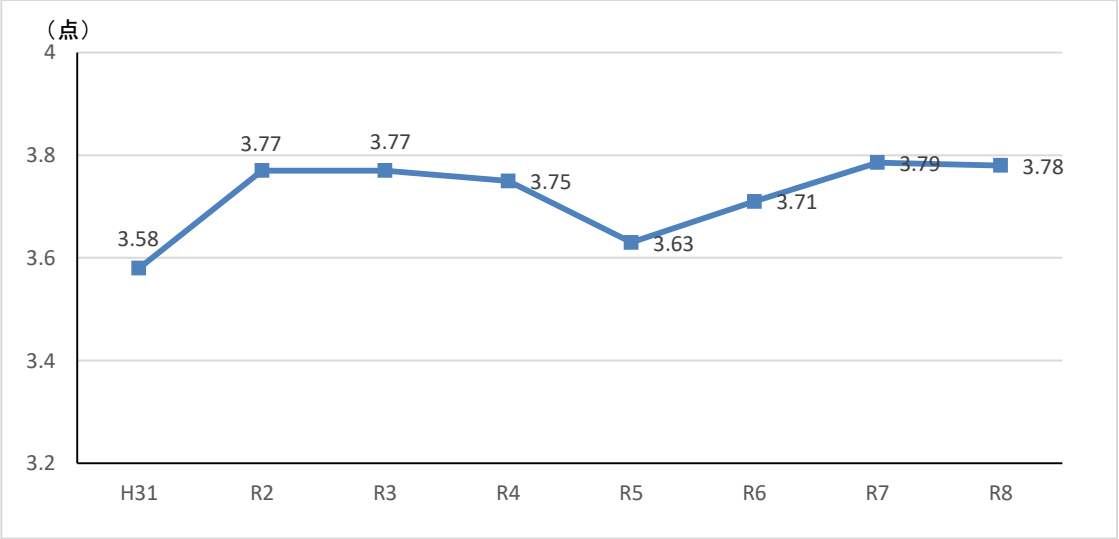
「平均点の算出方法について」
「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

問2（1） あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

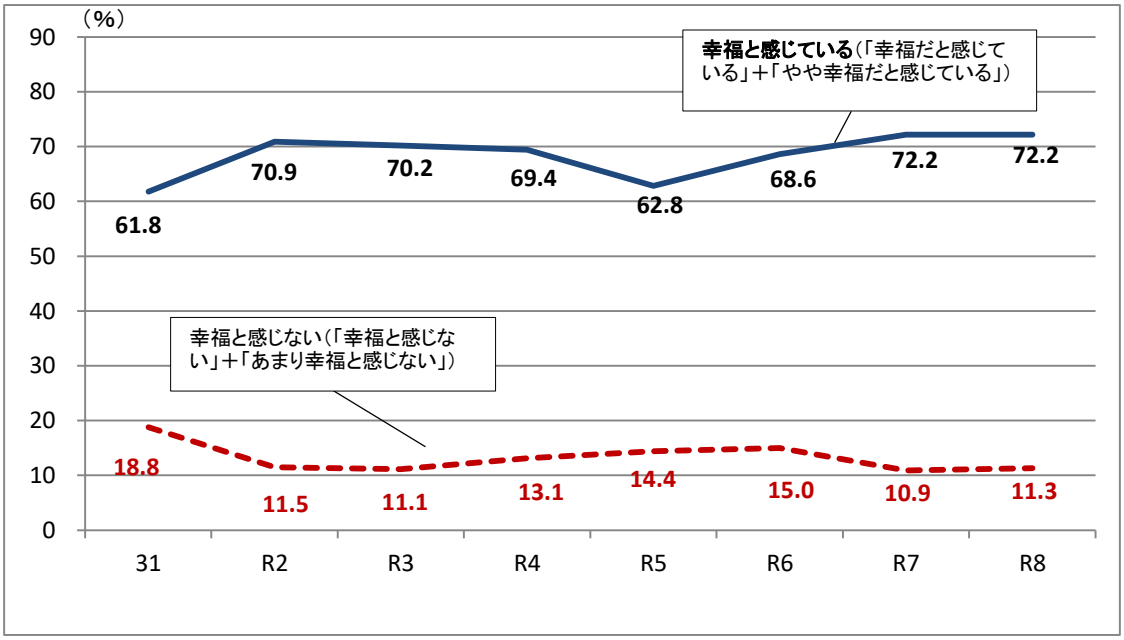
○　補足調査協力者の全体の幸福感は、5点満点中3.78点となり、基準年に比べて上昇となっている。

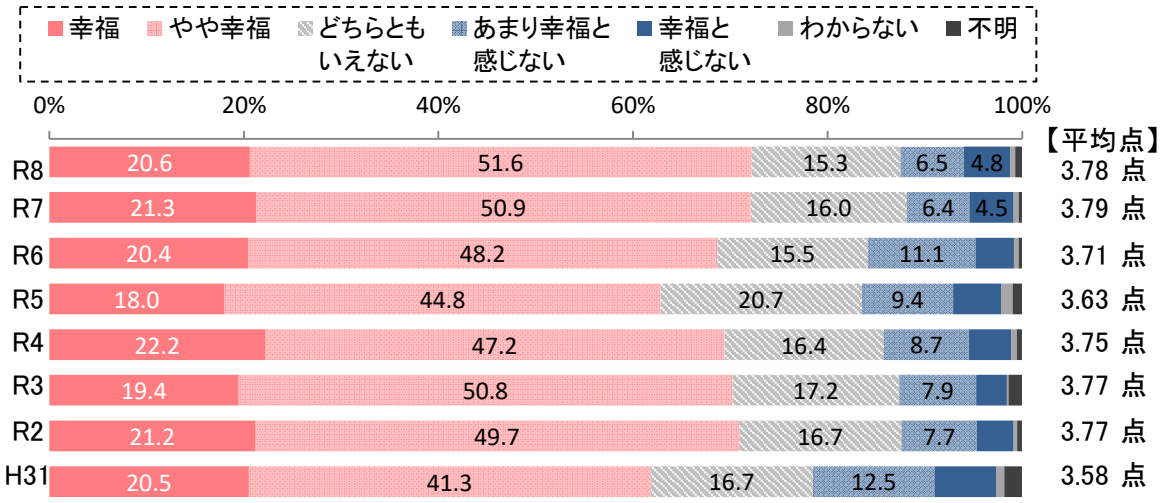
○　「幸福」（「幸福」+「やや幸福」）の割合は72.2%となっており、前回と比較し、横ばいとなっている。

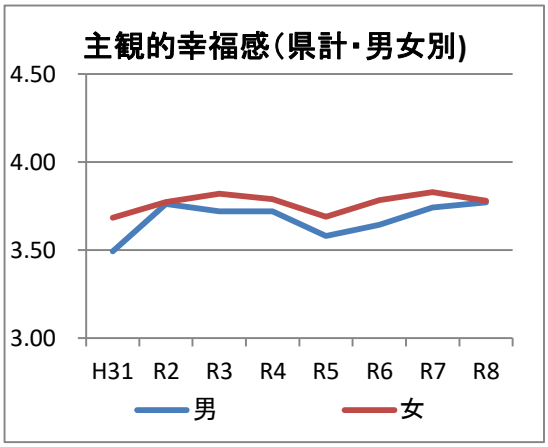
○主観的幸福感の平均値（県計）の推移【点数】

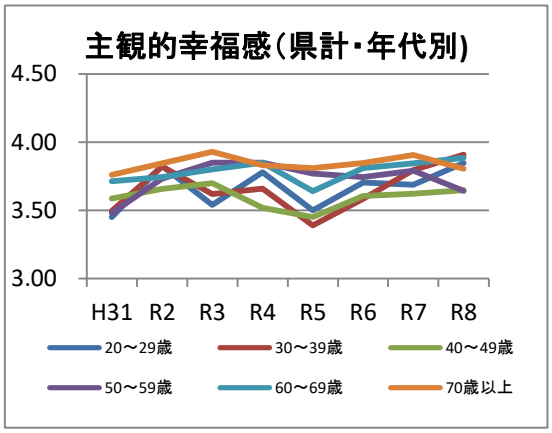


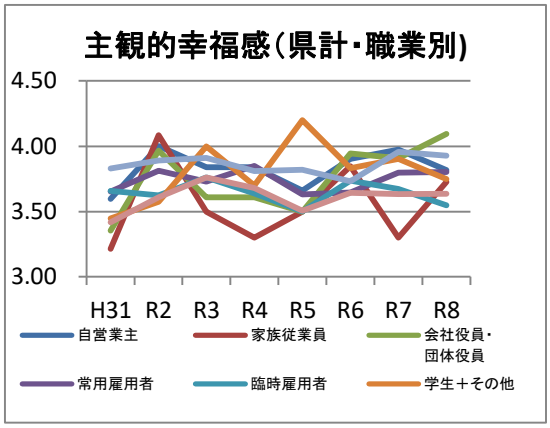
○主観的幸福感（県計）の推移【割合】

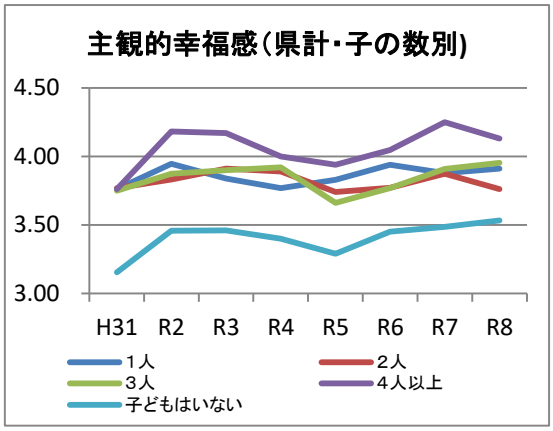


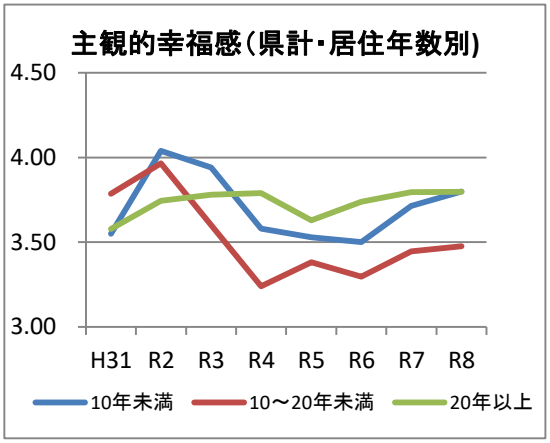

幸福
やや幸福
どちらともいえない
あまり幸福と感じない
幸福と感じない
わからない
不明
0%
20%
40%
60%
80%
100%
【平均点】
R8 20.6 51.6 15.3 6.5 4.8 3.78 点
R7 21.3 50.9 16.0 6.4 4.5 3.79 点
R6 20.4 48.2 15.5 11.1 3.71 点
R5 18.0 44.8 20.7 9.4 3.63 点
R4 22.2 47.2 16.4 8.7 3.75 点
R3 19.4 50.8 17.2 7.9 3.77 点
R2 21.2 49.7 16.7 7.7 3.77 点
H31 20.5 41.3 16.7 12.5 3.58 点

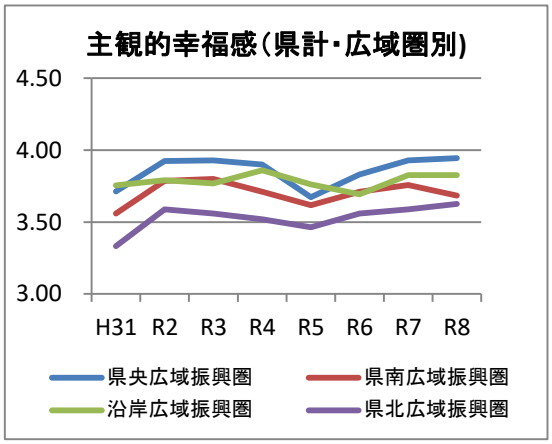

主観的幸福感(県計・男女別)
4.50
4.00
3.50
3.00
H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
男
女


主観的幸福感(県計・年代別)
4.50
4.00
3.50
3.00
H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70歳以上


主観的幸福感(県計・職業別)
4.50
4.00
3.50
3.00
H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
自営業主
家族従業員
会社役員・団体役員
常用雇用者
臨時雇用者
学生＋その他

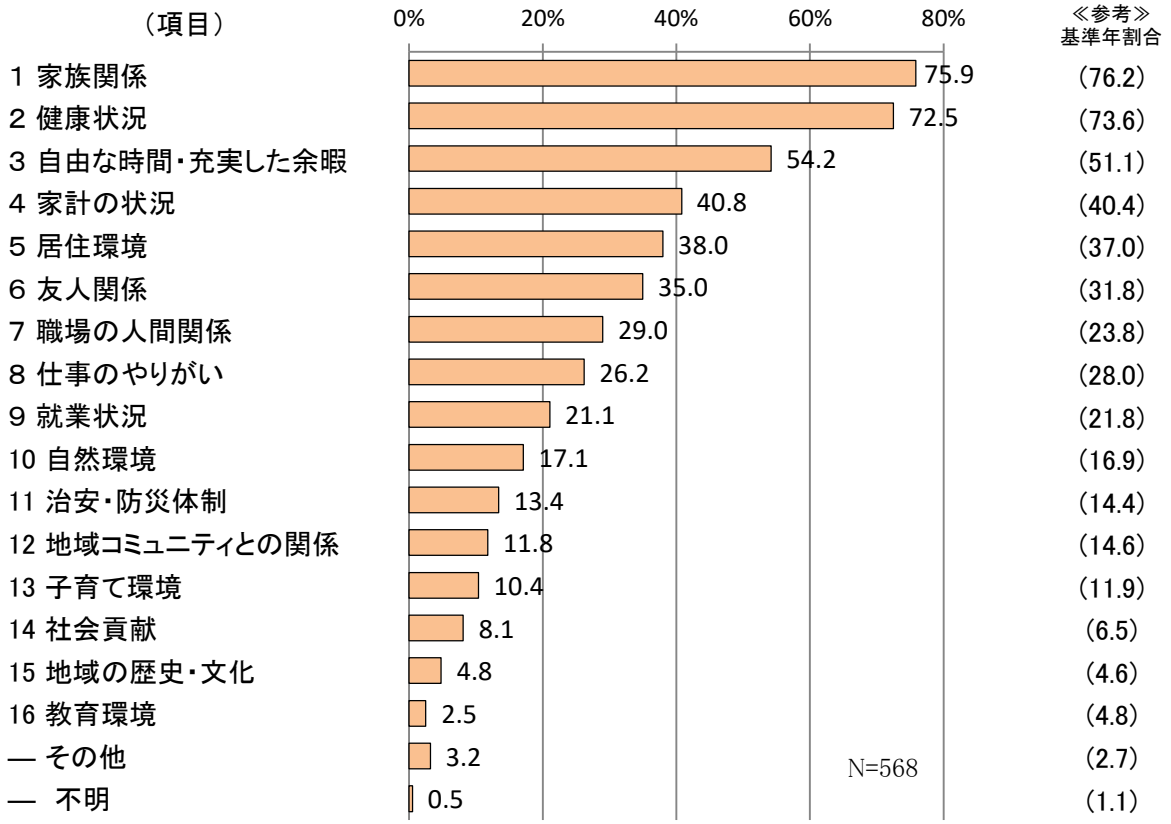

主観的幸福感(県計・子の数別)
4.50
4.00
3.50
3.00
H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
1人
2人
3人
4人以上
子どもはいない


主観的幸福感(県計・居住年数別)
4.50
4.00
3.50
3.00
H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
10年未満
10～20年未満
20年以上


主観的幸福感(県計・広域圏別)
4.50
4.00
3.50
3.00
H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
県央広域振興圏
県南広域振興圏
沿岸広域振興圏
県北広域振興圏

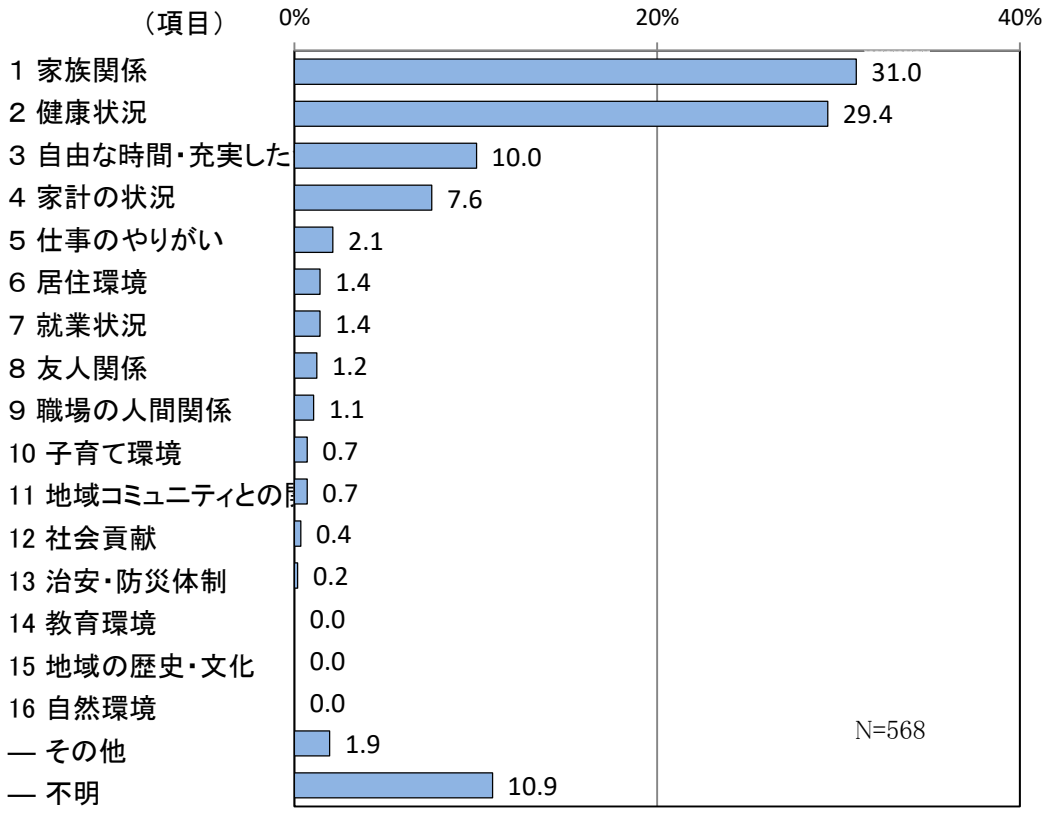
問2（2） ①あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

○ 幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「1 家族関係」の75.9%、「2 健康状況」の72.5%となっている。



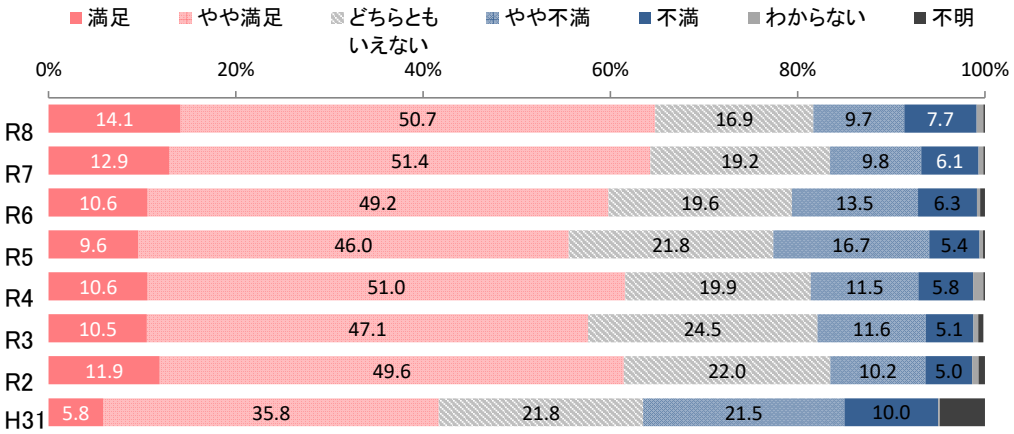
問2（2） ②最も重視する事項は何ですか。

○ 最も重視すると回答した人が多いのは、「家族関係」31.0%、「健康状況」の29.4%となっている。



問3　あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

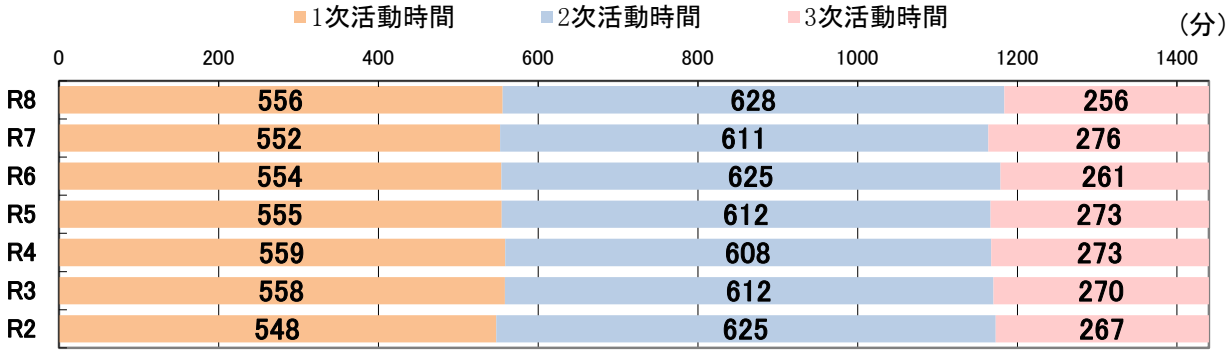
○　「満足」(「満足」+「やや満足」)の割合は64.8%となっており、基準年と比較して9.2ポイント上昇している。



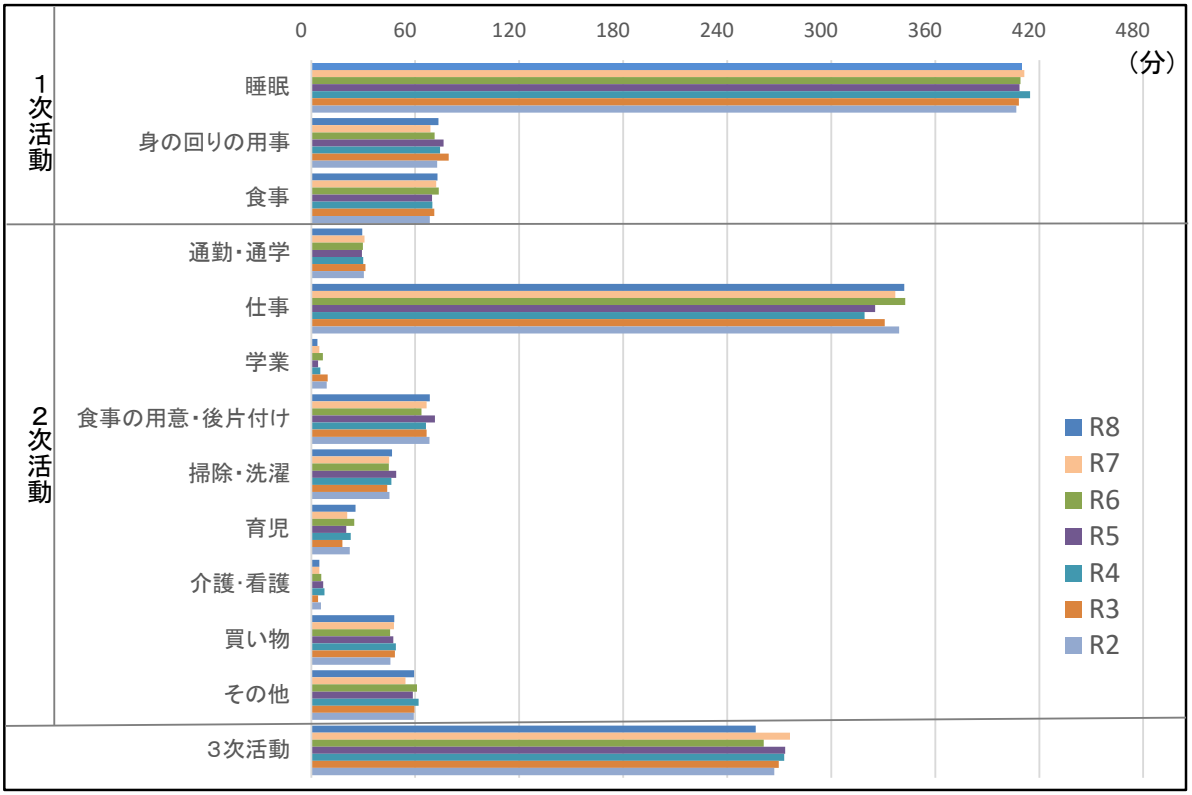
問4　あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

○　１日当たりの行動の内容は、1次活動時間が556分（9時間16分）、2次活動時間が628分（10時間28分）、3次活動時間が256分（4時間16分）となっている。

（　1次活動：睡眠、食事など生理的に必要な活動
2次活動：仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
3次活動：1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動　）

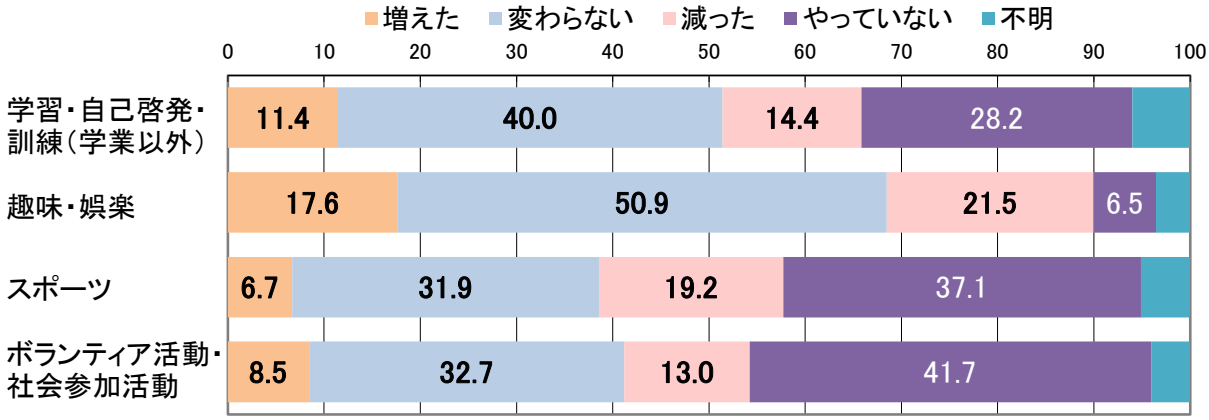


【行動種類別】

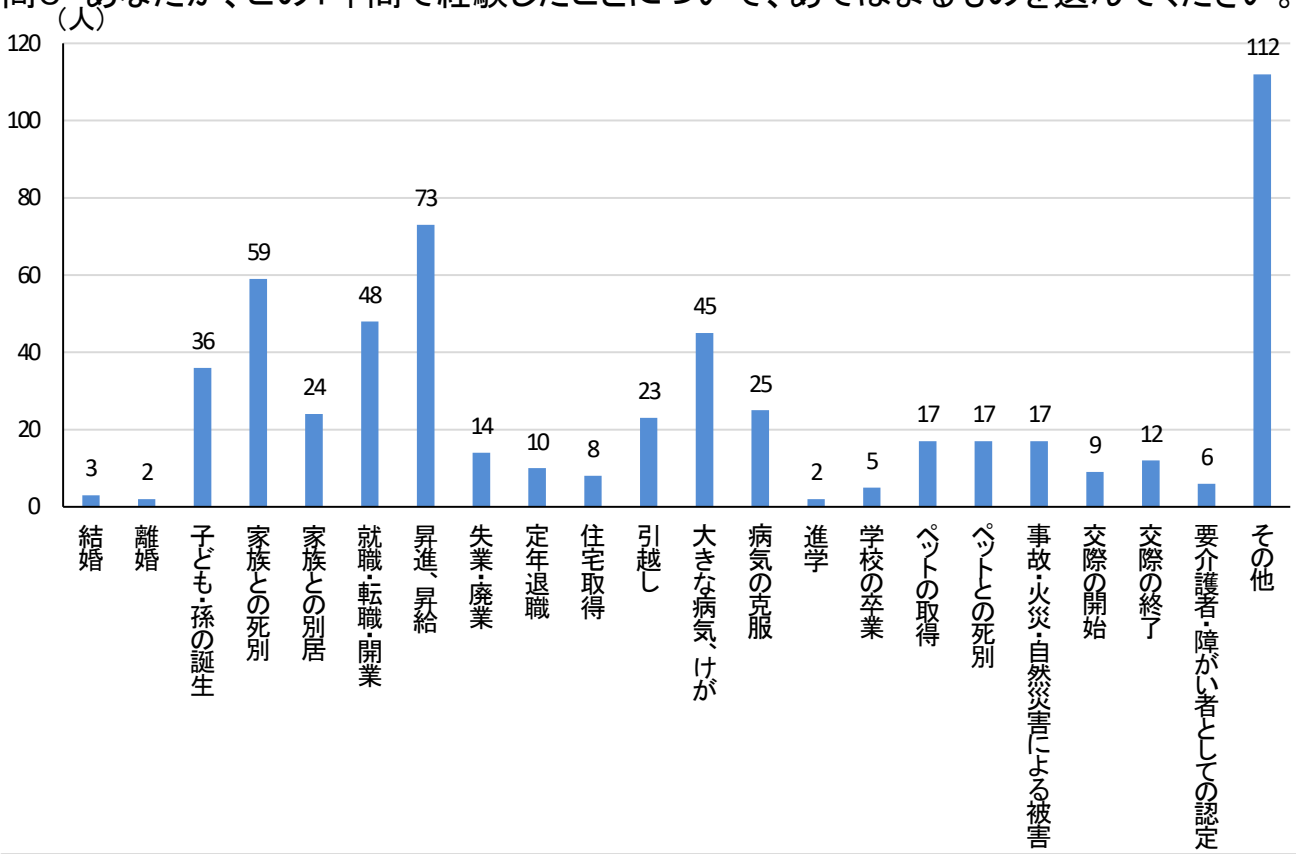


分	1次活動			2次活動									3次活動
	睡眠	身の回りの用事	食事	通勤・通学	仕事	学業	食事の用意・後片付け	掃除・洗濯	育児	介護・看護	買い物	その他	
R8	410	73	73	29	342	4	68	47	26	5	48	59	256
R7	411	69	72	31	337	5	67	45	21	5	48	54	276
R6	409	71	74	30	343	7	64	45	25	6	45	61	261
R5	409	76	70	29	325	4	71	49	20	7	47	59	273
R4	415	74	70	30	319	5	66	46	23	8	49	62	273
R3	408	79	71	31	331	9	67	44	18	4	48	60	270
R2	407	73	68	30	339	9	68	45	22	6	46	59	267

問5　あなたは、昨年度同時期に比べて、以下の行動にかける時間が変化していますか。近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。



問6　あなたが、この1年間で経験したことについて、あてはまるものを選んでください。



（その他のコメント）
・定年延長による就業　・妻の病気　・義母の介護。体調不良時のみ同居約2ヶ月　・子供の結婚(県外在住)　・ネットでの交流がへった　・病気が少し悪化 おかねが去年より増えて来ました。　・新車購入　・温泉旅行　・家族旅行(他県)　・年祝い　・介護　・親の入院　・長期間研修に参加した(3か月継続研修・プロジェクト)　・伯母、叔父、従兄弟との死別　・粉瘤除去手術　・退職　・法人の設立　・子供の進学　・持病の悪化、仕事復帰、家族の病気　・子供が結婚した・　再就職パート～正採用色々ありますがへこたれず頑張っています　・子供の結婚、独立　・介護の終了　・息子の結婚(婿入りした)　・産休/流産　・加齢による体の衰え、物価高への恐怖　・病気による休業　・家族の介護　・義母の介護　・不登校の孫の世話　・家族(配偶者)が病気になり、障害者になった。　・姪、友人が亡くなった　・リフォームの為の仮住い　・転勤　・人生初の労災　・特になし。上記以外では所属先(勤務地)の異動　・老人クラブの活動から引退　・妊娠　・子供の結婚　・姑の介護　・自宅の環境改善、リフォーム　・母を亡くした(実家)　・同居している親の認知症が進んだ。　・家族の病気

表　【県民意識調査】属性別平均値一覧表（令和5年調査と令和8年調査の差）

：上昇、：横ばい、：低下

			主観的幸福感	心身の健康	余暇の充実	家族関係	子育て	子どもの教育	住まいの快適さ	地域社会とのつながり	地域の安全	仕事のやりがい	必要な収入や所得	歴史・文化への誇り	自然のゆたかさ
令和8年調査　平均値			3.54	3.22	3.06	3.93	3.05	3.14	3.32	3.11	3.62	3.40	2.52	3.28	4.19
令和5年調査と令和8年調査の差	県計（3,318）		－	－	0.13	－	－	－	－	－	▲ 0.07	－	－	0.06	－
	性別	男性（1,593）	－	－	0.10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		女性（1,712）	0.08	－	0.17	0.10	－	－	－	－	－	－	－	0.10	－
		その他（参考）（4）													
	年代	18～19歳（参考）（37）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		20～29歳（172）	0.37	0.32	0.53	－	－	－	－	－	－	0.41	0.37	0.44	0.23
		30～39歳（252）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		40～49歳（421）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		50～59歳（546）	－	－	－	－	－	－	－	－	▲ 0.16	－	－	－	－
		60～69歳（686）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		70歳以上（1,204）	－	－	0.18	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	職業	自営業主（261）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		家族従業員（参考）（71）	－	－	－	0.43	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		会社役員・団体役員（179）	0.25	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		常用雇用者（946）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		臨時雇用者（406）	－	0.22	0.24	－	0.21	0.22	－	－	－	－	－	0.21	－
		学生＋その他（152）	－	▲ 0.30	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		専業主婦・主夫（281）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		60歳未満の無職（参考）（76）	－	－	0.42	0.44	－	－	－	－	－	－	－	0.57	－
		60歳以上の無職（691）	－	－	0.19	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	世帯構成	ひとり暮らし（473）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		夫婦のみ（728）	－	0.16	0.25	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		2世代世帯（1,222）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.09	－
		3世代世帯（384）	－	－	－	－	－	－	－	▲ 0.16	－	－	－	－	－
		その他（155）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	子どもの数	1人（425）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		2人（1,088）	－	0.16	0.15	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		3人（612）	－	－	0.18	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		4人以上（112）	－	▲ 0.39	－	－	－	－	－	▲ 0.52	－	－	▲ 0.37	▲ 0.55	－
		子どもはいない（750）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.19	－
	居住年数	10年未満（参考）（101）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		10～20年未満（130）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		20年以上（2,827）	－	－	0.14	－	－	－	－	－	▲ 0.06	－	－	－	－
	広域振興圏	県央（992）	－	－	0.14	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		県南（1,000）	－	－	0.13	－	－	－	－	－	▲ 0.15	－	－	－	－
		沿岸（767）	－	－	－	－	－	－	－	0.14	－	－	－	0.17	－
		県北（559）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（　）は、R8調査のサンプル数

表　【県民意識調査】属性別平均値一覧表（平成31年調査と令和8年調査の差）

：上昇、：横ばい、：低下

			主観的幸福感	心身の健康	余暇の充実	家族関係	子育て	子どもの教育	住まいの快適さ	地域社会とのつながり	地域の安全	仕事のやりがい	必要な収入や所得	歴史・文化への誇り	自然のゆたかさ
令和8年調査　平均値			3.54	3.22	3.06	3.93	3.05	3.14	3.32	3.11	3.62	3.40	2.52	3.28	4.19
平成31年調査と令和6年調査の差	県計（3,318）		0.11	0.22	－	0.09	－	－	－	▲ 0.24	▲ 0.20	▲ 0.14	▲ 0.13	－	－
	性別	男性（1,593）	－	0.18	－	－	▲ 0.11	－	－	▲ 0.27	▲ 0.20	▲ 0.12	▲ 0.16	－	－
		女性（1,712）	0.14	0.25	－	0.17	－	0.10	－	▲ 0.21	▲ 0.19	▲ 0.15	－	－	－
		その他（参考）（4）													
	年代	18～19歳（参考）（37）	0.67	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		20～29歳（172）	0.36	0.46	0.58	0.23	－	0.28	－	－	－	－	－	－	0.27
		30～39歳（252）	－	0.28	0.28	0.21	▲ 0.24	－	0.22	▲ 0.20	▲ 0.19	－	－	0.29	－
		40～49歳（421）	－	0.29	－	－	－	－	－	▲ 0.22	▲ 0.16	－	▲ 0.18	－	－
		50～59歳（546）	－	0.18	－	0.15	－	－	－	▲ 0.35	▲ 0.32	▲ 0.19	▲ 0.17	－	－
		60～69歳（686）	0.13	0.13	－	－	－	0.13	－	▲ 0.29	▲ 0.26	－	－	－	－
		70歳以上（1,204）	－	0.17	▲ 0.19	－	－	－	▲ 0.10	▲ 0.28	▲ 0.20	▲ 0.30	▲ 0.20	▲ 0.17	▲ 0.10
	職業	自営業主（261）	－	0.21	－	－	－	－	－	－	▲ 0.18	－	▲ 0.34	－	－
		家族従業員（参考）（71）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		会社役員・団体役員（179）	－	0.36	0.31	0.39	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		常用雇用者（946）	0.11	0.26	－	－	▲ 0.14	－	－	▲ 0.28	▲ 0.24	▲ 0.11	▲ 0.20	－	－
		臨時雇用者（406）	－	0.28	－	－	－	－	－	▲ 0.18	－	－	－	－	－
		学生＋その他（152）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		専業主婦・主夫（281）	－	0.20	－	－	0.23	－	－	▲ 0.30	▲ 0.22	－	－	－	－
		60歳未満の無職（参考）（76）	－	0.50	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		60歳以上の無職（691）	0.06	0.21	▲ 0.18	－	▲ 0.18	－	－	▲ 0.29	▲ 0.20	▲ 0.21	－	－	－
	世帯構成	ひとり暮らし（473）	0.21	－	－	－	－	0.20	－	－	▲ 0.16	－	－	－	－
		夫婦のみ（728）	0.18	0.27	－	0.14	－	－	－	▲ 0.21	▲ 0.19	－	－	－	－
		2世代世帯（1,222）	－	0.16	－	0.10	－	－	－	▲ 0.25	▲ 0.20	▲ 0.14	▲ 0.16	－	－
		3世代世帯（384）	－	－	－	－	▲ 0.23	－	－	▲ 0.37	▲ 0.22	－	▲ 0.32	－	－
		その他（155）	－	0.37	－	－	－	－	－	▲ 0.29	－	▲ 0.30	－	－	－
	子どもの数	1人（425）	－	0.33	－	0.17	－	－	－	▲ 0.19	－	－	－	－	－
		2人（1,088）	－	0.17	－	－	－	－	－	▲ 0.25	▲ 0.22	－	－	－	－
		3人（612）	0.13	0.23	－	0.13	－	－	－	▲ 0.21	▲ 0.20	▲ 0.26	－	－	－
		4人以上（112）	－	－	－	－	－	－	▲ 0.32	▲ 0.59	▲ 0.39	－	－	▲ 0.38	－
		子どもはいない（750）	0.25	0.26	0.14	－	－	－	－	▲ 0.20	－	－	－	0.18	－
	居住年数	10年未満（参考）（101）	－	－	－	－	－	－	－	▲ 0.40	－	－	－	－	－
		10～20年未満（130）	－	－	0.34	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		20年以上（2,827）	0.11	0.21	－	0.10	－	－	－	▲ 0.25	▲ 0.20	▲ 0.14	▲ 0.15	－	－
	広域振興圏	県央（992）	0.10	0.22	－	0.11	－	－	－	▲ 0.24	▲ 0.19	▲ 0.15	▲ 0.17	0.11	－
		県南（1,000）	0.22	0.25	－	0.14	－	－	－	▲ 0.26	▲ 0.18	－	－	－	－
		沿岸（767）	－	0.16	－	－	－	－	－	▲ 0.25	▲ 0.26	▲ 0.17	▲ 0.28	－	－
		県北（559）	－	0.23	－	－	－	－	－	▲ 0.20	▲ 0.17	▲ 0.17	－	▲ 0.15	－

（　）は、R８調査のサンプル数

表 【県民意識調査】属性別平均点一覧表（平成28年からと令和8年まで一貫して低値又は高値で推移している属性）

：低値、：高値

		余暇の充実	家族関係	子育て	子どもの教育	必要な収入や所得	自然のゆたかさ
県計（3,318）						2.44～2.77	4.16～4.27
性別	男性（1,593）					2.46～2.75	4.13～4.25
	女性（1,712）					2.43～2.79	4.18～4.29
	その他（参考）（4）						
年代	18～19歳（参考）（37）						
	20～29歳（172）					2.30～2.68	4.20～4.53
	30～39歳（252）					2.27～2.71	4.22～4.37
	40～49歳（421）	2.78～2.96				2.33～2.82	4.16～4.42
	50～59歳（546）	2.68～2.92				2.43～2.75	4.24～4.38
	60～69歳（686）					2.37～2.77	4.09～4.24
	70歳以上（1,204）					2.45～2.80	4.07～4.20
職業	自営業主（261）					2.51～2.86	4.19～4.32
	家族従業員（参考）（71）						
	会社役員・団体役員（179）						4.20～4.32
	常用雇用者（946）	2.82～2.99				2.52～2.86	4.21～4.35
	臨時雇用者（406）					2.20～2.65	4.13～4.36
	学生＋その他（152）					2.49～2.94	4.09～4.59
	専業主婦・主夫（281）					2.34～2.89	4.15～4.29
	60歳未満の無職（参考）（76）						
	60歳以上の無職（691）					2.25～2.46	4.02～4.09
世帯構成	ひとり暮らし（473）					2.47～2.75	4.07～4.22
	夫婦のみ（728）		4.00～4.16			2.43～2.92	4.10～4.28
	2世代世帯（1,222）	2.80～2.99				2.40～2.71	4.16～4.29
	3世代世帯（384）					2.40～2.82	4.26～4.44
	その他（155）						
子どもの数	1人（425）					2.28～2.78	4.12～4.28
	2人（1,088）					2.48～2.86	4.16～4.25
	3人（612）					2.48～2.83	4.16～4.30
	4人以上（112）					2.17～2.86	4.17～4.32
	子どもはいない（750）			2.60～2.87	2.80～2.99	2.37～2.59	4.14～4.31
居住年数	10年未満（参考）（101）						
	10～20年未満（130）						4.21～4.42
	20年以上（2,827）					2.42～2.75	4.15～4.27
広域振興圏	県央（992）					2.45～2.87	4.16～4.28
	県南（1,000）					2.39～2.70	4.11～4.26
	沿岸（767）					2.38～2.76	4.13～4.26
	県北（559）					2.34～2.76	4.21～4.37

（　）は、R８調査のサンプル数

「令和8年県の施策に関する県民意識調査」属性別平均点

〇主観的幸福感

R5比較 ■:上昇 ■:低下
H31比較 ■:上昇 ■:低下

あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

		H28	H29	H30	H31（計画開始年）	R２	R３	R４	R5（基準年）	R６	R７	R8	R8−R5（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−R5（寄与度）	R8−H31（対計画開始年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−H31（寄与度）
県計（3318）		3.44	3.48	3.46	3.43	3.48	3.52	3.51	3.49	3.51	3.50	3.54	0.05	0.09		0.05	0.11	0.00	**	0.11
性別	男性（1,593）	3.32	3.36	3.36	3.33	3.39	3.42	3.40	3.38	3.41	3.44	3.40	0.03	0.53		0.01	0.07	0.07		0.03
	女性（1,712）	3.52	3.57	3.54	3.52	3.56	3.60	3.60	3.58	3.60	3.56	3.66	0.08	0.03	**	0.05	0.14	0.00	**	0.07
	その他（参考）（4）					2.50	3.20	2.67	3.14	4.00	1.80	2.75	▲ 0.39	0.62		0.00				
年代	18～19歳（参考）（37）		3.70	3.38	3.36	3.67	4.14	3.67	3.83	3.75	4.16	4.03	0.20	0.37		0.00	0.67	0.01	**	0.01
	20～29歳（172）	3.59	3.44	3.48	3.45	3.42	3.43	3.40	3.44	3.63	3.50	3.81	0.37	0.00	**	0.02	0.36	0.00	**	0.02
	30～39歳（252）	3.39	3.42	3.47	3.37	3.31	3.40	3.56	3.37	3.41	3.43	3.50	0.13	0.21		0.01	0.12	0.21		0.01
	40～49歳（421）	3.42	3.44	3.48	3.37	3.46	3.45	3.44	3.52	3.33	3.34	3.44	▲ 0.07	0.34		▲ 0.01	0.07	0.39		0.01
	50～59歳（546）	3.36	3.44	3.49	3.33	3.50	3.40	3.47	3.49	3.50	3.46	3.40	▲ 0.09	0.20		▲ 0.01	0.08	0.28		0.01
	60～69歳（686）	3.45	3.53	3.50	3.44	3.47	3.60	3.54	3.47	3.54	3.50	3.56	0.09	0.13		0.02	0.13	0.02	**	0.03
	70歳以上（1,204）	3.47	3.50	3.43	3.53	3.53	3.59	3.56	3.51	3.57	3.58	3.57	0.06	0.19		0.02	0.04	0.38		0.01
職業	自営業主（261）	3.48	3.49	3.64	3.41	3.45	3.51	3.63	3.56	3.56	3.63	3.56	0.00	0.99		0.00	0.15	0.08		0.01
	家族従業員（参考）（71）	3.56	3.65	3.52	3.56	3.77	3.62	3.65	3.65	3.65	3.63	3.79	0.13	0.38		0.00	0.22	0.16		0.00
	会社役員・団体役員（179）	3.55	3.69	3.62	3.59	3.54	3.67	3.63	3.54	3.53	3.60	3.79	0.25	0.01	**	0.01	0.21	0.05		0.01
	常用雇用者（946）	3.45	3.47	3.47	3.38	3.47	3.45	3.53	3.50	3.47	3.50	3.49	▲ 0.01	0.85		▲ 0.00	0.11	0.03	**	0.03
	臨時雇用者（406）	3.28	3.37	3.32	3.46	3.48	3.40	3.40	3.46	3.54	3.42	3.58	0.11	0.15		0.01	0.11	0.13		0.01
	学生＋その他（152）	3.54	3.63	3.74	3.55	3.45	3.80	3.73	3.75	3.68	3.59	3.73	▲ 0.02	0.87		▲ 0.00	0.18	0.14		0.01
	専業主婦・主夫（281）	3.58	3.59	3.70	3.62	3.59	3.79	3.71	3.69	3.71	3.67	3.71	0.01	0.86		0.00	0.09	0.29		0.01
	60歳未満の無職（参考）（76）	2.86	2.56	3.06	2.64	2.71	2.67	2.42	2.71	2.77	3.08	2.96	0.25	0.23		0.00	0.32	0.17		0.01
	60歳以上の無職（691）	3.40	3.40	3.29	3.37	3.44	3.50	3.41	3.35	3.46	3.43	3.43	0.08	0.22		0.02	0.06	0.00	**	0.01
世帯構成	ひとり暮らし（473）	3.18	3.19	3.20	3.08	3.25	3.19	3.22	3.25	3.20	3.23	3.29	0.04	0.63		0.00	0.21	0.01	**	0.03
	夫婦のみ（728）	3.62	3.57	3.60	3.60	3.66	3.75	3.64	3.69	3.78	3.74	3.78	0.09	0.08		0.02	0.18	0.00	**	0.04
	2世代世帯（1,222）	3.43	3.51	3.52	3.48	3.48	3.46	3.51	3.46	3.48	3.50	3.52	0.06	0.20		0.02	0.04	0.34		0.02
	3世代世帯（384）	3.60	3.62	3.63	3.58	3.57	3.67	3.62	3.60	3.56	3.48	3.51	▲ 0.09	0.25		▲ 0.01	▲ 0.07	0.32		▲ 0.01
	その他（155）	3.12	3.28	3.15	3.19	3.19	3.44	3.42	3.31	3.27	3.27	3.37	0.06	0.67		0.01	0.18	0.10		0.01
子の数	1人（425）	3.44	3.54	3.56	3.49	3.55	3.54	3.51	3.52	3.41	3.55	3.63	0.11	0.13		0.01	0.14	0.06		0.02
	2人（1,088）	3.52	3.52	3.53	3.56	3.56	3.68	3.63	3.56	3.67	3.56	3.62	0.06	0.17		0.02	0.06	0.16		0.02
	3人（612）	3.51	3.59	3.60	3.53	3.58	3.63	3.66	3.70	3.62	3.64	3.66	▲ 0.04	0.47		▲ 0.01	0.13	0.02	**	0.02
	4人以上（112）	3.41	3.55	3.39	3.37	3.47	3.53	3.58	3.56	3.71	3.60	3.36	▲ 0.19	0.18		▲ 0.01	▲ 0.00	0.97		▲ 0.00
	子どもはいない（750）	3.23	3.26	3.25	3.12	3.23	3.18	3.25	3.25	3.22	3.30	3.37	0.12	0.06		0.03	0.25	0.00	**	0.06
居住年数	10年未満（参考）（101）	3.58	3.31	3.61	3.37	3.72	3.65	3.81	3.61	3.51	3.71	3.54	▲ 0.07	0.69		▲ 0.00	0.17	0.30		0.01
	10～20年未満（130）	3.49	3.58	3.45	3.66	3.48	3.86	3.52	3.81	3.60	3.58	3.76	▲ 0.04	0.75		▲ 0.00	0.10	0.47		0.00
	20年以上（2,827）	3.43	3.48	3.47	3.42	3.47	3.50	3.51	3.49	3.51	3.50	3.53	0.04	0.14		0.04	0.11	0.00	**	0.09
広域振興圏	県央（992）	3.51	3.56	3.55	3.53	3.52	3.59	3.49	3.55	3.61	3.53	3.63	0.09	0.09		0.02	0.10	0.04	**	0.03
	県南（1,000）	3.40	3.47	3.46	3.31	3.49	3.48	3.56	3.55	3.50	3.50	3.52	▲ 0.03	0.58		▲ 0.01	0.22	0.00	**	0.07
	沿岸（767）	3.46	3.45	3.46	3.52	3.48	3.55	3.48	3.39	3.47	3.51	3.49	0.10	0.07		0.02	▲ 0.03	0.60		▲ 0.01
	県北（559）	3.34	3.40	3.31	3.34	3.40	3.41	3.50	3.43	3.42	3.47	3.45	0.02	0.77		0.00	0.11	0.10		0.02

（ ）は、R8調査のサンプル数

R5比較 :上昇 :低下
H31比較 :上昇 :低下

○分野別実感

①こころやからだが健康だと感じますか

		H28	H29	H30	H31（計画開始年）	R２	R３	R４	R5（基準年）	R６	R７	R8	R8−R5（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−R5（寄与度）	R8−H31（対計画開始年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−H31（寄与度）
県計（3318）		2.99	3.03	2.99	3.00	3.15	3.07	3.20	3.18	3.22	3.21	3.22	0.05	0.14		0.05	0.22	0.00	**	0.22
性別	男性（1,593）	2.99	3.03	2.97	2.97	3.12	3.03	3.21	3.13	3.19	3.20	3.16	0.03	0.49		0.03	0.18	0.00	**	0.18
	女性（1,712）	2.99	3.04	3.00	3.03	3.18	3.11	3.20	3.21	3.24	3.21	3.28	0.07	0.08		0.03	0.25	0.00	**	0.12
	その他（参考）（4）					2.00	2.67	3.00	2.86	4.00	1.75	1.75	▲ 1.11	0.24		▲ 0.61				
年代	18～19歳（参考）（37）		3.16	3.27	3.85	3.67	3.85	3.71	3.89	3.89	4.15	4.00	0.11	0.69		0.00	0.15	0.57		0.00
	20～29歳（172）	3.20	3.06	3.12	3.04	3.25	3.01	3.22	3.18	3.44	3.44	3.50	0.32	0.03	**	0.00	0.46	0.00	**	0.01
	30～39歳（252）	3.01	2.88	2.88	2.80	3.12	3.00	3.16	3.14	3.15	3.21	3.08	▲ 0.06	0.59		▲ 0.00	0.28	0.01	**	0.01
	40～49歳（421）	2.92	2.88	2.91	2.85	3.04	2.99	3.09	3.08	3.04	2.96	3.15	0.06	0.43		0.01	0.29	0.00	**	0.02
	50～59歳（546）	2.91	2.96	2.99	2.90	3.06	2.82	3.10	3.12	3.13	3.12	3.08	▲ 0.04	0.56		▲ 0.01	0.18	0.01	**	0.02
	60～69歳（686）	3.03	3.11	3.03	3.05	3.19	3.20	3.21	3.19	3.21	3.22	3.18	▲ 0.01	0.83		▲ 0.00	0.13	0.03	**	0.02
	70歳以上（1,204）	2.98	3.15	2.99	3.13	3.20	3.18	3.29	3.22	3.31	3.27	3.30	0.08	0.11		0.02	0.17	0.00	**	0.04
職業	自営業主（261）	3.16	3.27	3.33	3.18	3.26	3.20	3.35	3.23	3.34	3.28	3.39	0.16	0.14		0.04	0.21	0.04	**	0.08
	家族従業員（参考）（71）	3.11	3.21	3.14	3.23	3.43	2.99	3.33	3.34	3.01	3.38	3.20	▲ 0.14	0.46		▲ 0.01	▲ 0.03	0.85		▲ 0.00
	会社役員・団体役員（179）	3.20	3.15	3.09	3.02	3.19	3.23	3.28	3.25	3.27	3.24	3.38	0.13	0.27		0.00	0.36	0.01	**	0.01
	常用雇用者（946）	3.01	2.96	2.95	2.91	3.10	3.00	3.17	3.16	3.20	3.17	3.17	0.01	0.79		0.00	0.26	0.00	**	0.01
	臨時雇用者（406）	2.96	3.01	2.96	3.04	3.22	3.02	3.14	3.11	3.24	3.22	3.33	0.22	0.01	**	0.06	0.28	0.00	**	0.08
	学生＋その他（152）	3.17	3.26	3.26	3.36	3.33	3.43	3.44	3.59	3.56	3.47	3.28	▲ 0.30	0.04	**	▲ 0.03	▲ 0.08	0.59		▲ 0.01
	専業主婦・主夫（281）	3.05	3.12	3.00	3.07	3.13	3.21	3.38	3.22	3.31	3.25	3.28	0.05	0.59		0.00	0.20	0.04	**	0.01
	60歳未満の無職（参考）（76）	2.31	2.07	2.55	2.32	2.47	2.25	2.48	2.68	2.58	2.87	2.82	0.14	0.52		0.02	0.50	0.02	**	0.04
	60歳以上の無職（691）	2.81	2.92	2.86	2.90	3.10	3.07	3.09	3.10	3.13	3.11	3.12	0.01	0.85		0.00	0.21	0.00	**	0.00
世帯構成	ひとり暮らし（473）	2.95	2.97	2.95	2.98	3.18	2.99	3.09	3.15	3.10	3.09	3.14	▲ 0.01	0.88		▲ 0.00	0.15	0.09		0.03
	夫婦のみ（728）	3.11	3.13	3.02	3.12	3.24	3.23	3.33	3.24	3.40	3.30	3.39	0.16	0.01	**	0.02	0.27	0.00	**	0.04
	2世代世帯（1,222）	2.94	3.04	3.01	3.00	3.10	3.02	3.17	3.13	3.20	3.20	3.16	0.02	0.64		0.00	0.16	0.00	**	0.04
	3世代世帯（384）	3.13	3.04	3.09	3.01	3.22	3.08	3.31	3.19	3.20	3.10	3.16	▲ 0.03	0.74		▲ 0.01	0.15	0.07		0.06
	その他（155）	2.78	2.86	2.79	2.82	2.96	3.15	2.99	3.15	3.08	3.16	3.19	0.03	0.83		0.00	0.37	0.00	**	0.04
子の数	1人（425）	2.96	3.00	2.99	2.96	3.13	3.01	3.15	3.23	3.12	3.20	3.29	0.06	0.49		0.01	0.33	0.00	**	0.02
	2人（1,088）	3.04	3.05	2.99	3.13	3.21	3.21	3.27	3.15	3.30	3.20	3.31	0.16	0.00	**	0.02	0.17	0.00	**	0.02
	3人（612）	3.01	3.17	3.11	3.02	3.17	3.12	3.29	3.30	3.29	3.28	3.25	▲ 0.05	0.44		▲ 0.02	0.23	0.00	**	0.08
	4人以上（112）	2.94	3.14	3.06	2.83	3.10	3.02	3.26	3.40	3.32	3.25	3.01	▲ 0.39	0.01	**	▲ 0.07	0.18	0.28		0.03
	子どもはいない（750）	2.93	2.88	2.90	2.82	3.04	2.89	3.06	3.05	3.05	3.10	3.08	0.03	0.61		0.00	0.26	0.00	**	0.01
居住年数	10年未満（参考）（101）	3.18	3.08	3.28	3.10	3.41	3.27	3.58	3.18	3.14	3.36	3.29	0.11	0.56		0.02	0.19	0.29		0.04
	10～20年未満（130）	3.19	3.01	3.18	3.40	3.31	3.49	3.42	3.57	3.39	3.42	3.56	▲ 0.01	0.96		▲ 0.00	0.16	0.31		0.00
	20年以上（2,827）	2.97	3.03	2.97	2.98	3.13	3.05	3.18	3.16	3.21	3.18	3.20	0.04	0.24		0.00	0.21	0.00	**	0.01
広域振興圏	県央（992）	3.09	3.06	3.08	3.09	3.22	3.14	3.21	3.24	3.24	3.21	3.31	0.07	0.19		0.06	0.22	0.00	**	0.19
	県南（1,000）	2.97	2.98	2.95	2.92	3.12	3.06	3.24	3.16	3.25	3.27	3.17	0.01	0.90		0.00	0.25	0.00	**	0.07
	沿岸（767）	2.95	3.02	2.96	3.03	3.15	3.02	3.13	3.16	3.16	3.17	3.19	0.03	0.63		0.01	0.16	0.01	**	0.05
	県北（559）	2.93	3.08	2.93	2.96	3.10	3.05	3.21	3.10	3.21	3.13	3.19	0.09	0.24		0.02	0.23	0.00	**	0.05

（　）は、R８調査のサンプル数

○分野別実感

R5比較 ■:上昇 ■:低下
H31比較 ■:上昇 ■:低下

②余暇が充実していると感じますか

		H28	H29	H30	H31（計画開始年）	R２	R３	R４	R5（基準年）	R６	R７	R8	R8−R5（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−R5（寄与度）	R8−H31（対計画開始年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−H31（寄与度）
	県計（3,318）	2.90	3.03	2.98	3.05	2.93	2.97	2.96	2.93	3.02	3.00	3.06	0.13	0.00	**	0.13	0.02	0.56		0.02
性別	男性（1,593）	2.84	2.96	2.93	3.01	2.90	2.95	2.95	2.91	2.99	2.97	3.00	0.10	0.03	**	0.10	▲ 0.00	0.95		▲ 0.00
	女性（1,712）	2.93	3.08	3.01	3.08	2.96	2.98	2.96	2.95	3.04	3.04	3.12	0.17	0.00	**	0.07	0.04	0.31		0.02
	その他（参考）（4）					2.33	3.83	3.00	2.29	3.50	1.40	2.00	▲ 0.29	0.72		▲ 0.16				
年代	18～19歳（参考）（37）		3.44	3.44	3.42	3.49	3.98	3.46	3.78	3.50	3.84	3.92	0.14	0.58		0.00	0.50	0.10		0.00
	20～29歳（172）	3.02	2.99	3.16	3.04	3.22	3.21	3.07	3.09	3.25	3.43	3.62	0.53	0.00	**	0.01	0.58	0.00	**	0.01
	30～39歳（252）	2.73	2.88	2.88	2.71	2.78	2.86	2.87	3.02	2.80	3.01	2.99	▲ 0.03	0.77		▲ 0.00	0.28	0.01	**	0.01
	40～49歳（421）	2.88	2.82	2.88	2.87	2.88	2.83	2.83	2.88	2.88	2.78	2.96	0.08	0.34		0.01	0.09	0.27		0.01
	50～59歳（546）	2.68	2.85	2.79	2.92	2.78	2.70	2.81	2.80	2.92	2.91	2.90	0.10	0.16		0.01	▲ 0.02	0.79		▲ 0.00
	60～69歳（686）	2.92	3.09	2.95	2.99	2.90	2.98	2.93	2.88	3.00	2.97	2.92	0.05	0.47		0.01	▲ 0.07	0.23		▲ 0.01
	70歳以上（1,204）	3.07	3.30	3.17	3.36	3.05	3.15	3.10	2.98	3.16	3.08	3.17	0.18	0.00	**	0.04	▲ 0.19	0.00	**	▲ 0.04
職業	自営業主（261）	2.83	3.04	3.12	2.98	2.87	3.03	2.94	2.81	3.08	2.94	3.02	0.20	0.08		0.05	0.03	0.74		0.01
	家族従業員（参考）（71）	2.77	3.21	2.70	3.00	2.82	2.71	2.99	3.02	2.77	3.01	3.00	▲ 0.02	0.91		▲ 0.00	0.00	1.00		0.00
	会社役員・団体役員（179）	2.85	3.01	3.12	2.88	2.97	3.01	3.05	3.03	2.91	2.94	3.19	0.16	0.20		0.01	0.31	0.01	**	0.01
	常用雇用者（946）	2.82	2.87	2.82	2.89	2.85	2.86	2.84	2.90	2.95	2.91	2.99	0.09	0.12		0.01	0.10	0.08		0.01
	臨時雇用者（406）	2.75	2.93	2.89	3.01	2.96	2.87	2.89	2.86	2.98	3.03	3.11	0.24	0.00	**	0.07	0.10	0.25		0.03
	学生＋その他（152）	2.98	3.16	3.40	3.22	3.03	3.38	3.23	3.33	3.22	3.32	3.25	▲ 0.07	0.63		▲ 0.01	0.03	0.81		0.00
	専業主婦・主夫（281）	3.11	3.18	3.12	3.15	3.05	3.14	3.13	3.05	3.20	3.14	3.17	0.12	0.24		0.01	0.02	0.83		0.00
	60歳未満の無職（参考）（76）	2.50	2.63	3.02	3.10	2.70	2.54	2.64	2.72	2.81	3.00	3.14	0.42	0.05	**	0.05	0.04	0.87		0.00
	60歳以上の無職（691）	3.03	3.20	3.03	3.26	2.97	3.09	3.00	2.89	3.09	3.02	3.08	0.19	0.01	**	0.00	▲ 0.18	0.01	**	▲ 0.00
世帯構成	ひとり暮らし（473）	2.87	3.04	2.98	3.02	2.98	2.92	2.92	2.97	3.03	2.98	3.04	0.07	0.41		0.01	0.02	0.80		0.00
	夫婦のみ（728）	3.13	3.20	3.12	3.24	3.08	3.13	3.07	3.00	3.23	3.08	3.25	0.25	0.00	**	0.03	0.01	0.86		0.00
	2世代世帯（1,222）	2.80	2.98	2.94	2.97	2.84	2.92	2.93	2.90	2.94	2.99	2.99	0.09	0.07		0.02	0.02	0.73		0.00
	3世代世帯（384）	2.92	2.99	2.99	3.00	2.99	2.94	2.98	2.89	3.02	2.89	2.97	0.08	0.35		0.03	▲ 0.02	0.77		▲ 0.01
	その他（155）	2.71	2.93	2.79	2.96	2.72	2.98	2.77	2.89	2.78	2.97	3.00	0.11	0.46		0.02	0.04	0.75		0.00
子の数	1人（425）	2.88	3.05	2.97	3.05	2.87	2.86	2.91	3.02	2.91	2.93	3.13	0.11	0.21		0.01	0.08	0.32		0.00
	2人（1,088）	2.93	3.07	2.94	3.10	2.99	3.07	3.02	2.93	3.08	2.96	3.08	0.15	0.00	**	0.02	▲ 0.02	0.67		▲ 0.00
	3人（612）	2.88	3.06	3.05	3.08	2.92	2.98	2.99	2.89	3.04	3.08	3.06	0.18	0.01	**	0.06	▲ 0.01	0.87		▲ 0.00
	4人以上（112）	2.80	2.99	2.98	3.05	2.78	2.90	2.92	2.93	3.22	2.95	2.90	▲ 0.03	0.86		▲ 0.01	▲ 0.15	0.33		▲ 0.03
	子どもはいない（750）	2.84	2.92	2.97	2.92	2.91	2.91	2.88	2.94	2.94	3.05	3.06	0.12	0.07		0.01	0.14	0.03	**	0.00
居住年数	10年未満（参考）（101）	2.84	2.78	2.88	3.12	3.17	3.23	3.18	3.05	2.85	3.26	3.04	▲ 0.01	0.96		▲ 0.00	▲ 0.08	0.65		▲ 0.02
	10～20年未満（130）	2.86	3.05	3.17	3.17	3.13	3.31	3.21	3.31	3.13	3.15	3.51	0.20	0.21		0.01	0.34	0.03	**	0.01
	20年以上（2,827）	2.89	3.04	2.97	3.03	2.91	2.95	2.94	2.91	3.02	2.99	3.05	0.14	0.00	**	0.01	0.01	0.65		0.00
広域振興圏	県央（992）	2.97	3.10	3.10	3.17	2.99	3.07	2.99	3.03	3.10	3.05	3.17	0.14	0.01	**	0.12	0.00	0.93		0.00
	県南（1,000）	2.92	3.01	2.99	2.95	2.92	2.90	2.97	2.90	3.00	3.00	3.03	0.13	0.02	**	0.04	0.08	0.13		0.02
	沿岸（767）	2.84	2.98	2.93	3.09	2.90	2.96	2.90	2.87	2.97	2.98	2.98	0.11	0.08		0.03	▲ 0.10	0.09		▲ 0.03
	県北（559）	2.82	3.03	2.83	2.96	2.90	2.93	2.97	2.90	3.00	2.98	3.04	0.14	0.08		0.03	0.08	0.27		0.02

（　）は、R８調査のサンプル数

○分野別実感

R5比較 :上昇 :低下
H31比較 :上昇 :低下

③家族と良い関係が取れていると感じますか

		H28	H29	H30	H31（計画開始年）	R２	R３	R４	R5（基準年）	R６	R７	R8	R8−R5（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−R5（寄与度）	R8−H31（対計画開始年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−H31（寄与度）
	県計（3,318）	3.84	3.84	3.88	3.84	3.86	3.85	3.91	3.91	3.88	3.91	3.93	0.03	0.35		0.03	0.09	0.00	**	0.09
性別	男性（1,593）	3.82	3.82	3.86	3.84	3.84	3.86	3.87	3.90	3.84	3.90	3.85	▲ 0.05	0.25		▲ 0.05	0.01	0.70		0.01
	女性（1,712）	3.85	3.86	3.90	3.84	3.88	3.85	3.94	3.91	3.90	3.93	4.01	0.10	0.01	**	0.04	0.17	0.00	**	0.08
	その他（参考）（4）					3.50	4.20	2.67	3.86	4.50	3.25	3.50	▲ 0.36	0.68		▲ 0.20				
年代	18～19歳（参考）（37）		3.80	4.15	4.44	4.12	4.13	4.27	4.36	4.33	4.65	4.34	▲ 0.02	0.93		0.00	▲ 0.10	0.65		▲ 0.00
	20～29歳（172）	4.00	4.06	4.11	4.05	3.98	3.98	4.05	4.10	4.16	4.38	4.28	0.18	0.13		0.00	0.23	0.04	**	0.00
	30～39歳（252）	3.88	3.85	3.88	3.83	3.89	3.94	3.89	4.00	3.98	4.06	4.04	0.04	0.64		0.00	0.21	0.02	**	0.01
	40～49歳（421）	3.88	3.78	3.85	3.77	3.91	3.80	3.95	3.93	3.76	3.87	3.90	▲ 0.03	0.74		▲ 0.00	0.13	0.10		0.01
	50～59歳（546）	3.70	3.76	3.87	3.72	3.78	3.71	3.78	3.90	3.81	3.75	3.87	▲ 0.03	0.65		▲ 0.00	0.15	0.03	**	0.02
	60～69歳（686）	3.82	3.81	3.87	3.77	3.78	3.84	3.86	3.80	3.81	3.80	3.81	0.01	0.91		0.00	0.04	0.49		0.01
	70歳以上（1,204）	3.86	3.93	3.86	3.96	3.93	3.91	3.96	3.90	3.93	3.98	3.96	0.06	0.20		0.01	▲ 0.00	0.92		▲ 0.00
職業	自営業主（261）	3.84	3.92	4.03	3.87	3.86	3.86	3.93	3.99	4.03	3.95	3.92	▲ 0.07	0.49		▲ 0.02	0.05	0.57		0.02
	家族従業員（参考）（71）	3.79	3.91	3.83	3.91	3.95	3.74	4.08	3.68	3.83	3.85	4.11	0.43	0.01	**	0.03	0.20	0.16		0.02
	会社役員・団体役員（179）	3.98	3.94	3.94	3.73	3.83	3.98	4.01	4.05	3.97	4.01	4.12	0.07	0.50		0.00	0.39	0.00	**	0.01
	常用雇用者（946）	3.89	3.85	3.95	3.84	3.88	3.86	3.90	3.95	3.87	3.92	3.94	▲ 0.01	0.81		▲ 0.00	0.09	0.07		0.00
	臨時雇用者（406）	3.76	3.80	3.78	3.77	3.80	3.75	3.81	3.83	3.77	3.86	3.91	0.08	0.35		0.02	0.14	0.09		0.04
	学生＋その他（152）	3.78	3.99	4.16	3.87	3.96	4.17	4.15	4.03	3.99	4.04	4.03	0.00	0.99		0.00	0.16	0.21		0.02
	専業主婦・主夫（281）	3.88	3.88	3.92	3.91	3.93	4.04	4.06	4.06	4.02	3.97	4.03	▲ 0.03	0.74		▲ 0.00	0.11	0.18		0.01
	60歳未満の無職（参考）（76）	3.35	3.21	3.64	3.52	3.28	3.16	3.10	3.31	3.48	3.49	3.75	0.44	0.04	**	0.05	0.23	0.30		0.02
	60歳以上の無職（691）	3.81	3.77	3.74	3.89	3.86	3.79	3.85	3.80	3.83	3.89	3.86	0.06	0.35		0.00	▲ 0.03	0.63		▲ 0.00
世帯構成	ひとり暮らし（473）	3.63	3.60	3.76	3.68	3.70	3.65	3.68	3.63	3.53	3.69	3.71	0.08	0.38		0.02	0.04	0.69		0.01
	夫婦のみ（728）	4.05	4.00	4.04	4.02	4.03	4.02	4.10	4.09	4.15	4.07	4.16	0.07	0.17		0.01	0.14	0.00	**	0.02
	2世代世帯（1,222）	3.78	3.87	3.86	3.82	3.85	3.85	3.93	3.90	3.89	3.94	3.93	0.02	0.57		0.01	0.10	0.02	**	0.02
	3世代世帯（384）	3.88	3.80	3.92	3.86	3.85	3.81	3.88	3.87	3.81	3.87	3.87	0.01	0.94		0.00	0.01	0.84		0.01
	その他（155）	3.67	3.69	3.76	3.69	3.70	3.76	3.61	3.81	3.70	3.61	3.81	0.00	0.99		0.00	0.12	0.30		0.01
子の数	1人（425）	3.85	3.87	3.88	3.90	3.94	3.82	3.90	3.98	3.82	3.89	4.07	0.09	0.23		0.01	0.17	0.02	**	0.01
	2人（1,088）	3.90	3.87	3.92	3.92	3.93	3.95	3.97	3.97	3.97	3.96	4.00	0.02	0.62		0.00	0.07	0.09		0.01
	3人（612）	3.89	3.85	3.92	3.83	3.82	3.86	3.96	3.91	3.96	3.90	3.96	0.05	0.39		0.02	0.13	0.03	**	0.04
	4人以上（112）	3.82	3.88	3.91	3.69	3.86	3.68	3.81	3.90	3.90	4.03	3.74	▲ 0.15	0.31		▲ 0.03	0.05	0.75		0.01
	子どもはいない（750）	3.68	3.79	3.80	3.73	3.73	3.74	3.81	3.82	3.73	3.88	3.83	0.01	0.87		0.00	0.10	0.12		0.00
居住年数	10年未満（参考）（101）	3.94	3.91	3.84	3.98	3.98	3.86	4.15	4.25	3.85	4.09	3.99	▲ 0.26	0.09		▲ 0.06	0.01	0.94		0.00
	10～20年未満（130）	3.98	3.87	4.01	4.04	3.93	4.14	3.97	4.16	3.98	4.07	4.07	▲ 0.08	0.56		▲ 0.00	0.03	0.84		0.00
	20年以上（2,827）	3.83	3.84	3.88	3.83	3.85	3.83	3.90	3.89	3.88	3.90	3.93	0.04	0.15		0.00	0.10	0.00	**	0.00
広域振興圏	県央（992）	3.89	3.86	3.99	3.90	3.89	3.94	3.91	3.97	3.93	3.96	4.01	0.03	0.48		0.03	0.11	0.02	**	0.09
	県南（1,000）	3.78	3.81	3.80	3.74	3.83	3.81	3.89	3.87	3.83	3.86	3.88	0.02	0.72		0.00	0.14	0.01	**	0.04
	沿岸（767）	3.89	3.85	3.94	3.97	3.90	3.86	3.92	3.91	3.89	3.91	3.96	0.05	0.40		0.01	▲ 0.01	0.90		▲ 0.00
	県北（559）	3.78	3.85	3.76	3.74	3.82	3.74	3.90	3.85	3.84	3.93	3.85	0.00	0.99		0.00	0.11	0.10		0.03

（ ）は、R８調査のサンプル数

○分野別実感

R5比較 :上昇 :低下
H31比較 :上昇 :低下

④子育てがしやすいと感じますか

		H28	H29	H30	H31（計画開始年）	R２	R３	R４	R5（基準年）	R６	R７	R8	R8−R5（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−R5（寄与度）	R8−H31（対計画開始年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−H31（寄与度）
	県計（3,318）	2.98	3.09	3.02	3.08	3.07	3.16	3.16	3.06	3.03	3.07	3.05	▲ 0.01	0.79		▲ 0.01	▲ 0.03	0.35		▲ 0.03
性別	男性（1,593）	2.98	3.02	2.98	3.05	3.04	3.11	3.13	2.99	2.96	3.02	2.93	▲ 0.06	0.19		▲ 0.06	▲ 0.11	0.01	**	▲ 0.11
	女性（1,712）	2.97	3.14	3.04	3.11	3.10	3.21	3.18	3.11	3.10	3.11	3.17	0.06	0.19		0.02	0.05	0.24		0.03
	その他（参考）（4）					3.60	3.50	2.67	3.60	1.00	1.00	2.00	▲ 1.60	0.14		▲ 0.88				
年代	18～19歳（参考）（37）		3.00	2.95	3.00	3.37	2.95	3.59	3.26	3.50	3.22	3.04	▲ 0.22	0.53		0.00	0.04	0.92		0.00
	20～29歳（172）	2.83	2.84	2.75	2.80	2.89	2.99	3.12	2.72	3.00	2.94	2.91	0.19	0.25		0.00	0.11	0.48		0.00
	30～39歳（252）	2.83	2.93	2.68	3.03	2.82	3.22	3.07	2.84	2.61	2.95	2.79	▲ 0.05	0.68		▲ 0.00	▲ 0.24	0.03	**	▲ 0.01
	40～49歳（421）	3.05	3.07	3.09	3.09	3.05	3.28	3.10	2.97	2.87	2.92	3.03	0.06	0.49		0.01	▲ 0.06	0.48		▲ 0.00
	50～59歳（546）	2.89	3.04	3.03	3.06	2.99	3.02	2.99	3.05	3.00	3.02	2.99	▲ 0.06	0.42		▲ 0.01	▲ 0.07	0.36		▲ 0.01
	60～69歳（686）	2.95	3.13	3.07	2.99	3.04	3.11	3.10	3.02	3.00	3.02	3.02	▲ 0.00	0.98		▲ 0.00	0.02	0.71		0.00
	70歳以上（1,204）	3.16	3.25	3.12	3.29	3.27	3.27	3.33	3.24	3.23	3.23	3.20	▲ 0.05	0.37		▲ 0.01	▲ 0.09	0.13		▲ 0.02
職業	自営業主（261）	3.06	3.19	3.18	3.16	3.08	3.26	3.25	3.12	3.18	3.03	3.07	▲ 0.04	0.70		▲ 0.01	▲ 0.09	0.39		▲ 0.03
	家族従業員（参考）（71）	3.14	3.33	2.99	3.21	3.32	3.14	3.43	3.27	2.93	3.14	3.31	0.04	0.85		0.00	0.10	0.62		0.01
	会社役員・団体役員（179）	2.95	3.24	2.93	2.94	2.95	3.29	3.27	3.06	2.98	3.14	3.13	0.07	0.54		0.00	0.19	0.14		0.00
	常用雇用者（946）	2.95	2.98	2.96	3.06	2.96	3.13	3.01	3.01	2.91	2.97	2.91	▲ 0.10	0.08		▲ 0.01	▲ 0.14	0.01	**	▲ 0.01
	臨時雇用者（406）	2.87	3.05	3.00	3.05	3.08	3.11	3.08	2.92	3.05	2.95	3.13	0.21	0.02	**	0.06	0.08	0.32		0.02
	学生＋その他（152）	2.99	3.10	3.18	3.02	3.01	3.05	3.28	3.05	3.18	2.97	2.93	▲ 0.12	0.44		▲ 0.01	▲ 0.09	0.58		▲ 0.01
	専業主婦・主夫（281）	3.00	3.23	3.04	3.04	3.17	3.27	3.27	3.19	3.21	3.34	3.27	0.08	0.42		0.00	0.23	0.02	**	0.01
	60歳未満の無職（参考）（76）	2.53	2.48	2.45	2.56	2.46	3.00	2.81	2.58	2.50	3.08	2.89	0.30	0.23		0.03	0.33	0.30		0.03
	60歳以上の無職（691）	3.05	3.05	3.07	3.20	3.21	3.10	3.20	3.09	3.12	3.13	3.02	▲ 0.07	0.34		▲ 0.00	▲ 0.18	0.02	**	▲ 0.00
世帯構成	ひとり暮らし（473）	2.71	2.80	2.86	2.80	2.94	2.97	3.00	3.01	2.90	2.98	2.90	▲ 0.11	0.27		▲ 0.02	0.10	0.34		0.02
	夫婦のみ（728）	2.95	3.13	3.00	3.06	3.13	3.13	3.14	3.10	3.13	3.10	3.12	0.02	0.73		0.00	0.06	0.39		0.01
	2世代世帯（1,222）	2.97	3.12	3.05	3.12	3.05	3.18	3.18	3.04	2.98	3.05	3.04	▲ 0.00	0.98		▲ 0.00	▲ 0.08	0.10		▲ 0.02
	3世代世帯（384）	3.17	3.17	3.13	3.24	3.16	3.23	3.22	3.08	3.12	3.13	3.01	▲ 0.07	0.43		▲ 0.02	▲ 0.23	0.00	**	▲ 0.08
	その他（155）	2.81	2.95	2.81	2.93	2.94	3.31	3.08	2.85	3.05	2.89	2.86	0.01	0.93		0.00	▲ 0.07	0.62		▲ 0.01
子の数	1人（425）	2.87	3.14	3.05	3.11	3.17	3.21	3.27	3.07	2.93	3.07	3.17	0.09	0.27		0.01	0.06	0.49		0.00
	2人（1,088）	3.09	3.14	3.06	3.18	3.16	3.25	3.21	3.16	3.14	3.11	3.12	▲ 0.04	0.45		▲ 0.00	▲ 0.05	0.28		▲ 0.01
	3人（612）	3.04	3.19	3.19	3.19	3.09	3.20	3.18	3.10	3.12	3.08	3.12	0.02	0.77		0.01	▲ 0.07	0.32		▲ 0.02
	4人以上（112）	3.11	3.15	3.12	2.96	2.99	3.12	3.03	3.03	3.12	3.23	2.87	▲ 0.16	0.31		▲ 0.03	▲ 0.09	0.55		▲ 0.02
	子どもはいない（750）	2.61	2.73	2.63	2.60	2.72	2.83	2.87	2.70	2.71	2.81	2.68	▲ 0.01	0.87		▲ 0.00	0.09	0.26		0.00
居住年数	10年未満（参考）（101）	2.74	2.77	2.79	2.90	3.00	3.11	3.17	2.77	2.80	3.14	2.83	0.06	0.76		0.01	▲ 0.06	0.77		▲ 0.01
	10～20年未満（130）	2.82	3.02	2.98	3.12	3.07	3.19	3.30	3.18	3.00	3.21	3.01	▲ 0.17	0.32		▲ 0.01	▲ 0.11	0.54		▲ 0.00
	20年以上（2,827）	2.99	3.10	3.02	3.09	3.07	3.16	3.14	3.06	3.05	3.05	3.05	▲ 0.01	0.79		▲ 0.00	▲ 0.04	0.28		▲ 0.00
広域振興圏	県央（992）	3.05	3.05	3.11	3.20	3.10	3.28	3.21	3.11	3.09	3.14	3.17	0.07	0.25		0.06	▲ 0.03	0.58		▲ 0.03
	県南（1,000）	2.98	3.15	3.03	2.97	3.06	3.11	3.14	3.05	3.04	3.07	3.03	▲ 0.03	0.65		▲ 0.01	0.06	0.31		0.02
	沿岸（767）	2.93	3.02	2.97	3.14	3.05	3.11	3.09	3.02	3.00	3.02	3.02	▲ 0.00	0.98		▲ 0.00	▲ 0.12	0.07		▲ 0.04
	県北（559）	2.94	3.13	2.93	3.01	3.05	3.13	3.22	3.05	2.97	3.02	2.94	▲ 0.12	0.13		▲ 0.03	▲ 0.08	0.32		▲ 0.02

（ ）は、R８調査のサンプル数

○分野別実感

R5比較 :上昇 :低下
H31比較 :上昇 :低下

⑤子どものためになる教育が行われていると感じますか

		H28	H29	H30	H31（計画開始年）	R２	R３	R４	R5（基準年）	R６	R７	R8	R8−R5（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−R5（寄与度）	R8−H31（対計画開始年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−H31（寄与度）
県計（3,318）		3.16	3.12	3.13	3.10	3.09	3.20	3.18	3.14	3.13	3.15	3.14	▲ 0.00	0.98		▲ 0.00	0.03	0.25		0.03
性別	男性（1,593）	3.13	3.08	3.08	3.08	3.07	3.17	3.17	3.10	3.09	3.13	3.04	▲ 0.05	0.23		▲ 0.05	▲ 0.03	0.44		▲ 0.03
	女性（1,712）	3.17	3.14	3.16	3.12	3.11	3.23	3.19	3.17	3.17	3.17	3.22	0.05	0.19		0.02	0.10	0.02	**	0.05
	その他（参考）（4）					2.80	4.00	2.67	2.75	1.00	1.67	2.50	▲ 0.25	0.81		▲ 0.14				
年代	18～19歳（参考）（37）		3.27	3.08	3.38	3.38	3.71	3.50	3.32	3.00	3.42	3.71	0.39	0.18		0.00	0.33	0.28		0.00
	20～29歳（172）	2.99	2.91	2.94	2.92	2.96	3.06	3.19	3.01	3.18	3.16	3.20	0.19	0.20		0.00	0.28	0.04	**	0.00
	30～39歳（252）	3.04	3.04	2.93	2.98	2.96	3.28	3.11	3.12	3.01	3.03	3.06	▲ 0.06	0.58		▲ 0.00	0.08	0.44		0.00
	40～49歳（421）	3.19	3.08	3.19	3.14	3.05	3.26	3.12	3.03	2.96	3.12	3.02	▲ 0.02	0.84		▲ 0.00	▲ 0.12	0.11		▲ 0.01
	50～59歳（546）	3.02	3.02	3.01	3.05	2.96	3.02	3.00	3.03	3.03	3.05	2.93	▲ 0.09	0.18		▲ 0.01	▲ 0.12	0.07		▲ 0.02
	60～69歳（686）	3.11	3.10	3.13	2.95	3.04	3.14	3.09	3.06	3.07	3.09	3.08	0.02	0.76		0.00	0.13	0.02	**	0.02
	70歳以上（1,204）	3.39	3.34	3.28	3.33	3.31	3.35	3.37	3.32	3.32	3.28	3.31	▲ 0.01	0.89		▲ 0.00	▲ 0.02	0.76		▲ 0.00
職業	自営業主（261）	3.19	3.08	3.25	3.14	3.22	3.25	3.28	3.15	3.29	3.16	3.05	▲ 0.09	0.39		▲ 0.02	▲ 0.09	0.39		▲ 0.03
	家族従業員（参考）（71）	3.32	3.17	3.13	3.19	3.33	3.27	3.34	3.19	2.95	3.26	3.38	0.19	0.33		0.01	0.19	0.27		0.02
	会社役員・団体役員（179）	3.09	3.10	3.04	2.97	3.05	3.26	3.16	3.06	3.11	3.14	3.16	0.10	0.36		0.00	0.19	0.10		0.00
	常用雇用者（946）	3.09	3.03	3.01	3.03	2.98	3.16	3.05	3.11	3.03	3.06	3.01	▲ 0.10	0.06		▲ 0.01	▲ 0.02	0.72		▲ 0.00
	臨時雇用者（406）	3.10	3.15	3.14	3.09	3.07	3.08	3.07	2.96	3.13	3.11	3.19	0.22	0.01	**	0.06	0.09	0.24		0.03
	学生＋その他（152）	3.06	3.17	3.24	3.21	2.99	3.27	3.29	3.19	3.26	3.14	3.18	▲ 0.02	0.91		▲ 0.00	▲ 0.04	0.80		▲ 0.00
	専業主婦・主夫（281）	3.22	3.17	3.21	3.17	3.17	3.36	3.27	3.26	3.25	3.38	3.29	0.03	0.75		0.00	0.12	0.19		0.01
	60歳未満の無職（参考）（76）	2.75	3.11	2.87	2.76	2.48	3.06	2.83	2.57	2.53	3.15	2.91	0.34	0.14		0.04	0.15	0.65		0.01
	60歳以上の無職（691）	3.30	3.22	3.20	3.17	3.18	3.20	3.29	3.26	3.21	3.16	3.21	▲ 0.05	0.48		▲ 0.00	0.04	0.60		0.00
世帯構成	ひとり暮らし（473）	3.05	3.05	3.01	2.93	2.95	3.01	3.03	3.15	3.08	3.06	3.13	▲ 0.02	0.86		▲ 0.00	0.20	0.04	**	0.04
	夫婦のみ（728）	3.13	3.12	3.11	3.11	3.16	3.20	3.16	3.19	3.16	3.16	3.21	0.02	0.77		0.00	0.10	0.09		0.01
	2世代世帯（1,222）	3.10	3.12	3.11	3.10	3.07	3.19	3.19	3.10	3.10	3.14	3.08	▲ 0.01	0.76		▲ 0.00	▲ 0.01	0.75		▲ 0.00
	3世代世帯（384）	3.32	3.21	3.27	3.20	3.15	3.31	3.24	3.18	3.26	3.17	3.16	▲ 0.02	0.78		▲ 0.01	▲ 0.04	0.60		▲ 0.01
	その他（155）	3.11	3.02	2.99	3.05	3.00	3.37	3.15	2.99	3.04	3.07	3.08	0.09	0.55		0.01	0.03	0.78		0.00
子の数	1人（425）	3.07	3.15	3.16	3.09	3.13	3.24	3.19	3.14	3.05	3.10	3.24	0.10	0.22		0.01	0.15	0.05		0.01
	2人（1,088）	3.19	3.11	3.13	3.14	3.16	3.29	3.24	3.22	3.18	3.22	3.18	▲ 0.04	0.36		▲ 0.01	0.03	0.48		0.00
	3人（612）	3.26	3.24	3.24	3.23	3.13	3.23	3.23	3.17	3.23	3.14	3.20	0.03	0.64		0.01	▲ 0.03	0.61		▲ 0.01
	4人以上（112）	3.19	3.17	3.24	3.09	3.14	3.14	3.11	3.15	3.21	3.19	2.88	▲ 0.27	0.07		▲ 0.05	▲ 0.21	0.14		▲ 0.04
	子どもはいない（750）	2.96	2.94	2.92	2.84	2.80	2.98	2.96	2.88	2.93	2.99	2.97	0.09	0.22		0.00	0.13	0.07		0.00
居住年数	10年未満（参考）（101）	2.80	2.79	2.85	2.78	2.95	3.16	3.26	2.96	2.76	3.17	2.99	0.03	0.87		0.01	0.20	0.26		0.05
	10～20年未満（130）	2.98	3.03	3.11	3.21	3.11	3.32	3.35	3.12	3.04	3.20	3.35	0.23	0.17		0.01	0.14	0.38		0.00
	20年以上（2,827）	3.17	3.13	3.13	3.10	3.09	3.20	3.16	3.14	3.14	3.14	3.13	▲ 0.01	0.74		▲ 0.00	0.03	0.33		0.00
広域振興圏	県央（992）	3.13	3.12	3.14	3.14	3.10	3.28	3.21	3.15	3.13	3.19	3.22	0.07	0.18		0.06	0.08	0.15		0.07
	県南（1,000）	3.17	3.10	3.12	3.06	3.10	3.16	3.15	3.13	3.13	3.14	3.09	▲ 0.04	0.44		▲ 0.01	0.03	0.52		0.01
	沿岸（767）	3.12	3.10	3.13	3.14	3.05	3.17	3.13	3.09	3.16	3.10	3.09	0.01	0.93		0.00	▲ 0.04	0.50		▲ 0.01
	県北（559）	3.27	3.17	3.10	3.07	3.12	3.19	3.27	3.19	3.10	3.16	3.12	▲ 0.07	0.38		▲ 0.02	0.05	0.45		0.01

（　）は、R８調査のサンプル数

○分野別実感

R5比較 :上昇 :低下
H31比較 :上昇 :低下

⑥住まいに快適さを感じますか

		H28	H29	H30	H31（計画開始年）	R２	R３	R４	R5（基準年）	R６	R７	R8	R8−R5（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−R5（寄与度）	R8−H31（対計画開始年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−H31（寄与度）
	県計(3,318)	3.19	3.37	3.30	3.34	3.29	3.31	3.31	3.29	3.31	3.30	3.32	0.03	0.36		0.03	▲ 0.01	0.64		▲ 0.01
性別	男性(1,593)	3.20	3.32	3.26	3.35	3.26	3.30	3.27	3.28	3.27	3.33	3.29	0.01	0.90		0.01	▲ 0.06	0.17		▲ 0.06
	女性(1,712)	3.17	3.40	3.33	3.32	3.33	3.32	3.34	3.30	3.36	3.28	3.35	0.05	0.24		0.02	0.03	0.48		0.01
	その他(参考)(4)					2.33	2.40	4.33	3.00	2.50	2.00	2.75	▲ 0.25	0.68		▲ 0.14				
年代	18～19歳(参考)(37)		3.40	3.54	3.97	3.60	3.70	3.73	4.03	3.89	4.08	3.70	▲ 0.33	0.22		0.00	▲ 0.27	0.34		▲ 0.00
	20～29歳(172)	3.34	3.34	3.27	3.20	3.18	3.32	3.48	3.26	3.43	3.40	3.43	0.17	0.23		0.00	0.23	0.07		0.00
	30～39歳(252)	3.01	3.28	3.27	3.13	3.11	3.23	3.25	3.20	3.26	3.32	3.36	0.16	0.16		0.01	0.22	0.03	**	0.01
	40～49歳(421)	3.14	3.33	3.32	3.23	3.32	3.30	3.21	3.33	3.26	3.18	3.34	0.01	0.86		0.00	0.11	0.19		0.01
	50～59歳(546)	3.05	3.18	3.14	3.26	3.22	3.11	3.22	3.21	3.17	3.21	3.17	▲ 0.05	0.55		▲ 0.01	▲ 0.09	0.19		▲ 0.01
	60～69歳(686)	3.18	3.40	3.22	3.28	3.22	3.28	3.21	3.16	3.26	3.17	3.17	0.00	0.95		0.00	▲ 0.11	0.06		▲ 0.02
	70歳以上(1,204)	3.35	3.55	3.45	3.54	3.45	3.49	3.44	3.41	3.43	3.44	3.44	0.03	0.52		0.01	▲ 0.10	0.04	**	▲ 0.02
職業	自営業主(261)	3.23	3.42	3.49	3.43	3.32	3.37	3.35	3.36	3.39	3.43	3.45	0.09	0.44		0.02	0.02	0.82		0.01
	家族従業員(参考)(71)	3.09	3.64	3.30	3.36	3.31	3.05	3.53	3.36	3.30	3.33	3.49	0.13	0.50		0.01	0.13	0.49		0.01
	会社役員・団体役員(179)	3.29	3.52	3.35	3.37	3.33	3.50	3.38	3.36	3.35	3.52	3.56	0.20	0.08		0.01	0.19	0.11		0.00
	常用雇用者(946)	3.17	3.28	3.20	3.29	3.22	3.25	3.28	3.24	3.24	3.21	3.24	▲ 0.00	0.98		▲ 0.00	▲ 0.05	0.34		▲ 0.00
	臨時雇用者(406)	3.01	3.28	3.13	3.16	3.19	3.12	3.20	3.12	3.25	3.16	3.22	0.11	0.24		0.03	0.06	0.48		0.02
	学生＋その他(152)	3.31	3.43	3.67	3.51	3.41	3.51	3.47	3.58	3.57	3.42	3.48	▲ 0.10	0.48		▲ 0.01	▲ 0.04	0.79		▲ 0.00
	専業主婦・主夫(281)	3.25	3.43	3.37	3.37	3.48	3.52	3.47	3.36	3.46	3.37	3.37	0.00	0.98		0.00	▲ 0.01	0.93		▲ 0.00
	60歳未満の無職(参考)(76)	2.64	2.91	3.36	3.07	2.90	2.80	2.92	3.10	2.81	3.32	3.16	0.06	0.78		0.01	0.09	0.69		0.01
	60歳以上の無職(691)	3.25	3.41	3.29	3.39	3.33	3.40	3.30	3.31	3.34	3.30	3.34	0.03	0.71		0.00	▲ 0.05	0.43		▲ 0.00
世帯構成	ひとり暮らし(473)	3.14	3.24	3.17	3.15	3.20	3.09	3.03	3.14	3.10	3.20	3.10	▲ 0.04	0.68		▲ 0.01	▲ 0.04	0.62		▲ 0.01
	夫婦のみ(728)	3.32	3.44	3.37	3.45	3.45	3.42	3.37	3.40	3.47	3.34	3.44	0.04	0.55		0.00	▲ 0.01	0.82		▲ 0.00
	2世代世帯(1,222)	3.16	3.38	3.35	3.35	3.28	3.28	3.38	3.28	3.30	3.33	3.34	0.05	0.29		0.01	▲ 0.02	0.74		▲ 0.00
	3世代世帯(384)	3.23	3.39	3.31	3.42	3.31	3.40	3.32	3.29	3.35	3.21	3.34	0.05	0.58		0.02	▲ 0.07	0.38		▲ 0.03
	その他(155)	2.95	3.27	3.09	3.19	3.02	3.41	3.10	3.15	3.27	3.27	3.22	0.06	0.68		0.01	0.03	0.80		0.00
子の数	1人(425)	3.12	3.43	3.28	3.33	3.37	3.20	3.27	3.33	3.16	3.31	3.48	0.15	0.08		0.02	0.15	0.07		0.01
	2人(1,088)	3.24	3.40	3.33	3.40	3.37	3.46	3.37	3.36	3.43	3.30	3.38	0.02	0.71		0.00	▲ 0.02	0.73		▲ 0.00
	3人(612)	3.23	3.43	3.33	3.40	3.28	3.35	3.38	3.31	3.38	3.36	3.35	0.04	0.63		0.01	▲ 0.05	0.45		▲ 0.02
	4人以上(112)	2.99	3.22	3.30	3.26	3.20	3.24	3.22	3.05	3.39	3.20	2.94	▲ 0.11	0.49		▲ 0.02	▲ 0.32	0.03	**	▲ 0.06
	子どもはいない(750)	3.14	3.24	3.24	3.20	3.14	3.15	3.21	3.20	3.17	3.26	3.25	0.05	0.43		0.00	0.05	0.46		0.00
居住年数	10年未満(参考)(101)	3.06	3.23	3.17	2.96	3.34	3.33	3.15	3.27	3.18	3.49	3.09	▲ 0.18	0.33		▲ 0.04	0.13	0.48		0.03
	10～20年未満(130)	3.01	3.38	3.27	3.50	3.41	3.60	3.39	3.66	3.56	3.58	3.38	▲ 0.28	0.08		▲ 0.01	▲ 0.12	0.44		▲ 0.00
	20年以上(2,827)	3.19	3.37	3.30	3.34	3.28	3.30	3.31	3.27	3.32	3.28	3.33	0.06	0.08		0.00	▲ 0.01	0.74		▲ 0.00
広域振興圏	県央(992)	3.33	3.48	3.47	3.45	3.41	3.43	3.39	3.42	3.42	3.39	3.42	▲ 0.00	0.97		▲ 0.00	▲ 0.03	0.60		▲ 0.02
	県南(1,000)	3.17	3.36	3.31	3.25	3.32	3.26	3.28	3.23	3.29	3.27	3.31	0.08	0.14		0.02	0.05	0.31		0.02
	沿岸(767)	3.13	3.30	3.23	3.39	3.28	3.33	3.35	3.29	3.32	3.33	3.32	0.03	0.64		0.01	▲ 0.07	0.27		▲ 0.02
	県北(559)	3.05	3.28	3.10	3.22	3.09	3.18	3.16	3.19	3.17	3.14	3.18	▲ 0.01	0.88		▲ 0.00	▲ 0.04	0.56		▲ 0.01

（ ）は、R８調査のサンプル数

○分野別実感

R5比較 ■:上昇 ■:低下
H31比較 ■:上昇 ■:低下

⑦地域社会とのつながりを感じますか。

		H28	H29	H30	H31（計画開始年）	R２	R３	R４	R5（基準年）	R６	R７	R8	R8−R5（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−R5（寄与度）	R8−H31（対計画開始年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−H31（寄与度）
県計（3,318）		3.26	3.34	3.30	3.35	3.16	3.09	3.10	3.07	3.10	3.12	3.11	0.04	0.22		0.04	▲ 0.24	0.00	**	▲ 0.24
性別	男性（1,593）	3.27	3.32	3.32	3.37	3.15	3.09	3.06	3.06	3.08	3.14	3.10	0.04	0.36		0.04	▲ 0.27	0.00	**	▲ 0.27
	女性（1,712）	3.23	3.35	3.28	3.33	3.16	3.09	3.13	3.08	3.11	3.10	3.11	0.03	0.44		0.01	▲ 0.21	0.00	**	▲ 0.10
	その他（参考）（4）					3.00	3.83	3.00	2.17	1.00	1.25	3.00	0.83	0.20		0.46				
年代	18～19歳（参考）（37）		3.27	3.06	3.38	3.24	3.48	3.46	3.45	3.59	3.33	3.56	0.11	0.68		0.00	0.18	0.55		0.00
	20～29歳（172）	2.89	3.05	2.89	2.95	2.83	2.77	2.86	2.67	3.03	2.84	2.94	0.27	0.07		0.00	▲ 0.01	0.95		▲ 0.00
	30～39歳（252）	2.96	2.96	3.16	3.03	2.97	2.83	2.84	2.77	2.64	2.90	2.83	0.06	0.58		0.00	▲ 0.20	0.05	**	▲ 0.01
	40～49歳（421）	3.20	3.27	3.26	3.22	3.00	2.94	2.96	2.85	2.84	2.89	3.00	0.14	0.06		0.01	▲ 0.22	0.00	**	▲ 0.02
	50～59歳（546）	3.22	3.25	3.31	3.30	3.10	2.91	2.99	3.02	3.00	3.07	2.95	▲ 0.07	0.34		▲ 0.01	▲ 0.35	0.00	**	▲ 0.04
	60～69歳（686）	3.28	3.39	3.30	3.37	3.16	3.15	3.09	3.07	3.13	3.06	3.08	0.00	0.94		0.00	▲ 0.29	0.00	**	▲ 0.05
	70歳以上（1,204）	3.50	3.62	3.47	3.59	3.36	3.38	3.33	3.31	3.32	3.34	3.31	▲ 0.00	0.92		▲ 0.00	▲ 0.28	0.00	**	▲ 0.06
職業	自営業主（261）	3.46	3.52	3.58	3.52	3.36	3.33	3.39	3.36	3.43	3.39	3.43	0.07	0.51		0.02	▲ 0.09	0.32		▲ 0.03
	家族従業員（参考）（71）	3.34	3.75	3.53	3.58	3.53	3.25	3.41	3.41	3.32	3.39	3.43	0.01	0.94		0.00	▲ 0.15	0.37		▲ 0.01
	会社役員・団体役員（179）	3.31	3.41	3.21	3.38	3.21	3.20	3.07	3.01	3.15	3.08	3.23	0.22	0.06		0.01	▲ 0.16	0.16		▲ 0.00
	常用雇用者（946）	3.17	3.18	3.22	3.22	3.01	2.92	2.95	2.92	2.91	2.93	2.94	0.02	0.74		0.00	▲ 0.28	0.00	**	▲ 0.02
	臨時雇用者（406）	3.01	3.38	3.22	3.27	3.13	2.95	2.94	2.99	3.03	3.01	3.09	0.10	0.20		0.03	▲ 0.18	0.02	**	▲ 0.05
	学生＋その他（152）	3.38	3.37	3.49	3.32	3.03	3.18	3.17	3.10	3.34	3.14	3.12	0.02	0.86		0.00	▲ 0.20	0.14		▲ 0.02
	専業主婦・主夫（281）	3.24	3.26	3.28	3.37	3.24	3.24	3.28	3.19	3.24	3.26	3.07	▲ 0.12	0.17		▲ 0.01	▲ 0.30	0.00	**	▲ 0.01
	60歳未満の無職（参考）（76）	2.77	2.89	2.87	3.02	2.49	2.55	2.56	2.59	2.43	3.04	2.83	0.24	0.24		0.03	▲ 0.19	0.38		▲ 0.02
	60歳以上の無職（691）	3.41	3.43	3.31	3.48	3.22	3.24	3.15	3.15	3.15	3.20	3.19	0.03	0.63		0.00	▲ 0.29	0.00	**	▲ 0.01
世帯構成	ひとり暮らし（473）	3.10	3.13	3.05	3.15	3.09	2.84	2.85	2.89	2.88	2.86	2.99	0.10	0.21		0.02	▲ 0.16	0.05		▲ 0.03
	夫婦のみ（728）	3.24	3.31	3.30	3.39	3.17	3.19	3.10	3.11	3.17	3.18	3.19	0.08	0.19		0.01	▲ 0.21	0.00	**	▲ 0.03
	2世代世帯（1,222）	3.26	3.35	3.33	3.34	3.14	3.01	3.12	3.03	3.10	3.12	3.09	0.06	0.18		0.01	▲ 0.25	0.00	**	▲ 0.05
	3世代世帯（384）	3.45	3.50	3.46	3.53	3.27	3.32	3.25	3.32	3.21	3.20	3.16	▲ 0.16	0.05	**	▲ 0.05	▲ 0.37	0.00	**	▲ 0.14
	その他（155）	3.06	3.25	3.18	3.26	3.02	3.17	3.05	2.98	3.07	2.95	2.97	▲ 0.00	0.99		▲ 0.00	▲ 0.29	0.01	**	▲ 0.03
子の数	1人（425）	3.17	3.43	3.33	3.31	3.10	2.99	3.09	2.99	2.94	3.06	3.12	0.13	0.11		0.01	▲ 0.19	0.01	**	▲ 0.01
	2人（1,088）	3.33	3.37	3.40	3.45	3.24	3.22	3.18	3.16	3.21	3.18	3.20	0.04	0.34		0.01	▲ 0.25	0.00	**	▲ 0.03
	3人（612）	3.41	3.51	3.44	3.47	3.29	3.24	3.26	3.24	3.27	3.24	3.25	0.01	0.88		0.00	▲ 0.21	0.00	**	▲ 0.07
	4人以上（112）	3.39	3.39	3.27	3.43	3.18	3.21	3.20	3.36	3.14	3.39	2.84	▲ 0.52	0.00	**	▲ 0.10	▲ 0.59	0.00	**	▲ 0.11
	子どもはいない（750）	2.96	3.05	3.01	3.08	2.91	2.79	2.82	2.79	2.87	2.86	2.88	0.09	0.16		0.00	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.01
居住年数	10年未満（参考）（101）	2.86	2.83	2.90	3.04	2.84	2.67	2.67	2.56	2.49	2.77	2.64	0.08	0.65		0.02	▲ 0.40	0.01	**	▲ 0.09
	10～20年未満（130）	3.07	3.06	3.08	3.15	2.98	3.23	3.06	2.96	2.94	2.99	3.22	0.26	0.09		0.01	0.07	0.65		0.00
	20年以上（2,827）	3.27	3.36	3.32	3.37	3.17	3.10	3.11	3.09	3.13	3.12	3.12	0.02	0.44		0.00	▲ 0.25	0.00	**	▲ 0.01
広域振興圏	県央（992）	3.16	3.17	3.25	3.24	3.04	3.00	3.03	2.99	3.02	3.02	2.99	▲ 0.00	0.99		▲ 0.00	▲ 0.24	0.00	**	▲ 0.21
	県南（1,000）	3.31	3.41	3.37	3.40	3.23	3.15	3.12	3.11	3.12	3.13	3.14	0.03	0.51		0.01	▲ 0.26	0.00	**	▲ 0.08
	沿岸（767）	3.23	3.36	3.30	3.43	3.18	3.16	3.13	3.05	3.13	3.21	3.19	0.14	0.02	**	0.04	▲ 0.25	0.00	**	▲ 0.07
	県北（559）	3.37	3.44	3.26	3.33	3.19	3.07	3.13	3.18	3.17	3.12	3.13	▲ 0.05	0.49		▲ 0.01	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.05

（　）は、R８調査のサンプル数

○分野別実感

R5比較 :上昇 :低下
H31比較 :上昇 :低下

⑧お住まいの地域は安全だと感じますか。

		H28	H29	H30	H31（計画開始年）	R２	R３	R４	R5（基準年）	R６	R７	R8	R8−R5（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−R5（寄与度）	R8−H31（対計画開始年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−H31（寄与度）
	県計（3,318）	3.70	3.83	3.79	3.82	3.66	3.76	3.72	3.69	3.66	3.62	3.62	▲ 0.07	0.01	**	▲ 0.07	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.20
性別	男性（1,593）	3.74	3.86	3.83	3.84	3.72	3.79	3.75	3.70	3.69	3.68	3.64	▲ 0.06	0.12		▲ 0.06	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.20
	女性（1,712）	3.67	3.82	3.76	3.80	3.61	3.75	3.70	3.68	3.63	3.57	3.61	▲ 0.07	0.05		▲ 0.03	▲ 0.19	0.00	**	▲ 0.09
	その他（参考）（4）					3.33	3.33	3.33	4.00	3.00	2.75	3.00	▲ 1.00	0.21		▲ 0.55				
年代	18～19歳（参考）（37）		3.91	3.98	3.94	3.88	3.84	3.98	4.17	4.21	4.08	4.14	▲ 0.02	0.91		0.00	0.21	0.41		0.00
	20～29歳（172）	3.70	3.80	3.79	3.70	3.63	3.70	3.76	3.89	3.68	3.83	3.81	▲ 0.08	0.52		▲ 0.00	0.11	0.32		0.00
	30～39歳（252）	3.65	3.75	3.79	3.69	3.67	3.69	3.72	3.57	3.58	3.69	3.50	▲ 0.07	0.47		▲ 0.00	▲ 0.19	0.04	**	▲ 0.01
	40～49歳（421）	3.76	3.79	3.76	3.79	3.59	3.79	3.71	3.68	3.58	3.56	3.63	▲ 0.04	0.52		▲ 0.00	▲ 0.16	0.03	**	▲ 0.01
	50～59歳（546）	3.66	3.81	3.84	3.84	3.67	3.69	3.73	3.68	3.66	3.60	3.52	▲ 0.16	0.01	**	▲ 0.02	▲ 0.32	0.00	**	▲ 0.04
	60～69歳（686）	3.69	3.83	3.77	3.80	3.58	3.77	3.69	3.59	3.62	3.50	3.54	▲ 0.05	0.36		▲ 0.01	▲ 0.26	0.00	**	▲ 0.04
	70歳以上（1,204）	3.71	3.94	3.78	3.91	3.75	3.83	3.73	3.76	3.72	3.68	3.70	▲ 0.06	0.22		▲ 0.01	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.04
職業	自営業主（261）	3.80	3.85	3.82	3.94	3.70	3.83	3.82	3.72	3.82	3.69	3.76	0.04	0.70		0.01	▲ 0.18	0.03	**	▲ 0.07
	家族従業員（参考）（71）	3.81	4.04	3.69	3.98	3.91	3.79	3.94	3.93	3.53	3.58	3.90	▲ 0.03	0.83		▲ 0.00	▲ 0.08	0.58		▲ 0.01
	会社役員・団体役員（179）	3.74	3.94	3.75	3.85	3.64	3.83	3.78	3.62	3.64	3.69	3.71	0.09	0.41		0.00	▲ 0.13	0.20		▲ 0.00
	常用雇用者（946）	3.75	3.84	3.85	3.83	3.64	3.74	3.75	3.69	3.65	3.62	3.59	▲ 0.09	0.05		▲ 0.01	▲ 0.24	0.00	**	▲ 0.01
	臨時雇用者（406）	3.64	3.78	3.75	3.71	3.62	3.67	3.59	3.61	3.58	3.55	3.62	0.01	0.90		0.00	▲ 0.09	0.20		▲ 0.03
	学生＋その他（152）	3.65	3.87	4.01	3.74	3.57	3.88	3.94	3.91	3.85	3.71	3.70	▲ 0.21	0.10		▲ 0.02	▲ 0.04	0.77		▲ 0.00
	専業主婦・主夫（281）	3.66	3.80	3.73	3.74	3.71	3.86	3.75	3.67	3.67	3.63	3.52	▲ 0.15	0.09		▲ 0.01	▲ 0.22	0.01	**	▲ 0.01
	60歳未満の無職（参考）（76）	3.41	3.50	3.64	3.70	3.38	3.56	3.60	3.54	3.64	3.69	3.33	▲ 0.21	0.32		▲ 0.02	▲ 0.37	0.08		▲ 0.03
	60歳以上の無職（691）	3.64	3.83	3.74	3.86	3.69	3.74	3.64	3.69	3.68	3.60	3.66	▲ 0.03	0.56		▲ 0.00	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.00
世帯構成	ひとり暮らし（473）	3.61	3.71	3.74	3.72	3.67	3.71	3.69	3.62	3.55	3.57	3.57	▲ 0.05	0.52		▲ 0.01	▲ 0.16	0.03	**	▲ 0.03
	夫婦のみ（728）	3.68	3.85	3.79	3.86	3.64	3.84	3.69	3.72	3.76	3.60	3.67	▲ 0.05	0.32		▲ 0.01	▲ 0.19	0.00	**	▲ 0.03
	2世代世帯（1,222）	3.71	3.84	3.78	3.81	3.70	3.70	3.76	3.68	3.66	3.66	3.61	▲ 0.07	0.12		▲ 0.01	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.04
	3世代世帯（384）	3.88	3.94	3.89	3.89	3.72	3.85	3.73	3.80	3.65	3.62	3.67	▲ 0.13	0.07		▲ 0.04	▲ 0.22	0.00	**	▲ 0.08
	その他（155）	3.52	3.77	3.73	3.79	3.51	3.79	3.75	3.58	3.68	3.54	3.74	0.16	0.20		0.02	▲ 0.04	0.63		▲ 0.01
子の数	1人（425）	3.67	3.88	3.70	3.80	3.68	3.72	3.66	3.62	3.54	3.61	3.67	0.05	0.52		0.01	▲ 0.13	0.06		▲ 0.01
	2人（1,088）	3.72	3.83	3.80	3.85	3.70	3.82	3.73	3.69	3.68	3.63	3.63	▲ 0.06	0.22		▲ 0.01	▲ 0.22	0.00	**	▲ 0.03
	3人（612）	3.74	3.92	3.86	3.85	3.67	3.80	3.78	3.75	3.72	3.64	3.65	▲ 0.10	0.10		▲ 0.03	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.06
	4人以上（112）	3.71	3.84	3.76	3.92	3.65	3.65	3.78	3.70	3.74	3.61	3.53	▲ 0.17	0.20		▲ 0.03	▲ 0.39	0.00	**	▲ 0.07
	子どもはいない（750）	3.63	3.76	3.77	3.74	3.62	3.73	3.73	3.71	3.69	3.63	3.64	▲ 0.08	0.18		▲ 0.00	▲ 0.10	0.07		▲ 0.00
居住年数	10年未満（参考）（101）	3.58	3.72	3.71	3.59	3.69	3.65	3.77	3.66	3.52	3.79	3.51	▲ 0.15	0.36		▲ 0.03	▲ 0.08	0.62		▲ 0.02
	10～20年未満（130）	3.62	3.86	3.78	3.83	3.67	3.91	3.83	3.95	3.69	3.79	3.83	▲ 0.12	0.35		▲ 0.00	0.01	0.96		0.00
	20年以上（2,827）	3.71	3.84	3.79	3.83	3.67	3.76	3.72	3.68	3.67	3.61	3.63	▲ 0.06	0.04	**	▲ 0.00	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.01
広域振興圏	県央（992）	3.75	3.88	3.86	3.87	3.75	3.76	3.76	3.75	3.74	3.67	3.68	▲ 0.08	0.11		▲ 0.06	▲ 0.19	0.00	**	▲ 0.16
	県南（1,000）	3.73	3.86	3.81	3.78	3.69	3.78	3.74	3.75	3.65	3.65	3.61	▲ 0.15	0.00	**	▲ 0.04	▲ 0.18	0.00	**	▲ 0.05
	沿岸（767）	3.59	3.71	3.70	3.82	3.54	3.74	3.67	3.54	3.58	3.56	3.56	0.02	0.72		0.01	▲ 0.26	0.00	**	▲ 0.08
	県北（559）	3.72	3.89	3.76	3.82	3.63	3.78	3.70	3.70	3.66	3.57	3.65	▲ 0.05	0.48		▲ 0.01	▲ 0.17	0.01	**	▲ 0.04

（　）は、R８調査のサンプル数

R5比較 :上昇 :低下
H31比較 :上昇 :低下

○分野別実感

⑨仕事にやりがいを感じますか。

		H28	H29	H30	H31（計画開始年）	R２	R３	R４	R5（基準年）	R６	R７	R8	R8−R5（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−R5（寄与度）	R8−H31（対計画開始年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−H31（寄与度）
県計（3,318）		3.50	3.56	3.51	3.54	3.38	3.49	3.41	3.39	3.39	3.41	3.40	0.00	0.89		0.00	▲ 0.14	0.00	**	▲ 0.14
性別	男性（1,593）	3.52	3.57	3.52	3.53	3.41	3.48	3.42	3.35	3.41	3.43	3.41	0.06	0.23		0.06	▲ 0.12	0.01	**	▲ 0.12
	女性（1,712）	3.47	3.55	3.50	3.54	3.35	3.50	3.41	3.42	3.37	3.41	3.38	▲ 0.04	0.41		▲ 0.02	▲ 0.15	0.00	**	▲ 0.07
	その他（参考）（4）					2.00	3.67	3.00	2.25	3.00	1.25	3.00	0.75	0.49		0.41				
年代	18～19歳（参考）（37）		3.27	3.38	3.85	3.78	3.65	3.75	3.58	4.29	3.69	3.86	0.28	0.41		0.00	0.02	0.96		0.00
	20～29歳（172）	3.53	3.36	3.42	3.49	3.41	3.51	3.18	3.25	3.32	3.44	3.66	0.41	0.01	**	0.01	0.17	0.21		0.00
	30～39歳（252）	3.46	3.47	3.44	3.39	3.22	3.41	3.34	3.35	3.14	3.31	3.28	▲ 0.08	0.50		▲ 0.00	▲ 0.12	0.29		▲ 0.01
	40～49歳（421）	3.51	3.54	3.63	3.45	3.38	3.47	3.48	3.38	3.26	3.38	3.34	▲ 0.04	0.64		▲ 0.00	▲ 0.11	0.20		▲ 0.01
	50～59歳（546）	3.50	3.53	3.57	3.46	3.36	3.40	3.40	3.33	3.43	3.46	3.27	▲ 0.06	0.41		▲ 0.01	▲ 0.19	0.01	**	▲ 0.02
	60～69歳（686）	3.52	3.64	3.52	3.53	3.45	3.61	3.43	3.45	3.48	3.39	3.47	0.01	0.85		0.00	▲ 0.07	0.30		▲ 0.01
	70歳以上（1,204）	3.48	3.63	3.44	3.72	3.37	3.50	3.45	3.42	3.42	3.44	3.42	0.00	0.98		0.00	▲ 0.30	0.00	**	▲ 0.06
職業	自営業主（261）	3.88	3.98	4.03	3.93	3.77	3.88	3.91	3.78	3.78	3.81	3.84	0.06	0.56		0.02	▲ 0.10	0.31		▲ 0.03
	家族従業員（参考）（71）	3.58	3.78	3.59	3.77	3.70	3.41	3.64	3.63	3.54	3.65	3.56	▲ 0.07	0.69		▲ 0.01	▲ 0.21	0.20		▲ 0.02
	会社役員・団体役員（179）	3.69	3.89	3.75	3.77	3.68	3.82	3.56	3.53	3.58	3.65	3.67	0.14	0.24		0.00	▲ 0.10	0.40		▲ 0.00
	常用雇用者（946）	3.58	3.51	3.56	3.46	3.36	3.47	3.48	3.39	3.36	3.40	3.35	▲ 0.04	0.53		▲ 0.00	▲ 0.11	0.04	**	▲ 0.01
	臨時雇用者（406）	3.39	3.54	3.60	3.53	3.44	3.54	3.32	3.47	3.44	3.43	3.54	0.07	0.40		0.02	0.00	0.97		0.00
	学生＋その他（152）	3.38	3.73	3.69	3.79	3.34	3.79	3.63	3.50	3.58	3.59	3.51	0.00	0.98		0.00	▲ 0.28	0.06		▲ 0.03
	専業主婦・主夫（281）	3.18	3.43	3.17	3.17	3.18	3.23	3.18	3.13	3.16	3.10	3.08	▲ 0.05	0.66		▲ 0.00	▲ 0.09	0.44		▲ 0.00
	60歳未満の無職（参考）（76）	2.66	2.47	2.63	2.38	2.58	2.50	2.14	2.44	2.38	2.90	2.89	0.44	0.11		0.05	0.51	0.10		0.04
	60歳以上の無職（691）	3.20	3.28	3.08	3.32	3.10	3.07	3.09	3.20	3.18	3.14	3.11	▲ 0.09	0.24		▲ 0.00	▲ 0.21	0.02	**	▲ 0.00
世帯構成	ひとり暮らし（473）	3.46	3.44	3.45	3.51	3.38	3.39	3.20	3.38	3.35	3.37	3.36	▲ 0.02	0.84		▲ 0.00	▲ 0.15	0.13		▲ 0.03
	夫婦のみ（728）	3.58	3.59	3.49	3.54	3.43	3.56	3.48	3.49	3.48	3.48	3.52	0.03	0.63		0.00	▲ 0.02	0.76		▲ 0.00
	2世代世帯（1,222）	3.50	3.58	3.54	3.51	3.36	3.46	3.44	3.33	3.38	3.38	3.37	0.03	0.52		0.01	▲ 0.14	0.01	**	▲ 0.03
	3世代世帯（384）	3.59	3.65	3.67	3.60	3.45	3.62	3.44	3.43	3.31	3.38	3.45	0.02	0.82		0.01	▲ 0.16	0.07		▲ 0.06
	その他（155）	3.26	3.41	3.33	3.54	3.20	3.38	3.39	3.30	3.44	3.44	3.23	▲ 0.07	0.67		▲ 0.01	▲ 0.30	0.02	**	▲ 0.03
子の数	1人（425）	3.44	3.55	3.58	3.54	3.40	3.55	3.46	3.35	3.32	3.45	3.46	0.11	0.21		0.01	▲ 0.08	0.39		▲ 0.00
	2人（1,088）	3.55	3.59	3.50	3.57	3.43	3.60	3.47	3.41	3.46	3.46	3.48	0.07	0.20		0.01	▲ 0.09	0.08		▲ 0.01
	3人（612）	3.58	3.69	3.59	3.74	3.49	3.56	3.54	3.55	3.46	3.44	3.48	▲ 0.07	0.32		▲ 0.03	▲ 0.26	0.00	**	▲ 0.08
	4人以上（112）	3.56	3.76	3.67	3.49	3.29	3.59	3.51	3.48	3.55	3.53	3.21	▲ 0.27	0.10		▲ 0.05	▲ 0.28	0.08		▲ 0.05
	子どもはいない（750）	3.36	3.35	3.42	3.32	3.21	3.22	3.23	3.23	3.25	3.30	3.29	0.06	0.40		0.00	▲ 0.04	0.60		▲ 0.00
居住年数	10年未満（参考）（101）	3.55	3.53	3.37	3.59	3.55	3.58	3.51	3.32	3.13	3.40	3.43	0.11	0.56		0.02	▲ 0.16	0.37		▲ 0.04
	10～20年未満（130）	3.52	3.38	3.53	3.62	3.45	3.81	3.63	3.51	3.48	3.53	3.67	0.16	0.33		0.01	0.04	0.79		0.00
	20年以上（2,827）	3.49	3.57	3.52	3.53	3.37	3.47	3.41	3.39	3.40	3.41	3.40	0.01	0.77		0.00	▲ 0.14	0.00	**	▲ 0.01
広域振興圏	県央（992）	3.54	3.60	3.58	3.58	3.42	3.50	3.46	3.49	3.37	3.45	3.42	▲ 0.06	0.27		▲ 0.05	▲ 0.15	0.01	**	▲ 0.13
	県南（1,000）	3.45	3.48	3.51	3.48	3.36	3.49	3.39	3.40	3.41	3.40	3.38	▲ 0.02	0.68		▲ 0.01	▲ 0.10	0.08		▲ 0.03
	沿岸（767）	3.50	3.60	3.51	3.57	3.39	3.42	3.35	3.27	3.36	3.36	3.40	0.13	0.06		0.04	▲ 0.17	0.01	**	▲ 0.05
	県北（559）	3.53	3.58	3.37	3.53	3.33	3.54	3.45	3.36	3.41	3.45	3.36	0.00	0.96		0.00	▲ 0.17	0.04	**	▲ 0.04

（ ）は、R８調査のサンプル数

○分野別実感

R5比較 :上昇 :低下
H31比較 :上昇 :低下

⑩必要な収入や所得が得られていると感じますか。

		H28	H29	H30	H31（計画開始年）	R２	R３	R４	R5（基準年）	R６	R７	R8	R8−R5（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−R5（寄与度）	R8−H31（対計画開始年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−H31（寄与度）
	県計（3,318）	2.44	2.58	2.45	2.65	2.56	2.77	2.57	2.53	2.48	2.50	2.52	▲ 0.01	0.67		▲ 0.01	▲ 0.13	0.00	**	▲ 0.13
性別	男性（1,593）	2.46	2.60	2.47	2.68	2.55	2.75	2.55	2.50	2.50	2.53	2.52	0.01	0.79		0.01	▲ 0.16	0.00	**	▲ 0.16
	女性（1,712）	2.43	2.56	2.43	2.61	2.58	2.79	2.59	2.55	2.47	2.48	2.52	▲ 0.03	0.56		▲ 0.01	▲ 0.09	0.06		▲ 0.04
	その他（参考）（4）					1.40	2.20	3.00	2.00	3.00	1.25	2.00	0.00	1.00		0.00				
年代	18～19歳（参考）（37）		2.81	2.77	2.25	3.09	3.32	3.18	2.72	2.91	2.53	2.96	0.24	0.52		0.00	0.71	0.09		0.00
	20～29歳（172）	2.48	2.51	2.44	2.66	2.49	2.68	2.40	2.30	2.47	2.50	2.67	0.37	0.03	**	0.01	0.01	0.93		0.00
	30～39歳（252）	2.44	2.47	2.42	2.51	2.36	2.71	2.50	2.47	2.27	2.43	2.43	▲ 0.04	0.76		▲ 0.00	▲ 0.08	0.51		▲ 0.00
	40～49歳（421）	2.51	2.56	2.52	2.66	2.50	2.82	2.62	2.57	2.40	2.33	2.48	▲ 0.09	0.32		▲ 0.01	▲ 0.18	0.05	**	▲ 0.01
	50～59歳（546）	2.46	2.52	2.49	2.60	2.52	2.75	2.58	2.53	2.49	2.56	2.43	▲ 0.09	0.25		▲ 0.01	▲ 0.17	0.03	**	▲ 0.02
	60～69歳（686）	2.37	2.57	2.40	2.63	2.59	2.77	2.54	2.55	2.53	2.49	2.53	▲ 0.02	0.80		▲ 0.00	▲ 0.10	0.14		▲ 0.02
	70歳以上（1,204）	2.46	2.70	2.45	2.75	2.65	2.80	2.61	2.55	2.52	2.55	2.55	0.01	0.91		0.00	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.04
職業	自営業主（261）	2.53	2.69	2.58	2.86	2.63	2.86	2.62	2.57	2.54	2.67	2.51	▲ 0.06	0.61		▲ 0.02	▲ 0.34	0.00	**	▲ 0.12
	家族従業員（参考）（71）	2.61	2.85	2.42	2.91	2.73	2.81	2.78	2.66	2.10	2.59	2.91	0.25	0.25		0.02	0.00	0.99		0.00
	会社役員・団体役員（179）	2.96	2.94	2.85	3.05	2.85	3.27	2.92	2.90	2.89	2.92	3.13	0.24	0.08		0.01	0.08	0.58		0.00
	常用雇用者（946）	2.58	2.66	2.55	2.72	2.60	2.86	2.67	2.60	2.52	2.53	2.53	▲ 0.07	0.26		▲ 0.00	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.01
	臨時雇用者（406）	2.20	2.31	2.30	2.56	2.39	2.65	2.38	2.40	2.30	2.34	2.54	0.14	0.12		0.04	▲ 0.03	0.77		▲ 0.01
	学生＋その他（152）	2.49	2.73	2.63	2.80	2.55	2.94	2.80	2.78	2.81	2.62	2.66	▲ 0.12	0.50		▲ 0.01	▲ 0.13	0.42		▲ 0.02
	専業主婦・主夫（281）	2.37	2.48	2.34	2.46	2.67	2.89	2.61	2.58	2.51	2.45	2.43	▲ 0.15	0.18		▲ 0.01	▲ 0.03	0.80		▲ 0.00
	60歳未満の無職（参考）（76）	1.68	1.58	1.95	1.81	1.71	1.84	1.80	1.94	1.72	2.19	1.88	▲ 0.06	0.78		▲ 0.01	0.08	0.75		0.01
	60歳以上の無職（691）	2.25	2.46	2.29	2.37	2.46	2.42	2.41	2.33	2.40	2.35	2.33	0.00	0.95		0.00	▲ 0.04	0.63		▲ 0.00
世帯構成	ひとり暮らし（473）	2.52	2.65	2.53	2.65	2.57	2.75	2.49	2.55	2.53	2.56	2.47	▲ 0.07	0.46		▲ 0.01	▲ 0.17	0.07		▲ 0.04
	夫婦のみ（728）	2.59	2.72	2.43	2.76	2.68	2.92	2.63	2.59	2.64	2.61	2.73	0.13	0.06		0.01	▲ 0.04	0.60		▲ 0.01
	2世代世帯（1,222）	2.41	2.54	2.51	2.62	2.54	2.71	2.56	2.50	2.40	2.45	2.46	▲ 0.04	0.41		▲ 0.01	▲ 0.16	0.00	**	▲ 0.04
	3世代世帯（384）	2.49	2.56	2.52	2.72	2.55	2.82	2.62	2.54	2.45	2.43	2.40	▲ 0.14	0.15		▲ 0.05	▲ 0.32	0.00	**	▲ 0.12
	その他（155）	2.15	2.42	2.18	2.47	2.30	2.68	2.59	2.38	2.39	2.40	2.43	0.05	0.75		0.01	▲ 0.03	0.81		▲ 0.00
子の数	1人（425）	2.41	2.52	2.48	2.70	2.53	2.78	2.61	2.38	2.28	2.47	2.56	0.18	0.06		0.02	▲ 0.14	0.13		▲ 0.01
	2人（1,088）	2.48	2.61	2.49	2.71	2.62	2.86	2.58	2.62	2.53	2.53	2.61	▲ 0.01	0.83		▲ 0.00	▲ 0.10	0.08		▲ 0.01
	3人（612）	2.52	2.70	2.48	2.69	2.59	2.83	2.67	2.65	2.53	2.48	2.57	▲ 0.08	0.30		▲ 0.03	▲ 0.12	0.10		▲ 0.04
	4人以上（112）	2.36	2.54	2.31	2.48	2.58	2.86	2.56	2.54	2.65	2.48	2.17	▲ 0.37	0.03	**	▲ 0.07	▲ 0.31	0.05		▲ 0.06
	子どもはいない（750）	2.37	2.44	2.40	2.53	2.42	2.59	2.46	2.38	2.44	2.50	2.40	0.03	0.69		0.00	▲ 0.12	0.09		▲ 0.00
居住年数	10年未満（参考）（101）	2.78	2.74	2.71	2.55	2.92	2.99	2.84	2.60	2.41	2.69	2.54	▲ 0.06	0.76		▲ 0.01	▲ 0.01	0.95		▲ 0.00
	10～20年未満（130）	2.58	2.52	2.60	2.48	2.68	3.14	2.93	2.61	2.57	2.46	2.63	0.01	0.94		0.00	0.14	0.42		0.00
	20年以上（2,827）	2.42	2.57	2.44	2.66	2.54	2.75	2.56	2.53	2.48	2.50	2.52	▲ 0.01	0.80		▲ 0.00	▲ 0.15	0.00	**	▲ 0.01
広域振興圏	県央（992）	2.47	2.59	2.50	2.73	2.62	2.87	2.63	2.64	2.55	2.45	2.56	▲ 0.07	0.24		▲ 0.06	▲ 0.17	0.01	**	▲ 0.14
	県南（1,000）	2.39	2.53	2.42	2.54	2.58	2.70	2.54	2.53	2.46	2.55	2.55	0.02	0.75		0.01	0.01	0.87		0.00
	沿岸（767）	2.52	2.63	2.51	2.71	2.53	2.76	2.53	2.41	2.38	2.48	2.43	0.02	0.75		0.01	▲ 0.28	0.00	**	▲ 0.08
	県北（559）	2.37	2.57	2.34	2.60	2.48	2.76	2.60	2.53	2.54	2.51	2.50	▲ 0.03	0.72		▲ 0.01	▲ 0.10	0.19		▲ 0.02

（ ）は、R８調査のサンプル数

○分野別実感

R5比較 :上昇 :低下
H31比較 :上昇 :低下

⑪地域の歴史や文化に誇りを感じますか

		H28	H29	H30	H31（計画開始年）	R２	R３	R４	R5（基準年）	R６	R７	R8	R8−R5（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−R5（寄与度）	R8−H31（対計画開始年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−H31（寄与度）
	県計（3,318）	3.33	3.32	3.35	3.28	3.25	3.18	3.27	3.23	3.28	3.27	3.28	0.06	0.04	**	0.06	▲ 0.00	0.99		▲ 0.00
性別	男性（1,593）	3.29	3.27	3.35	3.22	3.23	3.13	3.23	3.18	3.23	3.22	3.21	0.02	0.57		0.02	▲ 0.02	0.69		▲ 0.02
	女性（1,712）	3.35	3.36	3.35	3.35	3.27	3.22	3.31	3.26	3.33	3.31	3.36	0.10	0.01	**	0.04	0.01	0.74		0.01
	その他（参考）（4）					3.43	3.00	3.67	2.20	3.50	2.50	4.00	1.80	0.05	**	0.99				
年代	18～19歳（参考）（37）		3.40	3.18	3.50	3.38	3.65	3.50	3.63	3.16	3.96	3.91	0.29	0.33		0.00	0.41	0.20		0.00
	20～29歳（172）	3.34	3.29	3.24	3.34	3.18	3.25	3.35	3.07	3.26	3.39	3.51	0.44	0.00	**	0.01	0.17	0.19		0.00
	30～39歳（252）	3.09	3.16	3.17	3.02	3.24	3.04	3.20	3.15	3.26	3.19	3.31	0.16	0.13		0.01	0.29	0.00	**	0.01
	40～49歳（421）	3.29	3.28	3.36	3.28	3.18	3.20	3.37	3.23	3.24	3.25	3.23	0.01	0.91		0.00	▲ 0.05	0.51		▲ 0.00
	50～59歳（546）	3.26	3.23	3.39	3.26	3.29	3.11	3.28	3.30	3.40	3.31	3.29	▲ 0.02	0.82		▲ 0.00	0.03	0.60		0.00
	60～69歳（686）	3.32	3.31	3.29	3.22	3.19	3.13	3.23	3.19	3.26	3.22	3.27	0.08	0.20		0.01	0.05	0.43		0.01
	70歳以上（1,204）	3.51	3.52	3.47	3.42	3.32	3.28	3.25	3.23	3.26	3.27	3.25	0.01	0.78		0.00	▲ 0.17	0.00	**	▲ 0.04
職業	自営業主（261）	3.33	3.41	3.44	3.33	3.33	3.24	3.39	3.31	3.37	3.31	3.38	0.06	0.54		0.02	0.05	0.58		0.02
	家族従業員（参考）（71）	3.26	3.49	3.37	3.22	3.40	3.18	3.29	3.29	3.17	3.31	3.37	0.07	0.71		0.01	0.14	0.41		0.01
	会社役員・団体役員（179）	3.31	3.41	3.39	3.25	3.46	3.34	3.31	3.43	3.36	3.31	3.37	▲ 0.06	0.57		▲ 0.00	0.12	0.29		0.00
	常用雇用者（946）	3.23	3.23	3.32	3.21	3.26	3.19	3.31	3.22	3.36	3.27	3.26	0.04	0.50		0.00	0.05	0.28		0.00
	臨時雇用者（406）	3.20	3.35	3.31	3.27	3.22	3.07	3.16	3.12	3.23	3.23	3.34	0.21	0.01	**	0.06	0.07	0.36		0.02
	学生＋その他（152）	3.55	3.50	3.46	3.53	3.16	3.44	3.49	3.39	3.36	3.38	3.46	0.07	0.65		0.01	▲ 0.07	0.60		▲ 0.01
	専業主婦・主夫（281）	3.50	3.27	3.35	3.40	3.18	3.23	3.34	3.30	3.28	3.37	3.38	0.08	0.39		0.00	▲ 0.02	0.83		▲ 0.00
	60歳未満の無職（参考）（76）	2.82	2.89	3.36	3.18	2.78	2.76	2.79	2.67	2.92	3.28	3.25	0.57	0.00	**	0.06	0.07	0.74		0.01
	60歳以上の無職（691）	3.44	3.36	3.32	3.28	3.24	3.13	3.17	3.14	3.21	3.20	3.17	0.03	0.63		0.00	▲ 0.11	0.08		▲ 0.00
世帯構成	ひとり暮らし（473）	3.39	3.32	3.25	3.28	3.37	3.11	3.26	3.23	3.40	3.38	3.31	0.08	0.36		0.02	0.04	0.65		0.01
	夫婦のみ（728）	3.36	3.29	3.35	3.31	3.29	3.21	3.26	3.22	3.34	3.23	3.31	0.09	0.12		0.01	0.01	0.91		0.00
	2世代世帯（1,222）	3.28	3.34	3.34	3.27	3.20	3.15	3.27	3.21	3.24	3.28	3.30	0.09	0.05	**	0.02	0.03	0.46		0.01
	3世代世帯（384）	3.40	3.41	3.45	3.38	3.30	3.26	3.32	3.29	3.33	3.20	3.25	▲ 0.04	0.63		▲ 0.01	▲ 0.13	0.08		▲ 0.05
	その他（155）	3.23	3.21	3.32	3.20	3.14	3.19	3.28	3.12	3.16	3.27	3.36	0.23	0.09		0.03	0.16	0.13		0.02
子の数	1人（425）	3.30	3.41	3.33	3.29	3.30	3.17	3.26	3.24	3.25	3.27	3.34	0.10	0.21		0.01	0.05	0.51		0.00
	2人（1,088）	3.35	3.29	3.37	3.35	3.27	3.25	3.26	3.22	3.29	3.28	3.28	0.06	0.22		0.01	▲ 0.07	0.13		▲ 0.01
	3人（612）	3.37	3.38	3.39	3.26	3.22	3.10	3.29	3.22	3.32	3.22	3.29	0.07	0.31		0.02	0.03	0.66		0.01
	4人以上（112）	3.36	3.39	3.35	3.31	3.29	3.24	3.45	3.48	3.37	3.22	2.93	▲ 0.55	0.00	**	▲ 0.10	▲ 0.38	0.00	**	▲ 0.07
	子どもはいない（750）	3.22	3.23	3.28	3.17	3.22	3.15	3.27	3.16	3.24	3.30	3.35	0.19	0.00	**	0.01	0.18	0.00	**	0.01
居住年数	10年未満（参考）（101）	3.15	3.04	3.14	2.94	3.26	3.11	3.30	3.07	3.09	3.33	3.14	0.06	0.74		0.01	0.20	0.30		0.04
	10～20年未満（130）	3.45	3.21	3.19	3.24	3.25	3.39	3.33	3.30	3.11	3.39	3.53	0.23	0.14		0.01	0.29	0.06		0.01
	20年以上（2,827）	3.32	3.33	3.36	3.30	3.25	3.17	3.27	3.23	3.30	3.26	3.29	0.06	0.05		0.00	▲ 0.01	0.80		▲ 0.00
広域振興圏	県央（992）	3.39	3.33	3.40	3.27	3.31	3.26	3.35	3.32	3.40	3.39	3.38	0.06	0.26		0.05	0.11	0.03	**	0.10
	県南（1,000）	3.32	3.37	3.47	3.31	3.28	3.21	3.27	3.25	3.31	3.32	3.28	0.03	0.60		0.01	▲ 0.03	0.57		▲ 0.01
	沿岸（767）	3.30	3.26	3.26	3.30	3.20	3.10	3.20	3.13	3.19	3.16	3.30	0.17	0.01	**	0.05	▲ 0.00	0.98		▲ 0.00
	県北（559）	3.29	3.30	3.20	3.25	3.19	3.07	3.26	3.13	3.16	3.13	3.09	▲ 0.04	0.61		▲ 0.01	▲ 0.15	0.03	**	▲ 0.04

（ ）は、R８調査のサンプル数

○分野別実感

R5比較 :上昇 :低下
H31比較 :上昇 :低下

⑫自然に恵まれていると感じますか。※H29意識調査からの設問

		H28	H29	H30	H31（計画開始年）	R２	R３	R４	R5（基準年）	R６	R７	R8	R8−R5（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−R5（寄与度）	R8−H31（対計画開始年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R8−H31（寄与度）
県計（3,318）			4.26	4.27	4.21	4.16	4.18	4.23	4.21	4.21	4.23	4.19	▲ 0.02	0.35		▲ 0.02	▲ 0.02	0.26		▲ 0.02
性別	男性（1,593）		4.23	4.25	4.19	4.13	4.16	4.20	4.16	4.19	4.20	4.15	▲ 0.02	0.61		▲ 0.02	▲ 0.05	0.15		▲ 0.05
	女性（1,712）		4.29	4.28	4.23	4.18	4.20	4.25	4.24	4.24	4.26	4.23	▲ 0.02	0.62		▲ 0.01	▲ 0.00	0.92		▲ 0.00
	その他（参考）（4）					4.57	4.00	4.67	4.50	4.00	4.25	3.50	▲ 1.00	0.28		▲ 0.55				
年代	18～19歳（参考）（37）		4.35	4.42	4.60	4.53	4.37	4.37	4.71	4.20	4.56	4.56	▲ 0.16	0.36		0.00	▲ 0.04	0.80		▲ 0.00
	20～29歳（172）		4.37	4.36	4.20	4.20	4.21	4.37	4.24	4.29	4.53	4.47	0.23	0.03	**	0.00	0.27	0.00	**	0.00
	30～39歳（252）		4.28	4.31	4.22	4.33	4.24	4.37	4.27	4.22	4.27	4.31	0.05	0.52		0.00	0.10	0.19		0.01
	40～49歳（421）		4.30	4.42	4.30	4.16	4.22	4.36	4.33	4.32	4.33	4.27	▲ 0.06	0.27		▲ 0.01	▲ 0.03	0.58		▲ 0.00
	50～59歳（546）		4.30	4.38	4.27	4.25	4.24	4.27	4.29	4.30	4.34	4.25	▲ 0.04	0.46		▲ 0.01	▲ 0.02	0.66		▲ 0.00
	60～69歳（686）		4.24	4.18	4.17	4.09	4.19	4.19	4.16	4.22	4.17	4.16	▲ 0.00	0.95		▲ 0.00	▲ 0.01	0.81		▲ 0.00
	70歳以上（1,204）		4.20	4.14	4.17	4.10	4.08	4.10	4.10	4.11	4.12	4.07	▲ 0.04	0.36		▲ 0.01	▲ 0.10	0.02	**	▲ 0.02
職業	自営業主（261）		4.29	4.29	4.21	4.22	4.19	4.32	4.29	4.31	4.27	4.17	▲ 0.13	0.14		▲ 0.03	▲ 0.04	0.57		▲ 0.02
	家族従業員（参考）（71）		4.50	4.31	4.12	4.33	4.15	4.28	4.38	4.11	4.38	4.29	▲ 0.09	0.49		▲ 0.01	0.17	0.21		0.01
	会社役員・団体役員（179）		4.28	4.26	4.28	4.20	4.30	4.32	4.29	4.20	4.30	4.24	▲ 0.05	0.58		▲ 0.00	▲ 0.03	0.69		▲ 0.00
	常用雇用者（946）		4.30	4.33	4.25	4.21	4.24	4.31	4.30	4.31	4.35	4.27	▲ 0.03	0.49		▲ 0.00	0.02	0.64		0.00
	臨時雇用者（406）		4.36	4.31	4.31	4.22	4.16	4.23	4.13	4.21	4.20	4.24	0.11	0.12		0.03	▲ 0.07	0.26		▲ 0.02
	学生＋その他（152）		4.37	4.59	4.33	4.09	4.34	4.38	4.40	4.35	4.30	4.24	▲ 0.16	0.17		▲ 0.02	▲ 0.10	0.35		▲ 0.01
	専業主婦・主夫（281）		4.22	4.29	4.21	4.15	4.21	4.19	4.24	4.24	4.22	4.21	▲ 0.04	0.60		▲ 0.00	▲ 0.00	0.97		▲ 0.00
	60歳未満の無職（参考）（76）		4.07	4.41	4.31	3.92	3.82	4.25	4.10	4.21	4.24	4.23	0.13	0.41		0.01	▲ 0.08	0.57		▲ 0.01
	60歳以上の無職（691）		4.09	4.04	4.09	4.04	4.07	4.02	4.02	4.04	4.06	4.05	0.03	0.54		0.00	▲ 0.04	0.39		▲ 0.00
世帯構成	ひとり暮らし（473）		4.18	4.22	4.18	4.16	4.07	4.09	4.11	4.18	4.16	4.14	0.04	0.59		0.01	▲ 0.04	0.55		▲ 0.01
	夫婦のみ（728）		4.21	4.22	4.20	4.10	4.21	4.18	4.22	4.28	4.24	4.16	▲ 0.06	0.22		▲ 0.01	▲ 0.05	0.30		▲ 0.01
	2世代世帯（1,222）		4.29	4.28	4.22	4.19	4.16	4.29	4.23	4.20	4.25	4.24	0.01	0.80		0.00	0.02	0.57		0.00
	3世代世帯（384）		4.44	4.39	4.34	4.29	4.29	4.30	4.33	4.27	4.30	4.26	▲ 0.07	0.27		▲ 0.02	▲ 0.07	0.18		▲ 0.03
	その他（155）		4.14	4.24	4.13	4.09	4.30	4.20	4.06	4.15	4.17	4.18	0.13	0.27		0.02	0.05	0.60		0.01
子の数	1人（425）		4.28	4.25	4.21	4.16	4.24	4.23	4.20	4.12	4.28	4.23	0.03	0.61		0.00	0.02	0.73		0.00
	2人（1,088）		4.24	4.25	4.25	4.16	4.19	4.20	4.21	4.22	4.20	4.18	▲ 0.03	0.45		▲ 0.00	▲ 0.07	0.05		▲ 0.01
	3人（612）		4.28	4.30	4.23	4.16	4.18	4.28	4.27	4.23	4.23	4.23	▲ 0.03	0.51		▲ 0.01	0.01	0.90		0.00
	4人以上（112）		4.32	4.28	4.25	4.22	4.18	4.23	4.25	4.29	4.27	4.17	▲ 0.07	0.55		▲ 0.01	▲ 0.08	0.48		▲ 0.01
	子どもはいない（750）		4.27	4.30	4.14	4.19	4.18	4.28	4.21	4.26	4.31	4.23	0.02	0.76		0.00	0.08	0.08		0.00
居住年数	10年未満（参考）（101）		4.16	4.22	4.20	4.46	4.24	4.38	4.26	4.01	4.25	4.16	▲ 0.10	0.50		▲ 0.02	▲ 0.04	0.79		▲ 0.01
	10～20年未満（130）		4.21	4.29	4.24	4.31	4.35	4.24	4.42	4.21	4.34	4.40	▲ 0.01	0.89		▲ 0.00	0.17	0.13		0.01
	20年以上（2,827）		4.27	4.27	4.22	4.15	4.17	4.23	4.21	4.22	4.23	4.20	▲ 0.01	0.66		▲ 0.00	▲ 0.02	0.39		▲ 0.00
広域振興圏	県央（992）		4.26	4.28	4.19	4.20	4.16	4.23	4.27	4.26	4.27	4.24	▲ 0.02	0.58		▲ 0.02	0.06	0.14		0.05
	県南（1,000）		4.22	4.26	4.15	4.11	4.15	4.17	4.17	4.13	4.19	4.12	▲ 0.05	0.26		▲ 0.01	▲ 0.04	0.38		▲ 0.01
	沿岸（767）		4.25	4.25	4.26	4.13	4.21	4.24	4.15	4.23	4.22	4.19	0.04	0.36		0.01	▲ 0.06	0.17		▲ 0.02
	県北（559）		4.37	4.27	4.31	4.23	4.22	4.31	4.28	4.25	4.24	4.21	▲ 0.06	0.26		▲ 0.02	▲ 0.10	0.06		▲ 0.02

（ ）は、R８調査のサンプル数

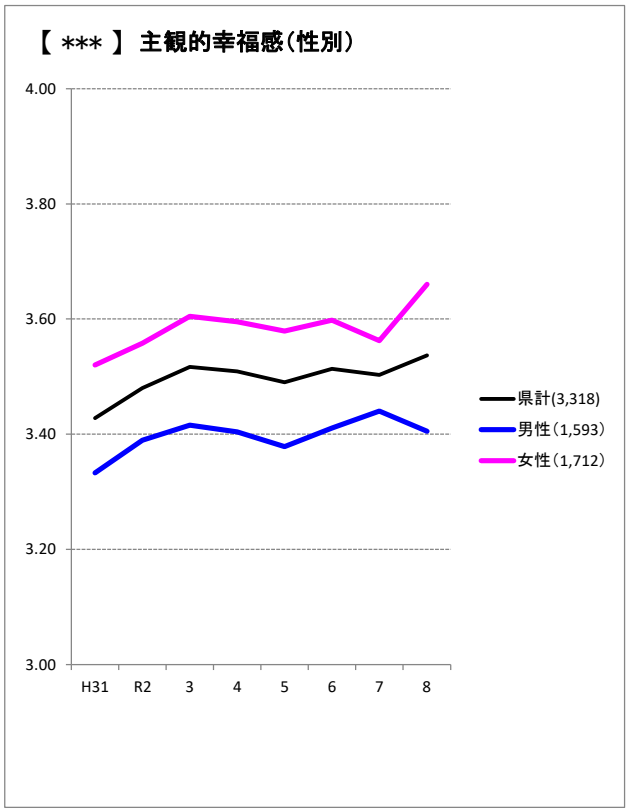
サンプル数

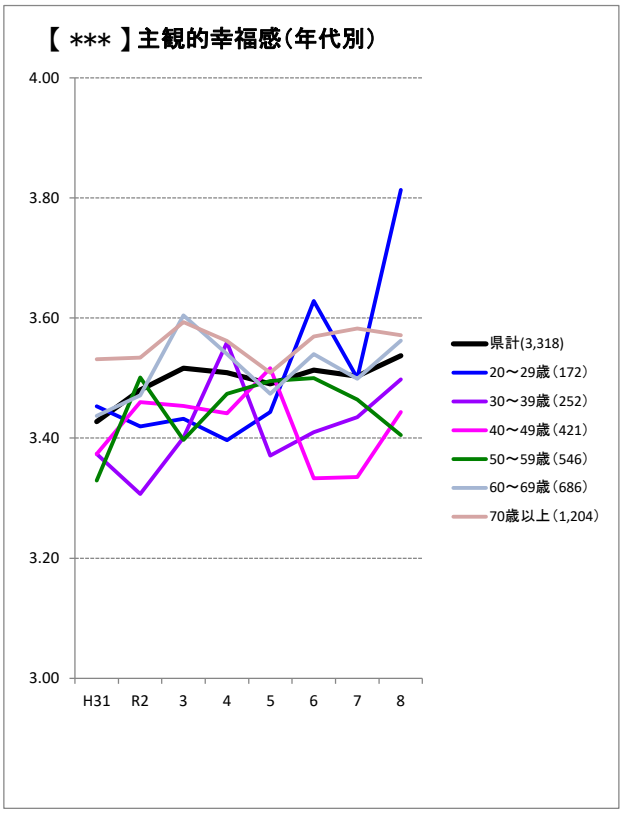
		H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
県計		3,576	3,422	3,260	3,327	3,387	3,549	3,324	2,942	2,861	3,159	3,318
性別	男性	1,480	1,450	1,389	1,611	1,494	1,561	1,439	1,266	1,316	1,395	1,593
	女性	1,929	1,907	1,832	1,693	1,807	1,949	1,868	1,640	1,510	1,718	1,712
	その他(参考)					8	6	3	8	2	6	4
年代	18～19歳(参考)		47	49	38	43	53	52	36	20	26	37
	20～29歳	209	203	189	166	160	200	192	129	123	128	172
	30～39歳	372	330	293	293	273	320	293	249	210	234	252
	40～49歳	497	506	454	429	432	499	457	414	371	384	421
	50～59歳	617	617	521	553	598	604	525	507	479	544	546
	60～69歳	811	838	733	752	805	766	705	605	638	708	686
	70歳以上	904	822	841	986	1,028	1,009	1,005	985	1,008	1,094	1,204
職業	自営業主	295	276	249	309	291	282	298	212	237	256	261
	家族従業者(参考)	147	149	115	95	136	119	86	90	81	87	71
	会社役員・団体役員	198	190	185	207	198	240	222	185	178	193	179
	常用雇用者	938	965	917	885	885	1,025	890	835	812	870	946
	臨時雇用者	403	421	346	390	432	440	430	347	326	363	406
	学生＋その他	149	184	153	171	195	119	181	131	122	139	152
	専業主婦・主夫	435	449	373	340	416	403	327	324	331	312	281
	60歳未満の無職(参考)	91	61	57	62	64	77	64	62	57	64	76
	60歳以上の無職	723	647	661	716	686	697	684	561	605	661	691
世帯構成	ひとり暮らし	373	337	353	402	374	431	372	330	374	405	473
	夫婦のみ	760	765	702	757	765	718	686	651	645	663	728
	2世代世帯	1,174	1,278	1,125	1,143	1,212	1,437	1,396	1,167	1,141	1,233	1,222
	3世代世帯	570	502	478	461	469	548	474	391	348	405	384
	その他	450	452	375	410	393	184	175	134	149	161	155
子の人数	1人	460	444	381	428	442	450	450	375	376	355	425
	2人	1,297	1,251	1,158	1,232	1,227	1,270	1,171	1,023	1,043	1,121	1,088
	3人	673	711	615	637	646	682	631	514	562	587	612
	4人以上	179	182	134	160	168	159	132	129	111	136	112
	子どもはいない	747	743	745	710	725	802	735	618	595	682	750
居住年数	10年未満(参考)	104	118	107	101	95	100	87	99	84	83	101
	10～20年未満	138	151	149	125	131	145	166	113	100	109	130
	20年以上	3,142	3,063	2,799	2,961	2,994	3,174	2,958	2,544	2,590	2,768	2,827
広域振興圏	県央	1,014	976	905	938	966	1,011	962	872	866	920	992
	県南	1,065	1,039	983	1,014	993	1,080	1,002	869	846	959	1,000
	沿岸	890	821	788	800	837	833	801	711	655	732	767
	県北	607	586	584	575	591	625	559	490	494	548	559

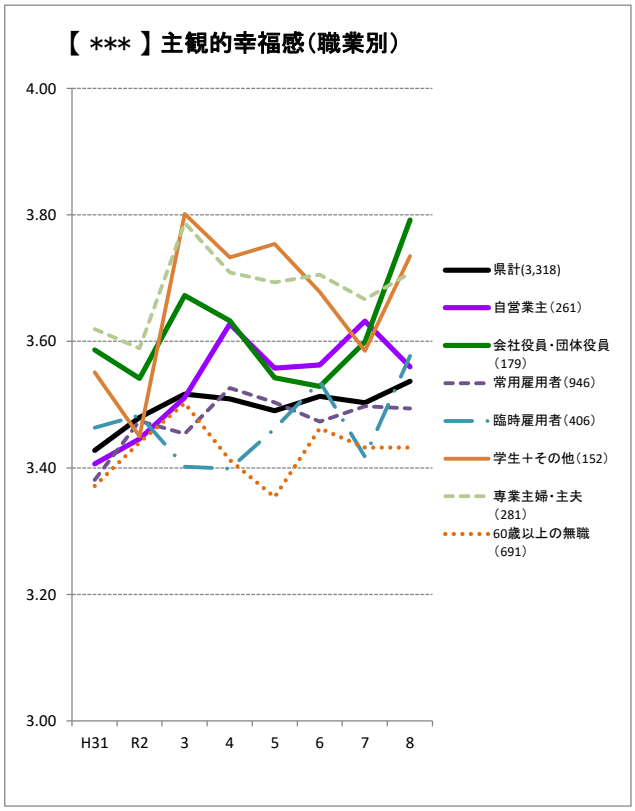
「令和8年県の施策に関する県民意識調査」属性別分析結果

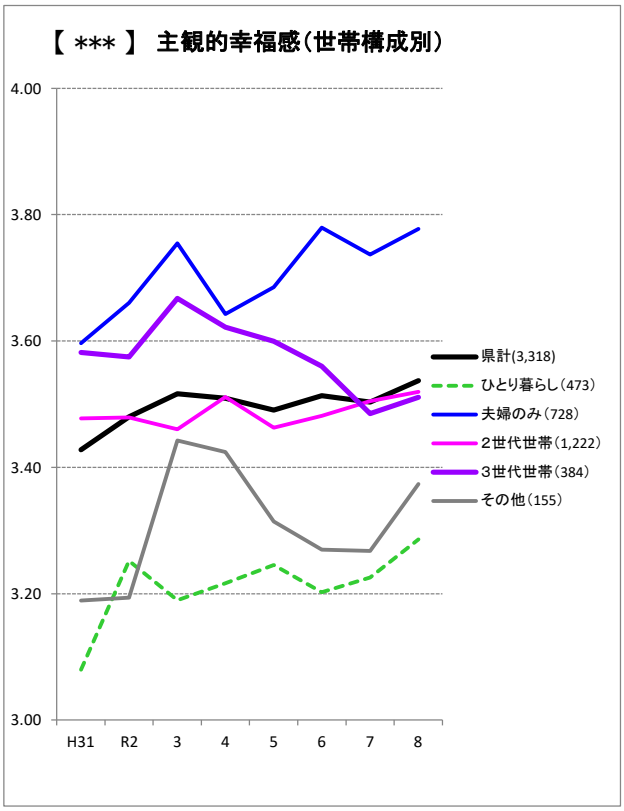
【県計】【主観的幸福感】あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

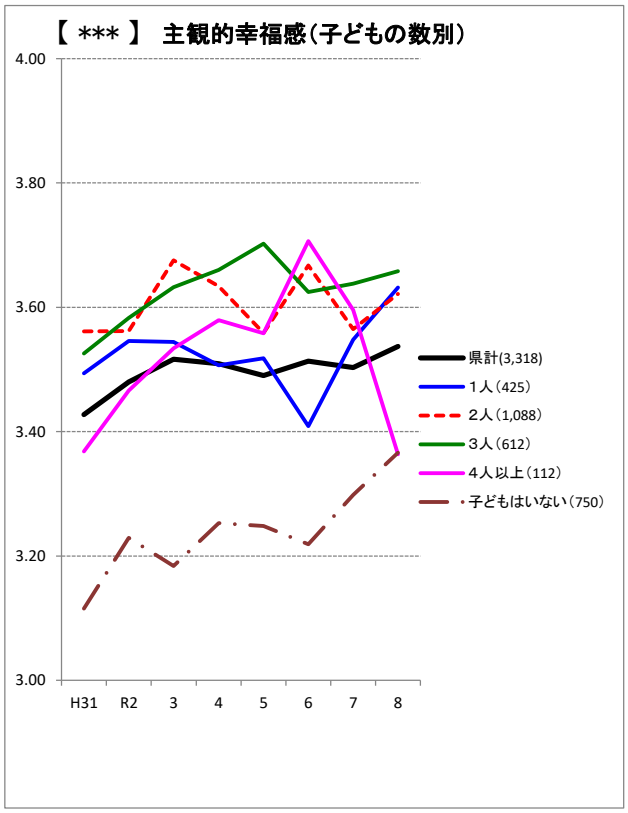
【令和8年の調査結果】
・全ての属性で有意な差が認められた。
・「性別」の最大値は「女性」の3.66、最小値は「男性」の3.40。「年代別」の最大値は「20歳代」の3.81、最小値は「50歳代」の3.40。「職業別」の最大値は「会社役員・団体役員」の3.79、最小値は「60歳以上の無職」の3.43。「世帯構成別」の最大値は「夫婦のみ」の3.78、最小値は「ひとり暮らし」の3.29。「子どもの数別」の最大値は「３人」の3.66、最小値は「４人以上」の3.36。「居住年数別」の最大値は「10年～20年未満」の3.76、最小値は「20年以上」の3.53。「広域振興圏別」の最大値は「県央」の3.63、最小値は「県北」の3.45。

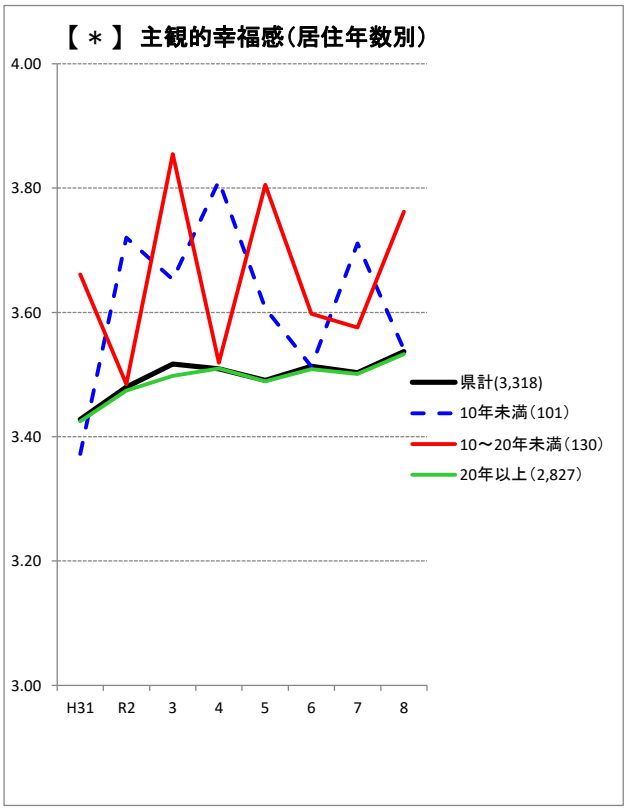


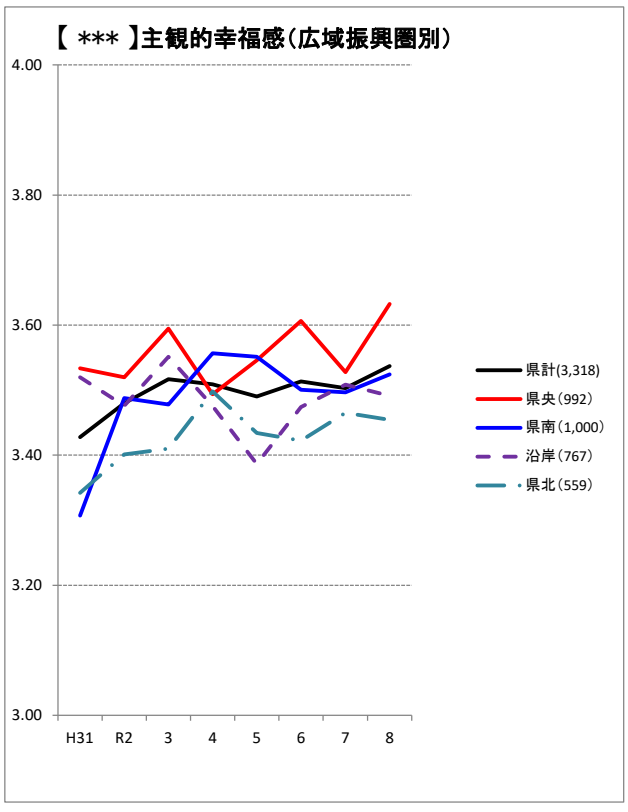












「主観的幸福感について」

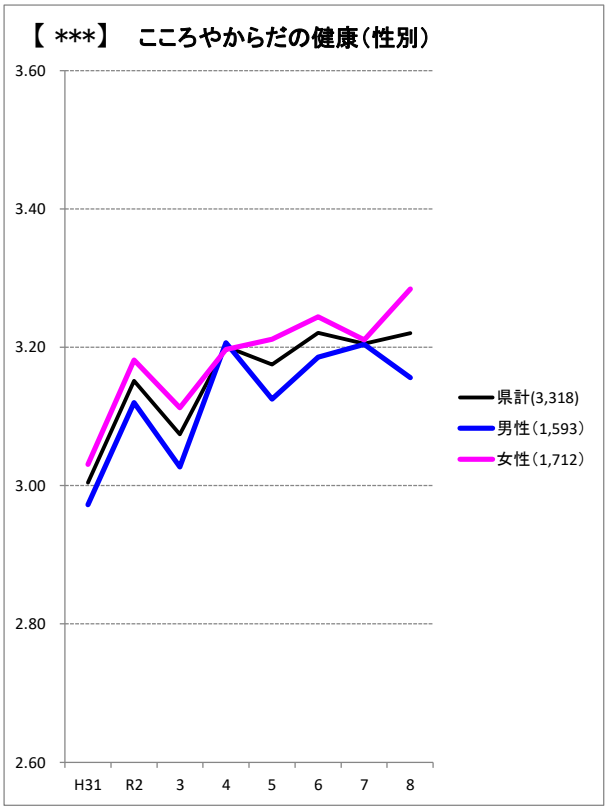
主観的幸福感の実感平均値の算出方法
「幸福だと感じている」を5点、「やや幸福だと感じている」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり幸福だと感じていない」を2点、「幸福だと感じていない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化しています。

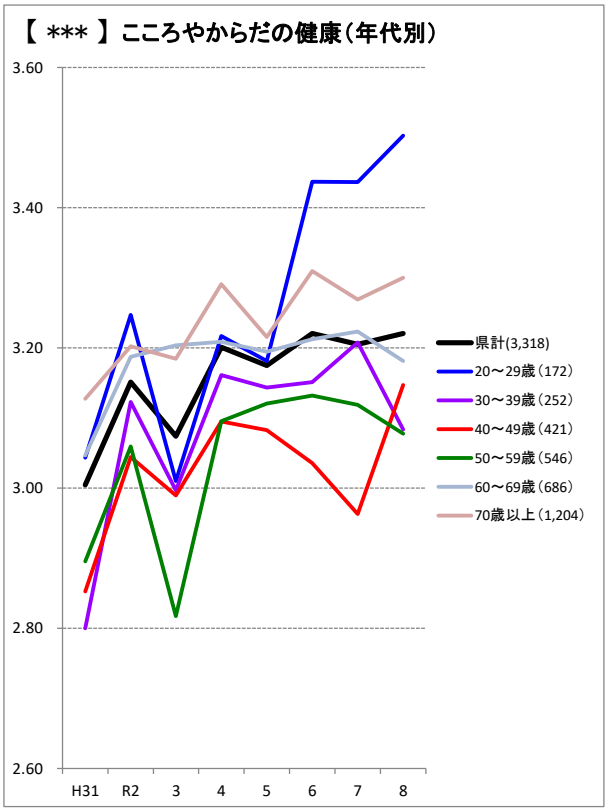
■凡例■
グラフ左上の＊は、R8調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。
【***】1%水準で差が有意（差が認められる）
【**】 5%水準で差が有意（差が認められる）
【*】 10%水準で差が有意
【-】 差が認められない

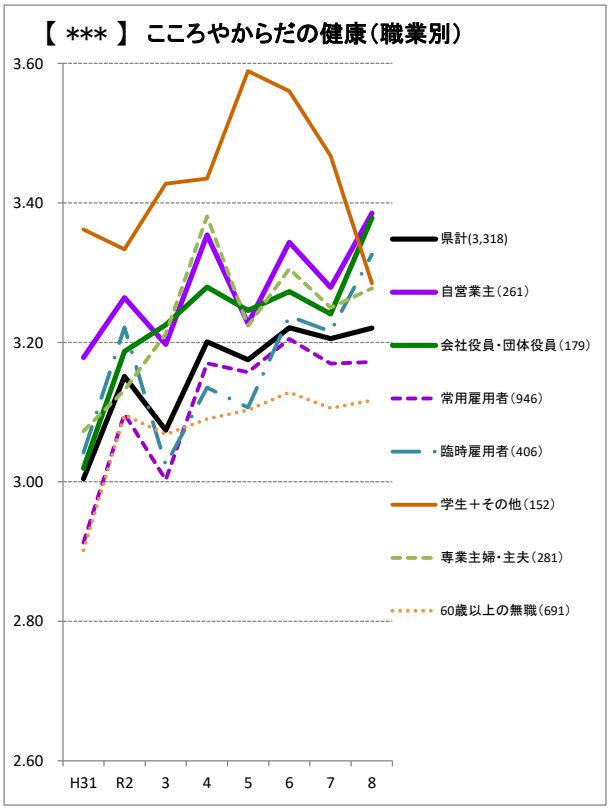
注） R8のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。
- 性別の「その他」
- 年代別の「18～19歳」
- 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」

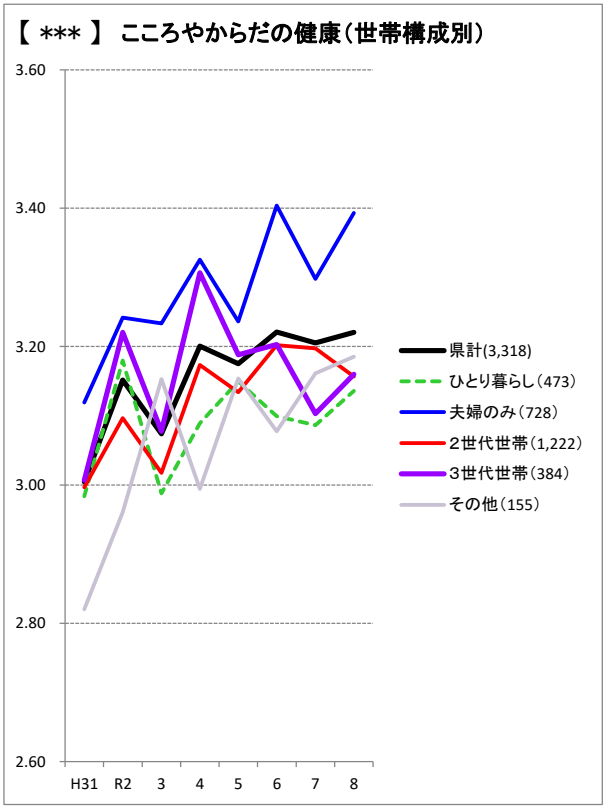
【県計】【分野別実感】①こころやからだが健康だと感じますか。

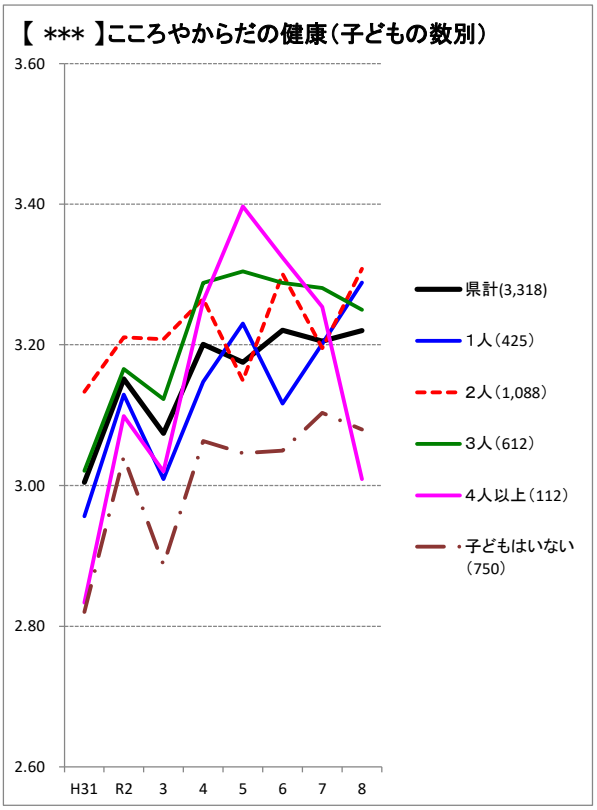
【令和8年の調査結果】
・全ての属性で有意な差が認められた。
・「性別」の最大値は「女性」の3.28、最小値は「男性」の3.16。「年代別」の最大値は「20歳代」の3.50、最小値は「50歳代」の3.08。「職業別」の最大値は「自営業主」の3.39、最小値は「60歳以上の無職」の3.12。「世帯構成別」の最大値は「夫婦のみ」の3.39、最小値は「ひとり暮らし」の3.14。「子どもの数別」の最大値は「2人」の3.31、最小値は「4人以上」の3.01。「居住年数別」の最大値は「10～20年未満」の3.56、最小値は「20年以上」の3.20。「広域振興圏別」の最大値は「県央」の3.31、最小値は「県南」の3.17。

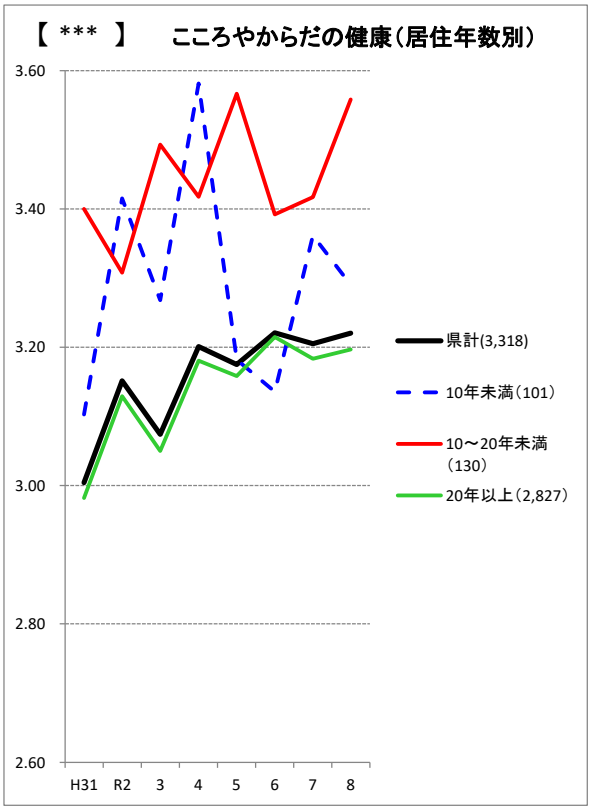


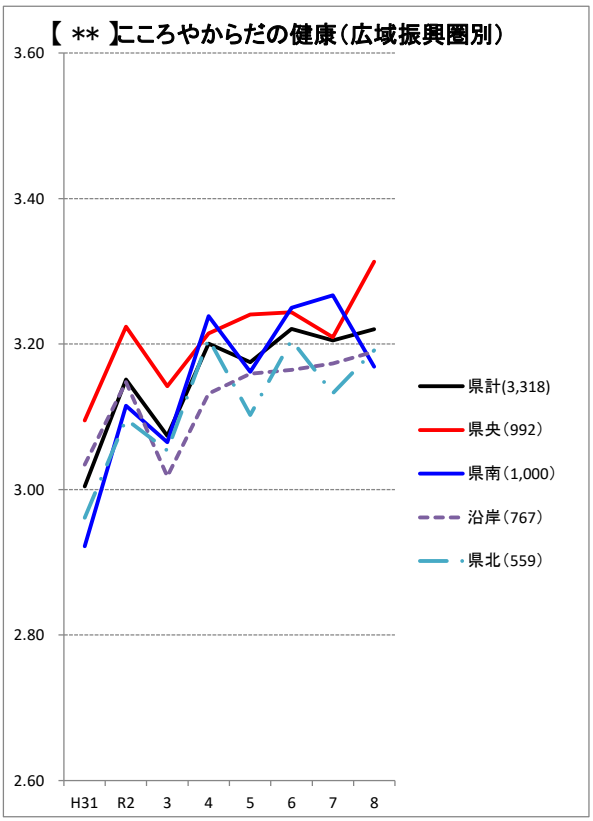












「分野別実感について」

実感平均値の算出方法
「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化しています。

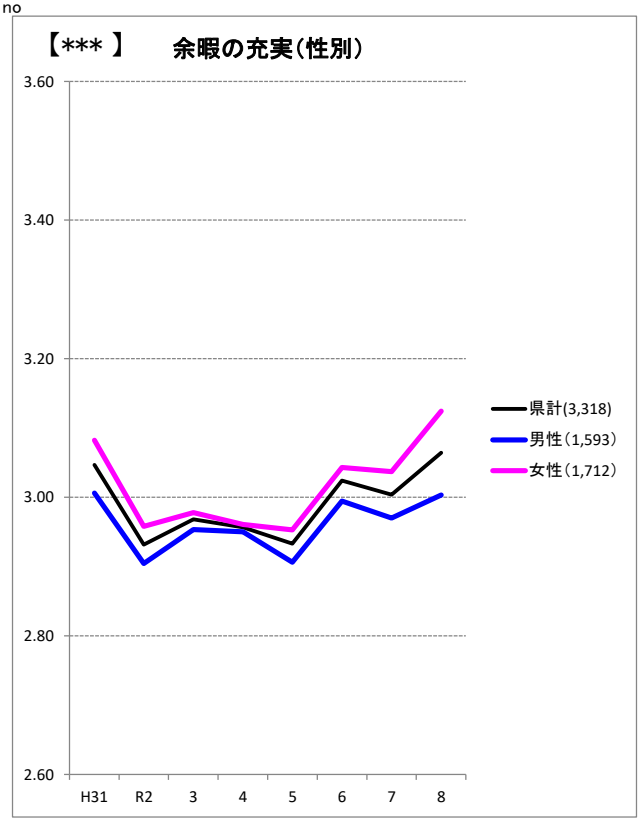
■凡例■
グラフ左上の＊は、R8調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。
【***】1%水準で差が有意（差が認められる）
【**】 5%水準で差が有意（差が認められる）
【*】 10%水準で差が有意
【-】 差が認められない

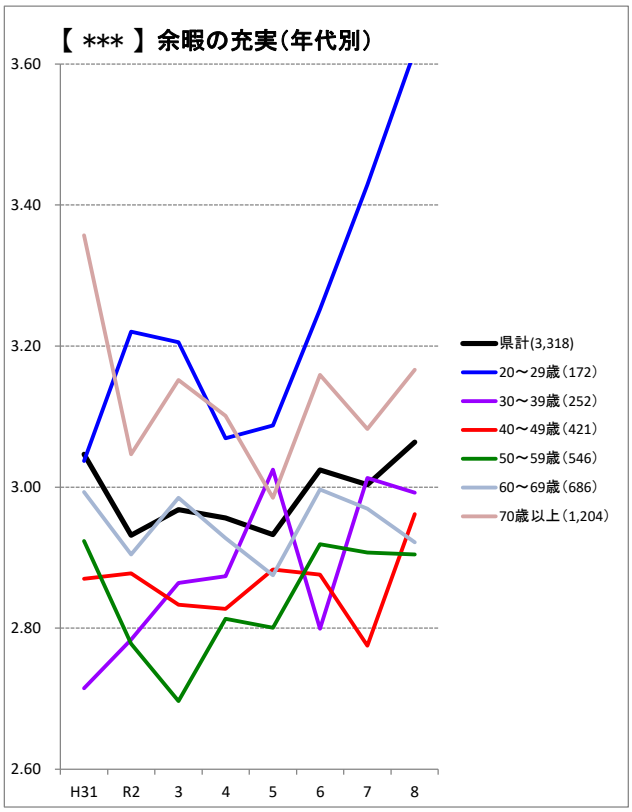
注） R8のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。
- 性別の「その他」
- 年代別の「18～19歳」
- 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」

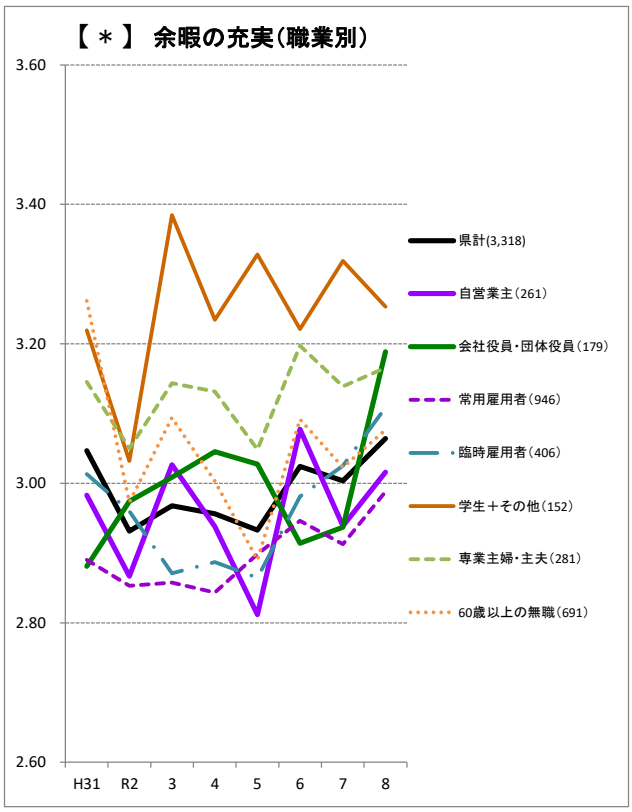
【県計】【分野別実感】②余暇が充実していると感じますか

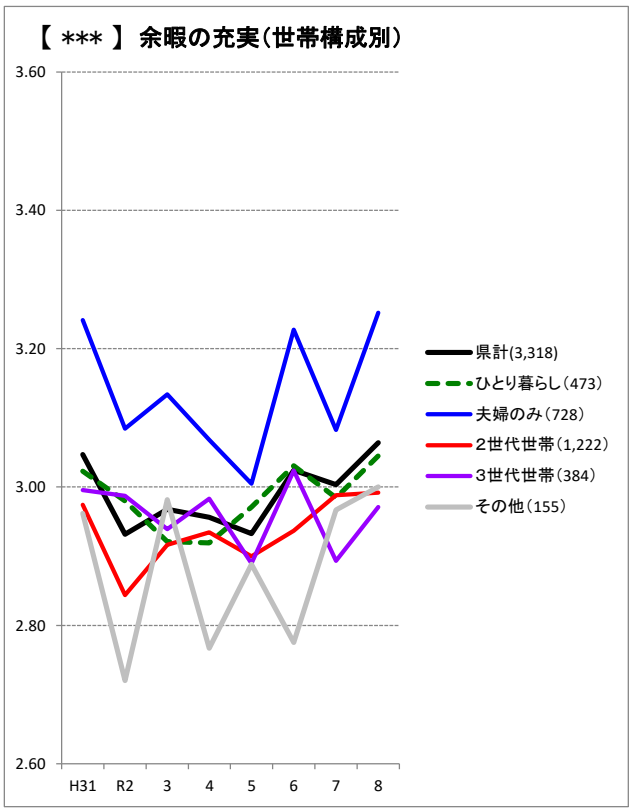
【令和8年の調査結果】
・属性別にみると、「子どもの数別」を除く全てで有意な差が認められた。
・「性別」の最大値は「女性」の3.12、最小値は「男性」の3.00。「年代別」の最大値は「20歳代」の3.62、最小値は「50歳代」の2.90。「職業別」の最大値は「学生+その他」の3.25、最小値は「常用雇用者」の2.99。「世帯構成別」の最大値は「夫婦のみ」の3.25、最小値は「3世代世帯」の2.97。「子どもの数別」の最大値は「1人」の3.13、「最小値」は「4人以上」の2.90。「居住年数別」の最大値は「10～20年未満」の3.51、最小値は「10年未満」の3.04。「広域振興圏別」の最大値は「県央」の3.17、最小値は「沿岸」の2.98。

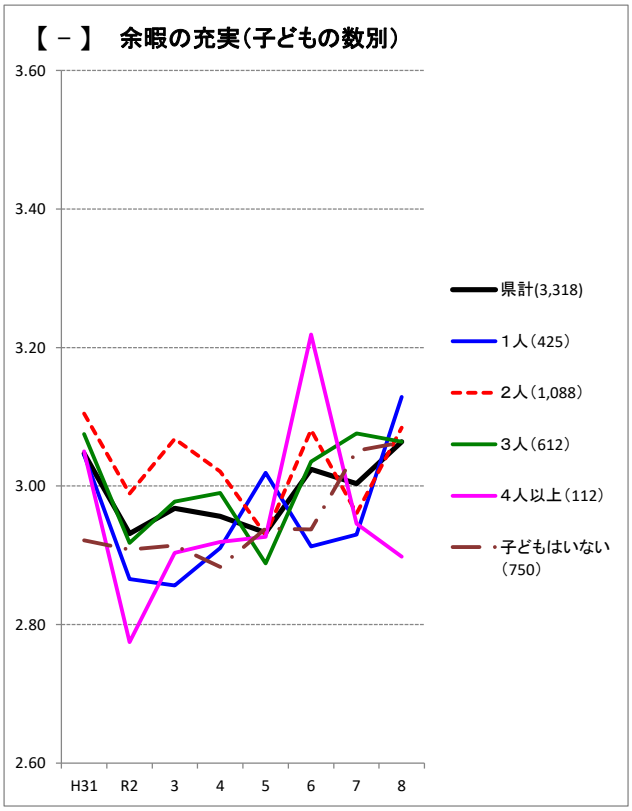
no

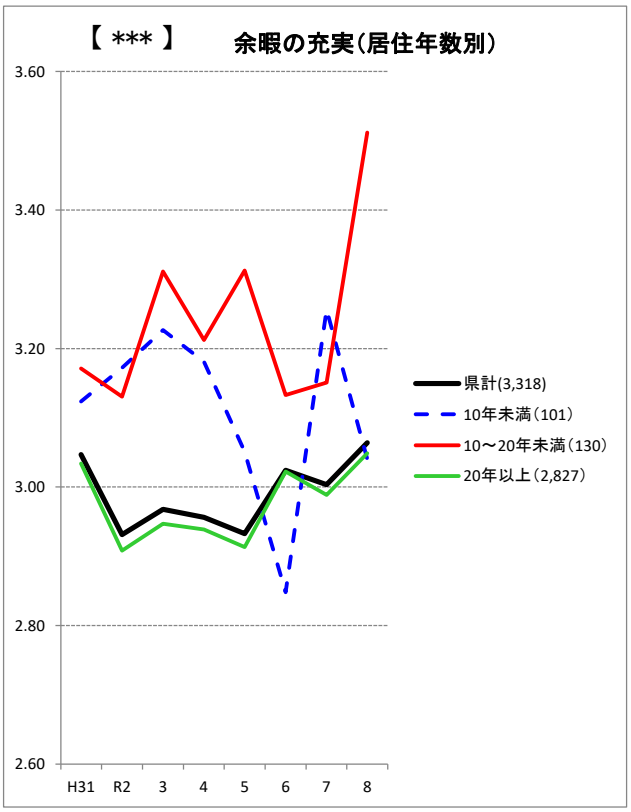


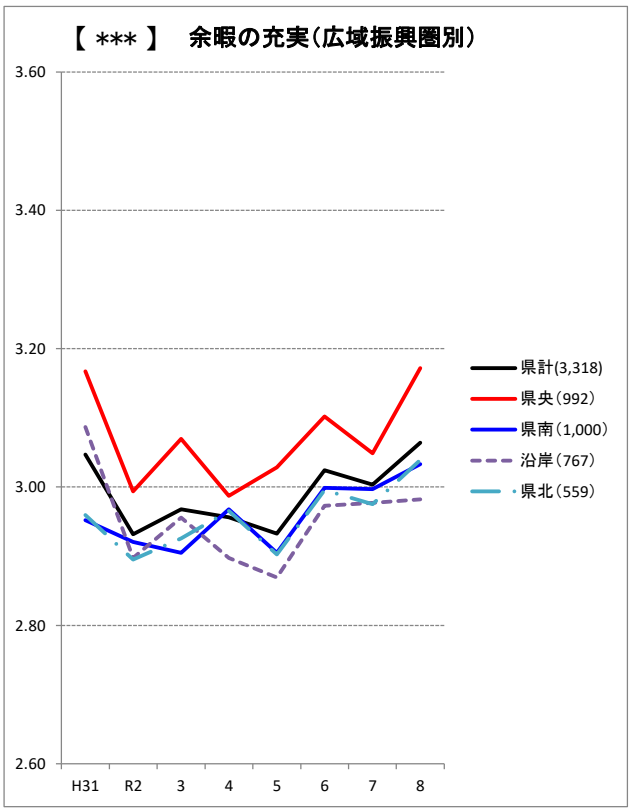












「分野別実感について」

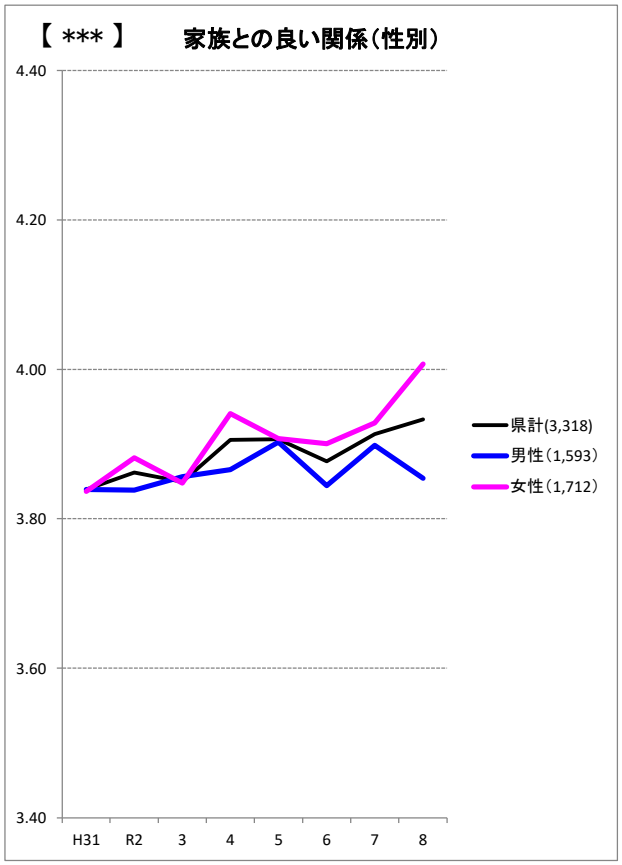
実感平均値の算出方法
「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化しています。

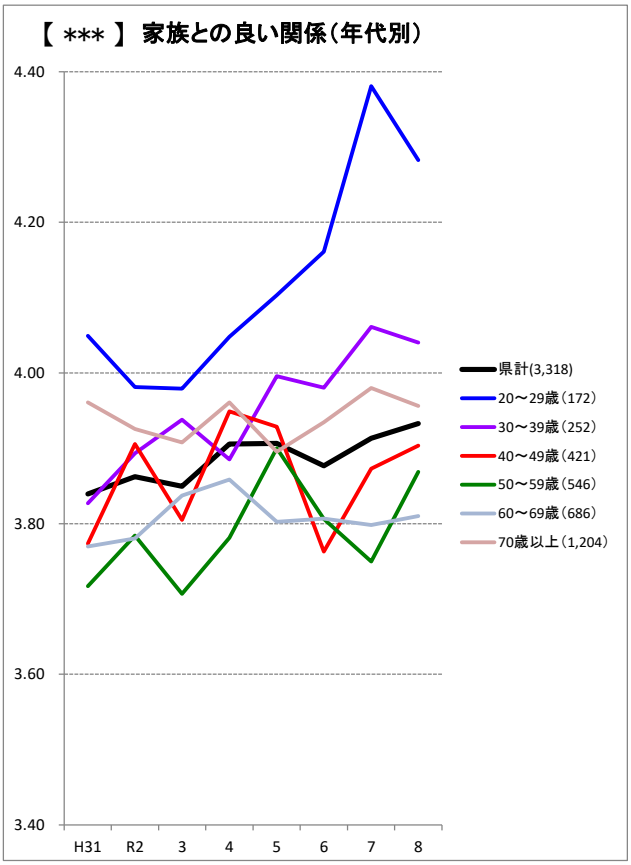
■凡例■
グラフ左上の＊は、R8調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。
【***】1%水準で差が有意（差が認められる）
【**】 5%水準で差が有意（差が認められる）
【*】 10%水準で差が有意
【－】 差が認められない

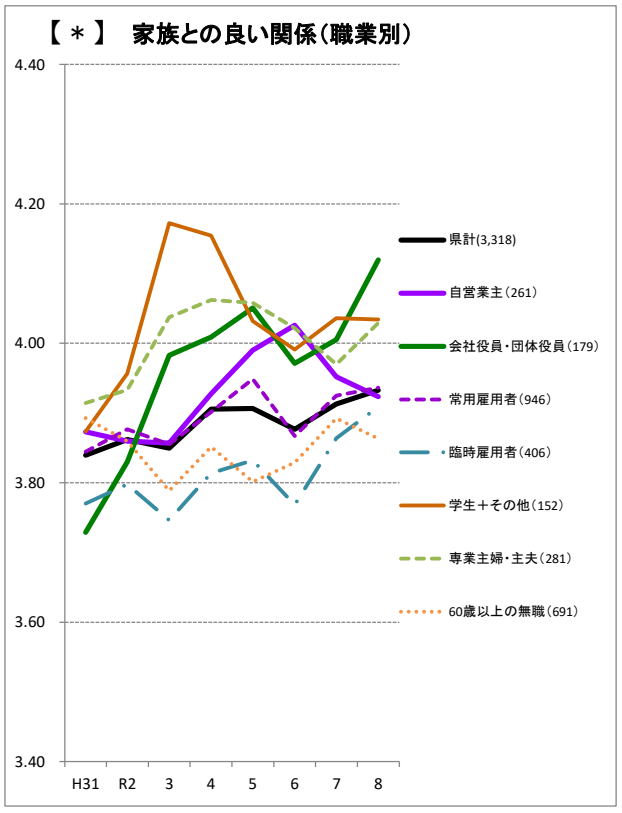
注） R8のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。
- 性別の「その他」
- 年代別の「18～19歳」
- 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」

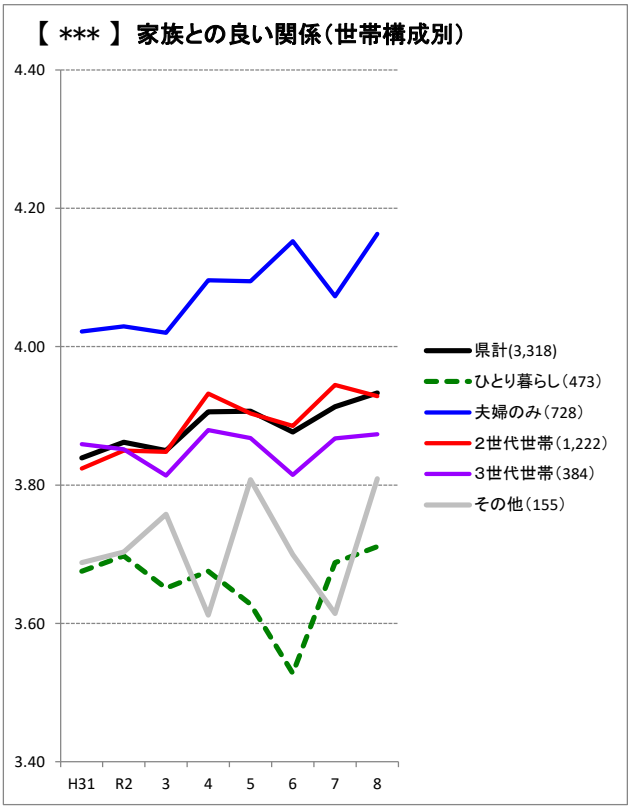
【県計】【分野別実感】③家族と良い関係がとれていると感じますか。

【令和8年の調査結果】
・属性別にみると、「居住年数別」を除く全てで有意な差が認められた。
・「性別」の最大値は「女性」の4.01、最小値は「男性」の3.85。「年代別」の最大値は「20歳代」の4.28、最小値は「60歳代」の3.81。「職業別」の最大値は「会社役員・団体役員」の4.12、最小値は「60歳以上の無職」の3.86。「世帯構成別」の最大値は「夫婦のみ」の4.16、最小値は「ひとり暮らし」の3.71。「子どもの数別」の最大値は「１人」の4.07、最小値は「４人以上」の3.74。「広域振興圏別」の最大値は「県央」の4.01、最小値は「県北」の3.85。

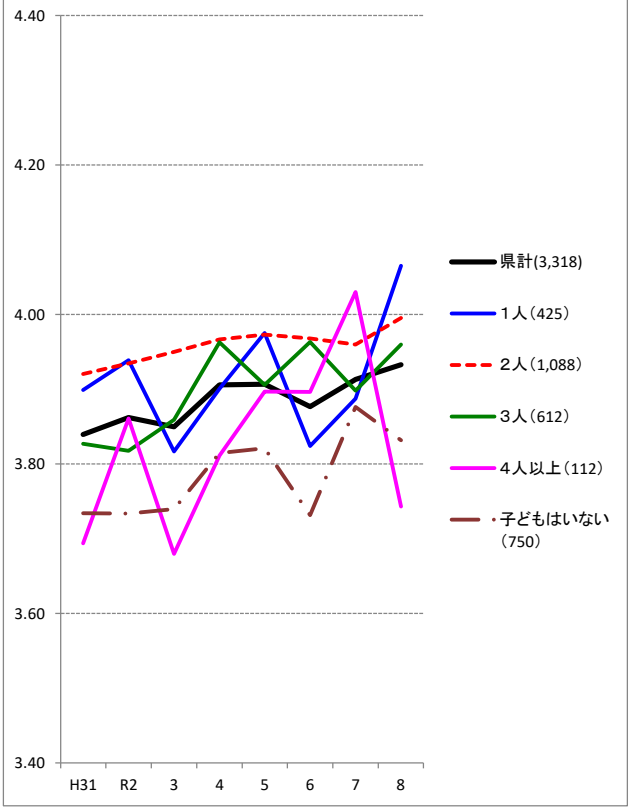




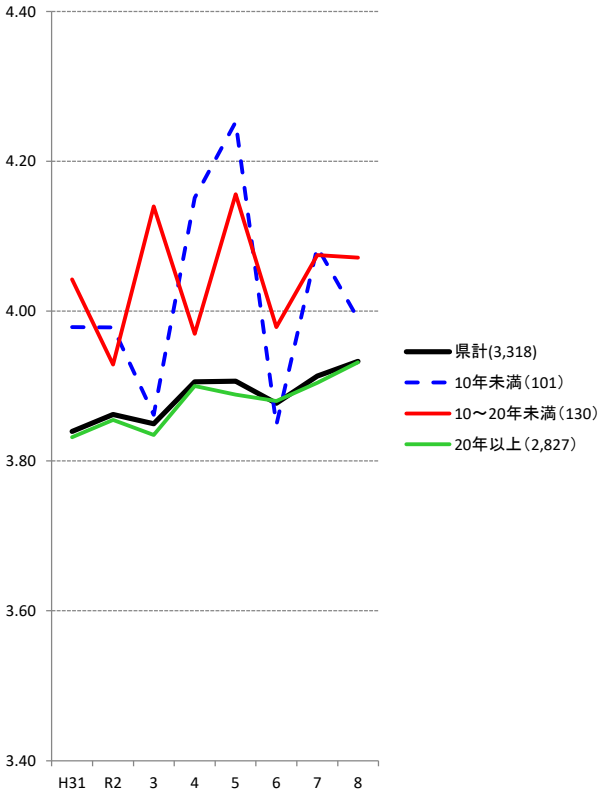




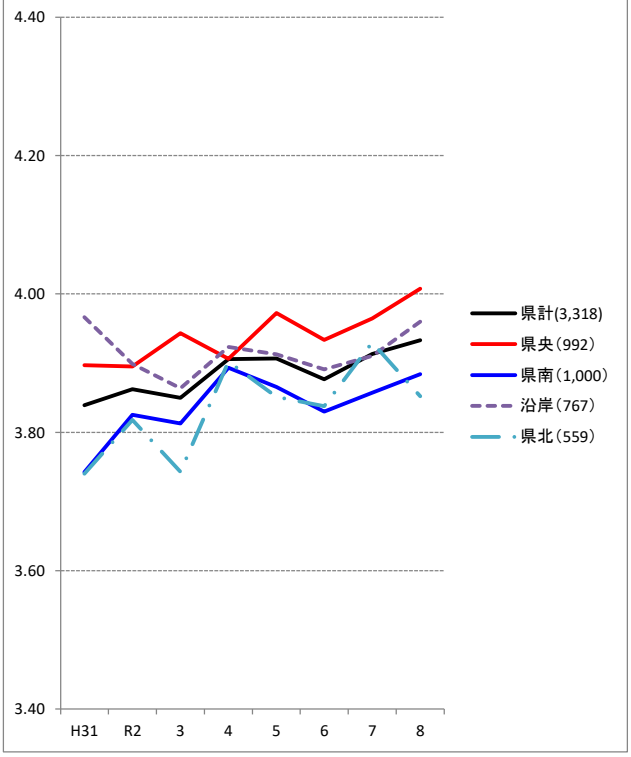
【 *** 】家族との良い関係（子どもの数別）



【 — 】家族との良い関係（居住年数別）



【 ** 】家族との良い関係（広域振興圏別）



「分野別実感について」

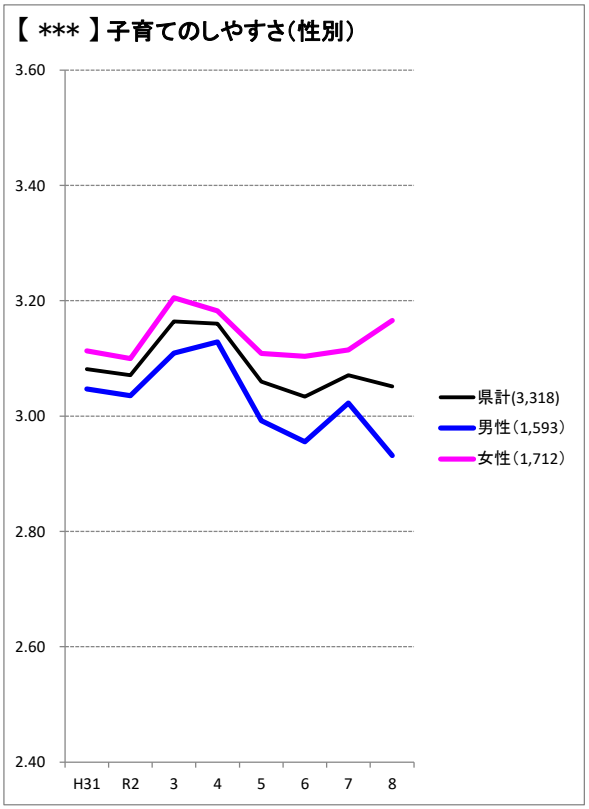
実感平均値の算出方法
「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化しています。

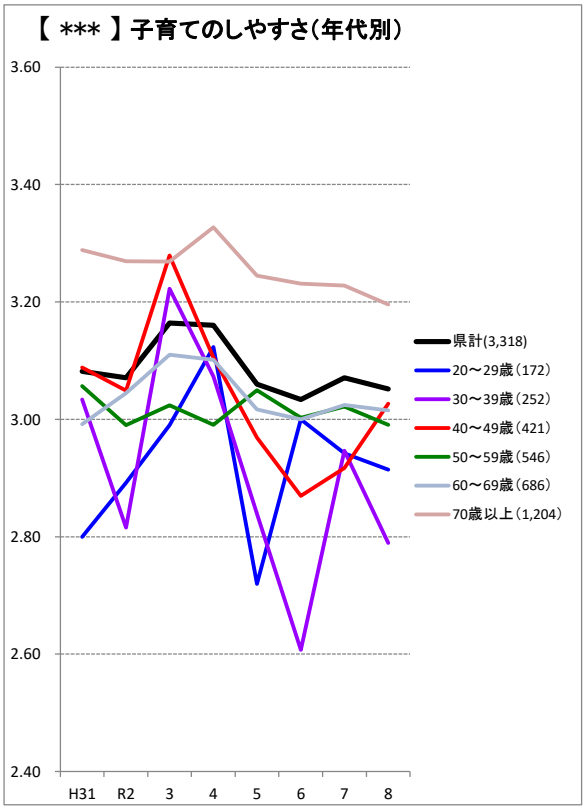
■凡例■
グラフ左上の＊は、R8調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。
【***】1%水準で差が有意（差が認められる）
【**】 5%水準で差が有意（差が認められる）
【*】 10%水準で差が有意
【-】　差が認められない

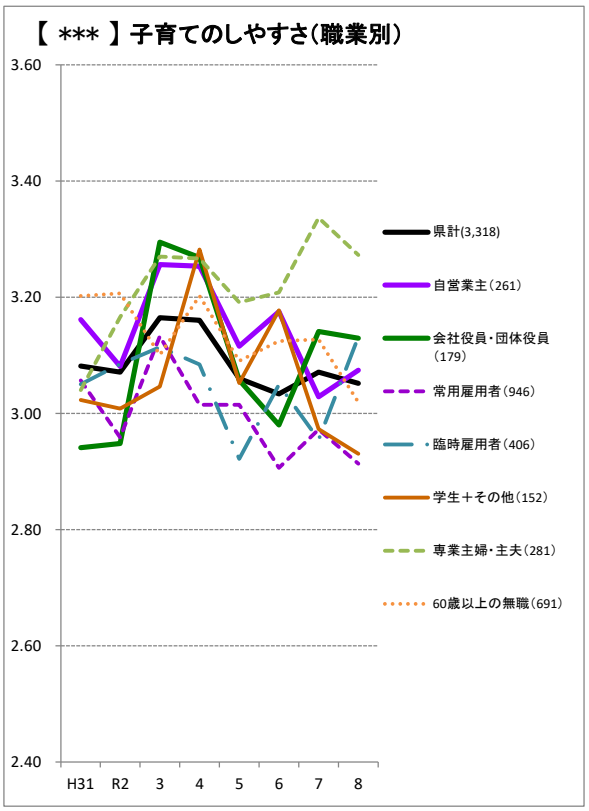
注） R8のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。
- 性別の「その他」
- 年代別の「18～19歳」
- 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」

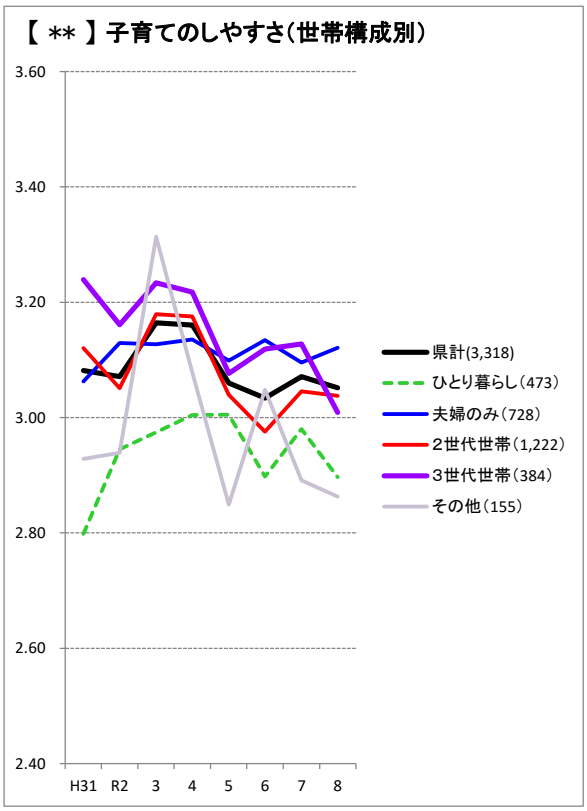
【県計】【分野別実感】④子育てがしやすいと感じますか。

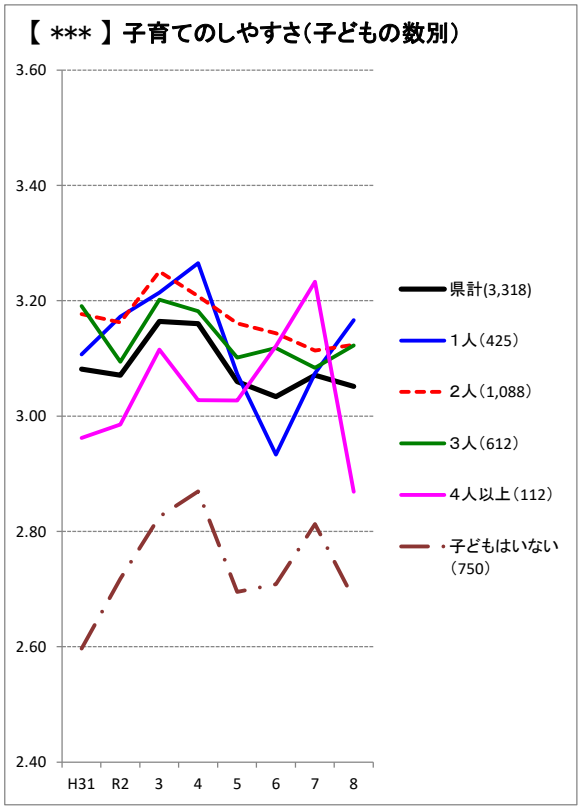
【令和8年の調査結果】
・属性別にみると、「居住年数別」を除く全てで有意な差が認められた。
・「性別」の最大値は「女性」の3.17、最小値は「男性」の2.93。「年代別」の最大値は「70歳以上」の3.20、最小値は「30歳代」の2.79。「職業別」の最大値は「専業主婦（主夫）」の3.27、最小値は「常用雇用者」の2.91。「世帯構成別」の最大値は「夫婦のみ」の3.12、最小値は「その他」の2.86。「子どもの数別」の最大値は「１人」の3.17、最小値は「子どもはいない」の2.68。「広域振興圏別」の最大値は「県央」の3.17、最小値は「県北」の2.94。

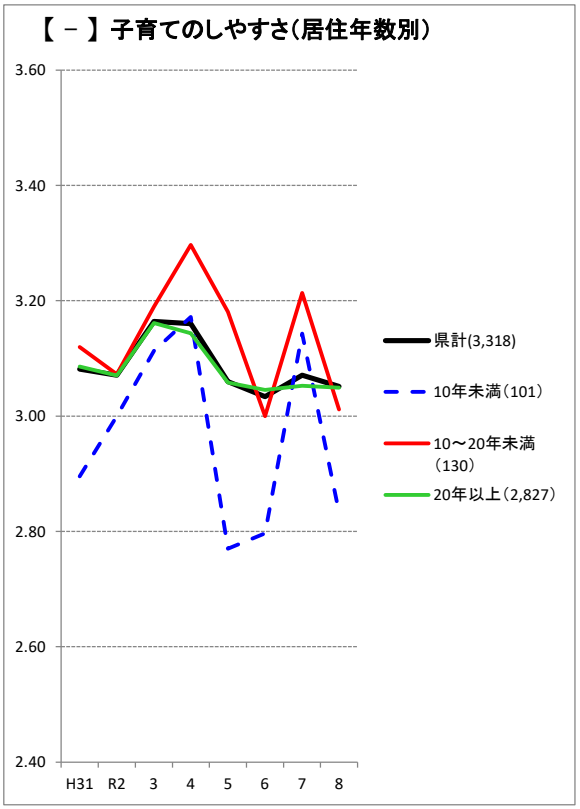


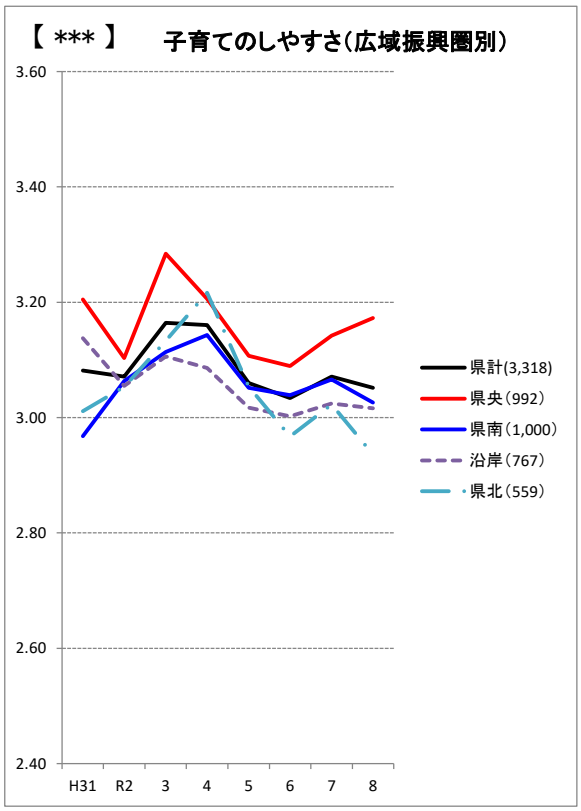












「分野別実感について」

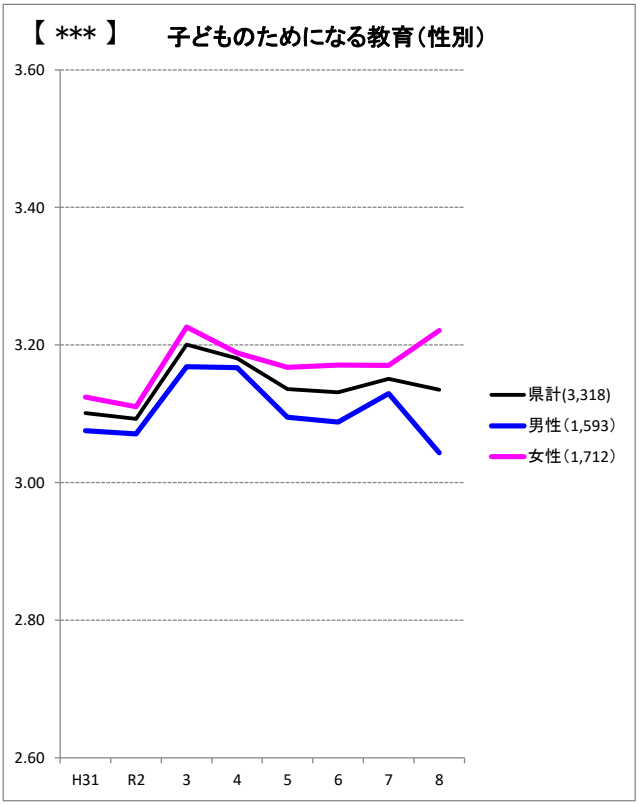
実感平均値の算出方法
「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

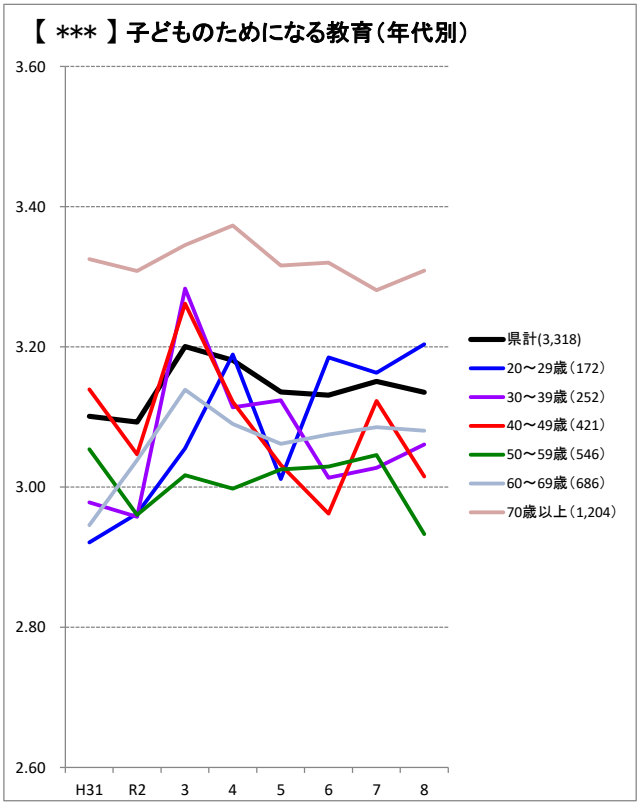
■凡例■
グラフ左上の＊は、R8調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。
【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
【**】 5%水準で差が有意(差が認められる)
【*】 10%水準で差が有意
【-】 差が認められない

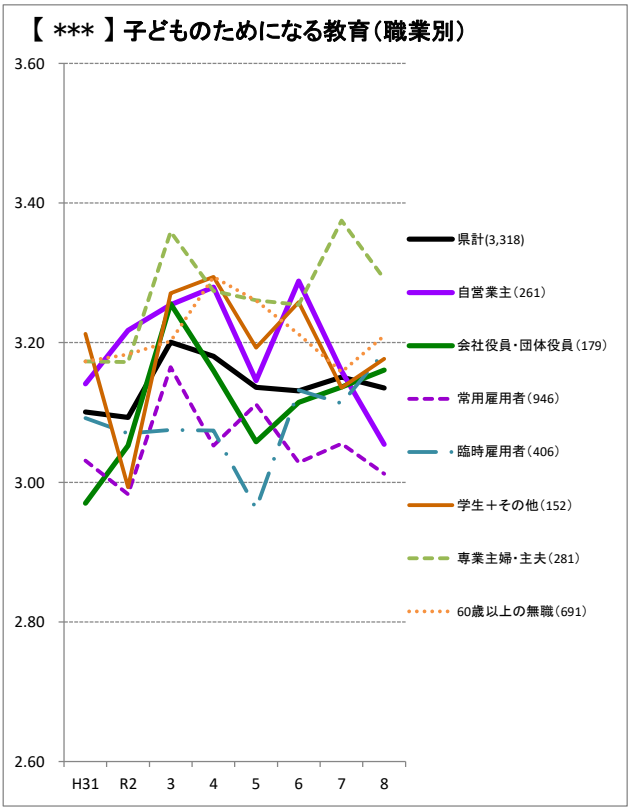
注) R8のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。
- 性別の「その他」
- 年代別の「18～19歳」
- 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」

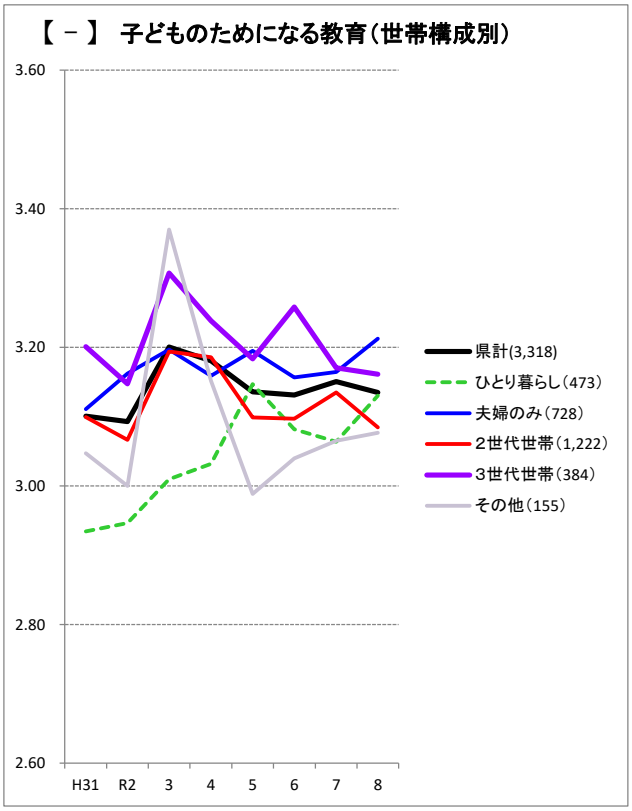
【県計】【分野別実感】⑤子どものためになる教育が行われていると感じますか。

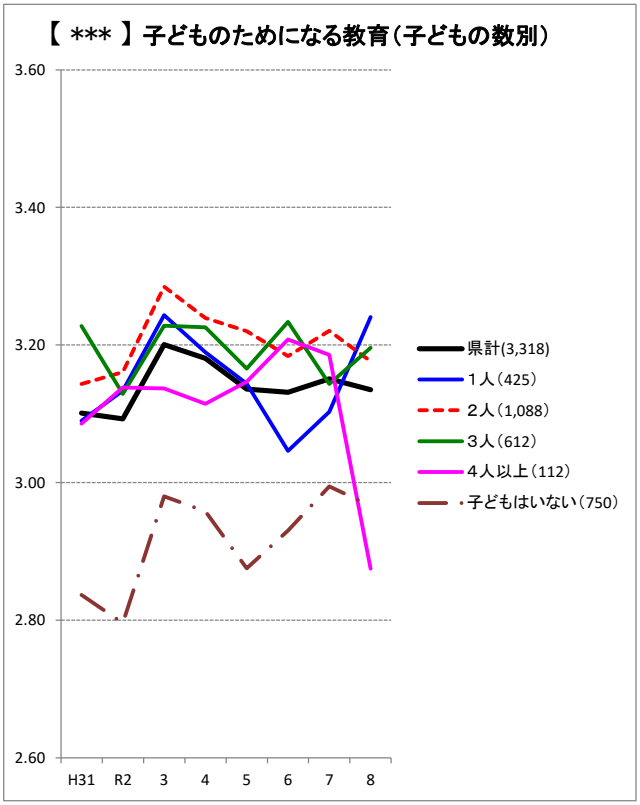
【令和8年の調査結果】
・属性別にみると、「世帯構成別」を除く全てで有意な差が認められた。
・「性別」の最大値は「女性」の3.22、最小値は「男性」の3.04。「年代別」の最大値は「70歳以上」の3.31、最小値は「50歳代」の2.93。「職業別」の最大値は「専業主婦（主夫）」の3.29、最小値は「常用雇用者」の3.01。「子どもの数別」の最大値は「1人」の3.24、最小値は「4人以上」の2.88。「居住年数別」の最大値は「10～20年未満」の3.35、最小値は「10年未満」の2.99。「広域振興圏別」の最大値は「県央」の3.22、最小値は「県南」の3.09。

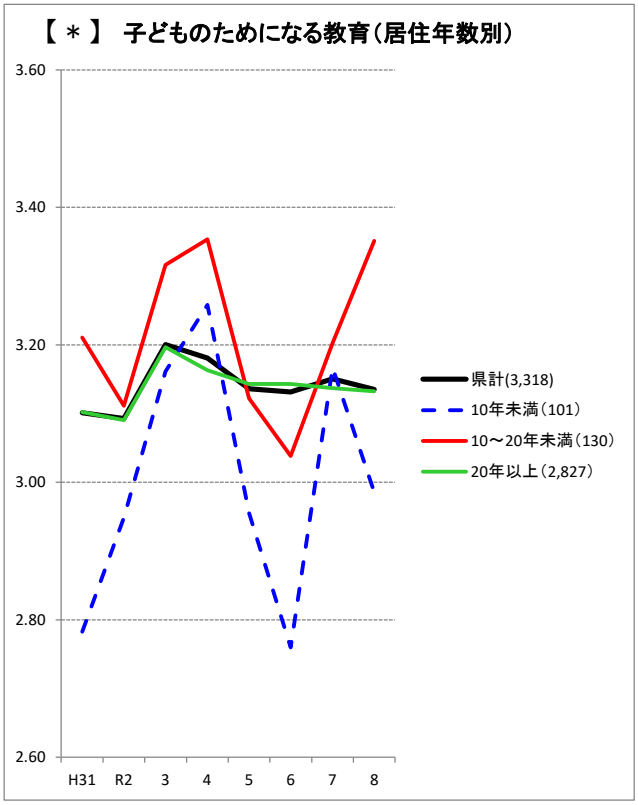


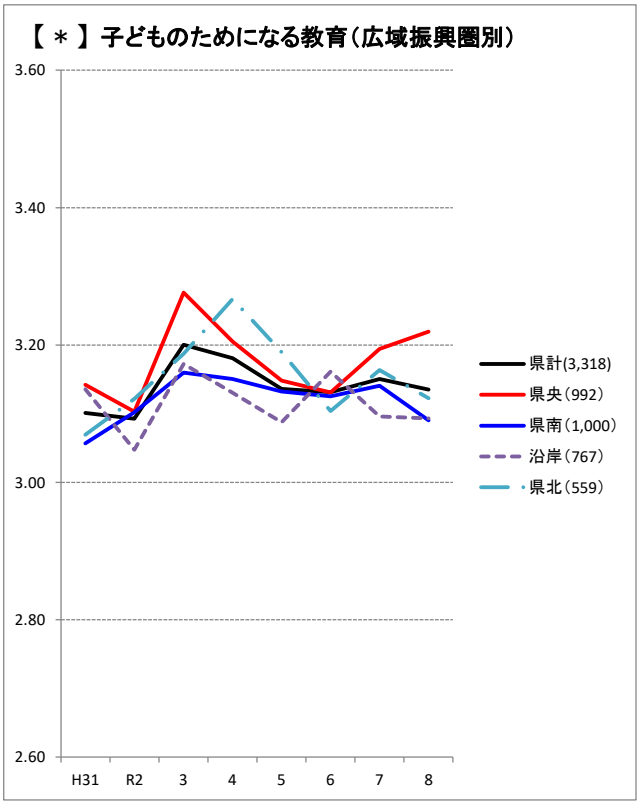












「分野別実感について」

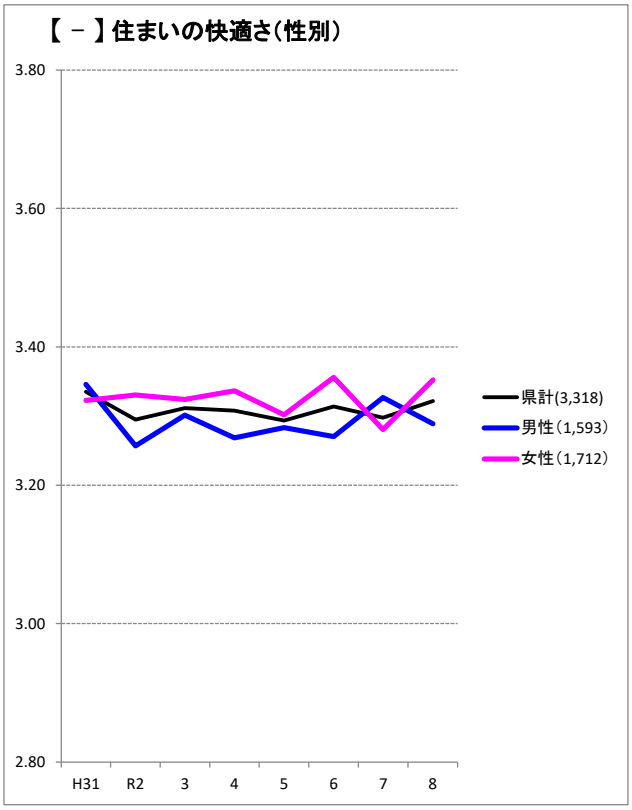
実感平均値の算出方法
「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化しています。

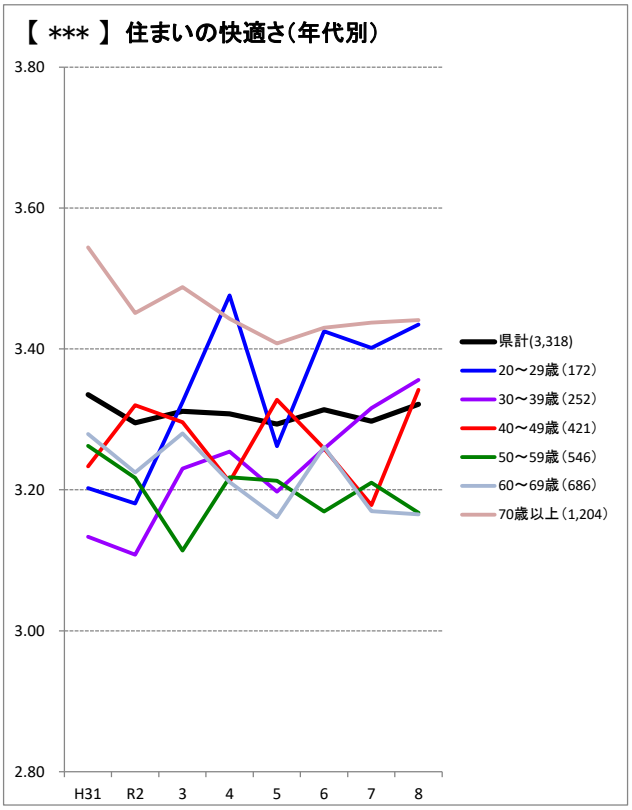
■凡例■
グラフ左上の＊は、R8調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。
【***】1%水準で差が有意（差が認められる）
【**】 5%水準で差が有意（差が認められる）
【*】 10%水準で差が有意
【−】 差が認められない

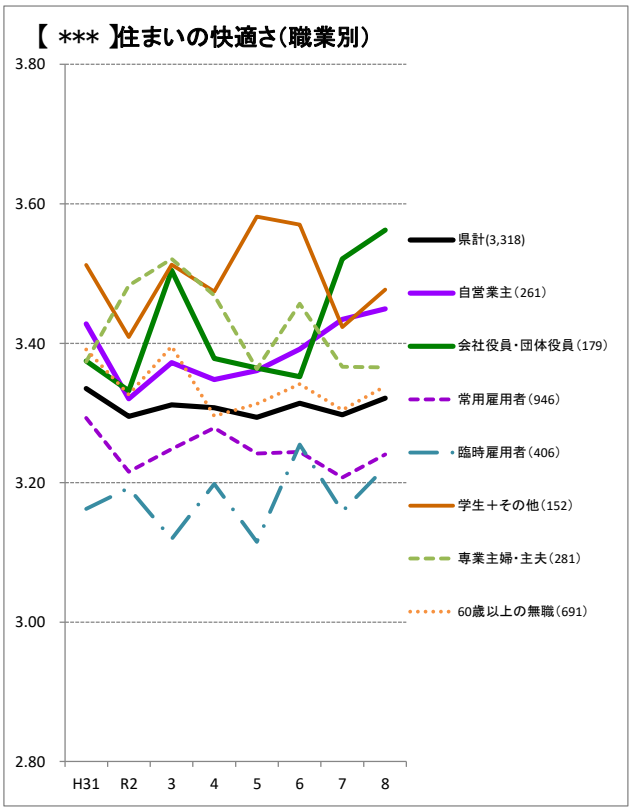
注） R8のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。
- 性別の「その他」
- 年代別の「18～19歳」
- 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」

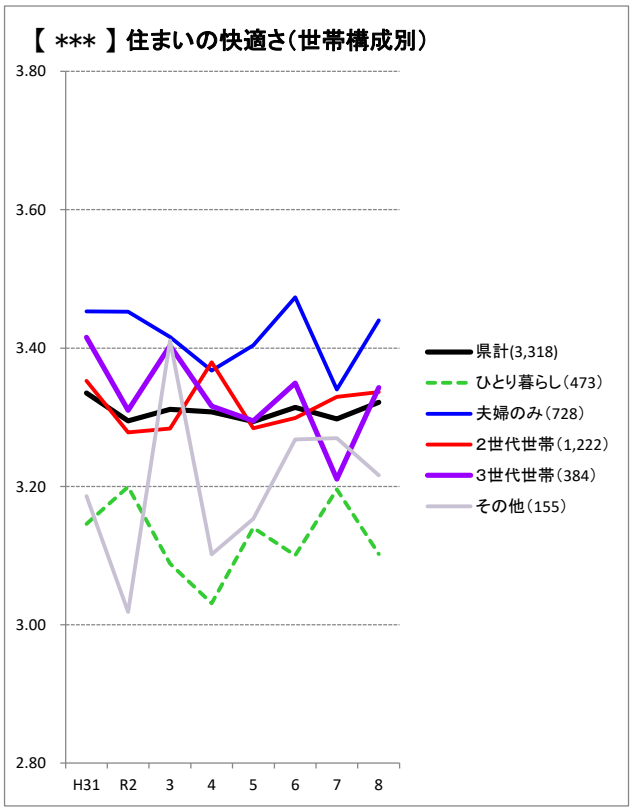
【県計】【分野別実感】⑥住まいに快適さを感じますか

【令和8年の調査結果】
・属性別にみると、「性別」、「居住年数別」を除く全てで有意な差が認められた。
・「年代別」の最大値は「70歳以上」の3.44、最小値は「60歳代」の3.17。「職業別」の最大値は「会社役員・団体役員」の3.56、最小値は「臨時雇用者」の3.22。「世帯構成別」の最大値は「夫婦のみ」の3.44、最小値は「ひとり暮らし」の3.10。「子どもの数別」の最大値は「１人」の3.48、最小値は「４人以上」の2.94。「広域振興圏別」の最大値は「県央」の3.42、最小値は「県北」の3.18。

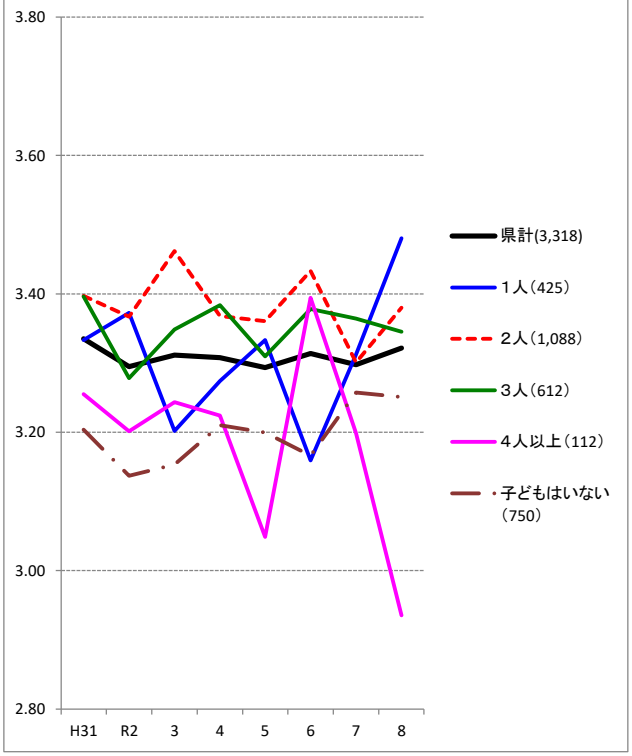




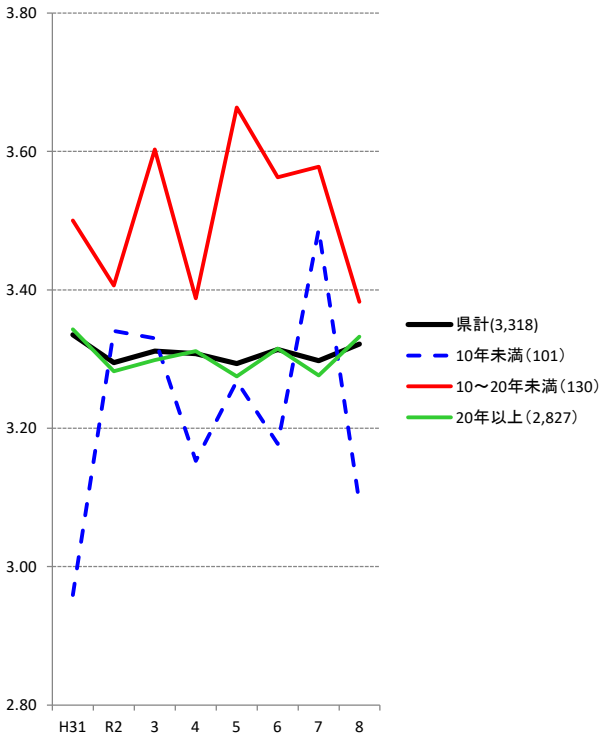




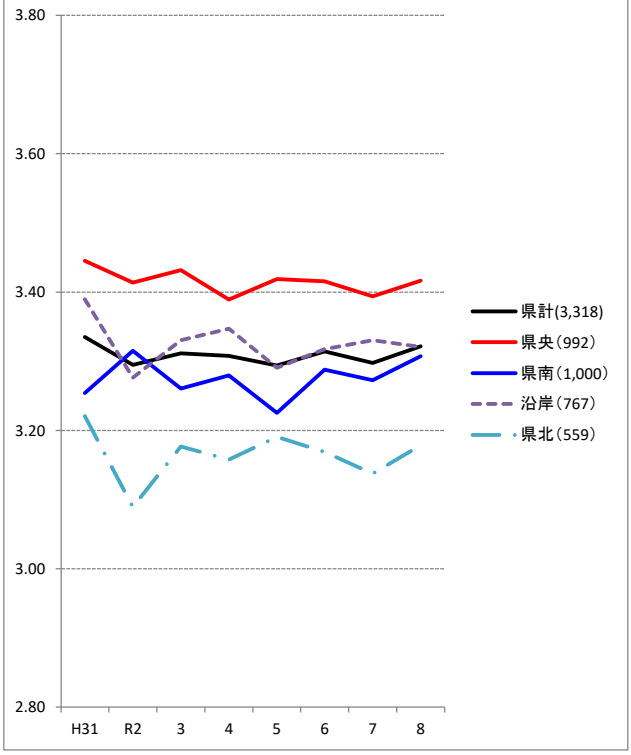
【 *** 】住まいの快適さ（子どもの数別）



【 — 】 住まいの快適さ（居住年数別）



【 *** 】住まいの快適さ（広域振興圏別）



「分野別実感について」

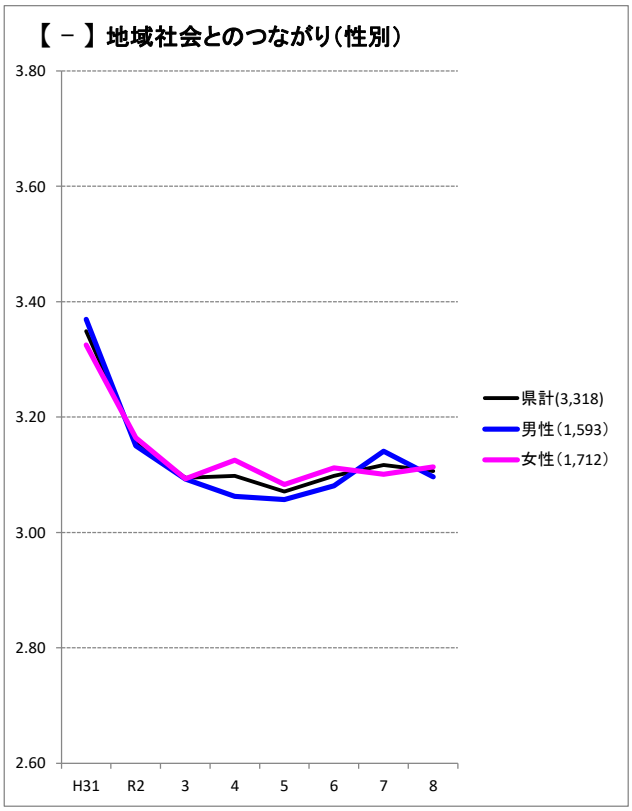
実感平均値の算出方法
「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化しています。

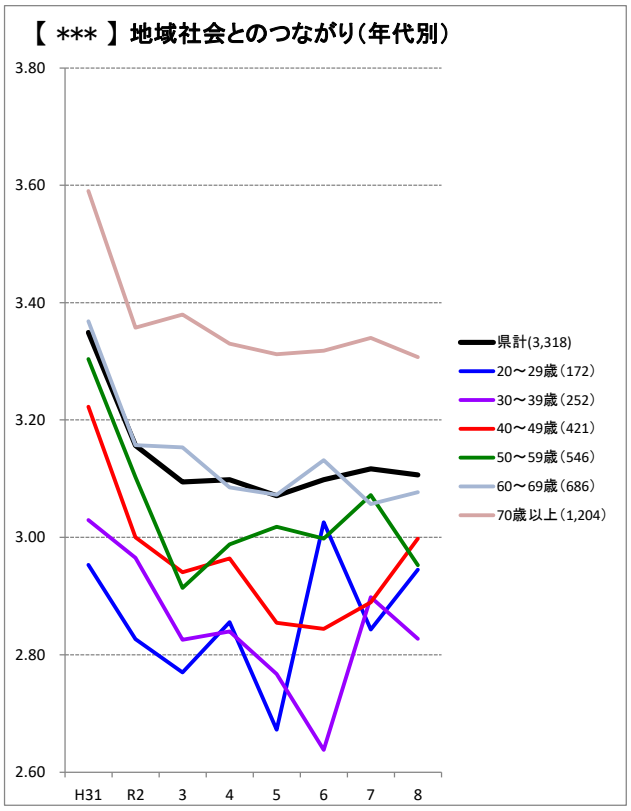
■凡例■
グラフ左上の＊は、R8調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。
【***】1%水準で差が有意（差が認められる）
【**】 5%水準で差が有意（差が認められる）
【*】 10%水準で差が有意
【-】 差が認められない

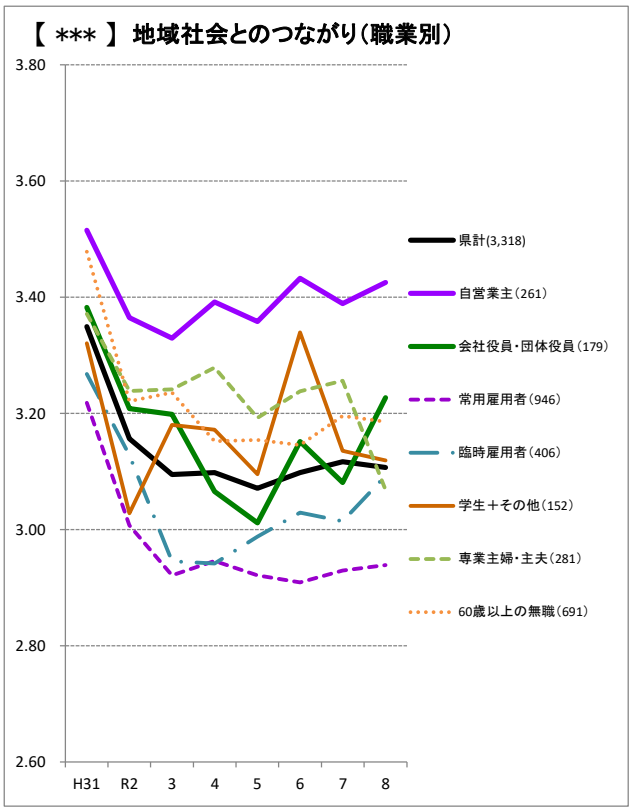
注） R8のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。
- 性別の「その他」
- 年代別の「18～19歳」
- 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」

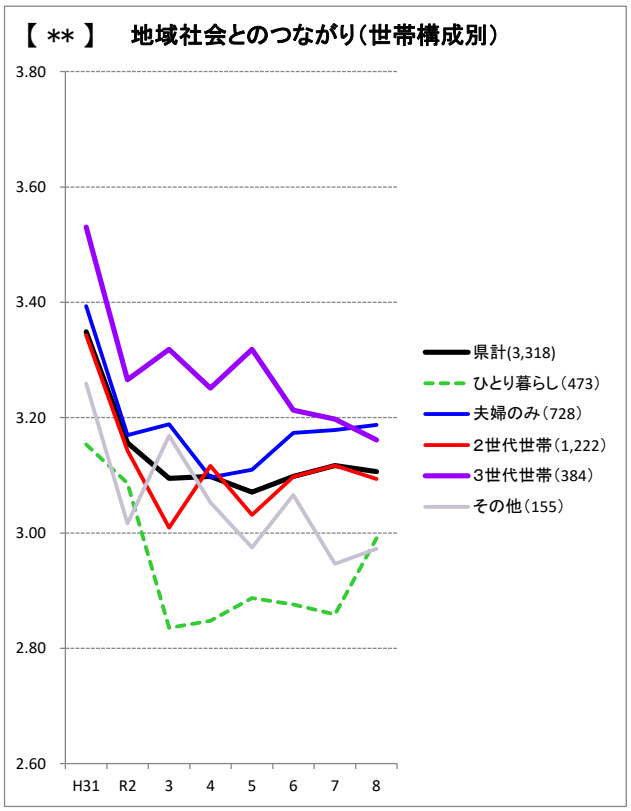
【県計】【分野別実感】⑦地域社会とのつながりを感じますか。

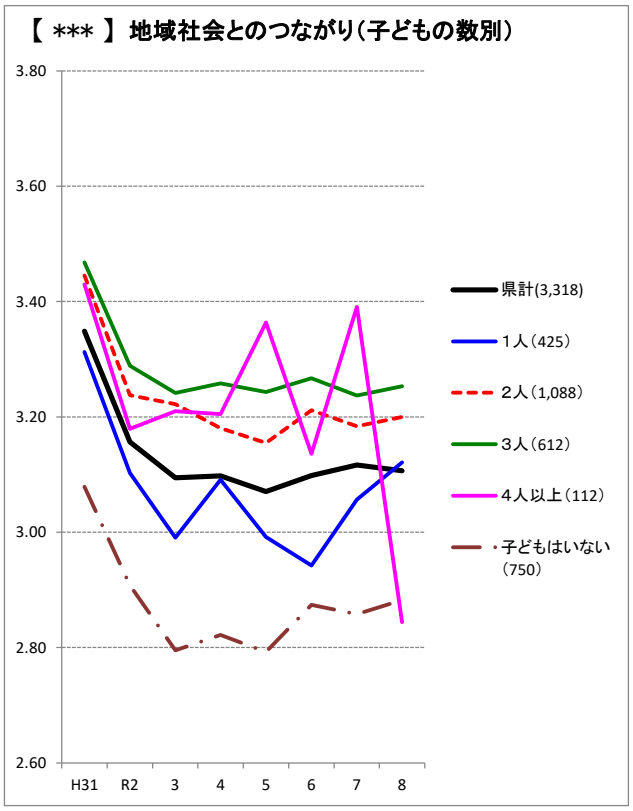
【令和8年の調査結果】
・属性別にみると、「性別」を除く全てで有意な差が認められた。
・「年代別」の最大値は「70歳以上」の3.31、最小値は「30歳代」の2.83。職業別の最大値は「自営業主」の3.43、最小値は「常用雇用者」の2.94。「世帯構成別」の最大値は「夫婦のみ」の3.19、最小値は「その他」の2.97。「子どもの数別」の最大値は「3人」の3.25、最小値は「4人以上」の2.84。「居住年数別」の最大値は「10～20年未満」の3.22、最小値は「10年未満」の2.64。広域振興圏別の最大値は「沿岸」の3.19、最小値は「県央」の2.99。

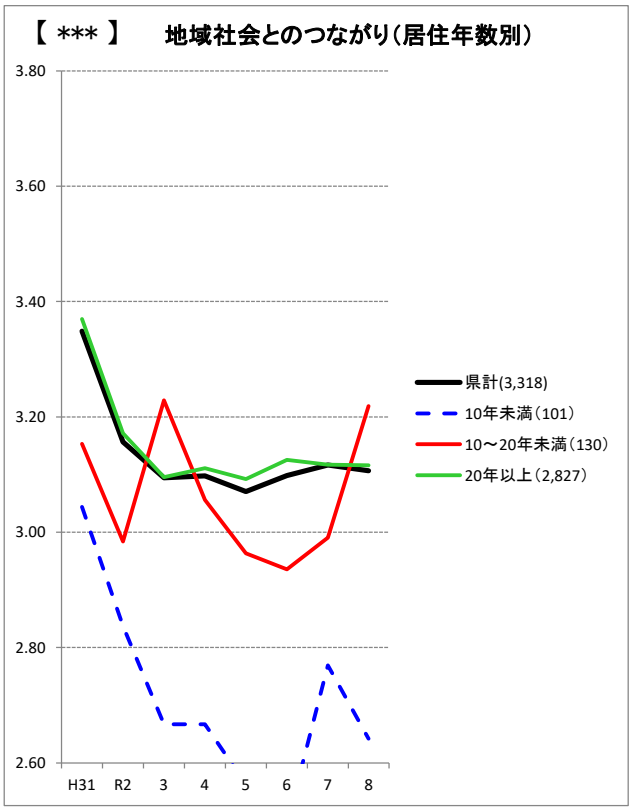


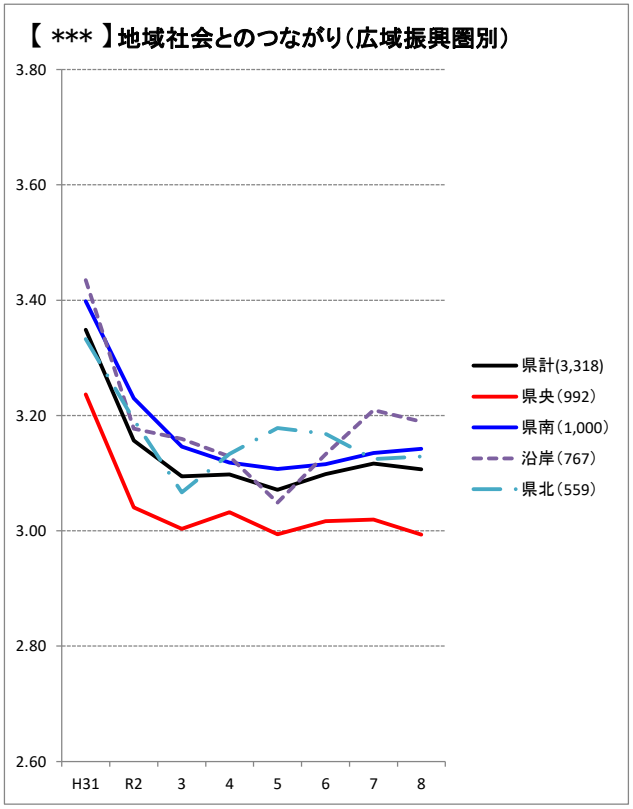












「分野別実感について」

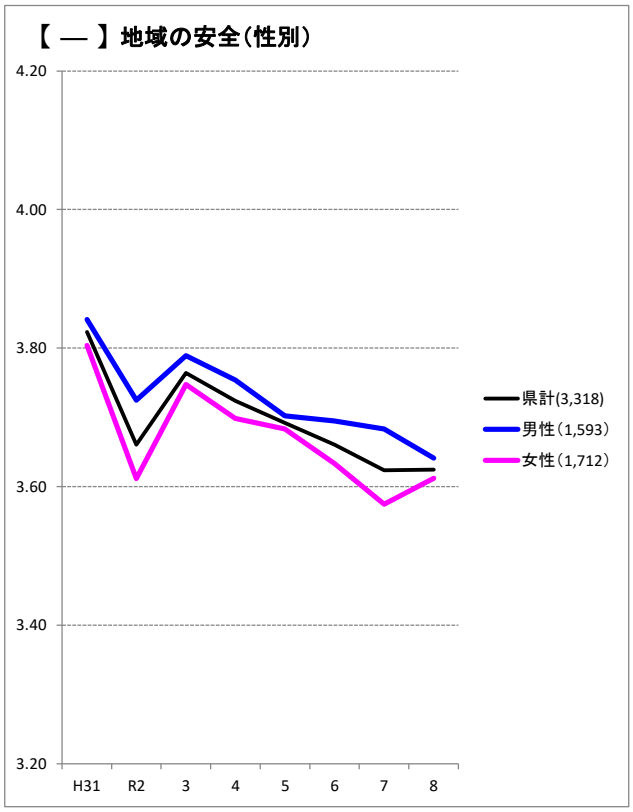
実感平均値の算出方法
「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化しています。

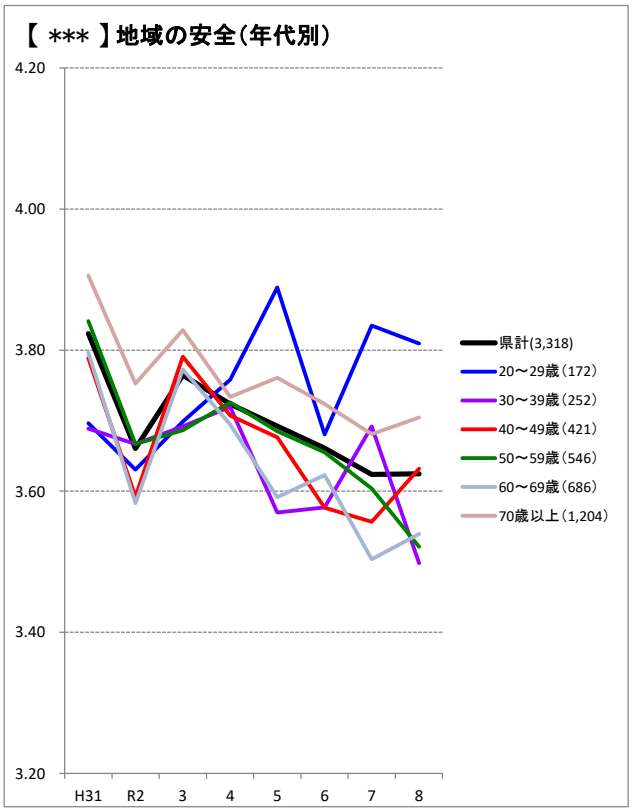
■凡例■
グラフ左上の＊は、R8調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。
【***】1%水準で差が有意（差が認められる）
【**】 5%水準で差が有意（差が認められる）
【*】 10%水準で差が有意
【-】 差が認められない

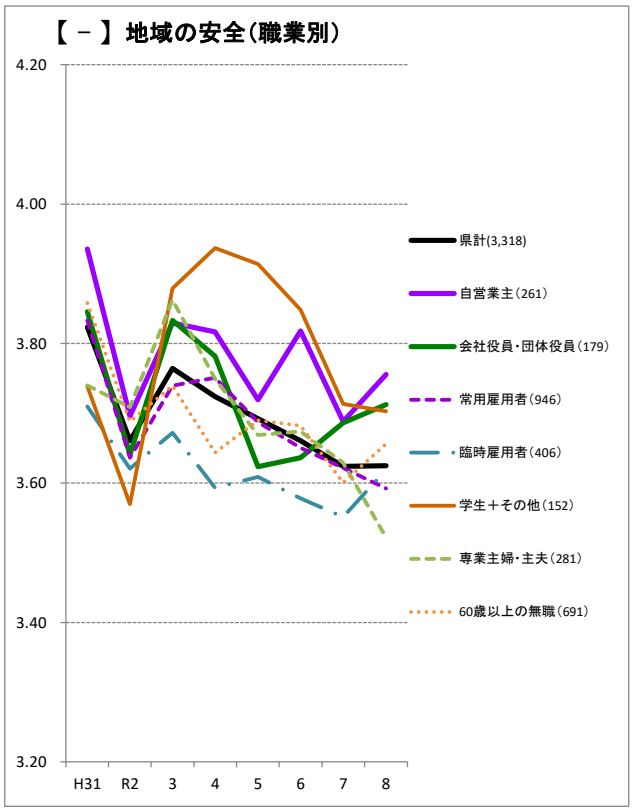
注） R8のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。
- 性別の「その他」
- 年代別の「18～19歳」
- 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」

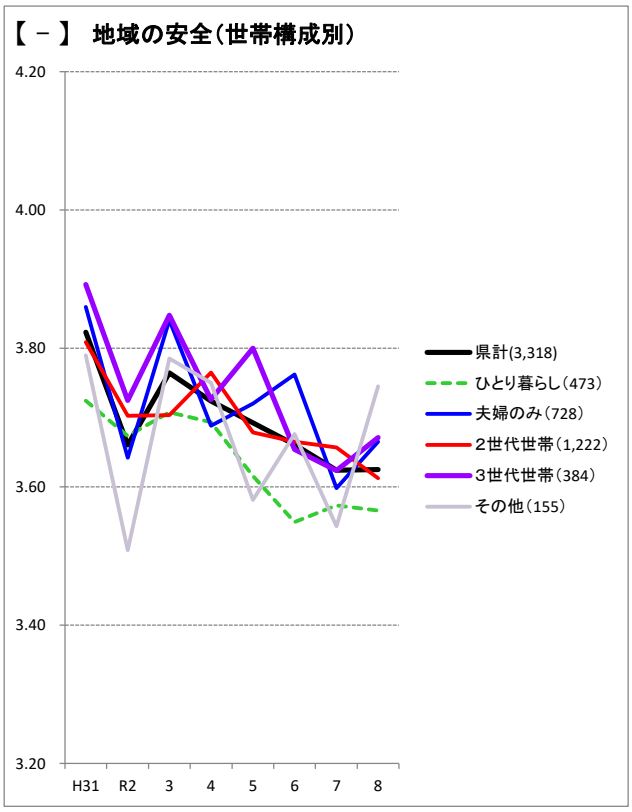
【県計】【分野別実感】⑧お住まいの地域は安全だと感じますか。

【令和8年の調査結果】
・属性別にみると、「年代別」、「居住年数別」及び「広域振興圏別」で有意な差が認められた。
・「年代別」の最大値は「20歳代」の3.81、最小値は「30歳代」の3.50。「居住年数別」の最大値は「10～20年未満」の3.83、最小値は「10年未満」の3.51。「広域振興圏別」の最大値は「県央」の3.68、最小値は「沿岸」の3.56。

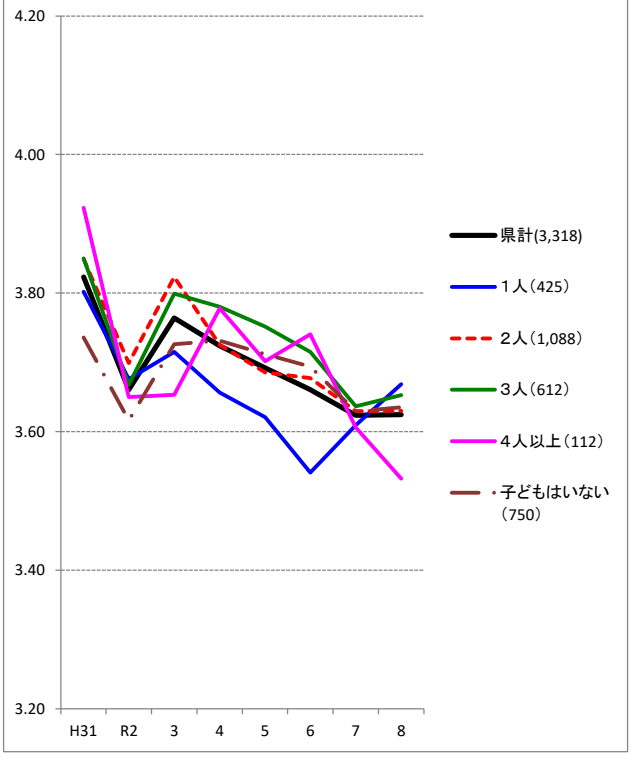




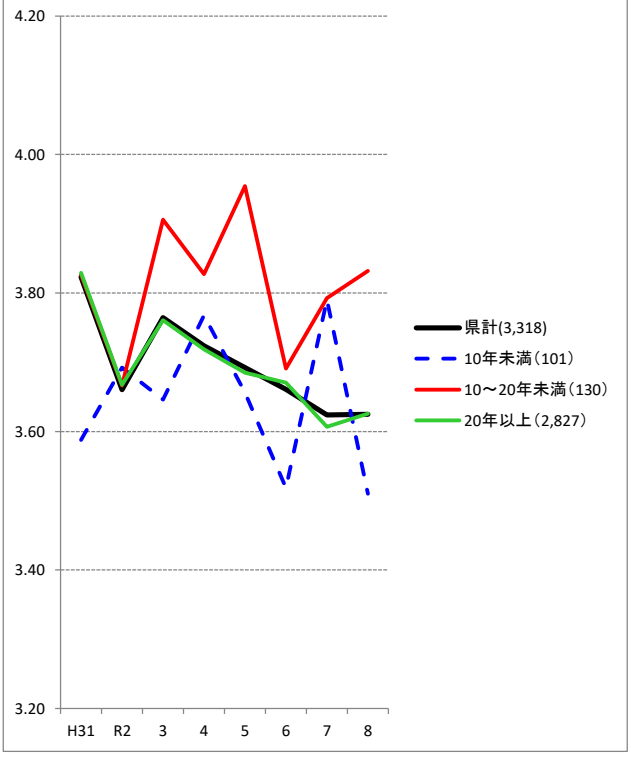




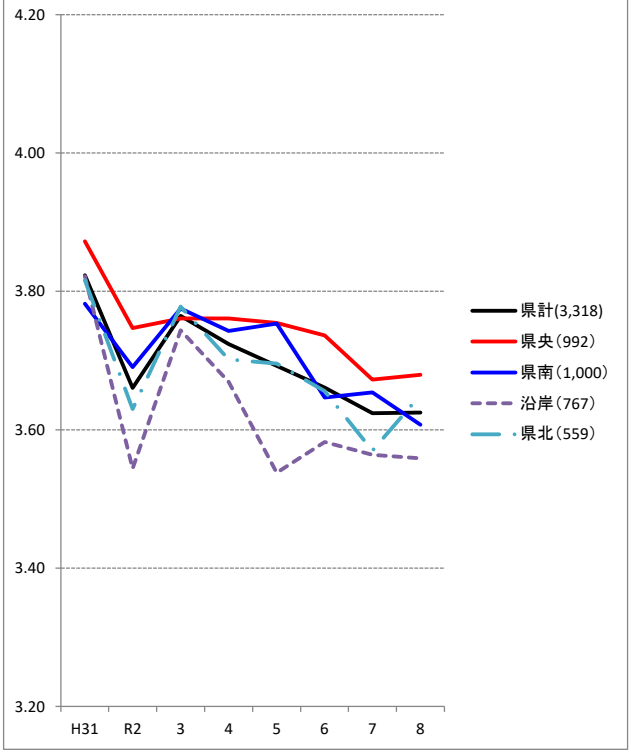
【 － 】 地域の安全（子どもの数別）



【 ** 】地域の安全（居住年数別）



【 ＊ 】 地域の安全（広域振興圏別）



「分野別実感について」

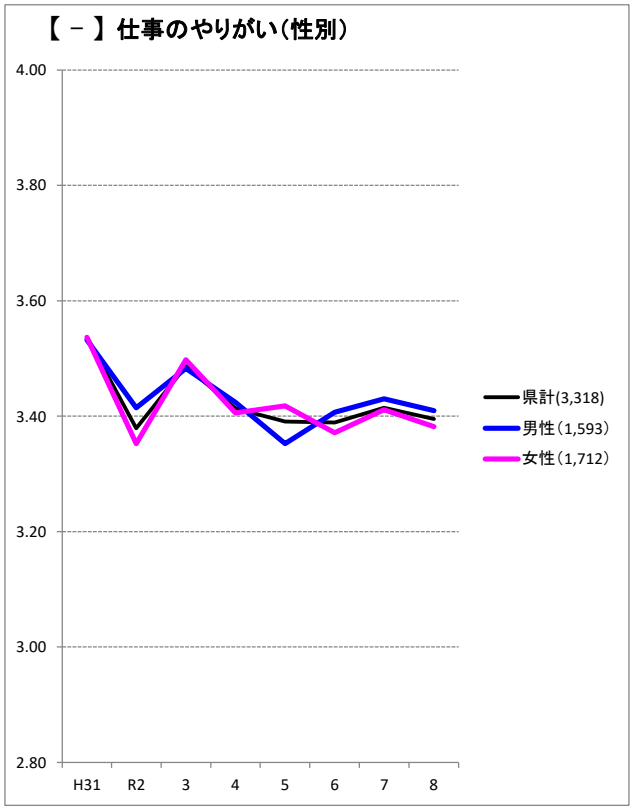
実感平均値の算出方法
「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化しています。

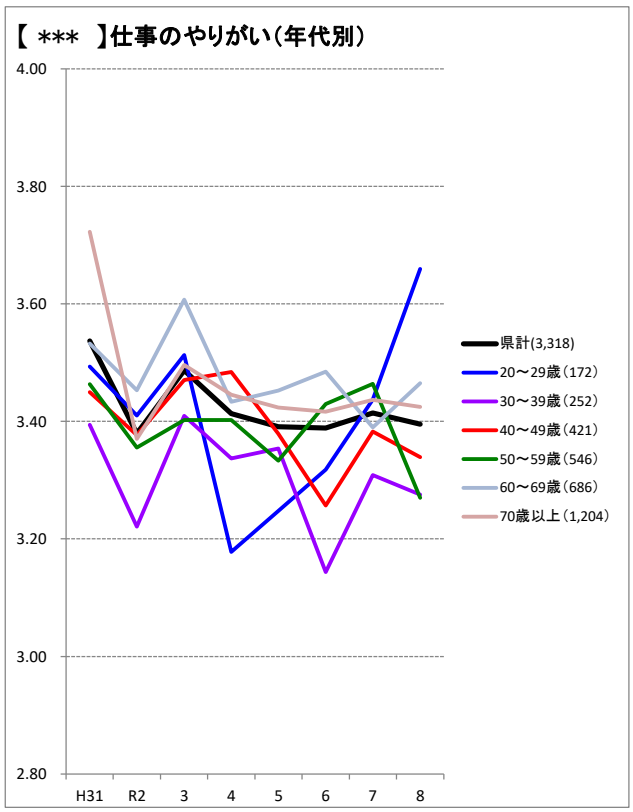
■凡例■
グラフ左上の＊は、R8調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。
【***】1%水準で差が有意（差が認められる）
【**】 5%水準で差が有意（差が認められる）
【*】 10%水準で差が有意
【-】 差が認められない

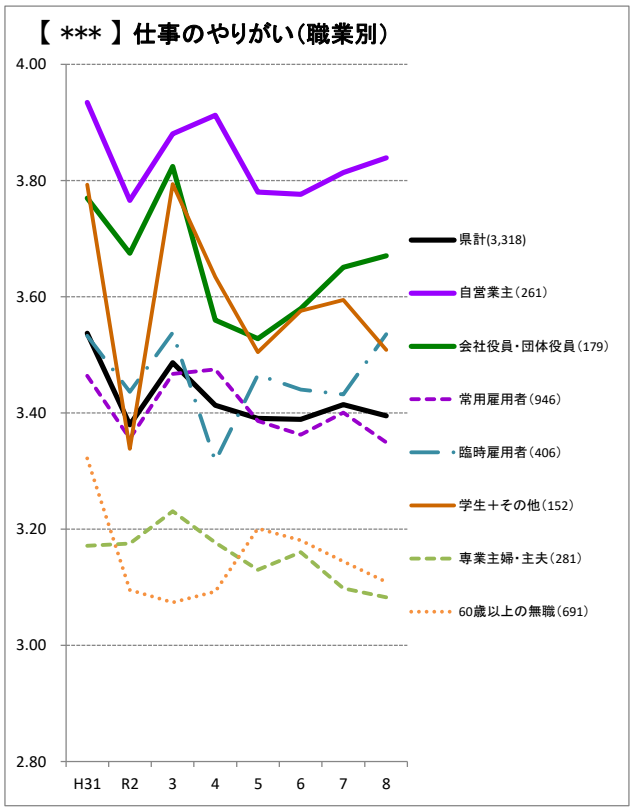
注） R8のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。
- 性別の「その他」
- 年代別の「18～19歳」
- 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」

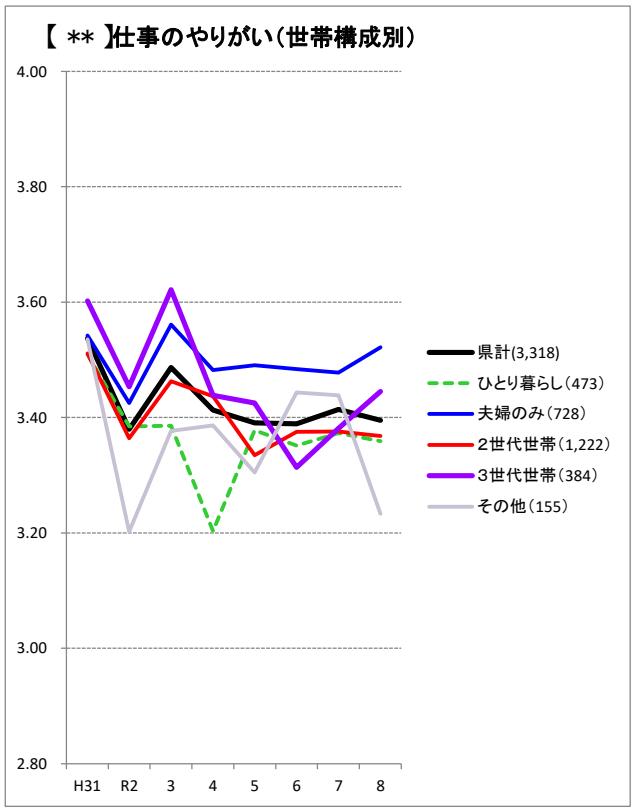
【県計】【分野別実感】⑨仕事にやりがいを感じますか。

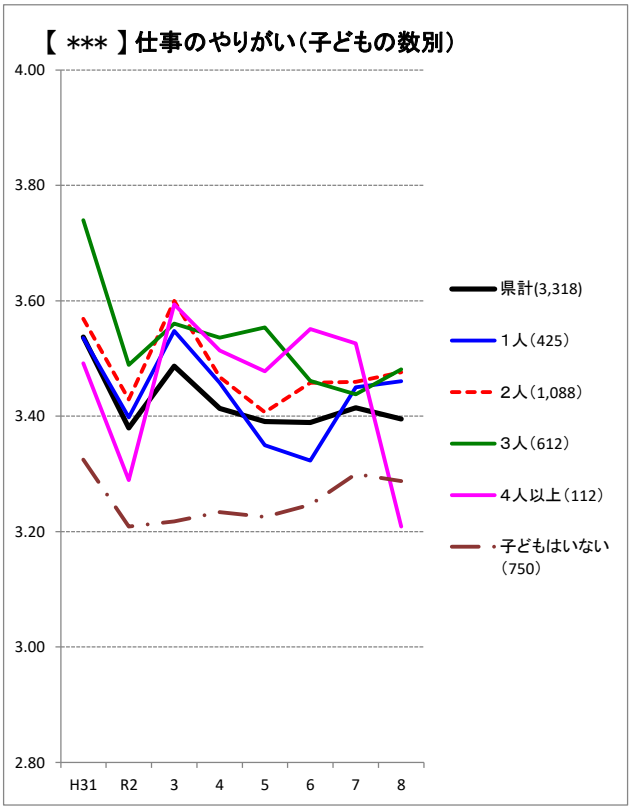
【令和8年の調査結果】
・属性別にみると、「性別」及び「広域振興圏別」を除く全てで有意な差が認められた。
・「年代別」の最大値は「20歳代」の3.66、最小値は「50歳代」の3.27。「職業別」の最大値は「自営業主」の3.84、最小値は「専業主婦（主夫）」の3.08。「世帯構成別」の最大値は「夫婦のみ」の3.52、最小値は「その他」の3.23。「子どもの数別」の最大値は「3人」の3.48、最小値は「4人以上」の3.21。「居住年数別」の最大値は「県央」の3.42、最小値は「県北」の3.36。

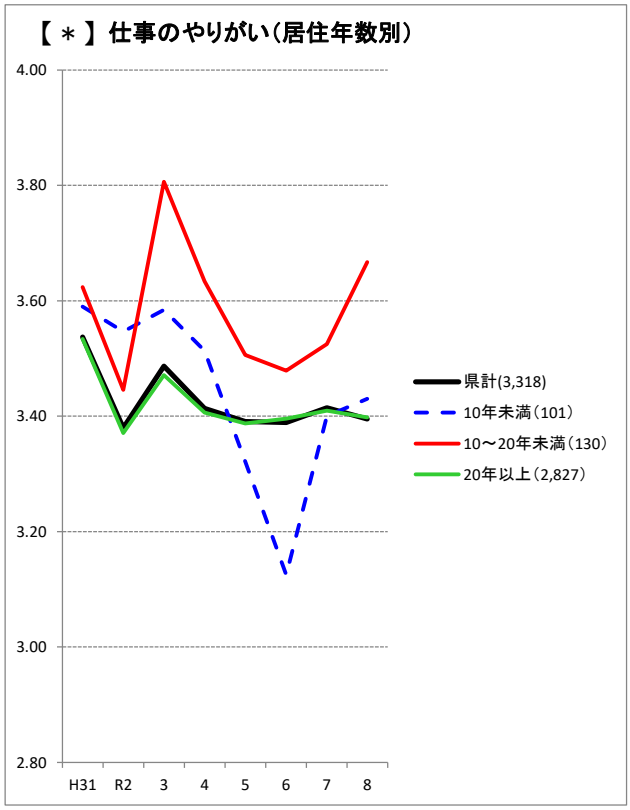


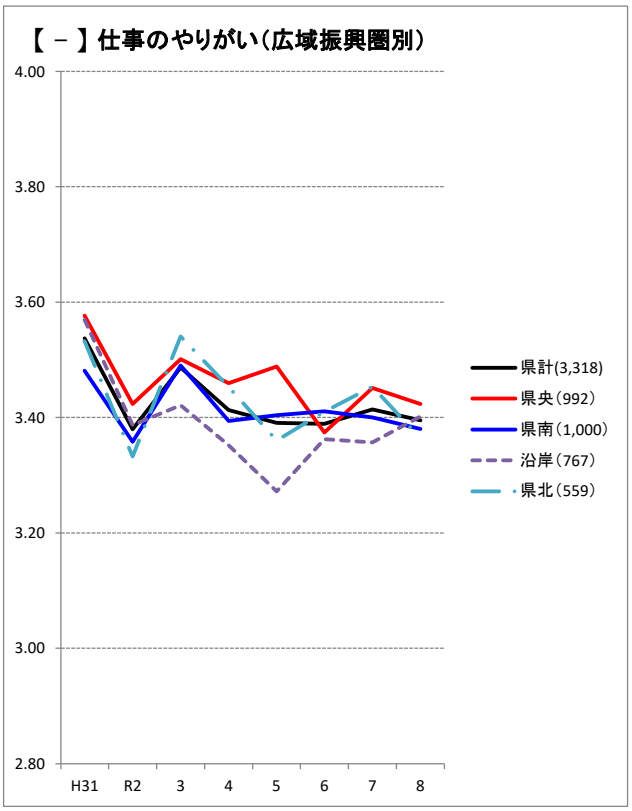












「分野別実感について」

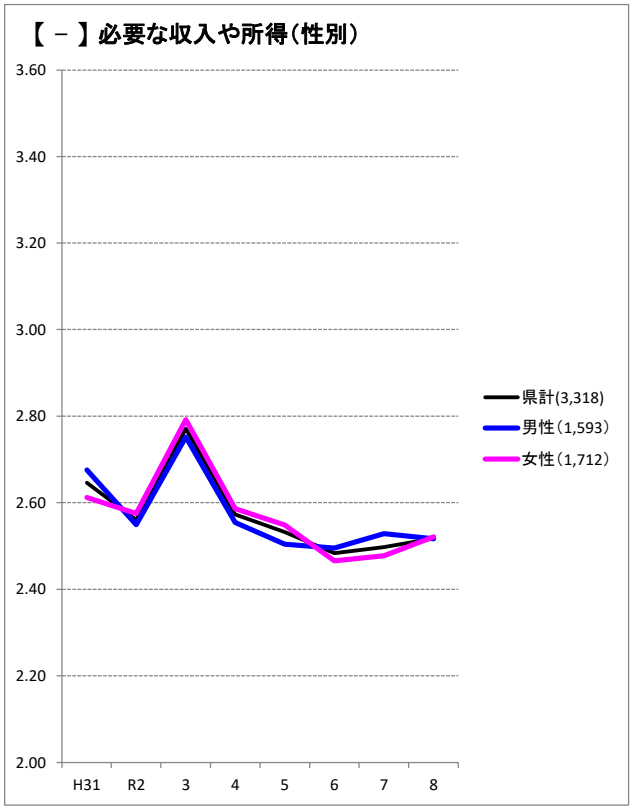
実感平均値の算出方法
「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化しています。

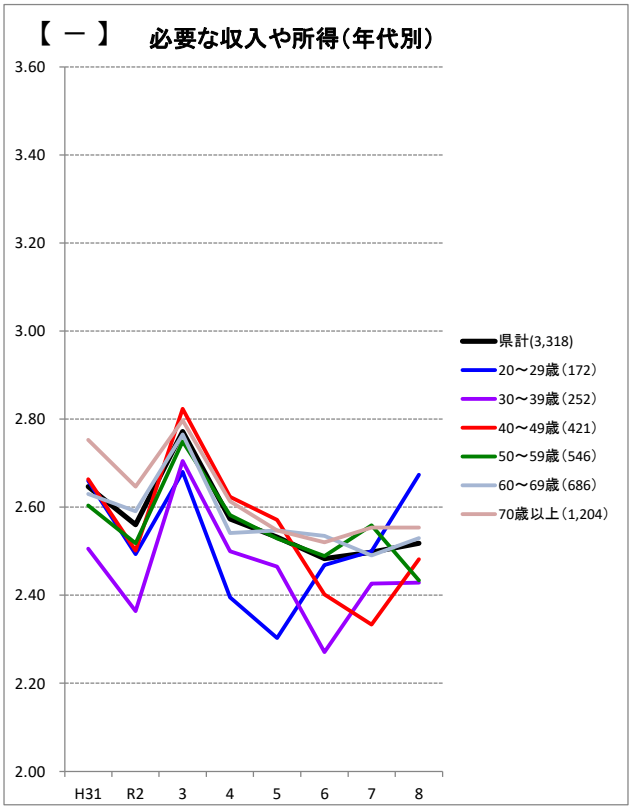
■凡例■
グラフ左上の＊は、R8調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。
【***】1%水準で差が有意（差が認められる）
【**】 5%水準で差が有意（差が認められる）
【*】 10%水準で差が有意
【－】 差が認められない

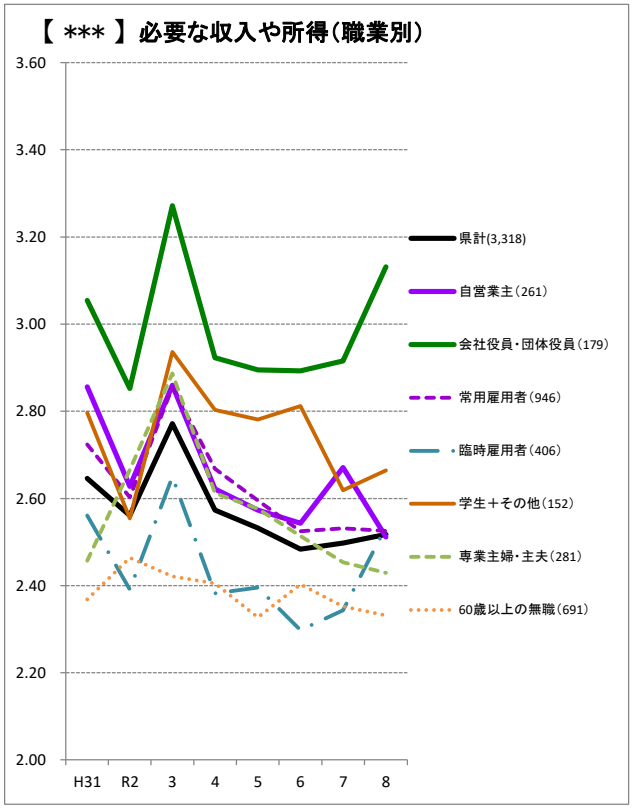
注） R8のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。
- 性別の「その他」
- 年代別の「18～19歳」
- 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」

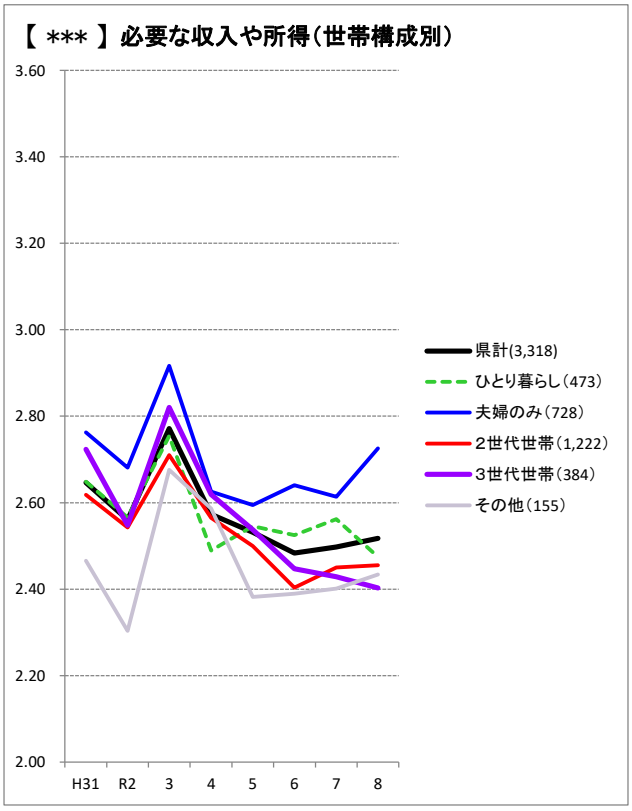
【県計】【分野別実感】⑩必要な収入や所得が得られていると感じますか。

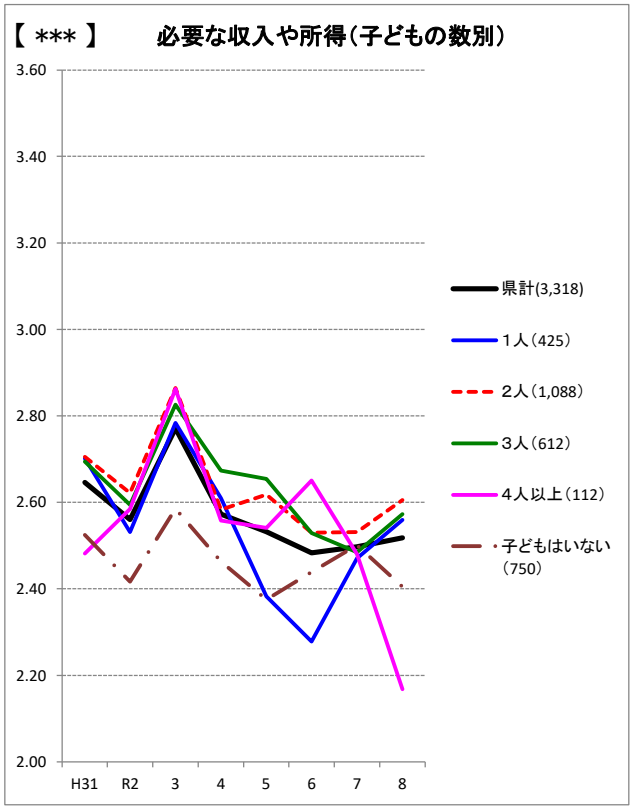
【令和8年の調査結果】
・属性別にみると、「職業別」、「世帯構成別」及び「子どもの数別」で有意な差が認められた。
・「職業別」の最大値は「会社役員・団体役員」の3.13、最小値は「60歳以上の無職」の2.33。「世帯構成別」の最大値は「夫婦のみ」の2.73、最小値は「3世代世帯」の2.40。「子どもの数別」の最大値は「2人」の2.61、最小値は「4人以上」の2.17。

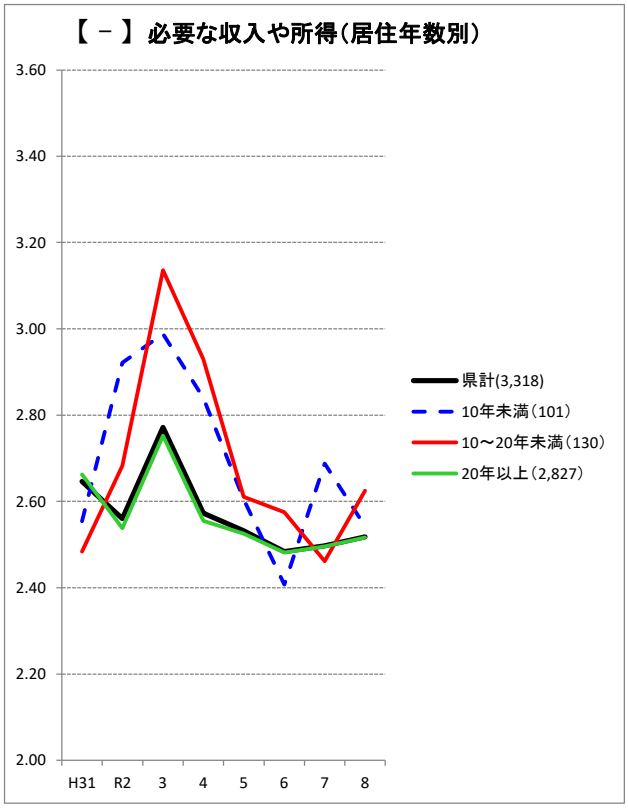


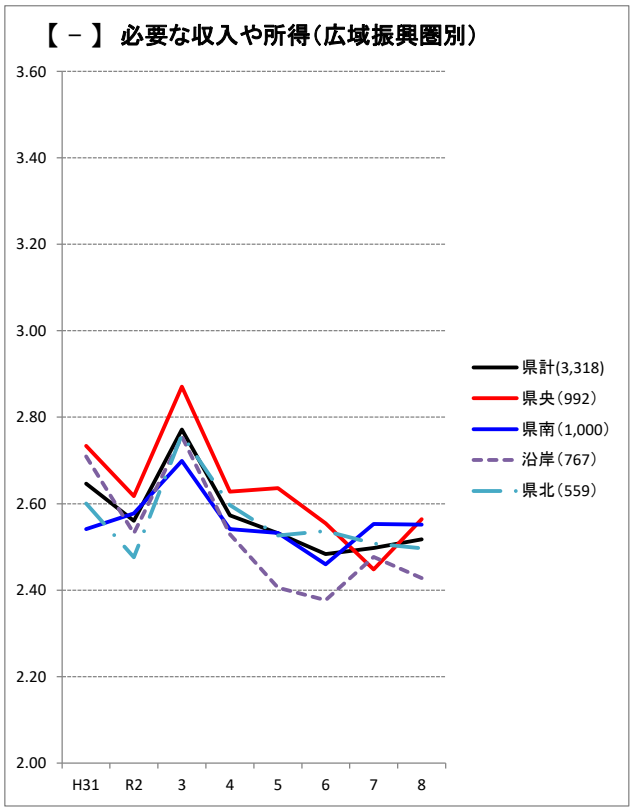












「分野別実感について」

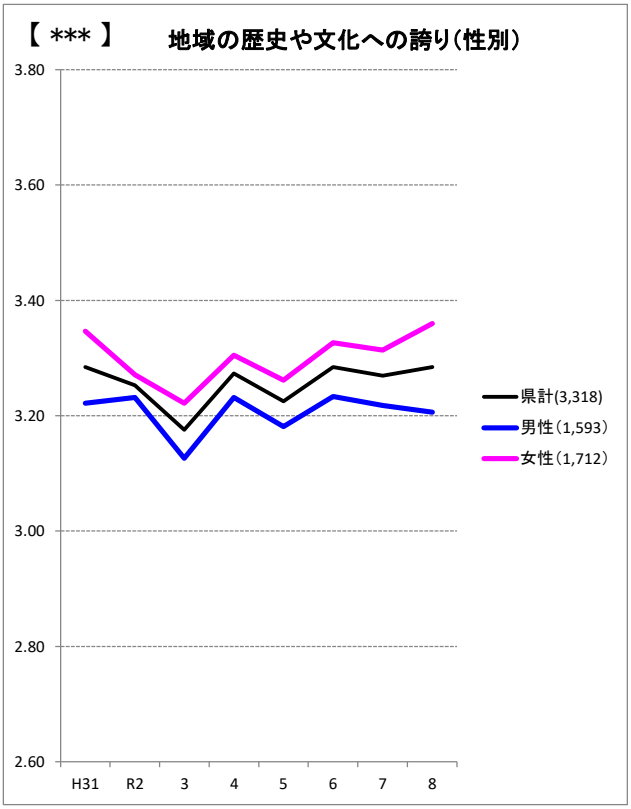
実感平均値の算出方法
「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化しています。

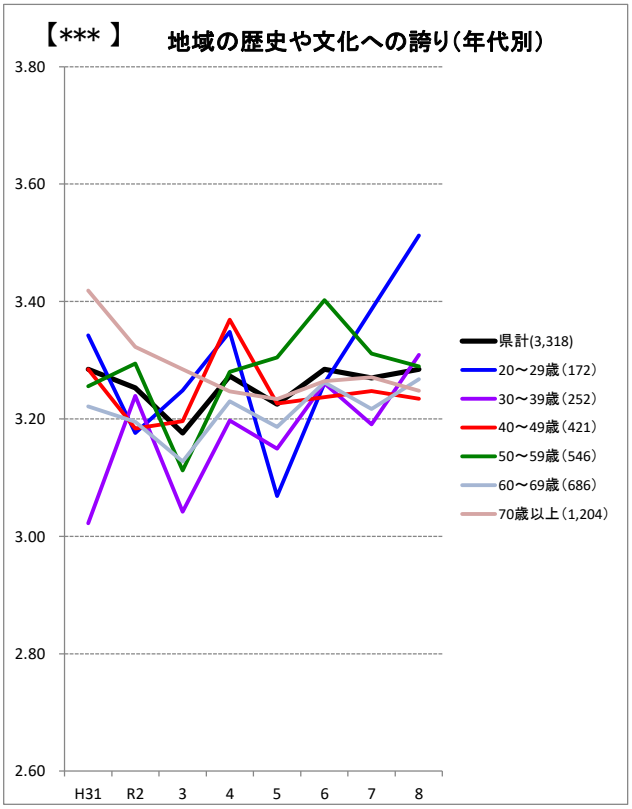
■凡例■
グラフ左上の＊は、R8調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。
【***】1%水準で差が有意（差が認められる）
【**】 5%水準で差が有意（差が認められる）
【*】 10%水準で差が有意
【-】 差が認められない

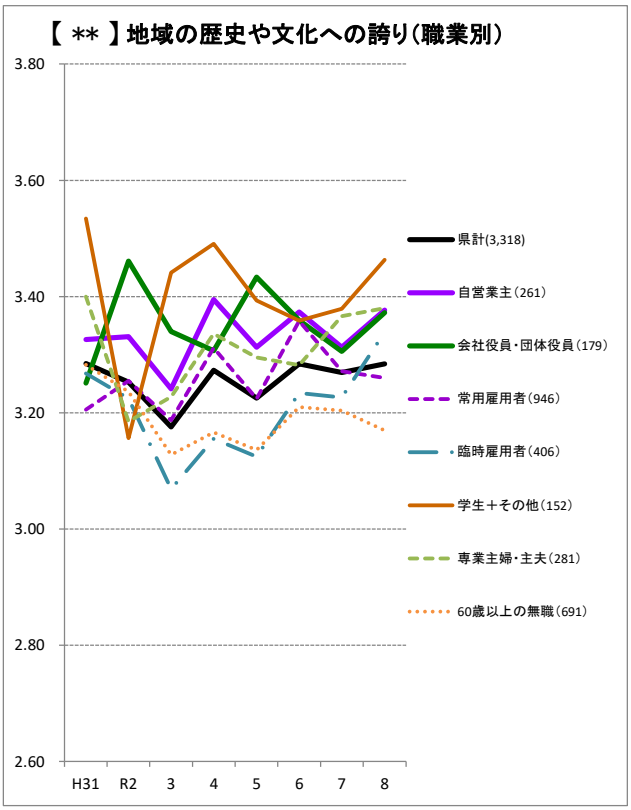
注） R8のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。
- 性別の「その他」
- 年代別の「18～19歳」
- 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」

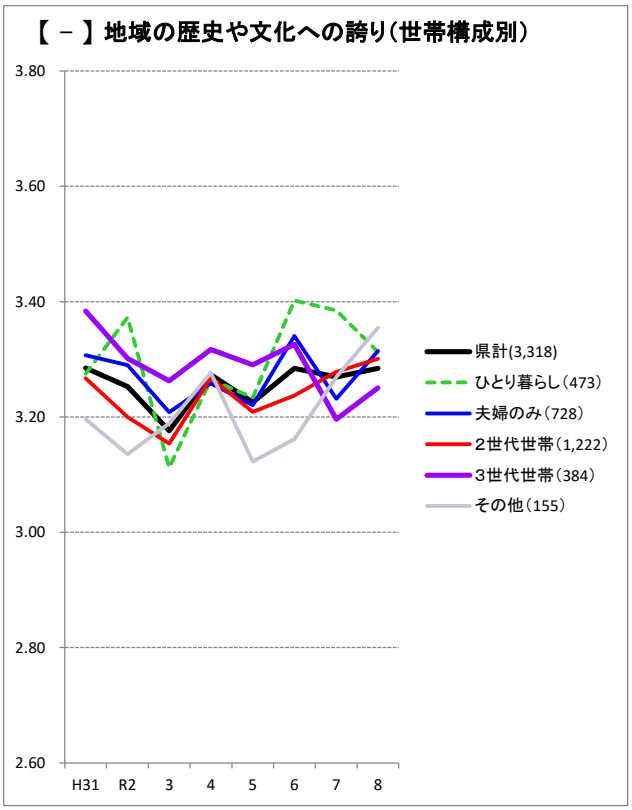
【県計】【分野別実感】⑪地域の歴史や文化に誇りを感じますか。

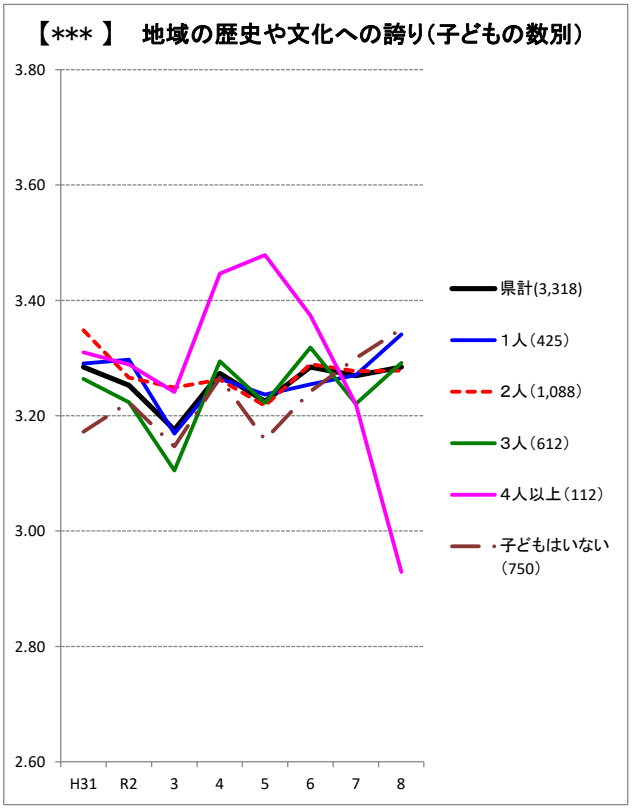
【令和8年の調査結果】
・属性別にみると、「世帯構成別」を除く全てで有意な差が認められた。
・「性別」の最大値は「女性」の3.36、最小値は「男性」の3.21。「年代別」の最大値は「20歳代」の3.51、最小値は「40歳代」の3.23。「職業別」の最大値は「学生＋その他」の3.46、最小値は「60歳以上の無職」の3.17。「子どもの数別」の最大値は「子どもはいない」の3.35、最小値は「4人以上」の2.93。「居住年数別」の最大値は「10～20年未満」の3.53、最小値は「10年未満」の3.14。「広域振興圏別」の最大値は「県央」の3.38、最小値は「県北」の3.09。

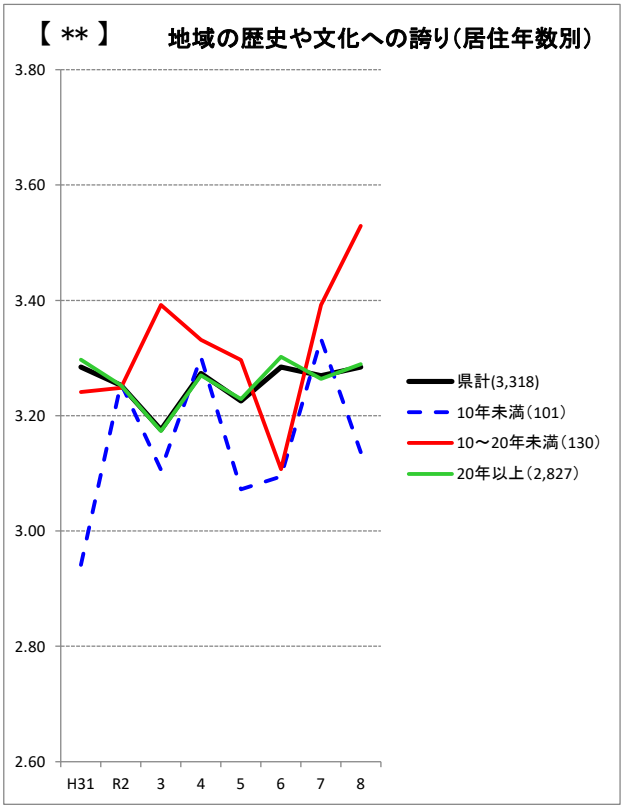


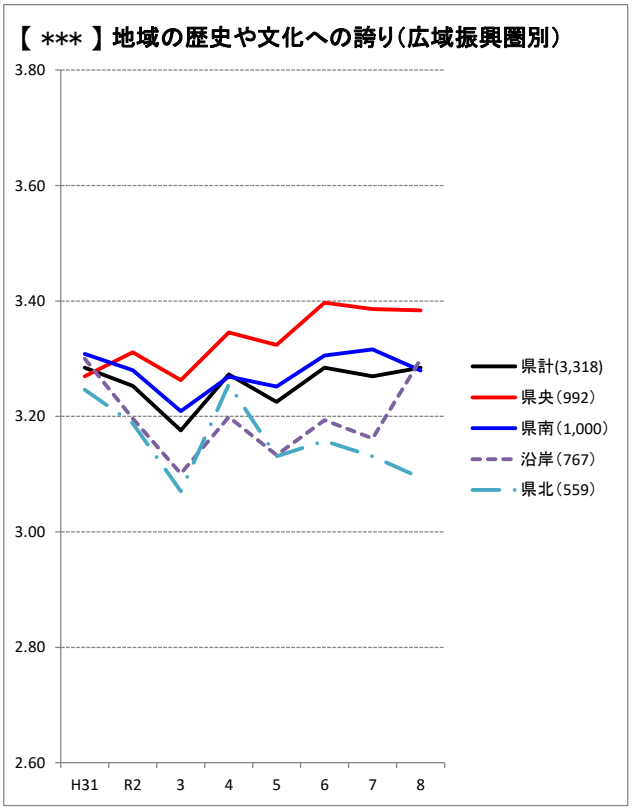












「分野別実感について」

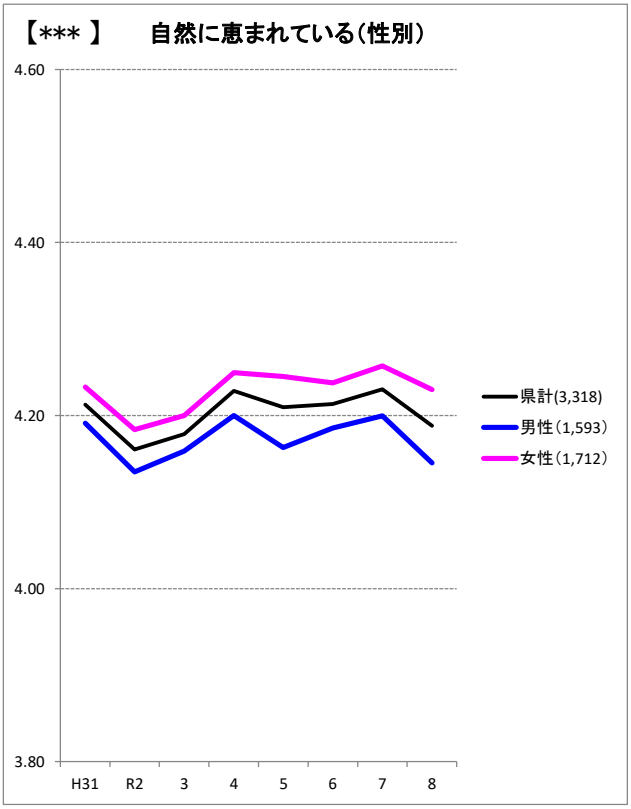
実感平均値の算出方法
「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

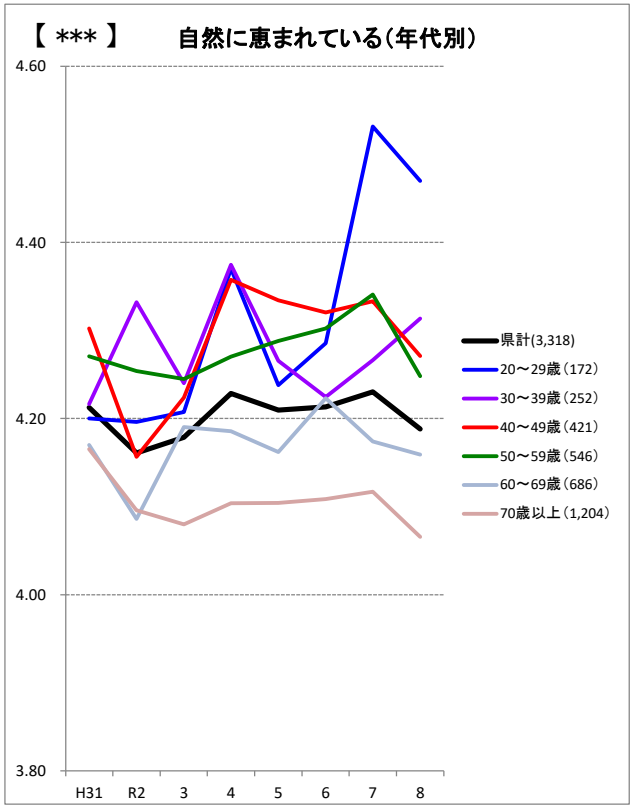
■凡例■
グラフ左上の＊は、R8調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。
【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
【**】 5%水準で差が有意(差が認められる)
【*】 10%水準で差が有意
【-】 差が認められない

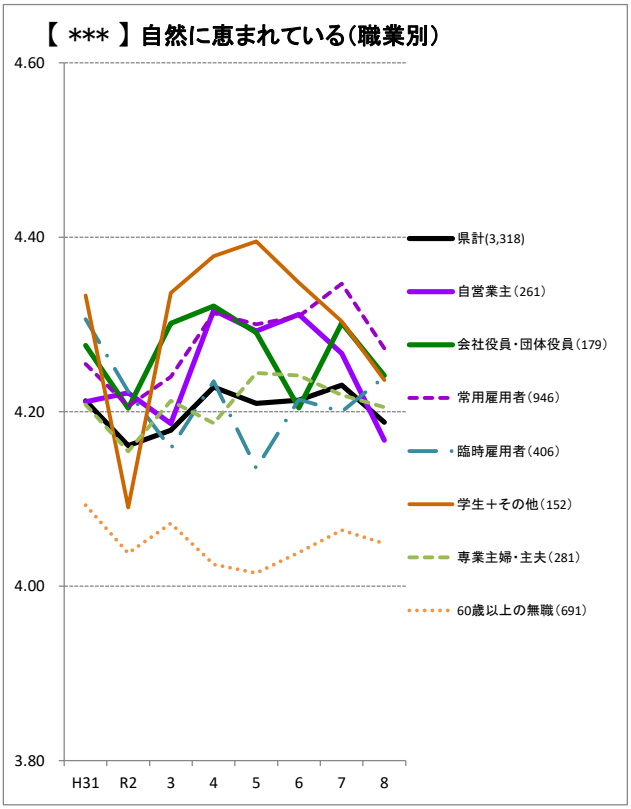
注) R8のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。
- 性別の「その他」
- 年代別の「18～19歳」
- 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」

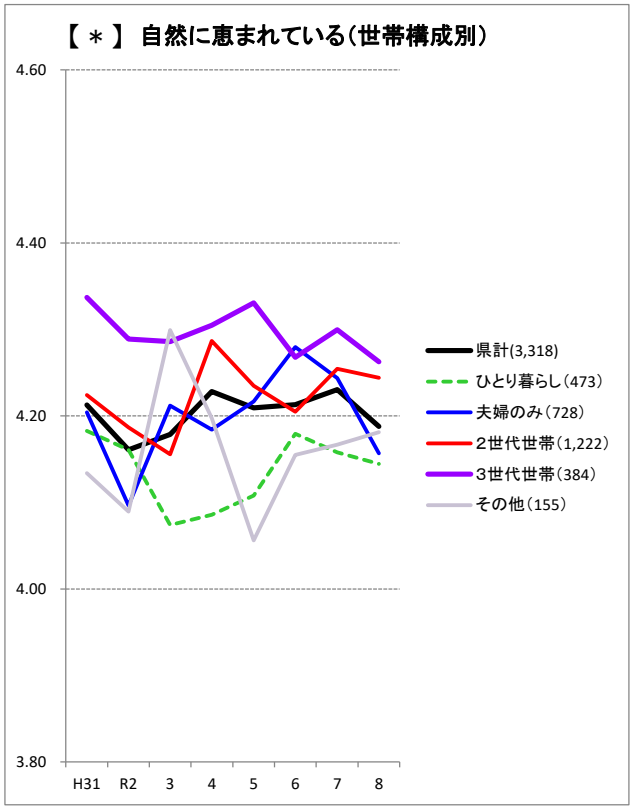
【県計】【分野別実感】⑫自然に恵まれていると感じますか。

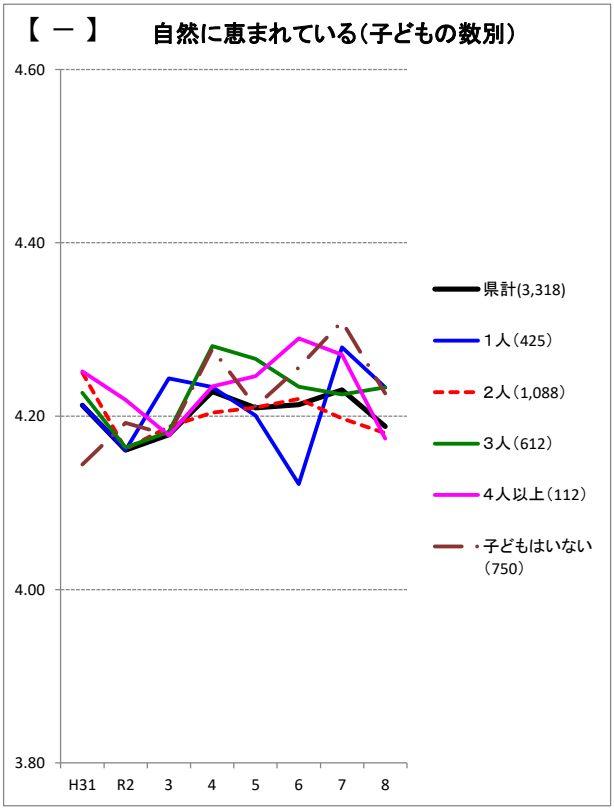
【令和8年の調査結果】
・属性別にみると、「子どもの数別」を除く全てで有意な差が認められた。
・「性別」の最大値は「女性」の4.23、最小値は「男性」の4.15。「年代別」の最大値は「20歳代」の4.47、最小値は「70歳以上」の4.07。「職業別」の最大値は「常用雇用者」の4.27、最小値は「60歳以上の無職」の4.05。世帯構成別の最大値は「3世代世帯」の4.26、最小値は「ひとり暮らし」の4.14。「居住年数別」の最大値は「10～20年未満」の4.40、最小値は「10年未満」の4.16。「広域振興圏別」の最大値は「県央」の4.24、最小値は「県南」の4.12。

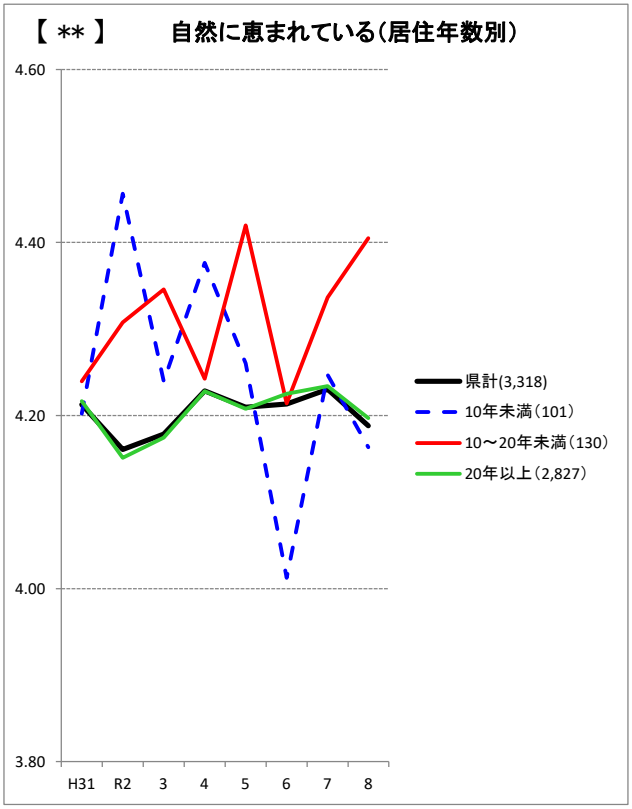


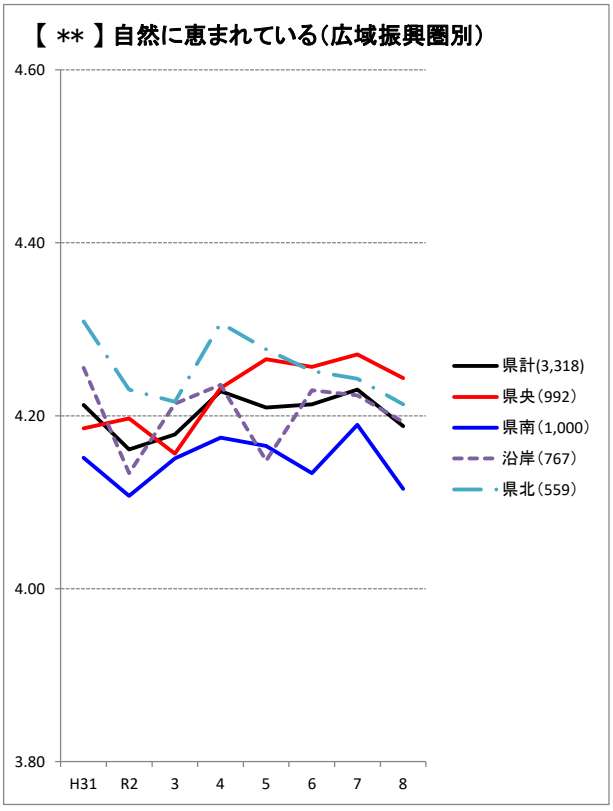












「分野別実感について」

実感平均値の算出方法
「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

■凡例■
グラフ左上の＊は、R8調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。
【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
【**】 5%水準で差が有意(差が認められる)
【*】 10%水準で差が有意
【-】 差が認められない

注) R8のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。
- 性別の「その他」
- 年代別の「18～19歳」
- 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」

「県の施策に関する県民意識調査（補足調査）」回答意見とりまとめ結果

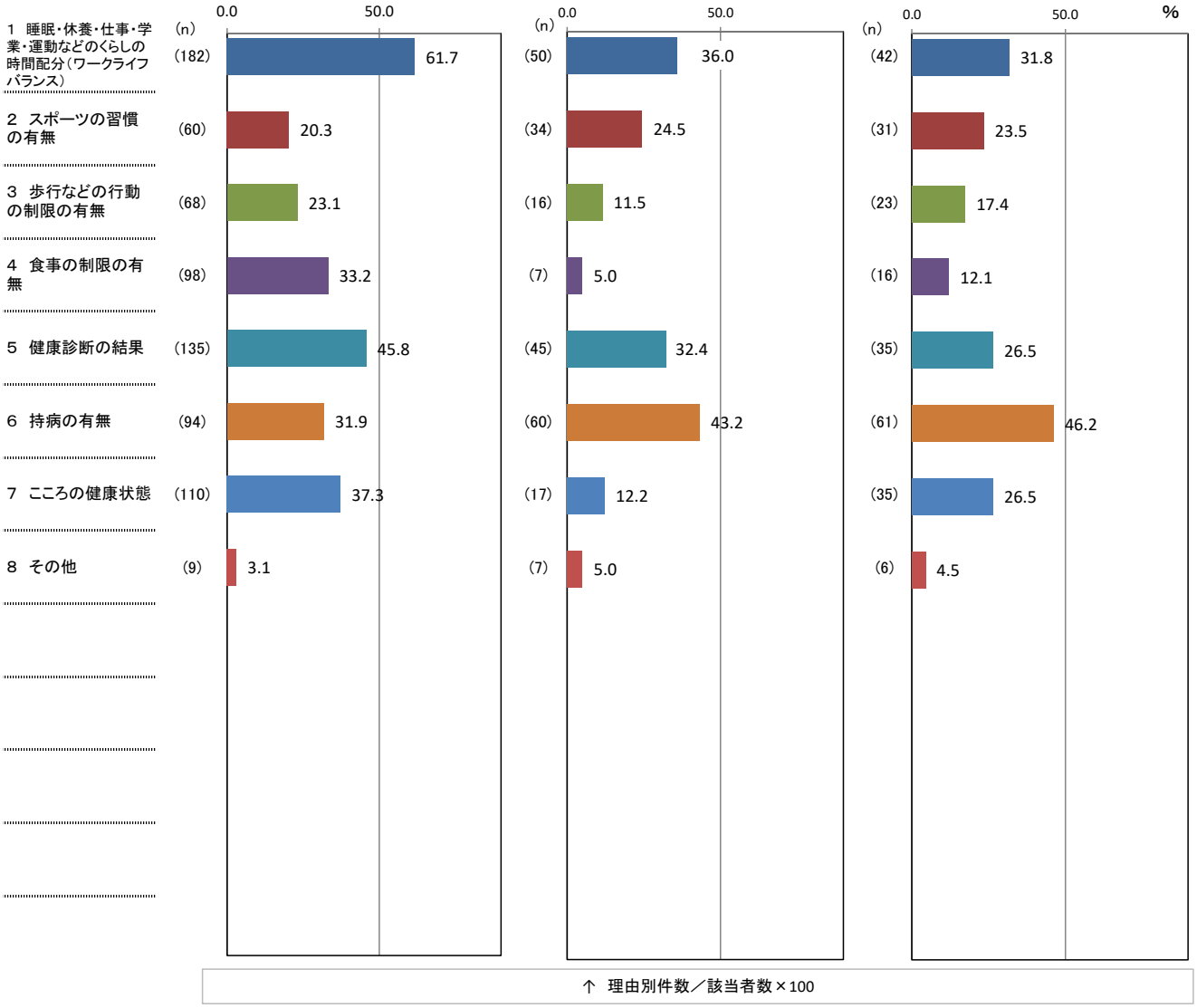
＜分野別＞

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「からだの健康」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (756) 295 人	②「どちらともいえない」の回答 (236) 139 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (249) 132 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (182)	6 持病の有無 (60)	6 持病の有無 (61)
2	5 健康診断の結果 (135)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (50)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (42)
3	7 こころの健康状態 (110)	5 健康診断の結果 (45)	5 健康診断の結果 (35) 7 こころの健康状態 (35)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（1-1） からだの健康についての回答理由（問1-1（1）「あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		61.7	20.3	23.1	33.2	45.8	31.9	37.3	3.1
②「どちらともいえない」		36.0	24.5	11.5	5.0	32.4	43.2	12.2	5.0
③「あまり感じない・感じない」		31.8	23.5	17.4	12.1	26.5	46.2	26.5	4.5

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝295人）	756	182	60	68	98	135	94	110	9
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝139人）	236	50	34	16	7	45	60	17	7
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝132人）	249	42	31	23	16	35	61	35	6

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（295名中6名記載）
・筋力・体力　・持病があっても不自由なく暮らせている　・趣味の継続　・腰の不調　・１日4km以上速足で歩いている。高血圧かあるが自分でコントロールして(減塩)いる　・特にそれが‼というのはない

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（139名中３名記載）
・子育てで忙しく問題があり治療が必要な歯医者に行けていない　・経過観察の病気有り　・80代の2人暮らし

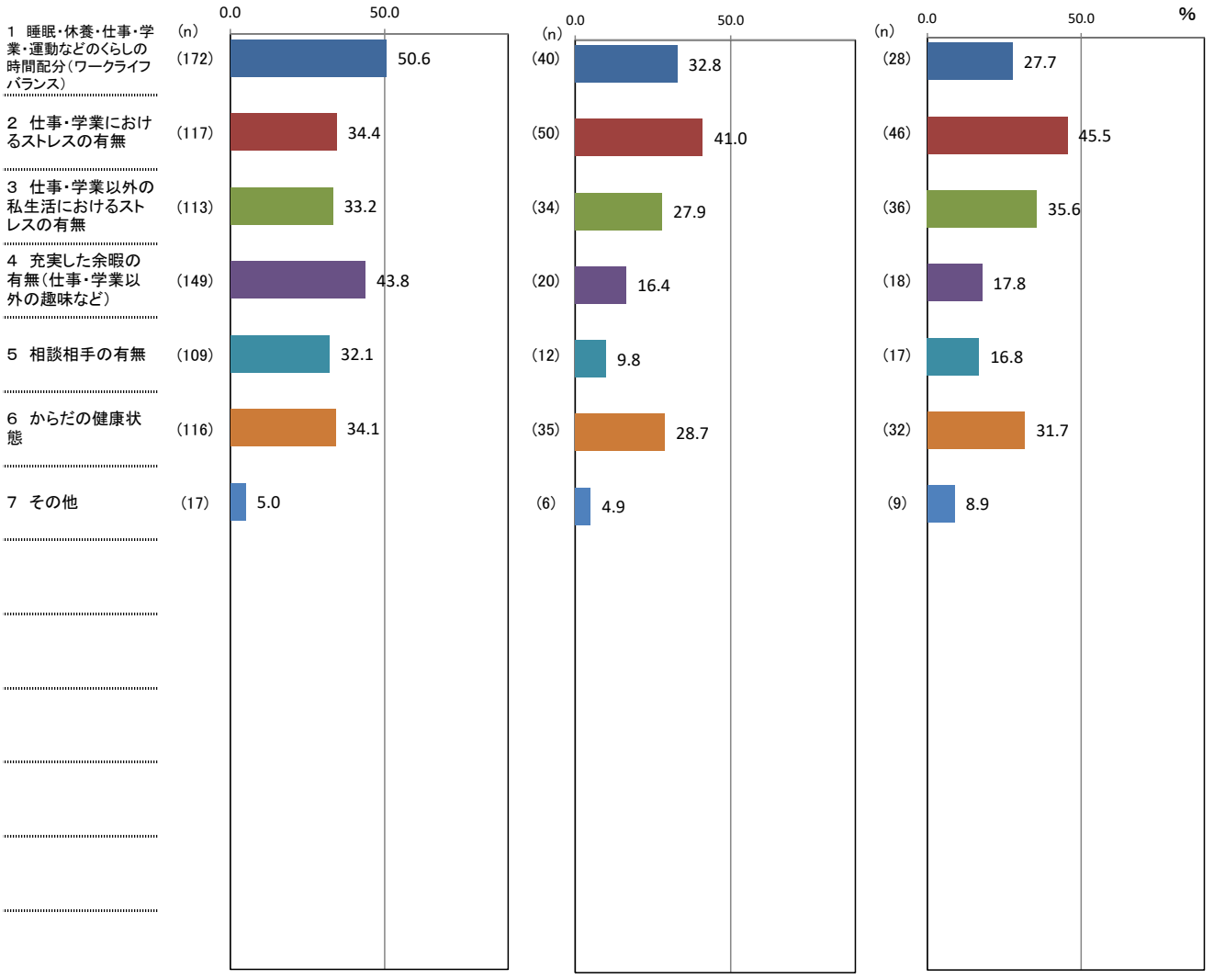
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（132名中３名記載）
・加齢による関節などの痛み　・身体障がい者だから　・仕事のストレス

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「こころの健康」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (793) 340 人	②「どちらともいえない」の回答 (197) 122 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (186) 101 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (172)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (50)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (46)
2	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (149)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (40)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (36)
3	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (117)	6 からだの健康状態 (35)	6 からだの健康状態 (32)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（1-2） こころの健康についての回答理由（問1-1（2）「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		50.6	34.4	33.2	43.8	32.1	34.1	5.0
②「どちらともいえない」		32.8	41.0	27.9	16.4	9.8	28.7	4.9
③「あまり感じない・感じない」		27.7	45.5	35.6	17.8	16.8	31.7	8.9

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝340人）	793	172	117	113	149	109	116	17
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝122人）	197	40	50	34	20	12	35	6
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝101人）	186	28	46	36	18	17	32	9

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（340名中8名記載）
・自分の為に使う時間がある　・義母との関係。若い頃から折り合いが悪い　・一人暮らしだが孫の存在がありがたい　・身内の死　・家族　・認知の状態　・なんとなく　・子供が生まれたため

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（122名中3名記載）
・借金の支払いが残っているため　・家族のこと　・特になし

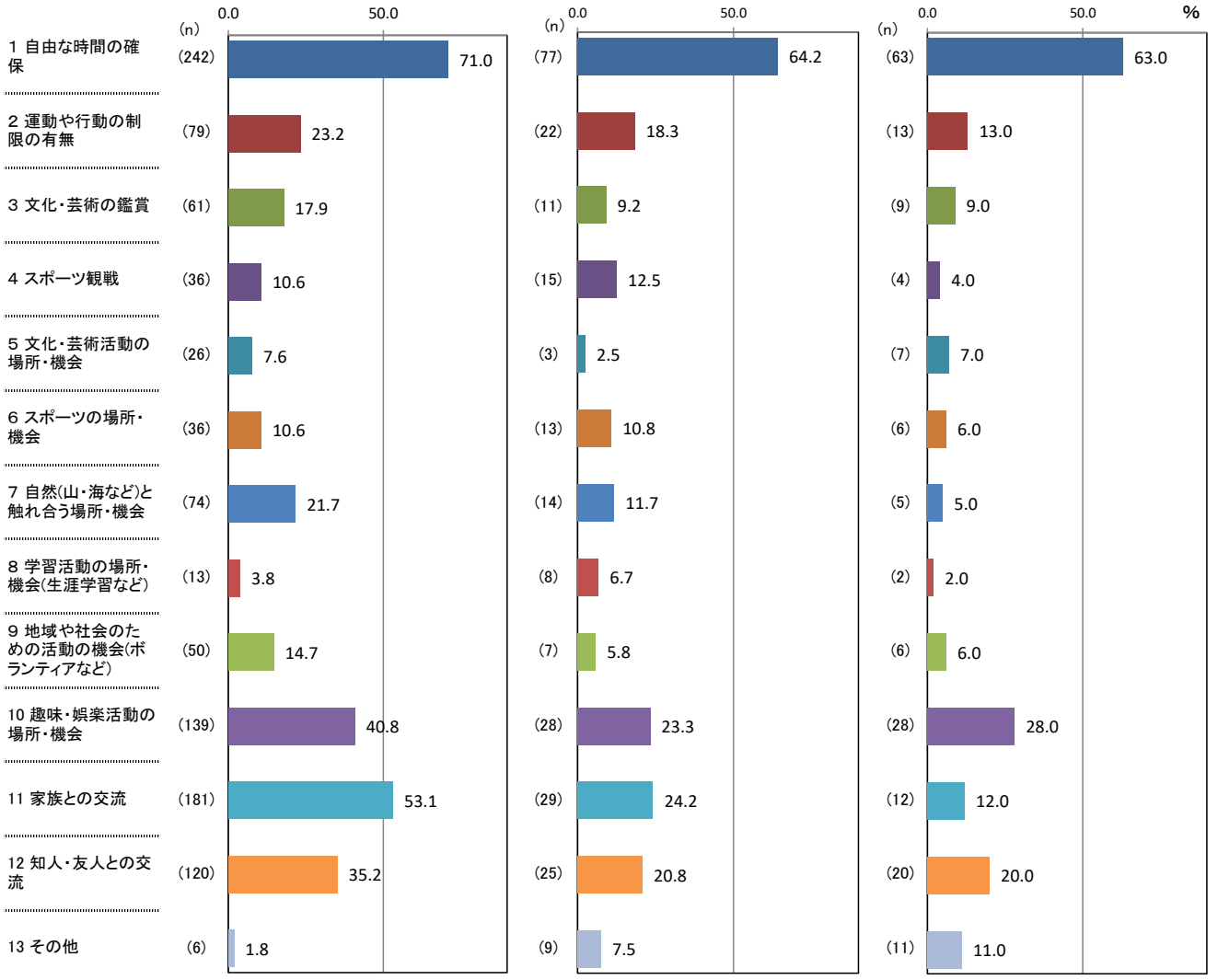
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（101名中6名記載）
・盛岡西警察署 ・家族の介護生活のマネジメント全てを背負う立場のストレス　・未婚であること　・孫の事、夫の事、自分も物忘れ多発　・家族(配偶者)が病気になり、障がい者になってしまった。　・地域との交流、コミが極端に減少し、寂しい限りです

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,063) 341 人	②「どちらともいえない」の回答 (261) 120 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (186) 100 人
1	1 自由な時間の確保 (242)	1 自由な時間の確保 (77)	1 自由な時間の確保 (63)
2	11 家族との交流 (181)	11 家族との交流 (29)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (28)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (139)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (28)	12 知人・友人との交流 (20)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		71.0	23.2	17.9	10.6	7.6	10.6	21.7	3.8	14.7	40.8	53.1	35.2	1.8
②「どちらともいえない」		64.2	18.3	9.2	12.5	2.5	10.8	11.7	6.7	5.8	23.3	24.2	20.8	7.5
③「あまり感じない・感じない」		63.0	13.0	9.0	4.0	7.0	6.0	5.0	2.0	6.0	28.0	12.0	20.0	11.0

（件）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝341人）	1063	242	79	61	36	26	36	74	13	50	139	181	120	6
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝120人）	261	77	22	11	15	3	13	14	8	7	28	29	25	9
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝100人）	186	63	13	9	4	7	6	5	2	6	28	12	20	11

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（340名中4名記載）
・使えるお金の有無　・Net　・ペット　・お金の有無

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（120名中5名記載）
・親族の世話　・金銭的余裕　・午睡・睡眠時間　・やりたいことなどあるが収入がすくなくて、がまんしていることもある　・金銭面

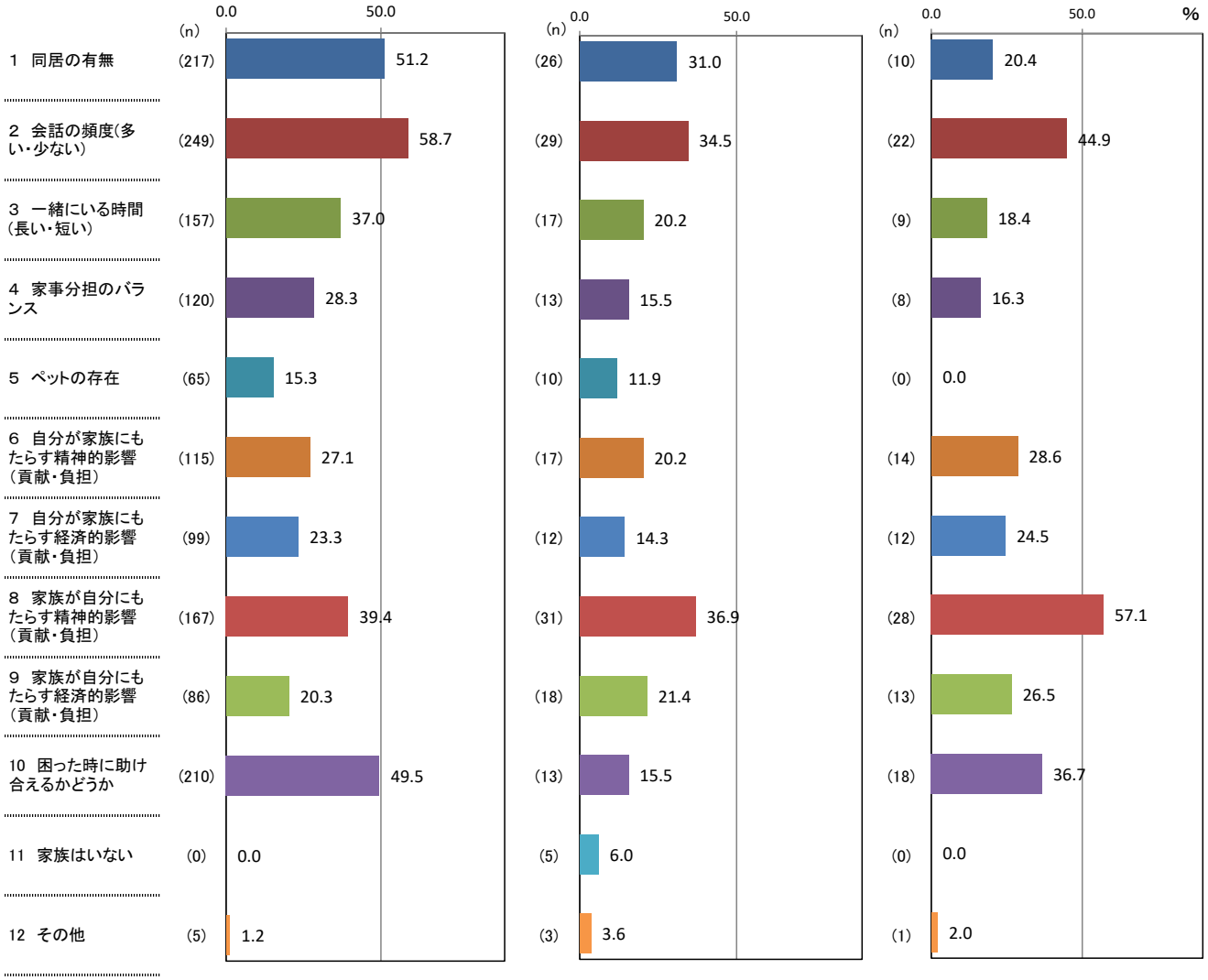
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（100名中3名記載）
・余暇活動特になし　・外出する気力がない　・仕事の時間がほとんどで暇がない

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,490) 424 人	②「どちらともいえない」の回答 (194) 84 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (135) 49 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (249)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (31)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (28)
2	1 同居の有無 (217)	2 会話の頻度(多い・少ない) (29)	2 会話の頻度(多い・少ない) (22)
3	10 困った時に助け合えるかどうか (210)	1 同居の有無 (26)	10 困った時に助け合えるかどうか (18)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（3） 家族関係についての回答理由（問1-1（3）「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		51.2	58.7	37.0	28.3	15.3	27.1	23.3	39.4	20.3	49.5	0.0	1.2
②「どちらともいえない」		31.0	34.5	20.2	15.5	11.9	20.2	14.3	36.9	21.4	15.5	6.0	3.6
③「あまり感じない・感じない」		20.4	44.9	18.4	16.3	0.0	28.6	24.5	57.1	26.5	36.7	0.0	2.0

（件）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝424人）	1,490	217	249	157	120	65	115	99	167	86	210	0	5
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝84人）	194	26	29	17	13	10	17	12	31	18	13	5	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝49人）	135	10	22	9	8	0	14	12	28	13	18	0	1

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（424名中3名記載）
・両親の老いについて　・全員が健康でコミュニケーションが取れている　・遠くに離れて(仕事の関係)生活しているので会えない

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（84名中0名記載）

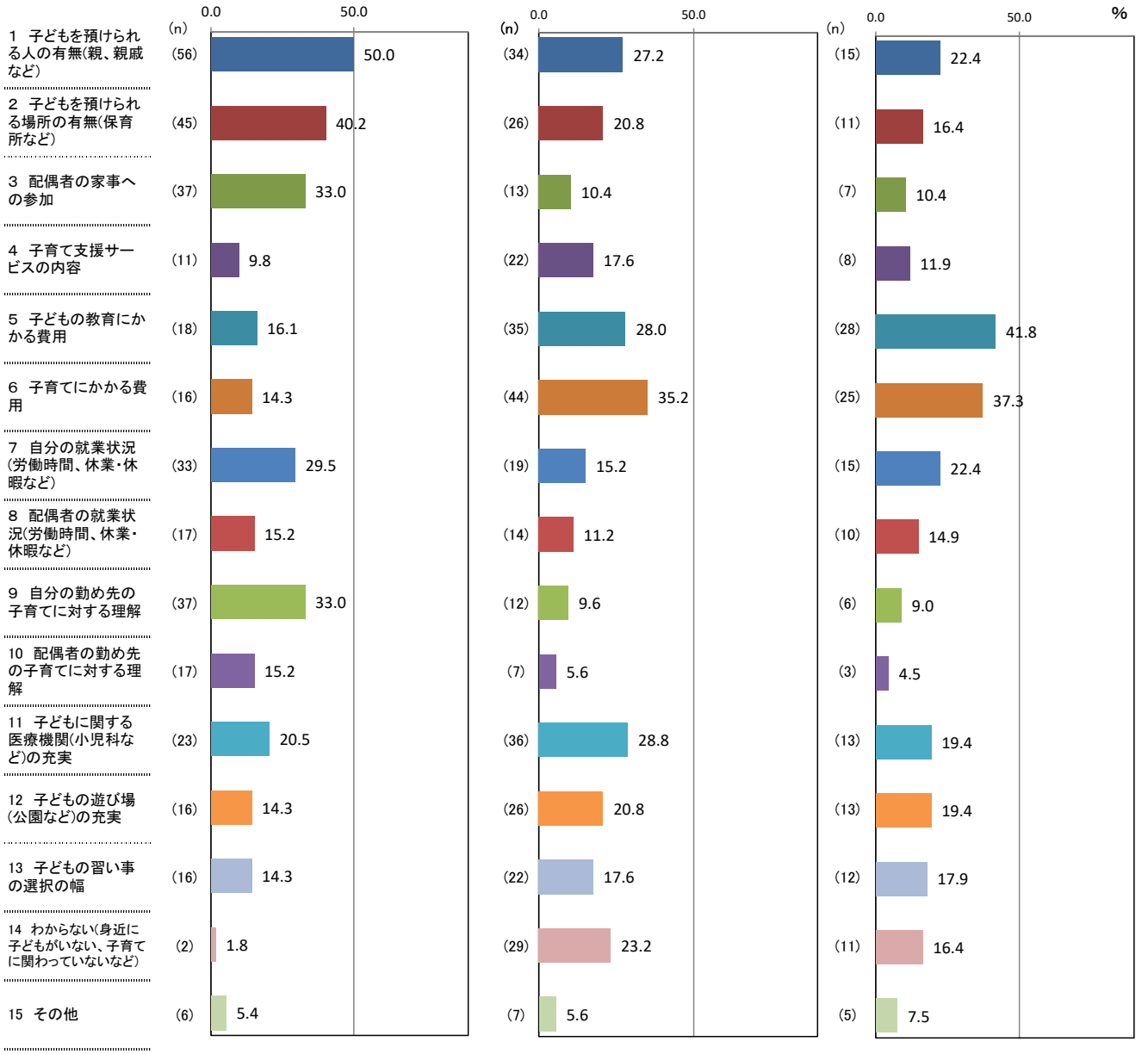
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（49名中1名記載）
・不仲

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答理由「子育て」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (350) 112 人		②「どちらともいえない」の回答 (346) 125 人		③「あまり感じない・感じない」の回答 (182) 67 人	
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	(56)	6 子育てにかかる費用	(44)	5 子どもの教育にかかる費用	(28)
2	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	(45)	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	(36)	6 子育てにかかる費用	(25)
3	3 配偶者の家事への参加	(37)	5 子どもの教育にかかる費用	(35)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	(15)
	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	(37)			7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	(15)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1(4)「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	40.2	33.0	9.8	16.1	14.3	29.5	15.2	33.0	15.2	20.5	14.3	14.3	1.8	5.4
②「どちらともいえない」		27.2	20.8	10.4	17.6	28.0	35.2	15.2	11.2	9.6	5.6	28.8	20.8	17.6	23.2	5.6
③「あまり感じない・感じない」		22.4	16.4	10.4	11.9	41.8	37.3	22.4	14.9	9.0	4.5	19.4	19.4	17.9	16.4	7.5

（件）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝112人）	350	56	45	37	11	18	16	33	17	37	17	23	16	16	2	6
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝125人）	346	34	26	13	22	35	44	19	14	12	7	36	26	22	29	7
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝67人）	182	15	11	7	8	28	25	15	10	6	3	13	13	12	11	5

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（112名中2名記載）
・子育てが終了した　・3人の子は皆独立している

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（125名中4名記載）
・孫2人の面倒を見ている立場　・地区により、支援の不公平　・子育て終了　・子供の遊び友達が周りに少ない

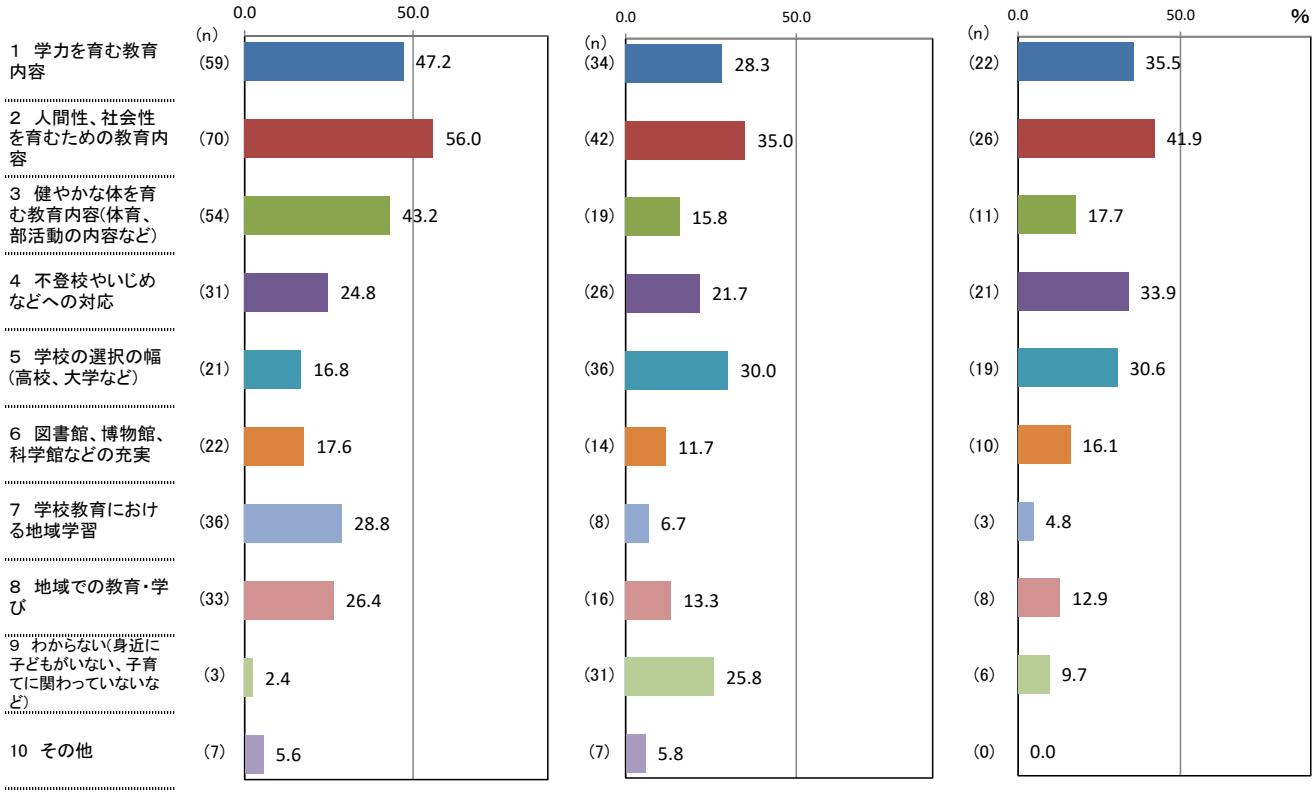
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（67名中1名記載）
・全てにおいて親の負担が多い。昔と比べて　・ボランティア

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「子どもの教育」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (336) 125 人	②「どちらともいえない」の回答 (233) 120 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (126) 62 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (70)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (42)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (26)
2	1 学力を育む教育内容 (59)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (36)	1 学力を育む教育内容 (22)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (54)	1 学力を育む教育内容 (34)	4 不登校やいじめなどへの対応 (21)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（5） 子どもの教育についての回答理由（問1-1（5）「①あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

分野別実感の回答結果「子どもの教育」	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		47.2	56.0	43.2	24.8	16.8	17.6	28.8	26.4	2.4	5.6
②「どちらともいえない」		28.3	35.0	15.8	21.7	30.0	11.7	6.7	13.3	25.8	5.8
③「あまり感じない・感じない」		35.5	41.9	17.7	33.9	30.6	16.1	4.8	12.9	9.7	0.0

（件）

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝125人）	336	59	70	54	31	21	22	36	33	3	7
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝120人）	233	34	42	19	26	36	14	8	16	31	7
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝62人）	126	22	26	11	21	19	10	3	8	6	0

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（125名中3名記載）
・具体的な例が思いうかばない　・保育園　　・Eテレを見てる。おかあさんといっしょ、いないいないばあ、みいつけた・ピタゴラスイッチ

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（120名中5名記載）
・タブレット・PC　・保育の役割、小学校入学前の検査(言葉)　・子育て終了　・未就学児なので学力はわからないが、保育園での教育は良いと思っている　・保育者の関心

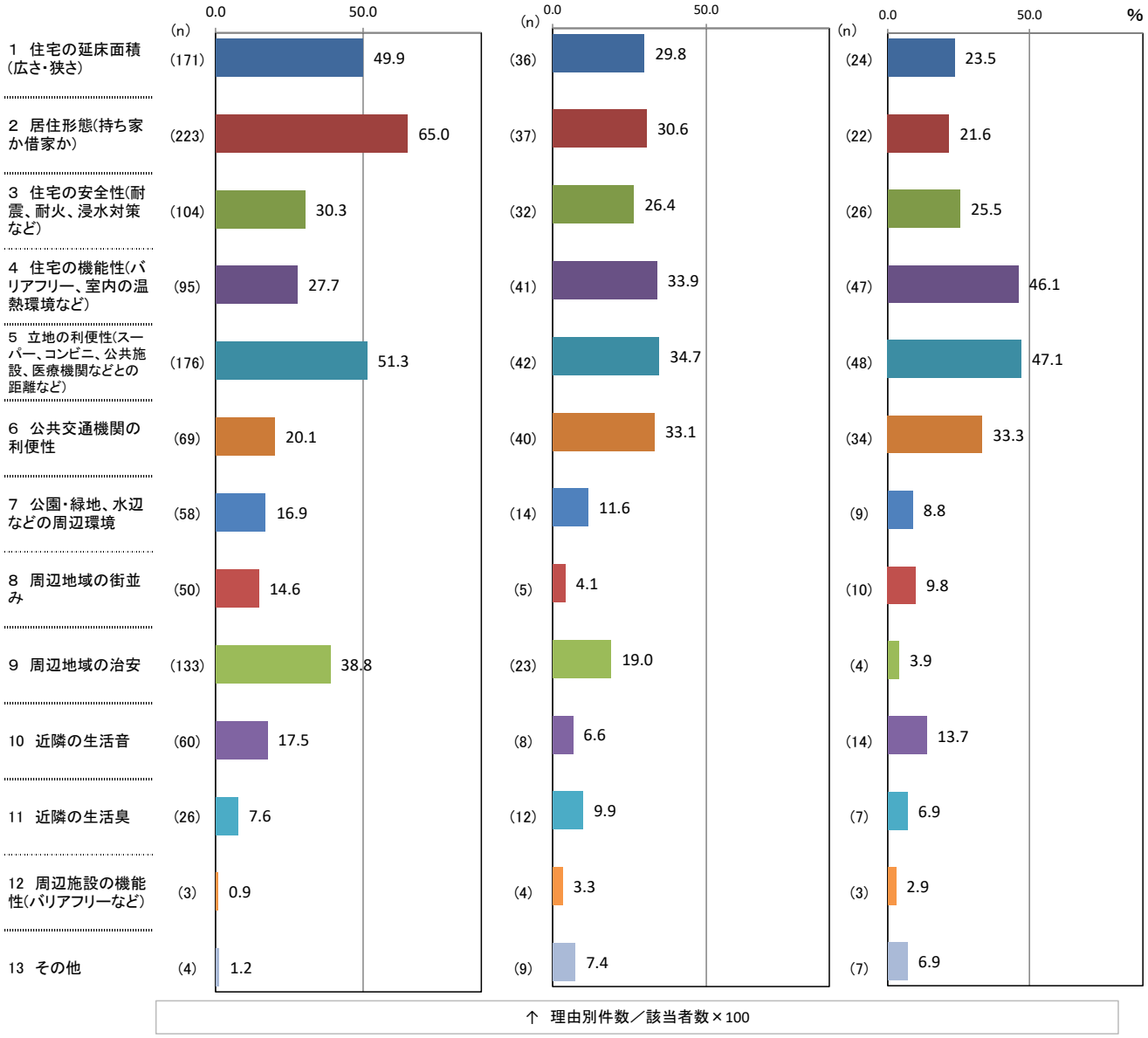
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（62名中0名記載）

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「住まいの快適さ」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,172) 343 人	②「どちらともいえない」の回答 (303) 121 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (255) 102 人
1	2 居住形態(持ち家か借家か) (223)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) (42)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) (48)
2	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) (176)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) (41)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) (47)
3	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ) (171)	6 公共交通機関の利便性 (40)	6 公共交通機関の利便性 (34)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（6） 住まいの快適さについての回答理由（問1-1（6）「①あなたはお住まいに快適さを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か借家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)	13 その他
①「感じる・やや感じる」		49.9	65.0	30.3	27.7	51.3	20.1	16.9	14.6	38.8	17.5	7.6	0.9	1.2
②「どちらともいえない」		29.8	30.6	26.4	33.9	34.7	33.1	11.6	4.1	19.0	6.6	9.9	3.3	7.4
③「あまり感じない・感じない」		23.5	21.6	25.5	46.1	47.1	33.3	8.8	9.8	3.9	13.7	6.9	2.9	6.9

（件）

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か借家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝343人）	1,172	171	223	104	95	176	69	58	50	133	60	26	3	4
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝121人）	303	36	37	32	41	42	40	14	5	23	8	12	4	9
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝102人）	255	24	22	26	47	48	34	9	10	4	14	7	3	7

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（343名中3名記載）
・断熱　・津波警報発令時の避難　・冬期間の除雪が大変

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（121名中6名記載）
・猫の糞・尿被害　・子どもがうまれ、成長につれて夫婦2人の生活の時より考えなければならないことがふえたから。危ないところをなくすようになど…　・近隣の付き合い　・持ち家ではあるが、古い家屋で屋根から●●しつつある。　・子供達の声が昔程聞こえない　・家族との住まいに対する考え方の差

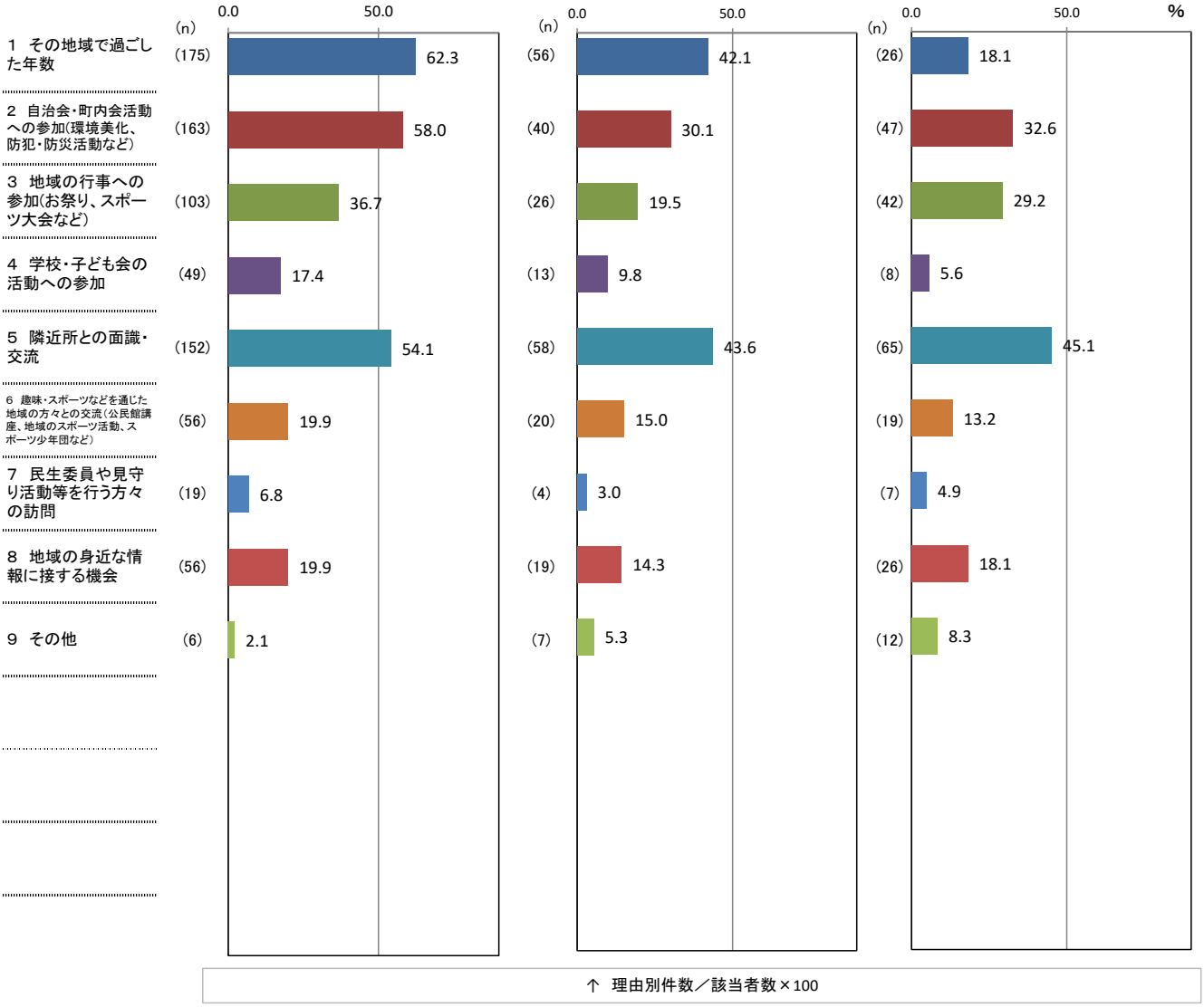
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（102名中5名記載）
・築年数や設備　・住宅の気密性、断熱性能が低い　・雪かきが辛い　・隣人関係　・家庭環境

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会とのつながり」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (779) 281 人	②「どちらともいえない」の回答 (243) 133 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (252) 144 人
1	1 その地域で過ごした年数 (175)	5 隣近所との面識・交流 (58)	5 隣近所との面識・交流 (65)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (163)	1 その地域で過ごした年数 (56)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (47)
3	5 隣近所との面識・交流 (152)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (40)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (42)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など）	3 地域の行事への参加（お祭り、スポーツ大会など）	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流（公民館講座、地域のスポーツ活動、スポーツ少年団など）	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		62.3	58.0	36.7	17.4	54.1	19.9	6.8	19.9	2.1
②「どちらともいえない」		42.1	30.1	19.5	9.8	43.6	15.0	3.0	14.3	5.3
③「あまり感じない・感じない」		18.1	32.6	29.2	5.6	45.1	13.2	4.9	18.1	8.3

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など）	3 地域の行事への参加（お祭り、スポーツ大会など）	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流（公民館講座、地域のスポーツ活動	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝281人）	779	175	163	103	49	152	56	19	56	6
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝133人）	243	56	40	26	13	58	20	4	19	7
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝144人）	252	26	47	42	8	65	19	7	26	12

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（281名中3名記載）
・自分達も地域の活動に参加している　・消防団活動　・特に無し

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（133名中4名記載）
・一人住いだとつながりの機会が少ない　・さいきんは病院がよいが多い。　・Netでの交流が中心になっている。　・特になし

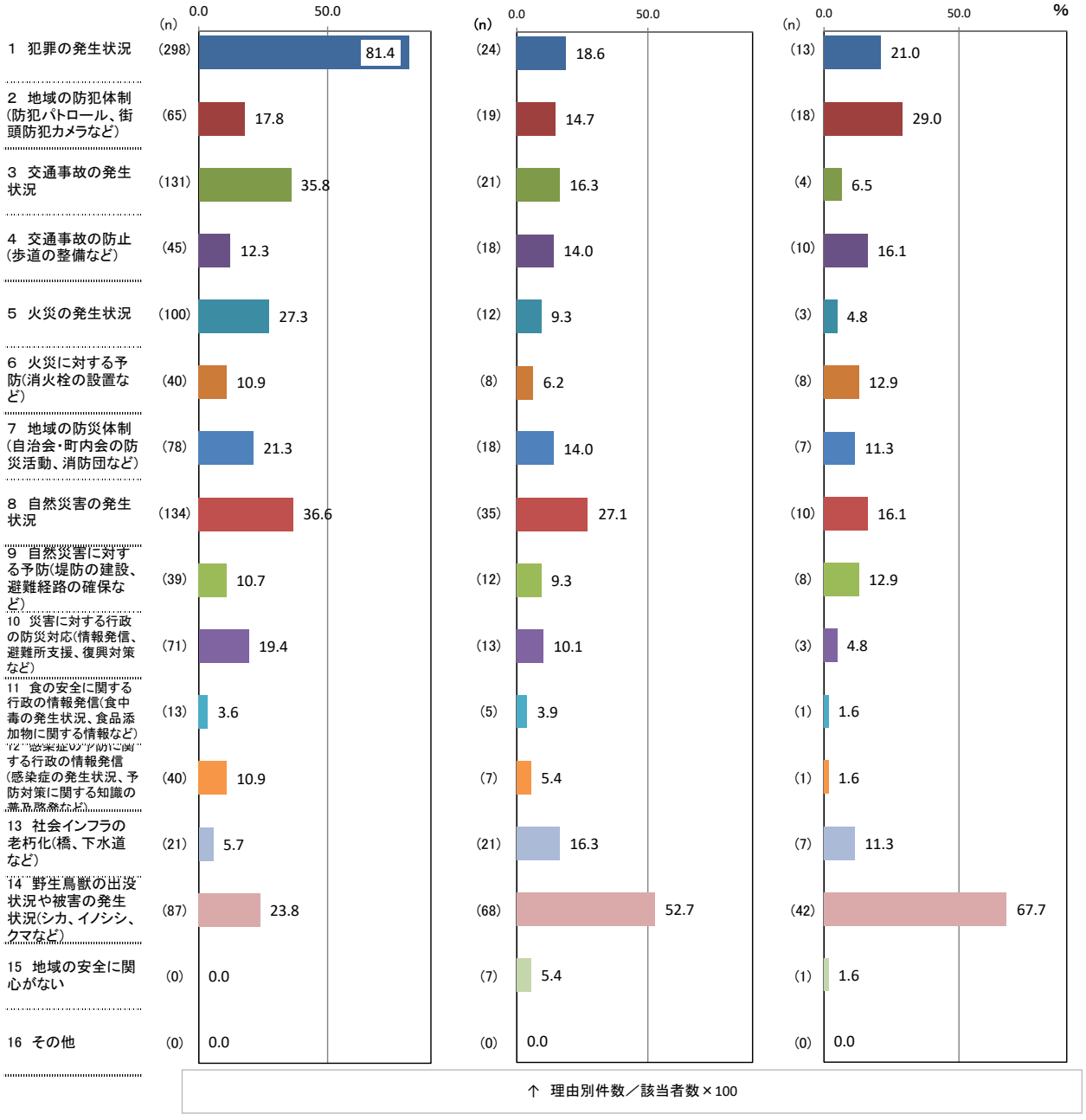
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（144名中6名記載）
・つながりがない　・高齢者　・回覧板がこない。集合住宅のため。　・町内会費は払っているが回覧板は回って来ない立場なので　・仕事上つながれなかった　・地域性

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,162) 366 人	②「どちらともいえない」の回答 (288) 129 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (136) 62 人
1	1 犯罪の発生状況 (298)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (68)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (42)
2	8 自然災害の発生状況 (134)	8 自然災害の発生状況 (35)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (18)
3	3 交通事故の発生状況 (131)	1 犯罪の発生状況 (24)	1 犯罪の発生状況 (13)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（8）「地域の安全」についての回答理由（問1-1(8)「①あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発な	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		81.4	17.8	35.8	12.3	27.3	10.9	21.3	36.6	10.7	19.4	3.6	10.9	5.7	23.8	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		18.6	14.7	16.3	14.0	9.3	6.2	14.0	27.1	9.3	10.1	3.9	5.4	16.3	52.7	5.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		21.0	29.0	6.5	16.1	4.8	12.9	11.3	16.1	12.9	4.8	1.6	1.6	11.3	67.7	1.6	0.0

（件）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発な	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝366人）	1,162	298	65	131	45	100	40	78	134	39	71	13	40	21	87	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝129人）	288	24	19	21	18	12	8	18	35	12	13	5	7	21	68	7	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝62人）	136	13	18	4	10	3	8	7	10	8	3	1	1	7	42	1	0

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（366名中3名記載）
・1・3・5はどこで知れるのですか？　・熊の出没あり　・各種情報発信

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（129名中3名記載）
・除雪が不充分　・ネコのフンで5年も被害にあってようやく解決した　・時代ごとに発生する物だと思う

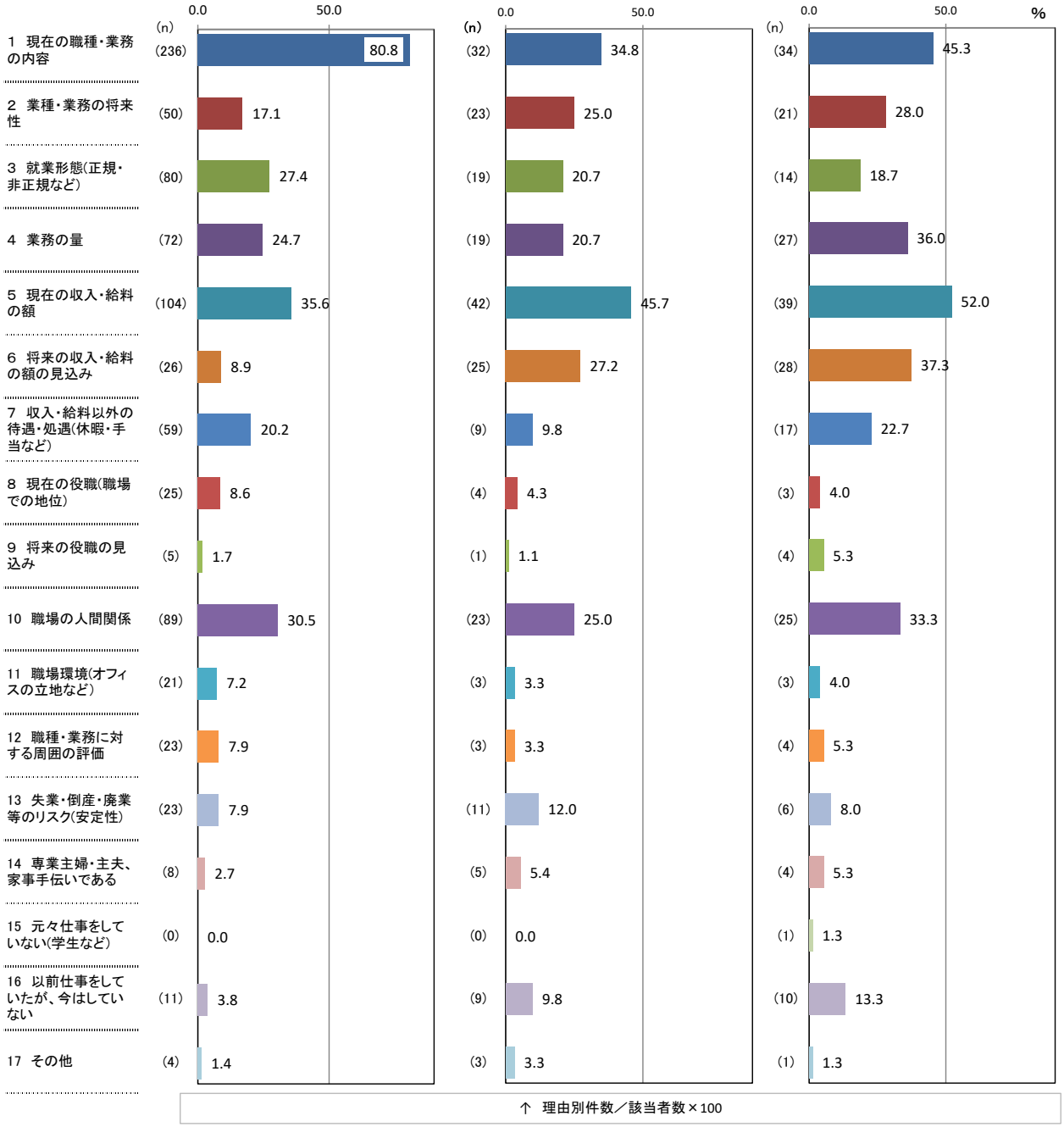
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（62名中2名記載）
・除雪があまい。ボコボコ道路。　・近所に人格的に問題ある人がいる

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (836) 292 人	②「どちらともいえない」の回答 (231) 92 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (241) 75 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (236)	5 現在の収入・給料の額 (42)	5 現在の収入・給料の額 (39)
2	5 現在の収入・給料の額 (104)	1 現在の職種・業務の内容 (32)	1 現在の職種・業務の内容 (34)
3	10 職場の人間関係 (89)	6 将来の収入・給料の額の見込み (25)	6 将来の収入・給料の額の見込み (28)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（9）「仕事のやりがい」についての回答理由（問1-1(9)「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態(正規・非正規など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		80.8	17.1	27.4	24.7	35.6	8.9	20.2	8.6	1.7	30.5	7.2	7.9	7.9	2.7	0.0	3.8	1.4
②「どちらともいえない」		34.8	25.0	20.7	20.7	45.7	27.2	9.8	4.3	1.1	25.0	3.3	3.3	12.0	5.4	0.0	9.8	3.3
③「あまり感じない・感じない」		45.3	28.0	18.7	36.0	52.0	37.3	22.7	4.0	5.3	33.3	4.0	5.3	8.0	5.3	1.3	13.3	1.3

（件）

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態(正規・非正規など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝292人）	836	236	50	80	72	104	26	59	25	5	89	21	23	23	8	0	11	4
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝92人）	231	32	23	19	19	42	25	9	4	1	23	3	3	11	5	0	9	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝75人）	241	34	21	14	27	39	28	17	3	4	25	3	4	6	4	1	10	1

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（292名中0名記載）

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（92名中1名記載）
・今は年金生活

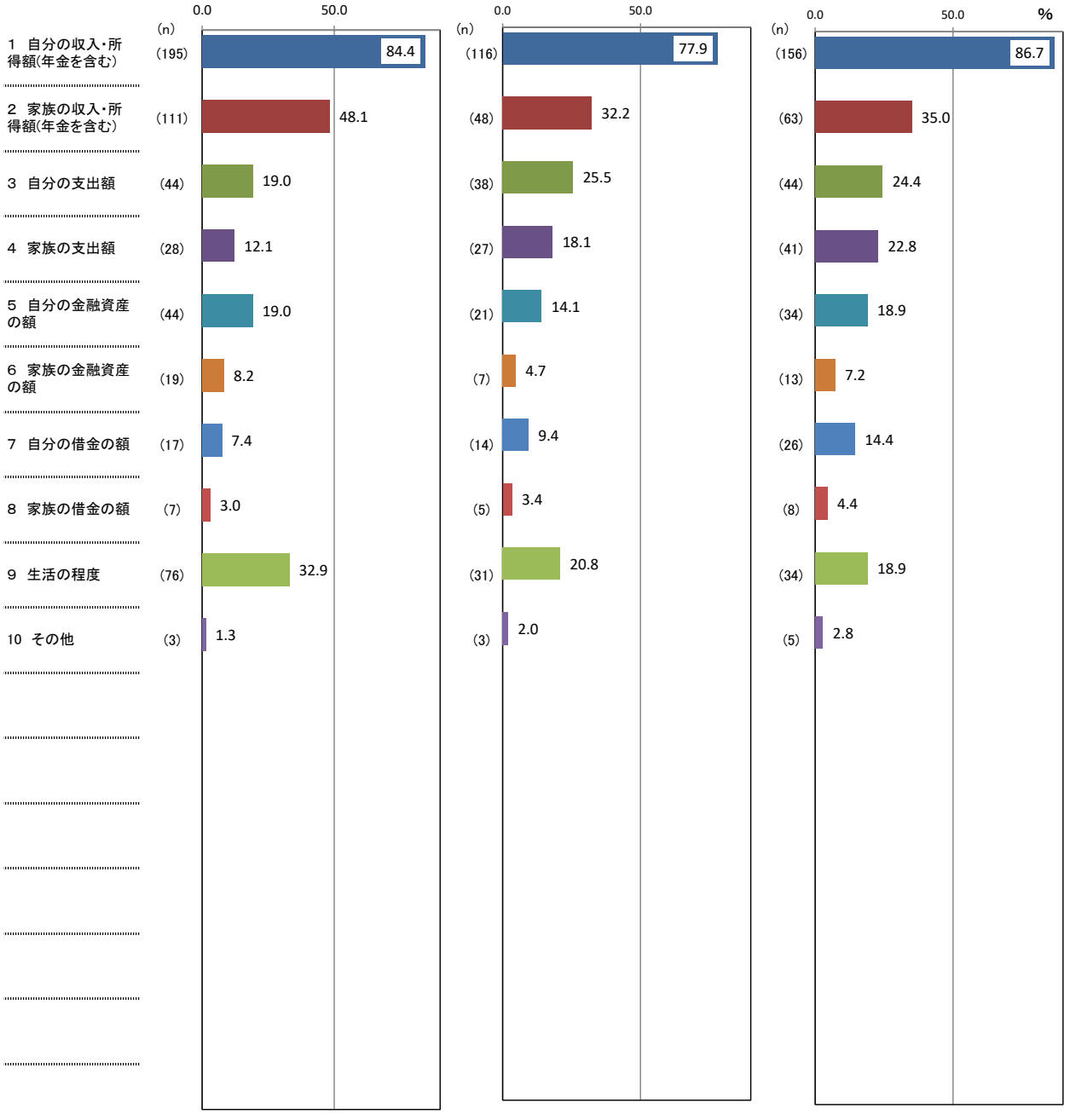
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（75名中1名記載）
・生活の糧を得るための手段だから

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (544) 231 人	②「どちらともいえない」の回答 (310) 149 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (424) 180 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (195)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (116)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (156)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (111)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (48)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (63)
3	9 生活の程度 (76)	3 自分の支出額 (38)	3 自分の支出額 (44)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10）「必要な収入や所得」についての回答理由（問1-1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		84.4	48.1	19.0	12.1	19.0	8.2	7.4	3.0	32.9	1.3
②「どちらともいえない」		77.9	32.2	25.5	18.1	14.1	4.7	9.4	3.4	20.8	2.0
③「あまり感じない・感じない」		86.7	35.0	24.4	22.8	18.9	7.2	14.4	4.4	18.9	2.8

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝231人）	544	195	111	44	28	44	19	17	7	76	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝149人）	310	116	48	38	27	21	7	14	5	31	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝180人）	424	156	63	44	41	34	13	26	8	34	5

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（231名中2名記載）
・障がい者年金　・物価の高騰

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（149名中1名記載）
・親の住宅ローン

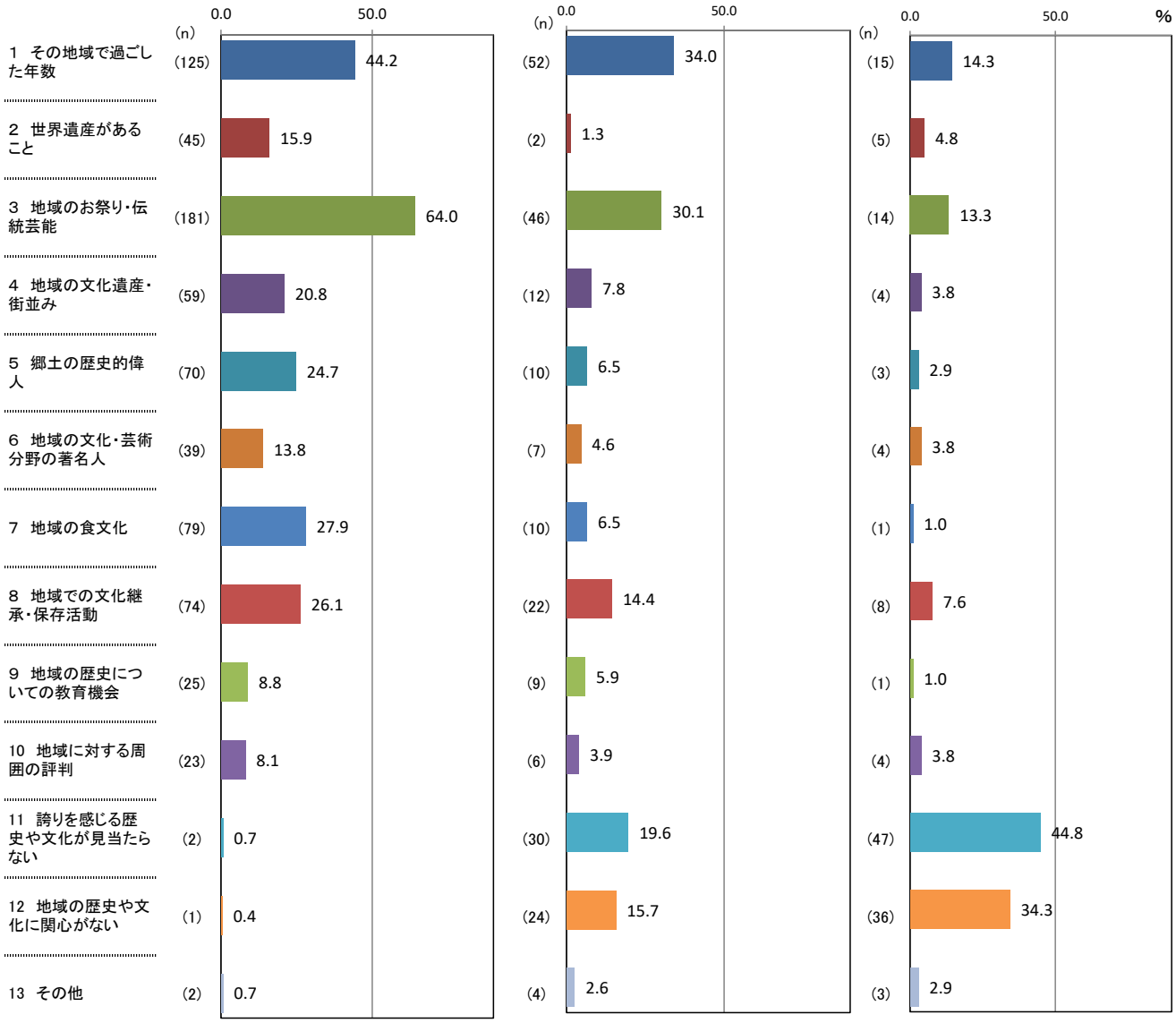
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（180名中1名記載）
・家が買えない。マイホーム。

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (725) 283 人	②「どちらともいえない」の回答 (234) 153 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (145) 105 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (181)	1 その地域で過ごした年数 (52)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (47)
2	1 その地域で過ごした年数 (125)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (46)	12 地域の歴史や文化に関心がない (36)
3	7 地域の食文化 (79)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (30)	1 その地域で過ごした年数 (15)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11）歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1(11)「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		44.2	15.9	64.0	20.8	24.7	13.8	27.9	26.1	8.8	8.1	0.7	0.4	0.7
②「どちらともいえない」		34.0	1.3	30.1	7.8	6.5	4.6	6.5	14.4	5.9	3.9	19.6	15.7	2.6
③「あまり感じない・感じない」		14.3	4.8	13.3	3.8	2.9	3.8	1.0	7.6	1.0	3.8	44.8	34.3	2.9

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝283人）	725	125	45	181	59	70	39	79	74	25	23	2	1	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝153人）	234	52	2	46	12	10	7	10	22	9	6	30	24	4
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝105人）	145	15	5	14	4	3	4	1	8	1	4	47	36	3

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（283名中1名記載）
・あまりわからない。

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（153名0名記載）

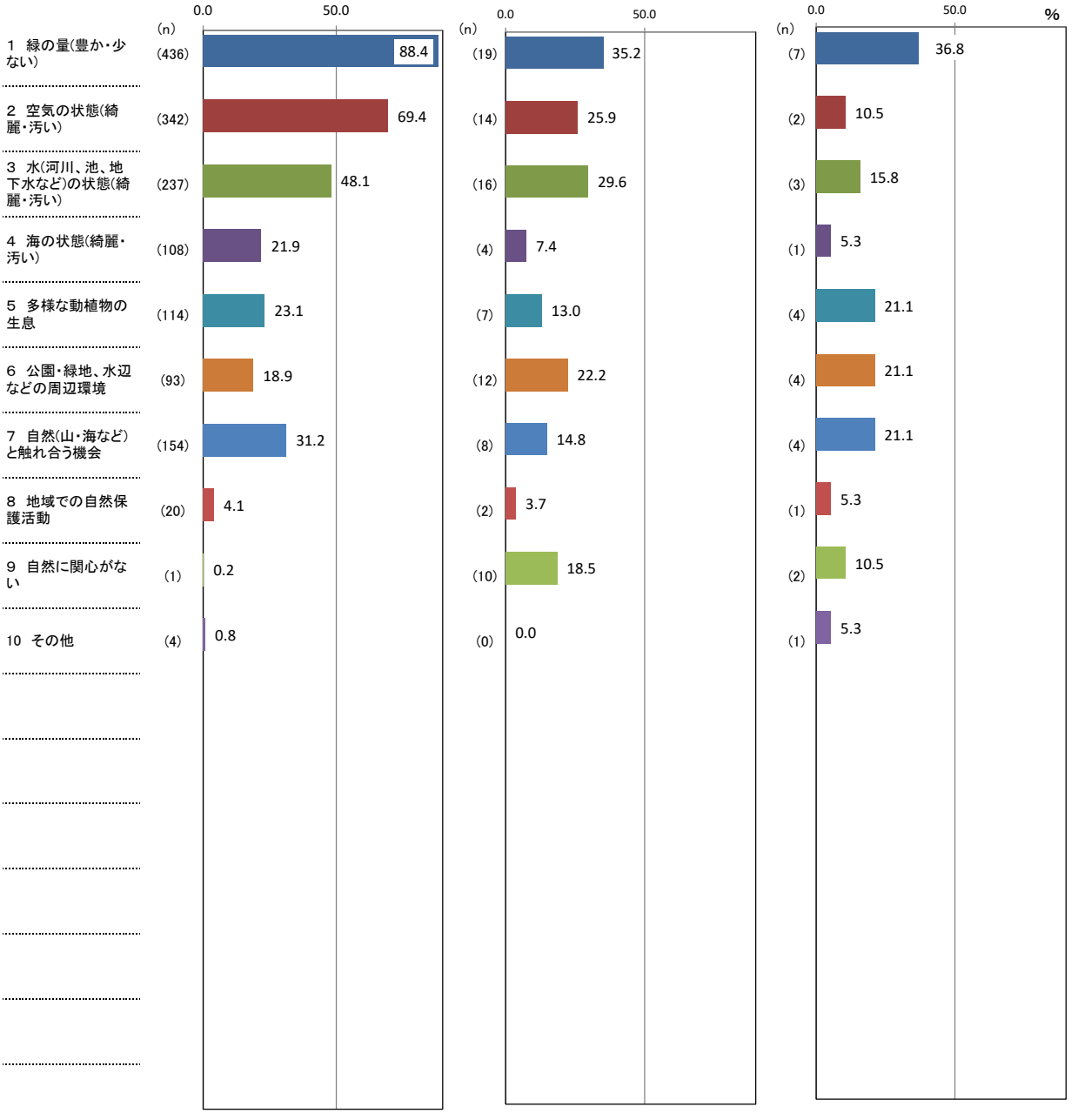
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（105名中2名記載）
・あってもわからない…　・伝統に忠実に取り組んでいる姿勢が良く出ている部分とあまりにも”神”とかに拘る面を出してしまう一部の方が居て、多くの村民が祭り気分を害してしまう様子が見受けられる

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「自然のゆたかさ」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,509) 493 人	②「どちらともいえない」の回答 (92) 54 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (29) 19 人
1	1 緑の量(豊か・少ない) (436)	1 緑の量(豊か・少ない) (19)	1 緑の量(豊か・少ない) (7)
2	2 空気の状態(綺麗・汚い) (342)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (16)	5 多様な動植物の生息 (4) 6 公園・緑地、水辺などの周辺環境 (4) 7 自然(山・海など)と触れ合う機会 (4)
3	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (237)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (14)	- -

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（12）「自然のゆたかさ」についての回答理由（問1-1（12）「①あなたは自然に恵まれていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」		88.4	69.4	48.1	21.9	23.1	18.9	31.2	4.1	0.2	0.8
②「どちらともいえない」		35.2	25.9	29.6	7.4	13.0	22.2	14.8	3.7	18.5	0.0
③「あまり感じない・感じない」		36.8	10.5	15.8	5.3	21.1	21.1	21.1	5.3	10.5	5.3

（件）

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝493人）	1,509	436	342	237	108	114	93	154	20	1	4
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝54人）	92	19	14	16	4	7	12	8	2	10	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝19人）	29	7	2	3	1	4	4	4	1	2	1

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（493名中1名記載）
・クマが出る

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（54名中0名記載）

③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（19名中1名記載）
・外出が困難なので自然にふれる機会がない

分野別実感の変動等要因推定（基準年比較）（上昇・低下・高値・低値）

※「【県民意識調査】実感が上昇（低下）した属性」において、上昇・低下幅の多寡については、概ね 0.20 点を目安としていること
※「【補足調査結果】要因抽出」において、回答割合の比較傾向は 10%以上の差としていること

○実感が上昇した分野【R5～R8】

実感が上昇した分野	【県民意識調査】実感が上昇した属性（◎は特に上昇幅が大きい属性）		【補足調査結果】要因抽出	実感が上昇した要因の推測
余暇の充実	性別	男性 女性	実感が上昇した人の上位３位の回答 ①　自由な時間の確保 ②　家族との交流 ③　趣味・娯楽活動の場所・機会 実感低下要因と比較し、上位３位以外で回答割合が高い回答 ・　知人・友人との交流	①　自由な時間を十分に確保できたこと （例：自由に過ごせる時間がある。夫も勤務していて自由時間は多い。　等） ②　家族との交流が増えたこと （例：仕事をする時間を短縮し、家族のために時間を使えるようになった。実家の家族との交流。　等） ③　趣味・娯楽活動の場所・機会が増えたこと （例：趣味が多く、自由な時間を確保するように心掛けている。行ってみたい、体験してみたいと思ったことを優先してできた。　等） ④　知人・友人との交流が増えたこと （例：SNS にて会えずとも共有したり相談できる。知人、友人との交流で色々な情報を得、楽しめている。　等）
	年代	◎20～29 歳 70 歳以上		
	職業	◎臨時雇用者 60 歳以上の無職		
	世帯構成	◎夫婦のみ		
	子どもの数	２人 ３人		
	居住年数	20 年以上		
	広域振興圏	県央広域振興圏 県南広域振興圏		
歴史・文化への誇り	性別	女性	実感が上昇した人の上位３位の回答 ①　地域のお祭り・伝統芸能 ②　その地域で過ごした年数 ③　地域での文化継承・保存活動 実感低下要因と比較し、上位３位以外で回答割合が高い回答 ・　世界遺産があること ・　地域の食文化	①　地域のお祭り・伝統芸能があること （例：　地域の伝統芸能が子供たちに継承されているから。　無形民俗文化財がある。　等） ②　その地域で過ごした年数 （例：　年数 50 年以上。市の祭りのサポート。　等） ③　地域での文化継承・保存活動 （例：　地域の人で保存しようとする気持ちが高いため。今年も部落の虎舞が家々を歩いたが、親子、地域が一つになって、１年が始まる気持ちになった。等） ④　世界遺産があること （例：これらの歴史文化財があれば、人的交流も盛んで誇りを感じる。中尊寺など寺社仏閣がある　等） ⑤　地域の食文化があること （例：　もっと、みんなに広げたい。麺文化。）
	年代	◎20～29 歳		
	職業	◎臨時雇用者		
	世帯構成	２世代世帯		
	子どもの数	子どもはいない		
	居住年数	－		
	広域振興圏	沿岸広域振興圏		

○実感が低下した分野【R5～R8】

実感が低下した分野	【県民意識調査】 実感が低下した属性 （◎は特に低下幅が大きい属性）		【補足調査結果】 要因抽出	実感が低下した要因の推測
地域の安全	性別	－	実感が低下した人の上位３位の回答 ① 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況（シカ、イノシシ、クマなど） ② 自然災害の発生状況 ③ 犯罪の発生状況 実感上昇要因との比較では、上位３位以外で回答割合が高い回答無し。	① 野生鳥獣の出没や被害の発生が多いこと （例：田舎なので熊も怖いし、鳥獣被害も増えている。熊やイノシシが多く、農作業や子供達の遊びや運動に危険が伴う。　等） ② 自然災害の発生が多くなっていること （例：大雨が降ると泥とかが流れてくる。海溝型の巨大地震、最大クラスの津波がいつ発生するか心配　　等） ③ 犯罪の発生状況に不安があること （例：時々、同じ地域で薬物所持で逮捕者が出るニュースを見る。現在は犯罪の発生が少ないと思われるので安心だが、将来的には？　等）
	年代	50歳～59歳		
	職業	－		
	世帯構成	－		
	子どもの数	－		
	居住年数	20年以上		
	広域振興圏	県南広域振興圏		

○一貫して高値で推移

分野別実感	属性	補足調査結果からの推測（令和８年調査における属性別実感が高い要因の３位までの回答）	補足調査結果からの推測（過去３回以上、属性別実感が高い要因となったもの）	まとめ（左記の結果より推測された、実感が高い要因）
家族関係	世帯構成　夫婦のみ	①　会話の頻度（多い） ②　同居の有無 ③　困ったときに助け合えるかどうか	①　会話の頻度が多いこと ②　同居（あるいは別居）がうまくいっていること ③　困った時に助け合えていること	①　会話の頻度が多いこと ②　同居がうまくいっていること ③　困った時に助け合えていること
自然のゆたかさ	すべての属性	（分野の実感が高い要因） ①　緑の量（豊か） ②　空気の状態（綺麗） ③　水（河川、池、地下水など）の状態（綺麗）	①　緑の量が豊かであること ②　空気の状態が綺麗であること ③　水（河川、池、地下水など）の状態が綺麗であること	①　緑の量が豊かであること ②　空気の状態が綺麗であること ③　水（河川、池、地下水など）の状態が綺麗であること

（参考）一貫して高値で推移している要因（経年）

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
家族関係（夫婦のみ）	ア　会話の頻度が多い イ　困った時に助け合えている ウ　家族がよい精神的影響（貢献）を自分にもたらしている	ア　会話の頻度が多い イ　同居（あるいは別居）がうまくいっている ウ　家族がよい精神的影響（貢献）を自分にもたらしている	ア　会話の頻度が多い イ　困った時に助け合えている ウ　同居（あるいは別居）がうまくいっている	ア　会話の頻度が多い イ　同居がうまくいっている ウ　困った時に助け合えている	ア　会話の頻度が多い イ　同居がうまくいっている ウ　困った時に助け合えている エ　家族がよい精神的影響(貢献)を自分にもたらしている	ア　会話の頻度が多い イ　同居（あるいは別居）がうまくいっている ウ　困った時に助け合えている エ　家族がよい精神的影響（貢献）を自分にもたらしている	ア　会話の頻度が多い イ　同居（あるいは別居）がうまくいっている ウ　困った時に助け合えている
自然のゆたかさ（分野）	ア　緑の量が豊かである イ　空気の状態が綺麗である ウ　水（河川、池、地下水など）の状態が綺麗である	ア　緑の量が豊かである イ　空気の状態が綺麗である ウ　水（河川、池、地下水など）の状態が綺麗である	ア　緑の量が豊かである イ　空気の状態が綺麗である ウ　水（河川、池、地下水など）の状態が綺麗である	ア　緑の量が豊かである イ　空気の状態が綺麗である ウ　水（河川、池、地下水など）の状態が綺麗である	ア　緑の量が豊かである イ　空気の状態が綺麗である ウ　水（河川、池、地下水など）の状態が綺麗である	ア　緑の量が豊かである イ　空気の状態が綺麗である ウ　水(河川、池、地下水など)の状態が綺麗である	ア　緑の量が豊かである イ　空気の状態が綺麗である ウ　水(河川、池、地下水など)の状態が綺麗である

○一貫して低値で推移

分野別実感	属性		補足調査結果からの推測 （令和８年調査における属性別実感が低い要因の３位までの回答）	補足調査結果からの推測 （過去３回以上、属性別実感が低い要因となったもの）	まとめ （左記の結果より推測された、実感が低い要因）
余暇の充実	年代 職業 世帯構成	40～49歳、50～59歳 常用雇用者 ２世代世帯	（４属性の実感が低い要因） ①　自由な時間の確保 ②　知人・友人との交流 ③　趣味・娯楽活動の場所・機会	①　自由な時間が十分に確保できなかったこと ②　趣味・娯楽活動の場所・機会が少ないこと ③　知人・友人との交流が少ないこと	①　自由な時間が十分に確保できなかったこと ②　趣味・娯楽活動の場所・機会が少ないこと ③　知人・友人との交流が少ないこと
子育て	子どもの数	子どもはいない	①　子育てにかかる費用 ②　子どもの教育にかかる費用 ③　子どもを預けられる人(親、親戚など)がいない	①　子育てにかかる費用が高いこと ②　子どもの教育にかかる費用が高いこと ③　自分の就業状況（労働時間、休養・休暇など）に不満があること	①　子育てにかかる費用が高いこと ②子どもの教育にかかる費用が高いこと ③　自分の就業状況（労働時間、休養・休暇など）に不満があること ④　子どもを預けられる人(親、親戚など)がいないこと
子どもの教育	子どもの数	子どもはいない	①　人間性、社会性を育むための教育内容 ②　不登校やいじめなどの対応 ③　学力を育む教育内容	①　学力を育む教育内容が十分とは言えないこと ②　人間性、社会性を育むための教育内容が十分とは言えないこと ③　不登校やいじめなどの対応が十分とは言えないこと	①　学力を育む教育内容が十分とは言えないこと ②　人間性、社会性を育むための教育内容が十分とは言えないこと ③　不登校やいじめなどの対応が十分とは言えないこと
必要な収入や所得	会社役員・団体役員、居住年数10～20年未満を除くすべての属性		（分野の実感が低い要因） ①　自分の収入・所得額（年金を含む） ②　家族の収入・所得額（年金を含む） ③　自分の支出額	①　自分の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えないこと ②　家族の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えないこと ③　自分の収入に比べて支出額が多いこと、あるいは十分な支出ができないこと ④　自分の金融資産の額が十分とは言えないこと	①　自分の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えないこと ②　家族の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えないこと ③　自分の収入に比べて支出額が多いこと、あるいは十分な支出ができないこと ④　自分の金融資産の額が十分とは言えないこと

（参考）一貫して低値で推移している要因（経年）

分野（属性）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
余暇の充実（40代、50代、常用雇用者、２世代世帯）	ア　自由な時間が十分に確保できなかった イ　知人・友人との交流が少ない ウ　趣味・娯楽活動の場所・機会が少ない	ア　自由な時間が十分に確保できなかった イ　趣味・娯楽活動の場所・機会が少ない ウ　知人・友人との交流が少ない	ア　自由な時間が十分に確保できなかった イ　趣味・娯楽活動の場所・機会が少ない ウ　知人・友人との交流が少ない	ア　自由な時間が十分に確保できなかった イ　趣味・娯楽活動の場所・機会が少ない ウ　知人・友人との交流が少ない	ア　自由な時間が十分に確保できなかった イ　趣味・娯楽活動の場所・機会が少ない ウ　知人・友人との交流が少ない	ア　自由な時間が十分に確保できなかった イ　趣味・娯楽活動の場所・機会が少ない ウ　知人・友人との交流が少ない	ア　自由な時間が十分に確保できなかった イ　趣味・娯楽活動の場所・機会が少ない ウ　知人・友人との交流が少ない
子育て（子どもはいない）	ア　わからない（身近に子どもがいない、子育てにかかわっていないなど） イ　子どもの教育にかかる費用が高い ウ　子育てにかかる費用が高い エ　自分の就業状況（労働時間、休養・休暇など）に不満がある	ア　子育てにかかる費用が高い イ　子育て支援サービスの内容が十分とは言えない ウ　わからない（身近に子どもがいない、子育てにかかわっていないなど）	ア　わからない（身近に子どもがいない、子育てにかかわっていないなど） イ　子どもの教育にかかる費用が高い ウ　子育てにかかる費用が高い エ　自分の就業状況（労働時間、休養・休暇など）に不満がある	ア　子どもの教育にかかる費用が高い イ　子育てにかかる費用が高い ウ　子育て支援サービスの内容が十分とは言えない エ　自分の就業状況（労働時間、休業・休暇など） オ　子どもに関する医療機関（小児科など）が充実していない カ　子供の遊び場（公園など）が充実していない	ア　子どもの教育にかかる費用が高い イ　子育てにかかる費用が高い ウ　自分の就業状況（労働時間、休養・休暇など）に不満がある エ　子育て支援サービスの内容が十分とは言えない	ア　子どもの教育にかかる費用が高い イ　子育てにかかる費用が高い ウ　自分の就業状況（労働時間、休養・休暇など）に不満がある エ　子育て支援サービスの内容が十分とは言えない	ア　子育てにかかる費用が高い イ　子どもの教育にかかる費用が高い ウ　自分の就業状況（労働時間、休養・休暇など）に不満がある エ　子どもを預けられる人（親、親戚など）がいない

分野 （属性）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
子どもの教育（子どもはいない）	ア　学力を育む教育内容が十分とは言えない イ　人間性、社会性を育むための教育内容が十分とは言えない ウ　不登校やいじめなどの対応が十分とは言えない エ　わからない（身近に子どもがいない、子育てにかかわっていないなど）	ア　人間性、社会性を育むための教育内容が十分とは言えない イ　学力を育む教育内容が十分とは言えない ウ　不登校やいじめなどの対応が十分とは言えない エ　わからない（身近に子どもがいない、子育てにかかわっていないなど）	ア　人間性、社会性を育むための教育内容が十分とは言えない イ　わからない（身近に子どもがいない、子育てにかかわっていないなど） ウ　学力を育む教育内容が十分とは言えない エ　不登校やいじめなどへの対応が十分とは言えない オ　図書館や科学館などが充実しているとは言えない	ア　人間性、社会性を育むための教育内容が十分とは言えない イ　不登校やいじめなどの対応が十分とは言えない ウ　学力を育む教育内容が十分とは言えない エ　健やかな体を育む教育内容（体育、部活動の内容など）	ア　人間性、社会性を育むための教育内容が十分とは言えない イ　不登校やいじめなどの対応が十分とは言えない ウ　学力を育む教育内容が十分とは言えない	ア　人間性、社会性を育むための教育内容が十分とは言えない イ　学力を育む教育内容が十分とは言えない ウ　学校の選択の幅(高校、大学など)が狭い エ　不登校やいじめなどの対応が十分とは言えない	ア　学力を育む教育内容が十分とは言えない イ　人間性、社会性を育むための教育内容が十分とは言えない ウ　不登校やいじめなどの対応が十分とは言えない
必要な収入や所得（分野）	ア　自分の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えない イ　家族の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えない ウ　自分の金融資産の額が十分とは言えない	ア　自分の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えない イ　家族の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えない ウ　自分の金融資産の額が十分とは言えない	ア　自分の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えない イ　家族の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えない ウ　自分の収入に比べて支出額が多い、あるいは十分な支出ができない	ア　自分の収入・所得額(年金を含む)が十分とは言えない イ　家族の収入・所得額(年金を含む)が十分とは言えない ウ　自分の収入に比べて支出額が多い、あるいは十分な支出ができない	ア　自分の収入・所得額(年金を含む)が十分とは言えない イ　家族の収入・所得額(年金を含む)が十分とは言えない ウ　自分の金融資産の額が十分とは言えない エ　自分の収入に比べ支出額が多い、あるいは十分な支出ができない	ア　自分の収入・所得額(年金を含む)が十分とは言えない イ　家族の収入・所得額(年金を含む)が十分とは言えない ウ　自分の収入に比べ支出額が多い、あるいは十分な支出ができない エ　自分の金融資産の額が十分とは言えない	ア　自分の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えない イ　家族の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えない ウ　自分の収入に比べて支出額が多いこと、あるいは十分な支出ができない エ　自分の金融資産の額が十分とは言えない

【補足調査】分野別実感の変動（上昇・横ばい・低下）

R5とR8の比較

分野別実感(1)「心身の健康」の分布（R5とR8）　（単位：人）

R5→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	未回答、未記入、複数回答	（計）
5 感じる	**44**	*33*	*6*	*3*	*1*	0	2	89
4 やや感じる	35	**130**	*41*	*20*	*3*	0	2	231
3 どちらともいえない	**9**	**41**	**56**	*23*	*5*	0	0	134
2 あまり感じない	**7**	**11**	**24**	**26**	13	0	0	81
1 感じない	**2**	**8**	**7**	**4**	**10**	0	1	32
0 わからない（該当しない）	0	0	0	0	0	0	0	0
未記入 複数回答	0	1	0	0	0	0	0	1
調査未回答	4	8	9	3	3	0	0	27
（計）	101	232	143	79	35	0	5	595

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　135 人
R5からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、R5調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　266 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　113 人
R5からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、R5調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

※「からだの健康」及び「こころの健康」の内訳

心身の健康（R5とR8）		R8回答の内訳	からだの健康（R8）	こころの健康（R8）
実感が上昇	135 人	感じる・やや感じる	86 人	102 人
実感が変化なし	266 人	どちらともいえない	56 人	50 人
実感が低下	113 人	感じない・あまり感じない	60 人	45 人

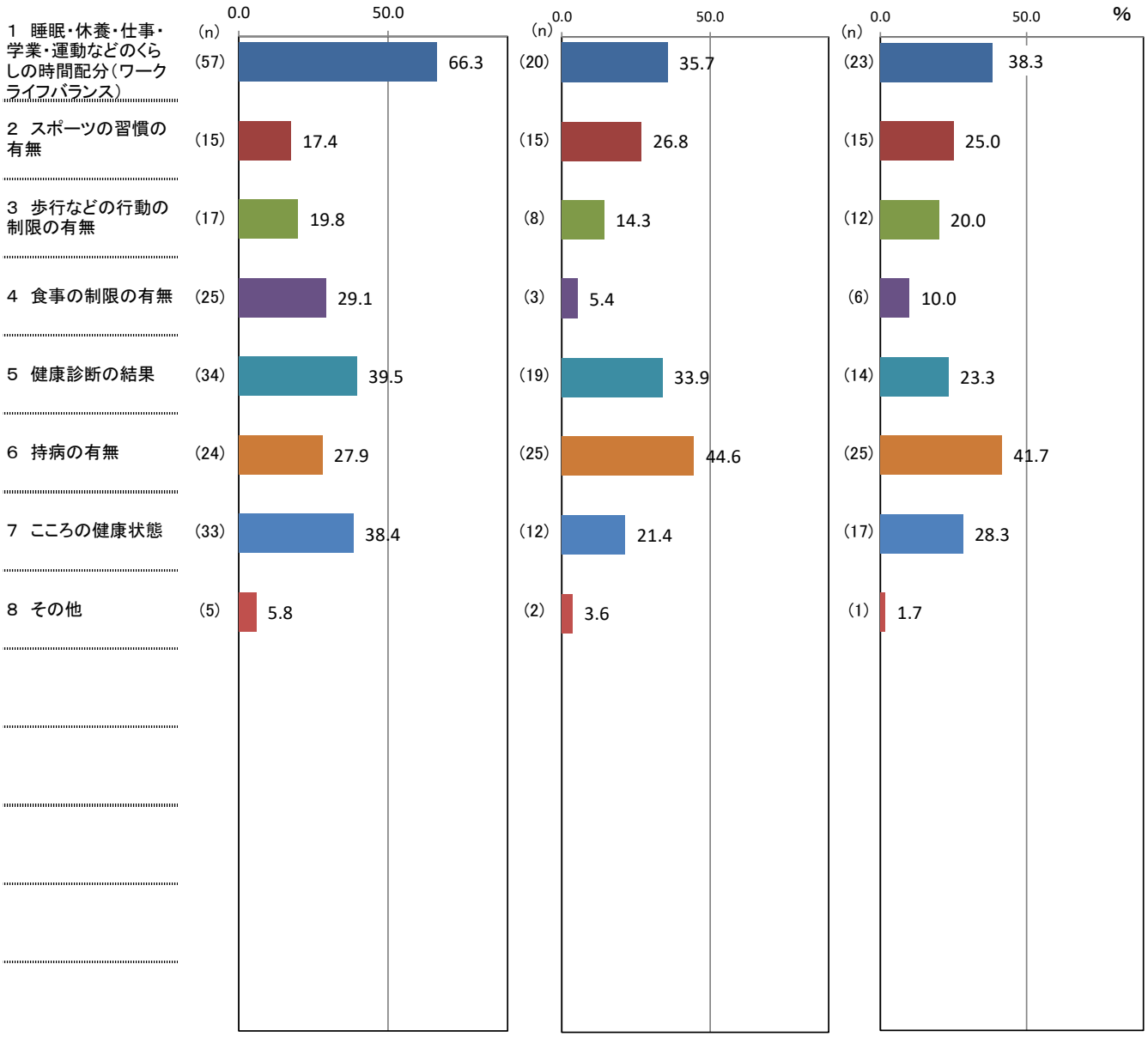
分野別実感の変化別

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「心身の健康（からだの健康）」（R5-R8）

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (210) 86 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (104) 56 人	③ 実感が低下した人 の回答 (113) 60 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス） (57)	6 持病の有無 (25)	6 持病の有無 (25)
2	5 健康診断の結果 (34)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス） (20)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス） (23)
3	7 こころの健康状態 (33)	5 健康診断の結果 (19)	7 こころの健康状態 (17)

（ ）内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1)-1　心身の健康（からだの健康）についての回答理由（問1-1（2）①「あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
① 実感が上昇した人		66.3	17.4	19.8	29.1	39.5	27.9	38.4	5.8
② 実感が横ばいの人		35.7	26.8	14.3	5.4	33.9	44.6	21.4	3.6
③ 実感が低下した人		38.3	25.0	20.0	10.0	23.3	41.7	28.3	1.7

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝86人）	210	57	15	17	25	34	24	33	5
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝56人）	104	20	15	8	3	19	25	12	2
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝60人）	113	23	15	12	6	14	25	17	1

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（86名中3名記載）
・筋力・体力　・持病があっても不自由なく暮らせている　・趣味の継続

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（56名中1名記載）
・子育てで忙しく問題があり治療が必要な歯医者に行けていない

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（60名中0名記載）

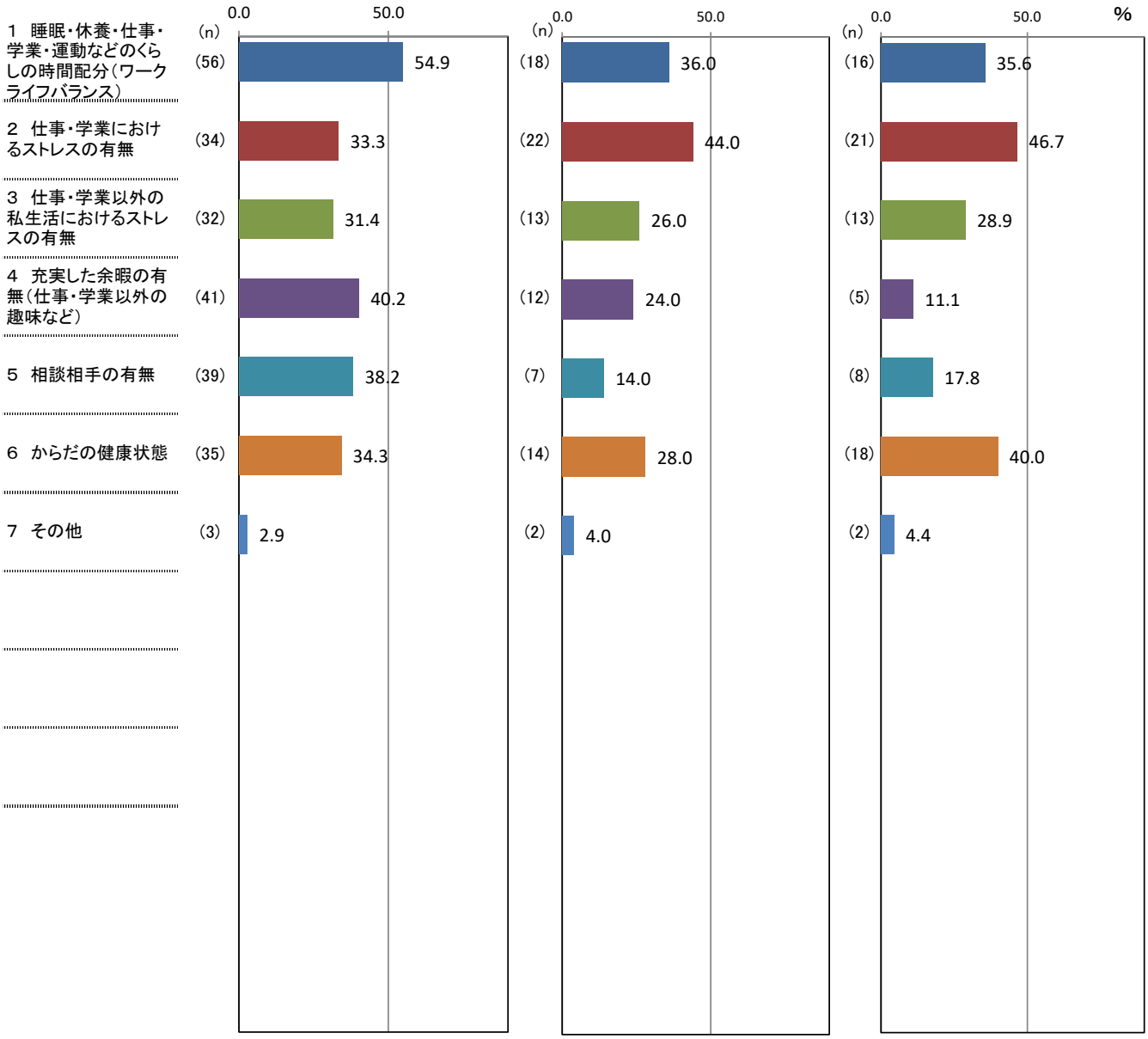
分野別実感の変化別

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「心身の健康（こころの健康）」（R5−R8）

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (240) 102 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (88) 50 人	③ 実感が低下した人 の回答 (83) 45 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス） (56)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (22)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (21)
2	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など） (41)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス） (18)	6 からだの健康状態 (18)
3	5 相談相手の有無 (39)	6 からだの健康状態 (14)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス） (16)

（ ）内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1)-2　心身の健康（こころの健康）についての回答理由（問1-1（1）-2①「あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
① 実感が上昇した人		54.9	33.3	31.4	40.2	38.2	34.3	2.9
② 実感が横ばいの人		36.0	44.0	26.0	24.0	14.0	28.0	4.0
③ 実感が低下した人		35.6	46.7	28.9	11.1	17.8	40.0	4.4

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝102人）	240	56	34	32	41	39	35	3
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝50人）	88	18	22	13	12	7	14	2
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝45人）	83	16	21	13	5	8	18	2

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（102名中2名記載）
・義母との関係。若い頃から折り合いが悪い　・一人暮らしだが孫の存在がありがたい

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（50名中2名記載）
・借金の支払いが残っているため　　・特に無し

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（45名中1名記載）
・・地域との交流、コミが極端に減少し、寂しい限りです

R5とR8の比較

分野別実感(2)「余暇の充実」の分布（R5とR8）　　（単位：人）

R5→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	未回答、未記入、複数回答	（計）
5 感じる	**42**	*37*	*10*	*6*	*4*	0	1	100
4 やや感じる	33	**123**	*46*	*31*	*7*	0	1	241
3 どちらともいえない	**10**	**35**	**43**	*25*	*7*	0	0	120
2 あまり感じない	**0**	**24**	**21**	**24**	7	0	1	77
1 感じない	**3**	**5**	**4**	**5**	**6**	0	0	23
0 わからない（該当しない）	1	0	0	1	1	0	0	3
未記入 複数回答	1	1	2	0	0	0	0	4
調査未回答	1	9	7	5	4	0	1	27
（計）	91	234	133	97	36	0	4	595

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　173 人
R5からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、R5調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　238 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　107 人
R5からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、R5調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

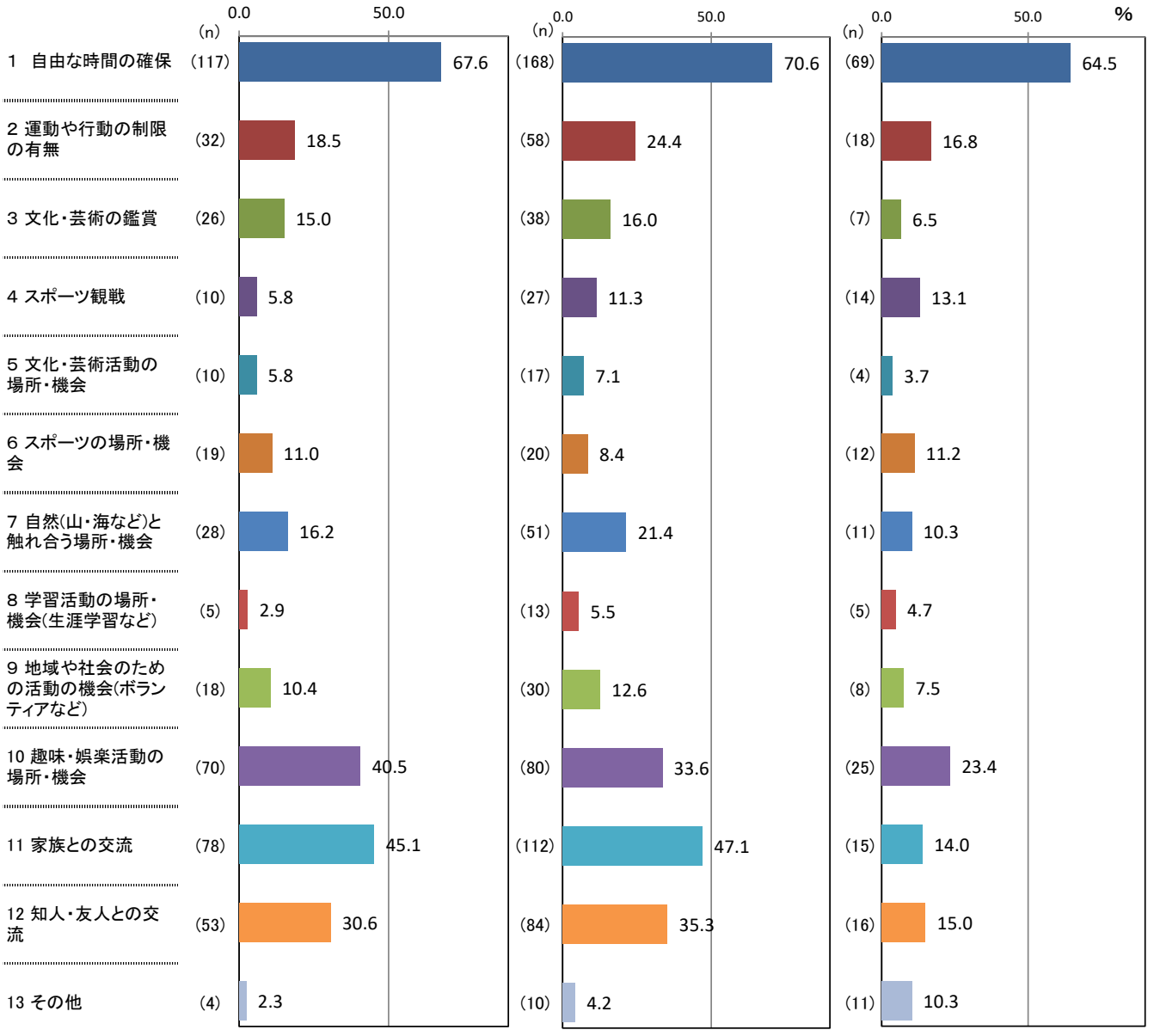
分野別実感の変化別

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」(R5-R8)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (470) 173 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (708) 238 人	③ 実感が低下した人 の回答 (215) 107 人
1	1 自由な時間の確保 (117)	1 自由な時間の確保 (168)	1 自由な時間の確保 (69)
2	11 家族との交流 (78)	11 家族との交流 (112)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (25)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (70)	12 知人・友人との交流 (84)	2 運動や行動の制限の有無 (18)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）①「あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 実感が上昇した人		67.6	18.5	15.0	5.8	5.8	11.0	16.2	2.9	10.4	40.5	45.1	30.6	2.3
② 実感が横ばいの人		70.6	24.4	16.0	11.3	7.1	8.4	21.4	5.5	12.6	33.6	47.1	35.3	4.2
③ 実感が低下した人		64.5	16.8	6.5	13.1	3.7	11.2	10.3	4.7	7.5	23.4	14.0	15.0	10.3

（件）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R7[2」は除く。 （サンプル数＝173人）	470	117	32	26	10	10	19	28	5	18	70	78	53	4
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝238人）	708	168	58	38	27	17	20	51	13	30	80	112	84	10
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R7[4」は除く。 （サンプル数＝107人）	215	69	18	7	14	4	12	11	5	8	25	15	16	11

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（173名中2名記載）
・お金の有無　・ペット

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（238名中6名記載）
・余暇活動特になし　・使えるお金の有無　・Net　・金銭的余裕　・外出する気力がない　・金銭面

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（107名中4名記載）
・親族の世話　・仕事の時間がほとんどで暇がない　・午睡・睡眠時間　・やりたいことなどあるが収入がすくなくて、がまんしていることもある

R5とR8の比較

分野別実感(3)「家族関係」の分布（R5とR8）　　（単位：人）

R5→ R8↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	未回答、未記入、複数回答	（計）
5 感じる	**141**	*52*	*7*	*2*	*1*	0	2	205
4 やや感じる	62	**119**	*29*	*7*	*2*	0	0	219
3 どちらともいえない	**12**	**33**	**32**	*5*	*2*	0	0	84
2 あまり感じない	**2**	**7**	**10**	**10**	2	0	0	31
1 感じない	**1**	**1**	**4**	**2**	**10**	0	0	18
0 わからない（該当しない）	1	2	2	0	0	4	0	9
未記入 複数回答	1	1	0	0	0	0	0	2
調査未回答	10	9	4	0	3	1	0	27
（計）	230	224	88	26	20	5	2	595

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　107 人
R5からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、R5調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　312 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　72 人
R5からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、R5調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

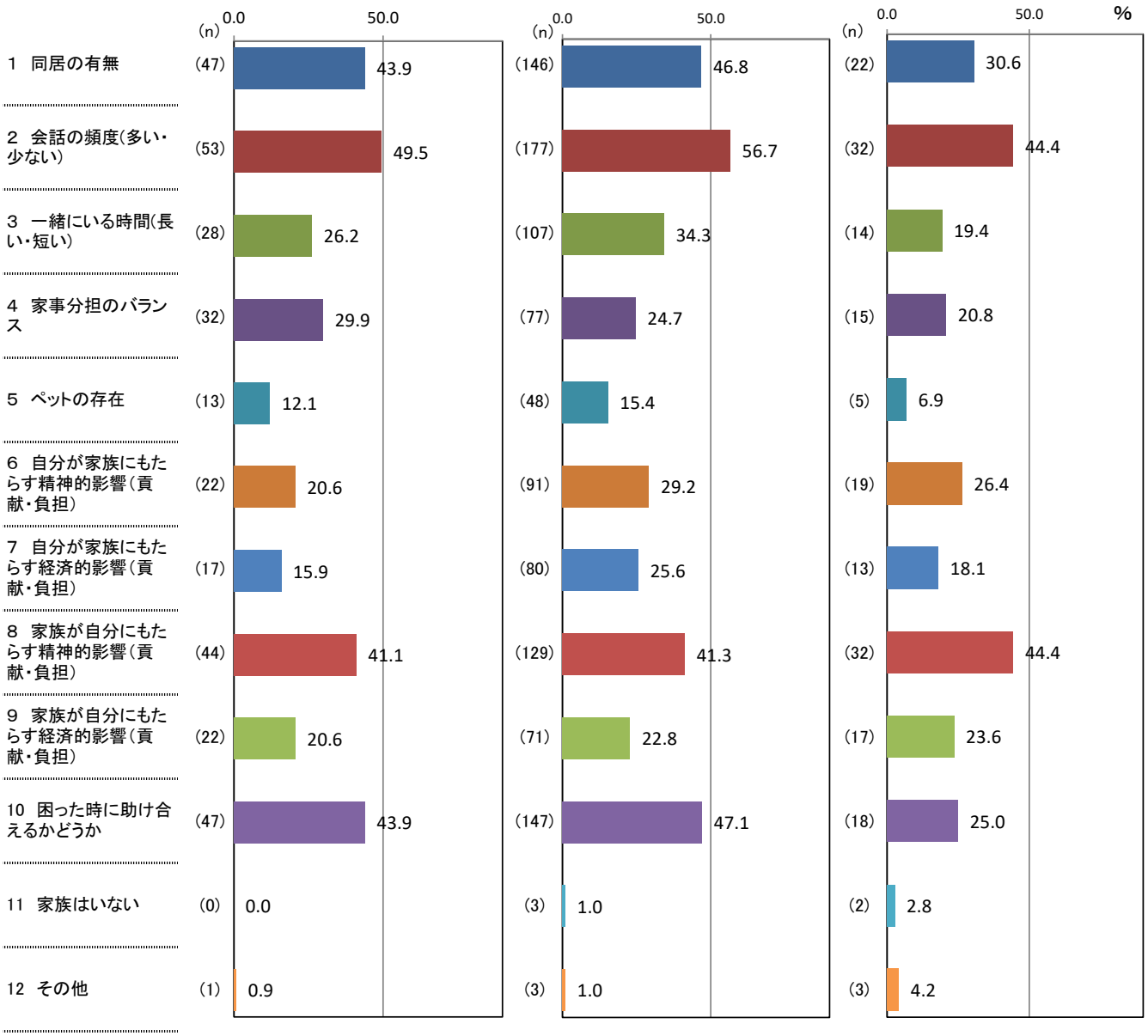
分野別実感の変化別

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「家族関係」(R5-R8)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (326) 107 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (1,079) 312 人	③ 実感が低下した人 の回答 (192) 72 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (53)	2 会話の頻度(多い・少ない) (177)	2 会話の頻度(多い・少ない) (32) 8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (32)
2	1 同居の有無 (47) 10 困った時に助け合えるかどうか (47)	10 困った時に助け合えるかどうか (147)	- -
3	- -	1 同居の有無 (146)	1 同居の有無 (22)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（3） 家族関係についての回答理由（問1-1(3)①「あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
① 実感が上昇した人		43.9	49.5	26.2	29.9	12.1	20.6	15.9	41.1	20.6	43.9	0.0	0.9
② 実感が横ばいの人		46.8	56.7	34.3	24.7	15.4	29.2	25.6	41.3	22.8	47.1	1.0	1.0
③ 実感が低下した人		30.6	44.4	19.4	20.8	6.9	26.4	18.1	44.4	23.6	25.0	2.8	4.2

（件）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝107人）	326	47	53	28	32	13	22	17	44	22	47	0	1
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝312人）	1,079	146	177	107	77	48	91	80	129	71	147	3	3
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝72人）	192	22	32	14	15	5	19	13	32	17	18	2	3

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（107名中1名記載）
・全員が健康でコミュニケーションが取れている

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（312名中0名記載）

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（72名中1名記載）
・不仲

R5とR8の比較

分野別実感(4)「子育て」の分布（R5とR8）　　（単位：人）

R5→ R8↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	未回答、未記入、複数回答	（計）
5 感じる	**9**	*8*	*3*	*1*	*1*	0	2	24
4 やや感じる	8	**42**	*24*	*5*	*2*	4	3	88
3 どちらともいえない	**0**	**33**	**57**	*17*	*3*	13	2	125
2 あまり感じない	**2**	**8**	**13**	**15**	8	6	0	52
1 感じない	**0**	**1**	**3**	**4**	**5**	2	0	15
0 わからない（該当しない）	7	16	42	18	8	144	8	243
未記入 複数回答	1	3	4	2	2	4	5	21
調査未回答	3	4	2	6	0	10	2	27
（計）	30	115	148	68	29	183	22	595

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　64 人
R5からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、R5調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　128 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　64 人
R5からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、R5調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

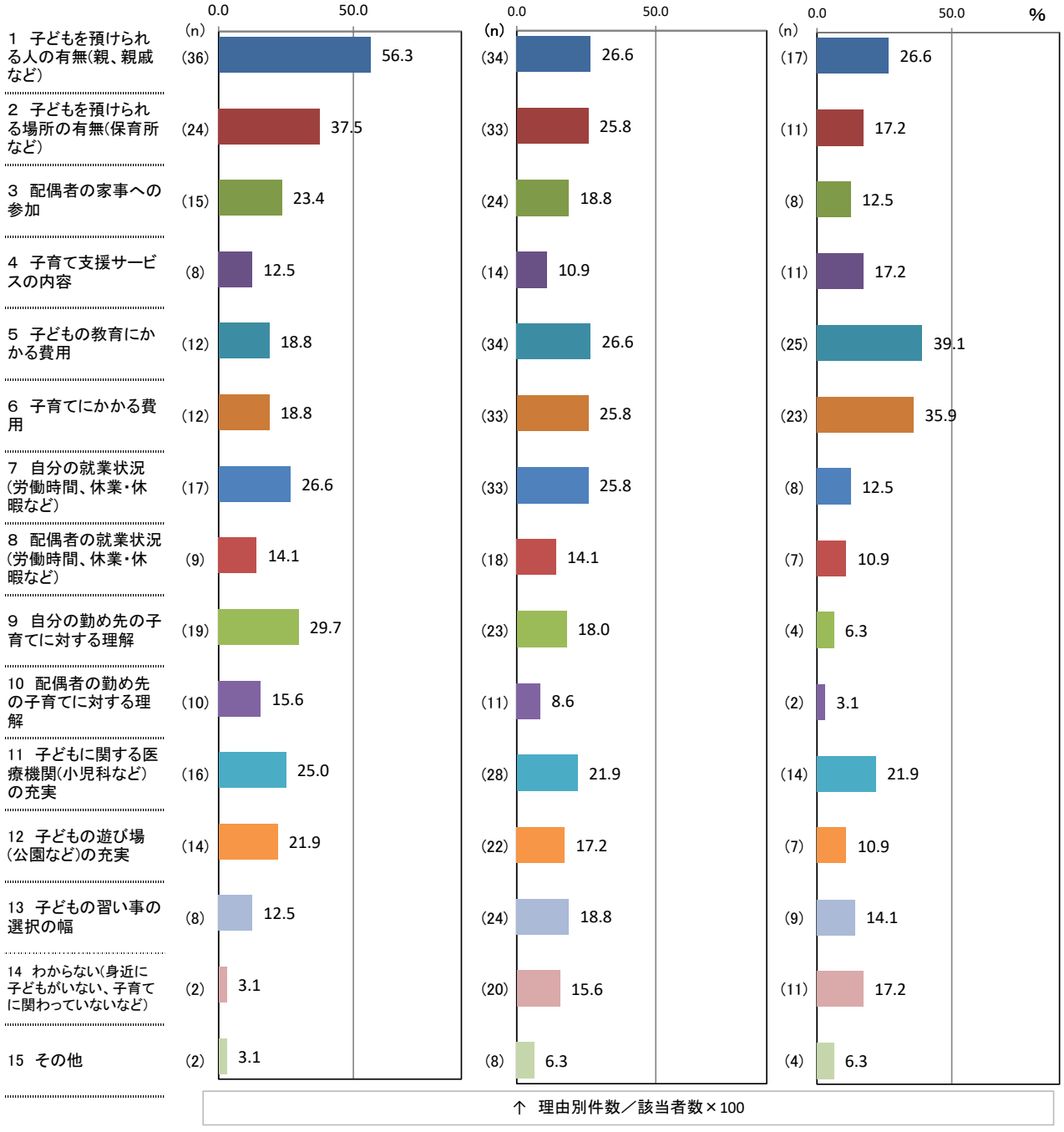
分野別実感の変化別

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「子育て」(R5-R8)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (204) 64 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (359) 128 人	③ 実感が低下した人 の回答 (161) 64 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (36)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (34) 5 子どもの教育にかかる費用 (34)	5 子どもの教育にかかる費用 (25)
2	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (24)	- -	6 子育てにかかる費用 (23)
3	9 自分の勤め先の子育てに対する理解 (19)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (33) 6 子育てにかかる費用 (33) 7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (33)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (17)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）①「あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
① 実感が上昇した人		56.3	37.5	23.4	12.5	18.8	18.8	26.6	14.1	29.7	15.6	25.0	21.9	12.5	3.1	3.1
② 実感が横ばいの人		26.6	25.8	18.8	10.9	26.6	25.8	25.8	14.1	18.0	8.6	21.9	17.2	18.8	15.6	6.3
③ 実感が低下した人		26.6	17.2	12.5	17.2	39.1	35.9	12.5	10.9	6.3	3.1	21.9	10.9	14.1	17.2	6.3

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝64人）	204	36	24	15	8	12	12	17	9	19	10	16	14	8	2	2
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝128人）	359	34	33	24	14	34	33	33	18	23	11	28	22	24	20	8
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝64人）	161	17	11	8	11	25	23	8	7	4	2	14	7	9	11	4

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（64名中1名記載）
・子育てが終了した。

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（128名中3名記載）
・地区により、支援の不公平　　・全てにおいて親の負担が多い。昔と比べて　　・子育て終了

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（64名中2名記載）
・孫2人の面倒を見ている立場　　・子供の遊び友達が周りに少ない

R5とR8の比較

分野別実感(5)「子どもの教育」の分布（R5とR8）　　（単位：人）

R5→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	未回答、未記入、複数回答	（計）
5 感じる	**11**	*13*	*2*	*0*	*0*	2	1	29
4 やや感じる	6	**45**	*30*	*7*	*1*	6	1	96
3 どちらともいえない	**2**	**30**	**53**	*19*	*5*	11	0	120
2 あまり感じない	**1**	**8**	**22**	**12**	5	5	0	53
1 感じない	**1**	**0**	**2**	**3**	**2**	1	0	9
0 わからない（該当しない）	6	21	38	18	11	140	9	243
未記入 複数回答	1	1	6	1	0	4	5	18
調査未回答	1	3	7	3	2	9	2	27
（計）	29	121	160	63	26	178	18	595

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　77 人
R5からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、R5調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　123 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　69 人
R5からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、R5調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

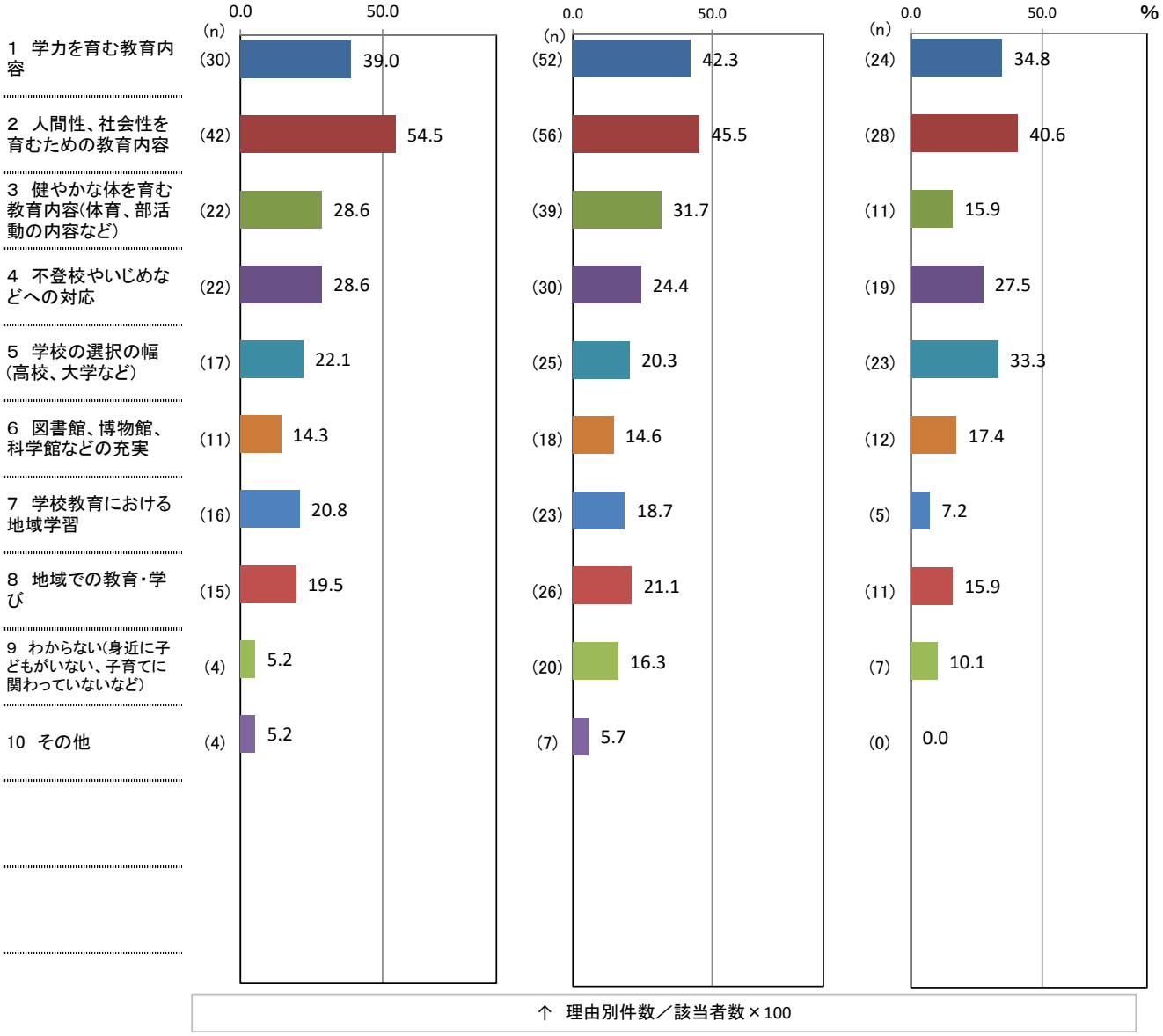
分野別実感の変化別

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」(R5-R8)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (183) 77 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (296) 123 人	③ 実感が低下した人 の回答 (140) 69 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (42)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (56)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (28)
2	1 学力を育む教育内容 (30)	1 学力を育む教育内容 (52)	1 学力を育む教育内容 (24)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (22) 4 不登校やいじめなどへの対応 (22)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (39)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (23)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（5） 子どもの教育についての回答理由（問1-1（5）①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 実感が上昇した人		39.0	54.5	28.6	28.6	22.1	14.3	20.8	19.5	5.2	5.2
② 実感が横ばいの人		42.3	45.5	31.7	24.4	20.3	14.6	18.7	21.1	16.3	5.7
③ 実感が低下した人		34.8	40.6	15.9	27.5	33.3	17.4	7.2	15.9	10.1	0.0

（件）

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝77人）	183	30	42	22	22	17	11	16	15	4	4
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝123人）	296	52	56	39	30	25	18	23	26	20	7
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝69人）	140	24	28	11	19	23	12	5	11	7	0

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（77名中2名記載）
・保育園　・未就学児なので学力はわからないが、保育園での教育は良いと思っている

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（123名中3名記載）
・保護者の関心　・タブレット・PC　・保育の役割、小学校入学前の検査(言葉)

③実感が低下した人の「その他」コメント（69名中0名記載）

R5とR8の比較

分野別実感(6)「住まいの快適さ」の分布（R5とR8）　（単位：人）

R5→ R8↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	未回答、未記入、複数回答	（計）
5 感じる	**67**	*50*	*3*	*1*	*3*	0	1	125
4 やや感じる	32	**132**	*30*	*20*	*3*	0	1	218
3 どちらともいえない	**11**	**32**	**51**	*24*	*3*	0	0	121
2 あまり感じない	**2**	**14**	**20**	**22**	4	0	1	63
1 感じない	**0**	**4**	**5**	**13**	**17**	0	0	39
0 わからない（該当しない）	0	0	0	0	0	0	0	0
未記入 複数回答	1	1	0	0	0	0	0	2
調査未回答	7	8	5	5	2	0	0	27
（計）	120	241	114	85	32	0	3	595

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　137 人
R5からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、R5調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　289 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　101 人
R5からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、R5調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

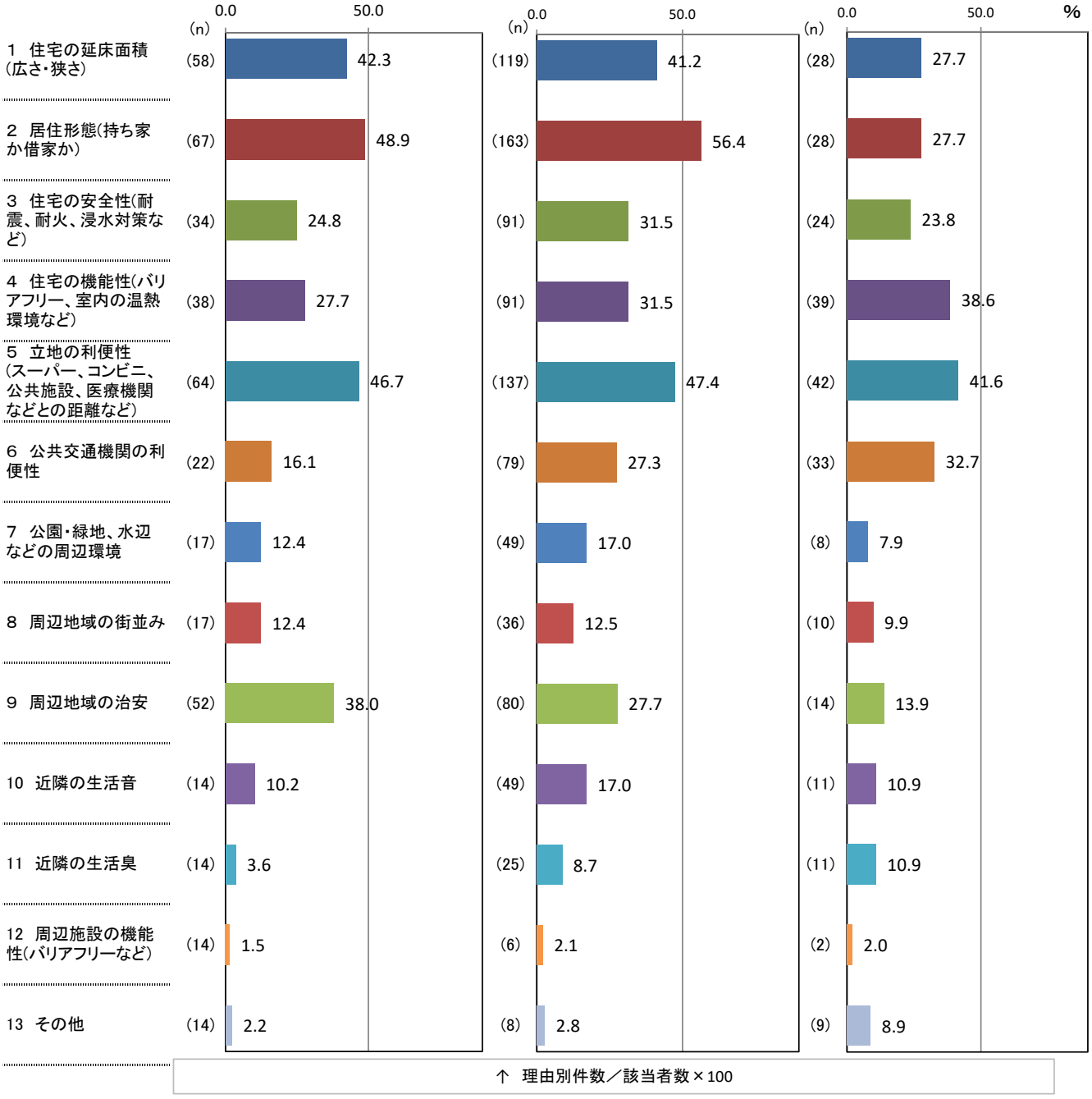
分野別実感の変化別

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「住まいの快適さ」(R5-R8)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (393) 137 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (933) 289 人	③ 実感が低下した人 の回答 (259) 101 人
1	2 居住形態(持ち家か借家か) (67)	2 居住形態(持ち家か借家か) (163)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) (42)
2	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) (64)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) (137)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) (39)
3	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ) (58)	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ) (119)	6 公共交通機関の利便性 (33)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（6） 住まいの快適さについての回答理由（問1-1（6）①「あなたはお住まいに快適さを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か借家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)	13 その他
① 実感が上昇した人		42.3	48.9	24.8	27.7	46.7	16.1	12.4	12.4	38.0	10.2	3.6	1.5	2.2
② 実感が横ばいの人		41.2	56.4	31.5	31.5	47.4	27.3	17.0	12.5	27.7	17.0	8.7	2.1	2.8
③ 実感が低下した人		27.7	27.7	23.8	38.6	41.6	32.7	7.9	9.9	13.9	10.9	10.9	2.0	8.9

（件）

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か借家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R8[2]」は除く。 （サンプル数＝137人）	393	58	67	34	38	64	22	17	17	52	14	5	2	3
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝289人）	933	119	163	91	91	137	79	49	36	80	49	25	6	8
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝101人）	259	28	28	24	39	42	33	8	10	14	11	11	2	9

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（137名中2名記載）
・近隣の付き合い　　・持ち家ではあるが、古い家屋で屋根から●●しつつある。

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（289名中6名記載）
・断熱　・住宅の気密性、断熱性能が低い　・津波警報発令時の避難　・冬期間の除雪が大変　・家族との住まいに対する考え方の差　・家庭環境

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（101名中6名記載）
・猫の糞・尿被害　・子どもがうまれ、成長につれて夫婦2人の生活の時より考えなければならないことがふえたから。危ないところをなくすようになど…　・築年数や設備　・雪かきが辛い　・隣人関係　・子供達の声が昔程聞こえない

R5とR8の比較

分野別実感(7)「地域社会とのつながり」の分布（R5とR8）　（単位：人）

R5→ R8↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	未回答、未記入、複数回答	（計）
5 感じる	**37**	*18*	*9*	*3*	*0*	0	1	68
4 やや感じる	27	**116**	*37*	*26*	*5*	1	1	213
3 どちらともいえない	**1**	**40**	**54**	*27*	*7*	4	0	133
2 あまり感じない	**3**	**12**	**27**	**46**	16	1	0	105
1 感じない	**1**	**4**	**4**	**12**	**13**	5	0	39
0 わからない（該当しない）	0	1	2	1	0	4	0	8
未記入 複数回答	0	0	0	0	0	2	0	2
調査未回答	5	5	7	3	5	1	1	27
（計）	74	196	140	118	46	18	3	595

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　132 人
R5からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、R5調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　266 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　104 人
R5からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、R5調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

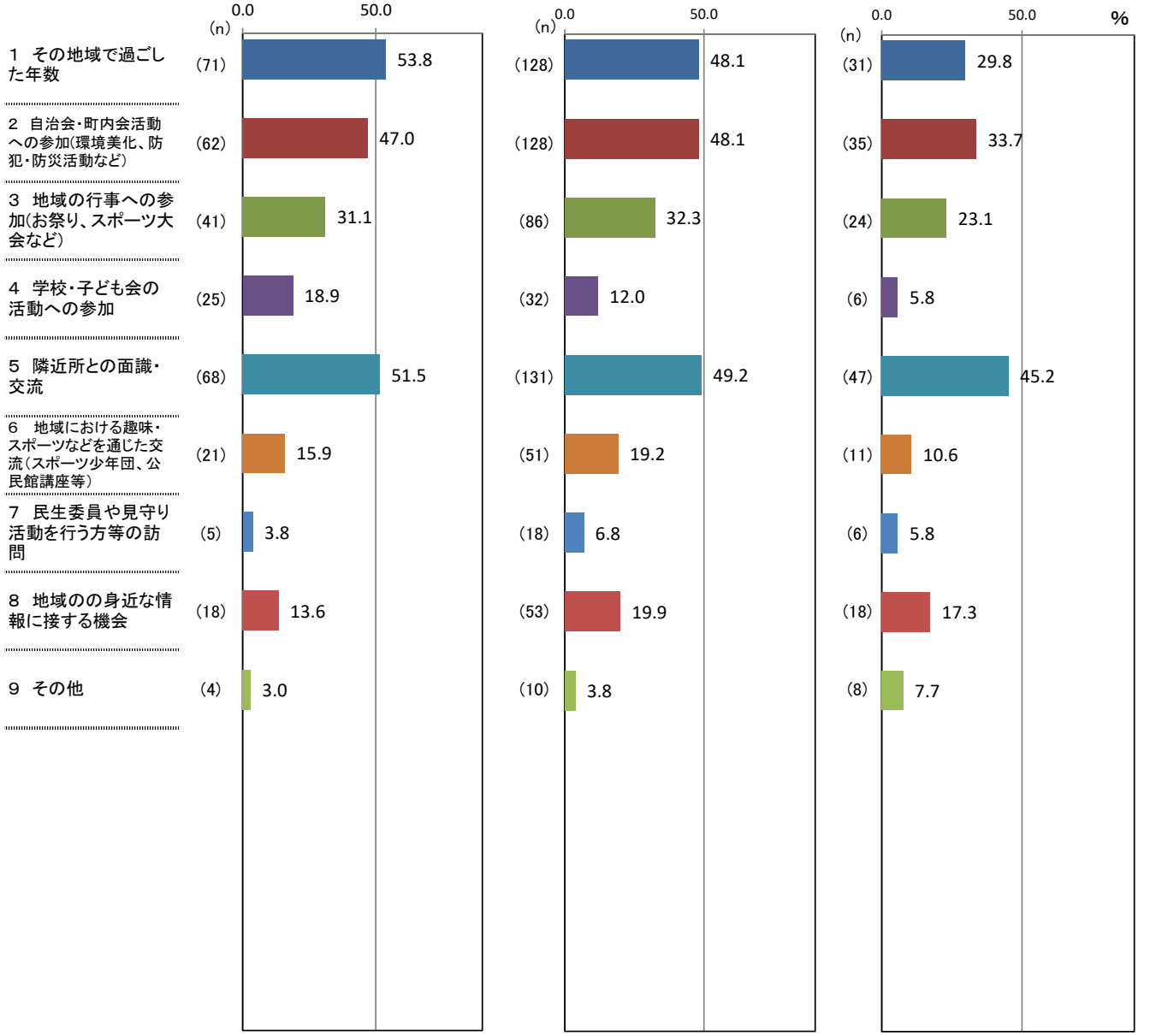
分野別実感の変化別

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「地域社会とのつながり」(R5-R8)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (315) 132 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (637) 266 人	③ 実感が低下した人 の回答 (186) 104 人
1	1 その地域で過ごした年数 (71)	5 隣近所との面識・交流 (131)	5 隣近所との面識・交流 (47)
2	5 隣近所との面識・交流 (68)	1 その地域で過ごした年数 (128) 2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (128)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (35)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (62)	- -	1 その地域で過ごした年数 (31)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）①「あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のス	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
① 実感が上昇した人		53.8	47.0	31.1	18.9	51.5	15.9	3.8	13.6	3.0
② 実感が横ばいの人		48.1	48.1	32.3	12.0	49.2	19.2	6.8	19.9	3.8
③ 実感が低下した人		29.8	33.7	23.1	5.8	45.2	10.6	5.8	17.3	7.7

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のス	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝132人）	315	71	62	41	25	68	21	5	18	4
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝266人）	637	128	128	86	32	131	51	18	53	10
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝104人）	186	31	35	24	6	47	11	6	18	8

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（132名中2名記載）
・一人住まいだとつながりの機会が少ない　・特になし

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（266名中8名記載）
・Netでの交流が中心になっている。　・自分達も地域の活動に参加している。　・高齢者　・消防団活動　・回覧板がこない。集合住宅のため。　・仕事上つながれなかった　・特になし
・地域性

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（104名中1名記載）
・最近は病院通いが多い

R5とR8の比較

分野別実感(8)「地域の安全」の分布（R5とR8）　　（単位：人）

R5→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	未回答、未記入、複数回答	（計）
5 感じる	**47**	*31*	*5*	*1*	*0*	0	2	86
4 やや感じる	61	**162**	*42*	*8*	*3*	3	1	280
3 どちらともいえない	**11**	**56**	**48**	*9*	*1*	3	1	129
2 あまり感じない	**3**	**17**	**12**	**8**	4	2	0	46
1 感じない	**3**	**1**	**4**	**2**	**6**	0	0	16
0 わからない（該当しない）	0	1	0	0	1	1	0	3
未記入 複数回答	0	4	1	2	0	0	1	8
調査未回答	6	13	4	4	0	0	0	27
（計）	131	285	116	34	15	9	5	595

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　100 人
R5からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、R5調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　271 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　109 人
R5からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、R5調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

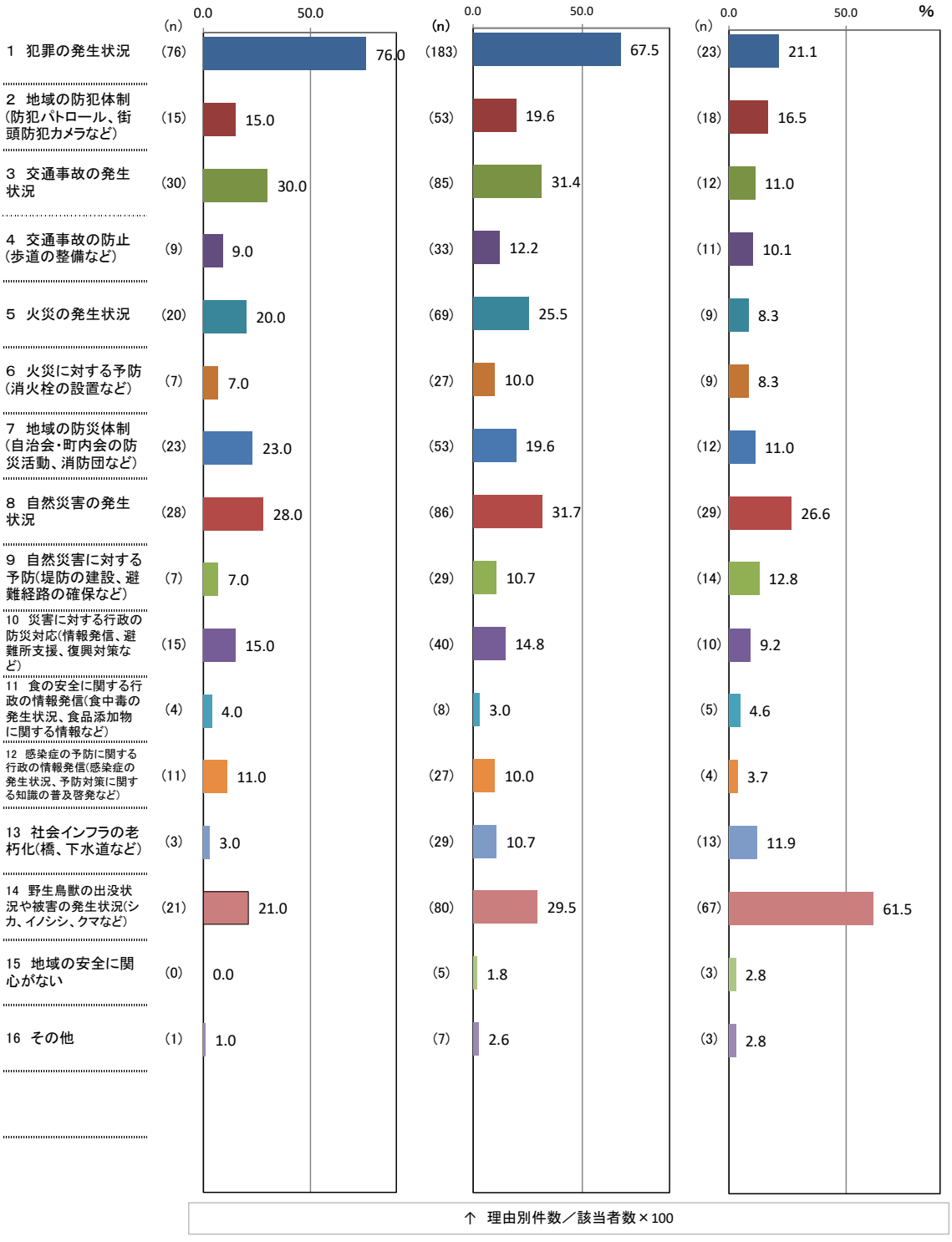
分野別実感の変化別

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「地域の安全」(R5-R8)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (270) 100 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (814) 271 人	③ 実感が低下した人 の回答 (242) 109 人
1	1 犯罪の発生状況 (76)	1 犯罪の発生状況 (183)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (67)
2	3 交通事故の発生状況 (30)	8 自然災害の発生状況 (86)	8 自然災害の発生状況 (29)
3	8 自然災害の発生状況 (28)	3 交通事故の発生状況 (85)	1 犯罪の発生状況 (23)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（8）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（8）①「あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
① 実感が上昇した人		76.0	15.0	30.0	9.0	20.0	7.0	23.0	28.0	7.0	15.0	4.0	11.0	3.0	21.0	0.0	1.0
② 実感が横ばいの人		67.5	19.6	31.4	12.2	25.5	10.0	19.6	31.7	10.7	14.8	3.0	10.0	10.7	29.5	1.8	2.6
③ 実感が低下した人		21.1	16.5	11.0	10.1	8.3	8.3	11.0	26.6	12.8	9.2	4.6	3.7	11.9	61.5	2.8	2.8

（件）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝100人）	270	76	15	30	9	20	7	23	28	7	15	4	11	3	21	0	1
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝271人）	814	183	53	85	33	69	27	53	86	29	40	8	27	29	80	5	7
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝109人）	242	23	18	12	11	9	9	12	29	14	10	5	4	13	67	3	3

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（100名中1名記載）
各種情報発信

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（271名中5名記載）
・1・3・5はどこで知れるのですか?　・熊の出没あり　・除雪が不充分　・ネコのフンで5年も被害にあってようやく解決した　・時代ごとに発生する物だと思う

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（109名中1名記載）
・近所に人格的に問題ある人がいる

R5とR8の比較

分野別実感(9)「仕事のやりがい」の分布（R5とR8）　（単位：人）

R5→ R8↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	未回答、未記入、複数回答	（計）
5 感じる	**54**	*30*	*11*	*4*	*0*	1	1	101
4 やや感じる	36	**102**	*32*	*8*	*4*	8	1	191
3 どちらともいえない	**11**	**20**	**40**	*8*	*6*	5	2	92
2 あまり感じない	**1**	**13**	**11**	**10**	7	3	0	45
1 感じない	**1**	**8**	**3**	**5**	**9**	3	1	30
0 わからない（該当しない）	9	13	15	4	6	46	4	97
未記入 複数回答	0	3	1	0	0	4	4	12
調査未回答	6	5	5	3	3	3	2	27
（計）	118	194	118	42	35	73	15	595

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　103 人
R5からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、R5調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　215 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　73 人
R5からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、R5調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

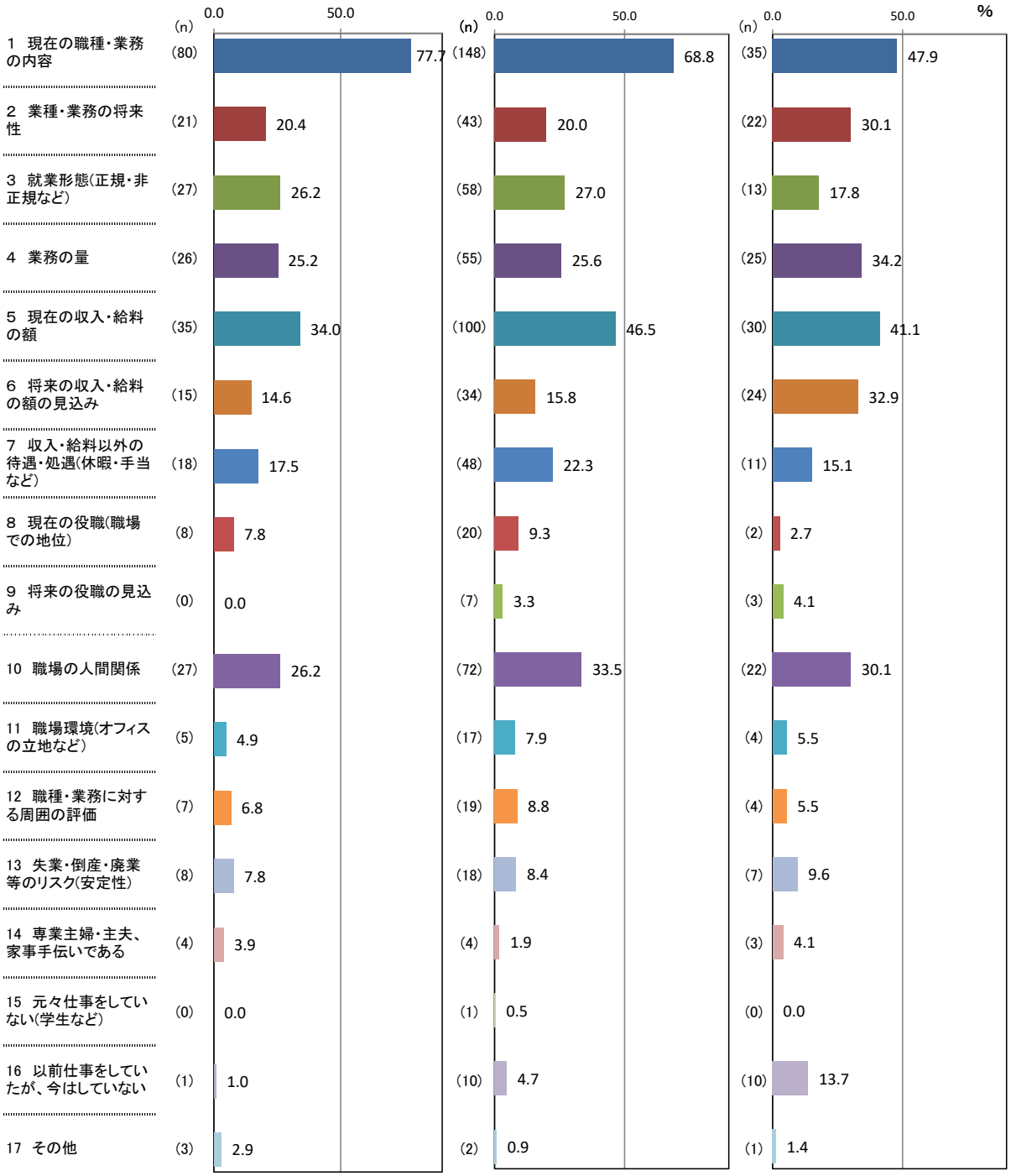
分野別実感の変化別

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「仕事のやりがい」(R5−R8)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (285) 103 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (656) 215 人	③ 実感が低下した人 の回答 (216) 73 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (80)	1 現在の職種・業務の内容 (148)	1 現在の職種・業務の内容 (35)
2	5 現在の収入・給料の額 (35)	5 現在の収入・給料の額 (100)	5 現在の収入・給料の額 (30)
3	3 就業形態(正規・非正規など) (27) 10 職場の人間関係 (27)	10 職場の人間関係 (72)	4 業務の量 (25)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9）「仕事のやりがい」についての回答理由（問1-1（9）①「あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
① 実感が上昇した人		77.7	20.4	26.2	25.2	34.0	14.6	17.5	7.8	0.0	26.2	4.9	6.8	7.8	3.9	0.0	1.0	2.9
② 実感が横ばいの人		68.8	20.0	27.0	25.6	46.5	15.8	22.3	9.3	3.3	33.5	7.9	8.8	8.4	1.9	0.5	4.7	0.9
③ 実感が低下した人		47.9	30.1	17.8	34.2	41.1	32.9	15.1	2.7	4.1	30.1	5.5	5.5	9.6	4.1	0.0	13.7	1.4

（件）

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝103人）	285	80	21	27	26	35	15	18	8	0	27	5	7	8	4	0	1	3
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝215人）	656	148	43	58	55	100	34	48	20	7	72	17	19	18	4	1	10	2
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝73人）	216	35	22	13	25	30	24	11	2	3	22	4	4	7	3	0	10	1

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（103名中0名記載）

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（215名中0名記載）

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（73名中0名記載）

R5とR8の比較

分野別実感(10)「必要な収入や所得」の分布（R5とR8）　　（単位：人）

R5→ R8↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	未回答、未記入、複数回答	（計）
5 感じる	**27**	*16*	*3*	*5*	*7*	0	2	60
4 やや感じる	24	**80**	*37*	*13*	*11*	4	2	171
3 どちらともいえない	**4**	**28**	**47**	*47*	*21*	2	0	149
2 あまり感じない	**3**	**12**	**23**	**34**	26	0	0	98
1 感じない	**0**	**1**	**9**	**22**	**46**	2	2	82
0 わからない（該当しない）	0	1	2	0	3	1	0	7
未記入 複数回答	0	0	1	0	0	0	0	1
調査未回答	2	4	5	7	7	1	1	27
（計）	60	142	127	128	121	10	7	595

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　160 人
R5からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、R5調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　234 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　102 人
R5からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、R5調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

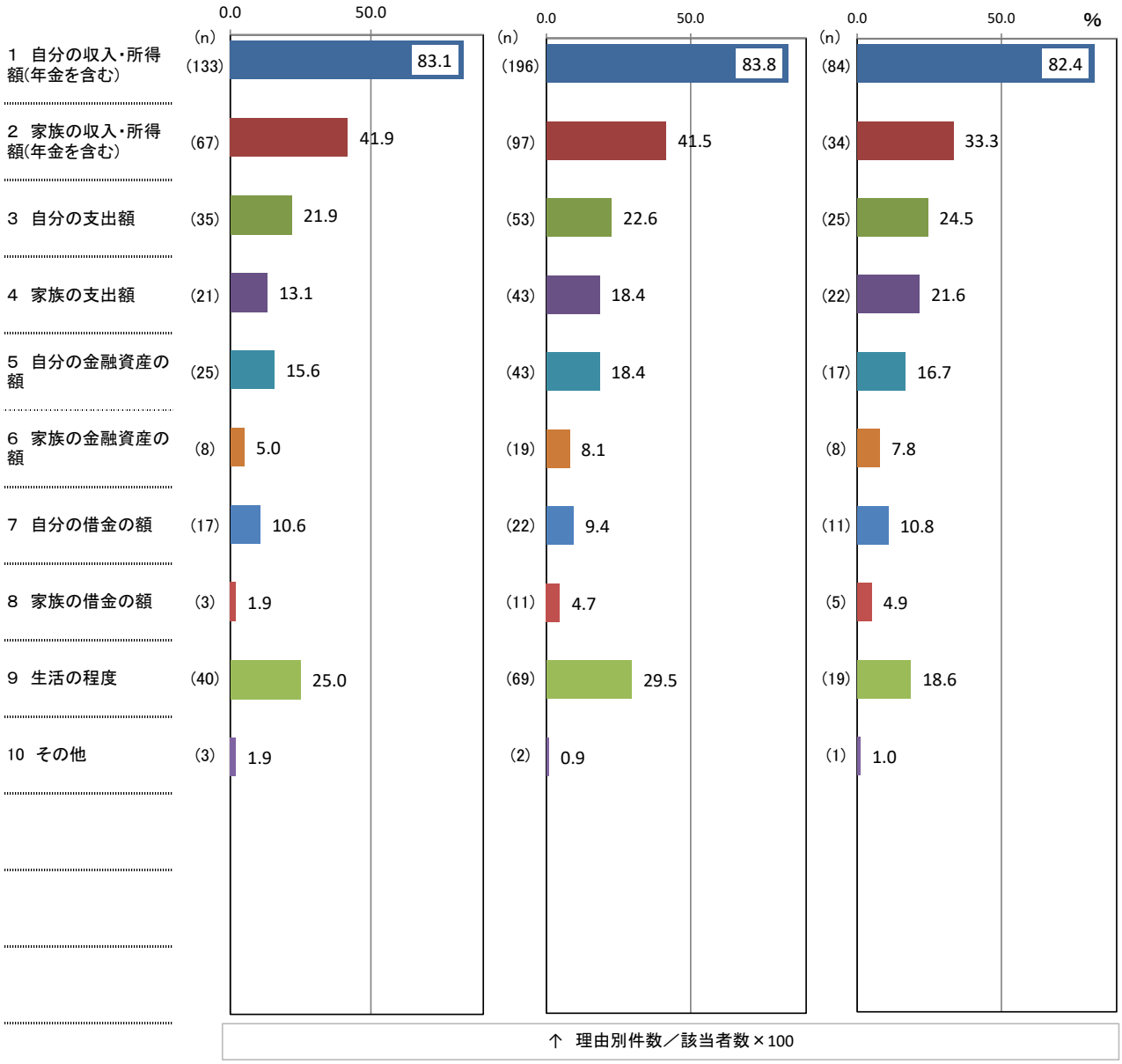
分野別実感の変化別

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」(R5-R8)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (352) 160 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (555) 234 人	③ 実感が低下した人 の回答 (226) 102 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (133)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (196)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (84)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (67)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (97)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (34)
3	9 生活の程度 (40)	9 生活の程度 (69)	3 自分の支出額 (25)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（10）「必要な収入や所得」についての回答理由（問1-1（10）①「あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人		83.1	41.9	21.9	13.1	15.6	5.0	10.6	1.9	25.0	1.9
② 実感が横ばいの人		83.8	41.5	22.6	18.4	18.4	8.1	9.4	4.7	29.5	0.9
③ 実感が低下した人		82.4	33.3	24.5	21.6	16.7	7.8	10.8	4.9	18.6	1.0

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝160人）	352	133	67	35	21	25	8	17	3	40	3
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝234人）	555	196	97	53	43	43	19	22	11	69	2
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝102人）	226	84	34	25	22	17	8	11	5	19	1

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（160名中0名記載）

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（234名中1名記載）
・家が買えない。マイホーム。

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（102名中0名記載）

R5とR8の比較

分野別実感(11)「歴史・文化への誇り」の分布（R5とR8）　（単位：人）

R5→ R8↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	未回答、未記入、複数回答	（計）
5 感じる	**30**	*24*	*3*	*0*	*0*	2	1	60
4 やや感じる	26	**133**	*41*	*11*	*8*	3	1	223
3 どちらともいえない	**8**	**35**	**61**	*35*	*5*	9	0	153
2 あまり感じない	**1**	**15**	**21**	**24**	9	2	0	72
1 感じない	**2**	**1**	**6**	**10**	**8**	6	0	33
0 わからない（該当しない）	1	0	4	5	4	7	0	21
未記入 複数回答	0	2	3	0	1	0	0	6
調査未回答	4	6	7	4	3	1	2	27
（計）	72	216	146	89	38	30	4	595

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　127 人
R5からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、R5調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　256 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　99 人
R5からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、R5調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

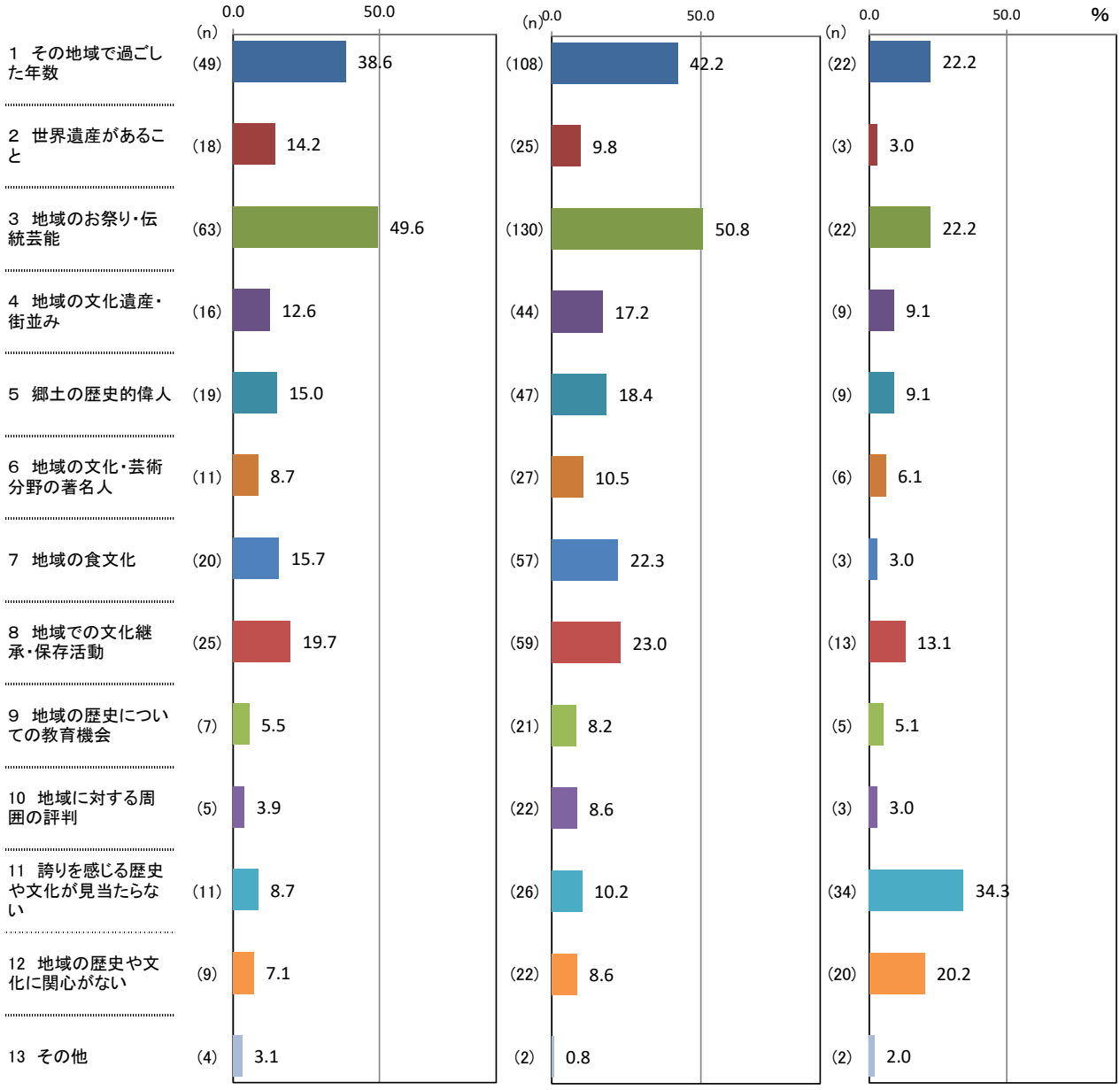
分野別実感の変化別

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」（R5-R8）

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (257) 127 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (590) 256 人	③ 実感が低下した人 の回答 (151) 99 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (63)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (130)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (34)
2	1 その地域で過ごした年数 (49)	1 その地域で過ごした年数 (108)	1 その地域で過ごした年数 (22) 3 地域のお祭り・伝統芸能 (22)
3	8 地域での文化継承・保存活動 (25)	8 地域での文化継承・保存活動 (59)	－ －

（ ）内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）①「あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 実感が上昇した人		38.6	14.2	49.6	12.6	15.0	8.7	15.7	19.7	5.5	3.9	8.7	7.1	3.1
② 実感が横ばいの人		42.2	9.8	50.8	17.2	18.4	10.5	22.3	23.0	8.2	8.6	10.2	8.6	0.8
③ 実感が低下した人		22.2	3.0	22.2	9.1	9.1	6.1	3.0	13.1	5.1	3.0	34.3	20.2	2.0

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝127人）	257	49	18	63	16	19	11	20	25	7	5	11	9	4
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝256人）	590	108	25	130	44	47	27	57	59	21	22	26	22	2
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝99人）	151	22	3	22	9	9	6	3	13	5	3	34	20	2

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（127名中1名記載）
・あまりわからない

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（256名中1名記載）
・伝統に忠実に取り組んでいる姿勢が良く出ている部分とあまりにも”神”とかに拘る面を出してしまう一部の方が居て、多くの村民が祭り気分を害してしまう様子が見受けられる

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（99名中0名記載）

R5とR8の比較

分野別実感(12)「自然のゆたかさ」の分布（R5とR8）　　（単位：人）

R5→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	未回答、未記入、複数回答	（計）
5 感じる	**186**	*50*	*6*	*0*	*1*	0	1	244
4 やや感じる	88	**145**	*8*	*4*	*2*	1	1	249
3 どちらともいえない	**9**	**17**	**20**	*4*	*2*	1	1	54
2 あまり感じない	**2**	**5**	**5**	**0**	3	0	0	15
1 感じない	**0**	**3**	**1**	**0**	**0**	0	0	4
0 わからない（該当しない）	2	0	0	0	0	0	0	2
未記入 複数回答	0	0	0	0	0	0	0	0
調査未回答	9	11	3	3	1	0	0	27
（計）	296	231	43	11	9	2	3	595

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　77 人
R5からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、R5調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　351 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　42 人
R5からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、R5調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

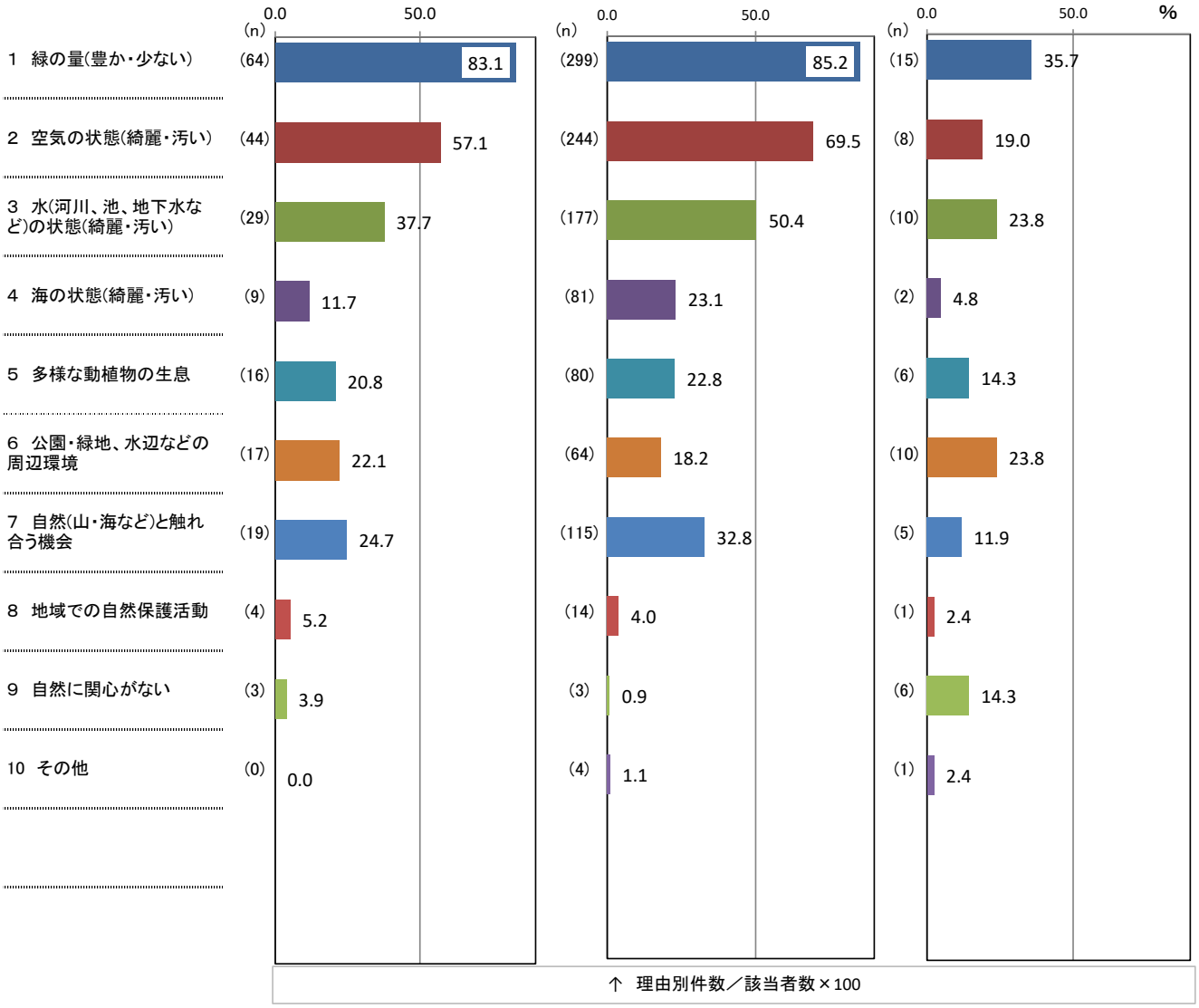
分野別実感の変化別

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「自然のゆたかさ」(R5-R8)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (205) 77 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (1,081) 351 人	③ 実感が低下した人 の回答 (64) 42 人
1	1 緑の量(豊か・少ない) (64)	1 緑の量(豊か・少ない) (299)	1 緑の量(豊か・少ない) (15)
2	2 空気の状態(綺麗・汚い) (44)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (244)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (10) 6 公園・緑地、水辺などの周辺環境 (10)
3	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (29)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (177)	- -

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（12）「自然のゆたかさ」についての回答理由（問1-1（12）①「あなたは自然に恵まれていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
① 実感が上昇した人		83.1	57.1	37.7	11.7	20.8	22.1	24.7	5.2	3.9	0.0
② 実感が横ばいの人		85.2	69.5	50.4	23.1	22.8	18.2	32.8	4.0	0.9	1.1
③ 実感が低下した人		35.7	19.0	23.8	4.8	14.3	23.8	11.9	2.4	14.3	2.4

（件）

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝77人）	205	64	44	29	9	16	17	19	4	3	0
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝351人）	1,081	299	244	177	81	80	64	115	14	3	4
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝42人）	64	15	8	10	2	6	10	5	1	6	1

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（77名中0名記載）

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（351名中1名記載）
・クマが出る

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（42名中1名記載）
・外出が困難なので自然にふれる機会がない

【補足調査】有意差が見られた属性の回答（基準年比較）

＜実感が上昇した分野＞

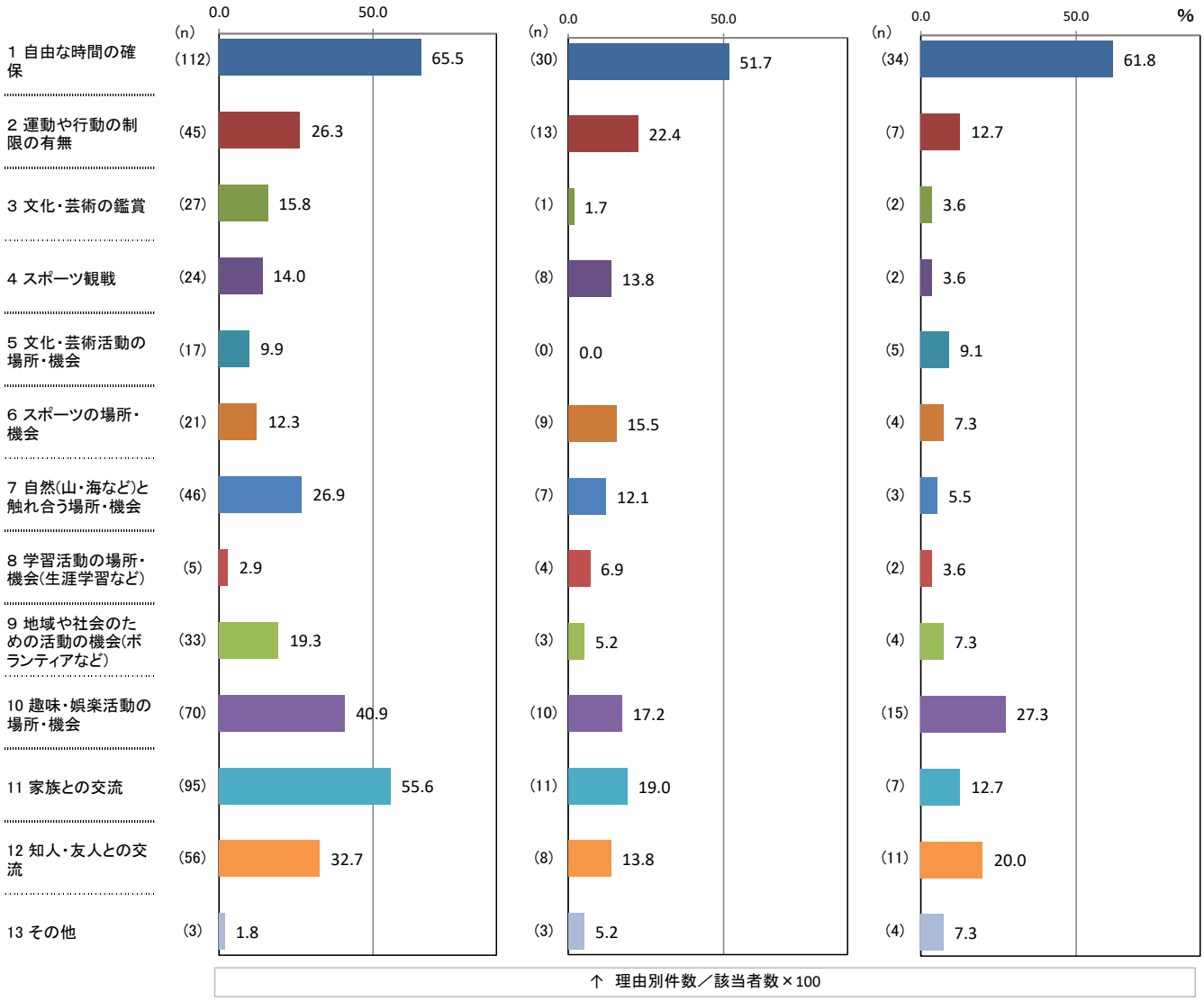
県民意識調査で有意な差が見られた属性（R5 － R8）

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜男性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (554) 171 人	②「どちらともいえない」の回答 (107) 58 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (100) 55 人
1	1 自由な時間の確保 (112)	1 自由な時間の確保 (30)	1 自由な時間の確保 (34)
2	11 家族との交流 (95)	2 運動や行動の制限の有無 (13)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (15)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (70)	11 家族との交流 (11)	12 知人・友人との交流 (11)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜男性＞

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		65.5	26.3	15.8	14.0	9.9	12.3	26.9	2.9	19.3	40.9	55.6	32.7	1.8
②「どちらともいえない」		51.7	22.4	1.7	13.8	0.0	15.5	12.1	6.9	5.2	17.2	19.0	13.8	5.2
③「あまり感じない・感じない」		61.8	12.7	3.6	3.6	9.1	7.3	5.5	3.6	7.3	27.3	12.7	20.0	7.3

（件）

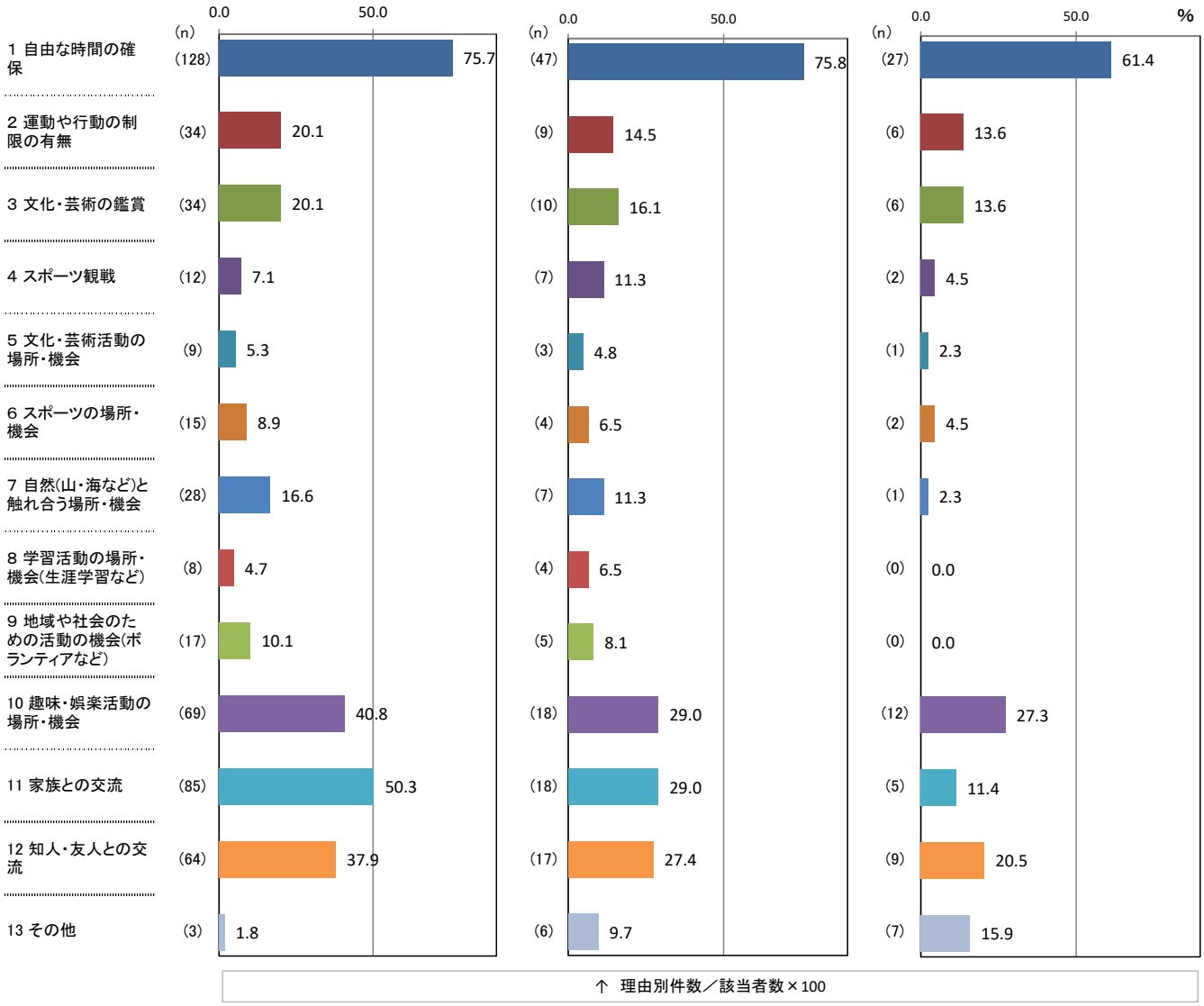
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝171人）	554	112	45	27	24	17	21	46	5	33	70	95	56	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝58人）	107	30	13	1	8	0	9	7	4	3	10	11	8	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝55人）	100	34	7	2	2	5	4	3	2	4	15	7	11	4

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (506) 169 人	②「どちらともいえない」の回答 (155) 62 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (78) 44 人
1	1 自由な時間の確保 (128)	1 自由な時間の確保 (47)	1 自由な時間の確保 (27)
2	11 家族との交流 (85)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (18) 11 家族との交流 (18)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (12)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (69)	－ －	12 知人・友人との交流 (9)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜女性＞

（%）

	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		75.7	20.1	20.1	7.1	5.3	8.9	16.6	4.7	10.1	40.8	50.3	37.9	1.8
②「どちらともいえない」		75.8	14.5	16.1	11.3	4.8	6.5	11.3	6.5	8.1	29.0	29.0	27.4	9.7
③「あまり感じない・感じない」		61.4	13.6	13.6	4.5	2.3	4.5	2.3	0.0	0.0	27.3	11.4	20.5	15.9

（件）

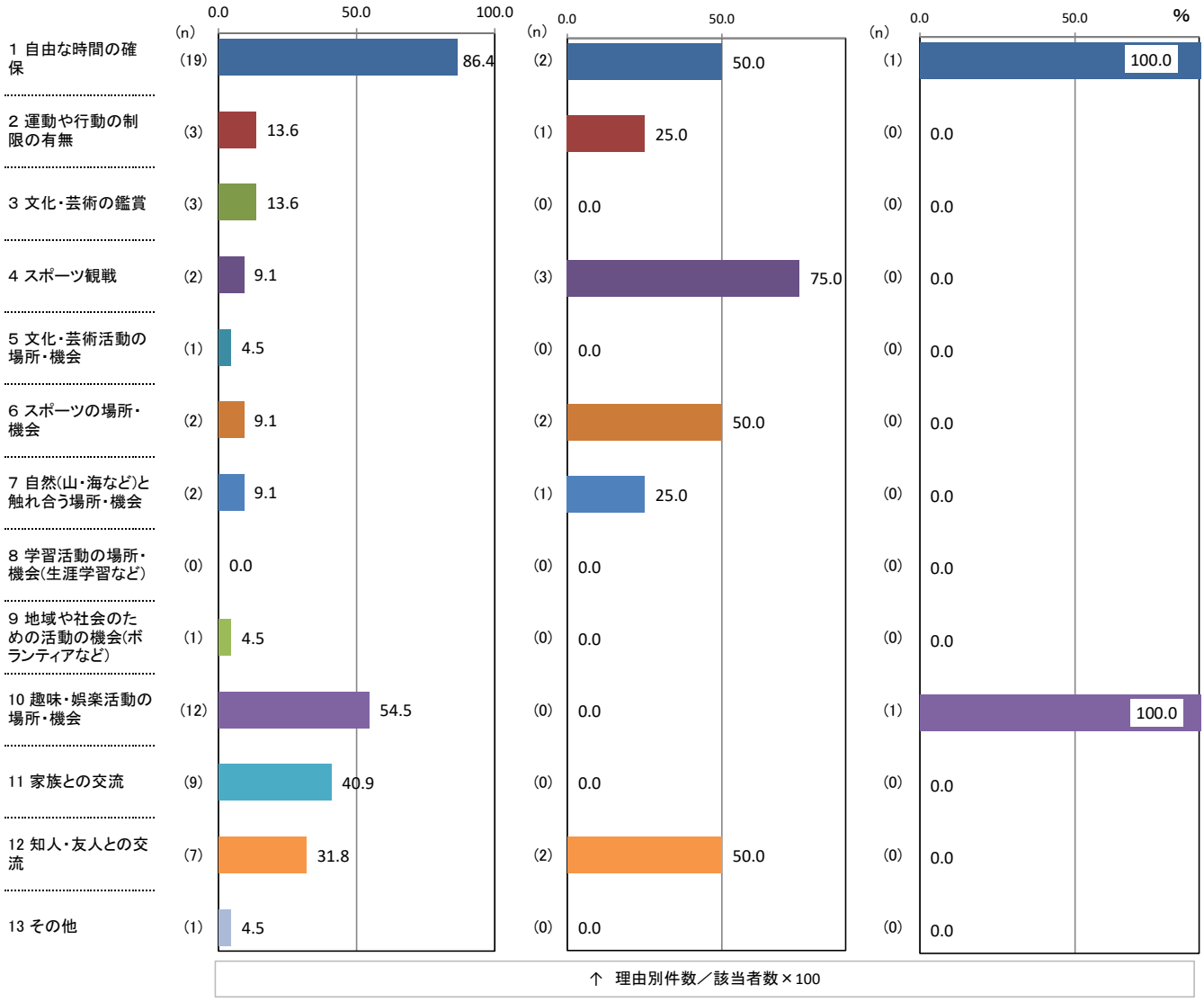
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝169人）	506	128	34	34	12	9	15	28	8	17	69	85	64	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝62人）	155	47	9	10	7	3	4	7	4	5	18	18	17	6
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝44人）	78	27	6	6	2	1	2	1	0	0	12	5	9	7

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜20～29歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (62) 22 人	②「どちらともいえない」の回答 (11) 4 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (2) 1 人
1	1 自由な時間の確保 (19)	4 スポーツ観戦 (3)	1 自由な時間の確保 (1) 10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (1)
2	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (12)	1 自由な時間の確保 (2) 6 スポーツの場所・機会 (2) 12 知人・友人との交流 (2)	－
3	11 家族との交流 (9)	－	－

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜20～29歳＞ （%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		86.4	13.6	13.6	9.1	4.5	9.1	9.1	0.0	4.5	54.5	40.9	31.8	4.5
②「どちらともいえない」		50.0	25.0	0.0	75.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

（件）

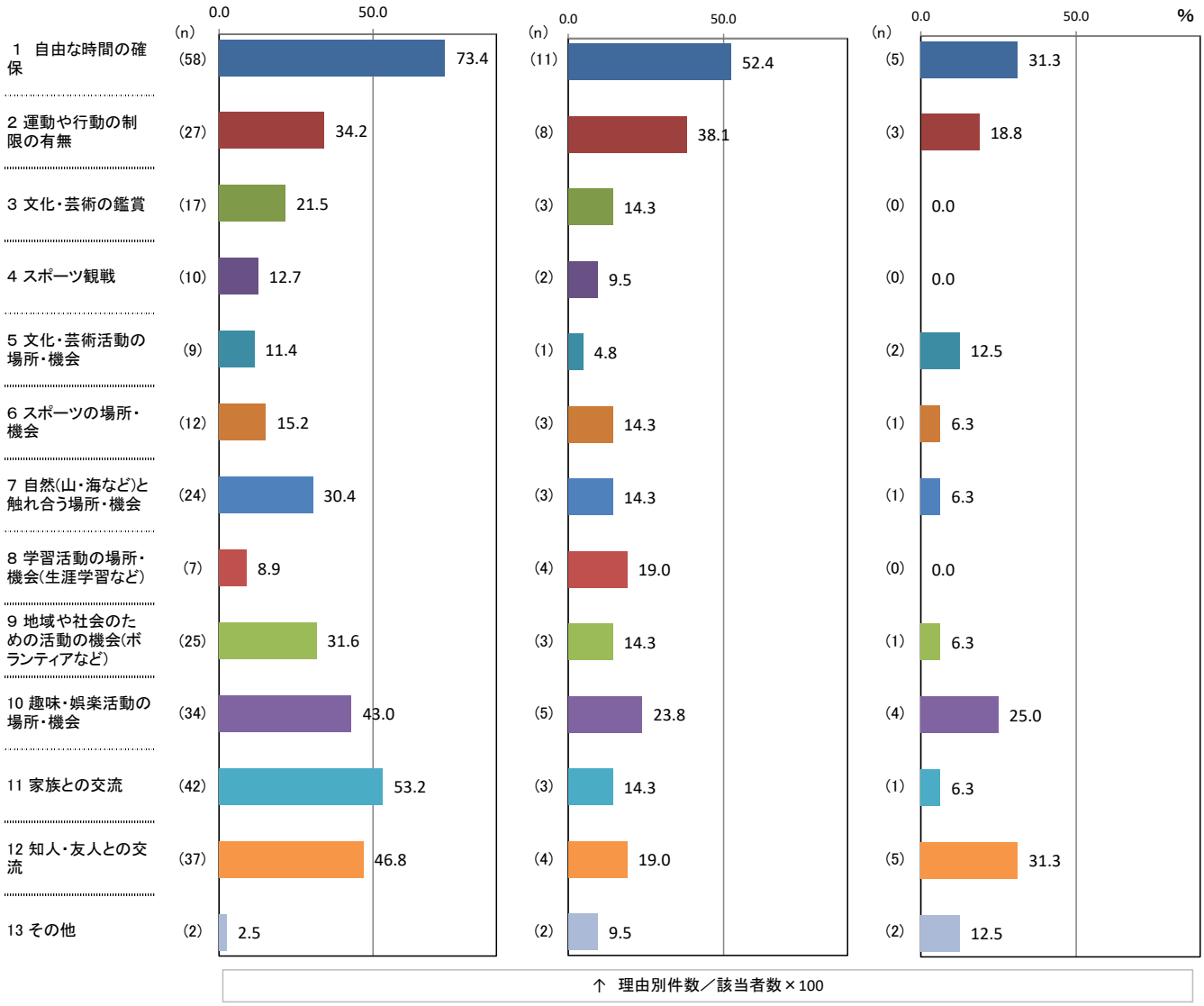
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝22人）	62	19	3	3	2	1	2	2	0	1	12	9	7	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝4人）	11	2	1	0	3	0	2	1	0	0	0	0	2	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝1人）	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜70歳以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (304) 79 人	②「どちらともいえない」の回答 (52) 21 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (25) 16 人
1	1 自由な時間の確保 (58)	1 自由な時間の確保 (11)	1 自由な時間の確保 (5) 12 知人・友人との交流 (5)
2	11 家族との交流 (42)	2 運動や行動の制限の有無 (8)	– –
3	12 知人・友人との交流 (37)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (5)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (4)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜70歳以上＞

（%）

	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		73.4	34.2	21.5	12.7	11.4	15.2	30.4	8.9	31.6	43.0	53.2	46.8	2.5
②「どちらともいえない」		52.4	38.1	14.3	9.5	4.8	14.3	14.3	19.0	14.3	23.8	14.3	19.0	9.5
③「あまり感じない・感じない」		31.3	18.8	0.0	0.0	12.5	6.3	6.3	0.0	6.3	25.0	6.3	31.3	12.5

（件）

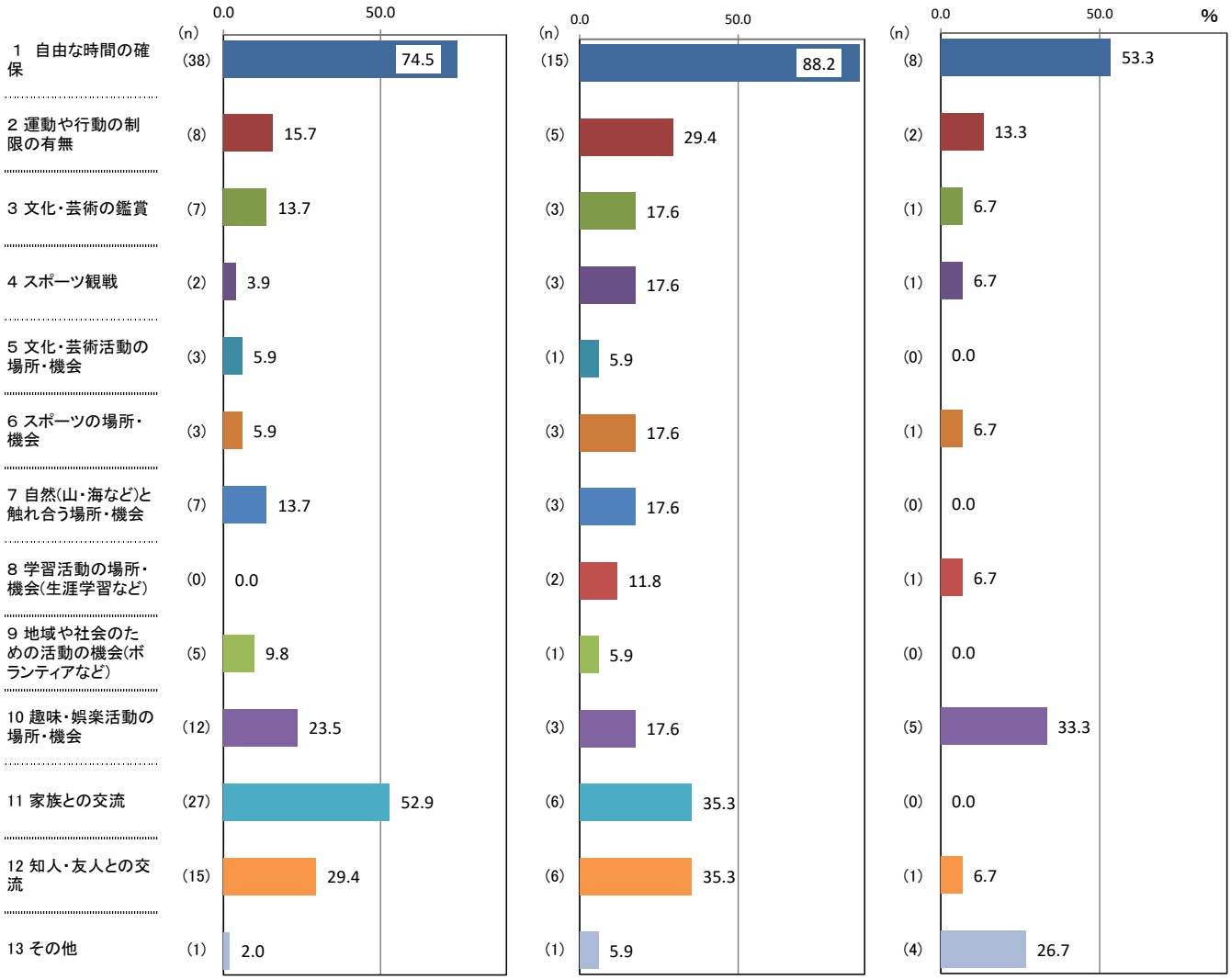
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝79人）	304	58	27	17	10	9	12	24	7	25	34	42	37	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝21人）	52	11	8	3	2	1	3	3	4	3	5	3	4	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝16人）	25	5	3	0	0	2	1	1	0	1	4	1	5	2

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜臨時雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (128) 51 人	②「どちらともいえない」の回答 (52) 17 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (24) 15 人
1	1 自由な時間の確保 (38)	1 自由な時間の確保 (15)	1 自由な時間の確保 (8)
2	11 家族との交流 (27)	11 家族との交流 (6) 12 知人・友人との交流 (6)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (5)
3	12 知人・友人との交流 (15)	－ －	13 その他 (4)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜臨時雇用者＞

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		74.5	15.7	13.7	3.9	5.9	5.9	13.7	0.0	9.8	23.5	52.9	29.4	2.0
②「どちらともいえない」		88.2	29.4	17.6	17.6	5.9	17.6	17.6	11.8	5.9	17.6	35.3	35.3	5.9
③「あまり感じない・感じない」		53.3	13.3	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	33.3	0.0	6.7	26.7

（件）

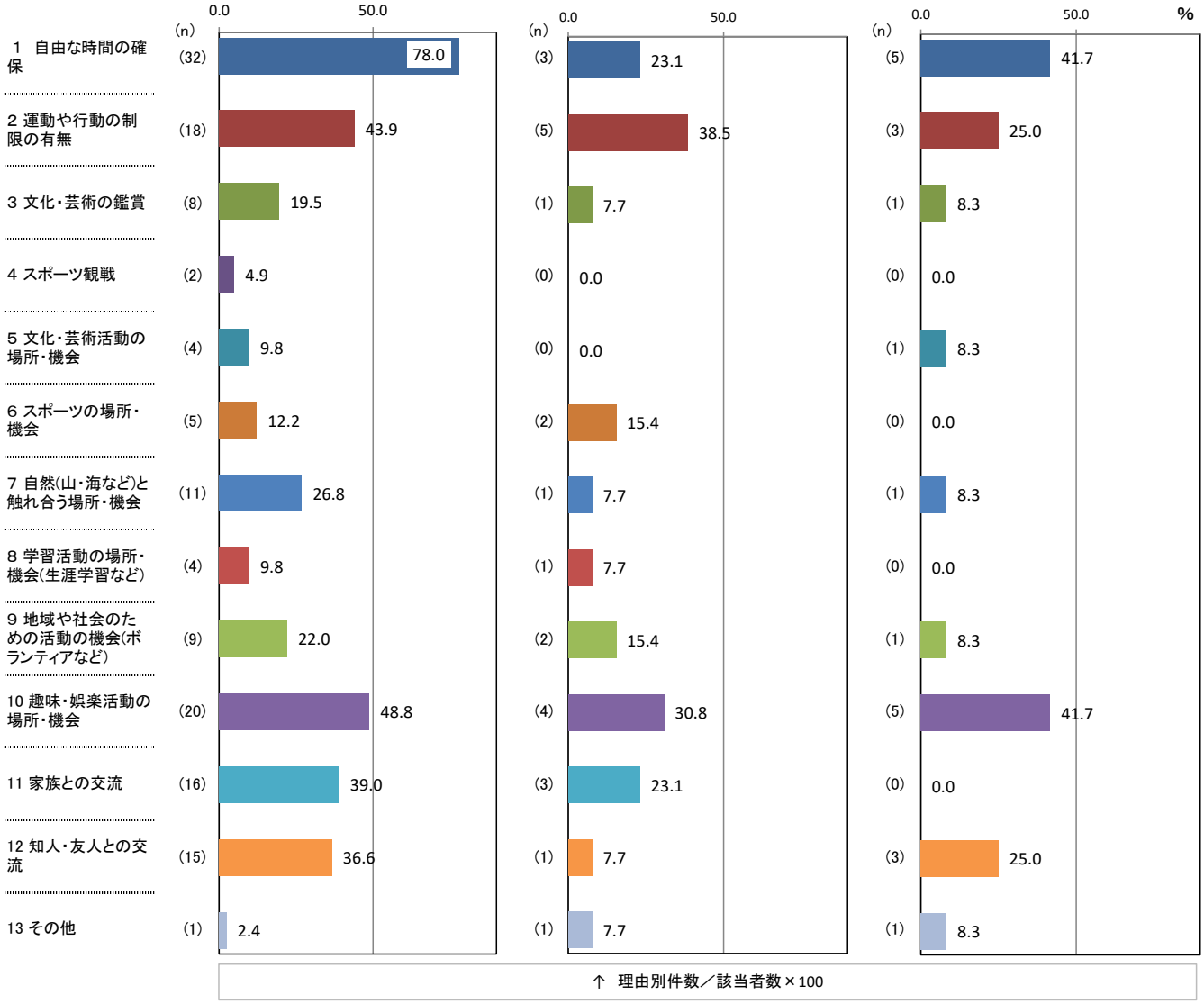
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝51人）	128	38	8	7	2	3	3	7	0	5	12	27	15	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝17人）	52	15	5	3	3	1	3	3	2	1	3	6	6	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝15人）	24	8	2	1	1	0	1	0	1	0	5	0	1	4

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜60歳以上の無職＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (145) 41 人	②「どちらともいえない」の回答 (24) 13 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (21) 12 人
1	1 自由な時間の確保 (32)	2 運動や行動の制限の有無 (5)	1 自由な時間の確保 (5) 10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (5)
2	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (20)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (4)	－ －
3	2 運動や行動の制限の有無 (18)	1 自由な時間の確保 (3) 11 家族との交流 (3)	2 運動や行動の制限の有無 (3) 12 知人・友人との交流 (3)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60歳以上の無職＞

（%）

	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		78.0	43.9	19.5	4.9	9.8	12.2	26.8	9.8	22.0	48.8	39.0	36.6	2.4
②「どちらともいえない」		23.1	38.5	7.7	0.0	0.0	15.4	7.7	7.7	15.4	30.8	23.1	7.7	7.7
③「あまり感じない・感じない」		41.7	25.0	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	41.7	0.0	25.0	8.3

（件）

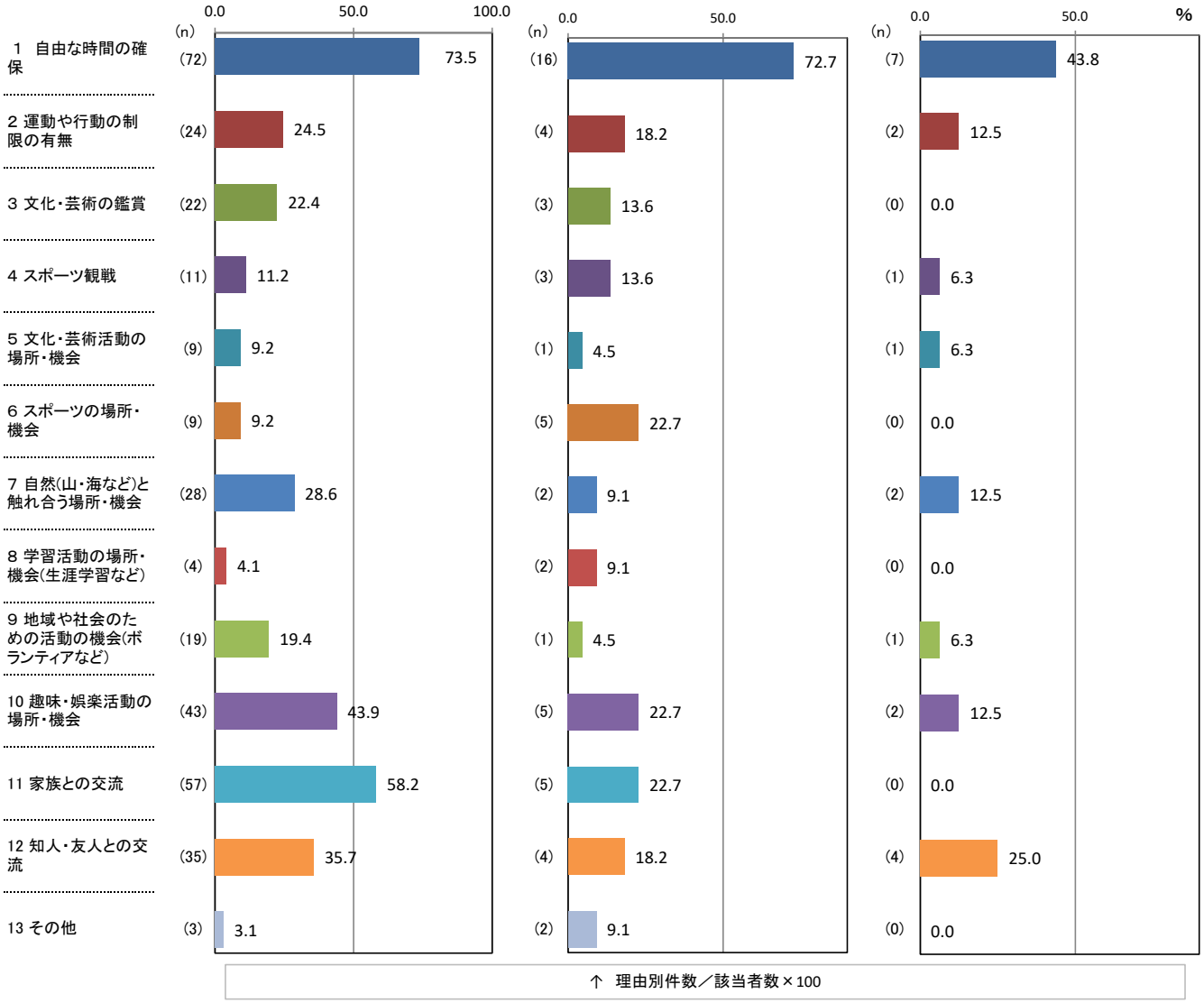
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝41人）	145	32	18	8	2	4	5	11	4	9	20	16	15	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝13人）	24	3	5	1	0	0	2	1	1	2	4	3	1	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝12人）	21	5	3	1	0	1	0	1	0	1	5	0	3	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜夫婦のみ＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (336) 98 人	②「どちらともいえない」の回答 (53) 22 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (20) 16 人
1	1 自由な時間の確保 (72)	1 自由な時間の確保 (16)	1 自由な時間の確保 (7)
2	11 家族との交流 (57)	6 スポーツの場所・機会 (5) 10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (5) 11 家族との交流 (5)	12 知人・友人との交流 (4)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (43)	－ －	2 運動や行動の制限の有無 (2) 7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会 (2) 10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (2)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜夫婦のみ＞

（%）

	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		73.5	24.5	22.4	11.2	9.2	9.2	28.6	4.1	19.4	43.9	58.2	35.7	3.1
②「どちらともいえない」		72.7	18.2	13.6	13.6	4.5	22.7	9.1	9.1	4.5	22.7	22.7	18.2	9.1
③「あまり感じない・感じない」		43.8	12.5	0.0	6.3	6.3	0.0	12.5	0.0	6.3	12.5	0.0	25.0	0.0

（件）

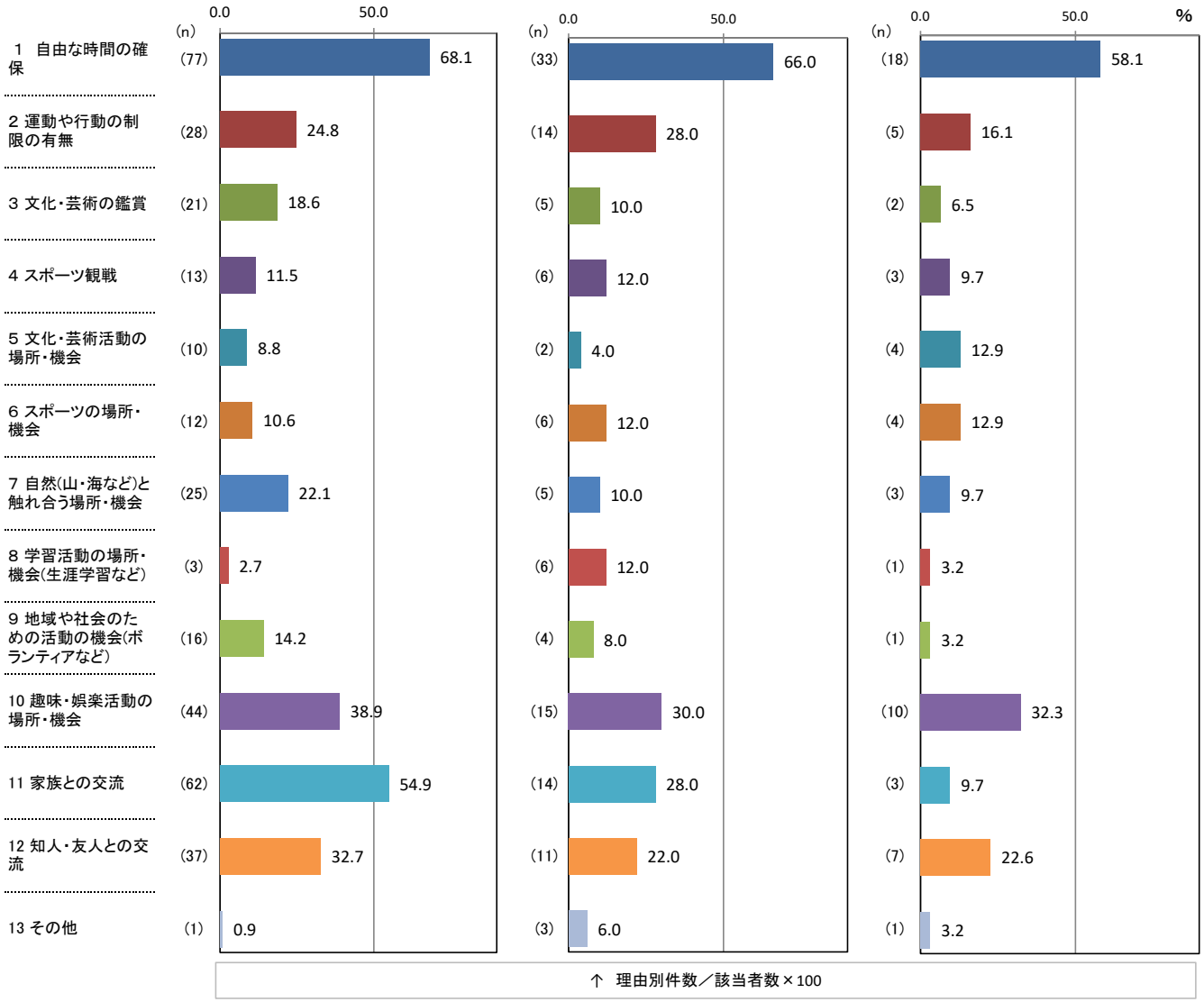
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝98人）	336	72	24	22	11	9	9	28	4	19	43	57	35	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝22人）	53	16	4	3	3	1	5	2	2	1	5	5	4	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝16人）	20	7	2	0	1	1	0	2	0	1	2	0	4	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜子どもの数2人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (349) 113 人	②「どちらともいえない」の回答 (124) 50 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (62) 31 人
1	1 自由な時間の確保 (77)	1 自由な時間の確保 (33)	1 自由な時間の確保 (18)
2	11 家族との交流 (62)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (15)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (10)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (44)	2 運動や行動の制限の有無 (14) 11 家族との交流 (14)	12 知人・友人との交流 (7)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもの数2人＞ （%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		68.1	24.8	18.6	11.5	8.8	10.6	22.1	2.7	14.2	38.9	54.9	32.7	0.9
②「どちらともいえない」		66.0	28.0	10.0	12.0	4.0	12.0	10.0	12.0	8.0	30.0	28.0	22.0	6.0
③「あまり感じない・感じない」		58.1	16.1	6.5	9.7	12.9	12.9	9.7	3.2	3.2	32.3	9.7	22.6	3.2

（件）

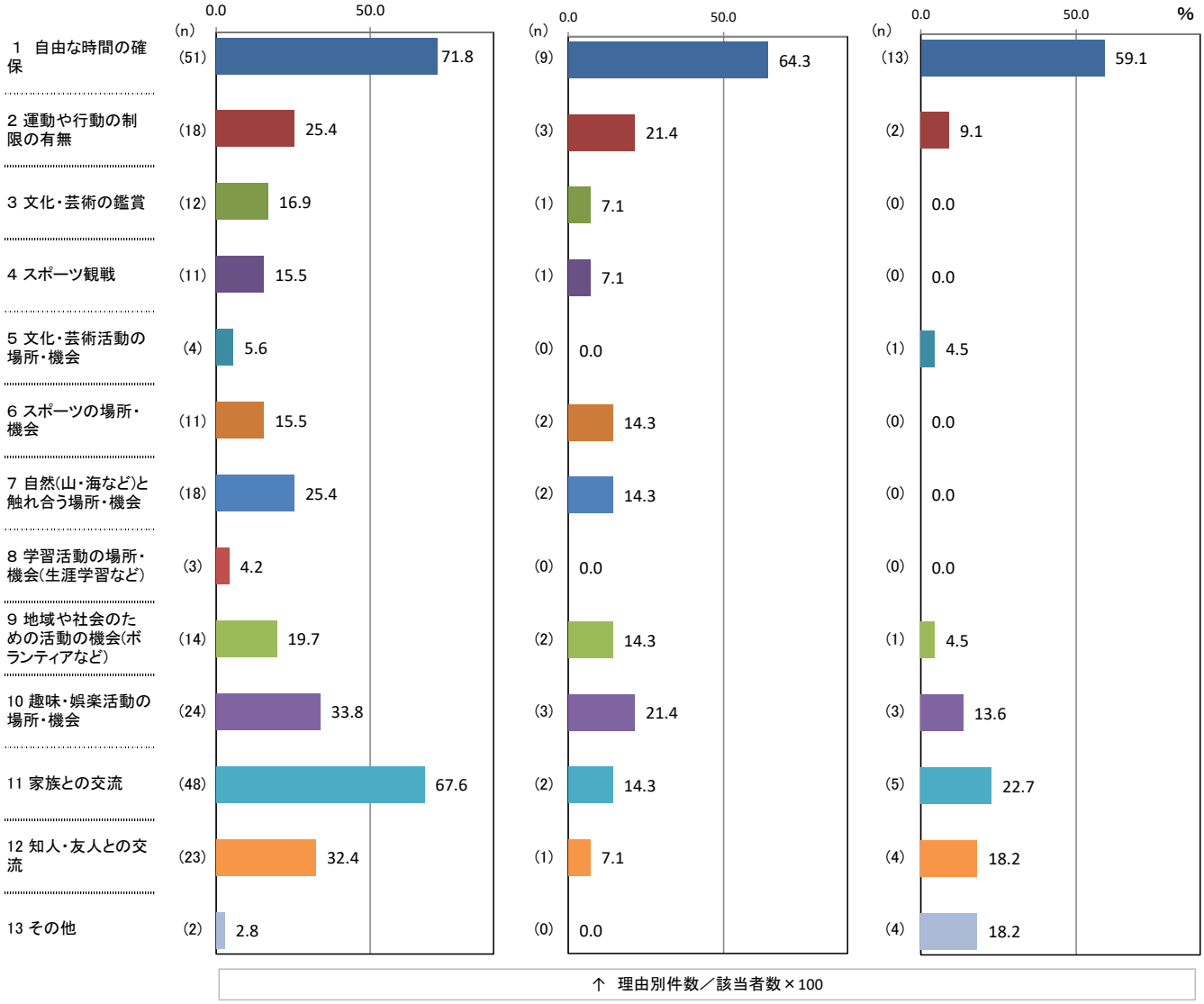
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝113人）	349	77	28	21	13	10	12	25	3	16	44	62	37	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝50人）	124	33	14	5	6	2	6	5	6	4	15	14	11	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝31人）	62	18	5	2	3	4	4	3	1	1	10	3	7	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜子どもの数3人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (239) 71 人	②「どちらともいえない」の回答 (26) 14 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (33) 22 人
1	1 自由な時間の確保 (51)	1 自由な時間の確保 (9)	1 自由な時間の確保 (13)
2	11 家族との交流 (48)	2 運動や行動の制限の有無 (3) 10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (3)	11 家族との交流 (5)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (24)	– –	12 知人・友人との交流 (4) 13 その他 (4)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもの数3人＞

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		71.8	25.4	16.9	15.5	5.6	15.5	25.4	4.2	19.7	33.8	67.6	32.4	2.8
②「どちらともいえない」		64.3	21.4	7.1	7.1	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	21.4	14.3	7.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		59.1	9.1	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5	13.6	22.7	18.2	18.2

（件）

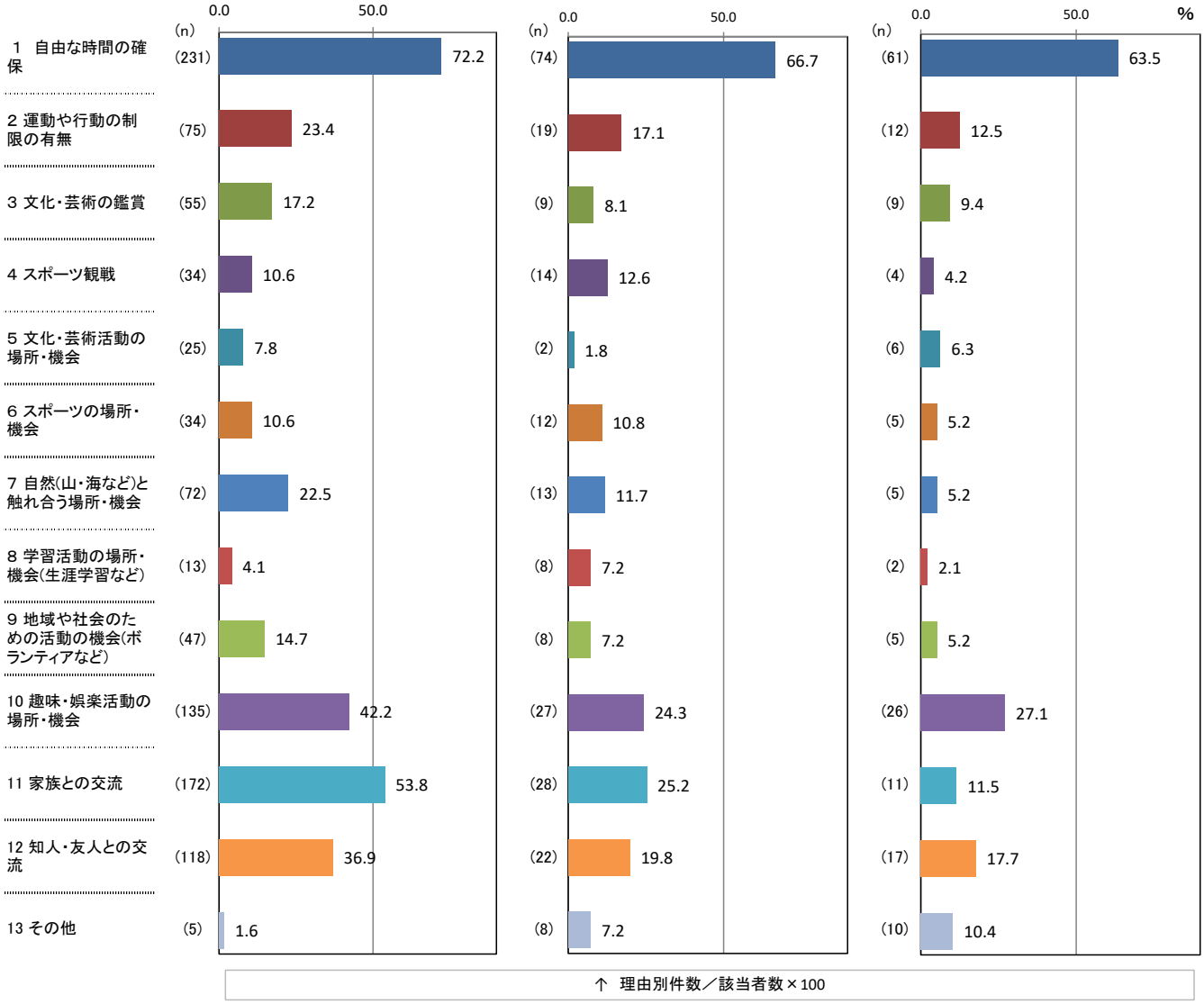
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝71人）	239	51	18	12	11	4	11	18	3	14	24	48	23	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝14人）	26	9	3	1	1	0	2	2	0	2	3	2	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝22人）	33	13	2	0	0	1	0	0	0	1	3	5	4	4

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,016) 320 人	②「どちらともいえない」の回答 (244) 111 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (173) 96 人
1	1 自由な時間の確保 (231)	1 自由な時間の確保 (74)	1 自由な時間の確保 (61)
2	11 家族との交流 (172)	11 家族との交流 (28)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (26)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (135)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (27)	12 知人・友人との交流 (17)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		72.2	23.4	17.2	10.6	7.8	10.6	22.5	4.1	14.7	42.2	53.8	36.9	1.6
②「どちらともいえない」		66.7	17.1	8.1	12.6	1.8	10.8	11.7	7.2	7.2	24.3	25.2	19.8	7.2
③「あまり感じない・感じない」		63.5	12.5	9.4	4.2	6.3	5.2	5.2	2.1	5.2	27.1	11.5	17.7	10.4

（件）

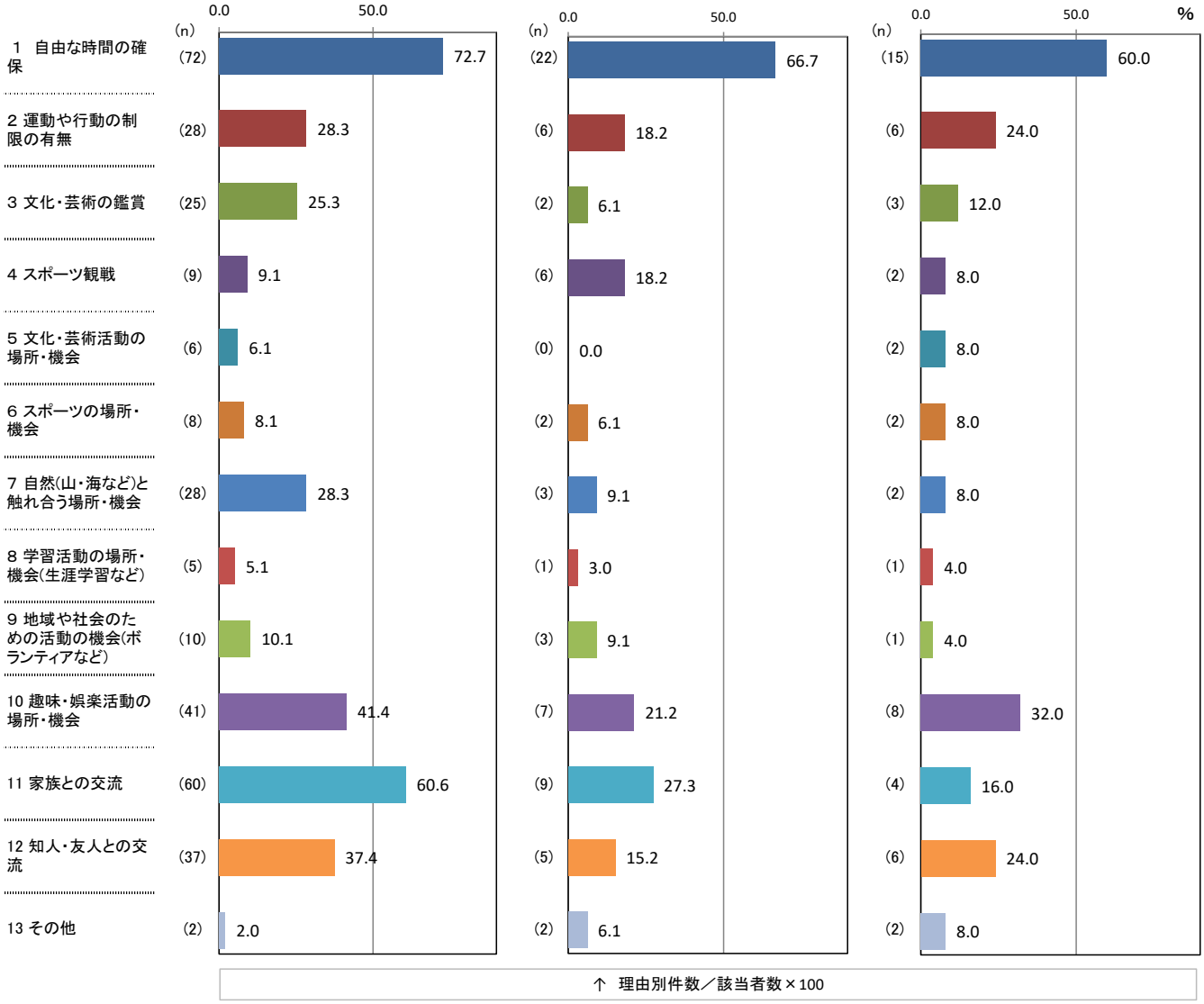
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝320人）	1016	231	75	55	34	25	34	72	13	47	135	172	118	5
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝111人）	244	74	19	9	14	2	12	13	8	8	27	28	22	8
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝96人）	173	61	12	9	4	6	5	5	2	5	26	11	17	10

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (331) 99 人	②「どちらともいえない」の回答 (68) 33 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (54) 25 人
1	1 自由な時間の確保 (72)	1 自由な時間の確保 (22)	1 自由な時間の確保 (15)
2	11 家族との交流 (60)	11 家族との交流 (9)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (8)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (41)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (7)	2 運動や行動の制限の有無 (6) 12 知人・友人との交流 (6)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県央広域振興圏＞

（%）

	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		72.7	28.3	25.3	9.1	6.1	8.1	28.3	5.1	10.1	41.4	60.6	37.4	2.0
②「どちらともいえない」		66.7	18.2	6.1	18.2	0.0	6.1	9.1	3.0	9.1	21.2	27.3	15.2	6.1
③「あまり感じない・感じない」		60.0	24.0	12.0	8.0	8.0	8.0	8.0	4.0	4.0	32.0	16.0	24.0	8.0

（件）

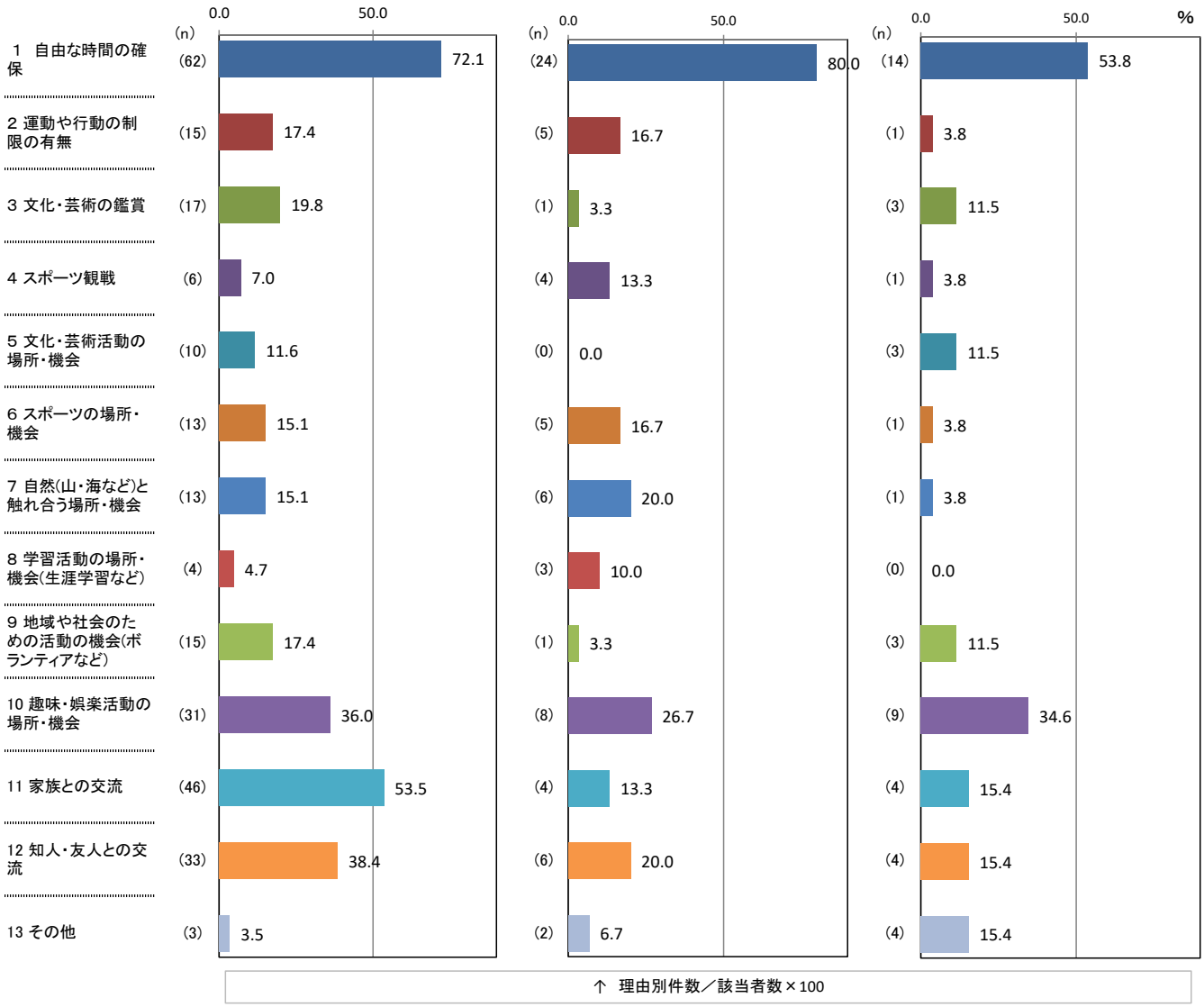
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝99人）	331	72	28	25	9	6	8	28	5	10	41	60	37	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝33人）	68	22	6	2	6	0	2	3	1	3	7	9	5	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝25人）	54	15	6	3	2	2	2	2	1	1	8	4	6	2

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜県南広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (268) 86 人	②「どちらともいえない」の回答 (69) 30 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (48) 26 人
1	1 自由な時間の確保 (62)	1 自由な時間の確保 (24)	1 自由な時間の確保 (14)
2	11 家族との交流 (46)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (8)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (9)
3	12 知人・友人との交流 (33)	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会 (6) 12 知人・友人との交流 (6)	11 家族との交流 (4) 12 知人・友人との交流 (4) 13 その他 (4)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県南広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		72.1	17.4	19.8	7.0	11.6	15.1	15.1	4.7	17.4	36.0	53.5	38.4	3.5
②「どちらともいえない」		80.0	16.7	3.3	13.3	0.0	16.7	20.0	10.0	3.3	26.7	13.3	20.0	6.7
③「あまり感じない・感じない」		53.8	3.8	11.5	3.8	11.5	3.8	3.8	0.0	11.5	34.6	15.4	15.4	15.4

（件）

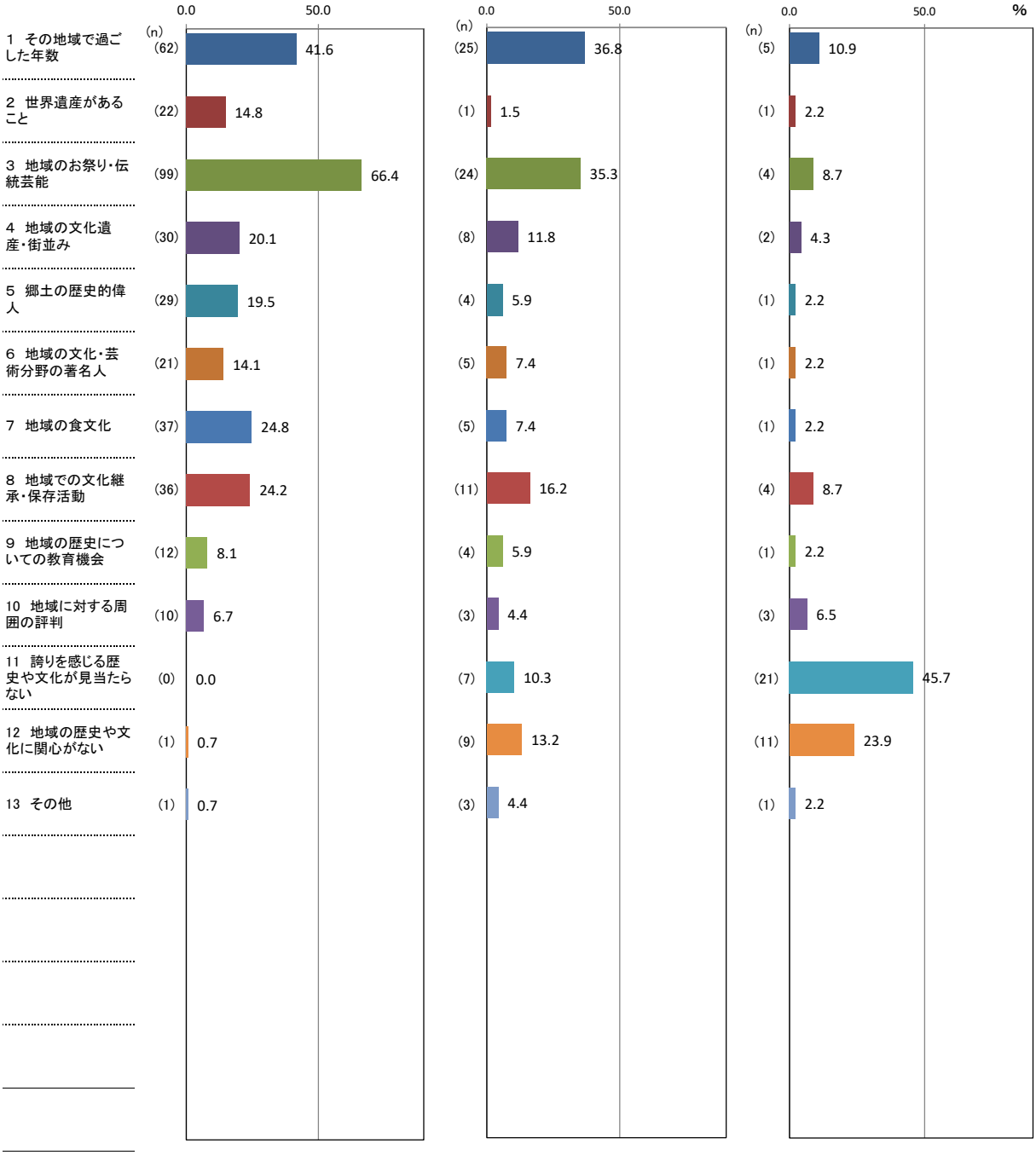
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝86人）	268	62	15	17	6	10	13	13	4	15	31	46	33	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝30人）	69	24	5	1	4	0	5	6	3	1	8	4	6	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝26人）	48	14	1	3	1	3	1	1	0	3	9	4	4	4

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (360) 149 人	②「どちらともいえない」の回答 (109) 68 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (56) 46 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (99)	1 その地域で過ごした年数 (25)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (21)
2	1 その地域で過ごした年数 (62)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (24)	12 地域の歴史や文化に関心がない (11)
3	7 地域の食文化 (37)	8 地域での文化継承・保存活動 (11)	1 その地域で過ごした年数 (5)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜女性＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		41.6	14.8	66.4	20.1	19.5	14.1	24.8	24.2	8.1	6.7	0.0	0.7	0.7
②「どちらともいえない」		36.8	1.5	35.3	11.8	5.9	7.4	7.4	16.2	5.9	4.4	10.3	13.2	4.4
③「あまり感じない・感じない」		10.9	2.2	8.7	4.3	2.2	2.2	2.2	8.7	2.2	6.5	45.7	23.9	2.2

（件）

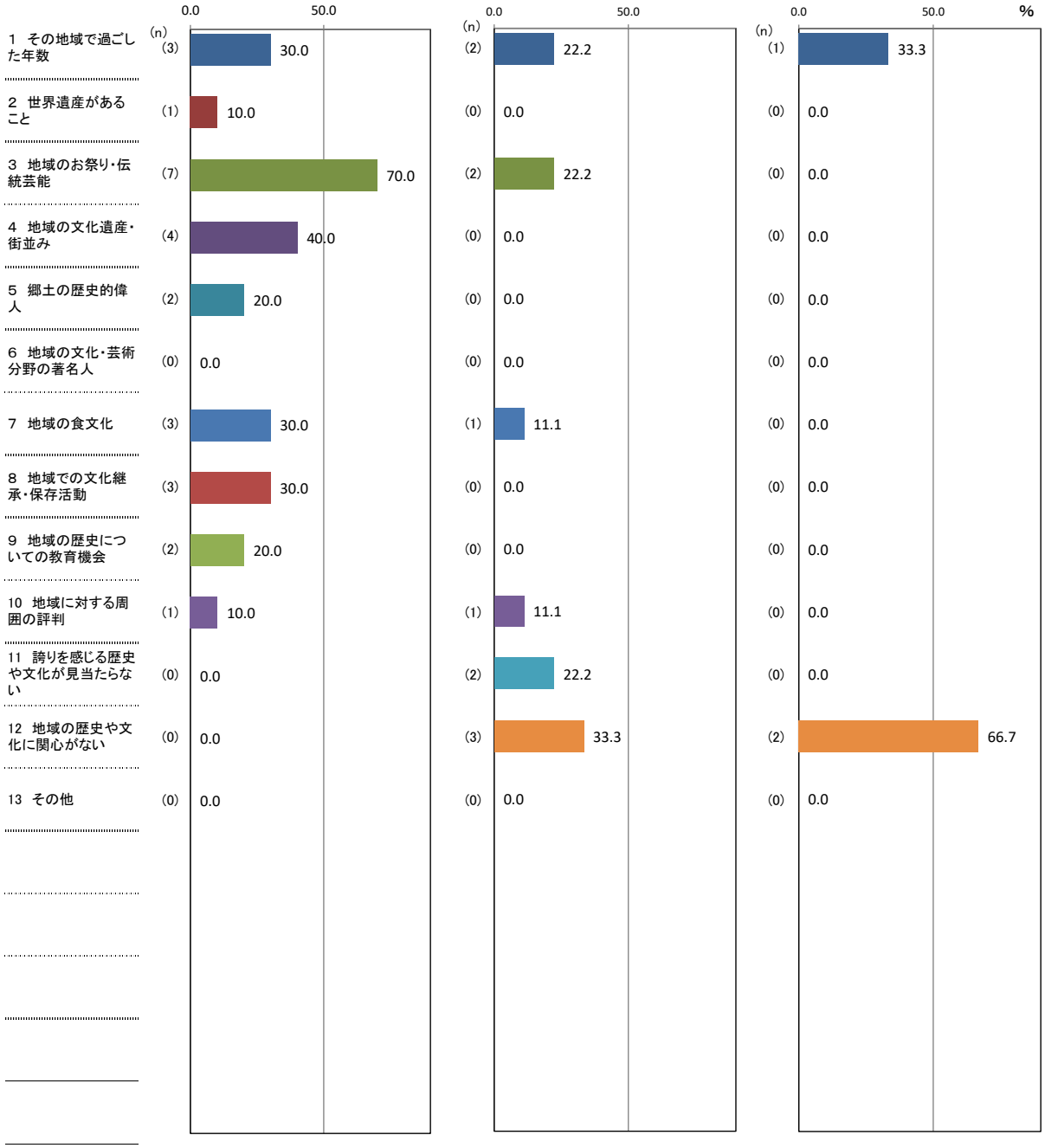
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝149人）	360	62	22	99	30	29	21	37	36	12	10	0	1	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝68人）	109	25	1	24	8	4	5	5	11	4	3	7	9	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝46人）	56	5	1	4	2	1	1	1	4	1	3	21	11	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」＜20～29歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (26) 10 人	②「どちらともいえない」の回答 (11) 9 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (3) 3 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (7)	12 地域の歴史や文化に関心がない (3)	12 地域の歴史や文化に関心がない (2)
2	4 地域の文化遺産・街並み (4)	1 その地域で過ごした年数 (2) 3 地域のお祭り・伝統芸能 (2) 11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (2)	1 その地域で過ごした年数 (1)
3	1 その地域で過ごした年数 (3) 7 地域の食文化 (3) 8 地域での文化継承・保存活動 (3)	－ －	－ －

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜20～29歳＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		30.0	10.0	70.0	40.0	20.0	0.0	30.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	22.2	33.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0

（件）

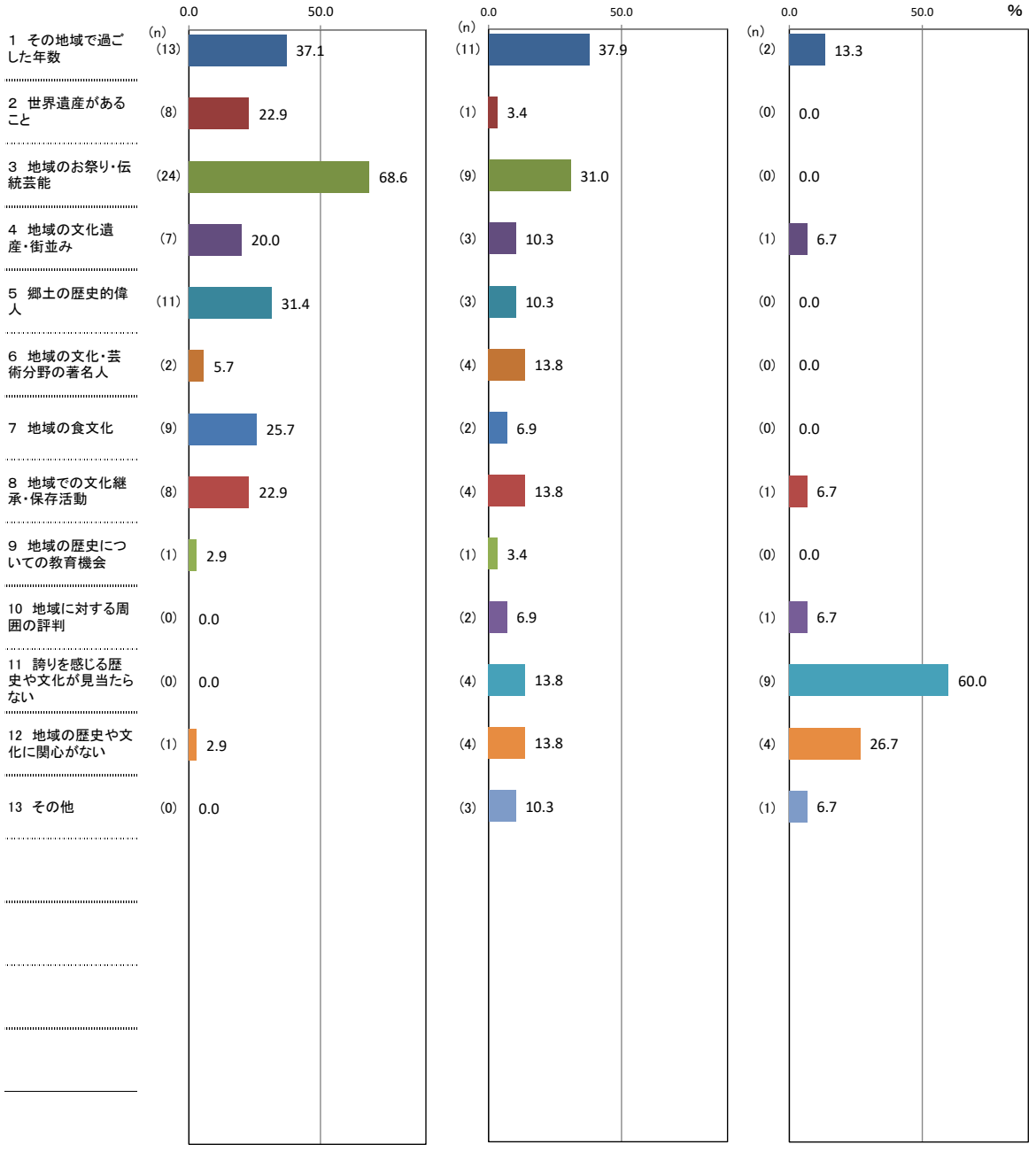
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝10人）	26	3	1	7	4	2	0	3	3	2	1	0	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝9人）	11	2	0	2	0	0	0	1	0	0	1	2	3	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝3人）	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」＜臨時雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (84) 35 人	②「どちらともいえない」の回答 (51) 29 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (19) 15 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (24)	1 その地域で過ごした年数 (11)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (9)
2	1 その地域で過ごした年数 (13)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (9)	12 地域の歴史や文化に関心がない (4)
3	5 郷土の歴史的偉人 (11)	6 地域の文化・芸術分野の著名人 (4) 8 地域での文化継承・保存活動 (4) 11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (4) 12 地域の歴史や文化に関心がない (4)	1 その地域で過ごした年数 (2)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜臨時雇用者＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		37.1	22.9	68.6	20.0	31.4	5.7	25.7	22.9	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0
②「どちらともいえない」		37.9	3.4	31.0	10.3	10.3	13.8	6.9	13.8	3.4	6.9	13.8	13.8	10.3
③「あまり感じない・感じない」		13.3	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7	60.0	26.7	6.7

（件）

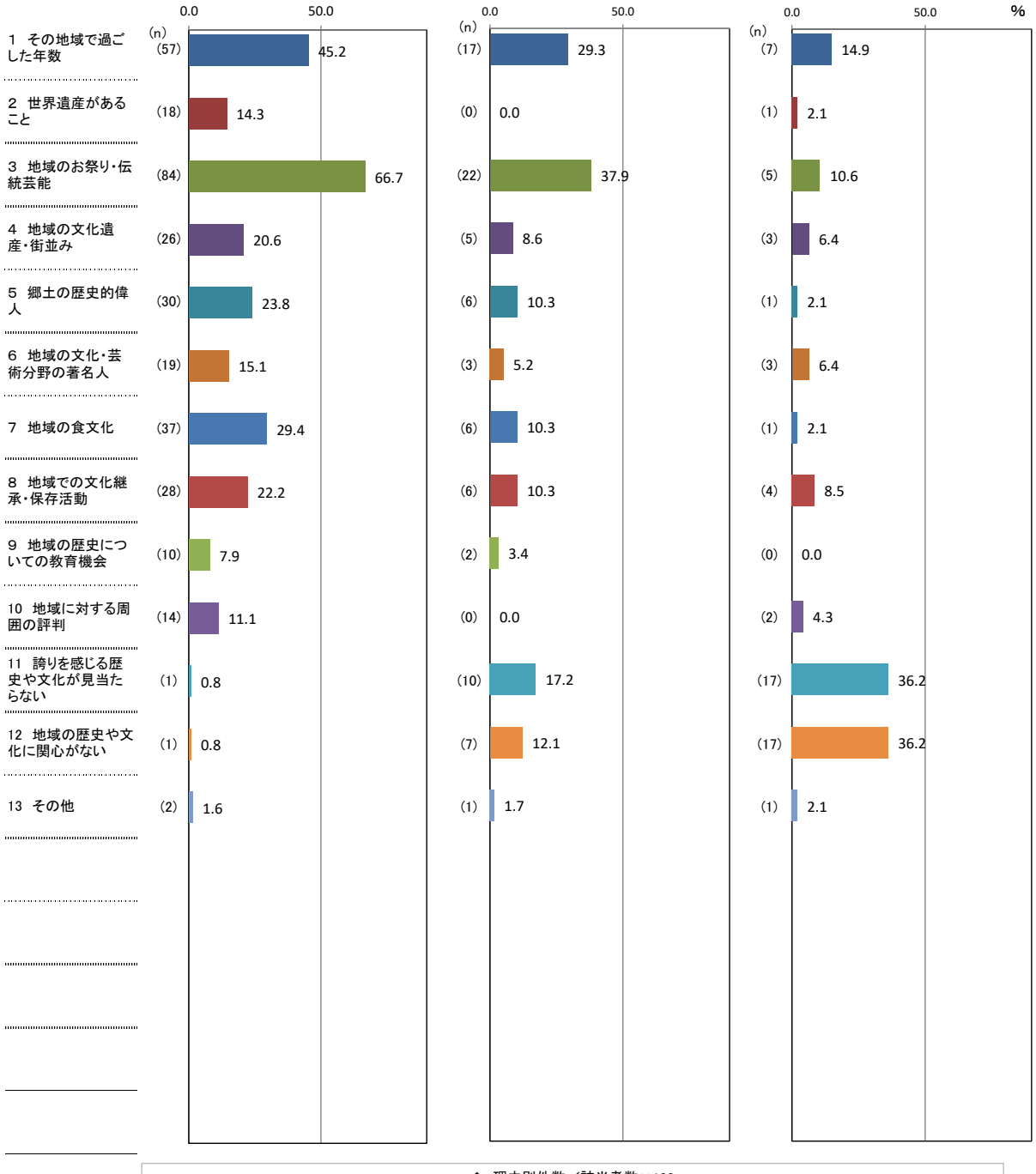
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝35人）	84	13	8	24	7	11	2	9	8	1	0	0	1	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝29人）	51	11	1	9	3	3	4	2	4	1	2	4	4	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝15人）	19	2	0	0	1	0	0	0	1	0	1	9	4	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」＜2世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (327) 126 人	②「どちらともいえない」の回答 (85) 58 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (62) 47 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (84)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (22)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (17) 12 地域の歴史や文化に関心がない (17)
2	1 その地域で過ごした年数 (57)	1 その地域で過ごした年数 (17)	－ －
3	7 地域の食文化 (37)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (10)	1 その地域で過ごした年数 (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜2世代世帯＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		45.2	14.3	66.7	20.6	23.8	15.1	29.4	22.2	7.9	11.1	0.8	0.8	1.6
②「どちらともいえない」		29.3	0.0	37.9	8.6	10.3	5.2	10.3	10.3	3.4	0.0	17.2	12.1	1.7
③「あまり感じない・感じない」		14.9	2.1	10.6	6.4	2.1	6.4	2.1	8.5	0.0	4.3	36.2	36.2	2.1

（件）

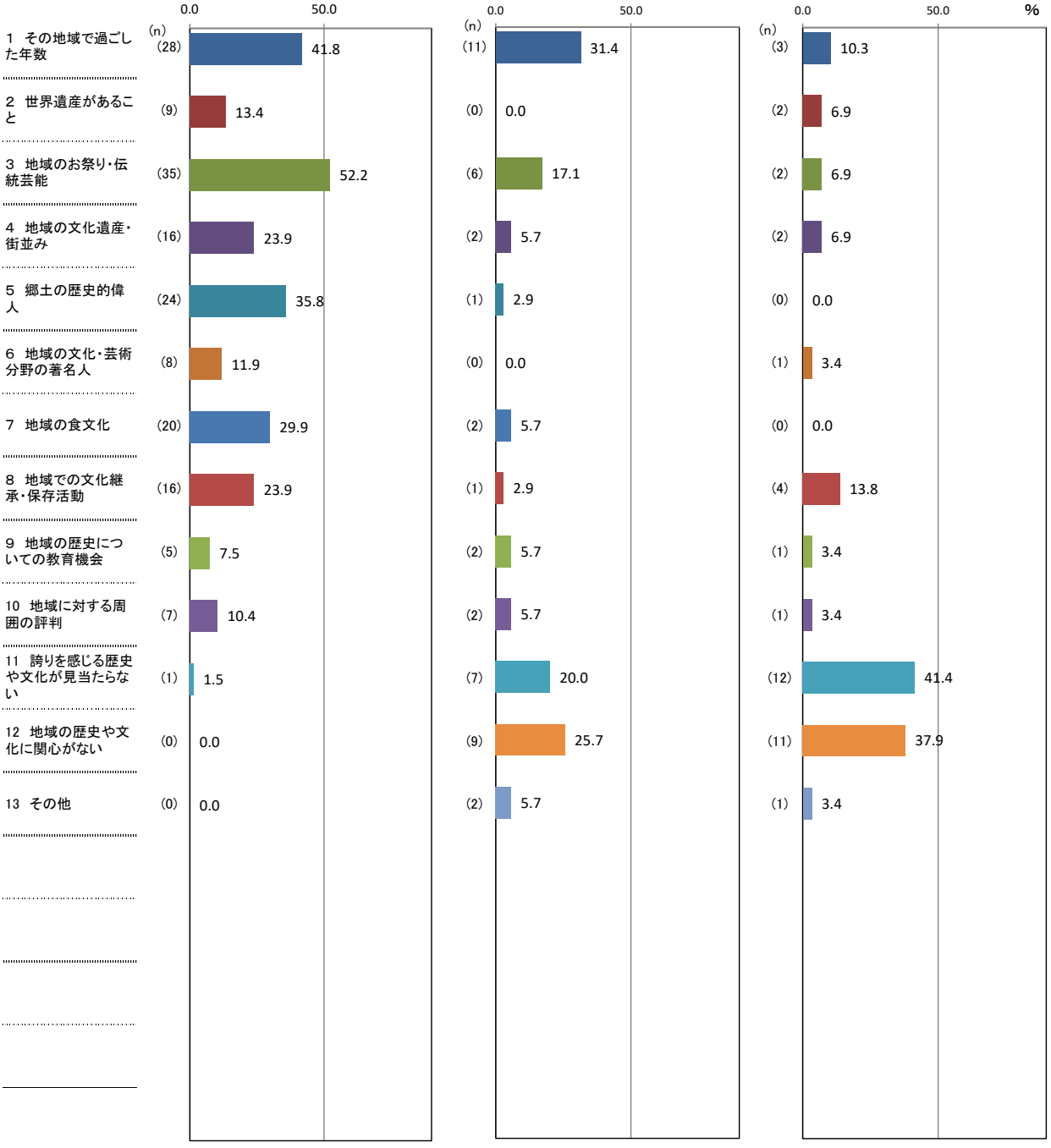
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝126人）	327	57	18	84	26	30	19	37	28	10	14	1	1	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝58人）	85	17	0	22	5	6	3	6	6	2	0	10	7	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝47人）	62	7	1	5	3	1	3	1	4	0	2	17	17	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」＜子どもはいない＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (169) 67 人	②「どちらともいえない」の回答 (45) 35 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (40) 29 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (35)	1 その地域で過ごした年数 (11)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (12)
2	1 その地域で過ごした年数 (28)	12 地域の歴史や文化に関心がない (9)	12 地域の歴史や文化に関心がない (11)
3	5 郷土の歴史的偉人 (24)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (7)	8 地域での文化継承・保存活動 (4)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもはいない＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		41.8	13.4	52.2	23.9	35.8	11.9	29.9	23.9	7.5	10.4	1.5	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		31.4	0.0	17.1	5.7	2.9	0.0	5.7	2.9	5.7	5.7	20.0	25.7	5.7
③「あまり感じない・感じない」		10.3	6.9	6.9	6.9	0.0	3.4	0.0	13.8	3.4	3.4	41.4	37.9	3.4

（件）

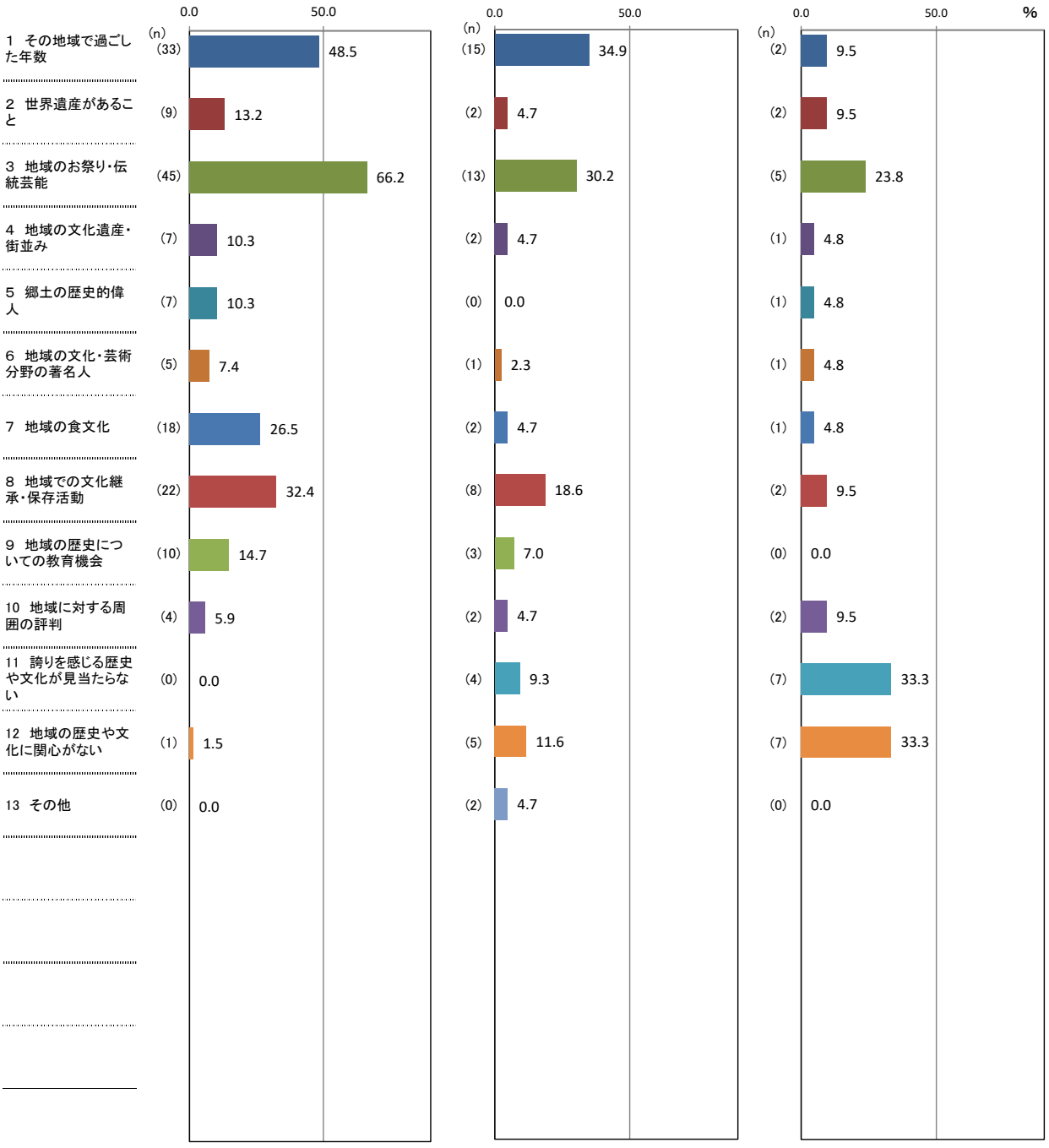
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝67人）	169	28	9	35	16	24	8	20	16	5	7	1	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝35人）	45	11	0	6	2	1	0	2	1	2	2	7	9	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝29人）	40	3	2	2	2	0	1	0	4	1	1	12	11	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (161) 68 人	②「どちらともいえない」の回答 (59) 43 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (31) 21 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (45)	1 その地域で過ごした年数 (15)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (7) 12 地域の歴史や文化に関心がない (7)
2	1 その地域で過ごした年数 (33)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (13)	- -
3	8 地域での文化継承・保存活動 (22)	8 地域での文化継承・保存活動 (8)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (5)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜沿岸広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		48.5	13.2	66.2	10.3	10.3	7.4	26.5	32.4	14.7	5.9	0.0	1.5	0.0
②「どちらともいえない」		34.9	4.7	30.2	4.7	0.0	2.3	4.7	18.6	7.0	4.7	9.3	11.6	4.7
③「あまり感じない・感じない」		9.5	9.5	23.8	4.8	4.8	4.8	4.8	9.5	0.0	9.5	33.3	33.3	0.0

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝68人）	161	33	9	45	7	7	5	18	22	10	4	0	1	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝43人）	59	15	2	13	2	0	1	2	8	3	2	4	5	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝21人）	31	2	2	5	1	1	1	1	2	0	2	7	7	0

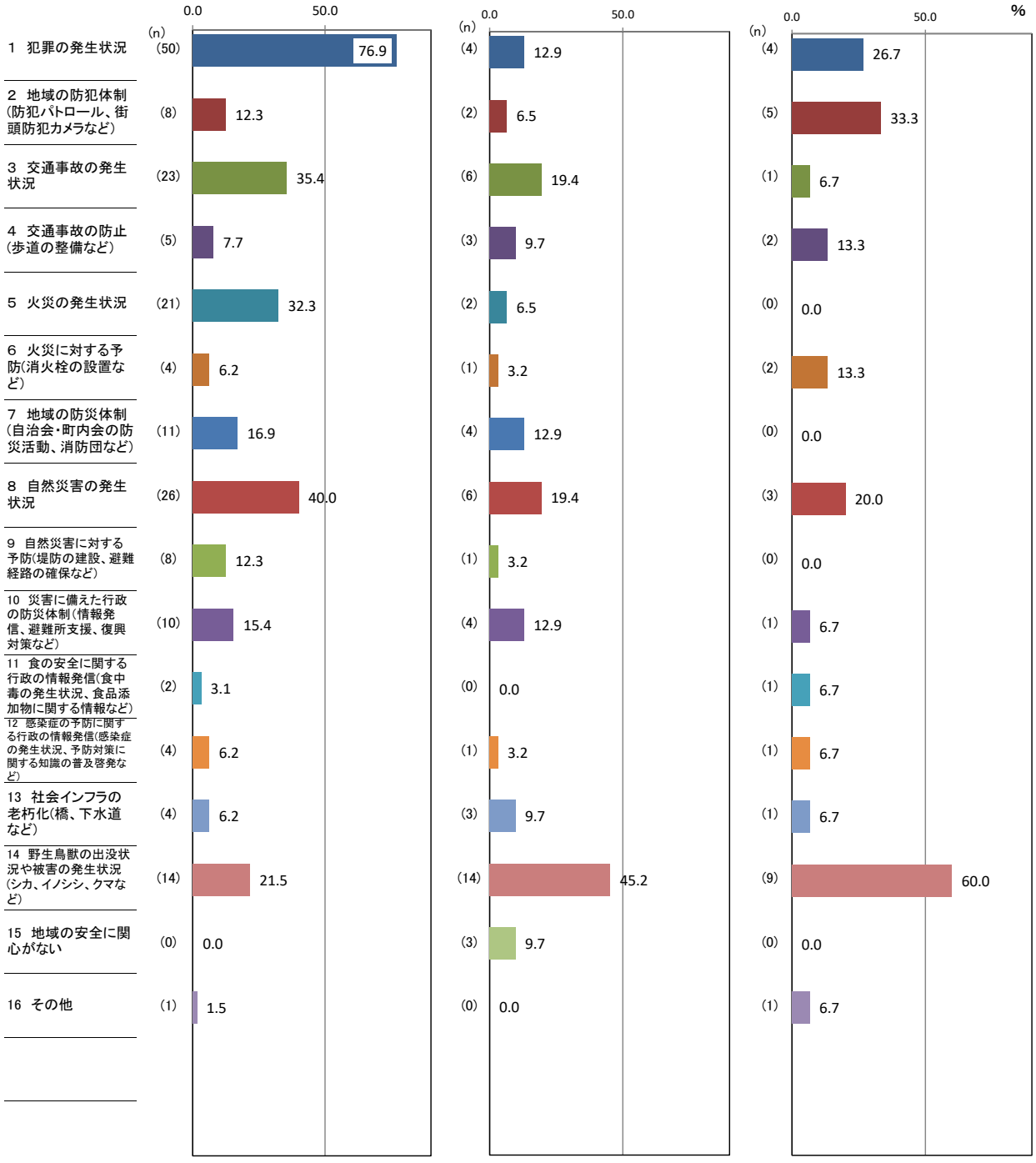
＜実感が低下した分野＞

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜50～59歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (191) 65 人	②「どちらともいえない」の回答 (54) 31 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (31) 15 人
1	1 犯罪の発生状況 (50)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (14)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (9)
2	8 自然災害の発生状況 (26)	3 交通事故の発生状況 (6) 8 自然災害の発生状況 (6)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (5)
3	3 交通事故の発生状況 (23)	－ －	1 犯罪の発生状況 (4)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1(7)「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜50～59歳＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		76.9	12.3	35.4	7.7	32.3	6.2	16.9	40.0	12.3	15.4	3.1	6.2	6.2	21.5	0.0	1.5
②「どちらともいえない」		12.9	6.5	19.4	9.7	6.5	3.2	12.9	19.4	3.2	12.9	0.0	3.2	9.7	45.2	9.7	0.0
③「あまり感じない・感じない」		26.7	33.3	6.7	13.3	0.0	13.3	0.0	20.0	0.0	6.7	6.7	6.7	6.7	60.0	0.0	6.7

（件）

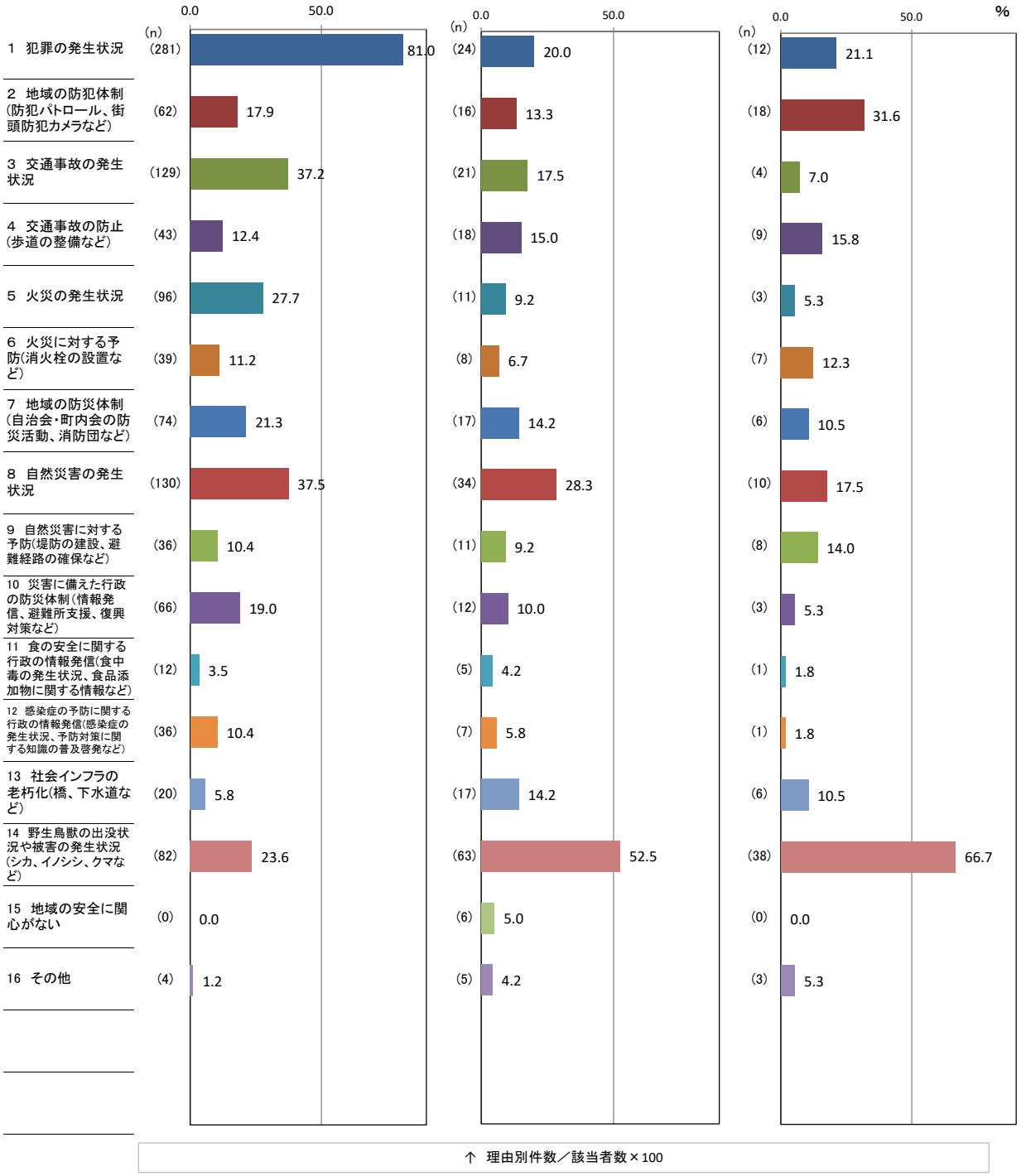
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝65人）	191	50	8	23	5	21	4	11	26	8	10	2	4	4	14	0	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝31人）	54	4	2	6	3	2	1	4	6	1	4	0	1	3	14	3	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝15人）	31	4	5	1	2	0	2	0	3	0	1	1	1	1	9	0	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,110) 347 人		②「どちらともいえない」の回答 (275) 120 人		③「あまり感じない・感じない」の回答 (129) 57 人	
1	1 犯罪の発生状況	(281)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	(63)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	(38)
2	8 自然災害の発生状況	(130)	8 自然災害の発生状況	(34)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	(18)
3	3 交通事故の発生状況	(129)	1 犯罪の発生状況	(24)	1 犯罪の発生状況	(12)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1(7)「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		80.7	17.9	37.2	12.4	27.7	11.2	21.3	37.5	10.4	19.0	3.5	10.4	5.8	23.6	0.0	1.2
②「どちらともいえない」		20.2	13.4	17.6	15.1	9.2	6.7	14.3	27.7	9.2	10.1	4.2	5.9	14.3	52.1	4.2	4.2
③「あまり感じない・感じない」		21.1	31.6	7.0	14.0	5.3	12.3	10.5	17.5	14.0	5.3	3.5	1.8	10.5	64.9	0.0	5.3

（件）

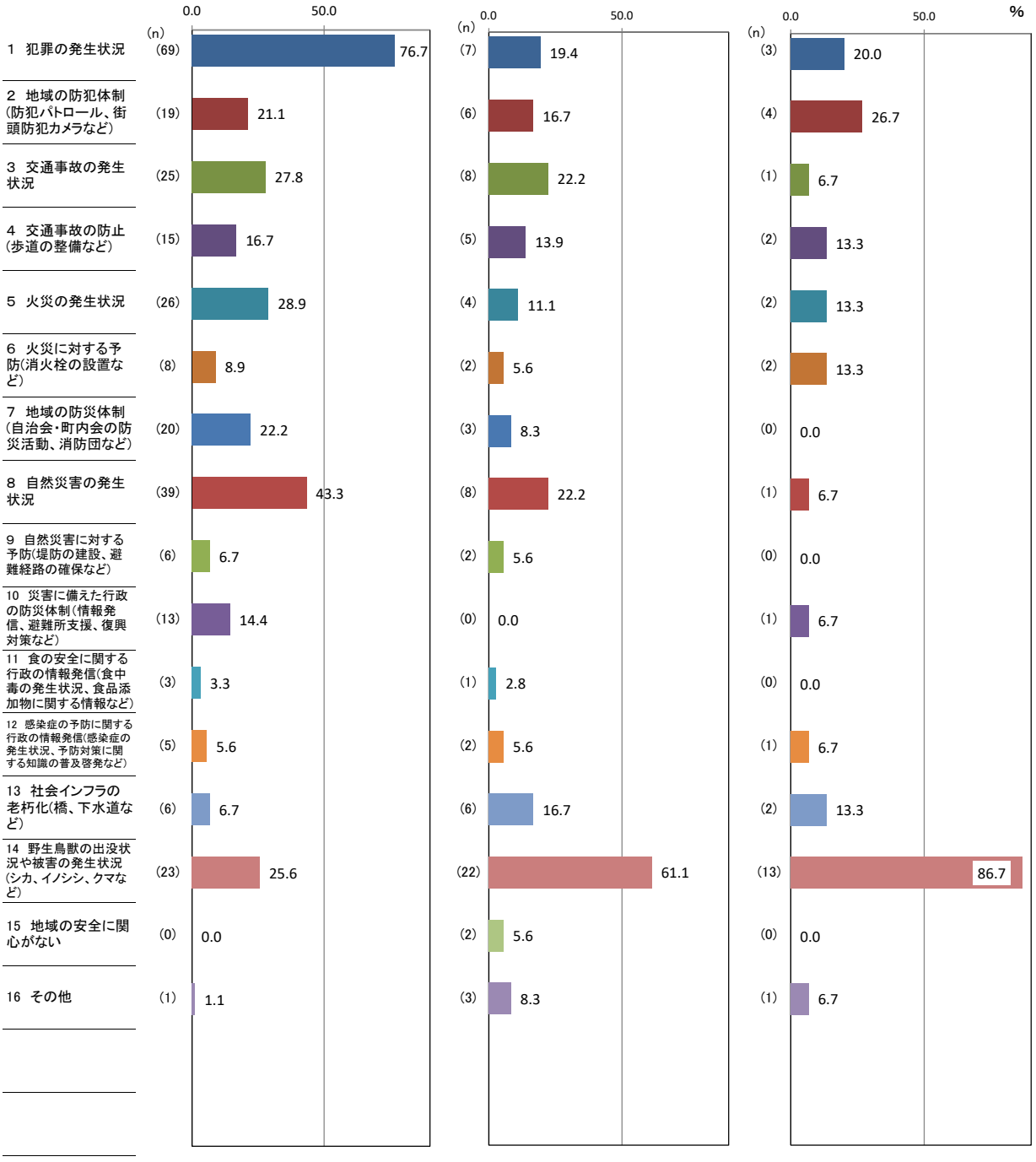
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝347人）	1109	280	62	129	43	96	39	74	130	36	66	12	36	20	82	0	4
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝119人）	272	24	16	21	18	11	8	17	33	11	12	5	7	17	62	5	5
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝57人）	128	12	18	4	8	3	7	6	10	8	3	2	1	6	37	0	3

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜県南広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (278) 90 人	②「どちらともいえない」の回答 (81) 36 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (33) 15 人
1	1 犯罪の発生状況 (69)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (22)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (13)
2	8 自然災害の発生状況 (39)	3 交通事故の発生状況 (8) 8 自然災害の発生状況 (8)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (4)
3	5 火災の発生状況 (26)	－ －	1 犯罪の発生状況 (3)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1(7)「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県南広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		76.7	21.1	27.8	16.7	28.9	8.9	22.2	43.3	6.7	14.4	3.3	5.6	6.7	25.6	0.0	1.1
②「どちらともいえない」		19.4	16.7	22.2	13.9	11.1	5.6	8.3	22.2	5.6	0.0	2.8	5.6	16.7	61.1	5.6	8.3
③「あまり感じない・感じない」		20.0	26.7	6.7	13.3	13.3	13.3	0.0	6.7	0.0	6.7	6.7	6.7	13.3	80.0	0.0	6.7

（件）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝90人）	278	69	19	25	15	26	8	20	39	6	13	3	5	6	23	0	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝36人）	81	7	6	8	5	4	2	3	8	2	0	1	2	6	22	2	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝15人）	33	3	4	1	2	2	2	0	1	0	1	1	1	2	12	0	1

要因の具体的な内容（R5-R8 比較）

(1)-1 からだの健康

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	• 睡眠の質 • 毎日の生活習慣が出来ているので今の所は、病気もなく仕事をしているので安心かなと思っています。 • 育児時短による負担軽減 • 仕事に一区切りついたので、ワークライフバランスがとりやすくなった • 子育てが終わり自分の時間を持てるようになった • 休める時に休もうとしている為 • 概ね通常の生活時間配分ができている。 • 睡眠は気をつけている。動く、休む、世の中に合わせない • 仕事が自分の体力に合わせてできる。十分睡眠が取れるから • ほとんど残業がない。8時間以上の睡眠。 • 睡眠時間が短い • 仕事を変えて規則正しい生活になった • 子供達と外で遊んだり、早寝早起きが出来ている。 • パートもなくなり時間的余裕が気持ちを楽にする	• 忙しい • 繁忙期は負担を感じることもあるが、休暇制度を活用しながら、バランスは取りやすくなってきていると感じている。 • 仕事フルタイムなので時間のバランスを自由にとれない • 不眠 • 超過勤務の時間 • 職場の拘束時間が多い • 睡眠時間が短い • 年の為体が変化してきている • 睡眠不足	• 仕事に取られる時間が多いため。 • 仕事しながら、家族の介護など色々ありすぎる… • 仕事と休暇のさかい目が曖昧になる時がある • なかなかストレスで睡眠・休養を取れてないため • 仕事が忙しい • いつも時間におわれて疲れている • 眠りにつくのに時間がかかる。音や光のちょっとした刺激ですぐ目が覚める • 仕事の日は睡眠時間が不十分だと感じる。 • 産後の眠りの浅さ • 仕事でのストレス、疲労、睡眠が充分に取れてない。 • 夜の睡眠時間が充分とれていない(2時間毎に目が覚める)
2 スポーツの習慣の有無	• スノーボード • ランニング • ジム(タカヤアリーナ)に行くようになった • ウォーキングやランニングをしている • トレーニング器具を使った有酸素運動の週間 • 病気を機にウォーキングの習慣が出来た。	• 運動が得意ではない • 運動習慣がない • 運動の習慣がない(時間がない) • 50 才代の頃はバレークラブに入って活動していたが、70 才中になると、入るグループがない為出来ない! • スポーツ習慣がない • 無、何かやりたいけど、できていない • 運動する事がほとんど無し • 定期的な運動習慣がないこと。 • 雪がふるためアウトドアの歩行が思うようにできない • スポーツに費やす時間に仕事が入るケースが多い	• 運動不足 • あまり動かなくなった • 運動をしていない • 上記により運動時間を削ってしまいがち • なかなかスポーツをする機会がないため • スポーツする余暇がない • 運動習慣がほとんどない • 日中は殆ど横になって居るか、テレビを見ている
3 歩行などの行動の制限の有無	• 腰痛、歩行困難 • 股関節の手術を昨年人工にし自由に歩けるようになった • 特に制限や持病はないことから、健康だと感じてい	• 変形性膝関節症を患い運動に支障がある • 脚力の低下 • 車移動がほとんどなので歩く事が少ない	• 心臓に負担のかかる行動の禁止 • 脊髄梗塞を患い、24 時間痺れがあり、歩くと痛みが出る。 • 酸素使用

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	る。 • 最近かかとが痛くなってウォーキングを控えている。 • 歩ける • 自分で車を運転し、行動できるので • 家族や友達のおかげで楽しく過ごせている。		• 脳卒中後遺症のため、長い距離の歩行が大変。 • 膝が痛く立ち仕事のため辛い • あまり動かなくなった • 熊の出没等の恐れのため、外出機会が減った
4 食事の制限の有無	• 食事が美味しいと感じる • 特に制限や持病はないことから、健康だと感じている。 • 制限がない • 自分が好きな物を食べれ、制限がないので	• ラーメンを食べている習慣がある • 食事制限している	• 血糖値を気にして食事内容を考える • 食欲がない。 • 食事の制限もしていなく、アルコールも多い • 夜にコンビニ等で済ませてしまう、朝ほとんど食べない • 歯の下部が入歯の為、固いものを食べれない
5 健康診断の結果	• 高血圧 • 総コレステロールが高めで経過観察中 • 休日体を動かしている • 健康 • 高血圧、脊柱管狭窄症、前立腺ガン	• 重症のが無い • 視力聴力の低下 • 血圧が高い • 重大な病気ではないが少し問題あり • 高血圧 • 要精密検査の項目がある • あまりよくない • 健診で BMI が高めになった	• 高血圧 • 耳鼻科(難聴)耳鳴り、めまい、ふらつきの症状 • 血圧の高さ • 要治療項目が減らない状態が続いている。 • 高血圧のため • 結果が悪く通院し、指導されている • 健康診断結果判定 E のため • 脂肪肝もよくなかった • 不整脈、心肥大、ヒザ、背中等の痛みあり • 毎年ひっかかっている
6 持病の有無	• ポリープがあるため • 心房細動、変形性股関節症 • 病院にかかることがなく、健康と感じる。 • 持病なし • 毎日の生活習慣が出来ているので今の所は、病気もなく仕事をしているので安心かなと思っています。 • 持病の前立腺肥大については通院療養できている。 • 腰痛 • 高血圧、脊柱管狭窄症、前立腺ガン • 特に制限や持病はないことから、健康だと感じている。	• 糖尿病 • 慢性心房細動のため、20 年以上内服中。R7年 10 月出血性胃潰瘍で緊急入院し止血術を行った。まだ、不安が残っています。 • 予防接種の料金負担が値上がりした • 不整脈がある為、1 か月に 1 度程度の通院有 • 高血圧、高脂血症、骨粗鬆症 • 心筋梗塞、前立腺ガン、腹部大動脈瘤の持病あり、いづれも処置済みだが3カ月に1回定期的に観察中 • 心臓 • 寒くなると高くなる血圧 • 前立腺癌手術予定 • 腰、膝痛があるため • 高血圧 • 通院有 • 糖尿病 • 持病がある	• 血液の病気で、余命9～10 ヶ月と宣告された • 沢山の病気になり、体調がいまいちなので。 • 4年程前から発症。病気のコントロールが上手くいかない。年齢的なものもあるが、まだ少し張りを持って生きたい。 • ガン(肝ガン) • 2025 末、体調をくずし通院するようになった • 胃の調子が悪い • 持病が4つの他、たまに不調を感じる部位有。 • 耳鼻科(難聴)耳鳴り、めまい、ふらつき • 持病の改善が進まない。 • 脳卒中後遺症の他、突発性器質化肺炎の治療中。 • 複数の病院受診をしており、いつも不調で、どこかが痛い。 • 膝をかばっている為股関節の痛みもあり夜間不眠である

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
			• 持病あります
7 こころの健康状態	• 心の不調が再発していないから • 楽しいと思えている • 本音で話せる友人がいる。人のせいにしない生き方 • 自分のやりたいことを仕事にしてゆとりができた • 地域の各種役員等についてはほぼ務め上げたと考えられる。安心感がある。 • 白内障、緑内障の手術でメガネが不必要になった	• 色々の分野で活動。仲間との関係良好 • 神経痛などの不調から • 不安になる • ストレスによってイライラすることがある	• 難病の夫、難病と認知症の母、身体障害者の妹などの介護や、私が色々とストレスを感じる事が日々増えて来てることで… • 職場、地域柄のストレス • うつ病、不安障害のため • ストレスによる心身の負担が大きいため • 妻のうつ病を介護の為イライラする
8 その他	• 運動と人との出会いと交流 • いろんなことが起きても通過点、学ぶだけ • 多少疲れがある		• 介護で疲れている

(1)-2 こころの健康

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス)	• 特に不満がないため • 定刻の睡眠、食事 • 育児時短による負担軽減 • 子育てが終わり自分の時間が持てるようになった • 地域の各種役員等についてはほぼ務め上げたと考えられる。安心感がある。 • 運動は足りないが、休むこと自分の時間は大事 • 毎日だいたいの時間に起きて仕事に病院に行くサイクルが決まって動いているので良いと思う • 規則正しい生活になった • だいたいの時間が決まってる。 • しっかり寝られる。 • 育児は大変だが、楽しさや喜びが大きい為 • 生活リズムの安定	• 職場の人手不足もあり、業務量が増し、十分な休息が取れない時もあるため。 • 3人子育て中で仕事と睡眠のバランス悪い • 週6勤務の為 • 仕事が頭から抜けません • 睡眠時間が少ない • 仕事がブラックだった。転職したので大丈夫。	• 仕事に取られる時間が多い • なかなかストレスで睡眠・休養を取れてないため • 育児の責任が大きい • ワンオペ生活、2児の子育て等 • 以前の様に1日の時間配分を決めることができない
2 仕事・学業におけるストレスの有無	• 勤務時間がフリータイムです。 • あまり深く考えないようにしている為 • 離職したことで仕事のストレスがへった。 • ストレスなく楽しく仕事ができている • パートという仕事がないことが淋しいようで楽になった • 仕事がやりやすくなった(昨年より) • バスの運転士で仕事中ストレスがある • 自分が本当に好きで、したい仕事をしているか • 友人とのスポーツ	• 仕事は、自分の出来が悪く、やや不満。 • ストレスを感じている • 人手不足で、自分がカバーすることが多い。ストレスが多い。 • 対人関係のストレスは常にある • 仕事上ストレスを感じる事がある • ストレスが多い、大きい仕事 • 時間におわれないこともある • 仕事での拘束時間が長い(残業含む) • 常に頭から仕事のことが入っている	• 同僚からのやっかみみたいなものが少ししんどい時がある • 定年後の暮らしが不安 • 年々短縮される履行期間と工期に追われている。 • 締め切りに追われる仕事のため • 勤務中に事故(車輌)を起こしてしまった。 • 人間関係がめんどくさい。上司がダメダメ。頼りない。おじさんのセクハラぎみた発言がキモい。客と電話するのがストレス。 • 新しい職場になり、まだ仕事に慣れない

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 人間関係良好 • ストレスが減った • 個人で仕事をしているのであまり対人ストレスはない。 • 曜日による業務分担がうまく取れている	• 仕事のストレス • 仕事がブラックだった。転職したので大丈夫。	• 社協の障がい福祉課で生活支援員をしているが毎日奇声が絶えない為ストレスである。 • 仕事のストレスが多い。仕事内容に賃金が見合っておらず、モチベーションが上がらない上に人員不足で有休もとりずらい。 • 休みの日でも仕事を考えなければならない時がある • 仕事での職場環境へのストレス
3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	• 私生活において、家族が皆健康なのでストレスが少ない • 書物の整理、廃棄 • 退職後ストレスをあまり感じなくなった • 私生活におけるストレスがないこと • 土日、仕事終わりの自分の時間が少ない • あまり深く考えないようにしている為 • 子供達のおかげで毎日笑ってる。	• 家庭でのストレスがある • 家族の体調があまり良くないから。 • 妻との会話が少ない • 物忘れがひどくなってきた • 自分の今後の心配、子どものことで悩むことも • ストレスを感じている • 私生活におけるストレス • 職場は人手不足なのに新人が入ってきても育たない。気をつかう。悩む	• 仕事しながら、家族の介護など色々ありすぎる…難病の夫、難病と認知症の母、身体障害者の妹などの介護や、私が色々とストレスを感じる事が日々増えて来てることで… • 育児につまづいている。経済的不安感が強い。 • 親の介護 • スポ少送迎や、ワンオペ育児生活でストレス
4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など)	• 休日はゆっくり過ごし、休められていることから健康と判断。 • 読書や音楽が好きなので、毎日楽しむことができて嬉しい。 • 自分一人の時間の有無/量・質 • 趣味を通しての出会いと交流 • 勤務時間がフリータイムです。 • 趣味の時間を作れるようになった。 • 家族で共に旅行などが出来ている • 白内障の術後で盛岡の病院に行く事が楽しみになった • 音楽活動で人との関わりがあること • 休日は子供の部活応援に行っている。 • 趣味を通じて楽しく過ごせている	• 外出するのがおっくうだ • これからの時間の過ごし方を考えさる • 自分の時間がうまく作れない • 趣味に没頭できる時間がある • なかなか充実した余暇は送れていない • 仕事が多く家族との余暇の時間がとれません	• 没頭できる趣味が特に無く、休日をダラダラ過ごしてしまう。
5 相談相手の有無	• 何かあれば子に相談できる • 健康に対する不安はあるが、家族に支えられていると感じるため。 • 友人 • 相談できる(信頼できる)人がいる • 友人、親兄弟との仲が良い。	• 両親、兄弟共不在になった為 • 家族が高齢になっりしても夫は仕事が忙しいからと相談に乗ってくれない。子供たちも同じ	• 高齢の父と2人暮らしで相談できる人が誰もいない • 問題や考え事が有っても「妻」としか相談出来ない日常です • ストレスにより体調を崩すことが多かったため

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• いろんなことを主人と話をすることで、充実している • 本音で話せる友人が数人いる • 妹が近くに居るので会話ができ笑う事が多い • 友人と月一で女子会をしている。		
6 からだの健康状態	• 健康に対する不安はあるが、家族に支えられていると感じるため。 • 歩行困難、下半身がだるい • 多少の疲れがあるが自分で動ける • 腰痛 • 足が痛いなどはストレッチなどで良くなっている	• 出歩くことや多人数の場に出ることがうっとうしい • 仕事が優先されて体に無理をかけている • 自分も年をとって思うように動けないとクヨクヨする時がある	• 余命を宣告されたため • 心臓に負担のかかる好悪道の禁止 • マイナス思考で行動に自信が持てず不安になる事が多い。 • 持病の為、通院の負担、利用費がかかるようになった • 持病がいつ悪くなるかいつも不安 • 息苦しさ、頭痛などの身体症状のため • 腰でうごきたくない。しなやかに動けなくなった。 • 両肩の「肩帯板断裂」を 15 年前に患い、体身の動きに大きな制限が有ります
7 その他	• 1～6はマイナス方向の時に影響としてとり上げられます。それらを心においてマイナスに向かないように自分でかなり努力しています。仕事がないことはとてもいい(楽)です。経験上。 • 沿岸部にて高齢・独居中。体調不良が多くなり頻繁に来訪。長期宿泊する事が多い。		• 介護疲れ

(2) 余暇の充実

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 自由な時間の確保	• 自由に過ごせる時間がある。 • 夫も勤務していて自由時間は多い • 自由な時間があり、気もちが安定している • 子供の世話があるのでまとまった自由時間がとりにくい • 自由に時間を確保できない、したいことができない • 休日は家事・育児に忙しいため、自由時間がほぼない • 家庭のことをやっていると時間がなくなる • 介護がなくなったため、自由な時間が増え、好きなことに時間を使うことができる。これまでは介護のため、色々な時間の制約があり、趣味や娯楽にも不自	• 自由な時間があり、町内会活動、放送大学などいろいろできる • 自分の時間を持てるよう工夫している • マイペースでできる • 年金暮らしだが自由な時間が多く一人の時間を楽しめている。近くに図書館があり好きな本を読める環境があることも大きい • 自由な時間で運動したりパズルをしたり本を読んだり • 空き時間があって趣味に使える • 主婦をさせてもらえているから • 友人とのスポーツ(ビリヤード等) • オンとオフの時間	• 中々、自分の時間が取れない。仕事が休みの日などは、病院へ家族を連れて行ったり、買い物頼まれたりで、自分の時間があまりない… • 仕事と家庭生活、地域活動に多くの時間を割いている • 自分の為に使える時間が少なめ • 毎日の家庭内作業でいっぱい。身体の動きが悪い為 • つい昼まで寝がちなので、わざとドライブに出掛けるようにしている。 • 身寄りのない親族が入院し施設に入ったり

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	由を感じていた。 • 部活の送迎や父母会活動、家事と仕事に追われ、あまり時間的な余裕が無いから。 • 家事仕事以外の時間自由で読書、逢物、園芸 • 一日の時間自分の好きな様に使っています • ストレスが少ない • 生活に追われている • 自分が好きなように動けるから • 一人暮らしで自由に暮らしている • 家事仕事のために時間の確保が難しいため • ストレス無く好きな事ができる。 • 自分時間でドラマを見ている。 • 自分の時間が取れる • 仕事の人員不足で休みが思うようにとれず、余暇につながらない • 自分の時間あれば好きな事をしている • 日曜・休日について、どのように時間を使っていいか悩む	• 読書 • 子育てが終わり自分の時間が持てるようになった • 自由な時間が無い • 忙しい(仕事) • 農家もしている為、仕事の休みは農業がある • 余暇と意識したことはない。ボーっとする時間はある • 時間が少ない • ボイ活ができる時間があるから • 週1回健康麻雀5時間 • 自分の好きなことやその他の事をするための自由な時間が必要だからです。 • 余暇の時間が確保できない • 家族の理解、信頼もお互いに持っていて自由な時間はとれている • 老人クラブの会長として自由な時間を有効に活かしている • 自分時間はある方だと思う • 土日も仕事に追われ、ゆっくりできない • 親が残した、土地や建物、会社やその土地、建物が延べ 30 個所ぐらい有、手入や、草刈り、枝払い、メンテナンスなどの時間にとらわれ、自分の余暇を確保することができない • 行動することに制限がかからない日々 • 週2日間は自由な時間が確保できる • 自分の時間を大切にしているから。 • 義父母が高齢の為、見守りが必要になってきている。通院の付添いに時間をとられる。 • 夜勤が減った。 • 嘱託となり時間にゆとりが出来た • 仕事をしていないので自由な時間がある • 好きな事が出来る • 自分時間をうまく作れない • 自分の時間を取ろうと思えばどうにか取れる • 自由な時間が取れない • 働いていないので時間は十分にある。スポーツや趣味に時間を使う。	と何かとする事が多いので、気が休まらないし時間がないと感じる事が多い。 • 時間があれば仕事の事を考える • 自由な時間は無い • 自分の時間が作れていない • 仕事が時間内で終わらず、家に持ち帰らなければならなくて、自由が少ない。 • 自由時間の確保ができない • 自由な時間は沢山あるが、なにをするにしても以前程積極的になれない。億劫である。 • 孫の事、夫の事、自分も物忘れ多発 • 家族の世話で自由な時間が少ない • 障害年金くらしで、働いてないこともあり家にほとんどいます。突発的な出費がいつくるかわからないので、ムダ使いできません。 • 育児があり、自由時間が少ない • 現中3の部活の大会も夏で終わり、受験も控えているが、以前よりも土・日・祝で出掛けれるようになった。岩手は自然も多く、施設もある程度あり楽しめる幅は多いと思う。体を動かせる施設がもっと多いと嬉しい。 • 家族の送迎や介護で休日がつぶれる。 • 時間作りができていない • 余暇を全て介護の時間にあてなければいけない • 子育てで1日が終わってしまう • 確保が難しい • 子どもの部活の予定や行事、地域活動などで、ほとんどの休日が無くなるので自分の時間がなかなか作れない。
2 運動や行動の制限の有無	• 毎週、毎日、スポーツクラブ通い日が決まっており、充実している。 • 体を動かすことに制限はない。 • 歩行困難のため、外へ出かけにくい。	• 心臓の病気がある為に制限がある為 • 体の痛みで行動範囲が決まっている • やろうと思えばできるものがある • 3歳児と思いっきり遊べる場所が少ない(冬、雨)	• 運転をしないのでなかなか出かけられない • 毎日の家庭内作業でいっぱい。身体の動きが悪い為 • 子どもの部活の予定や行事、地域活動など

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 送迎ありの施設で運動4時間週2回 • 金銭的に無理 • 疲れやすいため	• 運動や行動の制限がなく、散歩、ラジオ体操などができる • その都度、場所や時間を説明し合って協力している • 制限がないことから朝1時間体操等運動している(4:30～5:30 まで) • 年齢に応じた体力があり行動に制限が無い • 腰の具合がわるく、子持ち(やる気)がおちこむ • 働いていないので時間は十分にある。スポーツや趣味に時間を使う。	で、ほとんどの休日が無くなるので自分の時間がなかなか作れない。
3 文化・芸術の鑑賞	• 頻度は多くないが、スポーツ観戦、音楽鑑賞を行う機会があるため。 • 自分の時間があり、ライブに参加できる。 • 退職し時間があるので県内で様々な施設を見に行っているので • 映画館がなくなった • 美術館に行ってゆっくり鑑賞する時間がある。 • 歌や踊り、絵画などの鑑賞	• コロナ禍で制限されていたことが、ようやくできる様になってきたと感じています。 • オペラコンサート等又絵画等 TV で好んで見ている • コロナ禍がおさまって芸術鑑賞しやすくなった • 家族との鑑賞 • 時間を見つけてコンサートなどを楽しむこともある • 博物館、美術館が身近にある。 • 頻度は少ないが、趣味を楽しむことができている • 天候の悪い時などは、一緒にテレビのｽﾎﾟｰﾂ観戦で盛り上がる	• あんまり興味ない • 家族の介護があり、家をあけるのが難しい
4 スポーツ観戦	• 子育て真っ最中なので、自分の時間を確保するのが難しいが、何だかんだ家族との時間が楽しいから。 • 子どもの習い事の送迎・付き添い • 子供達のスポーツ活動への帯同。 • ビッグブルズの観戦に初めて行った	• 野球観戦(高校野球、学童野球) • テレビでの野球観戦	• スポーツの観戦はすきでよく見る • 野球観戦に球場へ足を運びたいが、仙台へ年1回しか行けない。 • 野球・サッカーetcが大好きです
5 文化・芸術活動の場所・機会	• 映画館がなくなった	• 機会がない、ひかれるﾄﾋﾟｯｸが少ない • 俳句川柳 • 文化祭にR6年に出品し(時々出品)皆の作品も見れて楽しい	
6 スポーツの場所・機会	• 健康の為に施設利用により、交流ができている。 • ゴルフ • この冬期間、趣味のボーリングを充分楽しめている。 • サークルでヨガをしている。仲間と会えることもうれしい時間です • パークゴルフ • 廃部になり、指導・支援の場がなくなった • 仲間とヨガをして交流している	• 運動や行動の制限があり、できないストレス気持ちが低下に対するストレス • スポーツ施設が身近に少ない	• 古い友人達が近くに不在で有る。 • 冬は積雪のため、秋までは熊がこわくて、趣味のランニングをひかえていた • 家族の介護があり、家をあけるのが難しい • 子どもの部活の予定や行事、地域活動などで、ほとんどの休日が無くなるので自分の時間がなかなか作れない。
7 自然(山・海など)と触れ合う場	• 遭難救助訓練を行っている • 登山を行い、生活の一部になっている。	• 遠野市は自然(山)が多く山菜きのこ採り出来る • 自然が多い	• 海釣り • 近年クマの出没により外出をセーブしてい

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
所・機会		• 休日に登山に行ける、温泉にも気軽に行けるのは贅沢だと、年を重ねるごとに実感しています。 • 海辺や山が近く、自然を感じながらウォーキングできる。 • 岩手県内共通遊業券を使い色々な所で釣りが出来る、又道路の整備で海も近くなった • クマ出没だけ、とても不安 • マイナス面。熊出現により山に行かなくなった • 春は山菜、秋はキノコ採り • 四季に応じて自然に触れ合っている • 子供中心の生活	る(野外の散歩など) • 山菜とり渓流釣りも熊が気になって行けない。目と耳の障害のため出かけるのがうっとうしい。 • あまり行けずにいる • ドライブ(子守？)しながら海山などは良く行く • 登山が趣味だが父がいる為ショートステイがとれないと遠出できない • 山に行きたいが熊が怖い
8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)		• 市内ガイド会在籍して僅かの時間を和んでいる • 陶芸や生け花など市が計画してくれてやれた。 • 盛岡ゆうゆう大学・町内会ふれあいサロンなどで学習できる	• 資格・勉強など学べる場がもっと欲しい。
9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	• 調理ボランティア週1回 • 気象予報士として地域で「天気教室」「防災講座」を開講 • 町内会への活動など • 地域の役員で休日などで活動している • 自治会での活動で皆さんとお話できる楽しみあり • 自治会活動 • 忙しいがやりがいがある	• 町内会活動2年目。自学、自習の場でもあり、やりがいもある。 • 自治会行事への参加 • 高齢者ではあるが、これまでの経験を活かし、町内会等地域におけるボランティア活動を通じ地域への恩返しできることを嬉しく、活動を続けている。 • 地域ボランティアや役員として土日が潰れる • 少子化による子供会や、地域の行事の減少 • ボランティアがしづらい世の中？時代？少しだけしている • コロナ以降に地域の活動が少なくなりそのままになっている。 • 近隣の高齢者の通院等の補助をボランティアとして実施	• 高齢化による機会の減少 • 会場遠い所など道路雪ふったり天候悪い時参加したいが思うだけ • 以前福祉関係で週一でボランティアしてたけどもすごくいやな事がありやめました。 • 子どもの部活の予定や行事、地域活動などで、ほとんどの休日が無くなるので自分の時間がなかなか作れない。
10 趣味・娯楽活動の場所・機会	• 趣味が多く、自由な時間を確保するように心掛けている。 • 全て良好 • 身体的には不調が続いているが趣味の時間を確保できるようになり、それを通じて、バザーに参加したり、友人との交流が増えて次へのやる気になった。 • 行ってみたい、体験してみたいと思ったことを優先してできた • 長期連休はいいが、土日だけだと仕事疲れでやる気がでない。 • 趣味の時間が確保できている • 趣味の農業が楽しい為 • 旅行の頻度	• 好きなことを自由にできている。 • 年と共に最近は釣行(海(遠距離))が皆減しました。 • 求めて自分から参加するには、地域的には不便さや交通事情もありおっくうである • 今まで趣味がない為どうするか考える • 趣味の無線の会が年2回談笑のアルコールの会が • 日曜大工程度の物をたまにしていく。 • 公民館でのジャズサークルの活動及びメンバーとの交流 • 自分の好きな趣味をする時間がとても大事だからです。 • 自分の好きなテレビでも(BS)妹の家で見れる事 • やろうと思えばできるものがある • 機会がない、ひかれるトピックが少ない • 働いていないので時間は十分にある。スポーツや趣味に時	• 自由な時間はあるが趣味が無く充実した余暇を過ごしている実感が無い • 趣味を学べるような場がもっと欲しい。去年仕事を辞め、現在主婦だが、次の仕事が決まるまで自分を輝きたいと思っていたが、なかなか勉強・趣味などを学べる場が少ないのが、とても残念でした。 • 会場遠い所など道路雪ふったり天候悪い時参加したいが思うだけ • 近くに趣味・娯楽活動の場所・機会が少ないように感じる。 • 公共交通機関が少ない。又は無い • 家族の介護があり、家をあけるのが難しい

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 源流釣りをしています • マージャン • ライブ参加を年1回は必ず行って、仲間やアーティストに会えることが元気の源元です • TV や読書等退職したからこそ時間を気にしないで思いっきりやれるので • 好きなバンドのライブに行けたこと • コンサートに行って楽しむ時間がある。 • ライブに行きたいが岩手だとなかなか行けない • 50 年以上続けている趣味は公民館活動の一つ • 読書(自宅)	間を使う。	
11 家族との交流	• 仕事をする時間を短縮し、家族のために時間を使えるようになった • 実家の家族との交流 • 子供達のスポーツ活動への帯同。 • 家族と過ごす時間が多い • 娘・孫が海外に移住しており、旅行が楽しみ。 • 全て良好 • 子供や孫との交流が多い • 子供との夕飯時の会話が楽しい • 時間があればドライブしたり食事したり楽しんでいる • 育児が楽しい為 • 幸福感の充実	• 一緒に、温泉に行く • 家族といられるのは重要で大事だと思う。 • 休日はたいてい息子、娘の練習や大会の帯同(コーチとしても)忙しいが充実している • 家族との旅行、買物など • 転職したので大丈夫 • 家族との休日の過ごし方をなるべく充実させている • 子供のスポ少の活動に時間は取られてしまうが、それなりに充実していると思うから。 • コロナ禍で制限されていたことが、ようやくできる様になってきたと感じています。 • 妻との共有時間が多くなった • 子供の応援 • 時間が少ない • 子どもと余暇を過ごせている • 家族で誕生、父、母の日、正月お盆、なにかに付けて食事会 • 土・日・祝の休みが増えた。 • 平日は、近くの実家に顔を出し、週末は夫と出かけている。 • 家族とゆっくり過ごせる • 個人主義となり、交流できていない • 家族はもちろん親戚ともコミュニケーションが取れる事 • 毎週、公園やイベントなどに出かけている。 • 家族が優しくしてくれるので幸せを感じる。	• 殆どが家族との時間 • 家族とうまくいかない • 子どもや孫たちが遊びに来てくれるといろいろできる
12 知人・友人との交流	• SNS にて会えずとも共有したり相談できる • 知人、友人との交流で色々な情報を得、楽しめている。	• 地区の卓球愛好者との交流が楽しい。 • 年齢もあってか、仕事が忙しく友人と会う機会が減った。 • 元職員の同僚、そして小学校からの友人数名とお話しできる	• 高齢化による機会の減少 • 趣味を通じて交流が広がった • 姉2人とやや何でも話せる友人2人

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 長期連休はいいが、土日だけだと仕事疲れでやる気がでない。 • 友人とおしゃべりしている。 • ゴルフ、マージャン • 全て良好 • 友人と食事や旅行にでかける • 友達との会話が楽しい	• 集り等に参加している • 友人とも自由に会うことができる • 仕事で暮れ、これからの近所付き合いを考えている。 • 転職したので大丈夫 • 友人とヨガをしている。家族も大事で私が中心になっている • 友人と遊んだり、交流する時間が大事だからです。 • 同級生友人とは楽しく話合っている • 不満は恋人と別れ、友人も入院していることです。	• まったくないです。コミュニケーションへたで他人はこわいです。
13 その他	• ペットとの交流 • 保護猫を引き取ったことによる癒し • 喫茶店が少なくなった。ショッピングの場所が少ない。スーパーは多い。	• 今女性首相の口がわざわいのもと • Youtube やXなどで活動。調査。 • 温泉 • 休みに平日やらなかった家事や用事をやりがち	• 父の介護で手一杯です。 • 金銭的に余裕がない • 体力低下で思うように活動できない • 仕事を終えて帰宅すると、横になって寝ている事が殆どである。体力的な疲労と昼夜逆転による睡魔で眠っているが、質の良し悪しは別で、定かではない。 • 身寄りのない親族が入院し施設に入ったりと何かとする事が多いので、気が休まらないし時間がないと感じる事が多い。 • 嫁さんがみつかない • 給料が減って、買いたいものも我慢している。趣味や旅行にもお金使えない

(3) 家族関係

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 同居の有無	• 同居をしていない。今が楽でストレスもほぼない。 • 一緒にいて会話が多いわけでもないが、一緒に買物に行ったりして、二人で協力して生活しているので、良好ではないかと思っている。 • 同居家族がいないとフルタイムでの勤務は難しいから。 • 実母との同居 • そばに誰かが居る安心感。 • 4人家族 • 同居していないが、年に数回旅行一緒に行く • 子供達が独立し、食事を10日に一度にするようになった。 • 夫の親と同居してますがお互いの行動には干渉していないので自由	• 長男夫婦と二世帯住宅で同居している。(孫 3 人) • 一人暮らしだが何かあったら子に相談できる。子が5人いるので近くにいる子には相談しやすい。 • 親と同居。今の所、介護負担はない。 • 同居していることで時間を共有できる • 様々な面で家族に支えられていると感じる。 • 完全同居なので、不便も多いがたすえてもらえる • 高校教師のため息子家族とは年3、4回のみ交流 • 同居している義母への対応(病院など)は家族でしている • 義母との同居 • 同居の有無 • 子がメンタルを病むなどして現在別居している • 妻と同居 • 妻と同居している	• いっしょにいるのがいやだ • 同居の親が年をとり、コミュニケーションが難しくなってきた • 祖母との同居が辛い • 子供との同居 • 介護が必要な姑の言動に負担を感じることがある • 夫と同居してない • 妻と同居。子供は独立

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 同居している（高齢にも関わらず）家事頼り大。	• 農業で仕事が一緒なので • 高齢の両親との同居が良かった思うときもあれば、大変と思うときもある。（将来が不安） • 一緒に暮らしている夫がいるので一人ではない • 実父母、義父母との不同居 • 大切な時間 • 一緒に住んでいるので困った時お互い助け合える • 3人兄妹であるが、長女の私だけが父の介護をして同居している • 子供は自立した、時々SNS で会話する。 • 義母との同居で、家事負担が減った。仲が良い。 • 介護に向き合う時間がない • 気をつかう事 • 同居で上手に生活出来ている。家事も分担出来ている。	
2 会話の頻度（多い・少ない）	• 会話が多く、仲良くできている。 • 会話が多い • 毎日、一緒に食事をとりながら会話がある。 • 会話の頻度が多いから。 • 会話は多い方と思う • 何でも話せる • 良く会話をする。話が絶えない • 夫としっかり目を見て会話ができている • 夫とも会話多いし仲良い • 同居している（高齢にも関わらず）家事頼り大。	• 会話を多くする様に心掛けているし、孫の話題・帰省・上京を多くしている。 • 長女が近くに居るので毎日のように家に来る • 子供達も仕事をしている為、頻繁では無いが連絡は来るので、まあこんなものかと。 • 充実 • 妻と 2 人暮らしですが会話は十分有ります • 妻との会話はあるが、息子との会話が非常に少ない。 • 子どもとは会話があるが、配偶者とは会話なし。努力していたが、改善無し。 • 妻との会話が多い • 夫とは会話がある方だと思う • 未婚であることや、母親と 2 人暮らしであったが 2 年前に入院したままで、今は 1 人暮らし、その事で、姉が別世帯だが母親の遺産を生前にほしいと言い出し、私は反対していてケンカ別れ状態で、口もききたくない状況 • 今は両親は亡くなって、独身ということもあって、一人でくらしてます。兄弟は3人で下に妹2人、たまに会って1，2時間話すくらいです。 • 義父母の認知・難聴の為、会話が大声で常に怒鳴りちらしているようで聞くに耐えられない。ストレスを感じる。 • 仕事での悩み等を話せること • 会話の頻度が多い • 暮らしは1人だが、近くに実家があり、姉や父親とよく話をし	• 妻と一緒にいる時間が多く会話が多い • 会話が少ない • 会話をすることがあまりないため • 学費の事でケンカしてから会話が減った • 用事がある時の会話のみ(妻と) • 夫との会話は最小限、ワンオペ • 会話は少ない方だと思う。だまっていてもわかる。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		ている。 • なるべく会話をするようにしている。気づきもあり、お互いの関係に良い影響を与えている。 • 会話は多く、みんな自分のことをたくさん話してくれる。 • 家族とはリビングにいる時間が長くたくさん会話はある方 • 4人家族ほとんど寝るまで茶の間で話している • 日常行っていたものが行えなくなりイライラする • 家内と会話をしながら笑って暮らしている。 • 夫・義母との会話が多い • 大切な時間 • 色々な話が出来る • もっと一緒にいる時間を確保したい(平日) • たわいもない話が出来る相手がいる。 • 会話の多い方と思う。とことん話し合う。 • 仕事や地域役員のため時間がない • 妻と二人だけの生活ですが会話が億、理解を深めあっている。また、家事分担も良好です。	
3 一緒にいる時間(長い・短い)	• 家族や両親の身の周りの世話をする時間を確保できていること。 • 別々に暮らしているので、ある意味適度な長さかな • 他の家より一緒にいる時間が長い。 • 職場も同じためほぼ一緒にいる • 毎日、一緒に食事をとりながら会話がある。 • 配偶者との関係性への変化	• スポーツを通じて信頼関係が築けてると思う • 趣味が一緒でほぼ一緒にいる時間が長い • 一所にいる時間が長いと相手の"つい"欠点をみてしまう。 • 少しの事でも、話し合いで良くなっている事かな? • おやとけんかをしています。 • 子供の面倒を見ている • もっと一緒にいる時間を確保したい(平日) • 一人暮らしだが何かあったら子に相談できる。子が5人いるので近くにいる子には相談しやすい • ほとんど土日は 2 人で行動していますので、良好な関係です。 • 一緒にいる時間長い • 終日妻と一緒にいる • 農業で仕事が一緒なので • すぐに話し合える • 大切な時間 • 仕事や地域役員のため時間がない • 同居で上手に生活出来ている。家事も分担出来ている。	• 仕事のシフトがすれ違いで会話機会が減りがちだ • 妻と一緒にいる時間が多く会話が多い • 毎日一緒にいる時間が長い。もういやだ。
4 家事分担のバランス	• たまに家事を手伝ってくれる • 私が入退院を繰り返してきたので、家事の多くを夫がやってくれるようになった。	• 子供の送迎。日々の洗濯等の分担 • 身体の痛みでやれない家事を手伝ってくれる • 共働きなので、自然に分担、できるほうがやる感じになって	• 家事の大半を担っているが、これで良いのか? • 主婦はいつまでたっても現役家事をしてい

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• お互いに仕事があり休日も合わない時があり • 食器洗い・洗濯物取り込み・清掃 • お互いがお互いを思い合って家事をしている • その日、何の家事をやるか皆で決めている。 • 同居している（高齢にも関わらず）家事頼り大。	いる。 • 共同分担 • 食器洗い • 役割を尊重して生活している • 食事後の食器洗浄等は私がやっている • お互いできる事を分担してる • 家事を多くこなして家族の要望に応えている • 家事仕事の負担が大きいため • 役割分の合意形成 • 夫が仕事しながらも、色々と進んでやってくれる。 • ゴミ出し、フロ掃除、食器洗い、買い物などを行っている。 • 妻と役割分担して暮らしている • 家事を手伝ってもらっていて、とても助かっている。 • 家事はほとんど主人にお願いしている • 同居で上手に生活出来ている。家事も分担出来ている。 • 妻と二人だけの生活ですが会話が多く、理解を深めあっている。また、家事分担も良好です。	て主人は何もしない • 夫婦間の家事分担がバランス悪い • 夫との会話は最小限、ワンオペ、夫と同居してない為、全面的に子育てに時間労力を費やす。
5 ペットの存在	• 猫4匹に家族皆癒されている • ペットの存在は非常に大きい • とてもかわいい。癒される • 猫の世話を協力している。	• 現在猫3匹と生活 • 夫婦と犬の生活であり、ペットに癒しを感じる。 • ペットも家族なので • ペットは癒しです • 帰りが遅くても迎えてくれます	• ペットの存在が関係性に好影響。 • 猫を飼っていて癒されている
6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）		• 地域における活動や健康であることが、妻や遠くにいて暮らす子供達に安心感を与えている。 • 母にとっては、私が自宅の中に居る事が、何よりの安心材料のようだ。私も、母の存在がとても有難く、感謝している。 • 何か困った事があれば連絡はあるので、まァそんなとこですか。 • 家族の様子は良く見ている。常に会話をしている • 子がメンタルを病むなどして現在別居している • 物忘れし直近の事の？が増えている • 子供の面倒を見ている • 夫との考え方の相違、子育ての考え方の違い。収入はあっても支出が多く（食費、通信高、（卒業している）学費ローン、夫への補助、小中学への支払い。	• それぞれ自由に過ごせる時間がある。 • 義母との色々なバランスがうまくできない • 家族が無視する • 自分が家に帰るのが遅かったり、夕食を食べるのが遅くなるため。
7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負		• 仕事を辞めても経済的な心配はしていない。 • 米、野菜を作って、経済的に助かってる • 収入が少なく負担や不安をさせている	• 自分が経済的に貢献できていない。 • 働き方改革で収入が減った • 自分が給料が少なく、家に入れるお金が少

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
担）		• 経済的な協力 • 農業による収入の確保 • 充実 • 医療費が高いので負担に思う。 • 再雇用になったので給与が少なくなった • 年金以外にも収入があり、行楽などが多い。 • 今は主に収入を得て、家族に使っている。 • 仕事もして経済的に今は力になっていると思う • これから年を取っていくので、迷惑はかけたくないなと思っています。 • 子がメンタルを病むなどして現在別居している • 経済的に貢献している • 夫との考え方の相違、子育ての考え方の違い。収入はあっても支出が多く（食費、通信高、（卒業している）学費ローン、夫への補助、小中への支払い。	ないため。
8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	• 何でも相談できる • 夫の存在が頼りになっている • 妻と子ども第一に考えている為 • 時に負担に感じることもあるが、支えてもらっているのも大きいから。 • 配偶者との関係性への変化 • 子供との関わりにストレスを感じている • 病気の前兆から種々支えられ大	• 精神的に助けられている。 • 家族旅行(旅は気持ちを豊にする) • いつも味方がいるという安心感 • 精神障害の甥がいる、その父親である兄はそのムスコがかわいいいだけでまともな判断を失っている。そのおかげでまともな家族関係を失った。 • 苦痛 • 家族には精神面経済的に助けられています • 認知症気味の夫の怒りへの対処 • 妻子と楽しい日々を過ごせている • 介護ストレス • 暴力もふるわれる。自分の部屋を荒らされる。 • 長女、孫が来てくれる • 様々な面で家族に支えられていると感じる。 • 自分の親の介護に対する不安 • 遠くで暮らす子供達や孫達とのラインやメールなどにより情報交換できたり、一緒に集まったりすることが小生の元気の源にもなる。 • 義父母の認知・難聴の為、会話が大声で常に怒鳴りちらしているようで聞くに耐えられない。ストレスを感じる。 • 父が高齢で、炊事洗濯そうじ雑用全て負担である • 家事仕事の負担が大きいため • 転ぶ前に手をさし出されている様な助け方をしてくれる。	• 慣れない介護で気持ちに余裕がない • 自分も、精神的に参って来てる。 • 自分だけに冷たく接する人がいる • 父親とうまくいかない。精神的苦痛。 • 家族の介護と送迎。（近くに住む両親に運転免許がないので、病院、美容院、買物すべて送迎しなければならない事が負担） • 同居人数が多いため、負担が大きい。 • 価値観の相違 • 家族間で改善に向けての話がなかなかできない • 義母との色々なバランスがうまくできない • 何事にも協力的でない • 私自身としてはコンプライアンスの厳守はもちろんだが、家族ができないことを私自身に当たってくる時点で現代社会として責任に問われるところ。（アカデミックハラスメントの程までは該当しない） • 介護が必要な姑の言動に負担を感じることがある

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 家計や進路など大半が自分のため、つかれる • どちらも助かっています • 夫が支払う住宅ローンや車ローン等、支出が多く、私、姑も手伝っている。 • 母、姉が自分の持病に理解を持っている。心の支え。	
9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	• 特に、生活費には困らない • 主人の収入がない • 事業規模拡大に対する人的支援	• 同居の家族ではないから、姉の子が東京に居り、持病があるため毎月の仕送りをしている。姉夫婦は死去しており、後妻はとても酷い人だったため、別居。本人は 30 才過ぎたから仕事できていないと思われる。(通院療養) • 物価上昇により生活費の負担がきつい • 夫が働いていて、充分な所得がある。 • 介護や入院がないので、今のところ良いほうだ • 精神障害の甥がいる、その父親である兄はそのムスコがかわいいいだけでまともな判断を失っている。そのおかげでまともな家族関係を失った。 • 家族には精神面経済的に助けられています • 介護やそれに伴うものの支払い • 様々な面で家族に支えられていると感じる。 • 子供の生活費(大学生)負担である • 家計や進路など大半が自分のため、つかれる • どちらも助かっています • 夫が支払う住宅ローンや車ローン等、支出が多く、私、姑も手伝っている。 • 父が聴力が悪く負担になる。少しわがままです。家族で助け合っているが日々悪くなっている。	• パートで仕事しているが配偶者からの金銭援助がない。(家計分離) • 物価高の影響により、経済的負担が増加しているところ。現代社会、デジタル化が進む今、家族がアナログ化の状態でいるところ。 • 同居人数が多いため、負担が大きい。 • 金銭的な事
10 困った時に助け合えるかどうか	• 1人暮らしではあるが何か困り事があると兄弟が集まって助けに来てくれる • 自分のこと以外に興味がない家族がいるため、助けてもらえるとは思わない。 • 一緒にいて会話が多いわけでもないが、一緒に買物に行ったりして、二人で協力して生活しているので、良好ではないかと思っている。 • 私が入退院を繰り返してきたので、家事の多くを夫がやってくれるようになった。 • 年末年始に皆、孫を含め集まりをもった。お風呂や食事と時々外食を含めてしている。孫の世話も含めて。 • どちらも働いているので家事の分担など	• お互いに困ったときは助け合って生活している • 電話で連絡し内容を聞いてもらう • 家族が大変だと言える関係、助け合える関係 • 困ったときに助け合っている • 困った時等相談相手になる • 兄弟や娘と良い関係 • 今は近くに、親・妹もいるので助あっている。 • 病気や通院など手伝いあっている。 • 上記のようなので困った時助け合える • 一人暮らしだが何かあったら子に相談できる。子が5人いるので近くにいる子には相談しやすい • 充実 • お互いできることをしている。頼むこともある	• 確約できない

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 病気の前兆から種々支えられ大	• 父が素直でなく感謝も全くない • 病気の時、両家みんな助けてくれた。 • 何か決める時も主人家族と話合っている • 転ぶ前に手をさし出されている様な助け方をしてくれる。 • 父が聴力が悪く負担になる。少しわがままです。家族で助け合っているが日々悪くなっている。 • お互いに歳を重ねてきましたがやれること、やれないことをよく話し合って1日１日を大切に生きている感じです。	
11 家族はいない		• 親も兄弟もいません • 自分独り身独身ですが、親の子(自分と妹、妹)3人います。 • 子どもは二人いましたが、二人とも嫁ぎ良いお母さんになっていて孫たちも含めチャット、SNS で十分にコミュニケーションを取りながら楽しんでいます。	
12 その他		• 家族で温泉 • 母は車イスだが母及び妻も今の所健康だから • ひとりぐらしだから	• 見えにくい、聞きとりにくいから
番号記載無し	• お互いに良く話あえて良い関係だと思う	• とても良い関係が保たれていると思います。幸福です。 • 妹に助けられている(同居)	

(4) 子育て

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	• 子供の送り迎え等、協力してくれる家族がいるから。 • 親がボケてしまった。 • 子供を預ける環境が整っている • 近くに祖父母がいるので何かあれば助けてくれる • 子供が病欠の時等、親からみてもらえるから。	• 両親が近くにいること • 環境に恵まれている • 両家ともにとても協力的です。 • いない • 恵まれていると思う • 近くに祖父母がいるのと、職場も理解があるので、子育てしやすい環境だと思う。 • 近場に親類縁者はいない。保育学童等の時間的制約はマイナス要素	• 子の祖父母に放課後みてもらえる • 現在は子育てを離れたが自分の子らが子育てを県内でするには、田舎ほどしんどいように思えてならない(仕事との両立を考えた時)自然、人、食べ物は子育てに良い！ • 両家親に助けられてやっていけている • 知り合いは親に預けている • たよるは義理父母のみ
2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	• 充分に対応していただいている • 近くに保育園児童館がある • 今は保育料も無料化で子供をあずけやすい環境になっていると思う。 • やや満足 • 少しの用事でも保育園で預かってくれる(仕事でなくても) • 保育園の待機がなくなってきて良い	• 葛巻町は幼稚園が無くなり、保育園だけとなってしまった為。 • 私達が子育ての頃は保育園の定員が少なく入園できず、大変苦労。今は子供も少なく解消されている。 • 保育所の先生方には、いつも助けてもらってます。 • 近場に親類縁者はいあない。保育学童等の時間的制約はマイナス要素	• 子供が小さい時は預けられる場所が無く仕事を休まなければならなかった

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
3 配偶者の家事への参加	• 主人が家のことをほとんど行ってくれます • 夫と分担してやっている。 • 皿を洗っていないと不機嫌になる。	• 家事の分担ができること • 夫は綺麗好きで水回りの掃除を進んでやってくれます。 • 恵まれていると思う	• まだまだ女性にかかる負担があたりまえ
4 子育て支援サービスの内容	• 0～1 才の支援は多い。1～4 才のイベント等が少ない。減る。支援センターは総学生以下のため、小学生以上の居場所がほとんどない。 • 給食費無償化はありがたい。	• 病児保育が充実されていない • 昔に比べたらとても充実していると思う	• 充実している • 子育て支援の制度は整備されてきていると思いますが、実態が十分に伴っていないと感じます。 • 医療補助はありがたい • 土日祝日やってくれると安心して仕事ができる。(かせげる)
5 子どもの教育にかかる費用	• 子供が学費が全くかからない進路を選んでくれた。 • 第2、3子無償 • 経済状況が良くないため、子供の望む進学が出来ない • 高校授業料の無償化、公立小学校給食無償化	• 子どもの教育環境に経済的格差が生じている • 教育費が高い。給食費を無料にしてほしい • 子供3人、公立大学まで卒業しているが、当時正直しんどかった • 市の話にはなりますが、未満児保育の無償化をしてほしかったです。 • 最近の子は学校だけでなく塾など学ぶ事が多すぎる • 葛巻には塾が無い為、公的な塾は存在するが、それで十分なのか? • 制服の費用が高い。 • 田舎な為自宅近くに公園もなければ、友達もいない。遊び場に困るのと、これからの教育費など不安。	• 公的支援を拡大してほしい • 収入に大きな変化がないのに対し、子の成長に比例して教育費が上がっている。 • 学費の負担が大きいと感じた時があるため • 収入によって教育費の免除にひっかかっていた • 中学入学時の制服等費用が予想より高くて驚いた。 • 大学生が2人いるのでお金がかかる
6 子育てにかかる費用		• とにかく金がかかる • 大学までのお金が心配。 • 子供の費用が町が助成しているから。 • 子育ては終わっているが北上に孫がいて色々行政のサービスを受けている話を聞いているので • 町の助成等もあり、現在の子育ては恵まれていると思う。 • 生活に必要な物が高すぎて子供を持てると思わない	• 学年が上がるにつき金額が高くなる • シングルマザーなので子育てにお金がかかるのはもちろんだが、生活面(住まい)にかけられるお金がない。 • 習事の費用が高い • 奨学金が結局子供の将来の負担となるほど多
7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	• 休みを手軽にとれる • 体調が優れない時など、すぐ休みが取れる。 • 育児時短勤務	• 仕事が忙しく、子育てがうまくできない。 • 職場が急な有給を使用できないため • 時間の融通がきく • 余裕がある • 主治医に就職を止められているので子供以前にまず恋する人を見つける事すらできない • 母である自分の帰宅時間が遅い • 近くに祖父母がいるのと、職場も理解があるので、子育てしやすい環境だと思う。	• 希望の帰宅時間と実態に差がある • 労働時間が長めのため

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	• 子供の行事等に積極的に参加してくれます	• 専従者なので、子どもの都合に合わせて仕事を抜けられる • 家事や子育てを協力する時間がある • 福祉関連に勤めているが、つらい割に安給だ • 夜勤あり。朝も早く帰りも遅い。 • 余裕がある	• 主人が忙しすぎて、家族の時間確保が難しい • 土日祝日休みでない。朝6時出勤～7時帰宅。・有休無し・正社員なのに日当あつかい。
9 自分の勤め先の子育てに対する理解	• 職場には理解しもらい、休みを取りやすい為 • 体調が優れない時など、すぐ休みが取れる。	• 理解はあるが、忙しい時は残業がある。 • 子育てに関しては、会社は解ってくれなかった。 • 休みを取りやすい • 小さい子への理解はあるが、高校くらいは無理。 • 理解がある • 職場は理解がある	• 短日勤務や短時間勤務等選択可能 • 急に休んでも対応してもらえる。理解してもらえる。
10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	• 休みが取得しやすい職場です	• 休みを取りやすい • 職場は理解がある	
11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	• 医療機関が遠い(盛岡まで) • 大人も含め病院にかかりづらい • 釜石市に小児科や個人病院が少ない • 医療機関が充実している • 少ないため規制を感じる • 選択肢が少ない。集中してしまい、待ち時間が長すぎる。	• 過疎地域での選択の不便さ • 特に沿岸では周産期医療体制が整っていないと感じる • 受診時、近くに良いHPが少なくて、1時間以上かけて受診する事が多い。 • 唯一の病院葛巻病院はあるが、小児科が無い為、他の市町村へ。やはりちょっと遠いかなと。 • 今は医療費助成等もあり恵まれておりいいなあと感じる	• 少ない(居住地周辺) • 町内で診療できる科を増やしてほしい • 充実している • 内科などはあるが皮膚科がない • 現在は子育てを離れたが自分の子らが子育てを県内でするには、田舎ほどしんどいように思えてならない(仕事との両立を考えた時)自然、人、食べ物は子育てに良い！ • 盛岡で土曜の午後に体調を崩すと診てもらえる小児科がない→受診できず、子供が熱性けいれんで救急車で運ばれた経験あり
12 子どもの遊び場(公園など)の充実	• 遊び場が少なく、他県、他市町村へ行くことが多い。 • 子どもの遊び場が少なくなってきて淋しい • 中・高生は目標がある。小学生の課外時間のあり方を考えた方がいい。→地域と相談しみんなが集まる場面を作っていく • 自然は恵まれているが整備された遊び場などは無い • 子供の遊び場がある • 学校、公園が充実している • 少ないため(増やす)	• 不審者がよくいるのと、熊が出やすいので、子供一人で外に出しにくい。 • 子供が外で遊べない • 過疎地域での選択の不便さ • 田舎な為自宅近くに公園もなければ、友達もいない。遊び場に困るのと、これからの教育費など不安。	• 公園や遊具が不足している • 屋内で子どもたちが自由に過ごせる場所が無い • 近所に公園がない。 • 遊具の老朽化や撤去・手入れ不備等、もとあった公園等も使えなくなったりしている。 • 現在は子育てを離れたが自分の子らが子育てを県内でするには、田舎ほどしんどいように思えてならない(仕事との両立を考えた時)自然、人、食べ物は子育てに良い！
13 子どもの習い事の選択の幅	• 近辺には珠算位で選択できない	• 親が送迎しないといけないため幅がせばまる • 過疎地域での選択の不便さ	• 田舎に進学塾等はない

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 習い事が週末に限定される、そして町場に行かないとない • 田舎な為自宅近くに公園もなければ、友達もいない。遊び場に困るのと、これからの教育費など不安。	
14 わからない（身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど）		• 子そだては卒業 • 子育てしていない • 子供がそれぞれ独立したから • 都市部と比べると制限される	• 既に独立している • 高齢者世帯であまり感じない • 子育ても終わった 75 才の私には過去形で語るより⑭にしました • 地域柄(子育て世帯が一世帯のみ)。ここで若い人達は子育ては大変なのでは…。自分の孫はここでは難しいのではと思ってしまう。
15 その他	• 子育ては終了したが家庭や地域の環境を鑑みると子育てはしやすかったと思う • 子育てに関して相談できる人がたくさんいる為	• 子育ては終わっている(4人) • 市内に医療機関がそろっている。 • 言葉の教室場所の学校の設定。設定されない学校の子は親の送迎が必要。開催時間が午後2時～で、ひとり親には負担。(600 円程かかる代行サービスを使えと言う関係者に疑問) • 今は子供と別々に生活しているので子育てには関わっていません • 子供の特性からくる関わりづらさ • 国、全体の問題ではないですか?産むだけ負担の家庭が多い気がする。	• 親は共働きで習い事の送迎を全て担っている • 子育てが終ったので • 子供達は成人している

(5) 子どもの教育

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 学力を育む教育内容	• 葛巻高校は公営の学習塾あるというが、はたしてそれだけで十分なのかな。 • 世界的には高水準。しかし重要な課題がある。文科省と教職員のリベラル、左翼的思想が強いこと。日本の歴史文化を軽視し、捻じ曲げ、軽蔑している人が多い。このため多くの子供達は自国に対して劣等感を抱いている。日本こそ最も理想的で文化レベルの高い国であることを教職員が認識する必要がある。 • 少人数クラスということもあり、フォローが厚いと感じる • 現場の先生方は良くしてくださっている • 今の子供たちの成長の早さを見て、すべての面で教育社会性に小さい頃から力を入れていると思う	• 他県と比較すると学力が下のように感じる • 子供自身が自分で考え行動する力がなくなってきている様な気がする事 • 時代に合わない学校、同じことを一緒に学ぶのはおかしい • 不登校の生徒への教育を変えてほしい。(ほぼ授業を受けられないため。) • 評価、対象内容が不透明 • 学校で有意義に過ごしているから。 • 教師の負担が多すぎると思う。日本の教育システムの問題 • 教科書は紙かデジタルか、良否は今はまだ不明だ。 • 学力低下が見える	• 学習内容が終わらないとよく聞き心配しています。 • 岩手の学力が低いと思う • 子供の学力及び教●の能力が低い • 中学生の息子の学校で点数 20 点以下が 40～50%の時がある。教え方が悪いのか問題の作り方が悪いのか分からないがおかしいと思っている。 • 学習の様子をたくさん伝えてほしい • 学力が低い(他の県に比べて) • 過去の事は忘れてるので • 時代に合っていない教育 • 先生のいうことを聞かない児童が増えすぎて、授業の質が低下している。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
			• 本当に子どものための教育になっていないところがあると感じる • 都会と比べると未就学児の学力を育む所が圧倒的に少ない。
2 人間性、社会性を育むための教育内容	• 小学校の中でしっかりと教えていただいている。 • 人間性の重要性の認識 • 今の子供達には社会性を学んでほしい。 • 世界的には高水準。しかし重要な課題がある。文科省と教職員のリベラル、左翼的思想が強いこと。日本の歴史文化を軽視し、捻じ曲げ、軽蔑している人が多い。このため多くの子供達は自国に対して劣等感を抱いている。日本こそ最も理想的で文化レベルの高い国であることを教職員が認識する必要がある。 • 社会に出て困っている子が多く感じる	• 生きる力をつけることが大事だと思う。 • 子供の数が減る中、小学校の数は変わらないため複式学級が増えているが、今の学校体制で満足のいく教育が得られるのか不安に思います。 • こども園で人間性や社会性を培っている • スポ少を通して育むことができている。 • 先生が大人の対応が出来てない。 • 地域の先輩方とのかかわり。上下関係をもっと責任感と合わせた教育。ex「自分でやって嫌だと思った事はさせない」etc • 子供自身が自分で考え行動する力がなくなってきている様な気がする事 • 自分の子は良くても周りの子はどうなのか • 友達の大切さ、友達が困っていたらどうする？など社会性を学ぶ事が少ない • AIやらの発達で自分で考える事が減っていると思う • お金に対する知識を教育してほしい	• 担任の先生の言動について、校長に相談済。(人格否定に繋がる言動をしない様伝えている) • 挨拶の出来ない、声をかけても答えない子供が多くなっていると感じる。 • 学校行事等に参加しても社会性がない • 教師の質の個人差、高齢者の指導が古く、現代では問題となる様なこともある。 • 様々な体験を通じて社会性を身につけている • 個性を潰す教育 • 先生のいうことをきかない児童を指導できない(叱ったり、厳しく指導したりできない)ため、わがままにふるまう子がまかり通るという教育になっている。厳しく指導すると先生がひどい目にあう。 • 本当に子どものための教育になっていないところがあると感じる
3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	• 特別な活動で、チームワークや上下関係や教え合うしせいがつくられていって良い • 小規模校の為、先生と生徒が睦まじく学校生活を行なっています。 • 充実していないため、スポ少2つ入っている。 • 子供の出生数減少の為、クラブ活動に影響が出ていると聞きます。 • 季節にあわせたスポーツをやっているので。	• 子供が体力低下 • 部活が満足にできない状況が続いている。 • スポ少を通して育むことができている。 • 楽しく部活が出来ている。	• 安全第一すぎて、体力や技術の追求が後回し。マットの前回りができない。しゃがめないなどの児童増えている。
4 不登校やいじめなどへの対応	• 以前より不登校やいじめなど聞かなくなった • 不登校への対応が悪い • こまめに学校生活について担任の先生から連絡があります。 • 今の子供達には社会性を学んでほしい。 • 不登校の生徒が多くなっている中親さんの心のケアーなどもしっかりやって1人で悩みを抱えない制度が充実してほしい • 何がいけないのかということを大人が言っていただ	• 生活指導協議会、地域教育協議会等の会議行事に出席しての様子から • いじめは大人のわからない所であると思っている。対応は難しいと思う。 • 子供たちのちょっとした変化に気付き対応してくださった先生方へ感謝 • 不登校の生徒への教育を変えてほしい。(ほぼ授業を受けられないため。) • 教員のなり手不足で細やかな対応ができるのか？	• 不登校にいじめに対しては徹底的に対策をとってもらいたい。一番大事なことです。いじめなく子供達が元気に学校にいけるように。 • 孫が背が低い事や体育が苦手な事でかなりいじめられた • 教育委員会のレベルが低い • いじめについては対応が難しいところもあり、不十分と感じる。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	いている。	• 0歳からの親の支援、人間性社会性、教師、大人の学びが必要 • 日本の学校では昔から有る問題。人間関係です	
5 学校の選択の幅(高校、大学など)	• 大学が家から遠い • 少子化と過疎化により、小学校から高校までが廃校となり、再編・統合される昨今、進路や職業選択の幅がどんどん狭くなっていることが気がかり。 • 高校が減ってきている • 近くに高校が多いので選択の幅が広いと思う • 中学生で自分でやりたい事がある子供は専門分野のある高校・大学へ進学等するが、まだわからない子供達は、地元の高校が1つしかない。少子化なので高校再編等も仕方ないか。	• 選択の幅は小さいと思った。 • 高校は通学経路も考えると結構広範囲でも可能である • 子供を育てるとき等、大学までを望み自分は働き蓄えを作るため一生懸命でした。スポーツでもそうです。 • 生徒数が減少している高校の統廃校 • 経済的な理由で幅が狭められていると思う。 • 子供が少なくなり選択の幅が狭くなった。	• 大学や学部の種類が少ない。 • 大学へ行きたいのに経済的理由で難しい • 経済的な事情から進学をあきらめる実情がある • 大学が少ない、遠いため、経済的負担がある。 • 我が子が高校に入る頃、近場の高校が残っているか心配 • 選べる学校がない(通学方法がない・親の送迎が必要になる) • 大学が近隣になく、経済的なこともあり、進学率が低く、町発展を阻害している。
6 図書館、博物館、科学館などの充実	• 公共の施設があるのは良いと思う。駐車場など利便性が UP すれば、もっと利用しやすくなると思う。アイーナ等 • 充実していると思う。無料のところも多く、よく利用。 • 充実した施設が少ない。地方なため大きい施設は遠く感じる	• 情報を得て、日程が合えば積極的に利用している。 • 良い施設があるのに、活用が少ないと感じる。 • 専門的知識を習得できる施設がない	• 図書館がなかなか新しくならない • 自分から進んで調べていかないとこういう情報がない。 • 物的、人的充実を望む
7 学校教育における地域学習	• 公共の施設があるのは良いと思う。駐車場など利便性が UP すれば、もっと利用しやすくなると思う。アイーナ等 • 教科の学習が強化された今日にあって、先生方の労働時間管理も当然のことながら縮小の流れ。心豊な青少年育成は誰の手に委ねられているのか。 • 防災に対しての教育不足 • 地域の伝統継承に熱心である		• 地域の偉人である石川啄木について沢山学んでいて凄い • 地域とのつながりが変化なくつまらない
8 地域での教育・学び	• 地域の活動自体が減っている。(指導者不在、クマのため屋外で活動できないなど) • 地域行事に参加できるシステムが必要。 • 防災に対しての教育不足	• 習い事の選択肢は多い方だと思う。 • 地域の方との交流を通して学べる機会があるから。 • 児童センターの利用で学校以外の学びを得る事ができている。	• 先生が見てないところ • どんどん地域の人に声をかけてかかわり、学ぶ機会があっていいと思う • 自分達の地域の特性や行事は地元の人でないと分からない。知る機会があまりない。
9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないな	• まだ生まれたばかりで教育に関してはわからない	• 現在子供の教育に携わっていないが高学歴社会で、大学を終わるのがごく当たり前の時代になっているが、卒業後大学卒でない仕事に携わってる人が多い • 子供は成人している	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
ど)		• 社会人になって家から独立してるから	
10 その他	• 自分がそなわっていない。	• 子どもは全員大学まで行って、皆幸せにしている • タブレットやパソコンを使って、SNSやゲームをする事がすぐできるので、不安になる時がある。 • ハードル上がるいる。検査員の質。 • 近所の子供達にもかかわるようにし、朝夕の声掛けもしている • 保護者が文化に関心がないように思われる。文化施設を紹介しても、大型スーパーやゲームに流れる。 • 教師の負担軽減と地域や保護者への負担増 • 子供の数が減る中、小学校の数は変わらないため複式学級が増えているが、今の学校体制で満足のいく教育が得られるのか不安に思います。	
番号記載無し		• 塾をやっていたが子どもの数が少なくなったのに問題をかかえる子どもが少なくならない	

(6) 住まいの快適

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	• 部屋も多く、災害を受ける可能性があるとも市からお知らせがきたが、引っ越しやリフォームをしたとしてもなかなか金銭が厳しい。 • 土地 100 坪、建坪 50 で満足している • 東日本大震災で自宅が流失し高台移転をしたため • 家族それぞれの室があるので • 高齢となり広い家は不用と思い始めている • 2人暮らしにちょうど良い広さです。 • 昔の家で広いけど使い勝手が悪かったり2階に住んでいると足腰の不安がある為今後の後始末について不安あり • 築 50 年昔風の間取りにて保温環境悪く高齢者夫妻には難	• 介護のためベッドを置く場所がなくリフォームが必要だった。 • 持ち家の為、広さも 45 坪ほどあり、快適といえば快適であり、スーパーも徒歩5分くらいのところにあり利便性がある • 45 年前に建てた家で家族も亡くなり広い • 狭い • 広さがちょうどいいと思う • 家族形態が数年以内で半減、築年数もあるがリノベ等自分の意見が反映されるようになった為 • 住宅が狭い • 広い • 子供が結婚後、孫も増え、お盆、お正月は大変苦労して迎えている。 • 二人の生活には十分な広さで帰省した子供も泊まれる • 築 60 年の家なので特に冬は大変寒い。 • 管理は大変だが、広いと便利な事も多い。 • 子どもが出来たので、広さを検討している為 • 一人暮らしだが不便なく暮らせている • 不満はない	• 一人生活には広過ぎる • 子供が大きくなり、少し狭く感じるようになった • 家族が少なく(3人)なり築 65 年の木造住宅は広いが寒くて古くて維持に大変である • 287 ㎡(2階建て) • 住宅の延床面積が狭いため • 2人世帯には広過ぎて、光熱費が大きい • 自分が整理整頓できていない為でせまい
2 居住形態(持ち	• 築年数 50 年を超えており不安	• 持ち家でゆっくり過ごせている。	• 借家の為

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
家か借家か）	• 建てて日が浅いので快適 • 築 70 年に近いので老朽化が激しい • 持ち家です。家があって生活できてる事が今は幸せです。 • 持ち家のため • 持ち家なので、アパートなどに比べて周りを気にしなくてよい • 持ち家 • 持ち家のため騒音が気にならない。 • 持ち家 • 持ち家ではないが、不自由がなく、特に問題なし • 築 50 年昔風の間取りにて保温環境悪く高齢者夫妻には難 • 概して満足しているが、津波で浸水している地域なので	• 持ち家 • 築 20 年のアパートですが家賃値●げあり • やや古くなってきたが3年前・昨年とリフォームした • 持ち家でコンビニ、スーパー(小型ですが)まで徒歩5分程度。 • 特に、不自由は感じない。 • 家は持ち家、近くに他の家がないので気を使わず生活できる。 • 自分たちの音なども気にならなくなった。 • 同居だが持ち家 • 仕事もプライベートも持ち家で過ごせる • 持ち家 • 持ち家でローンもないのでそこは安心 • 住宅が古い • 借家の古さと小動物の害 • 持ち家なので自由に住んでいるから • 持ち家 • アパート暮らしから住宅を考えたが、盛岡の土地が高い。仙台よりも高く、他県へも移住を考える。 • 住宅ローンが終わって完全に持ち家になり安心 • 実家は古いが建て替えると外構だけでかなり高く、手をつけられない。 • 便利 • 持ち家の為、広さも 45 坪ほどあり、快適といえば快適であり、スーパーも徒歩5分くらいのところにあり利便性がある • 借家が古くなってきた • 家族形態が数年以内で半減、築年数もあるがリノベ等自分の意見が反映されるようになった為 • 持ち家 • 長年住みなれた持ち家で不満はない • 一人暮らしだが不便なく暮らせている • 不満はない	• 持ち家 • ケアホームにすんでいる • 持ち家 • 借家の為 • 広い家なので冬は寒い、夏は暑い。 • 一番近い医療機関までの距離は4㎞ぐらい。スーパーも同様。自家用車タクシーがないと移動ができない • 団地
3 住宅の安全性（耐震、耐火、浸水対策など）	• 1年前リフォーム済 • 新築出来たので安全性・機能性が出来上がった。 • 部屋も多く、災害を受ける可能性があるとも市からお知らせがきたが、引っ越しやリフォームをしたとしてもなかなか金銭が厳しい。 • 東日本大震災で自宅が流失し高台移転をしたため	• 古い街なので、防犯上、防犯カメラなどの設置も無ければ、耐震、耐火など、隣との間が狭すぎで… • 築年数が経過しているため、雨漏りや外壁にヒビが入ったりと、毎年、メンテナンスが必要なため。 • 高性能住宅に建て替えたから • 住宅の築年数がかなりたっているが、子供の大学費用の	• 東日本大震災の影響で地盤沈下になっている。 • 築年数が古いから • 両親の建てた家で 60 年以上も経つけどリフォームもできないので感謝しながら住んでます • 耐震構造だから安心だが、築 20 年になるとあ

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 耐震耐火に備えている • 築 50 年昔風の間取りにて保温環境悪く高齢者夫妻には難 • 大きな地震があると避難しなければならない	為修繕できない • 浸水や土砂災害の危険性が低い場所に住んでいるので • 自宅が古いので少し不安 • 昔の家の為寒くストレスである • 地震により毎回少しずつ家のひずみが広がって、温熱効果が下がっている。戸の開閉しにくくなっている。 • 地震の時、7Fなので揺れますが、津波の心配はあまりない。 • 築 60 年の家なので特に冬は大変寒い。 • 耐震、耐火、浸水対策 • 大雨になると水路が氾濫し床下浸水する	ちこちリフォームが必要。屋根、壁など • 家が古い為 • 技術の進化が進む今、平成より以前に建築された家に対して、アスベストや耐震等管理が徹底されているか気になるところ。(特に空き家) • 古い為… • 築年数が古いので、安全性が心配 • 耐震の心配、築 35 年
4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	• 暖かい • 昨年リフォームしたので、断熱性能が向上し、冬暖かくなった • 上水道、下水道無い井戸水。汲み取式使用 • リフォームをしたことで生活はやや快適になった。 • 断熱性に優れている • どの部屋でも同じ室温であるため(全館空調) • バリアフリーと断熱性が良いので • バリアフリー断熱温熱効果もある • 高齢の母もいるので今は健康だが介護が必要になった時の事考えると不安である • 築 50 年昔風の間取りにて保温環境悪く高齢者夫妻には難	• 太陽光の設置や断熱性能の向上に要する補助が無い、薄い • 夏は暑い • 震災後求めた中古住宅。姑も自身も年令を重ねて、生活するためにバリアフリーは必要だと思うようになった。 • エアコンが無い(夏が大変) • 大工さんに頼んで建てた家で悪質な大工さんでひどい目にあった。 • 古い家なので寒いし暑い。動線が悪い • 介護のためベッドを置く場所がなくリフォームが必要だった。 • 二男が車椅子常用(身辺自立)家は完全バリアフリーで快適 • バリアフリーでなく2階には上がれない • 住宅の築年数がかなりたっているが、子供の大学費用の為修繕できない • バリアフリーなので安心 • 夏の暑さ、冬の寒さ対応が厳しい。 • 冬は寒く、夏は暑い。 • 地震により毎回少しずつ家のひずみが広がって、温熱効果が下がっている。戸の開閉しにくい。 • 気密性が高いので冬でも暖かい。 • 家族形態が数年以内で半減、築年数もあるがリノベ等自分の意見が反映されるようになった為 • バリアフリー • 町内の中心部の近くで利便性は良い • 築 60 年の家なので特に冬は大変寒い。	• 寒い • 築年数が古いため、色々傷みが目立つようになってきた。 • すぐ隣にアパートが建ち、リビングに光が入らなく暗くなってしまった為、日中でも電気をつけないといけなくなった。 • 今年の寒さや積雪では、昔の家(築 50 年)は厳しかった。老人には住みにくいことが分かった。 • 子育て、親の介護の時は、居住形態は快適だったが、夫の身体の障害が重度のため、居住形態が快適ではない。 • 古い家で断熱が悪い • ある年代をさかいに基礎の仕組みと、断熱するしないと分かれ、古い方 • 親が高齢なので古い住宅は不安が多い。 • 和風のつくりのため、部屋の使い勝手が悪い • 将来バリアフリー化が必要 • 両親の建てた家で 60 年以上も経つけどリフォームもできないので感謝しながら住んでます • 家が古い為 • 家が古くなって来たので暖房費がかかる • 築年数が古いので、機能性が低い。 • 暑さ寒さが厳しくなり、家の直しや光熱費がかさむ。高齢になり自分でやれることも減った

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 不満はない	
5 立地の利便性（スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など）	• スーパー、医療機関まで徒歩が可能。官公庁、駅も近い。 • スーパー、コンビニが近くにない • 盛岡駅前に住んでおり車がなくても生活できるので便利 • 徒歩5分以内にコンビニが1件だけある。スーパーまで買物をしに行く為には車が必要だけれども、不便さは普段はあまり感じない。 • 買い物(食品中心)や病院が便利 • ほぼ近くにあり、不自由はない • 立地は良い • スーパー。コンビニ公共施設等 1.5K 有 • スーパー、コンビニ、病院が比較的近い • もう少し高齢になっても歩いて行けるスーパーがある • 割と近くにお店があるので助かっています。 • スーパー、コンビニなど全ての店が近くにある • 5 の買い物難民（地元に商店無）以外環境良 • 概して満足しているが、津波で浸水している地域なので	• 徒歩圏内にコンビニがあること。 • 便利である • スーパーが遠い • 現在は、車の運転ができ買い物ができるが今後が心配 • スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関など利便性が良く又、県内の移動なども不便がない。 • 思い立った時に買いに行ける、病院に行ける距離だから。 • 何をするにも車で約 30 分、バスで 50 分かかる。 • スーパーコンビニ病院郵便局等歩いて5分以内にある • スーパー近くにない。約2km、医療機関には遠い • 車を持っていないと不便 • 利便性を感じれないことで不安が強い • 役場、済生会病院近い • スーパーが近くにある • 医大が来てから、利便性がさらに充実。駅にも近く、静かで住みやすい。 • 車がないと生活できない。交通手段がない • 持ち家でコンビニ、スーパー(小型ですが)まで徒歩5分程度。 • 歩いてでも、買い物出来る所があるので。 • 立地に恵まれている • 車がないと生活できない。店が遠い。公共交通機関が少ない。 • スーパーまで4㎞とちょっと遠い • とても良い • 市街地から遠く不便、駅もなく雪道は恐怖でしかない • コンビニまで徒歩で行けない。徒歩 25～30 分 • 便利 • スーパー等もそれなりに近い。 • スーパーも近いし病院も近いので安心です • 一人暮らしだが不便なく暮らせている	• 利便性良いと感じている • 葛巻町の住民は、皆感じていると思います。大型商業施設まで遠いと。 • 公共交通機関、特にバスが少ない。タクシーは高いと共に殿様商売化で自由に出かけられない • 自動車が無いと生活できない • 遅くまで営業しているスーパー、コンビニがない。 • 商店の減少のため • 回りに店が無い。車じゃないと移動出来ない。バスの回数も電車も少ない • 近くに買い物できるお店がない。（車で 15 分はかかる） • 歩いていけるコンビニがある • 近くにスーパーや安心して通院できる病院がないため • 買物には車が必要である為 • 住み始めたころより、近くの店はなくなり、バスも減少、タクシーもなかなか来ない。
6 公共交通機関の利便性	• 住みやすい地域ですが、バスの路線が少ない。 • バス、電車近い • 家の前がバス停 • 公共交通の便が悪い。自家用車無しでは不便である • 駅までの距離がある。駅までの公共交通機関が少	• 現在の居住地に大変満足している。 • バスが無いので何も出来ないです。 • BRTバス、県交通もすぐ近いので不便無し • 人口が増えている場所なのに、バスの便が悪く、車を利用せざるを得ない(時短勤務に良いバスがない) • 目的地に行く際、時間の不便さがある。	• バスなど、もっと利用したいが、本数が少ない。 • 路線バスがない • 駅までが遠い。汽車やバスの本数が生活にあわない(少なすぎる) • バスの便が少ない

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	ない • 今現在は車を運転できるのであまり不便を感じないが、今後が心配。 • バスや鉄道がある。 • 利便性は悪い • 国鉄駅まで 500m • 5 の買い物難民（地元に商店無）以外環境良	• バス停が徒歩 10 分位にあるので便利。 • 駅が近く高速インターも近い • バス、汽車の本数が少ないです。 • BRTの利用で家から4分程で乗車できる(停留所近い) • バスの回数不足、本線バスとの連絡が不便 • 車を持っていないと不便 • 住んでいるところがコンビニ一軒だけで、買い物はバス、電車で行かなければならないので不便です。 • 市内から遠い • 高速バス停まで徒歩5分 • 車がないと生活できない。店が遠い。公共交通機関が少ない。 • 選択肢の少なさ • 岩泉線(JR)の廃止等、またJRバスの減便等あり、高齢者は大変である。 • タクシー会社がなくなった。バスの本数が減り、仙台まで直通バスもなくなった。 • バス停が近い	• 公共交通機関、特にバスが少ない。タクシーは高いと共に殿様商売化で自由に出かけられない • JR、バスも減便し不便。 • 公共交通機関の運行本数が少ないため • バスが本数少ない • 車社会に依存される今、車社会の依存を見直すべきでは？と思う。(一例として渋滞税をとる等)公共交通機関と車社会のバランスを見直した方がよいと思う。 • バス路線から外された(盛岡市太田) • 住み始めたころより、近くの店はなくなり、バスも減少、タクシーもなかなか来ない。
7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	• のどかです • 5 の買い物難民（地元に商店無）以外環境良 • 概して満足しているが、津波で浸水している地域なので	• 静か。公園も近い • 自然がある • 敷地脇に川があるが、敷地を侵食している。 • 森の中に住んでいるような立地なので自然豊か • 小さな公園が多く子供に良いと思う • 一人暮らしだが不便なく暮らせている	• 周辺環境も良い
8 周辺地域の街並み	• 見晴らしが良い • 満足 • 大きな地震があると避難しなければならない	• 子供を遊ばせるには見晴らしもいいし車通りも少ない・・・が公園が遠い • 孤立感が強い	
9 周辺地域の治安	• 静かで平和 • 安心して暮らせていると思う • 幹線道路から離れているため静か • 隣の住民がいなくなったので… • 満足 • 5 の買い物難民（地元に商店無）以外環境良 • 概して満足しているが、津波で浸水している地域なので	• 熊と不審者がよく出る。 • 昔からの住人 • 地域の関係性が密で、子どもの頃からのつきあいがあるので、接しやすい。 • 治安は良い方だと思う • 空家や耕作放棄地が増えてあきれてきている • 地域の交番のお巡りさんが家庭訪問 • 周辺地域の治安が良い • 一人暮らしだが不便なく暮らせている	• 地域で泥棒がいたが、まだ捕まっていない • ゴミ捨てのマナーが悪い。周辺住民への周知がされずに他地域の人達がゴミを捨てている。ゴミの仕分けができていない。 • 歩道に吐瀉物が散乱していたり、立ち話やたむろされていたりと迷惑行為が増えてきていると感じる。また、狭い歩道に対して、除雪されていなかったり、歩きにくく感じる。 • 変質者出現で夜に警官がでまわったり、不審な勧誘の訪問が以前より増えた。
10 近隣の生活	• 静かで平和	• 借家なので隣の音が気になる。自分も気を付けている。	• 隣の部屋から壁ドンされる

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
音		• 隣家とはほど良い距離がある。 • 野鳥に餌付けをする隣人がいて迷惑なこと。 • 静かな空間である。 • 家は持ち家、近くに他の家がないので気を使わず生活できる。 • 住宅街に住んでいるので車の騒音がない。 • まったく聞こえてこないので。 • 日中はよく車が通り、夜は静かなので寂しくなくうるさくない。 • 気にならない。子供がよく騒ぐが注意がないのでありがたい。 • 一人暮らしだが不便なく暮らせている	• 日中うるさい • 近隣の人の叫ぶ声に時々、大丈夫かと不安になる。
11 近隣の生活臭		• 野焼きの臭いがヒドイ • 鶏舎の臭いがある • 隣家とはほど良い距離がある。 • 一人暮らしだが不便なく暮らせている	• ブロイラーの悪臭 • 金ヶ崎の製紙工場の異臭 • 化製場のにおいが、臭く思う時がある。 • 養鶏所のニオイがひどい時がある • 化製場の異臭に悩まされている
12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)	• 高台住居なれど道路狭く救急車通れないのが不安		• 歩道に段差が多く、杖をついてもつまずく
13 その他	• 項目を並べたら不便な事ばかり。車が無いと何もできない。ただ笑って暮らせている	• 断熱等6以上の住宅が今後は望ましい。 • 家庭環境の悪さ • 隣の家のせいで日陰になる • 海岸近くの立地なので、津波警報発令時はすぐに避難必要。 • やや寒い。全室暖房ではない • 野生動物(クマ、シカ、イノシシ)朝夕の散歩も不安	• 隣の家の人との関係が悪い。とてもストレスを感じる。 • 子供が少ない・世の中の物騒さ・地域の連携の無さ • 自分が、整理整頓できていない為 • 雪が降った時、なかなか除雪をしてくれない。街灯が少なすぎる。 • 近所で餌だけ与えて、野放しで飼っている為、直接話すと後々何かあったら怖いので言えずにいる。

(7) 地域社会とのつながり

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 その地域で過ごした年数	• 幼少時代から慣れたところで生活しているから。 • 41 年過ごしています • 退職して 10 年実家に帰ったが同級生、町内会との繋がりがあまりないので。年1回程度お祭りの時活動のみ。	• 隣近所との面識交流は感じるが、他から越してきて定年まで他の地域に通勤していたため、隣近所より大きい社会とのつながりは薄いと思う。 • 一関に住んで 50 年になり知人・友人隣近所と親密 • 44 年	• 結婚後の住居であるが、仕事をしていたので、地域のことが分からない。 • 今年度から住み始めており、地域行事を知らない。 • 年数が増すごとに過疎化を感じる

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 生れてから今までずっと同じ土地で生活している • 30 年以上居住しているので隣近所とは面識や一部の人とは交流がある。国勢調査員も行なった。 • 出身地、同級生、親のつながり等 • 震災で現在住んでいる場所が 13 年目。震災前に戻りたい。	• 震災後に移住したので年数は少ない • 生れも育ちも地元で学校も仕事もこの地で離れて生活したこと無 • 50 年以上当地に住んでいる • 54 年過ごした • 人生の半分を生まれた町内で過ごしている • よそ者っぽく思われていた時があり、そこからあまり交流を持っていない。 • 永年地元との関わりが多かったので	• 年数は長いが行事参加が少なかった • 引越して、まだ1年以内 • 3年未満なので • 隣近所、顔を見れば仲良く話せる環境
2 自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など）	• 公民館の行事に参加する人が固定している • 朝の清掃などに参加させていただき仲良していただいている。 • 役員をやらされているので、強制参加(やりたくない) • 町内会活動。草取作業。部落会館の掃除。 • 行政連絡員をしている • 近所の草刈りなどはやります • 町内会の役員をしており、毎月の役員会への出席や環境整備などの取り組みをしている為。 • 4月から地域の防災委員を始めた • 年2回の清掃活動などで顔をあわせる。 • 消防団に過去在席していた • 町内活動に参加 • 退職して 10 年実家に帰ったが同級生、町内会との繋がりがあまりないので。年1回程度お祭りの時活動のみ。 • 子育て世代の介入はなかなか難しい • 町内会の役員をさせてもらっており、種々の活動に参加している。 • 周りに恵まれている	• 消防団員で活動を行っている • 家族が役員と交通安全見守りしている • 住民が減っているのに役員の数が減らない • 自治会行事にはできるだけ参加している。 • 地域の行事の時に話ができて情報交換もできる • 自治会の役員 • 田舎だと 10 ㎞位離れても屋号で言うとすぐ解るが、町の中だとせいぜい2～3軒隣くらいまでしか解からない。隣近所の面識少なく交流もない!!自治会、町内会の活動もない。町内会の班長の時少し顔を合わせる程度 • 自治会長、農家組合長等各種役員をやり尽くしたと思っている。 • 行事、活動、それでいいのか、続けるだけではどうなんだろう • 自治会運営の参加 • 自治会活動に参加。道路そうじ等 • 町内会活動への参加で楽しく作業を毎年続けている • 近くの百才体操のお手伝い • 年に数回草刈、ゴミ拾いに出るくらい • 町内会のイベントに参加している • 地域の婦人会、婦人消防クラブに長年参加 • 時々ある集まりには参加し、交流している • 公共施設の庭園の草取り作業に参加 • つながりは感じないが、これぐらいがちょうど良い。 • 自治会活動に最近参加の機会が増えて交流や必要性を感じた • 自発的にではないが、参加することに不満はない。 • 道路そうじ、集会所そうじ、リサイクル当番の参加から • 津波で地域が解散状態の時、自治会がない所に住んでいる。	• 町内活動の内容が分からず、参加しずらい。 • 年2回くらいの環境美化、草とりとか協力している • 自治会に参加、するが、時々くらい。 • 地域行事の減少 • 人口減少によるコミュニティ組織簡略化で約当番が減り、地域活動が激減したため。 • 町内会の解散 • 体が不自由なので、参加してもやれることがないと思ってしまう。 • 町内会の体育部になっていますが、人が少ない。 • 以前は行事などが多かったが、現会計の判断で、活動への参加が減っている。 • 参加してない • 町内会にお金は出すが参加した事も無いし面倒に感じる • 地域とのつながりがない。転勤が多いとなお難しい。 • 班長を行ったくらい。 • そもそも、自治体の広報紙も配られてないので地域の一員とみなされていない。自治会費の集金もない。ただ、特に不満もない。 • 行事の減少、縮小 • 敷地内の草とりには積極的に参加しています。 • 団地内の掃除等はあるが深い交流はない

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 自治会には参加してます • 自治会や町内活動に参加していない為 • 町内会活動が年8回、班長3ヶ月など活動している。 • 自治会の役員4年 • 子育ての時代からこの年まで町内会には関わってきました • 草刈り、ゴミ拾い、公民館清掃などはかかさず参加している。 • 夫と一緒に町内会の役員を 10 年以上やっていました。現在は老人クラブの企画運営が中心ですが地域の方との関りが楽しいと思いながら過ごしています。 • 永年地元との関わりが多かったので	
3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	• 普段は地域との交流は多くありませんが、回覧板などによる情報提供があり助かっています。 • お祭り • 役員をやらされているので、強制参加(やりたくない) • 祭り等への参加 • 部落はなくなりましたが、七夕やしし舞等 • 町内会の役員をさせてもらっており、種々の活動に参加している。 • 周りに恵まれている	• 地域差はあると思うが、多くの活動を開催いただけていると感じる。 • 世帯数が少ないので、半強制的な参加となることが多いのが大変です。 • 球技大会に誘われる • スポーツ大会に積極的に参加している • 地域の生活応援センター等行事に参加 • あまり出ないので • 参加している • 雫石町裸祭りの行事に参加している • お祭りや消防団に参加参加している • 地域の行事にも皆で協力出来ることはし、スポーツ大会にも出ている。 • 夏祭り参加(山車作り、祭りの山車運行等に参加) • 行事の運営には携わらないが、見に行く。 • つながりは感じないが、これぐらいがちょうど良い。 • 他地域から移住してくると、声がかからず、誰に相談していいかも分からない。 • 近隣の友達同士で行い、入る隙が無い。 • 永年地元との関わりが多かったので	• 参加しにくい感じがある • 子供が成長すると関りがうすくなる • PTA活動が終了したから • 地域行事の参加者が減っている。人口も減っているせいか • いろいろ • 地域行事の減少 • 人口減少によるコミュニティ組織簡略化で約当番が減り、地域活動が激減したため。 • 少子高齢化による行事参加者の片寄り • お祭りは好きでよく行くが見てるだけで参加という感じではない
4 学校・子ども会の活動への参加	• 子供会の集まりには行くようにしている • 活動してみると良さが分かるが、なかなか会議等に参加する時間がない • 子供が通っている学校が通じて、地域社会の繋がりは感じる。 • 周りに恵まれている	• となり組や自治会には入っていないけど、それでも集金に来られてしまうのでしかたなく払うこともある。あまりつきあいや知り合いもなくではあるものの、共通の話題で話せる人も少しはいる • 地域差はあると思うが、多くの活動を開催いただけていると感じる。 • コロナ以降、学校行事や子供会の行事も少なくなり、つながりが薄いと感じる。	• 子供の子供会活動で地域にお世話になっている。子供会内の関わりがストレスに感じてきた • 子供が成長すると関りがうすくなる • 子供がいないので、関わりがない。 • 少子高齢化による行事参加者の片寄

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 近所の人々と公民館でのカラオケ	
5 隣近所との面識・交流	• 長期で不在となる時に声をかけたり、日々、様々な情報の交換をしている。 • 良好 • 民生委員ではないが、医療機関への通院、生活相談等への対応をしている。住宅改修等も • 町内会はありませんが何かあれば協力し合えるご近所さんが多い • 基本、朝夕会えばあいさつはし合っている。 • なかなか顔を合わせることがない • 家同士が近くてよく顔を合わせる • 30 年以上居住しているので隣近所とは面識や一部の人とは交流がある。国勢調査員も行なった。 • スポ少を主宰 • 町内会の役員をさせてもらっており、種々の活動に参加している。 • 周りに恵まれている	• 近所づきあいがごく数人しかいない • 近所の奥さん達とかは、会話などしますが、年配の方ばかりなので… • あまり交流はない • ほとんど交流なし。挨拶程度 • 近所や自治会、部落、民生委員など、一人暮らしの老人を守る支援するコミュニティーがある。とても助けられた。 • 挨拶と声がけ • 地域の人はだいたいわかる • 私は 87 才の老人で一人暮らしで居るが近所の人達は声を掛けてくれる • 近所との交流がほとんどない。会うと挨拶する程度で、長話しするこ事もほとんどない • 交流した方が良いとは思っているが、できていない • 日中、あまり隣近所の方と会う機会がなく、知らない人もいると思う。 • 空家が多く交流が少ない • 隣近所の方と立ち話など程度 • あまり交流もない。 • 自治会行事にはできるだけ参加している。 • 隣近所との面識交流は感じるが、他から越してきて定年まで他の地域に通勤していたため、隣近所より大きい社会とのつながりは薄いと思う。 • お隣さんとの元気なあいさつ • 回覧板、区長の見廻り等々挨拶で親近感を保つ • となり組や自治会には入っていないけど、それでも集金に来られてしまうのでしかたなく払うこともある。あまりつきあいや知り合いもなくではあるものの、共通の話題で話せる人も少しはいる • 以前住んでた人々が多いので • – • 隣近所は面識のある人ばかりで交流がある • 面識、交流があることは、安心感の根拠となる。 • 交流がある • 隣近所とも仲良く、自分の畑で沢山収穫した時はお互いにおすそ分けしてくれる • つながりは感じないが、これぐらいがちょうど良い。	• 交流する場面がない。 • 自分の親世代までは地域の交流が盛んであったと感じるが 自分の親の間くらいの世代から少なくなってきていると感じる。 • 若い人との付き合いはない。昔からいる人とは OK • 転居の人が多いので • 田舎なので仕方ないが基本近所づきあいはしたくない • 特にないから • 親戚なので近所とは交流があるがそれ以外はない • 今は仕事して日曜だけの休みの為あまり • 年数は長いが行事参加が少なかった • 以前は行事などが多かったが、現会計の判断で、活動への参加が減っている。 • 近所の人とも話をする事も無い。プライバシーも有るので • 隣近所とはあいさつ程度の付き合い。 • 転入者が多くなっている。交際の機会がない • 仕事が常勤(フル)のため平日・日中不在のため。また上記理由もあり交流ほぼ無し。 • 隣近所、顔を見れば仲良く話せる環境

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 班の人達とは全員面識があり、挨拶する。 • 夫と一緒に町内会の役員を 10 年以上やっていました。現在は老人クラブの企画運営が中心ですが地域の方との関りが楽しいと思いながら過ごしています • 近隣の友達同士で行い、入る隙が無い。 • 永年地元との関わりが多かったので	
6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流（公民館講座、地域のスポーツ活動、スポーツ少年団など）	• 老人クラブの定期的集まりスポーツ • 地域で行っている百歳体操等 • 同じ趣味を持つことで、新しい地域住民と会っている。 • 子供のスポ少、スポーツ推進委員、市の講座 • 町内会の役員をさせてもらっており、種々の活動に参加している。 • 周りに恵まれている	• 交流がない • 県内広域が有る(趣味を通して) • 地域としては、不活発と感じる • ファミリー農園を通じた近所の人々との会話がある • ほとんど交流なし。挨拶程度 • 公民館活動も多い • 近くの百才体操のお手伝い • 上記関係と趣味の仲間(詩吟) • あまり出ないので • 交流によって、楽しめている。 • 趣味の会を通じて交流 • となり組や自治会には入っていないけど、それでも集金に来られてしまうのでしかたなく払うこともある。あまりつきあいや知り合いもなくではあるものの、共通の話題で話せる人も少しはいる • 夫と一緒に町内会の役員を 10 年以上やっていました。現在は老人クラブの企画運営が中心ですが地域の方との関りが楽しいと思いながら過ごしています。 • 近隣の友達同士で行い、入る隙が無い。 • 永年地元との関わりが多かったので	• スポ少に所属しているが、自身が運動不足のため、不参加中 • 公民館活動が少ない • 趣味を活用する活動がもっと欲しいです
7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問		• 見守りがない • 誰が民生委員か分からない。 • 親の介護中も現在一人暮しでも民生委員が来たことが一度もない。→他の地域(市内)の人の話とは、全くちがう。 • 自身民生委員として活動している。 • 民生委員で活動している • 民生委員は何をしているかわからない。会った事も無い。	• 民生委員の方はよく来てくれる • 特にない
8 地域の身近な情報に接する機会	• 地元の消防団活動をやり、地域の環境整備等をおこなっているから。 • 情報が早いので助かっている。 • 町内会はありませんが何かあれば協力し合えるご近所さんが多い	• 高齢化やコロナ禍で交流の機会は少なくなっていると思う。もっと地域で交流するイベントや●●があると良いと思う • 町内会で防犯活動(パトロール)等に参加している。 • 近所づきあいがごく数人しかいない • 良くも悪くも自然に情報が入ってくる	• いろんな研修会などに参加しているが、近隣では行われていないので遠方に行く事が多い • 隣近所と付き合うことが少ないし地域の情報もあまりわからない不安がある

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 町内会の役員をさせてもらっており、種々の活動に参加している。	• あまり出ないので • 夫と一緒に町内会の役員を 10 年以上やっていました。現在は老人クラブの企画運営が中心ですが地域の方との関りが楽しいと思いながら過ごしています。 • 永年地元との関わりが多かったので	• 知りたければネットで検索している • 特にない
9 その他	• 仕事の一環でイベントを企画し、行政を巻き込んで地域、職場で取り組んでいます。 • 30 年以上居住しているので隣近所とは面識や一部の人とは交流がある。国勢調査員も行なった。	• 地域住民の高齢化により、交流の負担増しています。 • 転職したから大丈夫。もう少し貢献したいと思う。 • 地域社会とのつながりは、個々人、コミュニケーションだと思う • 仕事をしているため町内会活動には出ない	• 加齢で外に出歩けなくなった。 • 社会との関わりがないため実感がなくなった。体が健康ではない夫の介護で日々終わってしまうため、仕方ないと思う。 • 借家ということもあるのか町内活動などへの参加有無がない。どんな活動をしているのか全くわかりません。 • 自治会、近所との交流がない為。 • あまり興味がない • 近所(同じ住宅)の人たちと話はするがそれくらいだから

(8) 地域の安全

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 犯罪の発生状況	• 犯罪の話は聞かない • 犯罪が少ないと思うが今後は不安がある。くまの問題。 • 犯罪の発生はありません。 • ほとんど犯罪がない • 地区内での犯罪が少ない • 犯罪なし • 犯罪の発生は少ないと思う。 • 何もない。平和 • この地区に住んで 30 年犯罪なし • 犯罪は無く静かな環境で安全に暮らせていると思う。自宅の防災無線は● • 安全である	• 過去に犯罪に遭いそうになった(玄関のガラスを割っている人と出くわす) • 発生した情報がないこと。 • ほぼありえない環境 • ほとんどなし。 • 大きな事件、事故もなく • サギの電話らしき物が、何回もかかってくる。 • 犯罪等等に不安に思った事はない。 • 近隣の地域において犯罪が発生して警察が来たとか火災の発生、自然災害の発生を聞いたことがない。 • 犯罪は身近では少ないと思う • 犯罪がない • 発生なし • 犯罪はほぼなし • 犯罪の話聞かない • 発生なし • 少ない • 犯罪が少ない • 発生件数が少ない	• 以前隣のアパートにいた方が窃盗で捕まっていたので、アパートには色々な方がいるので怖いと思った。 • 多いと思う • 市内で未成年の犯罪が続いていて、親として心配です。該当の学校では保護者説明会も開かれていないと聞き不安もある。 • あまり聞かない • 外国人の事件が身近で発生している • 時々、同じ地域で薬物所持で逮捕者が出るニュースを見る。 • 現在は犯罪の発生が少ないと思われるので安心だが、将来的には? • 犯罪は少ないと思うが、近年のクマ等の被害が心配です。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 地域で犯罪がないから • 5 年前と 1 年前に自宅前に停めて有る自分の車から、6 万円と 5 万円、盗まれるという事があった、犯人はみつかっていない • 犯罪がない • 空き家の多い地域ですが何事も無いので • ない • 過去、現在に至り発生していない。 • 犯罪が起きていないため • 静かな場所だし、警察署が近いので安心です。 • 身近で聞かない • 近くの市町村では犯罪や熊の被害が聞かれるが(熊は出没しているが)、大きな被害を聞いていない。 • 犯罪は聞いたことがない • 大きな犯罪もなく交通量も少ない所であるが家も周りに建ってきて顔の分からない人々も増えているので少し心配なところもある • 何も起きていないので安全なんだと思う。 • いつ何があるか分からない時代だ • ほぼ聞いた事が無い。 • 町内会活動で種々啓蒙を行っており、効果が実感できる。 • 犯罪の発生少なく、安全だと感じる。シカ、イノシシ等市委託の人が罠で捕まえてくれる • 近所で犯罪はないので安心です。ただ、スマホでは詐欺に注意！ • 犯罪の発生状況(少ない)を見れば防犯体制や交通事故防止などは良好と思います。	
2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	• 警察のパトロールをよく見る。	• 防犯カメラの設置が、まずない • 防犯隊 • 防犯パトロールの人たちが朝に立っていてくれる • 一人暮らしの方を守る支援するために、見守り電話や声がけなど実施。 • 夜は真っ暗で外を歩くのは怖い • 自分が参加している。 • 防犯カメラの設置箇所が少ない。犯罪発生時のことを考えると増設を望んでいる。 • 昨今の特殊詐欺事件を思うと、地域の道路などに防犯カメラなど安全対策がなされていないことに不安を感じる。 • 不審な電話について、役場に相談に行ったらていねいに対応	• 住宅街に防犯カメラが無く、街灯も少なく暗い。 • 近所の人が不審者を見たようだが、街頭防犯カメラがあれば良いと思った。 • 警察官の体制がルーズです • 近所で空巣、不審者などの被害がある。 • 交番に誰もいない • 犯罪は少ないと思うが、近年のクマ等の被害が心配です。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		してくれ、交番につなげてくれた。 • 見慣れない人や事は注目されるから、犯罪者は近づきにくいと思う • 花だんやペットにいたずらされる時があるため • 高齢者が多いため体制としては弱い • ほぼ聞いた事が無い。 • 街灯は少なく、カメラも無い。夏は暴走車が多い。 • 空き地が多いうえに近隣との関係性は希薄であり、犯罪が起きにくいとは言い難い環境である。 • 犯罪の発生状況（少ない）を見れば防犯体制や交通事故防止などは良好と思います。	
3 交通事故の発生状況	• 交通事故昨年1件 • 近所で交通事故が少ない • 交通事故なし • 交通事故が少ない。 • 安全である	• 住宅街だが往来する車はスピード出過ぎだ • 最近、交通事故が多い。 • 発生なし • 発生件数が少ない • ない • ほぼ聞いた事が無い。 • 犯罪の発生状況（少ない）を見れば防犯体制や交通事故防止などは良好と思います。	• 通学路なので、車も行きかうことも多いので。
4 交通事故の防止(歩道の整備など)	• 陸前高田市は整備されている。職場のある大船渡は、改善してほしいところがまだある。 • 歩く歩道が整備されてきている。 • 犯罪は無く静かな環境で安全に暮らせていると思う。自宅の防災無線は● • 安全である	• 歩道の整備は進んでいるものの不十分 • 近くの交差点でよく事故があるが、信号機が設置されない • 周辺にカーブミラーの設置が望ましい。子供が多い事から。 • 今はそれほどでもないが、車や自転車のマナーが悪い • ほぼ聞いた事が無い。 • 街灯は少なく、カメラも無い。夏は暴走車が多い。 • 犯罪の発生状況（少ない）を見れば防犯体制や交通事故防止などは良好と思います。	• 歩道の整備はできていない。車の運転中に子供が飛び出てくる。注意して運転している。 • 通学路のアンダーパスの道の細さや歩道がない所がある • 交通量が増える予定の場所に信号や横断歩道の設置を検討してほしい • スクールゾーンの道幅が狭く車でのすれ違いが危険。又、街灯が暗く少ない。 • 自宅周辺は道幅が狭いにも関わらず、車両の交通量が多い。マンションが建設された事も加え、抜け道に使用する車が増えた。総じて、スピードを出して飛ばす車両が多く運転マナーが悪い。何らかの通行を規制してもらえると有難い。
5 火災の発生状況	• 火災0件	• すぐそばで野焼をされる、もらい火が恐い • 犯罪等等に不安に思った事はない。 • 近隣の地域において犯罪が発生して警察が来たとか火災の発生、自然災害の発生を聞いたことがない。	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 発生なし • 昨年県内で大きな火事があったため • ない • ほぼ聞いた事が無い。 • 地域で防災活動に取り組んでいる • 犯罪の発生状況（少ない）を見れば防犯体制や交通事故防止などは良好と思います。	
6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	• 消火栓、防火槽無し	• ほぼ聞いた事が無い。 • 犯罪の発生状況（少ない）を見れば防犯体制や交通事故防止などは良好と思います。	• 消火栓が少ない • 消火栓近くにない
7 地域の防災体制（自治会・町内会の防災活動、消防団など）	• 安全である	• 町内で「自主防災」のメンバーに入っていましたが、区画整理が始まってからは、自然消滅となっています。 • 地域の消防団が見廻り声かけ運動をしている • 消防団員の減少 • 住民同士が無関心になっている • 年１回災害に関した訓練ある • 活動は精力的に行われている • ほぼ聞いた事が無い。 • 町内会活動で種々啓蒙を行っており、効果が実感できる。 • 地域で防災活動に取り組んでいる • 空き地が多いうえに近隣との関係性は希薄であり、犯罪が起きにくいとは言い難い環境である。 • 消防団組織状況（分団）は半世紀以上も同じで不思議であるし、不経済であると思う。一考を要する。	• 過疎化インフラの低下が著名 • 自治会で防犯灯設備 • 防災体制の書き物は有るが機能が心配 • 若者の消防団員が地区に多くいます。
8 自然災害の発生状況		• 川・山から遠く安心である。 • この地域は自然災害は私住んで(60 年)からはなく安心です。でも昨年 100m先に熊が出たのは驚きでした • 水路が氾濫し床下浸水する • 川が近くになく、高い所にあるため水害は今まで聞いたことがない • 現在自宅ではなく事務所に住んでいます。浸水区域の為日々不安!! • 津波がきても、今の場所は、大丈夫だから • 地震の発生頻度が高い為 • ほとんどなし。 • 海もないので津波もない • 過去、現在に至り発生していない。 • 海から離れているので地震があっても津波は心配ない場所	• 津波浸水区域だから • 大雨が降ると泥とかが流れてくる • 海が近いため津波が怖い • 海溝型の巨大地震、最大クラスの津波がいつ発生するか心配。 • 津波の浸水区域であり、地すべり対象地域でもある。我家はどちらも「ギリ」対象となっている。 • 少ないと思う • 今のところ身の危険を感じる自然災害は起きていないが、今後は不安もある。 • 水害はないが雪害が若干あります • 山寄りの家も結構ある。九月に熊が出た。九月に一頭捕獲した。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 近隣の地域において犯罪が発生して警察が来たとか火災の発生、自然災害の発生を聞いたことがない。 • 発生なし • 個人で防げるものではない • 過去に小規模な災害があったが、今はほとんどない • 地震・火事とも多々あるが、自分の地域で大きな被害が出ていない。 • ほぼ聞いた事が無い。 • 3.11 でも自宅は大丈夫だったし対策もすすんでいると思う。	
9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)		• 北上川、山田線にはさまれていて、河川敷も線路ぎわも草ボーボー。今まではボランティアと思い刈ったがもうできず、シカ、キツネなど出ている。熊も出ると思う。駅前の観光目的の美化ほどでなくていいので、国や JR と協力してせめて歩きやすいくらいに刈って頂きたい! • 地震に強い地盤の建設 • 震災以降、整備されている。 • 現在自宅ではなく事務所に住んでいます。浸水区域の為日々不安‼ • 大雨など、土砂崩れなどの対策が行なわれているかが明確に行われているか分からないため。 • 3.11 でも自宅は大丈夫だったし対策もすすんでいると思う。	• 避難所までが遠いのが心配。 • ずさんな体制でいないか不安。(一例では、2024 年8月の大雨の際に、エリアメールの配信が遅れたこと等) • 河川の整備がおろそか
10 災害に対する行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	• 防災体制はととのっている。 • すぐ防災無線で流す。 • 犯罪は無く静かな環境で安全に暮らせていると思う。自宅の防災無線は●	• 普通の時は十分安心安全な地域と感じていますが、地震・津波の際、直近の宮古短大体育館へ避難すべきだと思うが、宮古市の避難所に指定されていない、市有・県有の話をされるが、それは市民には全く関係のない話である。改善すべきであると思っているが、なぜ出来ない？やらないのか解らない。 • 数年に1度起こるが、災害時の訓練を地域で実施している。 • 岩手山噴火や熊については市で情報を出してくれていると思う • スピーカーが遠く、何を言っているかわからない。(おいてけぼり) • 3.11 でも自宅は大丈夫だったし対策もすすんでいると思う。	• 情報発信でたらめ
11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)		• 北上川、山田線にはさまれていて、河川敷も線路ぎわも草ボーボー。今まではボランティアと思い刈ったがもうできず、シカ、キツネなど出ている。熊も出ると思う。駅前の観光目的の美化ほどでなくていいので、国や JR と協力してせめて歩きやすいくらいに刈って頂きたい!	• 毎年のように食に関する講習を受けている • 市の食改で知識を得ています。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)		• 町内会活動で種々啓蒙を行っており、効果が実感できる。	• 新聞のみの情報である
13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	• 道路は直してほしいところもある。●。動物と共存できるようになると●	• 下水道が心配である • 下水道が老朽化している。先日震度4の地震で折老朽化したボイラー室の水道管の腐食部分がはずれ水害業者に連絡して修理しました。古い所は危険との事でした。 • 家の前の川の河川改修をすると県から説明を受けたが、10 年以上進んでおらず、どうなっているのか不安。(五内川) • 田舎なのであてにならない • 人口減少によるインフラ利用者の負担増(下水道)	• 川の底が壊れている(市に予算が無い) • 空き家が増えたり、人口が少なくなり老朽化が進んでいる気がする • 古い団地なので、更新時期であれば、行ってほしい。
14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	• 早朝から夜間がこわい • 鹿・カモシカの発生で対策に追われて大変である。熊の出没も心配。その他は割と安全だと思う。 • 熊の出没が身近で心配 • 近所で熊が出たりしている為 • 熊の看板(出没注意)が近所にたてられた • クマ被害には人間が●	• 孫達の登下校が車になった • むかしはけもの道。 • 出没の回数が多くなりやや不安です。 • 熊。散歩もできなくなった。 • クマの出現、近くの人がかまれた。イノシシの足跡。近所の空家に、タヌキ、キツネが住みついているらしい • 犯罪の発生少なく、安全だと感じる。シカ、イノシシ等市委託の人が罠で捕まえてくれる • 近年は熊出没のため安全性が低下 • 常に怖い • 何時もいます。出ます。近所の畑の野菜が食べられてる。 • クマが出る • クマなどが目撃すると情報発信をしてくれるから。 • くまが出ている • 熊は恐い • すぐ対応してくれていると感じる(熊など) • 日常的に野生鳥獣が出没している。 • 熊の出没のため散歩をひかえた • シカ、クマの発生をなんとかしてほしい • 熊の情報は放送と共に市のLINEですぐ分かる。 • まわりが山なのでシカをよく見かける • 熊が出るが、学校や警察が注意、対処してくれる • 被害などはないが周辺で出没しているのでこわい	• クマ対策が不十分 • 田舎なので熊も怖いし、鳥獣被害も増えている。 • 熊やイノシシが多く、農作業や子供達の遊びや運動に危険が伴う。 • クマ、イノシシ • 子供を外で遊ばせられなくなった • クマの出没状況 • 近い場所にクマが出ている。 • シカ庭に来ることがある。クマ 100m 位離れた所で被害にあっている • シカ、クマが生活圏内に多く発生、身の危険を感じる。 • クマ • 熊の発生による外出の不安 • 今迄の所、自宅の間近まで熊や獣の出没は無いが、北上川や下の橋周辺で目撃されているので、恐怖や不安はある。 • いつ死ぬかわからないと思うと怖い • 早く対策するべき • 熊・猪が多い • 熊が多い • 近くで熊の出没情報があり、散歩の際は

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• すぐ裏が山で、庭や縁側に鹿が来るので怖い。熊も今は落ちついているが、動物が身近にいるので、うまく付き合っていきたいと思う。 • 昨年の野生獣の出没状況を思うと、近くでも熊や鹿などが出没しており、被害が発生していないものの日々の暮らしに不安を感じる。 • 獣の発生はあるので、ここは気になる。 • 近くの市町村では犯罪や熊の被害が聞かれるが(熊は出没しているが)、大きな被害を聞いていない。 • 自然相手の問題。山林の動物の食糧調査の実施!! • 近郊に出没の情報があった(鹿、熊) • 町内会活動で種々啓蒙を行っており、効果が実感できる。 • 熊の出没が多い。鹿にあっては役場も警察も相手にしてくれない • 田舎なので出没するのが普通 • 里山の管理がされず、野生動物との生活圏が変化しており、外出を控える等の影響を感じる。 • 熊が多いと思う。森を大事にしたい。	気を付けている。 • 熊が出る • 去年が多かったので。 • ずさんな体制でいないか不安。(一例では、2024 年8月の大雨の際に、エリアメールの配信が遅れたこと等) • 最近(特に昨年)の熊の出没状況をみても、とても安心して外を歩けない。共存など無理なのではないか?とにかく情報をきちんと出してほしい。出没情報など受信した頃には、既に熊はどこかへ移動している。 • 環境整備が追い付かずあきれている。よく見かける • 野獣対策が進んでいない • イノシシに畑や田んぼを荒らされた • クマの出没があっても自治体での対策がない • 犯罪は少ないと思うが、近年のクマ等の被害が心配です。 • 山寄りの家も結構ある。九月に熊が出た。九月に一頭捕獲した。
15 地域の安全に関心がない		• あまり意識したことがない	
16 その他	• 町のLINEで、災害や防犯、熊など情報発信され、非常に役立っている。	• 何が起こるかわからない世の中、皆で気をつけて生きる時代だと思います • ネコを飼っている人が責任感がなくてただエサをやってあとはフンの始末などタレ流し状態で、ネコは畑などでフンして大変迷惑で 20 匹も飼っていて保健所と話してようやく解決しましたが、ネコは犬より始末が悪くて提案ですが、ネコにも首輪をつけて登録制にできないものでしょうか。ただネコにエサをやって知らんぷり外においたままの飼い主もいるので、ノラネコ、飼いネコ周辺に迷惑をかけない対策ないものでしょうか よろしくおねがいします。 • 「自治会内に事件がない」という程度の安心感 • 車道も歩道も、除雪がされていない日がある。	• 自宅前で、小便や大便をする人がいる(異常) • 周りにどんな方が住んでるかあまり分からないので、どちらとも言えないが今の所事件などは無いと思う • 不審な車の徘徊、不用品買取業者、夜中の無言電話(同地区、同時刻に発生が数回)

(9) 仕事のやりがい

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 現在の職種・業務の内容	• 訪問介護 • 寺男 • 23 年この仕事しているので、それなりの責任はあると思いますが、再雇用という事なので(定年過ぎたので)必要以上には頑張らないです。(笑) • 子供にかかわれる仕事で楽しさがある • 現在の職種は需要が高まっているものなので安泰だと思っている。 • 設計業務にやりがいを感じている • 身体の悩みに寄り添う仕事 • 農業(定年後の仕事)は米価が高くなって来た。やや感じる、野菜も殆んど自分で作ってやりがいを感じる • 農業 • 現在福祉関係での仕事 • 今は、会社を辞めて個人でやっていますが、もう少し仕事がないと、収入が不安です。 • 仕事が無くなる事がないから。 • 異動の為、配属先(職場)が変わった。業務内容を一から改めて覚えていく事は難しいが、挑戦でもあり有意義である。 • 農業者が減っているのでこれから必要になると思う • 自分の資格を活かせている • 衛生的である • 職種・就業形態・福利厚生にはある程度満足している。 • 自営業の為 • 学びがいのある仕事だと思う。	• やりたい業務ができている。 • 自分が学んだことを活かせる • 仕事が合っている • 定年後に転職して新しい事にチャレンジし、業務・作業に満足しているが給料の額が少ないと思う。 • 小さい農業ですが、年齢に合わせて楽しくやっている。 • 子供の保育に従事していてやりがいがある • 仕事させてもらえない • 順調 • 良好 • トップダウンの古い考えがまだまだあり、つまらない • 必要な仕事だと思える • カキ養殖 • 仕事は合っているし、人間関係良好、しかし沿岸地域は収入が少ない。 • 以前はNPO法人の経営にかかわっていたため現在は気楽に仕事できる • 社会とつながっていることで、やりがいを感じる。 • お寺の清掃 • 仕事の内容は自分に合っていると思う • 自分の土地を管理・活用している(農業) • 家業の手伝いをしているので収入はないが必要とされている • 年の為体がだんだんきついが楽しくやりがいがある。 • パンづくり • 業務内容と休みのバランスが取れていると思う。収入はまあまあ。 • 人のためになると思う • 現在の職種は将来安定性があるため • 医師事務作業補助を行っています。医師不足に加え、患者数の増加。医師の負担増加を感じており、少しでも力になれるよう尽力します。 • 賃金的には満足ではないが、地域住民のための仕事内容だから • 自分がやりたいことで、人の為になることができるかもしれない。 • 具体的な専門業務	• 仕事内容が変わり、やりがいが感じられない。 • 負担ばかりが大きい • 定年前に新しい業務にされた • 漁業に従事したが現在の不振、将来性の減退感じる • やりたい仕事ではない • 総務のため、仕事の成果が目に見えにくい。 • 街の電気屋として人の役に立っている実感があり、とても嬉しく思う。 • 社協の障がい福祉課生活支援員だが、劣悪な仕事環境である。 • 仕事は好き • この仕事をしてつまらない人生を送るのかと思うと今の仕事でいいのかと思う。 • いろいろまかせてもらえるようになった • 仕事はある程度やりがいを感じているが、仕事の困難さや量に給料が見合わずモチベーションが下がる。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• サービス業で必要とされる仕事なのでやりがいはあるが 65 才、体力の退陣もありパートになり仕事するか悩んでいる • 業務内容と収入が釣り合っていると思う為 • 地域に必要な業務という認識 • バスの運転士 • つづけていけば何とかなる • 私は掃除屋です。誇りをもっている。	
2 業種・業務の将来性	• 満足がいく給料をもらってはいるが、業務量が多いので、パートさんを増やしてほしいと願っています。 • 現在の職種は需要が高まっているものなので安泰だと思っている。 • 農業者が減っているのでこれから必要になると思う	• 人にたずさわる仕事なので。 • 小規模農家は将来不安定 • 順調 • つづけていけば何とかなる	• 後継者不足、果樹園の経営 • 昨年よりも業務量が減り将来的に大丈夫なのか心配なところ • 建設関係の仕事に若い人がいない • 水産業なので忙しい時とそうでない時の差がある。 • 漁業に従事したが現在の不振、将来性の減退感じる • デジタル化、AI化が進み、60 才を過ぎた自分にはわからない事が増えてきた。病気の事もあり、いつまでできるか不安もあるが、お客様は自分より高齢なので辞めるわけにもいかない… • 医療職への将来的な見通しが良くない
3 就業形態（正規・非正規など）	• 現在パートの為。 • 職種・就業形態・福利厚生にはある程度満足している。	• 非正規で不安定 • 仕事させてもらえない • 良好	• パートから正社員になった • 単年度契約の仕事なので、不安定なためやりがいが削がれる。
4 業務の量	• 周りがカバーしてくれるので時間内に終わる • 基本的に残業はないが隔週の土曜出勤はやめてほしい • 基本的に夜勤が殆どなので、拘束時間も実働時間も長く、体力的負担は大きいけれども、概ね個人個人の希望にそった形で、休日も取れるので助かっている。	• 育休明けで時短勤務だが、業務量は変わらず、むしろ増えている気がする。やりがいは感じるが、給料が見合っていない。こなした分、上げて欲しい。職場初の時短勤務希望者だったそうで、いろいろ整っていない。 • 仕事の量が多い • 自分の能力にあっている • 4と5のバランス • 業務量や分担が曖昧 • 以前はNPO法人の経営にかかわっていたため現在は気楽に仕事できる • 収入と仕事量のバランスが悪い	• 安定した職種であるものの、業務量が多くマイナスに感じてしまう。 • 産休で補充されるが、責任ある仕事を任せられない時間外が当たり前の業務量だが、認めてくれない。 • 多すぎる • 沢山仕事量があり頑張っても終わらない。まさに社畜。 • 仕事はある程度やりがいを感じているが、仕事の困難さや量に給料が見合わずモチベーションが下がる。
5 現在の収入・給料の額	• 不安。物価高に対応する額がほしい。 • 自分から社員からパートとなったが、パートなのに社員より知識がある為、複雑な業務をやらされ、でも、	• 昇給が続いている • 76 歳としては給料が高く安定している • 人口が少なくなっているから。	• 物価上昇に対応できていない • 技術的金額でない • 収入が少ない

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	収入は社員より少ない(あたりまえですが…) • ボーナスがない • 何年いてもほとんど基本給があがらない。 • 転職した事により収入は増加したが、仕事は高度になった。 • 定年になった事で収入のダウンは、ま…仕方ないかぁ。子育てが終わったので、まぁ収入ダウンでもいっか…今更仕事変えるのも大変だし…と言ったとこです。 • 満足がいく給料をもらってはいるが、業務量が多いので、パートさんを増やしてほしいと願っています。 • 同年代、日本の平均給与から見ても多くもらっている。	• ボーナスも出るので • 仕事の注文が多く忙しいので休日出勤などで収入が多くなっている • 定年後に転職して新しい事にチャレンジし、業務・作業に満足しているが給料の額が少ないと思う。 • 退職延長で仕事内容が同じなのに給料が3割カットされている!! • 年の割には良いと思っていた。 • 4と5のバランス • 収入はかなり少なく不安である。 • 満足ではないが、限度なのか • 業務内容と収入が釣り合っていると思う為 • 収入と仕事量のバランスが悪い • 転職するから大丈夫	• 今後増えるのかが若干不安…このままだとキビシイ。 • 低い • 物価が高くなっているのに収入・給料の額が上がらないため • 一つ下の子は、私が1年目こなしてた仕事より凄く少ない仕事量で、私が1年目の冬のボーナスもらった2倍もらってた事。真面目にやってる意味とは…。多分賃金アップ?か何かしたからだと思うけど複雑。 • 仕事はある程度やりがいを感じているが、仕事の困難さや量に給料が見合わずモチベーションが下がる。
6 将来の収入・給料の額の見込み	• 不安。物価高に対応する額がほしい。 • 繰り上げ受給の(年金)の手続きをしたので、年金をもらいながら仕事していこうかなと思ってました。	• 自分の力で上にいけるので。 • 昇給が続いている • 再雇用になったので給与が少なくなった • 人口が少なくなっているから。 • 将来を見通せない	• シルバーで仕事をしているが年数のしばり等がある。会社訪問等で仕事をもっと増やしてほしい • 以前はやりがいもあったが、今後の見込みが落ちている事や長年やって飽きてきた事もあり、今の業務がなくなった時の収入が不安。 • 将来の収入に夢が無い • 定年後の収入がどうなるのか不安(教えてもらえない) • 低い • 医療職への将来的な見通しが良くない • 仕事はある程度やりがいを感じているが、仕事の困難さや量に給料が見合わずモチベーションが下がる。
7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	• 職種・就業形態・福利厚生にはある程度満足している。	• 毎年昇給して、休みもしっかしている • それなりに休暇も取れている • パートでも良い方か。	• サービス残業が多い • 休暇取りづらい
8 現在の役職(職場での地位)	• 管理職としてやりがいを持っている	• 事業から身をひきたいが、従業員がいるので、辞めれない。	
9 将来の役職の見込み		• 転職するから大丈夫	• 臨時職員なので退職金がない
10 職場の人間関係	• とても良い	• 職場の長が変わり、正当な評価のない職場に変わったため。	• 場を乱しがちな人がいるので、やりづらい時がある

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 良い関係がある • 我慢して働いています • 今まで仕事をした中で一番人間関係が悪い。 • 上司のパワハラ • 人間関係が良い。有休、産休、育休がとりやすい。 • ハラスメントもなく、職場内の人間関係が良好 • 社会とつながっていることで、やりがいを感じる。 • 人間関係も良いと思う • みんなと仲良く出来ているので。 • 以前はNPO法人の経営にかかわっていたため現在は気楽に仕事できる • 転職するから大丈夫	• 態度が人によって変わるので、嫌気がさす。 • 若年者の消極的姿勢、主体性の無さ • 若い社員との関係 • 人間関係に振り回されてしまう時がある • 職場での人間関係がうまくいっていないため • 単純に雰囲気が良くない
11 職場環境(オフィスの立地など)	• 家から近い	• 自宅からも近く、勤務時間も短い為、家族の事などで時間が取れたりしてる。(最低賃金、保障もなし)だけど… • 家が近くて便利。街の中で、金融関係の施設が身近。	• 部屋が狭く、伸び伸びとした環境下でない。 • 2 階から雨漏りがする • 問題が山積みなのに解決する姿勢が見られない
12 職種・業務に対する周囲の評価		• 社会からの期待が大きいこと • お客様が判断してくれている	• 介護の仕事をしているが賃金が安く、ボーナスもない。
13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	• リスクがほとんど無い • 安定性はあると思う	• 正社員ではないので不安なところもあります • 安定はない。	• 物価高で家を建てる人が減った • 水産業なので忙しい時とそうでない時の差がある。 • 問題が山積みなのに解決する姿勢が見られない
14 専業主婦・主夫、又は家事手伝いである		• 退職してからは家事とか家の仕事のみですが、でもやりがいは感じます	
15 元々仕事をしていない(学生など)			
16 以前仕事をしていたが、今はしていない		• 年金暮らし。仕事はしていない • 年金生活です • 定年退職し、今は自営業(農漁業)で自分の能力に合わせてはたらいている • 仕事は基本。やりがいがあった	• 退職後数十年経過している • 病気発症後、1・2の理由から休職中
17 その他	• 充分貢献できていると実感できている。 • 時間に融通がきくので子供達の送迎もできる	• 泊りがあるので体力的に大変 • 仕事の拘束時間が長い	• 私は前に書いた通り 83 才です。仕事は細々とやっております

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 土・日・祝など保育がキャンセルになると有休を使う意味がわからない		

(10) 必要な収入や所得

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 自分の収入・所得額(年金を含む)	• 不自由なく生活できている。 • 主人と2人で年金生活ですが、生活をするのには困っていません。通販も利用し、楽しんでいます。 • 現在、年金生活であるが、年金3ヶ所、配当所得があり、生活には困らない。就業時に将来の為に貯蓄していたもの。 • 年金含み手取り 28 万円 • 収入は悪くないと思う • 自分の所得が増えたので • 年金月●●●円で生活している。借金もなく収入の範囲で暮らせている • 定年になった事で、減額となりましたが、最低賃金の変更や、年金を受給する事にしたので、まァなんとかやれるかなと思っています。 • 生活費のために役立っている • 衣食住に必要な分はほぼ賄っているが、不足感はある。 • 生活するのに特に不便はない収入である • 急激な物価高に対し、年金は上がらない。稲作農家であるが7年産米の概算金は上がったものの、干ばつで収量大幅減となり、米価上昇のメリットなし。 • 退職延長なのに給料が3割カットされている • 物価上昇が生活を圧迫している。 • 仕事の責任からしてどうなのかなと思います • 自分と主人の年金(遺族)でやれています • 給与が少なくなった • 生活できている • パートで 10 万くらい • 自分の収入で家族を養えるから。 • 実家で暮らすにおいて満足できる生活がおくれる程の収入をもらえている。 • 転職し、収入は増加したが… • 自分の生活費を自分で作れている。少したりないく	• 自分の収入に満足している。 • 年金生活ですが、健康状態もよく元気に暮らしている • 何年働いても最低賃金とほぼ同じため • 厚生年金を 70 才まで納め、73 才まで就業していたので、今後に心配していない。 • 年金だけでの生活は厳しい(物価高騰) • 年金生活です。少ないです。生活は苦しい • 定年後に転職したが、これまでの生活を維持していけるほどの収入が得られていない。 • 物価高なので、給料上げてほしい。 • 現在の世帯年収は申し分ないと思う。 • 所得額が少ないところ、物価が高く、インフラ代も高い。不足分は借金するが、借金も増え続け、いずれは生活保護が必要となる事も近い • もっと増やしていかないと思っている。 • 近年の物価高で収入が十分とは思えない。早く賃金を上げてほしい。 • 年齢の割には働いて収入を得ていると思う • 安い‼ • 計画的に貯蓄している。投資も考えている。 • 昨年、米価が良かったので • 厚生年金と米造りの収入しかない。年間 300 万位、厳しい • 手取り 15 万でなんでこんなに税金とられるのかわからない。年金も月9万。いくらなんでも格差ありすぎ。おかしい • 収入は多いと思う(その分の仕事はしている) • 少ない • 収入が少なく • 決して収入は高くないが、0よりは良い • 自分一人の収入では生活していけないと思うが、家族の中に居る分にはなんとかなるという感じです。 • 年金と所得でなんとか暮らせるのでありがたいと思う • 現在は求職中で退職金で年金受給まで行ければと思ってほそぼそ暮らしています。2人暮らしなので良いかな！と感	• 昨年春まで常勤で働いていたが、パートで働き収入が減少 • 収入が上がらない。物価は高騰している。 • 最低賃金、雇用保険なし • 年金額が少ない。 • 年金の生活ですが苦しい • 就業形態や業務の質が同様であるのに高齢者の収入が低い • 自分と妻の年金で生活しているが、借金もなく、生活の程度は皆と同じ位ではないかと感じ、上を向いてもキリがないと思っている。 • 給料は高いとは言えない • 自分が仕事を辞めてしまったので、家庭の収入も減ってしまった為。 • 収入が少ない。生活にこまっている。 • 年金収入しかない現在、持病の悪化で医療費の支出の方が多くなっていて生活が苦しい。 • 自分が必要としている収入・所得額が少ないため • 収入よりも支出の方が上まっている。 • 自分の収入だけの生活で大変 • 年金のみ • 年金 • 20 年近く給料が同じ • これからを考えると不安 • 非常勤だが、勤務日数を増やしてほしい • ひつようなぶんはたらいています • 自分の現在収入は良い • 家族の支出分をまかなえない。 • 一人で暮らしていける年金である • 失業したため • 物価が高すぎて月々の支払が大変で毎月カ

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	らいだが借金もない。1人なので楽。 • 将来一人暮らしになった時、やっていけるか不安。社会保険等を取りすぎ。年金ももらえないと思う為。 • 満足 • 時給の給料で上限がありダブルワークが認められない • 今の所、収入には困っていないが税金が多いと感じる。 • 地域からいって収入は多い • 定年して嘱託になり収入が減った • 仕事に見合った所得だと思う。 • 共働きなので生活に困らないから • 年金生活者なので生活は楽では決してないが、ｽﾎﾟｰﾂ(年会費の安いもの)をし、地域の人達との交流を保っている。 • 障がい者年金のみだが一緒なので多い方だと思う。	じています。 • 年収 200 万 • 仕事は合っているし、人間関係良好、しかし沿岸地域は収入が少ない。 • 本来であればもう少し多くもらえるはずでした • 年金収入のみで、物価高や交際費(お悔やみなど)などで、大変さを感じている。 • 生活して行くのに困らない • 物価が高くなっているので賃金がさらに上がらないと厳しいと思う • 年金収入だけなので、大変である • 余裕がない収入、手取額の不足。 • 2人の年金で不足はない‼ • 自分と妻の年金で現在の生活を行う。預貯金への余裕無。病気治療は保険金で助かっている • 年金でやりくりしながら生活している • 障害年金は不支給とされたが、だからと言って一般就労はどうしたらいいものか。 • 会社が倒産して収入が減った • 夫、自分、長い間会社員だったので • 余裕があるとは言えないが体力的に限界 • 年金だけで2か月 10 万ちょいです。突発的な出費がない限り、今の収入でギリギリ生活できてます。 • 営業収入年金収入は十分である • 年金生活、何とか現在生活している。 • 生活普通です。収入･所得は普通です。税金が高い。 • 世帯の収入で、生活できる。 • 仕事内容に見合った収入じゃない。ボーナスもなく、やる気が出ない。 • 年齢からすればいい方かな • 介護保険料が高いなと思う。 • 自身の収入はそれなりに確保しているものの、物価上昇に追いついているとは感じない。	ツカツの生活をしている。子供がいる世帯にだけ恩恵があるようで1人暮らしは大変 • 子どもが出来たので、収入増加を目指している為
2 家族の収入･所得額(年金を含む)	• 夫と自分の年金でどうにかで入院の時保険を解約しました • 同居の弟が転職し、収入が上がった為、家計を支えてくれている。 • 夫が収入を得ている。	• 夫婦で一馬力で毎日大変。 • 夫の障害年金だけの生活は大変です。夫のリハビリ機能回復を祈るばかり。 • 自分は収入はないが、夫が働いているので、収入がある。 • 家族の収入あるかもしれないが、固定経費もあり、税金が	• 夫の収入と労働条件がひどい • 収入が上がらない。物価は高騰している。 • 収入よりも支出の方が上まっている。 • 義母、夫とも年金が少ない • 夫は働いていないし、娘はバイトで自分が扶

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 夫は公務員なので安定はしている。 • 夫の収入が充分にあるが納税額に見合った恩恵を受けていないと感じている • 主人と2人で年金生活ですが、生活をするのには困っていません。通販も利用し、楽しんでいます。 • 妻と現在2人暮らしなので、妻も働いているので、まァ今の所は、なんとかやっていけるのではないかと思っています。 • 生活費のために役立っている • 自分と主人の年金(遺族)でやれています • 共働きなので生活に困らないから • 年金生活者なので生活は楽では決してないが、ｽﾎﾟｰﾂ(年会費の安いもの)をし、地域の人達との交流を保っている。 • 父が資産の貯金を1000万円持っているが贈与の手続きをしないのです。父は面倒な書類を書けないので。	多すぎる。 • 家内も健康状態が良く仲良く暮らしている • 現在の世帯年収は申し分ないと思う。 • 所得額が少ないところ、物価が高く、インフラ代も高い。不足分は借金するが、借金も増え続け、いずれは生活保護が必要となる事も近い • 年収 200 万 • 2人の年金で不足はない‼ • 自分と妻の年金で現在の生活を行う。預貯金への余裕無。病気治療は保険金で助かっている • 夫、自分、長い間会社員だったので • 夫婦2人の収入は十分である • 生活普通です。収入・所得は普通です。税金が高い。 • 世帯の収入で、生活できる。 • 介護保険料が高いなと思う。 • 自身の収入はそれなりに確保しているものの、物価上昇に追いついているとは感じない。	養している。 • 家族の収入が少ない
3 自分の支出額	• 特に大きい金額のものを買うことが少ない • 自分の支出が少なくなった • 浪費しやすいが、分割払い等、組みすぎていないか不安。(私自身こそキャッシュレス化が進むにあたり、あまり組みすぎたりしないようにしている。) • 店の家賃、光熱費などの経費などで、せっかくの収入がほぼなくなる…。 • 家族が年金受給者なので生活費の出費が現状辛い為 • 生活用品は自分の好きな物は買えないが、たまに少額のお気に入りの物を買って満足するよう工夫して生活している。借金は残したくないし、身体が動かなくなっても施設に入居出来ないので、今は皆と楽しくやれる公民館での集まりやスポーツをして身体を動かしている。	• 医療費が多い(高額医療) • 引っ越したことで支出額が変わった(増えた)がどうにか足りてる • 近年の物価高で収入が十分とは思えない。早く賃金を上げてほしい。 • 多い • 自分と妻の年金で現在の生活を行う。預貯金への余裕無。病気治療は保険金で助かっている	• 給料プラス願う • 物価の高騰により出費額が増えている • もう少し収入が欲しい • 決まった支出があるので支出額は減らない。 • 年金収入しかない現在、持病の悪化で医療費の支出の方が多くなっていて生活が苦しい。 • 物価が高くなって支出額が多くなっているため • 物価が高すぎて月々の支払が大変で毎月カツカツの生活をしている。子供がいる世帯にだけ恩恵があるようで1人暮らしは大変
4 家族の支出額	• 子どもがうまれ、今後子どもにかかる費用が心配なところもある • 自分の収入は大学費用に全て使用している。夫の収入で生活している • 収入が増えないのに支出が増えている • 子どもがいると、支出が多くなります	• 大学生2人なので支出が多い。働いても働いても足りない • 毎月の支払いがあるため貯蓄ができない • 支出が多い • 物価、税金が高くて大変である • 借金はなし	• 今はそれほど感じないが、将来的に大学に2人の子どもが進学することを考えると… • 家全体の支出に耐えられない • 物価・固定費が上がっているため

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 子の成長と共に支出も増加している… • 夫が家族を養っている。 • お米や野菜など、家族や知り合いの方から頂いて、とても助かっている。 • 生活用品は自分の好きな物は買えないが、たまに少額のお気に入りの物を買って満足するよう工夫して生活している。借金は残したくないし、身体が動かなくなっても施設に入居出来ないので、今は皆と楽しくやれる公民館での集まりやスポーツをして身体を動かしている。		
5 自分の金融資産(預貯金や有価証券等)の額	• 父が亡くなり、多少の遺産が入ったので、余裕が少しできた為。 • つみたてNISAをしているが、今後の経済の先行きが不安。物価高も重なり、どこまで耐えられるかが気になるところ。	• 貯金ができない。投資に興味はあるが、余裕がない。 • 預貯金にまわす余力がない • 厚生年金を 70 才まで納め、73 才まで就業していたので、今後に心配していない。 • 急な出費などで預貯金を切りくずす事が多く将来への不安が大きい。 • ない • 老後の心配の無い資産は確保している • 貯蓄から投資へと言われて久しいが NISA や ideco といった制度を使うほど余裕がない人にとっては何のメリットもない制度でより格差が生まれるだけ。	• 今の収入は良いが、蓄えが少ない。 • 預金がどんどん減ってくる。 • 収入が上がらない。物価は高騰している。
6 家族の金融資産(預貯金や有価証券等)の額	• 父が資産の貯金を1000万円持っているが贈与の手続きをしないのです。父は面倒な書類を書けないので。	• 夫の年金で、生活できる。(ぜいたくはできない) • 預貯金にまわす余力がない • 自分も夫も貯金があるので、その日暮らしではない。 • 家族の収入あるかもしれないが、固定経費もあり、税金が多すぎる。	
7 自分の借金の額	• 車のローン、奨学金の返済など • 家族も自分も借金ないので良しとする • 奨学金の返還が続いている • 奨学金の返済が苦しい • 今後、住宅ローンなど借入を行うため。 • 年金月●●●円で生活している。借金もなく収入の範囲で暮らせている • 1の米価への期待から0となり、借金はそのまま持ち越しの状況である。	• 借金なし • 毎月、借金が増えており、返済が大変。 • 所得額が少ないところ、物価が高く、インフラ代も高い。不足分は借金するが、借金も増え続け、いずれは生活保護が必要となる事も近い • 住宅ローン(金利上昇)やマイカーローンを抱えており不安は尽きない。	• 教育ローン • 自分と妻の年金で生活しているが、借金もなく、生活の程度は皆と同じ位ではないかと感じ、上を向いてもキリがないと思っている。 • かなりの借金がある
8 家族の借金の額	• 主人と2人で年金生活ですが、生活をするのには困っていません。通販も利用し、楽しんでいます。 • 特にローンや借金がなく、ありがたい。	• リフォームを思い切った分、支払い(借金)が今後、15 年間続くと思うと不安がつのる。	• 給料プラス願う

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 親の住宅ローン		
9 生活の程度	• 車を購入しローン返済が2年程度残っているので、勿論収入が現在よりも多い方が良いが、余程の贅沢や無駄遣いをしない限りは、十分かと感じる。 • 子供達にも好きなことをさせてあげられる(スポーツ) • 旅行できるかというと、少し足りない • 貯蓄できない • それなりに背伸びしないで身の丈にあった生活をしていけば、やっていけるかなァと思っています。 • 生活の程度は変わらない • 生活用品は自分の好きな物は買えないが、たまに少額のお気に入りの物を買って満足するよう工夫して生活している。借金は残したくないし、身体が動かなくなっても施設に入居出来ないので、今は皆と楽しくやれる公民館での集まりやスポーツをして身体を動かしている。 • 障がい者年金のみだが一緒なので多い方だと思う。	• 生活費の出費が少ない • 交際費の出費など • こんなもんだろうと思うから • 物価高の中、どう生活したらいいか考えても!?交際費とかで支出が多くなる。 • 近年は米・物価等の値上りにより、生活の維持が大変になってきている。 • 収入の範囲で快適に暮らせている。 • 定年後に転職したが、これまでの生活を維持していけるほどの収入が得られていない。 • 外食や買い物など • 最近は良くなっていると思う • 生活普通です。収入・所得は普通です。税金が高い。 • 収入と支出のバランスが良く、特に問題はない	• 質素に暮らしてまあまあの生活をしている • 自分と妻の年金で生活しているが、借金もなく、生活の程度は皆と同じ位ではないかと感じ、上を向いてもキリがないと思っている。
10 その他	• 物価高に合っていない • 1年に何度も葬式に呼ばれる。出費がかさむ • 将来、介護となった時に足りなくなりそう	• 病気が再発した時が不安。	• 物価高
番号記載無し		• 持ち家だから光熱費と食費が主な支出。2 人の年金でなんとかやれる。一人だと無理だが、物価の上昇と消費税の負担がこたえるようになった	

(11) 歴史・文化への誇り

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 その地域で過ごした年数	• 60 年 • 唯一権現様 • 年数 50 年以上。市の祭りのサポート。 • これらの歴史文化財があれば、人的交流も盛んで誇りを感じる	• 10 年程度なのでー… • 文化遺産、歴史的偉人がいる • 嫁に来て 47 年 • 50 年も住むと愛着も出る • 地域の人達の活動で新しい歴史を知る事があり誇りに思う • 震災があっても地元が一番 • 東日本大震災後、街に家や人が減ったが、山があり海がありとても良い所。今、鵜住居の歴史を調べている人がいるが、とても興味深く毎回ワクワクしながら楽しみに聞いている • 自分の地域に生れてから住んでいる • 歴史的政実や博士偉人のあるこの地に愛着があります • 50 年住んでます	• 良い町だと思うが歴史や文化に関心が無い為、あまり感じない • 震災前に比べると過ごした年数が1／3なので感心がない • 54 年住んで何もないのが一番かな • 世界遺産はあるが、ごく一部の人々達だけで活動しているようにみえる。 • 長く住んでいる為

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 10 年以上 • 結婚前より、現在の土地での暮らしが長くなり愛着もわいている。 • 接点(機会)がない(優先順位が低いからか) • ここに来て 44 年 • 生まれた時からいるので。	
2 世界遺産があること	• これらの歴史文化財があれば、人的交流も盛んで誇りを感じる • 中尊寺など寺社仏閣がある	• 平泉、中尊寺、金色堂 • 橋野鉄鉱山 • 釜石市の世界遺産は誇りに感じない • 東日本大震災後、街に家や人が減ったが、山があり海がありとても良い所。今、鵜住居の歴史を調べている人がいるが、とても興味深く毎回ワクワクしながら楽しみに聞いている	• 世界遺産はあるが、ごく一部の人々達だけで活動しているようにみえる。
3 地域のお祭り・伝統芸能	• さんさ • チャグチャグ馬っ子がある。神社も近い • 地域の伝統芸能が子供たちに継承されているから • 花巻まつりや鹿踊り • 無形民俗文化財がある • コロナ禍後、少し規模が変わりつつも町が活気になる。 • 大槌祭り • (盛岡市仙北地区)小鷹さんさ、舟っこ流し • 祭りは、どんどん小規模になっている。地域から国が駄目になると思う。無くならないでほしい。 • 百鹿大群舞、日高火防祭、江刺甚句祭り • 若い世代の子が地域の伝統芸能を披露しているから。 • 年数 50 年以上。市の祭りのサポート。 • これらの歴史文化財があれば、人的交流も盛んで誇りを感じる	• 県外から来たので、さんさになじみがない • さんさ祭り近くになると、子供達の練習が行われ継承されている。 • 私たちの若い頃はお祭りがありましたが今日少子化でなくなった。寂しいです • 町内にはたくさんの伝統芸能がある • 様々な伝統芸能があって素敵ですが担い手が少ないです。 • 子供が成長すると関りがうすくなる。 • 遠野の郷土芸能は素晴らしい • ししおどりがある • 「江刺甚句まつり」は自分が商工観光部勤務時代に提案し出来たまつりで、地域の伝統文化に観光的要素を打ち出してできたまつりだと思っています。 • 神社のお祭りに参加している • 地域の郷土芸能に参加、活動してはいるが、誇れる程ではない • 小学校の鹿踊りが続いてほしい。 • 子供を通しての各方面で、継承・保存しようと講演、講習、ワークショップしている方々グループがある。 • 伝統芸能は大切にしたい • 年に1回だけだが、すばらしい伝統だと思う。 • 地元のイベント参加など • 地域の人達の活動で新しい歴史を知る事があり誇りに思う • 高齢となり見に行く機会は少なくなりました • とら舞など、沿岸のお祭りも良いと思います。 • 鹿踊りはなり手が減ってきたが、すばらしいと思う。	• 鬼剣舞は誇りをもてる伝統だと思う • 昔は良かったと思うばかり。3人の子育てしながら家族で参加したったなと思い出で振り返るばかり。介護と向き合う人生は、社会から孤立してしまう。 • 人口が少なくなり、祭りの参加も出来なくなった為 • 地域での文化活動、お祭りなど(参加)が少なくなってきているため。 • 地域のお祭りなど今は義務的に参加している感が強く心から楽しめない。 • 誇りとまでは感じない。「愛着」か • 震災前に比べると過ごした年数が1／3なので感心がない

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 東日本大震災後、街に家や人が減ったが、山があり海がありとても良い所。今、鵜住居の歴史を調べている人がいるが、とても興味深く毎回ワクワクしながら楽しみに聞いている • お祭りがさかんなので。	
4 地域の文化遺産・街並み	• 秋のお祭りなど • 盛岡の街並み • 街並みは、思い出になる。それぞれ刻めば良いと思う。 • 水沢三偉人(高野長英、後藤新平、斎藤実) • 中尊寺など寺社仏閣がある	• 誇りを感じる • 文化遺産、歴史的偉人がいる • 数年前、コロナ禍の終わり頃だったが、NYタイムズに記事が掲載され、改めて故郷のすばらしさを認識・実感できた事。 • 地域の人達の活動で新しい歴史を知る事があり誇りに思う	• すばらしい物があっても保存状況が良くない
5 郷土の歴史的偉人	• 九戸政実はすごいです。同じ地域にいた事にかんしゃです。 • 宮沢賢治 • 宮沢賢治などのほかに、大谷翔平さんなどすごいと思う。	• 国際人新渡戸稲造 • 新渡戸稲造、後藤新平のように、国外・国内において、産業振興や自然災害からの復旧復興に尽力された事。 • 牧庵鞭牛和尚の街道整備の功績 • 大槻三賢人 • 奥州藤原氏、発祥の地として • 三浦命助 • 文化遺産、歴史的偉人がいる • たくさんおられるので。	
6 地域の文化・芸術分野の著名人	• 宮沢賢治などのほかに、大谷翔平さんなどすごいと思う。	• 町内に歴史のあるお寺があり保存会の会員である • 子供の学校の取組から教えられた。もっと知ることができるきっかけがほしい • 大谷翔平は、全国どこに行ってもわかってもらえる。 • たくさんおられるので。	• 歴史文化にふれる機会がない。興味はあるので歴史や文化に関する企画イベントがあれば参加してみたい
7 地域の食文化	• もっと、みんなに広げたい • 麺文化	• 食する機会(法事等)が少なく、作れる人も少なくなった。 • まめぶ、かっけ • だんご類やおもちなどおいしい。 • 子供を通しての各方面で、継承・保存しようと講演、講習、ワークショップしている方々グループがある。 • 餅料理 • 手打ちそば、ミソもちひっつめなどウマイ!!	• 誇りとまでは感じない。「愛着」か
8 地域での文化継承・保存活動	• 自宅に観音様のお堂がある。この先どうお守りしていけば良いかわからない • 地域の人で保存しようとする気持ちが高いため • 今年も部落の虎舞が家々を歩いたが、親子、地域が一つになって、1年が始まる気持ちになった。 • これらの歴史文化財があれば、人的交流も盛んで誇りを感じる	• 地域の文化継承を一生懸命取り組んでいる • 地域の方から話を聞き、興味を持った。良い機会だった。 • 活動中 • 人が少なくなり大変に思われる • コロナ以後町内の伝統行事が滅んだから • 伝統芸能を大事にしている • 伝統伝能が小学校より継承されており地域のお祭りや行事	• 伝統文化の継承が出来なくなっている • 地域の芸能を子供たちは学校で学び会得しているが、卒業後は関わりがない • 歴史文化にふれる機会がない。興味はあるので歴史や文化に関する企画イベントがあれば参加してみたい

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		にお披露目して若者が頑張っているので応援しています • しし踊りなど、遠野にしかない文化ですばらしいと思う。 • 子供を通しての各方面で、継承・保存しようと講演、講習、ワークショップしている方々グループがある。	
9 地域の歴史についての教育機会	• これらの歴史文化財があれば、人的交流も盛んで誇りを感じる	• 太田は、盛岡城ができる前から栄えていたとの事。歴史についての勉強会があり、もう少し学びたいと思っています。 • 地域の文化・歴史は素晴らしいが、それらに関する教育の機会が少なく、自発的に調べることが必要になってしまっている。継承のためにも機会を増やすべき。 • 震災があっても地元が一番 • 接点(機会)がない(優先順位が低いからか)	• 歴史文化にふれる機会がない。興味はあるので歴史や文化に関する企画イベントがあれば参加してみたい
10 地域に対する周囲の評判	• 盛岡のまちが注目を集めたりして良いと思う。	• 地域活動が県内でも参考になったりしているのを聞いた • 周囲の評判が多い • 県外の人にも遠野の妖怪文化が有名なので、いいと思う。	• 全体的に人柄が悪い。
11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない			• あまり感じない • 文化(蘇民祭の廃止)の衰退、保存会の高齢化 • 当町は龍泉洞以外他に誇るものがなく、又保存活動にもあまり力を入れていない。 • 地域の歴史に感心が無い。 • 宝の持ち腐れ。良い物を活かさない。
12 地域の歴史や文化に関心がない	• あんまりなし	• 地域のお年寄りや子供が少なくなっている	• 漆文化はあるが個人的には関心がない。 • 興味がない • 正直どうでもいい • あまり関心がない為 • 良い町だと思うが歴史や文化に関心が無い為、あまり感じない
13 その他	• 体育館のことで県と揉めているようなニュースを見る。首長の判断ミスで町民・県民が不幸になるような事は辞めて欲しいし、次世代に引きずらない解決に向かって欲しい。 • 色々あると思うが全く興味がない • 文化などあまりわからない	• あまり興味がない	• あまり興味がない。今を生きる • 地域の活性化を望む
番号記載無し	• 小さく考えるとあまりないが大きくとらえると(岩手として)すごく良いと思う。 • 歴史や文化を生かす取り組みをどれくらいしているのだろうか		

(12) 自然のゆたかさ

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 緑の量(豊か・少ない)	• 超!!田舎!山が近い!山に囲まれている。 • 多いぐらいに緑がある • 栗駒山が一望出来る • 豊か • 山が近い • 森や川や海がある。 • 山の中に住んでいるから。 • 生活するための自然の豊かさは十分で住みやすい地域だと思っています。 • 自然環境に最も重要なものが当地に豊富 • 空気も良く、緑が多く、水も良いと思う。カラスが多く、スズメが減っているのが残念。 • 我村の誇れる分野あり。多いに親しみを感じさせる取組に期待したい。	• 近くに緑豊かな公園がある。 • 近くに県営運動公園があり、四季折々の美しい風景を感じる事ができる。町内の公園の管理を町内会で行っており、自然保護意識が高い。 • 周囲に田畑が多く緑の量が多い • 自然の豊かさはベストです。(田舎ですが熊が出なければ尚良) • 山が近いので • 緑が多すぎる • みどりが豊かである • すべてがうまい。 • 県内どこに行っても身近に自然がありふれ合うことができる • 田舎なので • 住んでいる所が緑に囲まれている • 「あるのが普通」という認識 • 良好 • 豊か • 近くが緑が豊かなため • 自然環境が良い為 • 緑の量が多い • まわりに山が多いので良いと思う。しかし管理が十分と思わない • 山が 93%と多く、伴って空気も綺麗であるが、この自然を活かしきれていない。 • 自然が豊か • 家の廻りや、歩ける距離に山や、川が有り山菜やきのこなど、採取する、楽しみがある • 市外から遠いので緑が豊か • 四方八方見回しても緑だけ(自然に恵まれているとは言えるけどやや…) • 山が多く、最近はくまが出るのが怖い。 • 緑も豊かで空気もキレイだが雪が多いのが困る。その位自然が豊か。 • 山が多い為 • 緑が多く、海や川もキレイ。ただ野生動物の脅威に日常生活がままならないと感じている • 震災後高台へ移転となり緑や山が少なくなった	• 緑が豊かですが、赤川があるので • 空き家空き地多くなる。宅地造成多い • 自然はあるのかもしれないが、人間がそうとう野生動物の領域を奪ってしまっている。野生の生物の生活を守ることがたいせつ。人間至上主義は愚か。あらたな開発、自然破壊はやめるべき。害獣といういきものはいません。人間の自分勝手で野生動物を殺すなどありえません。熊は山に返してください。 • 少ない • 周りは山だらけ

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 豊か • 都会じゃないから、空気はキレイだし、まわりは、山ばかりだから緑は多い • 河川も綺麗になった(白鳥…)。いい所です • 緑が整備管理されていない • 雫石町本当に自然が豊かな所です • ●恵まれていると感じる。この自然を●いきたいし、動植物の生態系をこわさず、共存していけたらと思う。 • 自然に恵まれている。湧き水もきれい。 • 緑が多く、空気が奇麗で水もきれい。 • 安全であれば子供を自然で遊ばせたい • 今年は熊の出没があり近く(山の)には行かないが、春はうぐいす、秋は紅葉など四季の景色が見られ気持ち良い。 • 振り向けば山 • 森林に囲まれ、緑や花木の多い所に住んでいる。水もそのまま飲める。 • 雑草が間に合わないほど • 人口の多い地域と比べれば良い事は間違いない。今後も維持(管理)出来るのか疑問はある。 • 森の自然が良いがメガソーラーなどで伐採もあるので問題	
2 空気の状態(綺麗・汚い)	• 空気はきれいだと思う • 岩手の空気はおいしい • 束稲山からの風 • 綺麗 • 生活するための自然の豊かさは十分で住みやすい地域だと思っています。 • 自然環境に最も重要なものが当地に豊富 • 空気も良く、緑が多く、水も良いと思う。カラスが多く、スズメが減っているのが残念。 • 我村の誇れる分野あり。多いに親しみを感じさせる取組に期待したい。	• 空気がキレイ • 空気は良いと感じる • きれい • 自然の豊かさはベストです。(田舎ですが熊が出なければ尚良) • 山が近いので • 空気がおいしい • すべてがうまい。 • 田舎なので • 綺麗 • 空気が綺麗なためです • 自然環境が良い為 • 空気が綺麗 • 山が 93%と多く、伴って空気も綺麗であるが、この自然を活かしきれていない。 • 大都会と比べると圧倒的にきれい、安心して深呼吸できる。 • 空気は澄んでいると思います。 • 緑も豊かで空気もキレイだが雪が多いのが困る。その位自然	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		が豊か。 • 都会じゃないから、空気はキレイだし、まわりは、山ばかりだから緑は多い • 河川も綺麗になった(白鳥…)。いい所です • 空気が綺麗 • 雫石町本当に自然が豊かな所です • ●恵まれていると感じる。この自然を●いきたいし、動植物の生態系をこわさず、共存していけたらと思う。 • 自然に恵まれている。湧き水もきれい。 • 緑が多く、空気が奇麗で水もきれい。 • 安全であれば子供を自然で遊ばせたい • 日常、空気が汚れていると感じたことはない。(黄砂は別として) • 森林に囲まれ、緑や花木の多い所に住んでいる。水もそのまま飲める。 • どちらもおいしい • 人口の多い地域と比べれば良い事は間違いない。今後も維持(管理)出来るのか疑問はある。 • 自然の美しさは岩手の誇りだと思う。	
3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)	• 磐井川が近くに流れている • 生活するための自然の豊かさは十分で住みやすい地域だと思っています。 • 自然環境に最も重要なものが当地に豊富 • 空気も良く、緑が多く、水も良いと思う。カラスが多く、スズメが減っているのが残念。 • 我村の誇れる分野あり。多いに親しみを感じさせる取組に期待したい。	• 目の前の小さな川。釜石湾の眺め。 • 魚がいなくなった。 • 子供が遊べる施設・場所の充実 • 近くにきれいな川がある • 水もありがたい • 1により3、4、5など変化はないか山の貯水量がへって洪水にならないか • 自然の豊かさはベストです。(田舎ですが熊が出なければ尚良) • 山が近いので • すべてがうまい。 • 田舎なので • 水はいまひとつ良くない • 河川も綺麗になった(白鳥…)。いい所です • 雫石町本当に自然が豊かな所です • ●恵まれていると感じる。この自然を●いきたいし、動植物の生態系をこわさず、共存していけたらと思う。 • 自然に恵まれている。湧き水もきれい。 • 緑が多く、空気が奇麗で水もきれい。	• 河の水が少なくなった

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 安全であれば子供を自然で遊ばせたい • 馬渕川は良い川だと思います。 • 森林に囲まれ、緑や花木の多い所に住んでいる。水もそのまま飲める。 • どちらもおいしい • 人口の多い地域と比べれば良い事は間違いない。今後も維持(管理)出来るのか疑問はある。 • 自然の美しさは岩手の誇りだと思う。	
4 海の状態(綺麗・汚い)	• 砂浜があってそれだけが散歩できるたのしみ • 自然環境に最も重要なものが当地に豊富 • 空気も良く、緑が多く、水も良いと思う。カラスが多く、スズメが減っているのが残念。	• 海が近くだと気候もよい • 毎日海を見ているゴミなどない • 海岸の管理があまり良くない • 目の前の小さな川。釜石湾の眺め。 • 海があり景色がよい • 海がとても綺麗なためです • 自然環境が良い為 • 海の状態も良好 • 人口の多い地域と比べれば良い事は間違いない。今後も維持(管理)出来るのか疑問はある。 • 自然の美しさは岩手の誇りだと思う。	• 生活することで、自然にダメージを与えてしまっている(そのことに気付いていない人が多い)
5 多様な動植物の生息	• 多様すぎて困っている • 鹿、猪、熊、生息。カモシカも…。 • 生活するための自然の豊かさは十分で住みやすい地域だと思っています。	• 熊はこわい • 動物も多すぎる • 「あるのが普通」という認識 • いろんな動物が生息している。花もたくさんある • 町にも、普通に鹿がいるので、のどかだと思う。 • 安全であれば子供を自然で遊ばせたい • 熊は困りますが、山菜採りは楽しい。かたくりの春は美しい。 • 熊、イノシシ、鹿は出るが、小鳥、セミの声に恵まれている。 • 家の身近で動物に会う	• 今年はクマが多くニュースでも見ていて、県や市の対策などただ見ているだけって感じ。クマ対策アプリなど作ろうとしてるみたいだけど、けいさつのアプリで見れるし、何も考えてないと思う！
6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	• 公園が多い。 • 大震災後、緑地環境が復旧されていないのが残念 • 空気も良く、緑が多く、水も良いと思う。カラスが多く、スズメが減っているのが残念。	• 近くに大きい公園がある • ベッドから太平洋と広田湾が見える。近くに白鳥の来る池があり私の家から飛び立つのが見える • 盛岡市内に大きな河川が3つ流れており、各々に、河川敷・散歩コースなどが整備されている所。 • 近くに県営運動公園があり、四季折々の美しい風景を感じる事ができる。町内の公園の管理を町内会で行っており、自然保護意識が高い。 • 自然に恵まれている。湧き水もきれい。 • 公園も自分も町内会活動で草刈り、草取りをし整備されている	• 空気等キレイと思うが公園などは少ない • 公園の環境が充実している

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		ので気持ちがいい。 • 人口の多い地域と比べれば良い事は間違いない。今後も維持（管理）出来るのか疑問はある。 • 自然豊かな分、熊も多いので注意が必要	
7 自然（山・海など）と触れ合う機会	• 登山で近くに移動しやすいため • つり • 遠くに見える山がきれいだ	• 街中で川と岩手山が綺麗に見ることができる。 • 四季折々の自然に驚いています。始めてまほら岩手に行きましたが、地域に住む方々のがんばりに感激しました。 • 自然が豊かな町だから。 • すぐ山も川もあるので自然豊かです • 身近に山や海と触れ合う機会がある為 • 地域の山登りに行きたいので。ツアーなど安心して参加できるような企画などを市や県で開いてほしいです。 • 県内どこに行っても身近に自然がありふれ合うことができる • 春と秋に山に山菜・きのこの収穫 • ●恵まれていると感じる。この自然を●いきたいし、動植物の生態系をこわさず、共存していけたらと思う。 • 雫石町本当に自然が豊かな所です。 • 自然、山菜、キノコ等ゲットできる。 • 今年は熊の出没があり近く（山の）には行かないが、春はうぐいす、秋は紅葉など四季の景色が見られ気持ち良い。 • 熊は困りますが、山菜採りは楽しい。かたくりの春は美しい。 • 家の身近で動物に会う • 自然豊かな分、熊も多いので注意が必要	• 周囲が田んぼであまり自然がない
8 地域での自然保護活動	• 計画的に、自然保護活動を支える予算付けが欲しい	• ボーイスカウトみたいな活動があったら子供と参加してみたい • 地区で除草を年3回行っている。道の両側はいつもきれいになっている	• 生活することで、自然にダメージを与えてしまっている(そのことに気付いていない人が多い)
9 自然に関心がない	• あんまりなし		
10 その他		• 空き家も増えており、荒れてしまっている所は心配です。 • メガソーラーが景観と環境を損ねていると思う • 四季を感じられる土地だが、春と秋がなくなりそうとだと感じる	
番号記載無し		• 自然に恵まれてはいるが空気は最悪（ブロイラー） • 高齢化の放棄地や空き家によるジャングル化が進む自然も多いが、散歩コースにも熊が出る	

一貫して高値・低値の回答

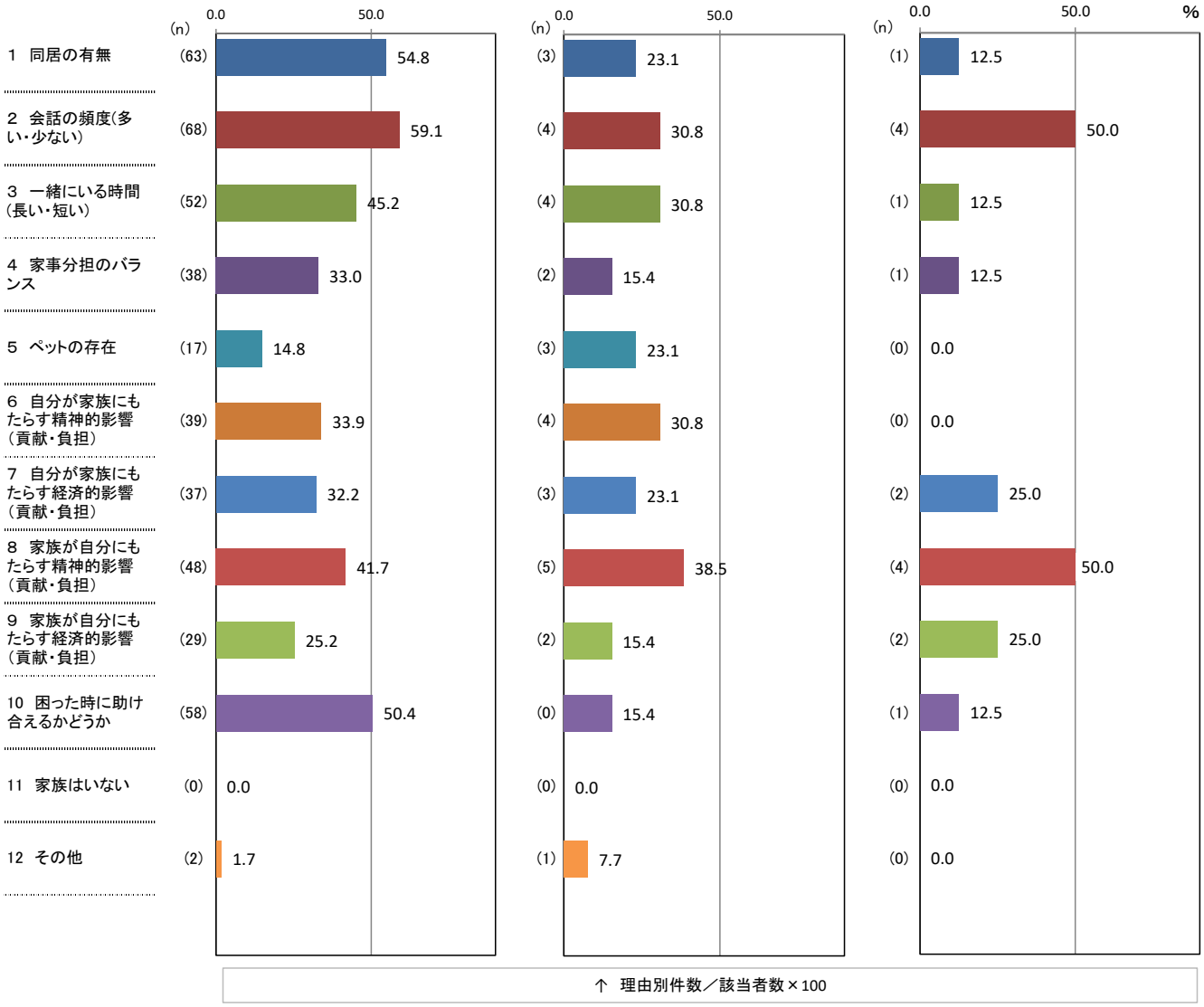
一貫して高値の属性

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜夫婦のみ＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (451) 115 人	②「どちらともいえない」の回答 (33) 13 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (16) 8 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (68)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (5)	2 会話の頻度(多い・少ない) (4) 8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (4)
2	1 同居の有無 (63)	2 会話の頻度(多い・少ない) (4) 3 一緒にいる時間(長い・短い) (4) 6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (4)	－ －
3	10 困った時に助け合えるかどうか (58)	－ －	7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担) (2) 9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (2)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
(3) 家族関係についての回答理由(問1-1(3)「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜夫婦のみ＞

(%)

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担)	7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担)	9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担)	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		54.8	59.1	45.2	33.0	14.8	33.9	32.2	41.7	25.2	50.4	0.0	1.7
②「どちらともいえない」		23.1	30.8	30.8	15.4	23.1	30.8	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0	7.7
③「あまり感じない・感じない」		12.5	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0

(件)

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担)	7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担)	9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担)	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝115人)	451	63	68	52	38	17	39	37	48	29	58	0	2
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝13人)	33	3	4	4	2	3	4	3	5	2	2	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝8人)	16	1	4	1	1	0	0	2	4	2	1	0	0

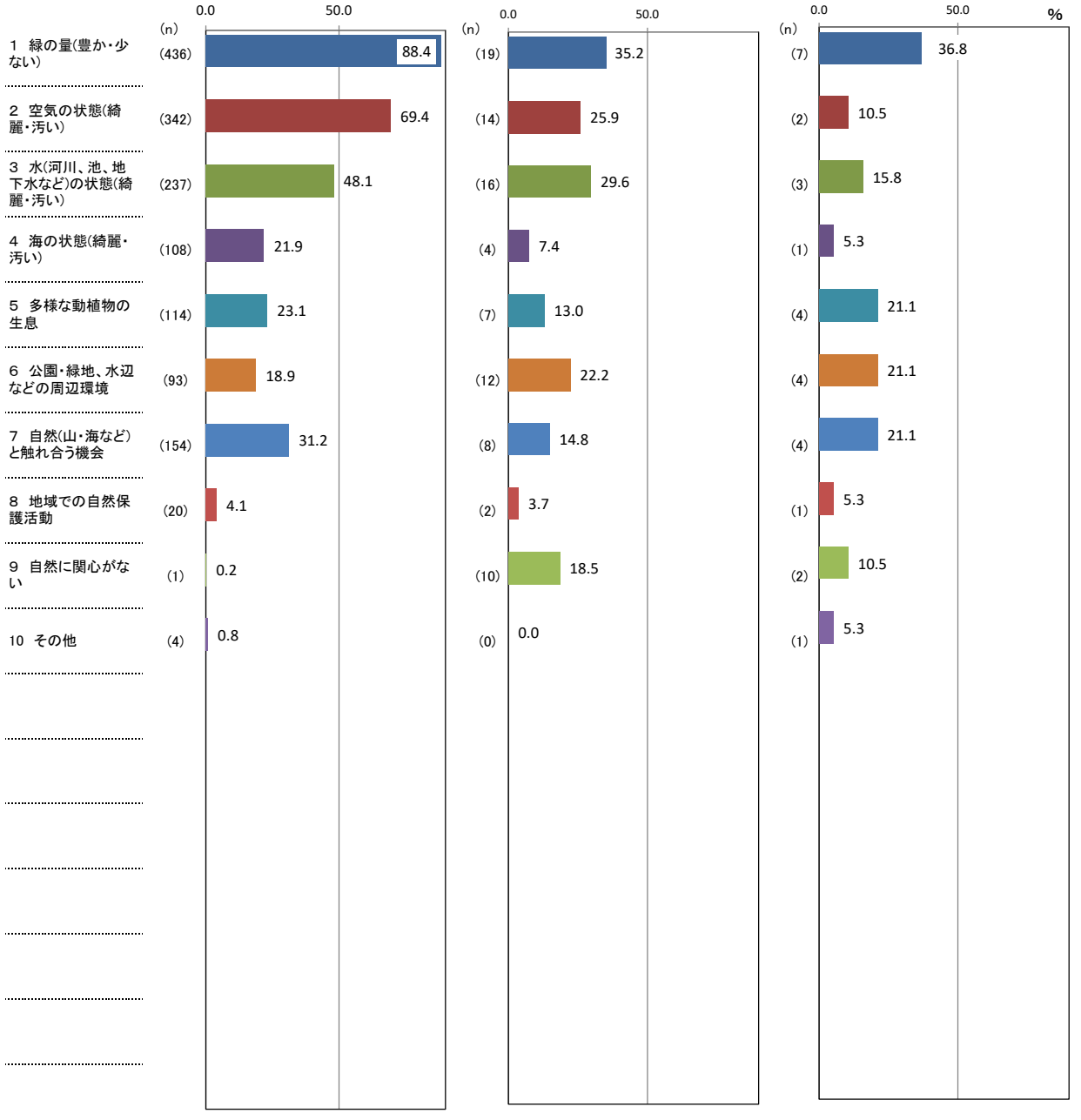
【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「自然のゆたかさ」

※「自然のゆたかさ」は全ての属性が一貫して高値のため、分野別実感の回答結果を掲載（再掲）

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,509) 493 人	②「どちらともいえない」の回答 (92) 54 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (29) 19 人
1	1 緑の量(豊か・少ない) (436)	1 緑の量(豊か・少ない) (19)	1 緑の量(豊か・少ない) (7)
2	2 空気の状態(綺麗・汚い) (342)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (16)	5 多様な動植物の生息 (4) 6 公園・緑地、水辺などの周辺環境 (4) 7 自然(山・海など)と触れ合う機会 (4)
3	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (237)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (14)	- -

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（12）「自然のゆたかさ」についての回答理由（問1-1（12）「①あなたは自然に恵まれていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」		88.4	69.4	48.1	21.9	23.1	18.9	31.2	4.1	0.2	0.8
②「どちらともいえない」		35.2	25.9	29.6	7.4	13.0	22.2	14.8	3.7	18.5	0.0
③「あまり感じない・感じない」		36.8	10.5	15.8	5.3	21.1	21.1	21.1	5.3	10.5	5.3

（件）

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝493人）	1,509	436	342	237	108	114	93	154	20	1	4
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝54人）	92	19	14	16	4	7	12	8	2	10	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝19人）	29	7	2	3	1	4	4	4	1	2	1

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（493名中1名記載）
・クマが出る

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（54名中0名記載）

③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（19名中1名記載）
・外出が困難なので自然にふれる機会がない

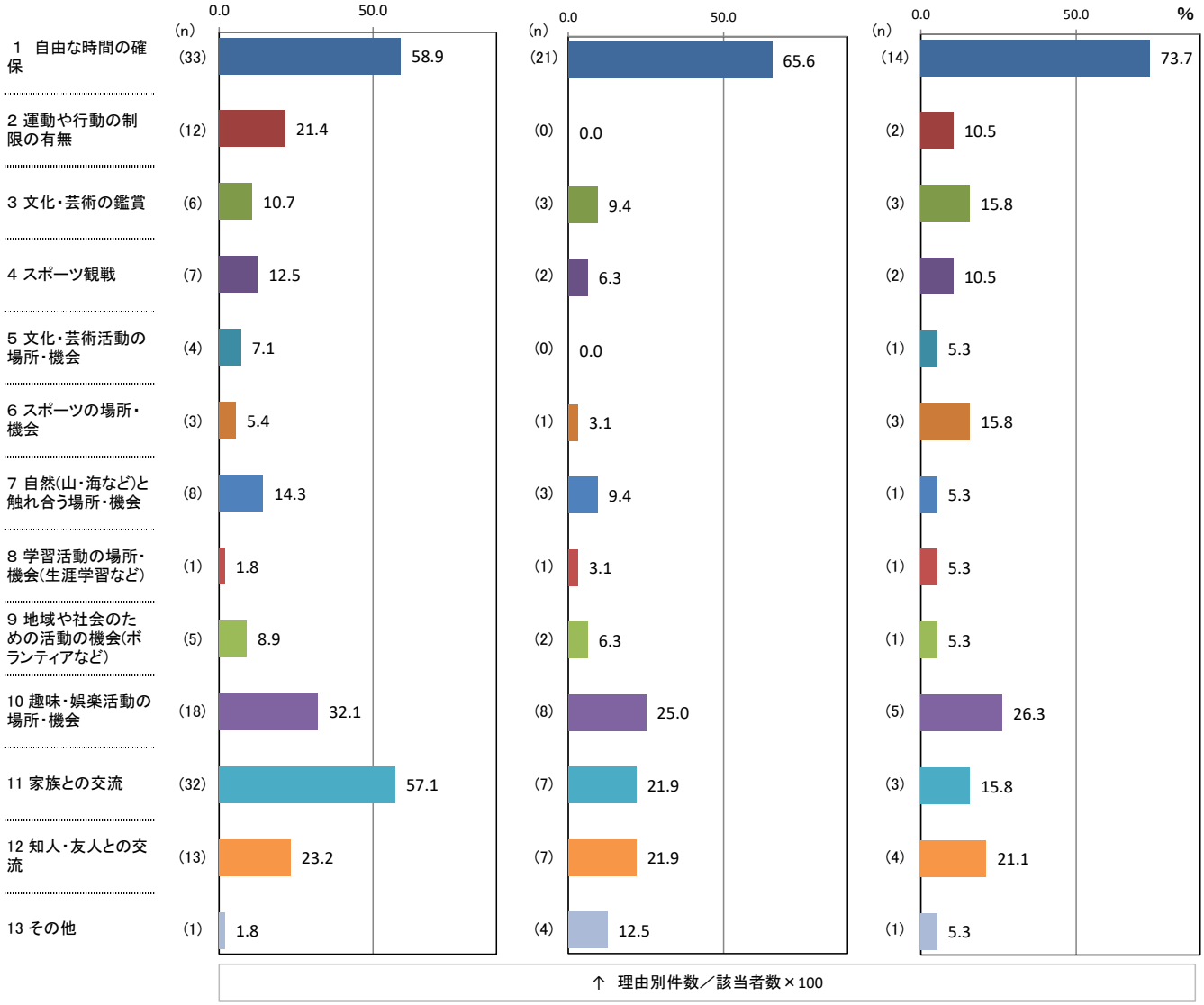
一貫して低値の属性

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜40～49歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (143) 56 人	②「どちらともいえない」の回答 (59) 32 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (41) 19 人
1	1 自由な時間の確保 (33)	1 自由な時間の確保 (21)	1 自由な時間の確保 (14)
2	11 家族との交流 (32)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (8)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (5)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (18)	11 家族との交流 (7) 12 知人・友人との交流 (7)	12 知人・友人との交流 (4)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜40～49歳＞

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		58.9	21.4	10.7	12.5	7.1	5.4	14.3	1.8	8.9	32.1	57.1	23.2	1.8
②「どちらともいえない」		65.6	0.0	9.4	6.3	0.0	3.1	9.4	3.1	6.3	25.0	21.9	21.9	12.5
③「あまり感じない・感じない」		73.7	10.5	15.8	10.5	5.3	15.8	5.3	5.3	5.3	26.3	15.8	21.1	5.3

（件）

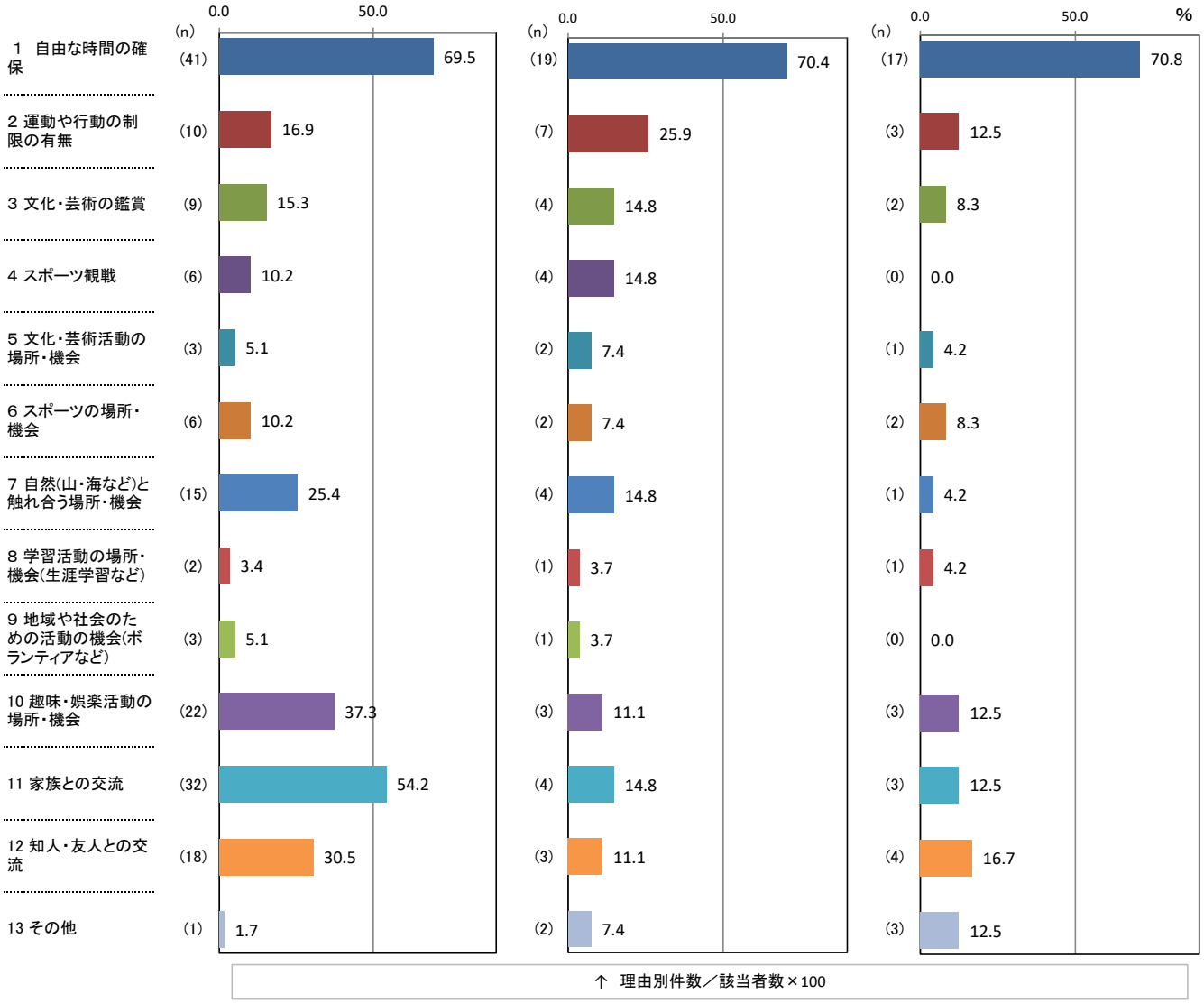
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝56人）	143	33	12	6	7	4	3	8	1	5	18	32	13	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝32人）	59	21	0	3	2	0	1	3	1	2	8	7	7	4
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝19人）	41	14	2	3	2	1	3	1	1	1	5	3	4	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜50～59歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (168) 59 人	②「どちらともいえない」の回答 (56) 27 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (40) 24 人
1	1 自由な時間の確保 (41)	1 自由な時間の確保 (19)	1 自由な時間の確保 (17)
2	11 家族との交流 (32)	2 運動や行動の制限の有無 (7)	12 知人・友人との交流 (4)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (22)	3 文化・芸術の鑑賞 (4)	2 運動や行動の制限の有無 (3)
		4 スポーツ観戦 (4)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (3)
		7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会 (4)	11 家族との交流 (3)
		11 家族との交流 (4)	13 その他 (3)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜50～59歳＞

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		69.5	16.9	15.3	10.2	5.1	10.2	25.4	3.4	5.1	37.3	54.2	30.5	1.7
②「どちらともいえない」		70.4	25.9	14.8	14.8	7.4	7.4	14.8	3.7	3.7	11.1	14.8	11.1	7.4
③「あまり感じない・感じない」		70.8	12.5	8.3	0.0	4.2	8.3	4.2	4.2	0.0	12.5	12.5	16.7	12.5

（件）

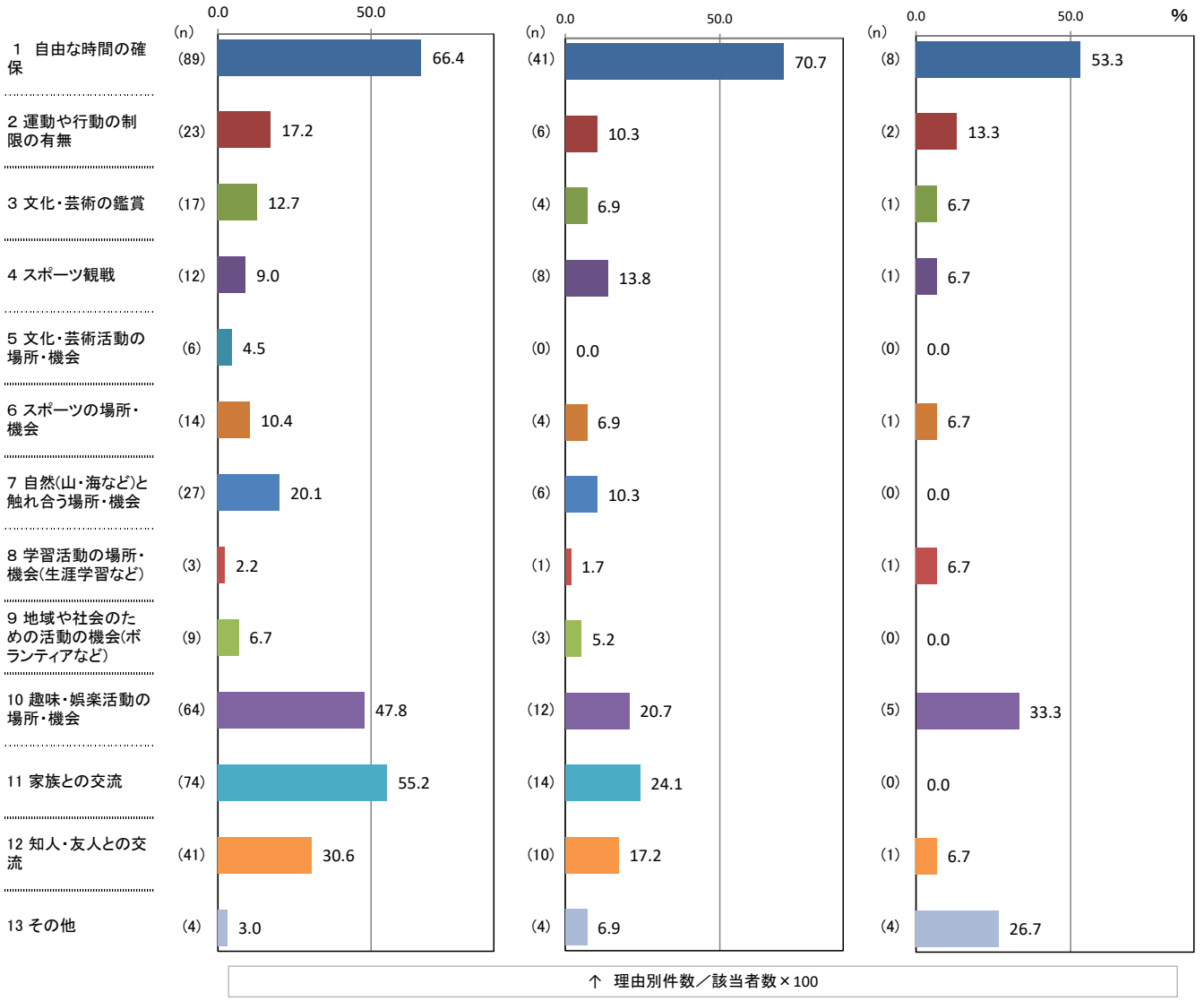
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝59人）	168	41	10	9	6	3	6	15	2	3	22	32	18	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝27人）	56	19	7	4	4	2	2	4	1	1	3	4	3	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝24人）	40	17	3	2	0	1	2	1	1	0	3	3	4	3

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜常用雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (383) 134 人	②「どちらともいえない」の回答 (113) 58 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (24) 15 人
1	1 自由な時間の確保 (89)	1 自由な時間の確保 (41)	1 自由な時間の確保 (8)
2	11 家族との交流 (74)	11 家族との交流 (14)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (5)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (64)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (12)	13 その他 (4)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜常用雇用者＞

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		66.4	17.2	12.7	9.0	4.5	10.4	20.1	2.2	6.7	47.8	55.2	30.6	3.0
②「どちらともいえない」		70.7	10.3	6.9	13.8	0.0	6.9	10.3	1.7	5.2	20.7	24.1	17.2	6.9
③「あまり感じない・感じない」		53.3	13.3	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	33.3	0.0	6.7	26.7

（件）

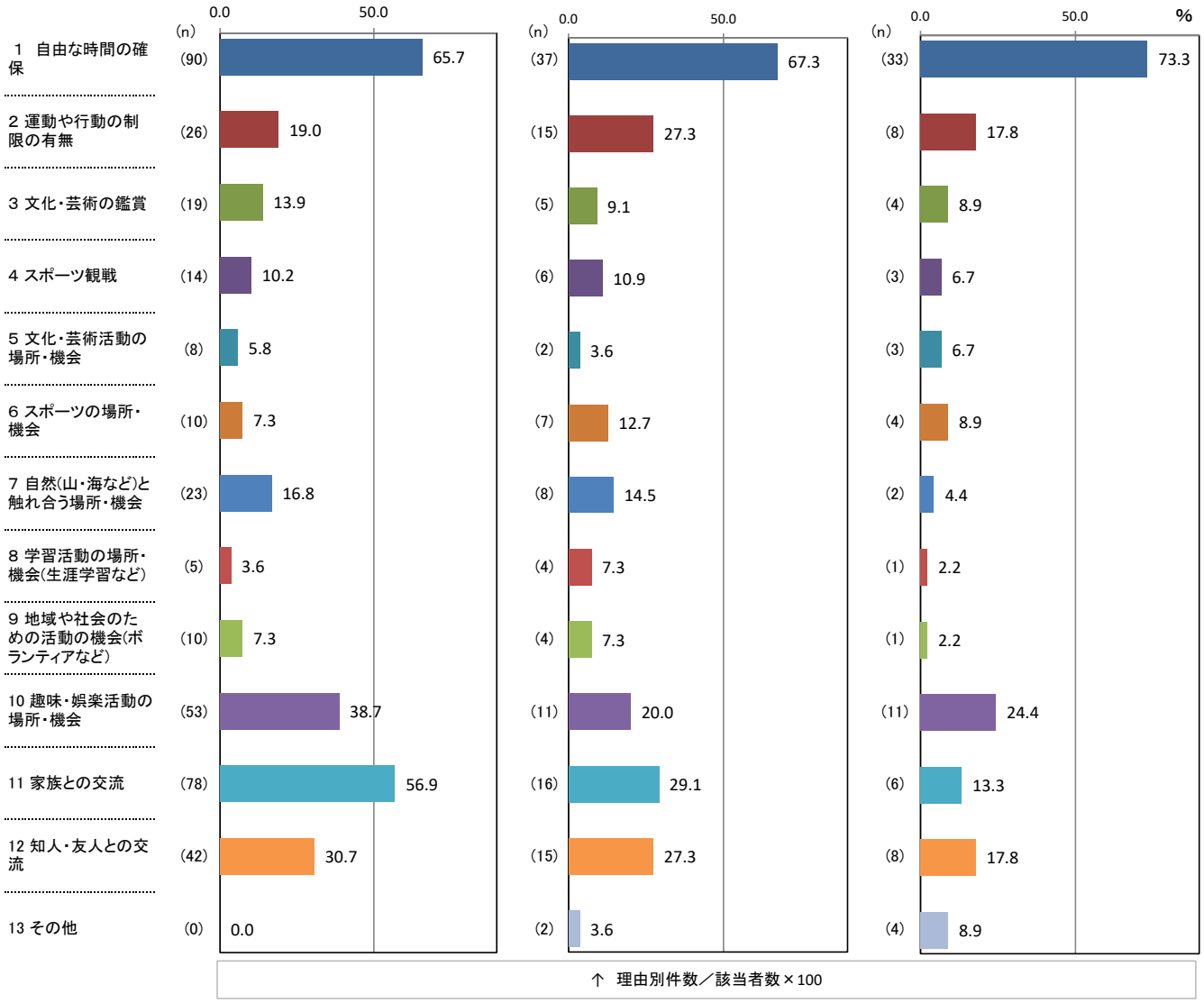
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝134人）	383	89	23	17	12	6	14	27	3	9	64	74	41	4
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝58人）	113	41	6	4	8	0	4	6	1	3	12	14	10	4
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝15人）	24	8	2	1	1	0	1	0	1	0	5	0	1	4

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜2世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (378) 137 人	②「どちらともいえない」の回答 (132) 55 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (88) 45 人
1	1 自由な時間の確保 (90)	1 自由な時間の確保 (37)	1 自由な時間の確保 (33)
2	11 家族との交流 (78)	11 家族との交流 (16)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (11)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (53)	2 運動や行動の制限の有無 (15) 12 知人・友人との交流 (15)	2 運動や行動の制限の有無 (8) 12 知人・友人との交流 (8)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜2世代世帯＞

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		65.7	19.0	13.9	10.2	5.8	7.3	16.8	3.6	7.3	38.7	56.9	30.7	0.0
②「どちらともいえない」		67.3	27.3	9.1	10.9	3.6	12.7	14.5	7.3	7.3	20.0	29.1	27.3	3.6
③「あまり感じない・感じない」		73.3	17.8	8.9	6.7	6.7	8.9	4.4	2.2	2.2	24.4	13.3	17.8	8.9

（件）

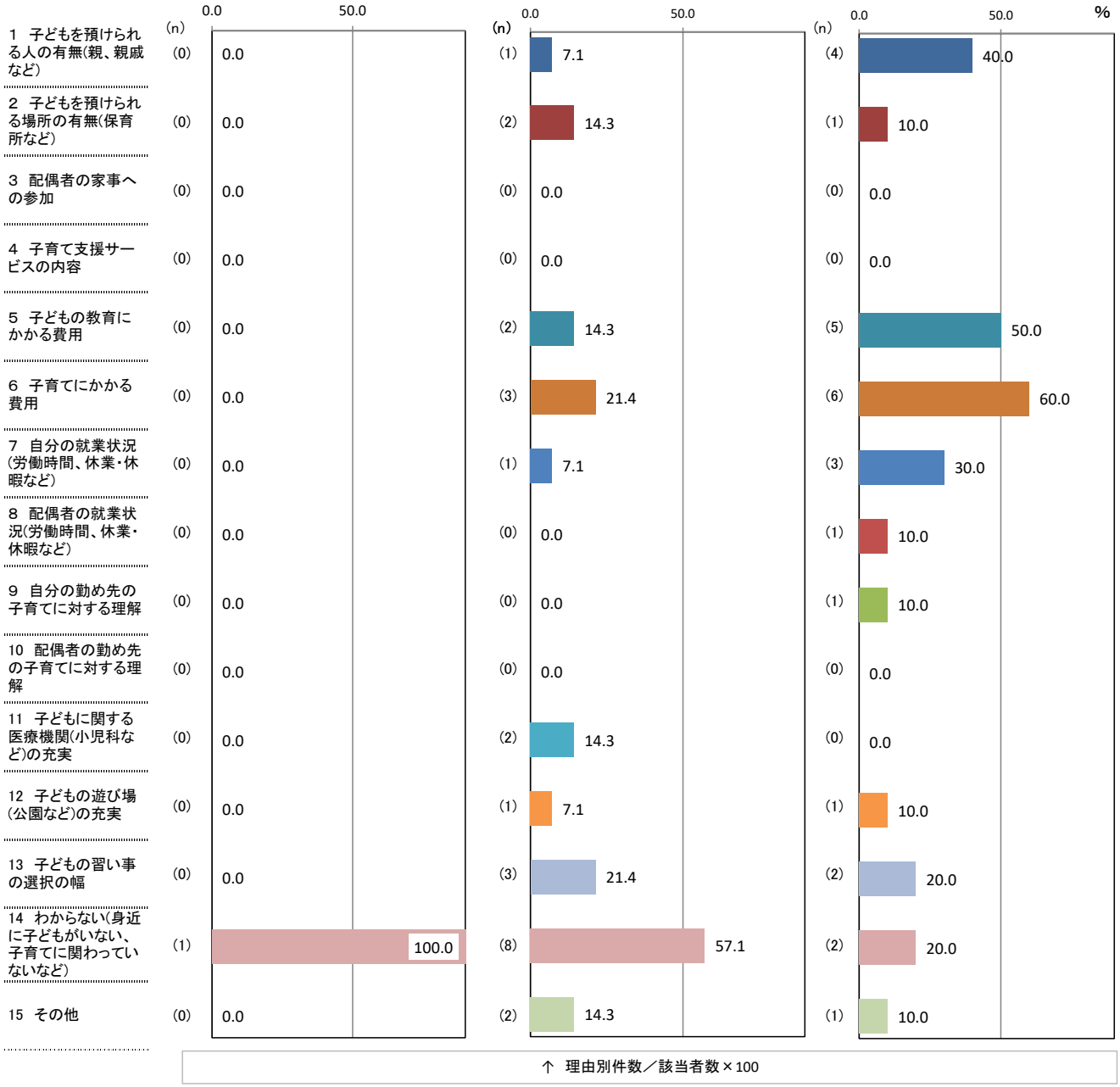
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝137人）	378	90	26	19	14	8	10	23	5	10	53	78	42	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝55人）	132	37	15	5	6	2	7	8	4	4	11	16	15	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝45人）	88	33	8	4	3	3	4	2	1	1	11	6	8	4

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答理由「子育て」<子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1) 1 人	②「どちらともいえない」の回答 (25) 14 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (27) 10 人
1	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (1)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (8)	6 子育てにかかる費用 (6)
2	– –	6 子育てにかかる費用 (3) 13 子どもの習い事の選択の幅 (3)	5 子どもの教育にかかる費用 (5)
3	– –	– –	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (4)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもはいない＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
②「どちらともいえない」		7.1	14.3	0.0	0.0	14.3	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3	7.1	21.4	57.1	14.3
③「あまり感じない・感じない」		40.0	10.0	0.0	0.0	50.0	60.0	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	20.0	10.0

（件）

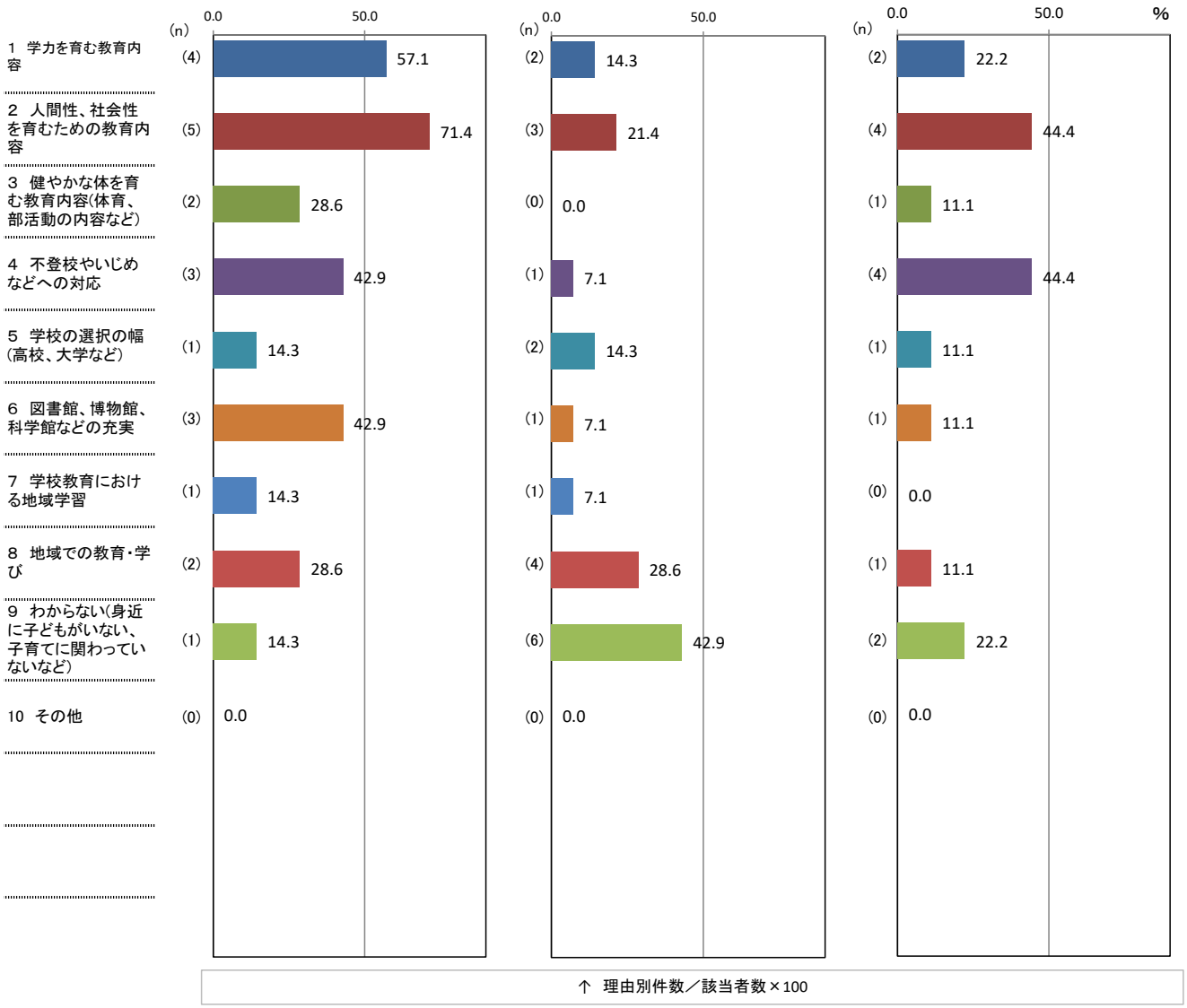
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝1人）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝14人）	25	1	2	0	0	2	3	1	0	0	0	2	1	3	8	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝10人）	27	4	1	0	0	5	6	3	1	1	0	0	1	2	2	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「子どもの教育」＜子どもはいない＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (22) 7 人	②「どちらともいえない」の回答 (20) 14 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (16) 9 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (5)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (6)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (4) 4 不登校やいじめなどへの対応 (4)
2	1 学力を育む教育内容 (4)	8 地域での教育・学び (4)	- -
3	4 不登校やいじめなどへの対応 (3) 6 図書館、博物館、科学館などの充実 (3)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (3)	1 学力を育む教育内容 (2) 9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (2)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（5） 子どもの教育についての回答理由（問1-1（5）①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもはいない＞ （%）

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		57.1	71.4	28.6	42.9	14.3	42.9	14.3	28.6	14.3	0.0
②「どちらともいえない」		14.3	21.4	0.0	7.1	14.3	7.1	7.1	28.6	42.9	0.0
③「あまり感じない・感じない」		22.2	44.4	11.1	44.4	11.1	11.1	0.0	11.1	22.2	0.0

（件）

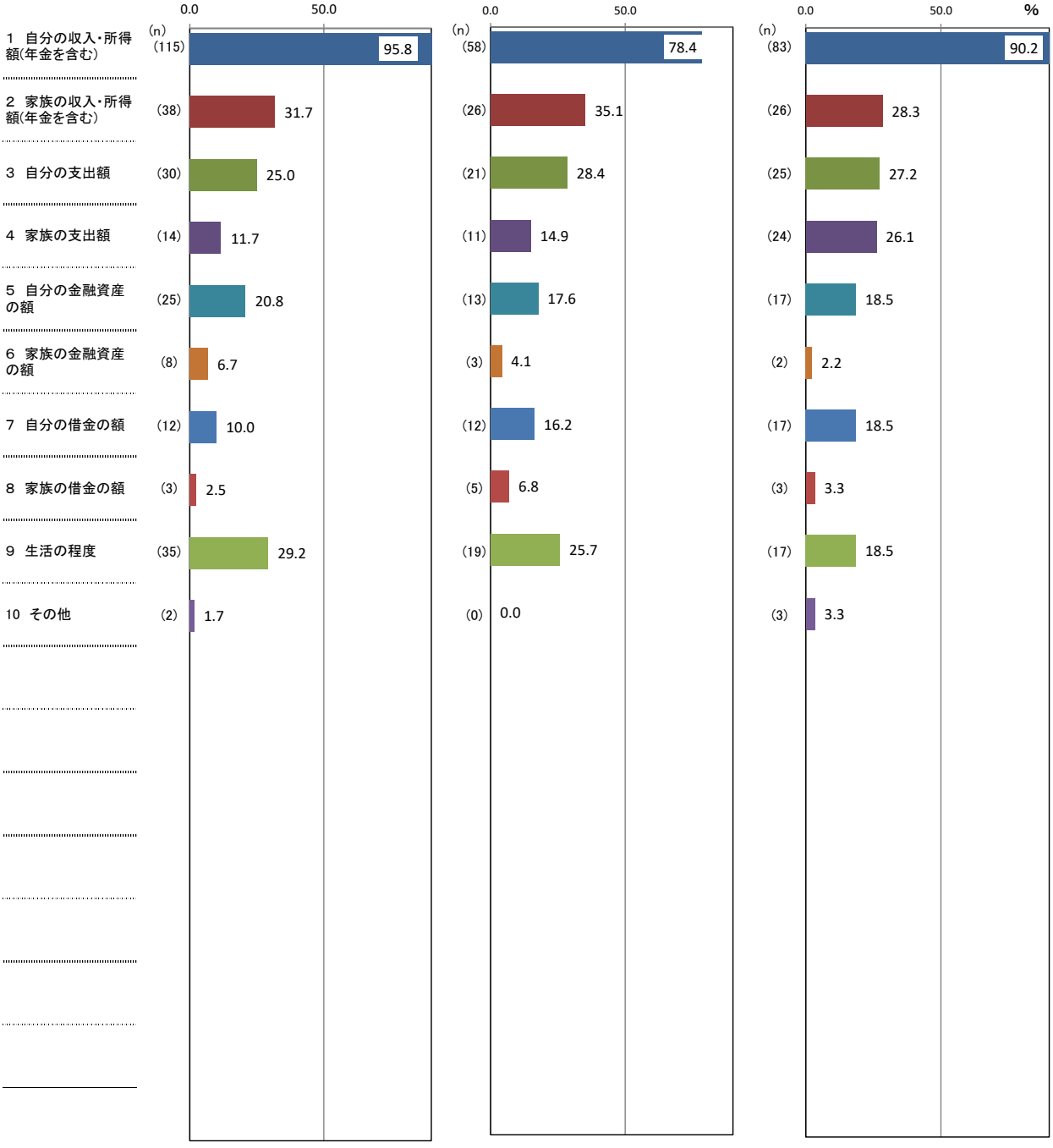
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝7人）	22	4	5	2	3	1	3	1	2	1	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝14人）	20	2	3	0	1	2	1	1	4	6	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝9人）	16	2	4	1	4	1	1	0	1	2	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜男性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (282) 120 人	②「どちらともいえない」の回答 (168) 74 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (217) 92 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (115)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (58)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (83)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (38)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (26)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (26)
3	9 生活の程度 (35)	3 自分の支出額 (21)	3 自分の支出額 (25)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜男性＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		95.8	31.7	25.0	11.7	20.8	6.7	10.0	2.5	29.2	1.7
②「どちらともいえない」		78.4	35.1	28.4	14.9	17.6	4.1	16.2	6.8	25.7	0.0
③「あまり感じない・感じない」		90.2	28.3	27.2	26.1	18.5	2.2	18.5	3.3	18.5	3.3

（件）

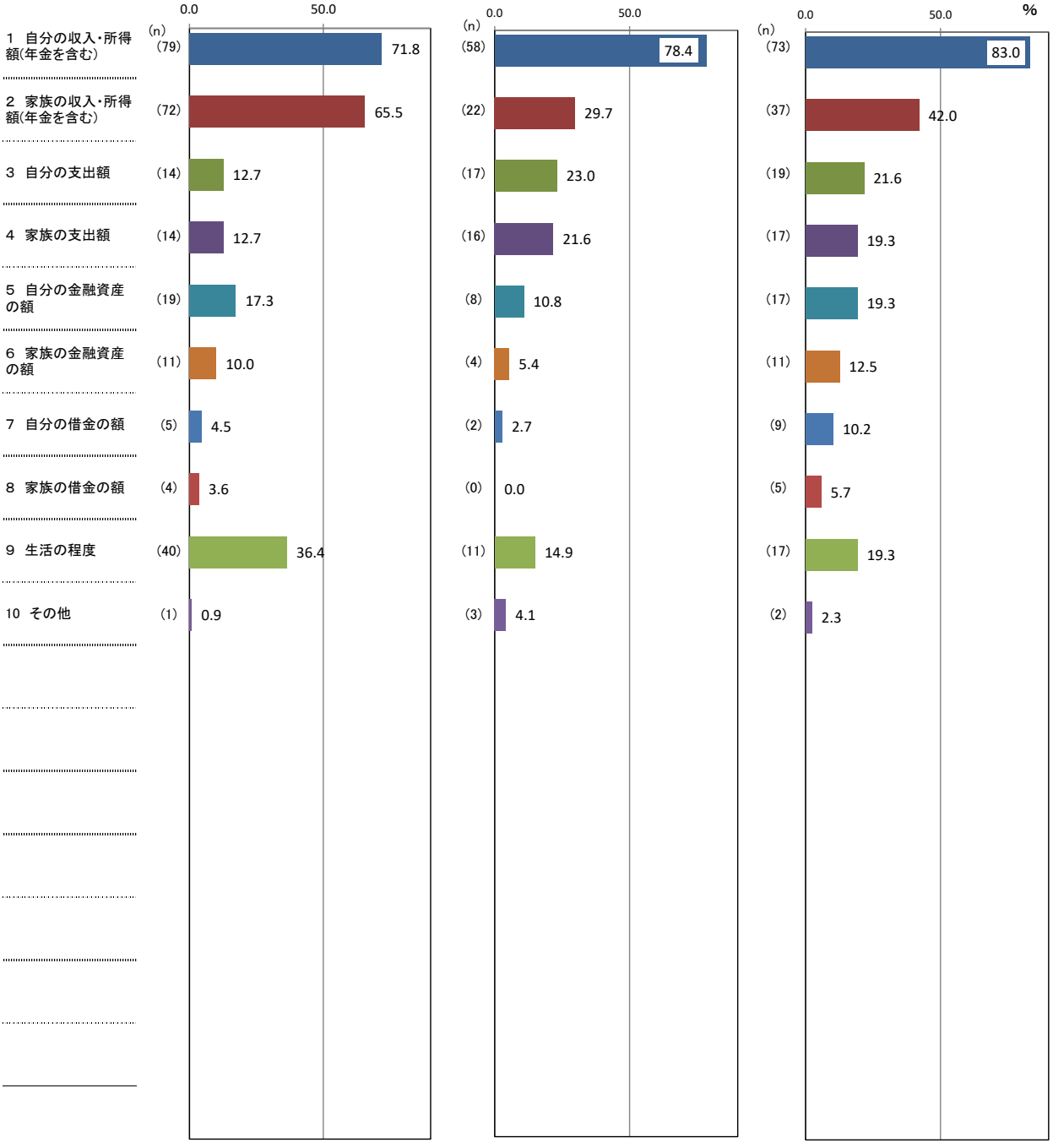
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝120人）	282	115	38	30	14	25	8	12	3	35	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝74人）	168	58	26	21	11	13	3	12	5	19	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝92人）	217	83	26	25	24	17	2	17	3	17	3

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (259) 110 人	②「どちらともいえない」の回答 (141) 74 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (207) 88 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (79)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (58)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (73)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (72)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (22)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (37)
3	9 生活の程度 (40)	3 自分の支出額 (17)	3 自分の支出額 (19)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜女性＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		71.8	65.5	12.7	12.7	17.3	10.0	4.5	3.6	36.4	0.9
②「どちらともいえない」		78.4	29.7	23.0	21.6	10.8	5.4	2.7	0.0	14.9	4.1
③「あまり感じない・感じない」		83.0	42.0	21.6	19.3	19.3	12.5	10.2	5.7	19.3	2.3

（件）

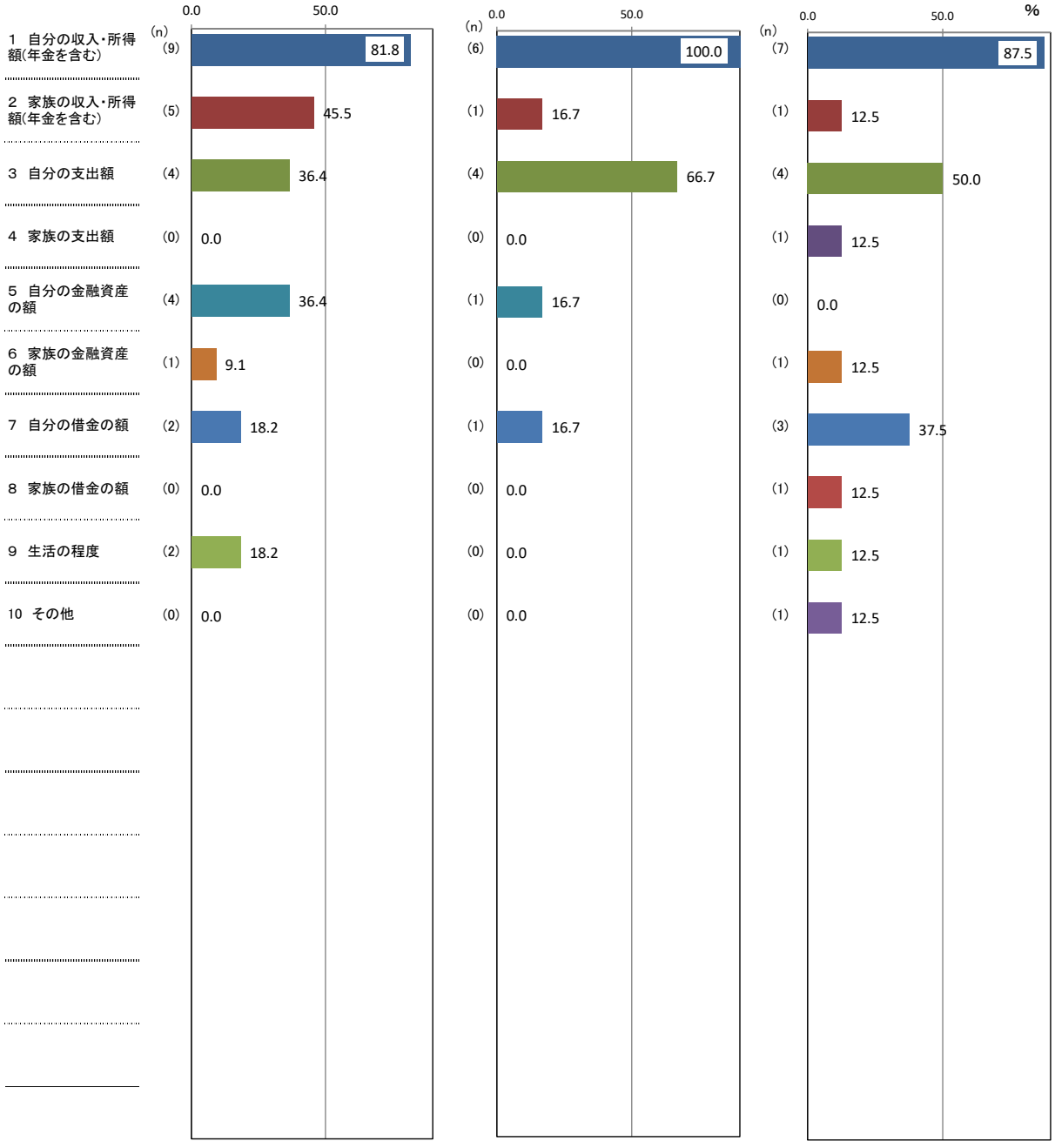
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝110人）	259	79	72	14	14	19	11	5	4	40	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝74人）	141	58	22	17	16	8	4	2	0	11	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝88人）	207	73	37	19	17	17	11	9	5	17	2

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜20～29歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (27) 11 人	②「どちらともいえない」の回答 (13) 6 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (20) 8 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (9)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (6)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (7)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (5)	3 自分の支出額 (4)	3 自分の支出額 (4)
3	3 自分の支出額 (4) 5 自分の金融資産の額 (4)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (1) 5 自分の金融資産の額 (1) 7 自分の借金の額 (1)	7 自分の借金の額 (3)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜20～29歳＞ （%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		81.8	45.5	36.4	0.0	36.4	9.1	18.2	0.0	18.2	0.0
②「どちらともいえない」		100.0	16.7	66.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		87.5	12.5	50.0	12.5	0.0	12.5	37.5	12.5	12.5	12.5

（件）

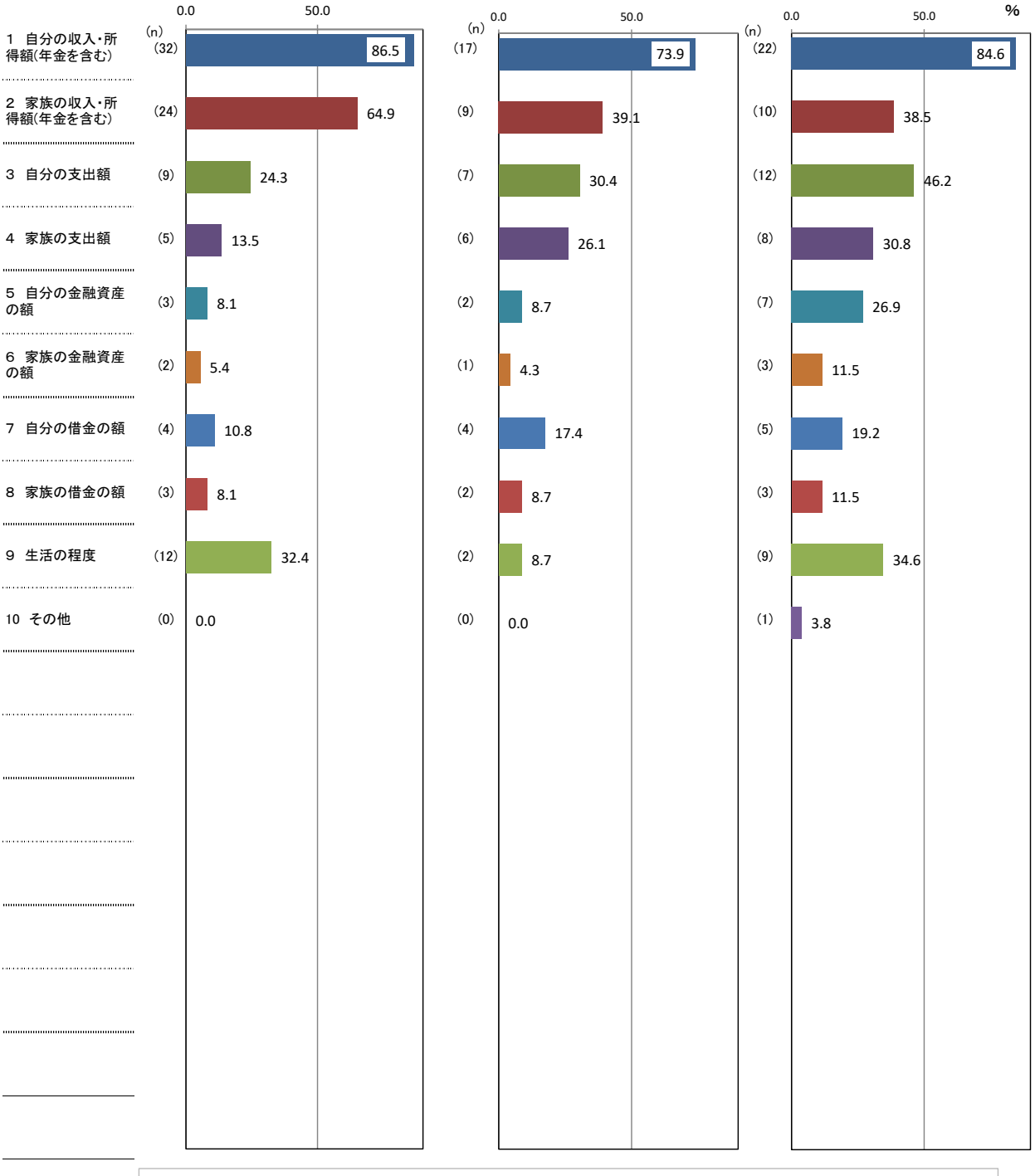
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝11人）	27	9	5	4	0	4	1	2	0	2	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝6人）	13	6	1	4	0	1	0	1	0	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝8人）	20	7	1	4	1	0	1	3	1	1	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜30～39歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (94) 37 人	②「どちらともいえない」の回答 (50) 23 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (80) 26 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (32)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (17)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (22)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (24)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (9)	3 自分の支出額 (12)
3	9 生活の程度 (12)	3 自分の支出額 (7)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (10)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜30～39歳＞ （%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		86.5	64.9	24.3	13.5	8.1	5.4	10.8	8.1	32.4	0.0
②「どちらともいえない」		73.9	39.1	30.4	26.1	8.7	4.3	17.4	8.7	8.7	0.0
③「あまり感じない・感じない」		84.6	38.5	46.2	30.8	26.9	11.5	19.2	11.5	34.6	3.8

（件）

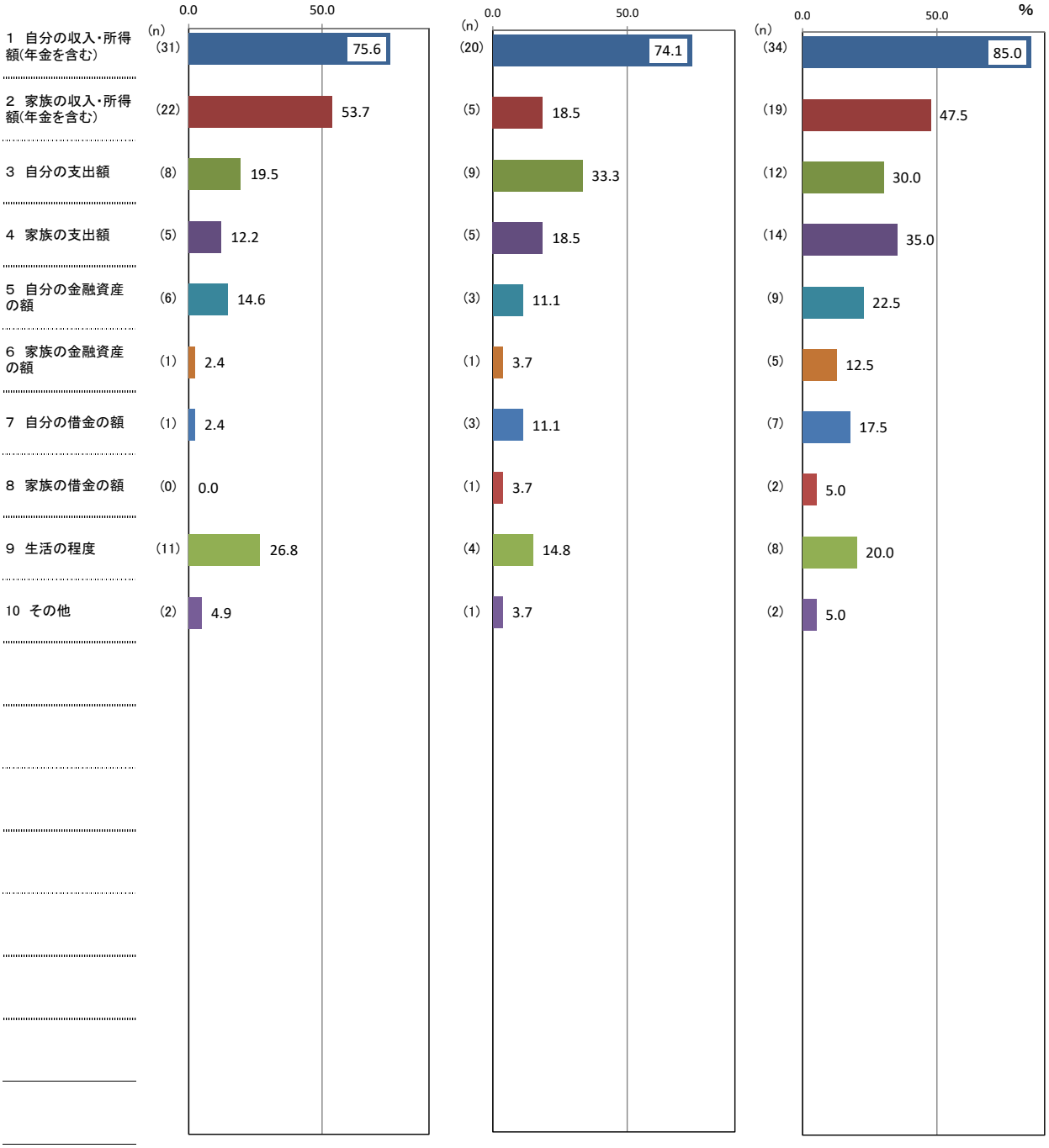
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝37人）	94	32	24	9	5	3	2	4	3	12	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝23人）	50	17	9	7	6	2	1	4	2	2	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝26人）	80	22	10	12	8	7	3	5	3	9	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜40～49歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (87) 41 人	②「どちらともいえない」の回答 (52) 27 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (112) 40 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (31)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (20)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (34)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (22)	3 自分の支出額 (9)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (19)
3	9 生活の程度 (11)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (5) 4 家族の支出額 (5)	4 家族の支出額 (14)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜40～49歳＞ （%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		75.6	53.7	19.5	12.2	14.6	2.4	2.4	0.0	26.8	4.9
②「どちらともいえない」		74.1	18.5	33.3	18.5	11.1	3.7	11.1	3.7	14.8	3.7
③「あまり感じない・感じない」		85.0	47.5	30.0	35.0	22.5	12.5	17.5	5.0	20.0	5.0

（件）

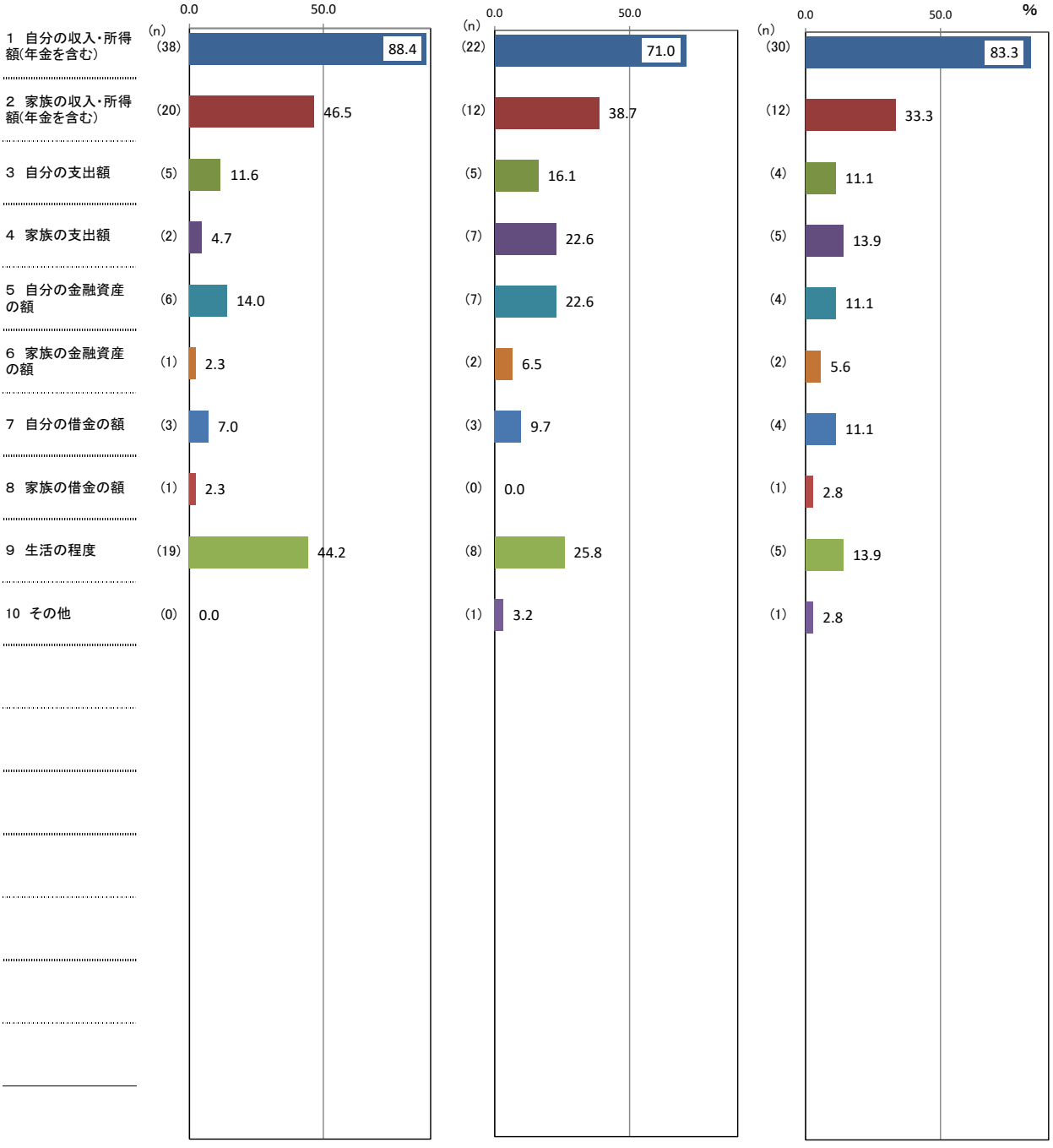
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝41人）	87	31	22	8	5	6	1	1	0	11	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝27人）	52	20	5	9	5	3	1	3	1	4	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝40人）	112	34	19	12	14	9	5	7	2	8	2

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜50～59歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (95) 43 人	②「どちらともいえない」の回答 (67) 31 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (68) 36 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (38)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (22)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (30)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (20)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)
3	9 生活の程度 (19)	9 生活の程度 (8)	4 家族の支出額 (5) 9 生活の程度 (5)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜50～59歳＞ （%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		88.4	46.5	11.6	4.7	14.0	2.3	7.0	2.3	44.2	0.0
②「どちらともいえない」		71.0	38.7	16.1	22.6	22.6	6.5	9.7	0.0	25.8	3.2
③「あまり感じない・感じない」		83.3	33.3	11.1	13.9	11.1	5.6	11.1	2.8	13.9	2.8

（件）

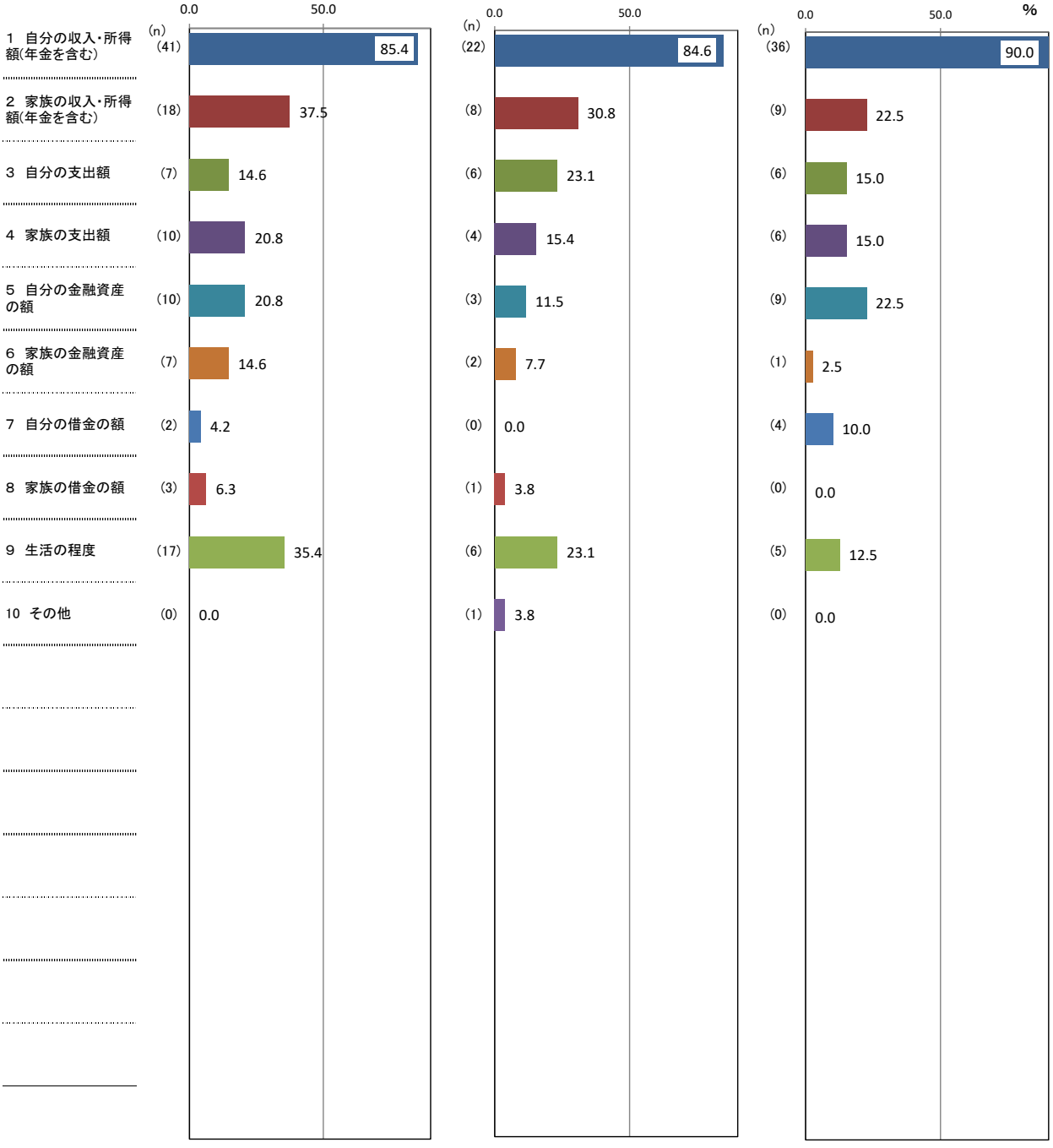
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝43人）	95	38	20	5	2	6	1	3	1	19	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝31人）	67	22	12	5	7	7	2	3	0	8	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝36人）	68	30	12	4	5	4	2	4	1	5	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜60～69歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (115) 48 人	②「どちらともいえない」の回答 (53) 26 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (76) 40 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (41)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (22)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (36)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (18)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (8)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (9)
			5 自分の金融資産の額 (9)
3	9 生活の程度 (17)	3 自分の支出額 (6)	－ －
		9 生活の程度 (6)	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60～69歳＞ （%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		85.4	37.5	14.6	20.8	20.8	14.6	4.2	6.3	35.4	0.0
②「どちらともいえない」		84.6	30.8	23.1	15.4	11.5	7.7	0.0	3.8	23.1	3.8
③「あまり感じない・感じない」		90.0	22.5	15.0	15.0	22.5	2.5	10.0	0.0	12.5	0.0

（件）

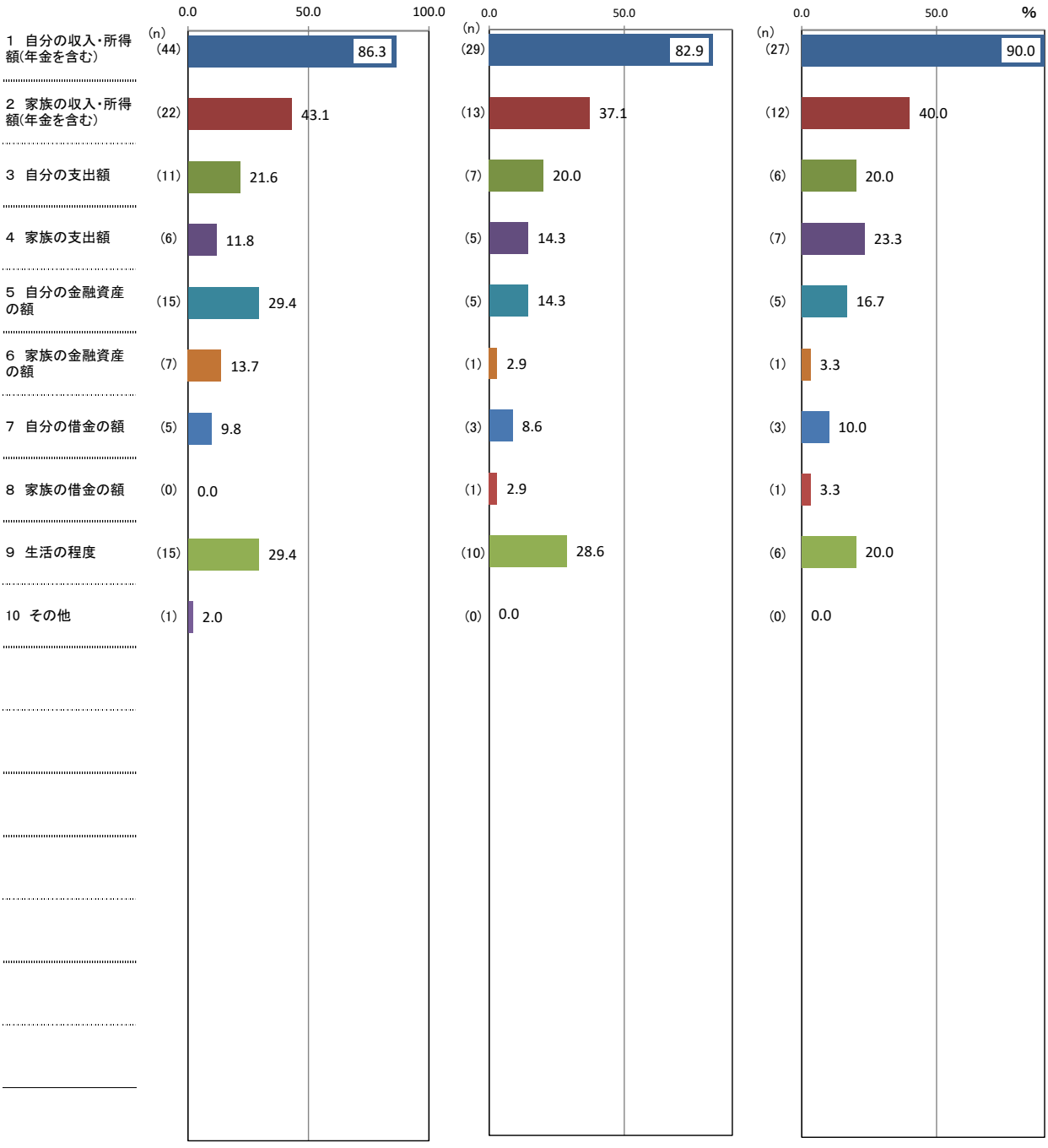
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝48人）	115	41	18	7	10	10	7	2	3	17	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝26人）	53	22	8	6	4	3	2	0	1	6	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝40人）	76	36	9	6	6	9	1	4	0	5	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜70歳以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (126) 51 人	②「どちらともいえない」の回答 (74) 35 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (68) 30 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (44)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (29)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (27)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (22)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (13)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)
3	5 自分の金融資産の額 (15) 9 生活の程度 (15)	9 生活の程度 (10)	4 家族の支出額 (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜70歳以上＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		86.3	43.1	21.6	11.8	29.4	13.7	9.8	0.0	29.4	2.0
②「どちらともいえない」		82.9	37.1	20.0	14.3	14.3	2.9	8.6	2.9	28.6	0.0
③「あまり感じない・感じない」		90.0	40.0	20.0	23.3	16.7	3.3	10.0	3.3	20.0	0.0

（件）

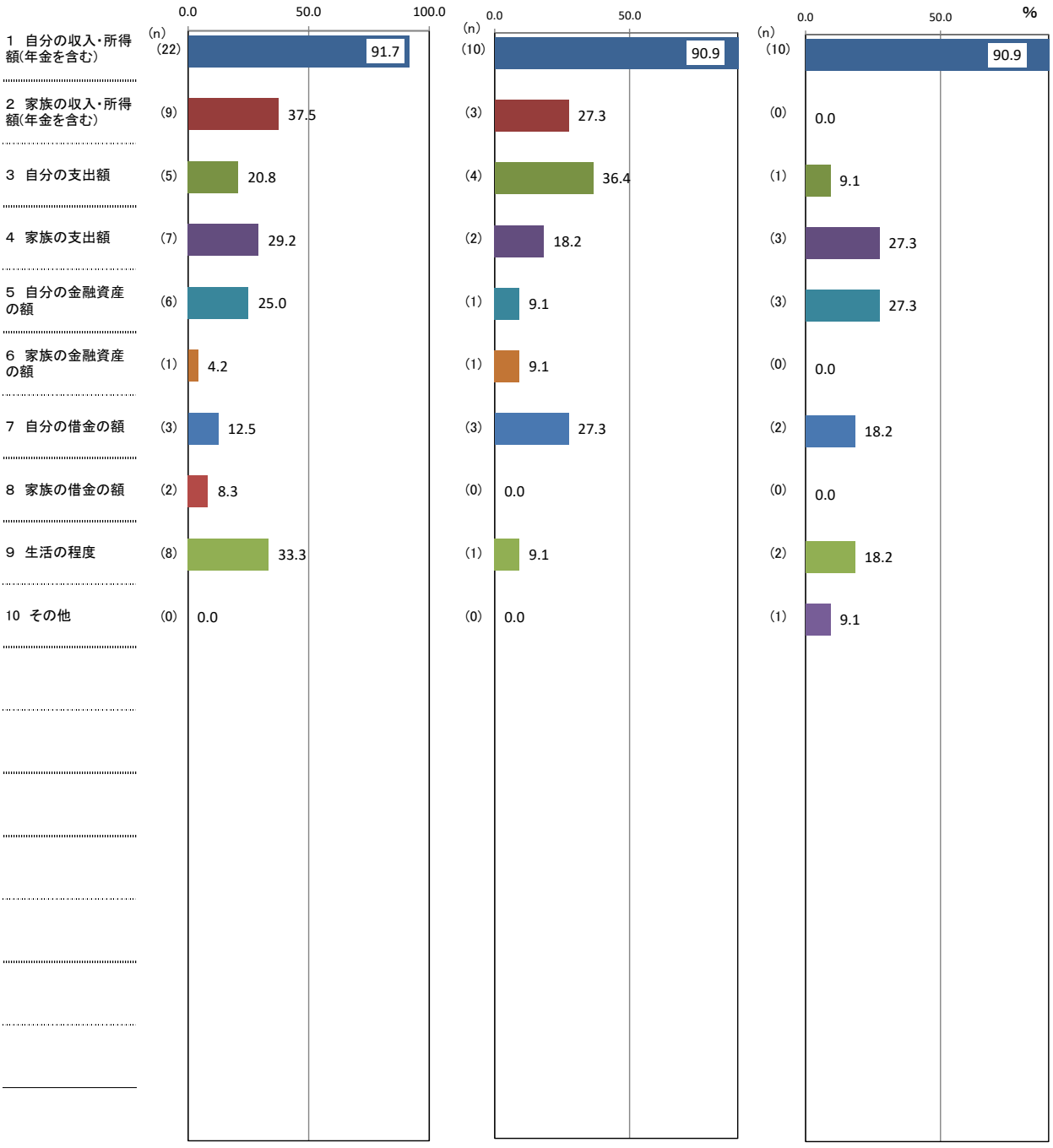
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝51人）	126	44	22	11	6	15	7	5	0	15	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝35人）	74	29	13	7	5	5	1	3	1	10	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝30人）	68	27	12	6	7	5	1	3	1	6	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜自営業主＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (63) 24 人	②「どちらともいえない」の回答 (25) 11 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (22) 11 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (22)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (10)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (10)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (9)	3 自分の支出額 (4)	4 家族の支出額 (3) 5 自分の金融資産の額 (3)
3	9 生活の程度 (8)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (3) 7 自分の借金の額 (3)	－ －

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜自営業主＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		91.7	37.5	20.8	29.2	25.0	4.2	12.5	8.3	33.3	0.0
②「どちらともいえない」		90.9	27.3	36.4	18.2	9.1	9.1	27.3	0.0	9.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		90.9	0.0	9.1	27.3	27.3	0.0	18.2	0.0	18.2	9.1

（件）

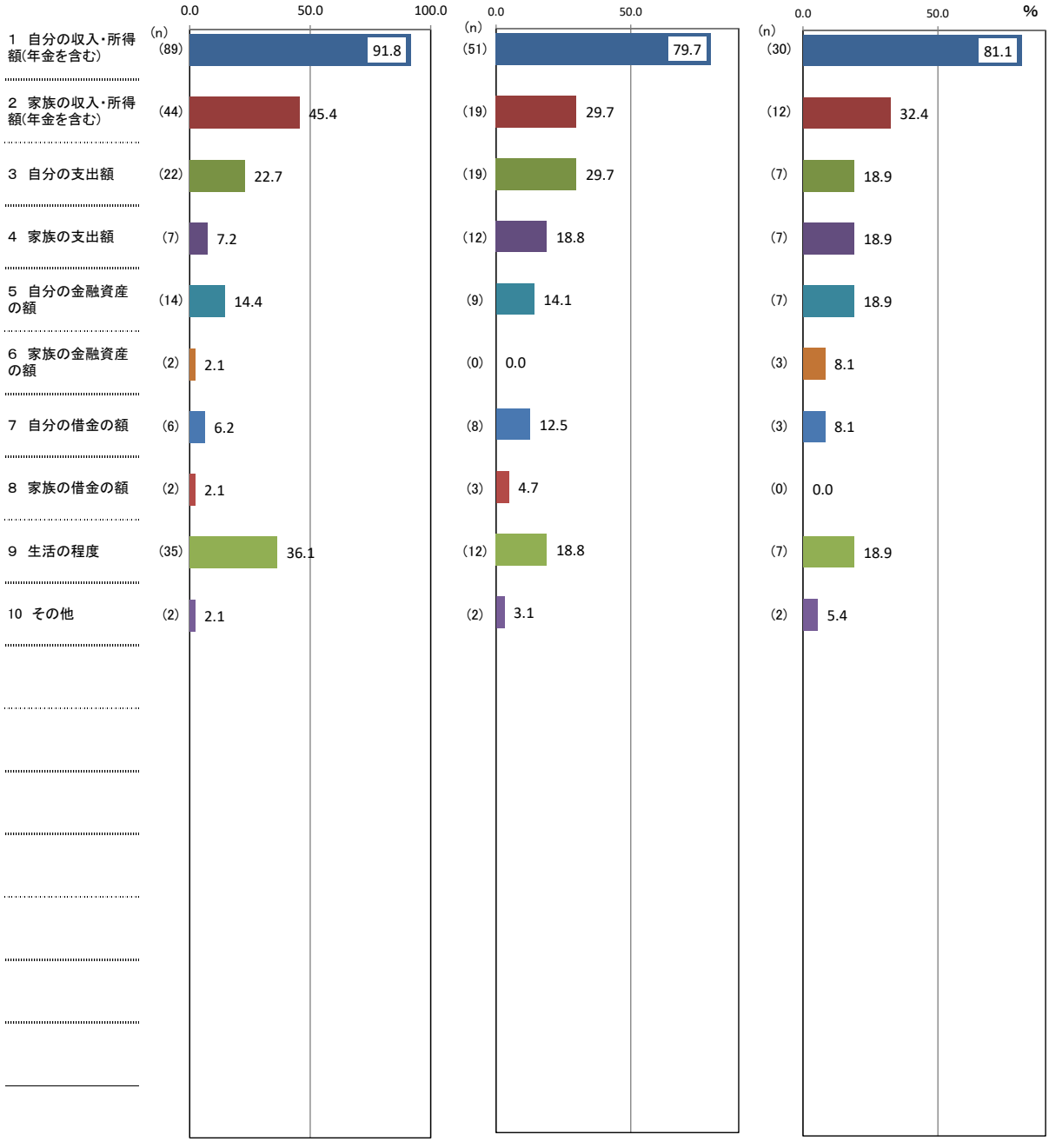
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝24人）	63	22	9	5	7	6	1	3	2	8	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝11人）	25	10	3	4	2	1	1	3	0	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝11人）	22	10	0	1	3	3	0	2	0	2	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜常用雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (223) 97 人	②「どちらともいえない」の回答 (135) 64 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (78) 37 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (89)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (51)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (30)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (44)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (19) 3 自分の支出額 (19)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)
3	9 生活の程度 (35)	－	3 自分の支出額 (7) 4 家族の支出額 (7) 5 自分の金融資産の額 (7) 9 生活の程度 (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜常用雇用者＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		91.8	45.4	22.7	7.2	14.4	2.1	6.2	2.1	36.1	2.1
②「どちらともいえない」		79.7	29.7	29.7	18.8	14.1	0.0	12.5	4.7	18.8	3.1
③「あまり感じない・感じない」		81.1	32.4	18.9	18.9	18.9	8.1	8.1	0.0	18.9	5.4

（件）

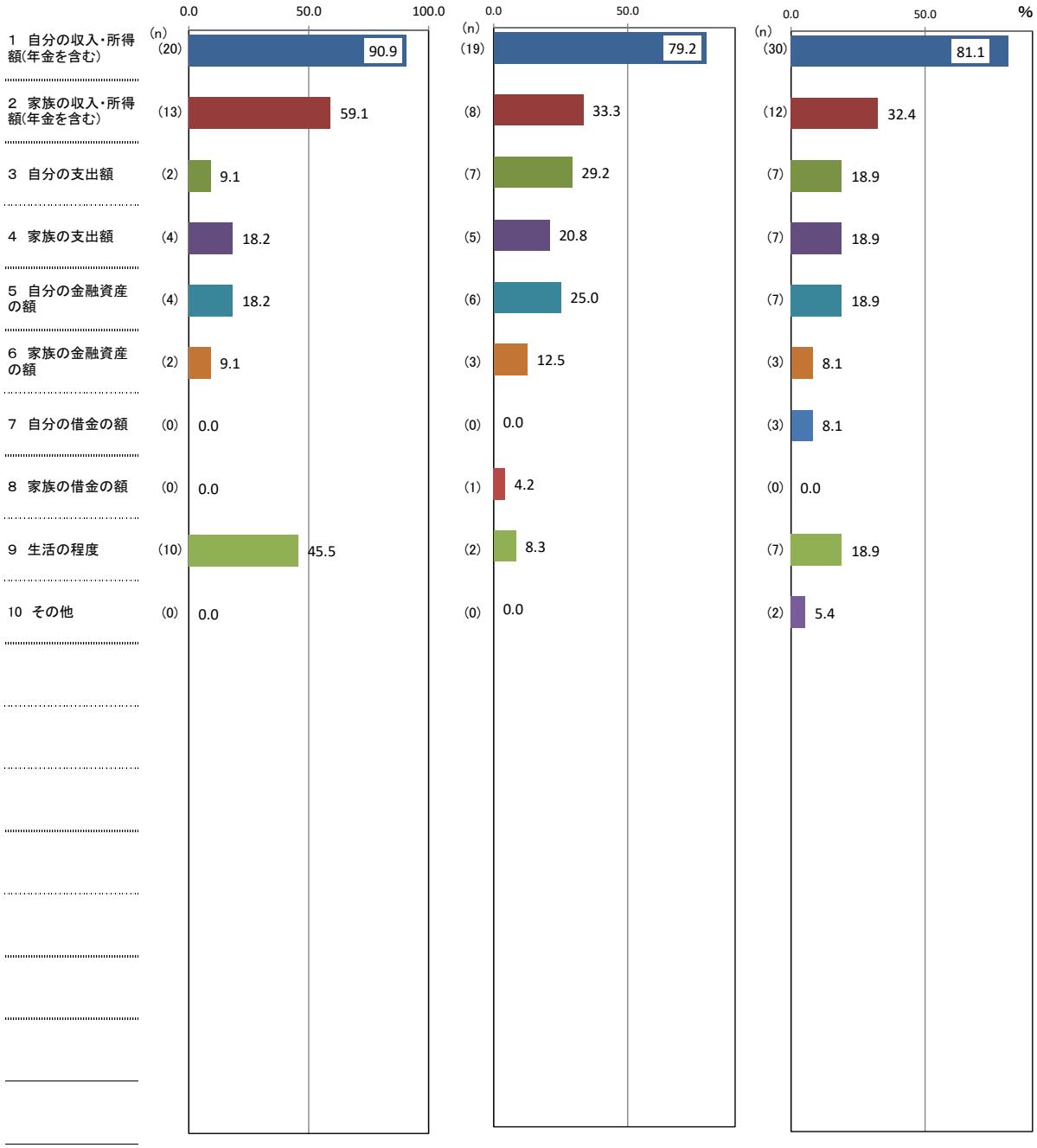
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝97人）	223	89	44	22	7	14	2	6	2	35	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝64人）	135	51	19	19	12	9	0	8	3	12	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝37人）	78	30	12	7	7	7	3	3	0	7	2

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜臨時雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (55) 22 人	②「どちらともいえない」の回答 (51) 24 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (78) 37 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (20)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (19)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (30)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (13)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (8)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)
3	9 生活の程度 (10)	3 自分の支出額 (7)	3 自分の支出額 (7) 4 家族の支出額 (7) 5 自分の金融資産の額 (7) 9 生活の程度 (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜臨時雇用者＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		90.9	59.1	9.1	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0	45.5	0.0
②「どちらともいえない」		79.2	33.3	29.2	20.8	25.0	12.5	0.0	4.2	8.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		81.1	32.4	18.9	18.9	18.9	8.1	8.1	0.0	18.9	5.4

（件）

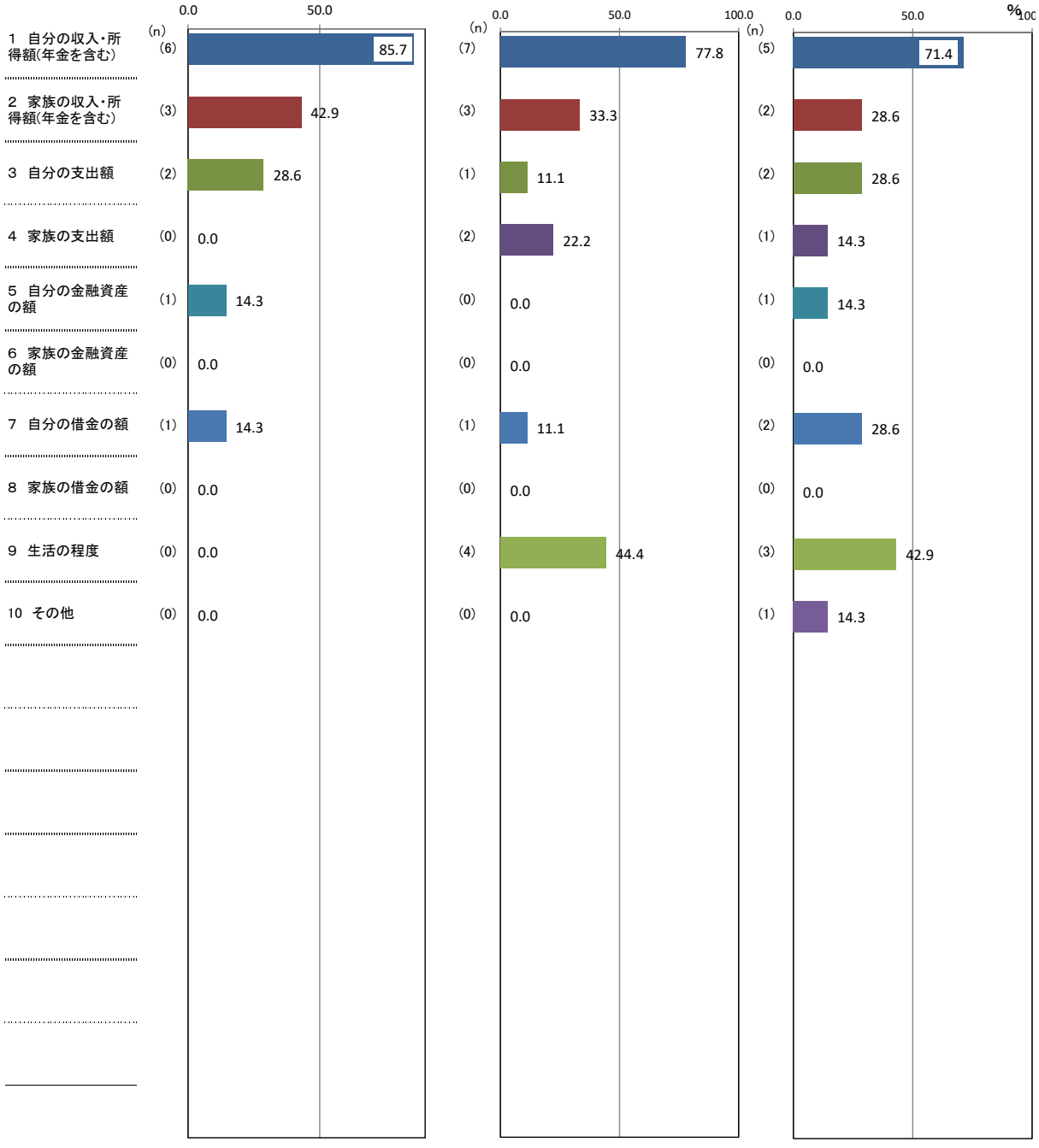
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝22人）	55	20	13	2	4	4	2	0	0	10	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝24人）	51	19	8	7	5	6	3	0	1	2	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝37人）	78	30	12	7	7	7	3	3	0	7	2

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜学生＋その他＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (13) 7 人	②「どちらともいえない」の回答 (18) 9 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (17) 7 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (6)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (7)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (5)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (3)	9 生活の程度 (4)	9 生活の程度 (3)
3	3 自分の支出額 (2)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (3)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (2) 3 自分の支出額 (2) 7 自分の借金の額 (2)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜学生＋その他＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		85.7	42.9	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		77.8	33.3	11.1	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	44.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		71.4	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	42.9	14.3

（件）

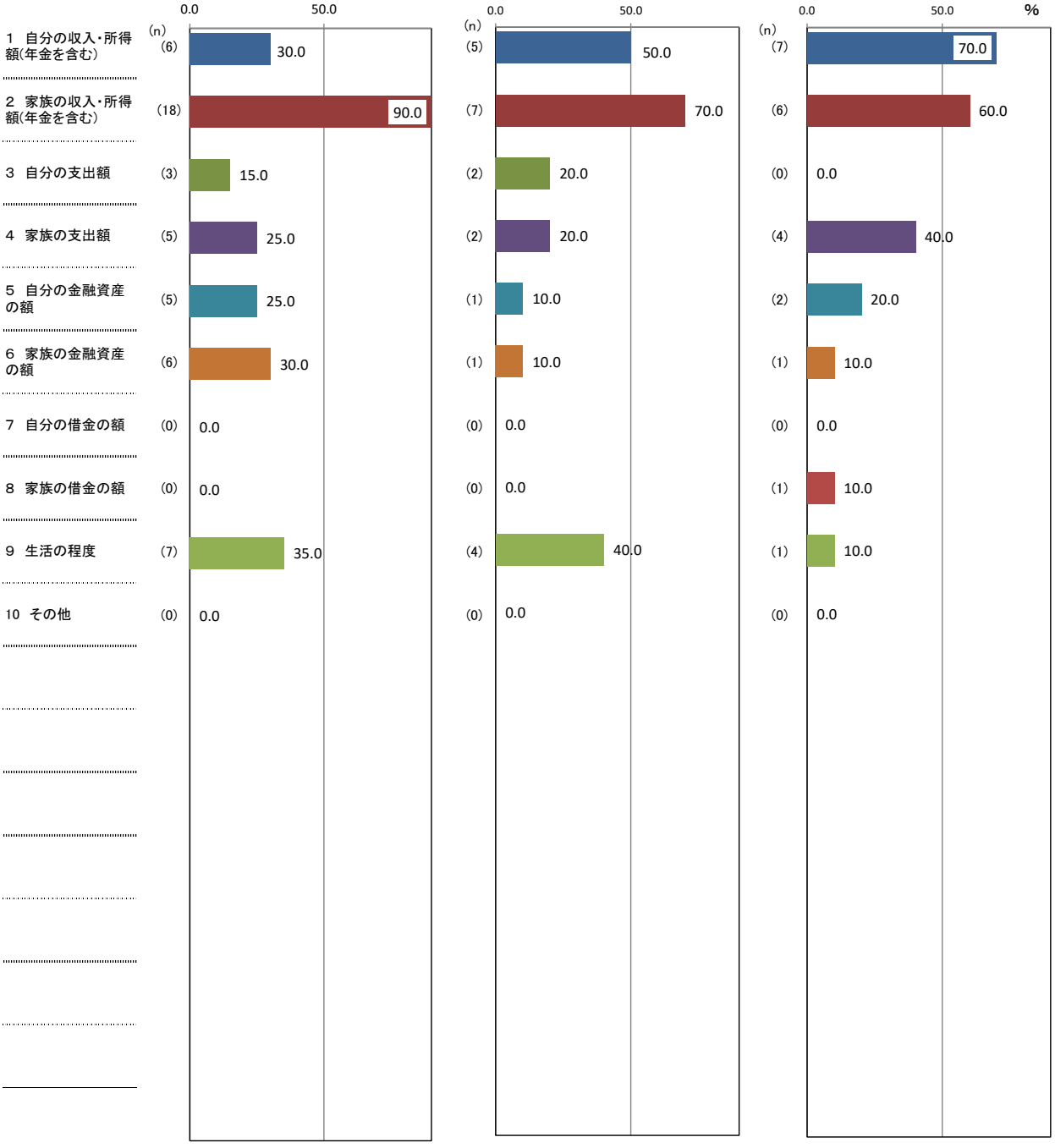
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝7人）	13	6	3	2	0	1	0	1	0	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝9人）	18	7	3	1	2	0	0	1	0	4	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝7人）	17	5	2	2	1	1	0	2	0	3	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜専業主婦・主夫＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (50) 20 人	②「どちらともいえない」の回答 (22) 10 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (22) 10 人
1	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (18)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (7)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (7)
2	9 生活の程度 (7)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (5)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (6)
3	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (6) 6 家族の金融資産の額 (6)	9 生活の程度 (4)	4 家族の支出額 (4)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜専業主婦・主夫＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		30.0	90.0	15.0	25.0	25.0	30.0	0.0	0.0	35.0	0.0
②「どちらともいえない」		50.0	70.0	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	40.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		70.0	60.0	0.0	40.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0

（件）

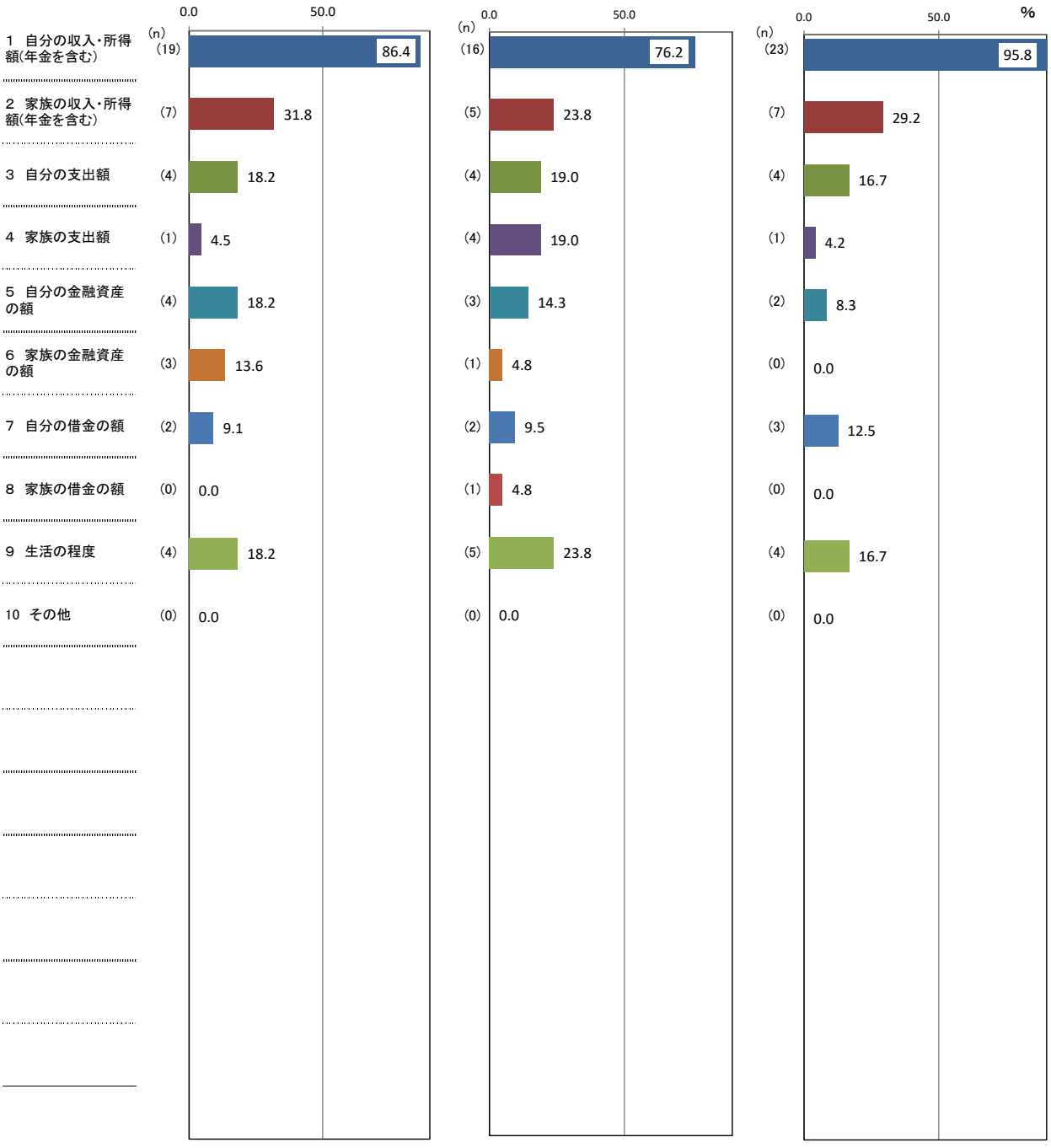
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝20人）	50	6	18	3	5	5	6	0	0	7	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝10人）	22	5	7	2	2	1	1	0	0	4	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝10人）	22	7	6	0	4	2	1	0	1	1	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜60歳以上の無職＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (44) 22 人	②「どちらともいえない」の回答 (41) 21 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (44) 24 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (19)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (16)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (23)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (7)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (5) 9 生活の程度 (5)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (7)
3	3 自分の支出額 (4) 5 自分の金融資産の額 (4) 9 生活の程度 (4)	－	3 自分の支出額 (4) 9 生活の程度 (4)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60歳以上の無職＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		86.4	31.8	18.2	4.5	18.2	13.6	9.1	0.0	18.2	0.0
②「どちらともいえない」		76.2	23.8	19.0	19.0	14.3	4.8	9.5	4.8	23.8	0.0
③「あまり感じない・感じない」		95.8	29.2	16.7	4.2	8.3	0.0	12.5	0.0	16.7	0.0

（件）

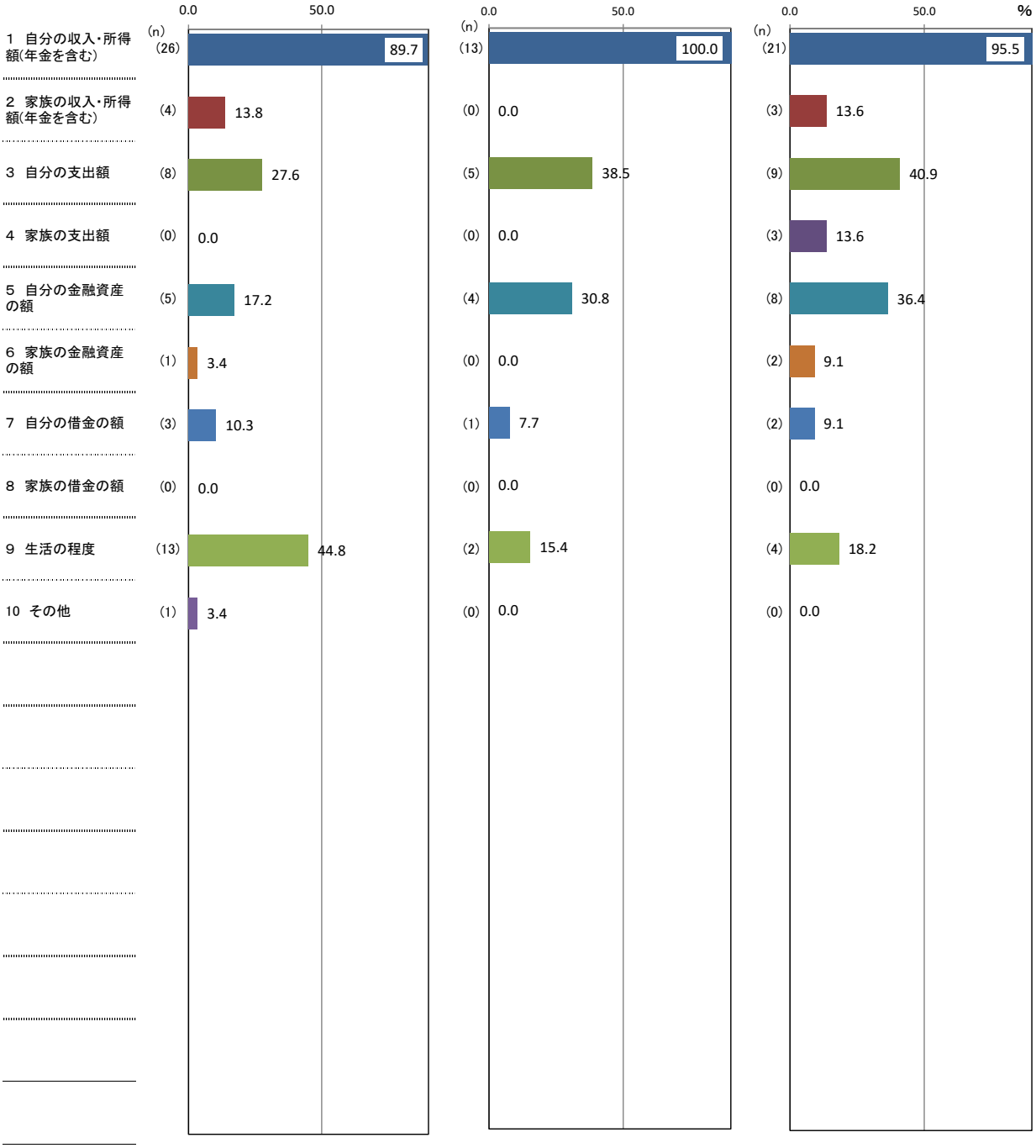
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝22人）	44	19	7	4	1	4	3	2	0	4	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝21人）	41	16	5	4	4	3	1	2	1	5	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝24人）	44	23	7	4	1	2	0	3	0	4	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<ひとり暮らし>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (61) 29 人	②「どちらともいえない」の回答 (25) 13 人	②「どちらともいえない」の回答 (52) 22 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (26)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (13)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (21)
2	9 生活の程度 (13)	3 自分の支出額 (5)	3 自分の支出額 (9)
3	3 自分の支出額 (8)	5 自分の金融資産の額 (4)	5 自分の金融資産の額 (8)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜ひとり暮らし＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		89.7	13.8	27.6	0.0	17.2	3.4	10.3	0.0	44.8	3.4
②「どちらともいえない」		100.0	0.0	38.5	0.0	30.8	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		95.5	13.6	40.9	13.6	36.4	9.1	9.1	0.0	18.2	0.0

（件）

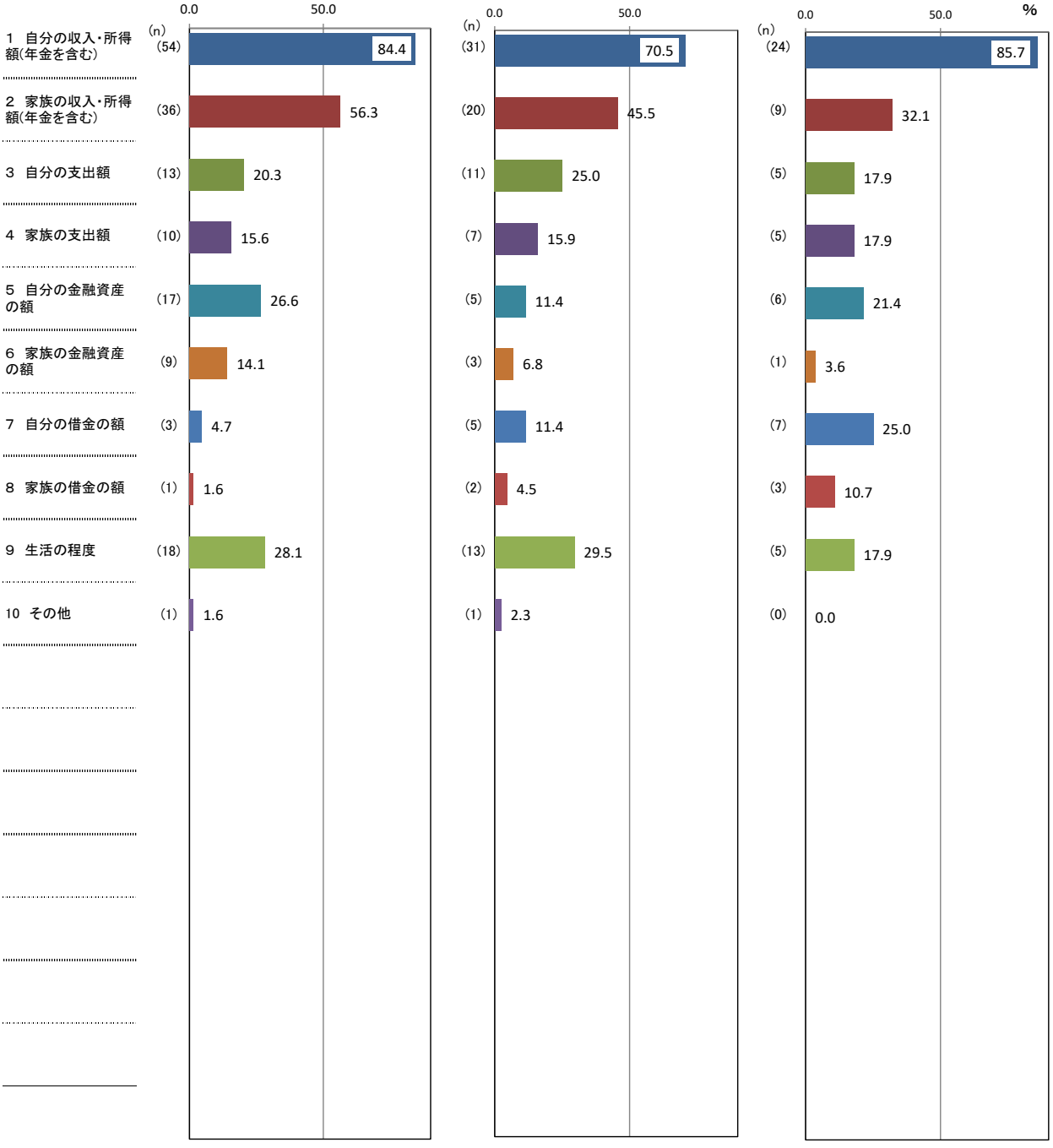
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝29人）	61	26	4	8	0	5	1	3	0	13	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝13人）	25	13	0	5	0	4	0	1	0	2	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝22人）	52	21	3	9	3	8	2	2	0	4	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜夫婦のみ＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (162) 64 人	②「どちらともいえない」の回答 (98) 44 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (65) 28 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (54)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (31)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (24)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (36)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (20)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (9)
3	9 生活の程度 (18)	9 生活の程度 (13)	7 自分の借金の額 (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜夫婦のみ＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		84.4	56.3	20.3	15.6	26.6	14.1	4.7	1.6	28.1	1.6
②「どちらともいえない」		70.5	45.5	25.0	15.9	11.4	6.8	11.4	4.5	29.5	2.3
③「あまり感じない・感じない」		85.7	32.1	17.9	17.9	21.4	3.6	25.0	10.7	17.9	0.0

（件）

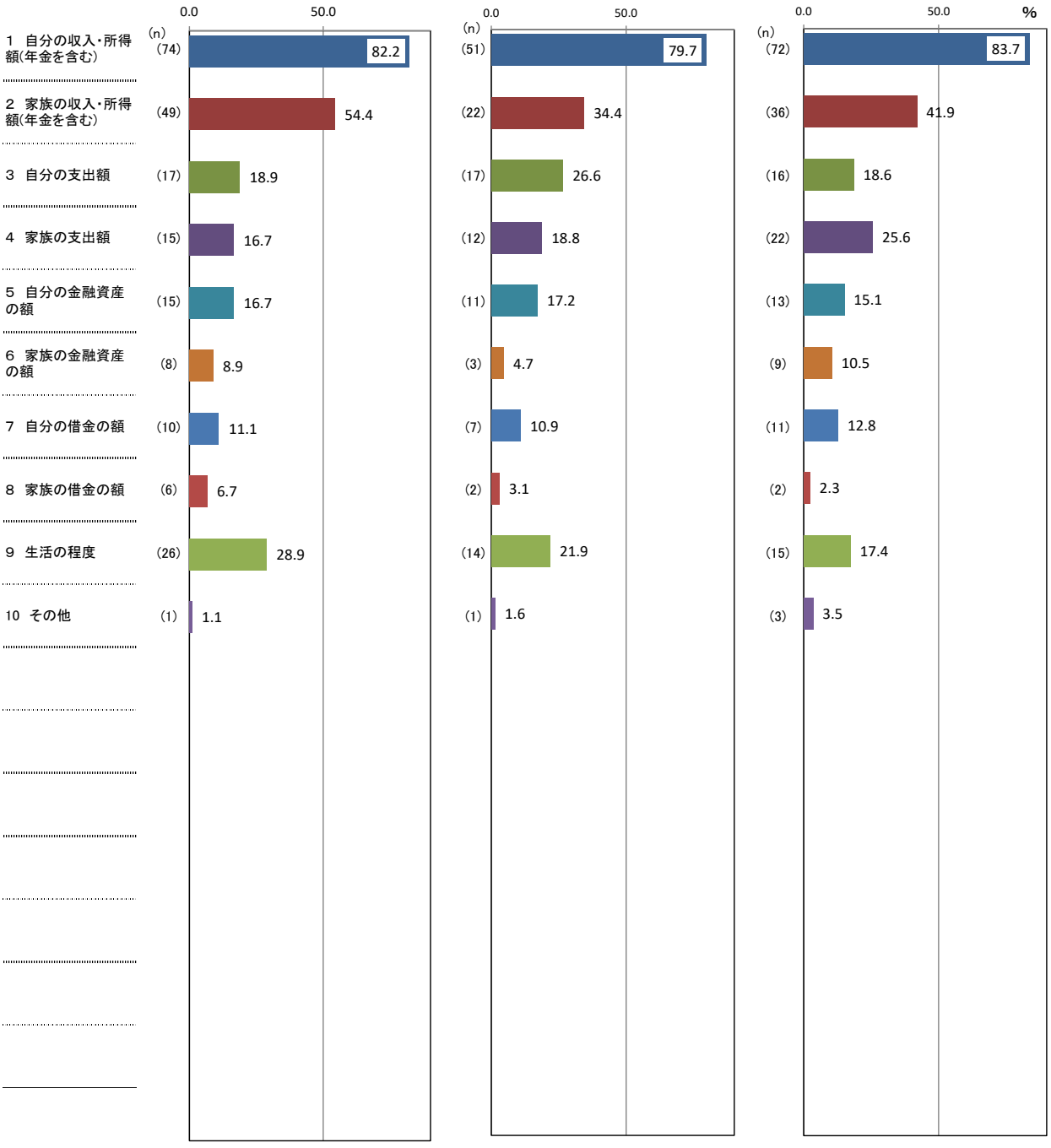
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝64人）	162	54	36	13	10	17	9	3	1	18	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝44人）	98	31	20	11	7	5	3	5	2	13	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝28人）	65	24	9	5	5	6	1	7	3	5	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜2世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (221) 90 人	②「どちらともいえない」の回答 (140) 64 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (199) 86 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (74)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (51)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (72)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (49)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (22)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (36)
3	9 生活の程度 (26)	3 自分の支出額 (17)	4 家族の支出額 (22)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜2世代世帯＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		82.2	54.4	18.9	16.7	16.7	8.9	11.1	6.7	28.9	1.1
②「どちらともいえない」		79.7	34.4	26.6	18.8	17.2	4.7	10.9	3.1	21.9	1.6
③「あまり感じない・感じない」		83.7	41.9	18.6	25.6	15.1	10.5	12.8	2.3	17.4	3.5

（件）

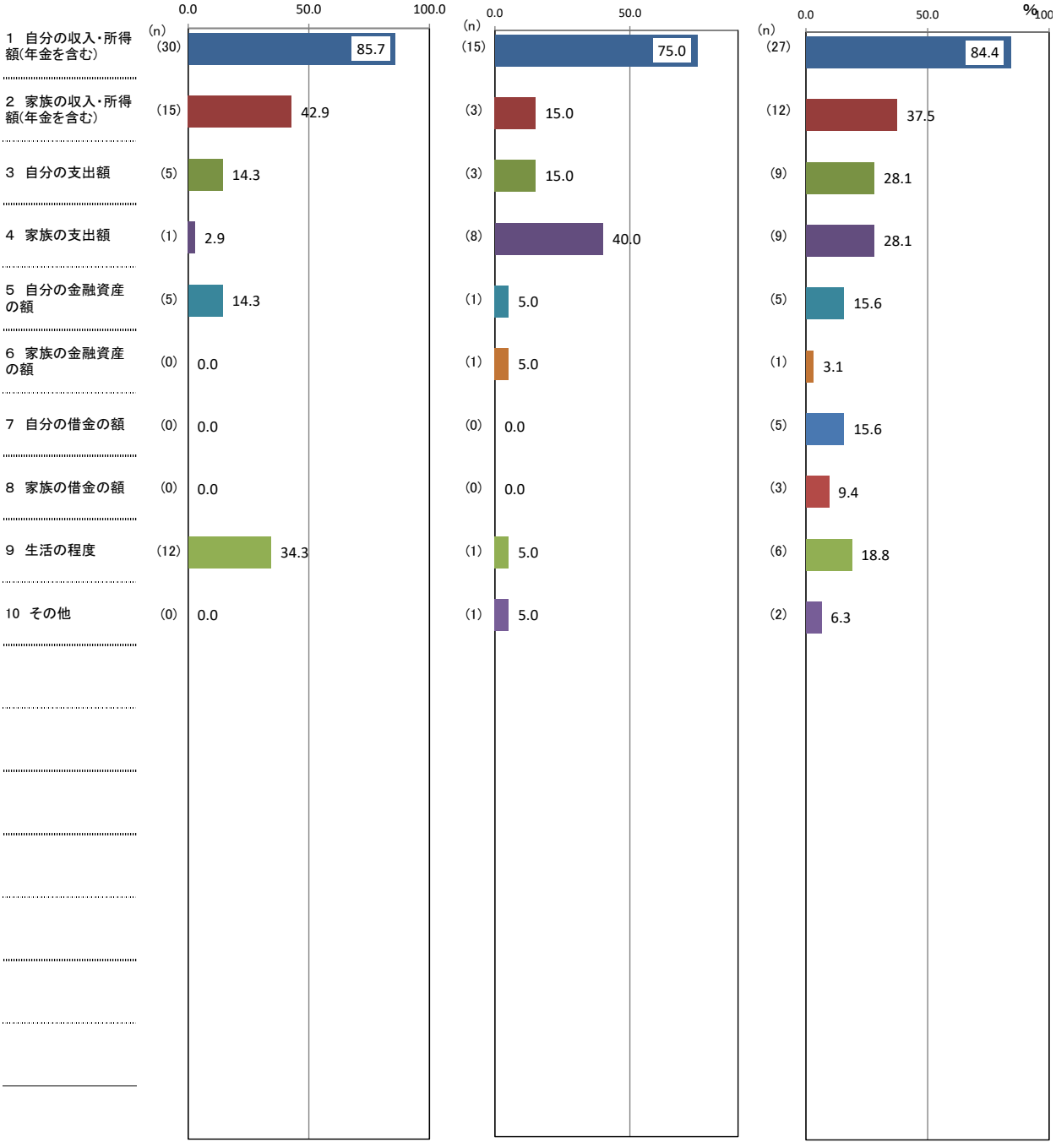
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝90人）	221	74	49	17	15	15	8	10	6	26	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝64人）	140	51	22	17	12	11	3	7	2	14	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝86人）	199	72	36	16	22	13	9	11	2	15	3

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜3世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (68) 35 人	②「どちらともいえない」の回答 (33) 20 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (79) 32 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (30)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (15)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (27)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (15)	4 家族の支出額 (8)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)
3	9 生活の程度 (12)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (3)	3 自分の支出額 (9)
		3 自分の支出額 (3)	4 家族の支出額 (9)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜3世代世帯＞ （%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		85.7	42.9	14.3	2.9	14.3	0.0	0.0	0.0	34.3	0.0
②「どちらともいえない」		75.0	15.0	15.0	40.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0	5.0
③「あまり感じない・感じない」		84.4	37.5	28.1	28.1	15.6	3.1	15.6	9.4	18.8	6.3

（件）

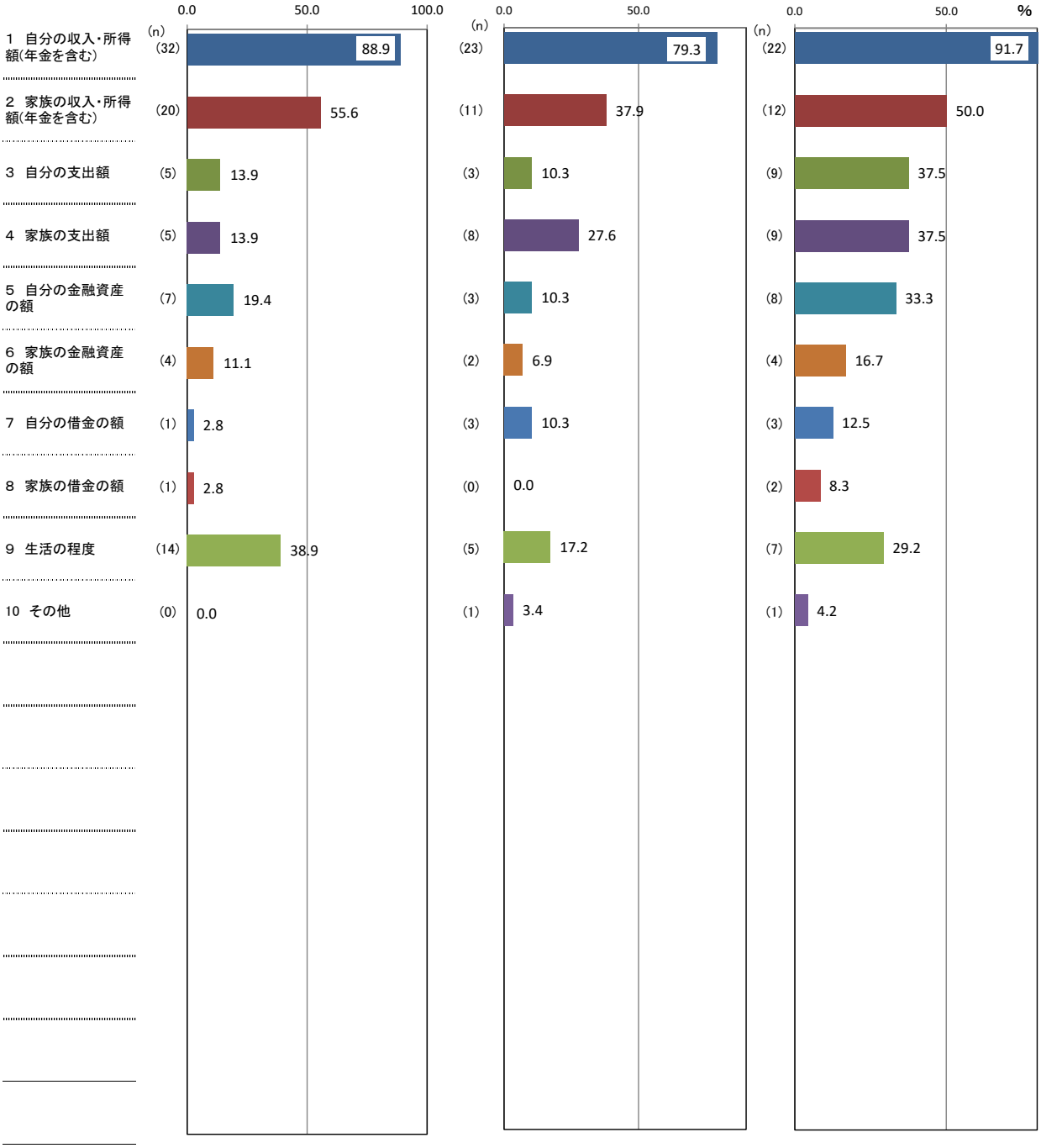
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝35人）	68	30	15	5	1	5	0	0	0	12	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝20人）	33	15	3	3	8	1	1	0	0	1	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝32人）	79	27	12	9	9	5	1	5	3	6	2

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜子どもの数1人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (89) 36 人	②「どちらともいえない」の回答 (59) 29 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (77) 24 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (32)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (23)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (22)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (20)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (11)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)
3	9 生活の程度 (14)	4 家族の支出額 (8)	3 自分の支出額 (9)
			4 家族の支出額 (9)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもの数1人＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		88.9	55.6	13.9	13.9	19.4	11.1	2.8	2.8	38.9	0.0
②「どちらともいえない」		79.3	37.9	10.3	27.6	10.3	6.9	10.3	0.0	17.2	3.4
③「あまり感じない・感じない」		91.7	50.0	37.5	37.5	33.3	16.7	12.5	8.3	29.2	4.2

（件）

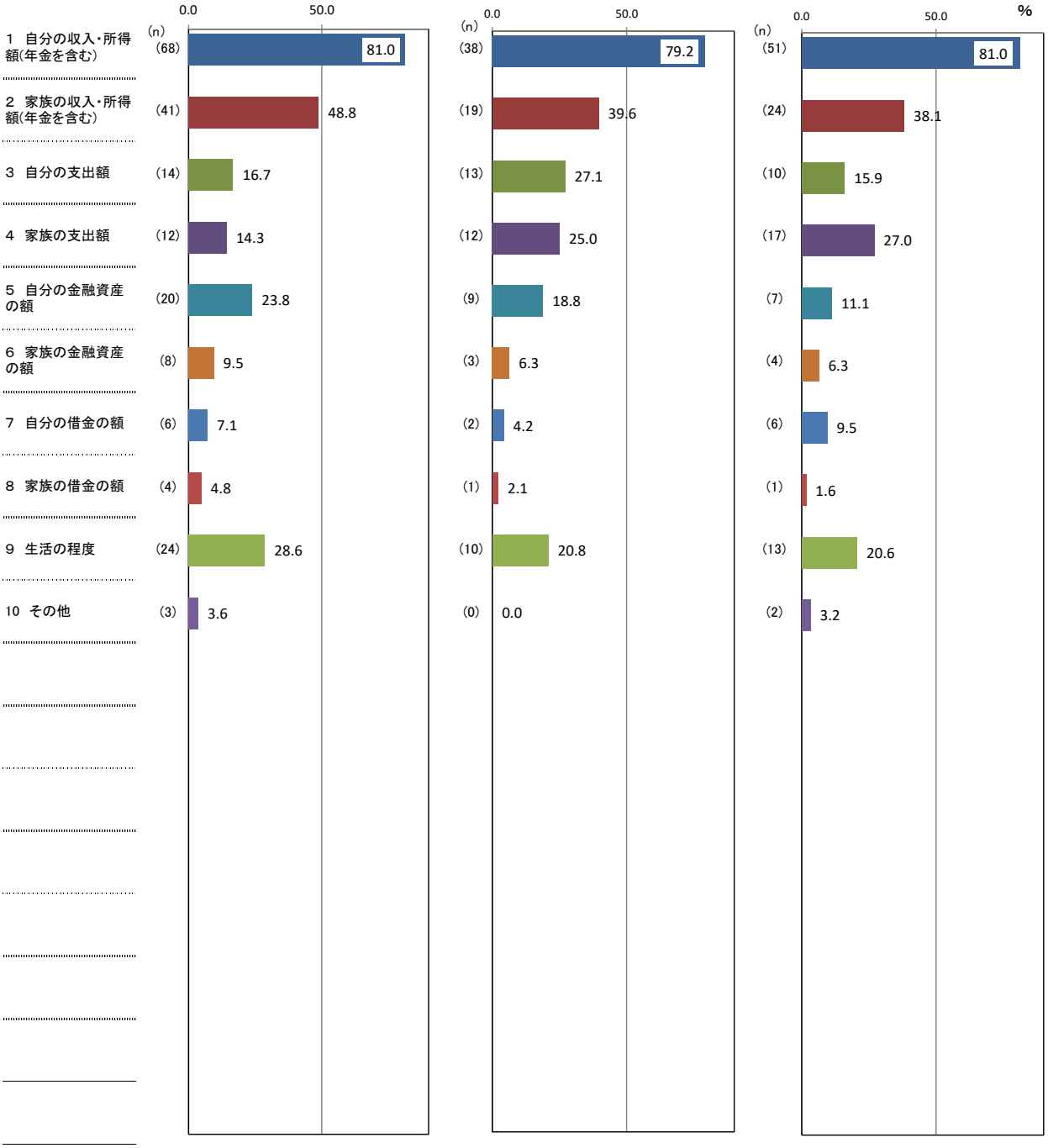
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝36人）	89	32	20	5	5	7	4	1	1	14	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝29人）	59	23	11	3	8	3	2	3	0	5	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝24人）	77	22	12	9	9	8	4	3	2	7	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜子どもの数2人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (200) 84 人	②「どちらともいえない」の回答 (107) 48 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (135) 63 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (68)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (38)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (51)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (41)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (19)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (24)
3	9 生活の程度 (24)	3 自分の支出額 (13)	4 家族の支出額 (17)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもの数2人＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		81.0	48.8	16.7	14.3	23.8	9.5	7.1	4.8	28.6	3.6
②「どちらともいえない」		79.2	39.6	27.1	25.0	18.8	6.3	4.2	2.1	20.8	0.0
③「あまり感じない・感じない」		81.0	38.1	15.9	27.0	11.1	6.3	9.5	1.6	20.6	3.2

（件）

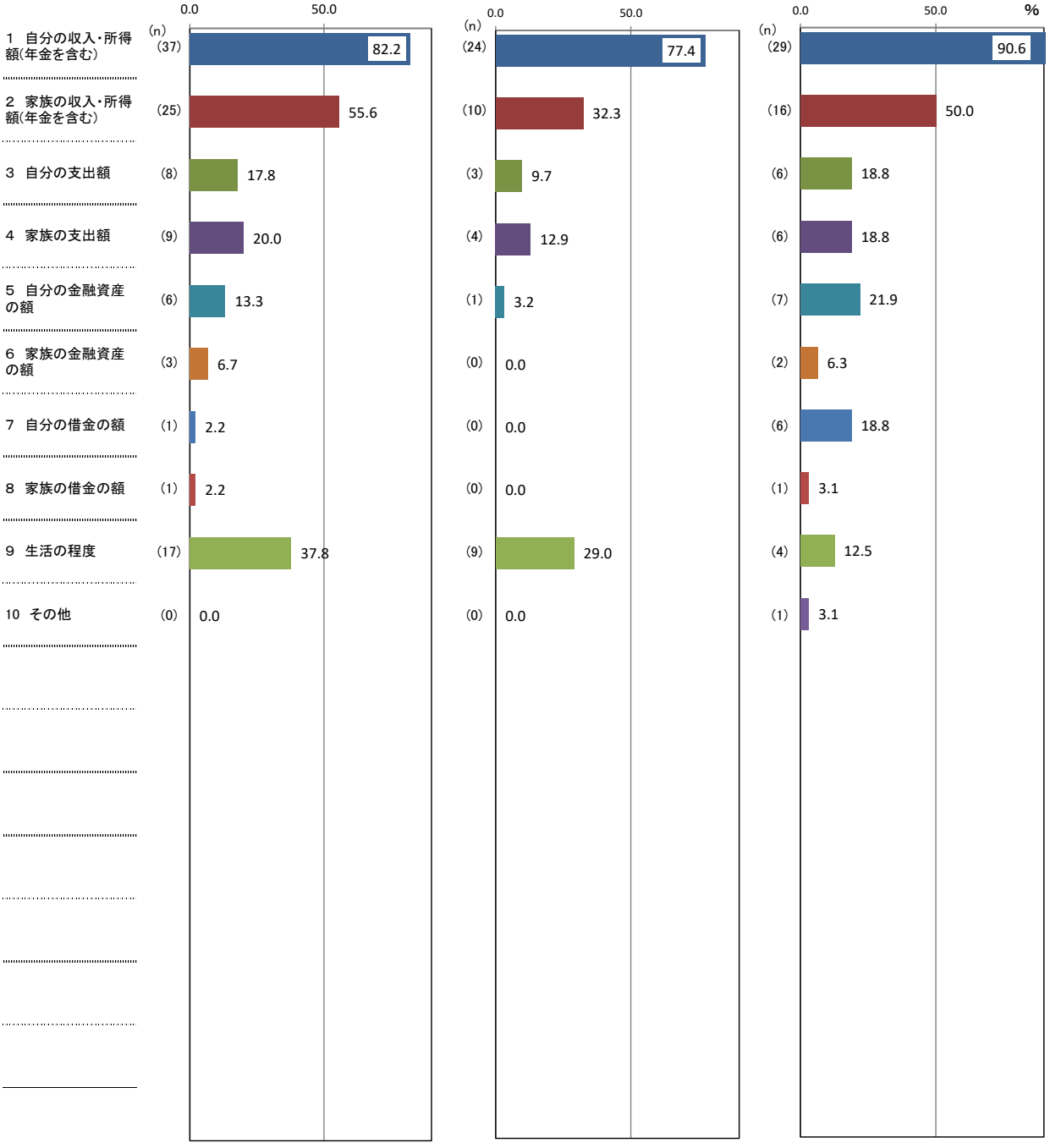
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝84人）	200	68	41	14	12	20	8	6	4	24	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝48人）	107	38	19	13	12	9	3	2	1	10	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝63人）	135	51	24	10	17	7	4	6	1	13	2

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜子どもの数3人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (107) 45 人	②「どちらともいえない」の回答 (51) 31 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (78) 32 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (37)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (24)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (29)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (25)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (10)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (16)
3	9 生活の程度 (17)	9 生活の程度 (9)	5 自分の金融資産の額 (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもの数3人＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		82.2	55.6	17.8	20.0	13.3	6.7	2.2	2.2	37.8	0.0
②「どちらともいえない」		77.4	32.3	9.7	12.9	3.2	0.0	0.0	0.0	29.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		90.6	50.0	18.8	18.8	21.9	6.3	18.8	3.1	12.5	3.1

（件）

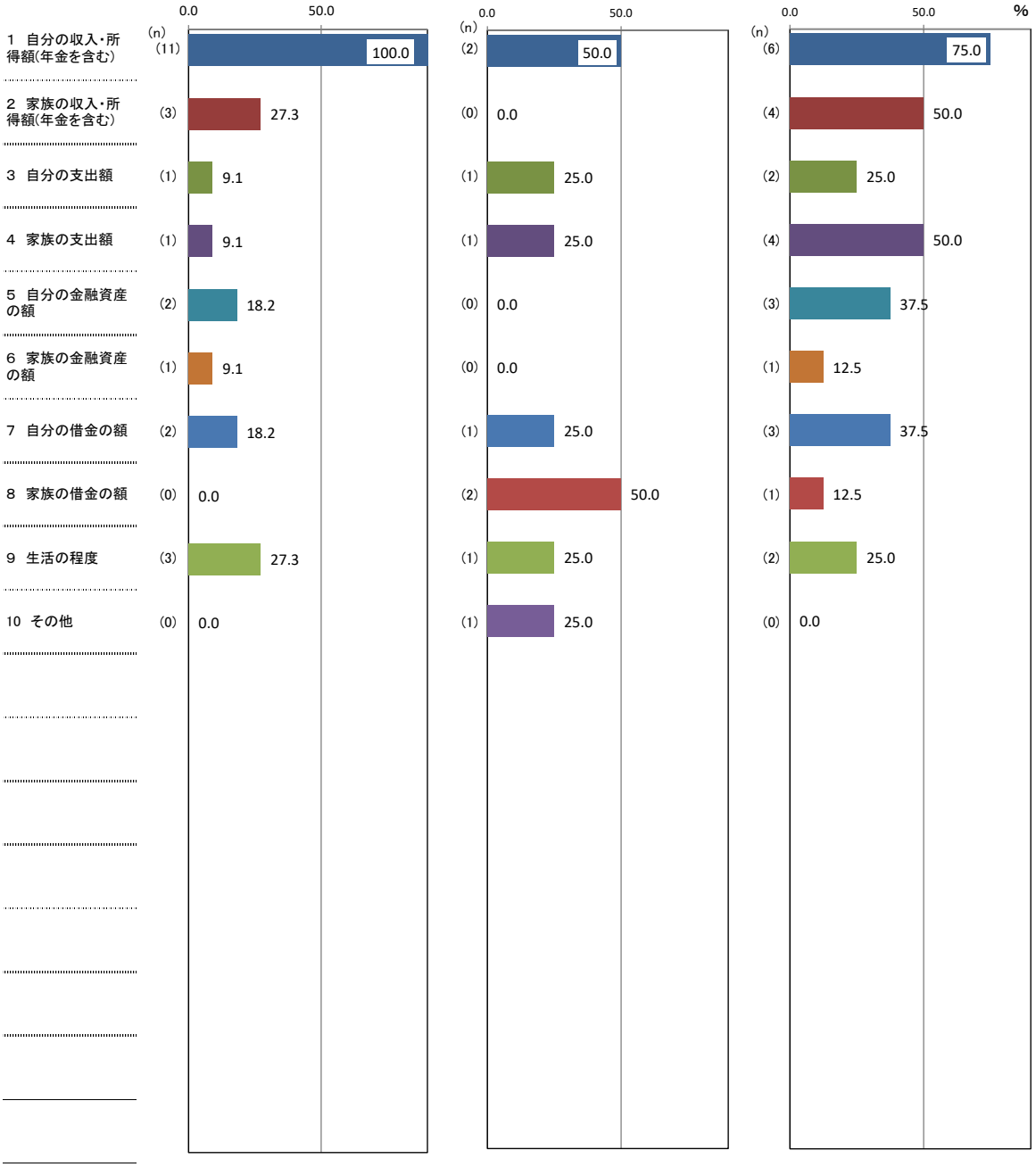
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝45人）	107	37	25	8	9	6	3	1	1	17	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝31人）	51	24	10	3	4	1	0	0	0	9	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝32人）	78	29	16	6	6	7	2	6	1	4	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜子どもの数4人以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (24) 11 人	②「どちらともいえない」の回答 (9) 4 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (26) 8 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (11)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (2) 8 家族の借金の額 (2)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (6)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (3) 9 生活の程度 (3)	－	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (4) 4 家族の支出額 (4)
3	－	3 自分の支出額 (1) 4 家族の支出額 (1) 7 自分の借金の額 (1) 9 生活の程度 (1) 10 その他 (1)	－

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもの数4人以上＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		100.0	27.3	9.1	9.1	18.2	9.1	18.2	0.0	27.3	0.0
②「どちらともいえない」		50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0
③「あまり感じない・感じない」		75.0	50.0	25.0	50.0	37.5	12.5	37.5	12.5	25.0	0.0

（件）

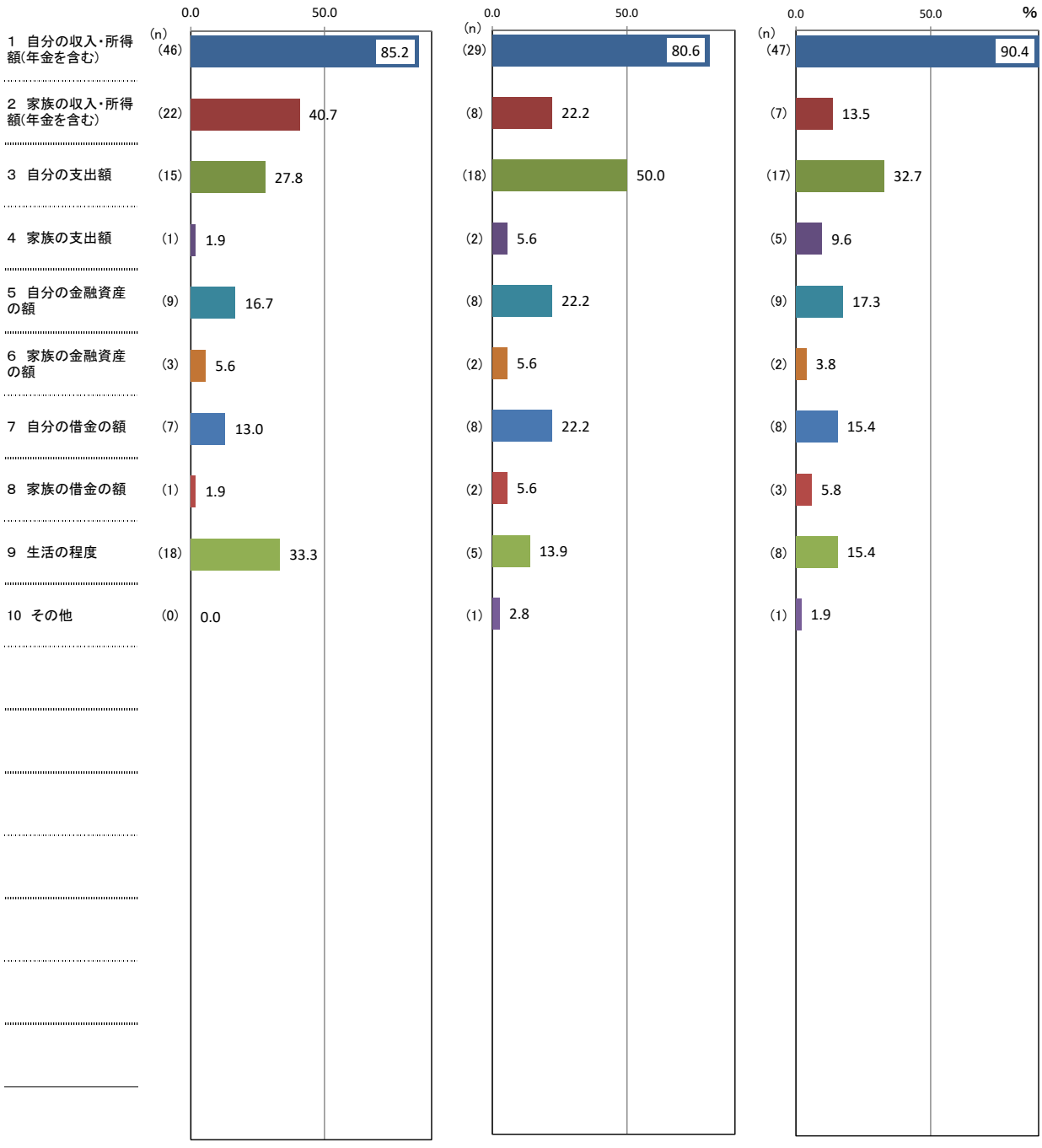
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝11人）	24	11	3	1	1	2	1	2	0	3	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝4人）	9	2	0	1	1	0	0	1	2	1	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝8人）	26	6	4	2	4	3	1	3	1	2	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜子どもはいない＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (122) 54 人	②「どちらともいえない」の回答 (83) 36 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (107) 52 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (46)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (29)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (47)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (22)	3 自分の支出額 (18)	3 自分の支出額 (17)
3	9 生活の程度 (18)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (8) 5 自分の金融資産の額 (8) 7 自分の借金の額 (8)	5 自分の金融資産の額 (9)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもはいない＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		85.2	40.7	27.8	1.9	16.7	5.6	13.0	1.9	33.3	0.0
②「どちらともいえない」		80.6	22.2	50.0	5.6	22.2	5.6	22.2	5.6	13.9	2.8
③「あまり感じない・感じない」		90.4	13.5	32.7	9.6	17.3	3.8	15.4	5.8	15.4	1.9

（件）

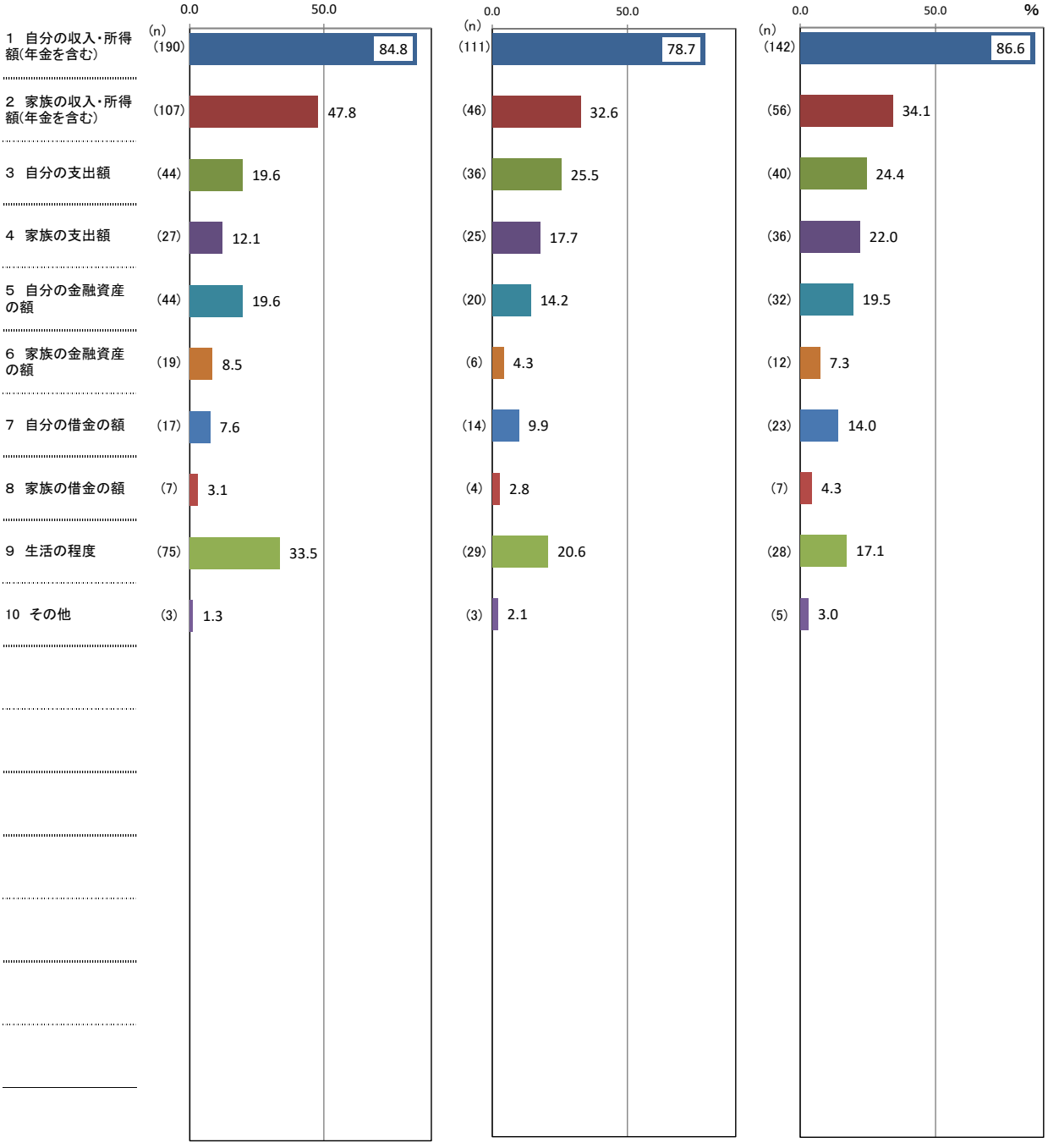
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝54人）	122	46	22	15	1	9	3	7	1	18	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝36人）	83	29	8	18	2	8	2	8	2	5	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝52人）	107	47	7	17	5	9	2	8	3	8	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (533) 224 人	②「どちらともいえない」の回答 (294) 141 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (381) 164 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (190)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (111)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (142)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (107)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (46)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (56)
3	9 生活の程度 (75)	3 自分の支出額 (36)	3 自分の支出額 (40)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		84.8	47.8	19.6	12.1	19.6	8.5	7.6	3.1	33.5	1.3
②「どちらともいえない」		78.7	32.6	25.5	17.7	14.2	4.3	9.9	2.8	20.6	2.1
③「あまり感じない・感じない」		86.6	34.1	24.4	22.0	19.5	7.3	14.0	4.3	17.1	3.0

（件）

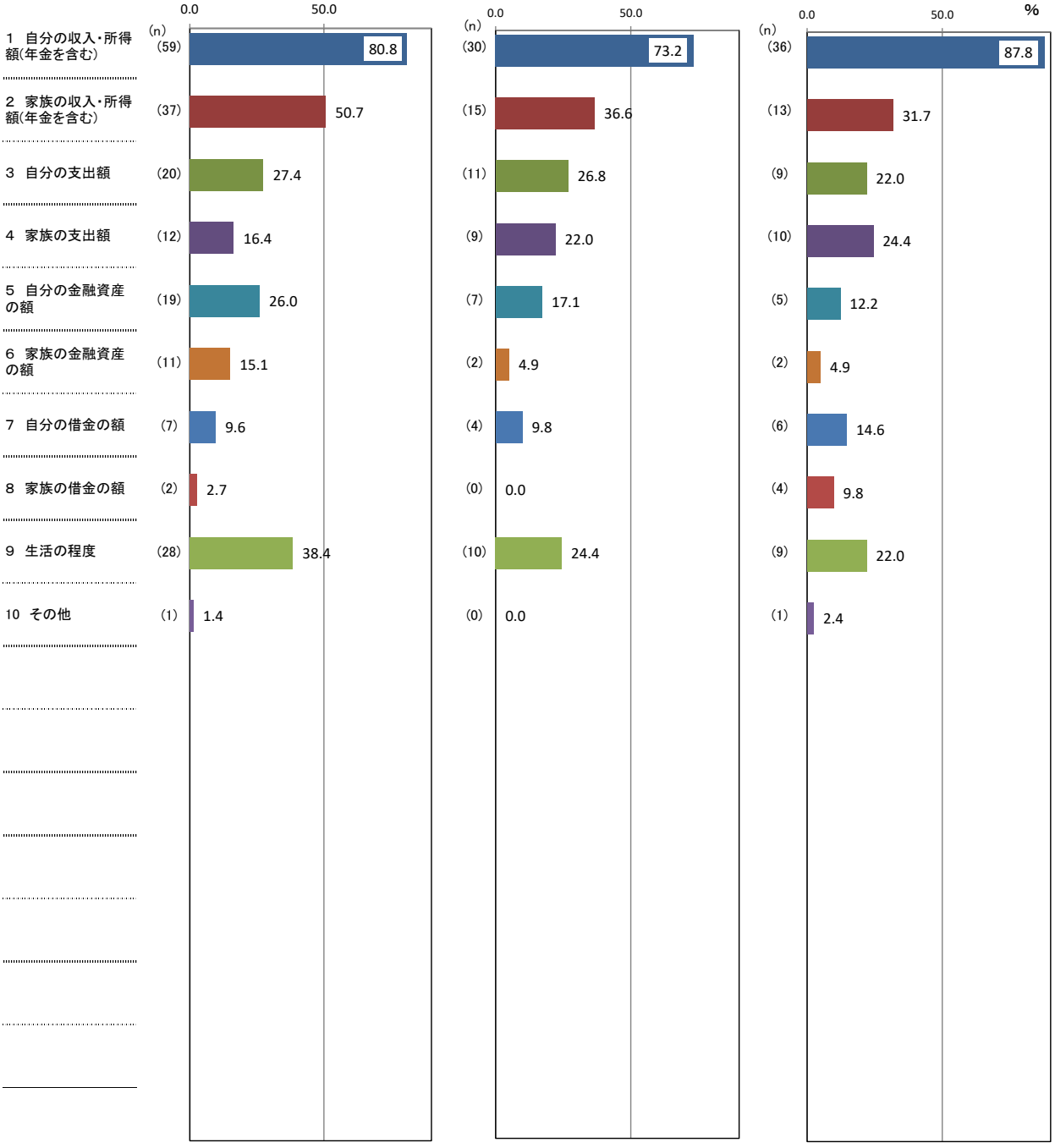
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝224人）	533	190	107	44	27	44	19	17	7	75	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝141人）	294	111	46	36	25	20	6	14	4	29	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝164人）	381	142	56	40	36	32	12	23	7	28	5

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (196) 73 人	②「どちらともいえない」の回答 (88) 41 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (95) 41 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (59)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (30)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (36)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (37)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (15)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (13)
3	9 生活の程度 (28)	3 自分の支出額 (11)	4 家族の支出額 (10)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県央広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		80.8	50.7	27.4	16.4	26.0	15.1	9.6	2.7	38.4	1.4
②「どちらともいえない」		73.2	36.6	26.8	22.0	17.1	4.9	9.8	0.0	24.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		87.8	31.7	22.0	24.4	12.2	4.9	14.6	9.8	22.0	2.4

（件）

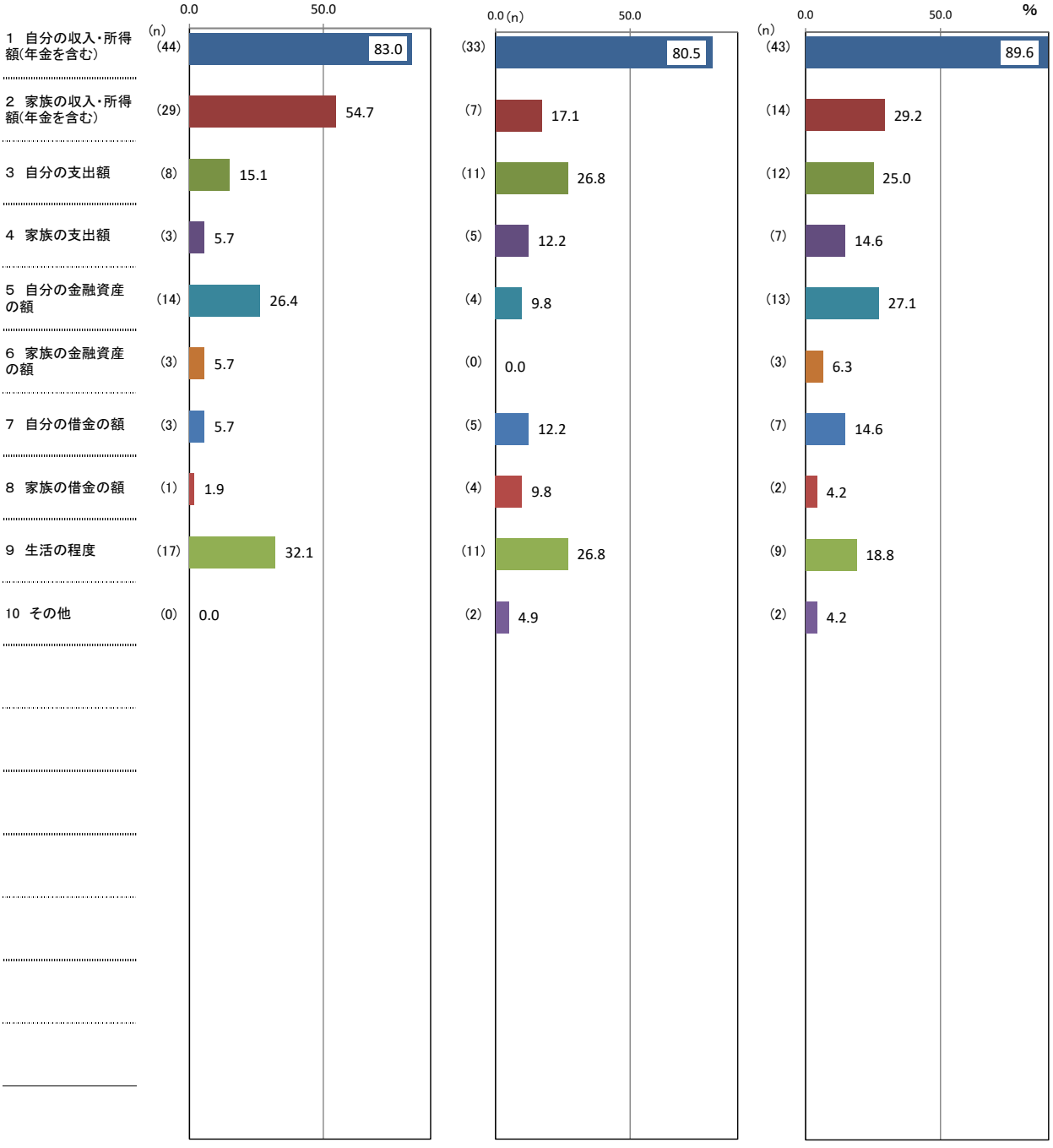
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝73人）	196	59	37	20	12	19	11	7	2	28	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝41人）	88	30	15	11	9	7	2	4	0	10	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝41人）	95	36	13	9	10	5	2	6	4	9	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜県南広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (122) 53 人	②「どちらともいえない」の回答 (82) 41 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (112) 48 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (44)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (33)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (43)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (29)	3 自分の支出額 (11) 9 生活の程度 (11)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (14)
3	9 生活の程度 (17)	－ －	5 自分の金融資産の額 (13)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県南広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		83.0	54.7	15.1	5.7	26.4	5.7	5.7	1.9	32.1	0.0
②「どちらともいえない」		80.5	17.1	26.8	12.2	9.8	0.0	12.2	9.8	26.8	4.9
③「あまり感じない・感じない」		89.6	29.2	25.0	14.6	27.1	6.3	14.6	4.2	18.8	4.2

（件）

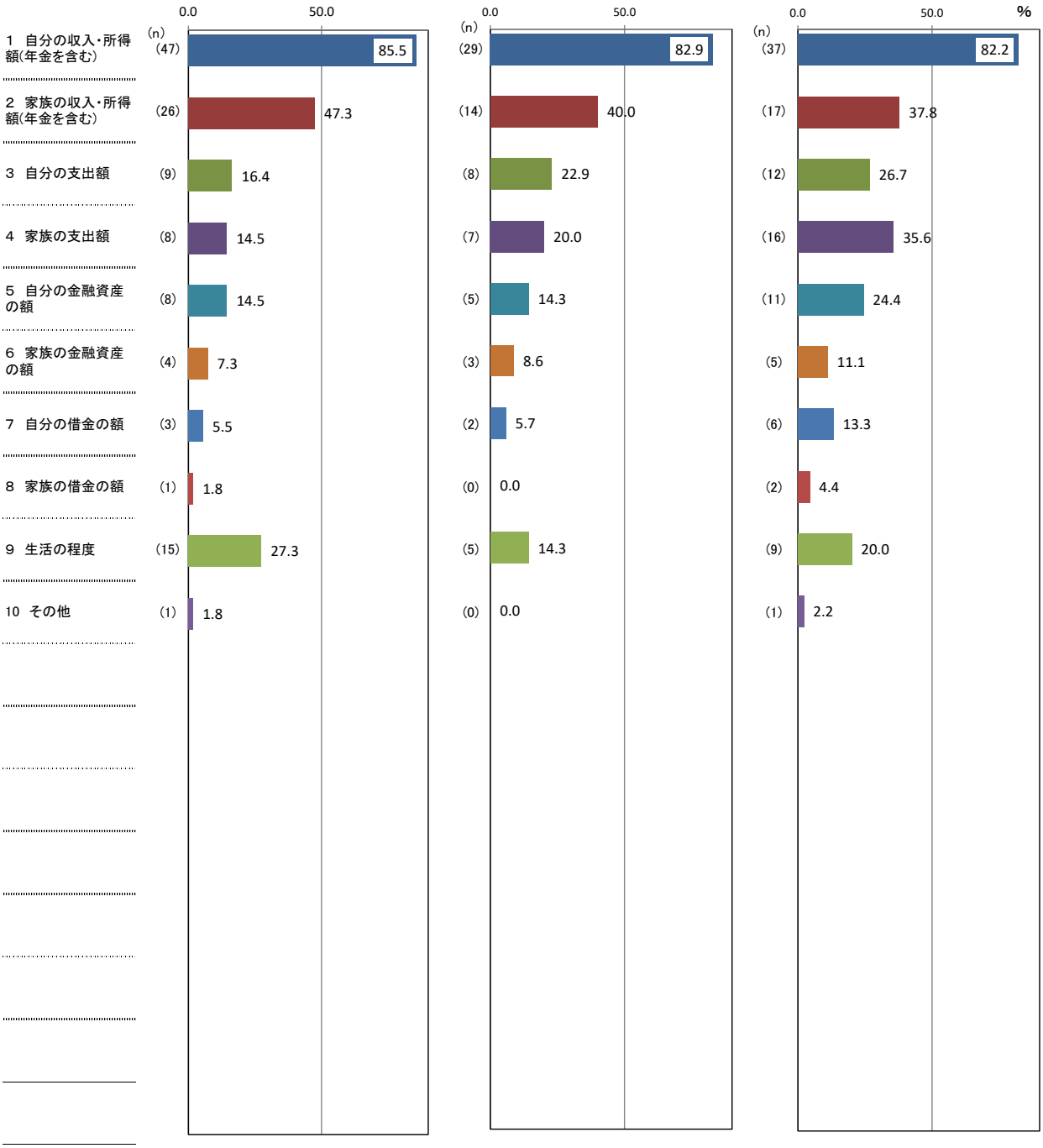
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝53人）	122	44	29	8	3	14	3	3	1	17	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝41人）	82	33	7	11	5	4	0	5	4	11	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝48人）	112	43	14	12	7	13	3	7	2	9	2

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (122) 55 人	②「どちらともいえない」の回答 (73) 35 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (116) 45 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (47)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (29)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (37)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (26)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (14)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (17)
3	9 生活の程度 (15)	3 自分の支出額 (8)	4 家族の支出額 (16)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜沿岸広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		85.5	47.3	16.4	14.5	14.5	7.3	5.5	1.8	27.3	1.8
②「どちらともいえない」		82.9	40.0	22.9	20.0	14.3	8.6	5.7	0.0	14.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		82.2	37.8	26.7	35.6	24.4	11.1	13.3	4.4	20.0	2.2

（件）

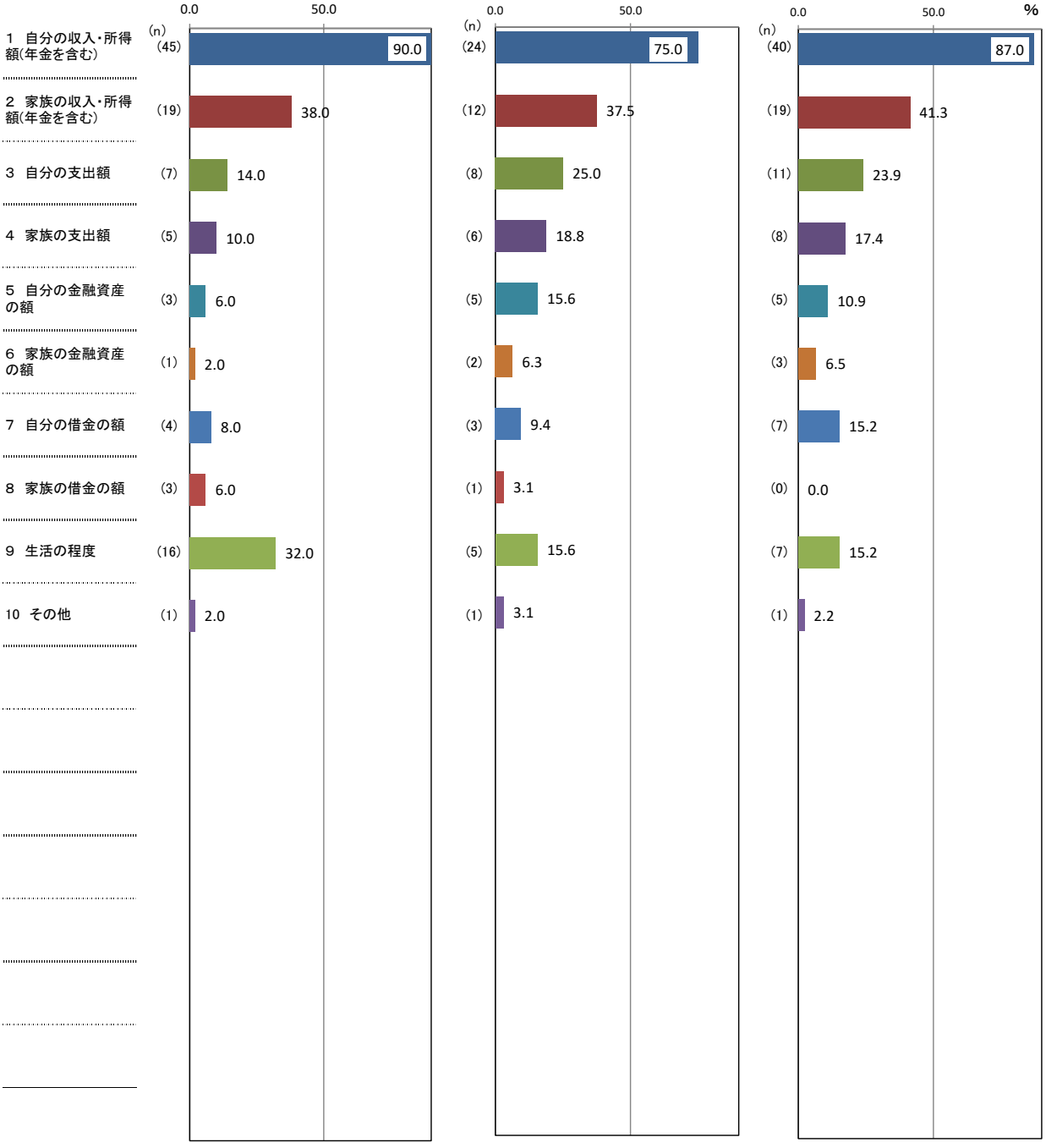
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝55人）	122	47	26	9	8	8	4	3	1	15	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝35人）	73	29	14	8	7	5	3	2	0	5	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝45人）	116	37	17	12	16	11	5	6	2	9	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜県北広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (104) 50 人	②「どちらともいえない」の回答 (67) 32 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (101) 46 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (45)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (24)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (40)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (19)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (19)
3	9 生活の程度 (16)	3 自分の支出額 (8)	3 自分の支出額 (11)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県北広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		90.0	38.0	14.0	10.0	6.0	2.0	8.0	6.0	32.0	2.0
②「どちらともいえない」		75.0	37.5	25.0	18.8	15.6	6.3	9.4	3.1	15.6	3.1
③「あまり感じない・感じない」		87.0	41.3	23.9	17.4	10.9	6.5	15.2	0.0	15.2	2.2

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝50人）	104	45	19	7	5	3	1	4	3	16	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝32人）	67	24	12	8	6	5	2	3	1	5	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝46人）	101	40	19	11	8	5	3	7	0	7	1

分野別実感の変動要因推定（計画開始年比較）（上昇・低下）

※「【県民意識調査】実感が上昇（低下）した属性」において、上昇・低下幅の多寡については、概ね 0.20 点を目安としていること
※「【補足調査結果】要因抽出」において、回答割合の比較傾向は 10%以上の差としていること

○実感が上昇した分野【H31～R8】

実感が上昇した分野	【県民意識調査】実感が上昇した属性（◎は特に上昇幅が大きい属性）		【補足調査結果】要因抽出	実感が上昇した要因の推測
心身の健康	性別	男性 ◎女性	【からだ】 実感が上昇した人の上位３位の回答 ①　睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ） ②　健康診断の結果 ③　食事の制限の有無 ③　こころの健康状態 実感低下要因と比較し、上位３位以外で回答割合が高い回答 ・　歩行などの行動の制限の有無 【こころ】 実感が上昇した人の上位３位の回答 ・　睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ） ・　充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など ・　仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 実感が低下要因比較し、上位３位以外で回答割合が高い回答 ・　相談相手の有無	【からだ】 ①　睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ）が良かったこと （例：毎日規則正しい生活を行っている。73 才で仕事を辞めた後、スポーツジムで４日程／週運動している。　等） ②　健康診断の結果が良かったこと （例：大きな心配が無い(メタボ位)。コレステロールなど気になる数値ではあるが、特に病名などはついていない。　等） ③　食事の制限がないこと （例：いつもおいしくご飯を食べられる。自分が好きな物を食べられ、制限がないので。　等 ④　こころの健康状態が良かったこと （例：ストレスをあまり感じていない。　たまに友達と一ぱいやって、グチを言い合ってます。　等） ⑤　歩行などの行動の制限が無いこと （例：股関節の手術を昨年人工にし、自由に歩けるようになった。自分で車を運転し、行動できるので。　等） 【こころ】 ①　睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ）が良かったこと （例：毎日規則正しい生活。育児時短による負担軽減。　等） ②　充実した余暇（仕事・学業以外の趣味など）があること （例：読書や音楽が好きなので、毎日楽しむことができて嬉しい。４月～11 月までは 30 坪程の家庭菜園、朝夕は犬との散歩で充実した生活。　等） ③　仕事・学業以外の私生活におけるストレスが無かったこと （例：私生活において､家族が皆健康なのでストレスが少ない。資格活用や友人等の交流が充実していると感じている。　等） ④　相談相手がいること （例：何かあれば子に相談できる。家庭環境がおちついていて何でも相談できる　等）
	年代	◎20～29 歳 ◎30～39 歳 ◎40～49 歳 50～59 歳 60～69 歳 70 歳以上		
	職業	◎自営業主 ◎会社役員・団体役員 ◎常用雇用者 ◎臨時雇用者 ◎専業主婦・主夫 ◎60 歳以上の無職		
	世帯構成	◎夫婦のみ ２世代世帯 ◎その他世帯		
	子どもの数	◎１人 ２人 ◎３人 ◎子どもはいない		
	居住年数	◎20 年以上		
	広域振興圏	◎県央広域振興圏 ◎県南広域振興圏 沿岸広域振興圏 ◎県北広域振興圏		

実感が上昇した分野	【県民意識調査】 実感が上昇した属性 （◎は特に上昇幅が大きい属性）		【補足調査結果】 要因抽出	実感が上昇した要因の推測
家族関係	性別	女性	実感が上昇した人の上位３位の回答 ① 会話の頻度（多い・少ない） ② 困った時に助け合えるかどうか ③ 同居の有無 実感低下要因と比較し、上位３位以外で回答割合が高い回答 ・ 一緒にいる時間（長い・短い） ・ ペットの存在	① 会話の頻度が多いこと （例： 会話が多く、仲良くできている。妻と２人暮らしですが会話は十分有ります 等） ② 同居あるいは別居がうまくいっていること （例： 同居をしていない。今が楽でストレスもほぼない。同居していることで時間を共有できる。 等） ③ 困った時に助け合えていること （例：１人暮らしではあるが何か困り事があると兄弟が集まって助けに来てくれる。お互いに困ったときは助け合って生活している 等） ④ 一緒にいる時間がちょうど良いこと （例： 家族や両親の身の周りの世話をする時間を確保できていること。別々に暮らしているので、ある意味適度な長さかな 等） ⑤ ペットがいること （例： 猫４匹に家族皆癒されている。夫婦と犬の生活であり、ペットに癒しを感じる。 等）
	年代	◎20～29 歳 ◎30～39 歳 50 歳～59 歳		
	職業	◎会社役員・団体役員		
	世帯構成	夫婦のみ ２世代世帯		
	子どもの数	１人 ３人		
	居住年数	20 年以上		
	広域振興圏	県央広域振興圏 県南広域振興圏		

○実感が低下した分野【H31～R8】

実感が低下した分野	【県民意識調査】 実感が低下した属性 (◎は特に低下幅が大きい属性)		【補足調査結果】 要因抽出	実感が低下した要因の推測
地域社会とのつながり	性別	◎男性、◎女性	実感が低下した人の上位３位の回答 ① 隣近所との面識・交流 ② その地域で過ごした年数 ② 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) 実感上昇因との比較では、上位３位以外で回答割合が高い回答無し。	① 隣近所との面識・交流が減ったこと (例:自分の親世代までは地域の交流が盛んであったと感じるが 自分の親の間くらいの世代から少なくなってきていると感じる。若い人との付き合いはない。昔からいる人とはOK。 等) ② その地域で過ごした年数が関係していること (例： 結婚後の住居であるが、仕事をしていたので、地域のことが分からない。年数が増すごとに過疎化を感じる。 等) ③ 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)が減ったこと (例：地域への行事への参加等も高齢化の為、参加人員が少ない。地域行事の減少。 等)
	年代	◎30～39 歳、◎40～49 歳 ◎50～59 歳、◎60～69 歳 ◎70 歳以上		
	職業	◎常用雇用者、臨時雇用者 ◎専業主婦・主夫、◎60 歳以上の無職		
	世帯構成	◎夫婦のみ、◎２世代世帯 ◎３世代世帯、◎その他世帯		
	子どもの数	１人、◎２人、◎３人 ◎４人以上、◎子どもはいない		
	居住年数	◎20 年以上		
	広域振興圏	◎県央広域振興圏、◎県南広域振興圏、 ◎沿岸広域振興圏、◎県北広域振興圏		
地域の安全	性別	◎男性、女性	実感が低下した人の上位３位の回答 ① 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況（シカ、イノシシ、クマなど) ② 自然災害の発生状況 ③ 犯罪の発生状況 実感上昇要因との比較では、上位３位以外で回答割合が高い回答無し。	① 野生鳥獣の出没や被害の発生が多いこと (例： 田舎なのでクマも怖いし、鳥獣被害も増えている。クマやイノシシが多く、農作業や子供達の遊びや運動に危険が伴う。 等) ② 自然災害の発生が多く、被害も大きくなっていること (例： 水路が氾濫し、床下浸水する。海溝型の巨大地震、最大クラスの津波がいつ発生するか心配。 等) ③ 犯罪の発生状況に不安があること (例： 過去に犯罪に遭いそうになった(玄関のガラスを割っている人と出くわす)。いつ何があるか分からない時代だ。) 等)
	年代	30～39 歳、40～49 歳、◎50～59 歳、 ◎60～69 歳、◎70 歳以上		
	職業	自営業主、◎常用雇用者 ◎専業主婦・主夫、◎60 歳以上の無職		
	世帯構成	ひとり暮らし、夫婦のみ ◎２世代世帯、◎３世代世帯		
	子どもの数	◎２人、◎３人、◎４人以上		
	居住年数	◎20 年以上		
	広域振興圏	県央広域振興圏、県南広域振興圏、 ◎沿岸広域振興圏、県北広域振興圏		

実感が低下した分野	【県民意識調査】 実感が低下した属性 （◎は特に低下幅が大きい属性）		【補足調査結果】 要因抽出	実感が低下した要因の推測
仕事のやりがい	性別	男性 女性	実感が低下した人の上位３位の回答 ①　現在の収入・給料の額 ②　将来の収入・給料の額の見込み ③　現在の職種・業務の内容 ③　業務の量 実感上昇要因との比較では、上位３位以外で回答割合が高い回答無し。	①　現在の収入・給料の額が十分とは言えないこと （例：定年後に転職して新しい事にチャレンジし、業務・作業に満足しているが給料の額が少ないと思う。物価が高くなっているのに収入・給料の額が上がらないため。　等） ②　将来の収入・給料の額の見込みに不安があること （例：将来の収入に夢が無い。定年後の収入がどうなるのか不安（教えてもらえない）。　等） ③　現在の職種・業務の内容に不満があること （例：仕事内容が変わり、やりがいが感じられない。負担ばかりが大きい。） ④　業務の量が多いこと。 （例：産休で補充されるが、責任ある仕事を任せられない時間外が当たり前の業務量だが、認めてくれない。育休明けで時短勤務だが、業務量は変わらず、むしろ増えている気がする。）
	年代	50～59 歳 ◎70 歳以上		
	職業	常用雇用者 ◎60 歳以上の無職		
	世帯構成	２世代世帯 ◎その他世帯		
	子どもの数	◎３人		
	居住年数	20 年以上		
	広域振興圏	県央広域振興圏 沿岸広域振興圏 県北広域振興圏		
必要な収入や所得	性別	男性	実感が低下した人の上位３位の回答 ①　自分の収入・所得額（年金を含む） ②　家族の収入・所得額（年金を含む） ③　自分の支出額 実感上昇要因との比較では、上位３位以外で回答割合が高い回答無し。	①　自分の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えないこと （例：　昨年春まで常勤で働いていたが、パートで働き収入が減少。年金だけでの生活は厳しい（物価高騰）。　等） ②　家族の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えないこと （例：　夫の障害年金だけの生活は大変です。夫のリハビリ機能回復を祈るばかり。所得額が少ないところ、物価が高く、不足分は借金するが、借金も増え続け、いずれは生活保護が必要となる事も近い。　等） ③　自分の支出額が多い、又は十分な支出ができないこと （例：　医療費が多い（高額医療）。物価の高騰により出費額が増えている。　等）
	年代	40～49 歳 50～59 歳 ◎70 歳以上		
	職業	◎自営業主 ◎常用雇用者		
	世帯構成	２世代世帯 ◎３世代世帯		
	子どもの数	－		
	居住年数	20 年以上		
	広域振興圏	県央広域振興圏 ◎沿岸広域振興圏		

【補足調査】分野別実感の変動（上昇・横ばい・低下）

H31とR8の比較

分野別実感(1)「心身の健康」の分布（H31とR8）　　（単位：人）

H31→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	不明、未記入、複数回答	（小計）	R6追加対象者	（計）
5 感じる	**21**	*23*	*11*	*7*	*4*	0	0	66	23	89
4 やや感じる	23	**79**	*38*	*25*	*7*	0	0	172	59	231
3 どちらともいえない	**9**	**23**	**40**	*18*	*9*	1	0	100	34	134
2 あまり感じない	**1**	**9**	**19**	**18**	17	0	0	64	17	81
1 感じない	**3**	**3**	**1**	**4**	**10**	1	0	22	10	32
0 わからない（該当しない）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明 未記入 複数回答	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
調査未回答	1	5	5	4	3	0	0	18	9	27
調査対象外	22	48	35	24	25	1	2	157	4	161
（計）	80	190	149	100	76	3	2	600	156	756

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　142 人
H31からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、H31調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　168 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　72 人
H31からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、H31調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

※ 「からだの健康」及び「こころの健康」の内訳

心身の健康（H31とR8）		R8回答の内訳	からだの健康（R8）	こころの健康（R8）
実感が上昇	142 人	感じる・やや感じる	97 人	107 人
実感が変化なし	168 人	どちらともいえない	42 人	37 人
実感が低下	72 人	感じない・あまり感じない	39 人	29 人

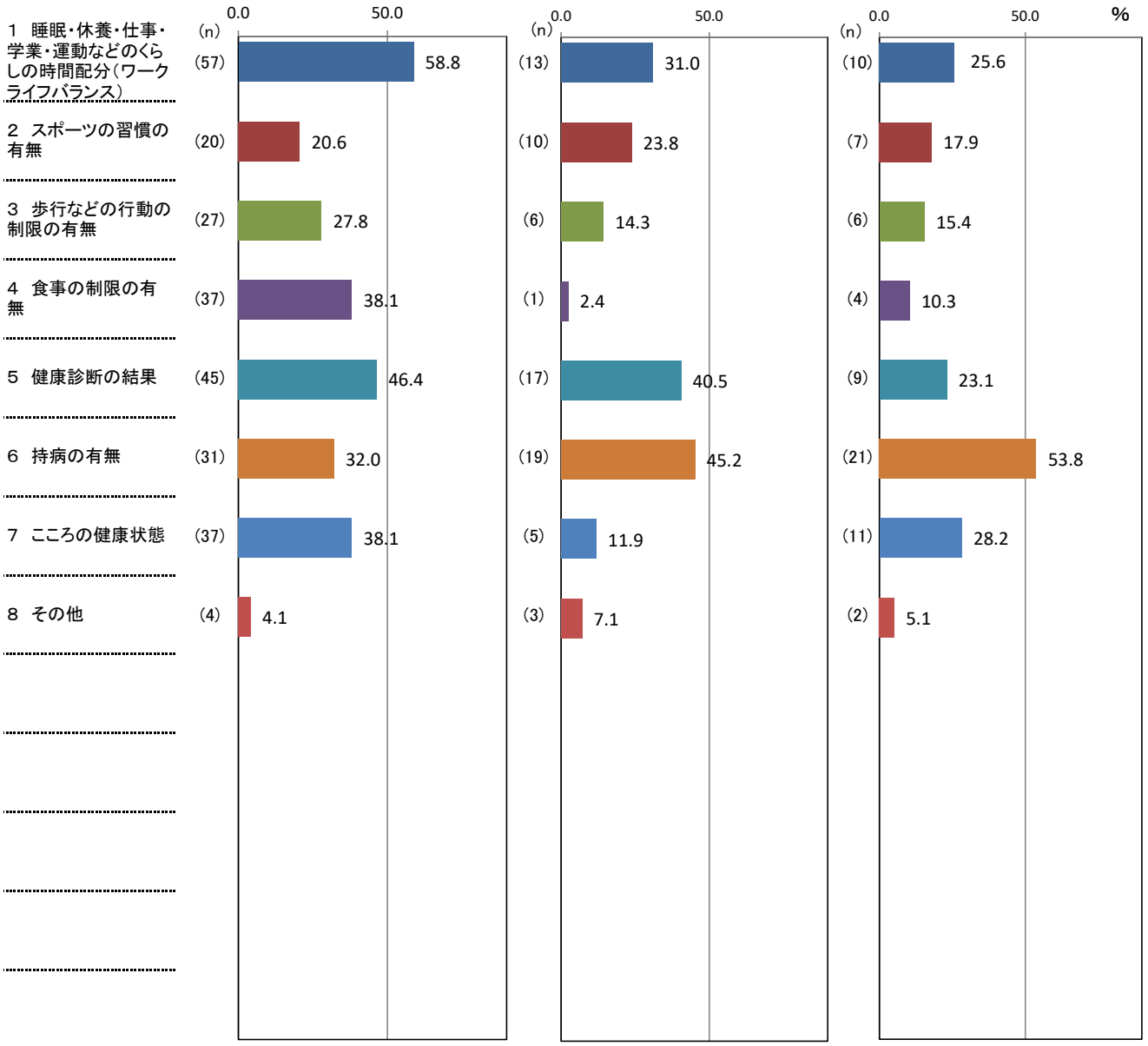
分野別実感の変化別(計画開始年(平成31年)からの変化)

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「心身の健康(からだの健康)」(H31-R8)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (258) 97 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (74) 42 人	③ 実感が低下した人 の回答 (70) 39 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (57)	6 持病の有無 (19)	6 持病の有無 (21)
2	5 健康診断の結果 (45)	5 健康診断の結果 (17)	7 こころの健康状態 (11)
3	4 食事の制限の有無 (37) 7 こころの健康状態 (37)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (13)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (10)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1)-1　心身の健康（からだの健康）についての回答理由（問1-1（2）①「あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
① 実感が上昇した人		58.8	20.6	27.8	38.1	46.4	32.0	38.1	4.1
② 実感が横ばいの人		31.0	23.8	14.3	2.4	40.5	45.2	11.9	7.1
③ 実感が低下した人		25.6	17.9	15.4	10.3	23.1	53.8	28.2	5.1

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝97人）	258	57	20	27	37	45	31	37	4
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝42人）	74	13	10	6	1	17	19	5	3
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝39人）	70	10	7	6	4	9	21	11	2

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（97名中3名記載）
・筋力・体力　・持病があっても不自由なく暮らせている　・趣味の継続

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（42名中2名記載）
・子育てで忙しく問題があり治療が必要な歯医者に行けていない　・経過観察の病気有り

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（39名中1名記載）
・加齢による関節などの痛み

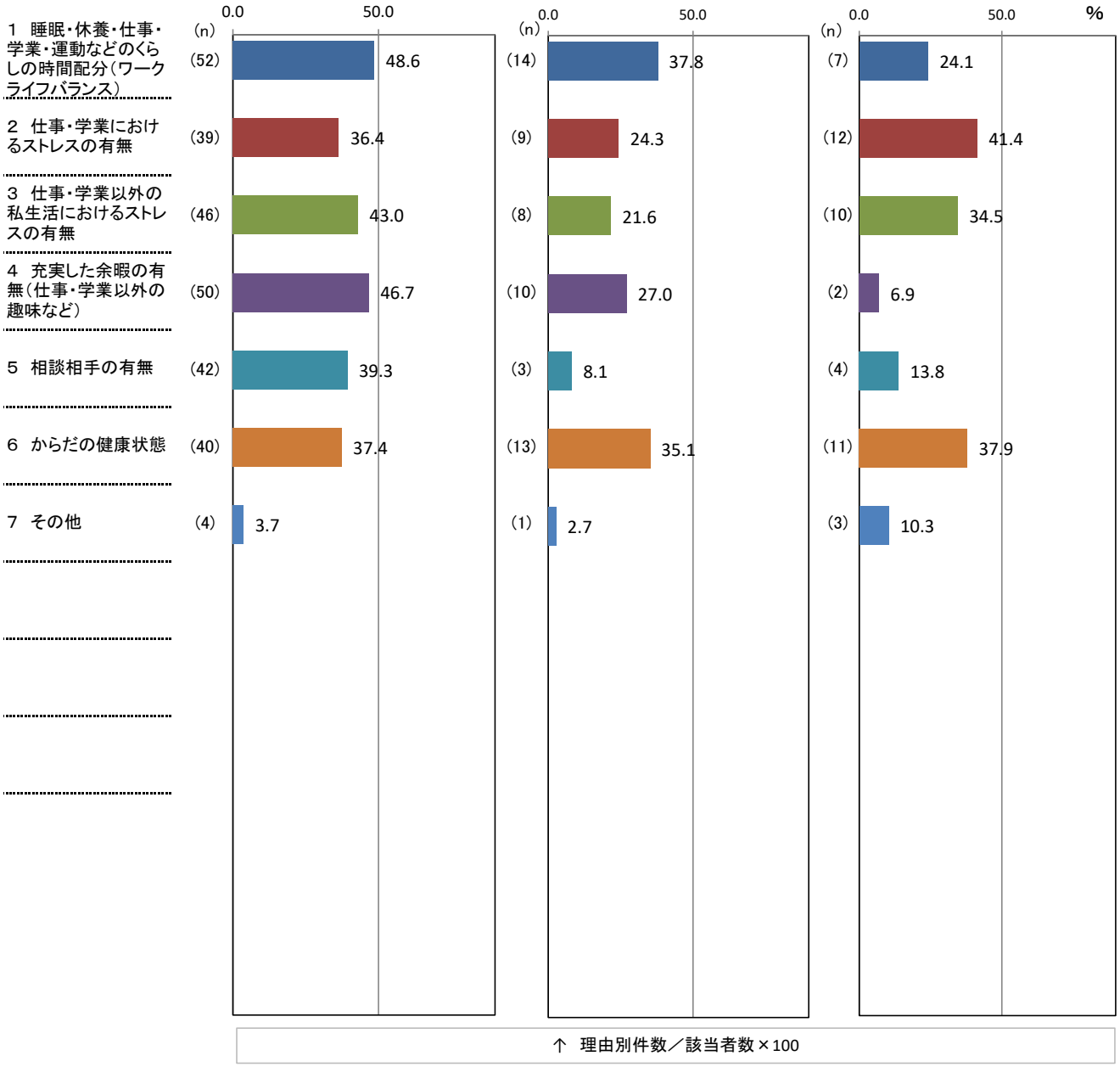
分野別実感の変化別（計画開始年（平成31年）からの変化）

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「心身の健康（こころの健康）」（H31-R8）

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (273) 107 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (58) 37 人	③ 実感が低下した人 の回答 (49) 29 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス） (52)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス） (14)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (12)
2	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など） (50)	6 からだの健康状態 (13)	6 からだの健康状態 (11)
3	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (46)	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など） (10)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (10)

（ ）内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(1)-2　心身の健康（こころの健康）についての回答理由（問1-1（1）-2①「あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
① 実感が上昇した人		48.6	36.4	43.0	46.7	39.3	37.4	3.7
② 実感が横ばいの人		37.8	24.3	21.6	27.0	8.1	35.1	2.7
③ 実感が低下した人		24.1	41.4	34.5	6.9	13.8	37.9	10.3

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝107人）	273	52	39	46	50	42	40	4
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝37人）	58	14	9	8	10	3	13	1
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝29人）	49	7	12	10	2	4	11	3

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（107名中2名記載）
・義母との関係。若い頃から折り合いが悪い　　・一人暮らしだが孫の存在がありがたい

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（37名中1名記載）
・借金の支払いが残っているため

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（29名中1名記載）
・家族(配偶者)が病気になり、障害者になってしまった。

H31とR8の比較

分野別実感(2)「余暇の充実」の分布（H31とR8）　　（単位：人）

H31→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	不明、未記入、複数回答	（小計）	R6追加対象者	（計）
5 感じる	**33**	*17*	*9*	*5*	*5*	0	0	69	31	100
4 やや感じる	17	**69**	*64*	*30*	*9*	0	0	189	52	241
3 どちらともいえない	**7**	**8**	**30**	*19*	*9*	3	0	76	44	120
2 あまり感じない	**2**	**5**	**18**	**25**	13	2	0	65	12	77
1 感じない	**2**	**4**	**2**	**6**	**7**	0	0	21	2	23
0 わからない（該当しない）	0	1	0	1	0	0	0	2	1	3
不明 未記入 複数回答	0	3	0	0	0	0	0	3	1	4
調査未回答	0	6	6	3	2	1	0	18	9	27
調査対象外	22	32	38	40	15	8	2	157	4	161
（計）	83	145	167	129	60	14	2	600	156	756

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　167 人
H31からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、H31調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　164 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　54 人
H31からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、H31調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

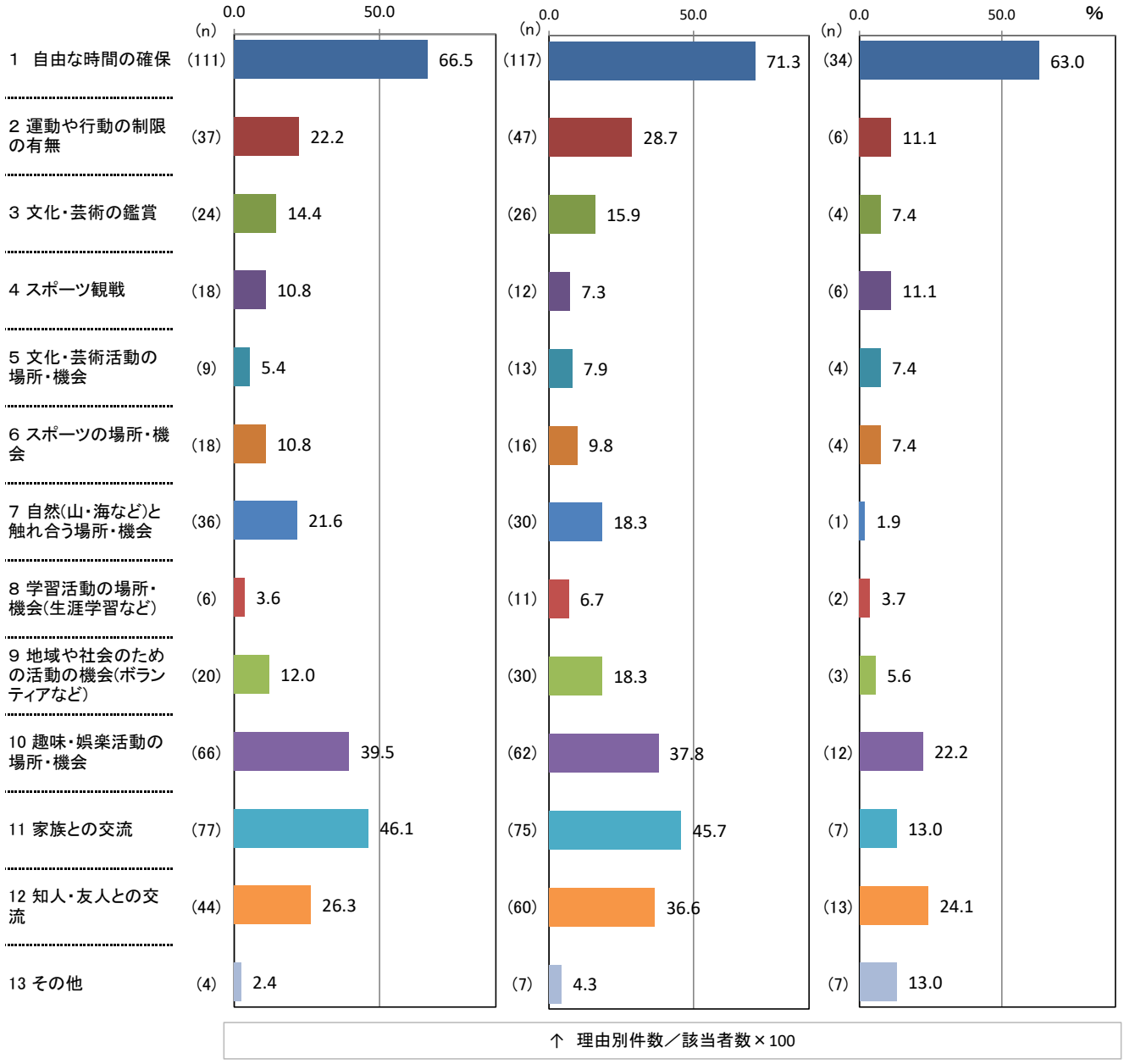
分野別実感の変化別（計画開始年（平成31年）からの変化）

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」（H31-R8）

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (470) 167 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (506) 164 人	③ 実感が低下した人 の回答 (103) 54 人
1	1 自由な時間の確保 (111)	1 自由な時間の確保 (117)	1 自由な時間の確保 (34)
2	11 家族との交流 (77)	11 家族との交流 (75)	12 知人・友人との交流 (13)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (66)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (62)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (12)

（ ）内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）①「あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 実感が上昇した人		66.5	22.2	14.4	10.8	5.4	10.8	21.6	3.6	12.0	39.5	46.1	26.3	2.4
② 実感が横ばいの人		71.3	28.7	15.9	7.3	7.9	9.8	18.3	6.7	18.3	37.8	45.7	36.6	4.3
③ 実感が低下した人		63.0	11.1	7.4	11.1	7.4	7.4	1.9	3.7	5.6	22.2	13.0	24.1	13.0

（件）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝167人）	470	111	37	24	18	9	18	36	6	20	66	77	44	4
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝164人）	506	117	47	26	12	13	16	30	11	30	62	75	60	7
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝54人）	103	34	6	4	6	4	4	1	2	3	12	7	13	7

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（167名中2名記載）
・Net　　・金銭的余裕

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（164名中3名記載）
・余暇活動特になし　　・使えるお金の有無　　・親族の世話

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（54名中2名記載）
・外出する気力がない　　・仕事の時間がほとんどで暇がない

H31とR8の比較

分野別実感(3)「家族関係」の分布（H31とR8）　　（単位：人）

H31→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	不明、未記入、複数回答	（小計）	R6追加対象者	（計）
5 感じる	**93**	*44*	*9*	*5*	*2*	0	1	154	51	205
4 やや感じる	49	**74**	*33*	*8*	*1*	0	1	166	53	219
3 どちらともいえない	**9**	**17**	**19**	*8*	*2*	3	0	58	26	84
2 あまり感じない	**2**	**4**	**5**	**6**	5	1	0	23	8	31
1 感じない	**0**	**3**	**2**	**2**	**6**	1	0	14	4	18
0 わからない（該当しない）	1	3	2	0	0	2	0	8	1	9
不明 未記入 複数回答	1	1	0	0	0	0	0	2	0	2
調査未回答	5	7	4	1	1	0	0	18	9	27
調査対象外	61	46	27	6	9	4	4	157	4	161
（計）	221	199	101	36	26	11	6	600	156	756

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　112 人
H31からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、H31調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　198 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　44 人
H31からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、H31調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

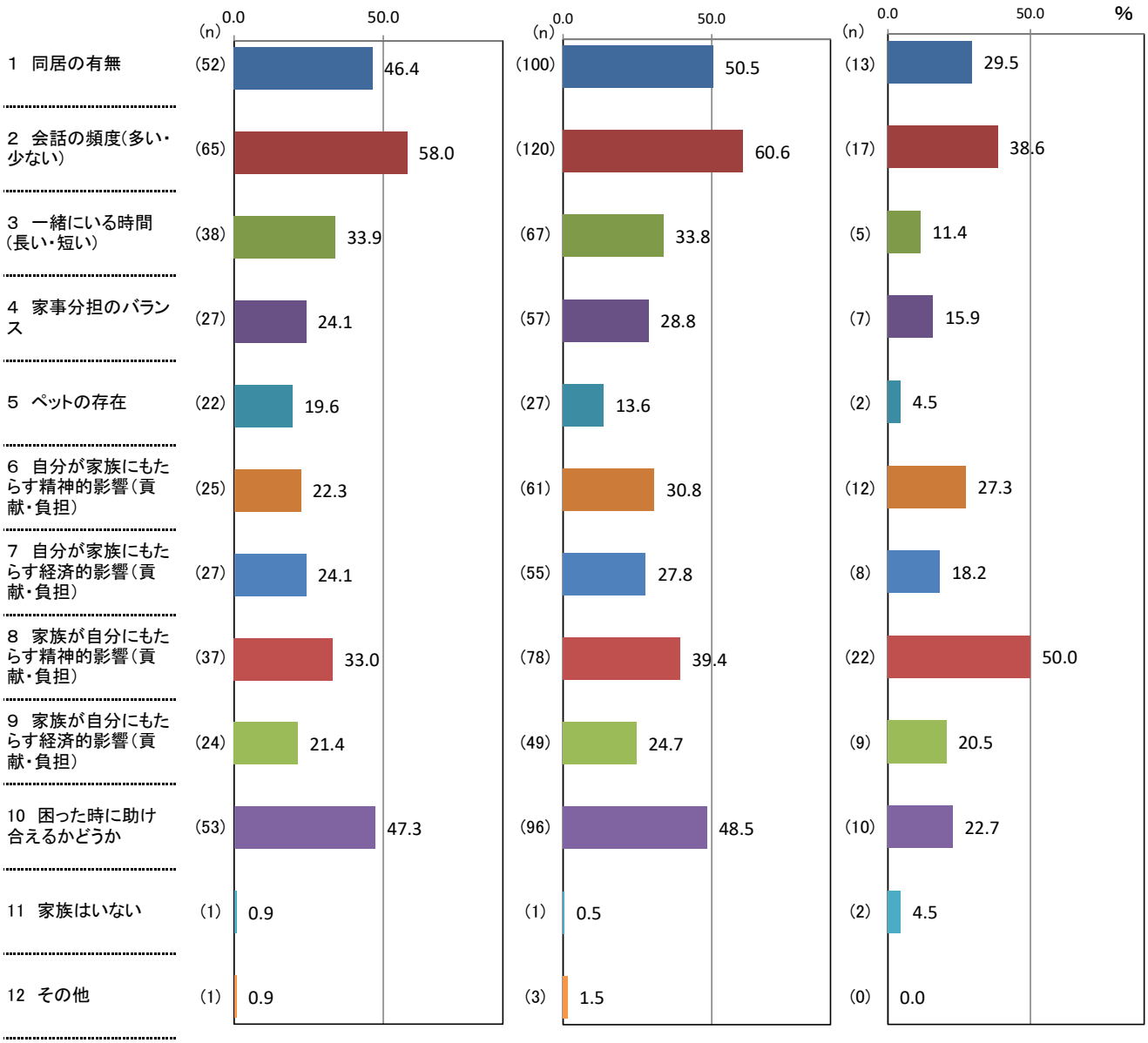
分野別実感の変化別(計画開始年(平成31年)からの変化)

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「家族関係」(H31-R8)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (372) 112 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (714) 198 人	③ 実感が低下した人 の回答 (107) 44 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (65)	2 会話の頻度(多い・少ない) (120)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (22)
2	10 困った時に助け合えるかどうか (53)	1 同居の有無 (100)	2 会話の頻度(多い・少ない) (17)
3	1 同居の有無 (52)	10 困った時に助け合えるかどうか (96)	1 同居の有無 (13)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(3) 家族関係についての回答理由(問1-1(3)①「あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

(%)

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担)	7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担)	9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担)	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
① 実感が上昇した人		46.4	58.0	33.9	24.1	19.6	22.3	24.1	33.0	21.4	47.3	0.9	0.9
② 実感が横ばいの人		50.5	60.6	33.8	28.8	13.6	30.8	27.8	39.4	24.7	48.5	0.5	1.5
③ 実感が低下した人		29.5	38.6	11.4	15.9	4.5	27.3	18.2	50.0	20.5	22.7	4.5	0.0

(件)

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担)	7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担)	9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担)	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R8[2」は除く。 (サンプル数＝112人)	372	52	65	38	27	22	25	27	37	24	53	1	1
② 実感が横ばいの人 (サンプル数＝198人)	714	100	120	67	57	27	61	55	78	49	96	1	3
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R8[4」は除く。 (サンプル数＝44人)	107	13	17	5	7	2	12	8	22	9	10	2	0

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(112名中0名記載)

② 実感が・横ばいの人の「その他」コメント(198名中2名記載)
・全員が健康でコミュニケーションが取れている　・両親の老いについて

③ 実感が低下した人の「その他」コメント(44名中0名記載)

H31とR8の比較

分野別実感(4)「子育て」の分布（H31とR8）　　（単位：人）

H31→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	不明、未記入、複数回答	（小計）	R6追加対象者	（計）
5 感じる	**7**	*6*	*2*	*1*	*0*	0	0	16	8	24
4 やや感じる	5	**26**	*23*	*9*	*0*	0	0	63	25	88
3 どちらともいえない	**4**	**21**	**33**	*13*	*11*	14	0	96	29	125
2 あまり感じない	**0**	**8**	**9**	**6**	6	5	0	34	18	52
1 感じない	**0**	**0**	**2**	**2**	**5**	2	0	11	4	15
0 わからない（該当しない）	11	31	49	11	9	70	7	188	55	243
不明 未記入 複数回答	0	0	6	2	1	6	2	17	4	21
調査未回答	0	3	4	1	1	9	0	18	9	27
調査対象外	11	23	39	19	9	43	13	157	4	161
（計）	38	118	167	64	42	149	22	600	156	756

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　65 人
H31からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、H31調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　77 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　46 人
H31からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、H31調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

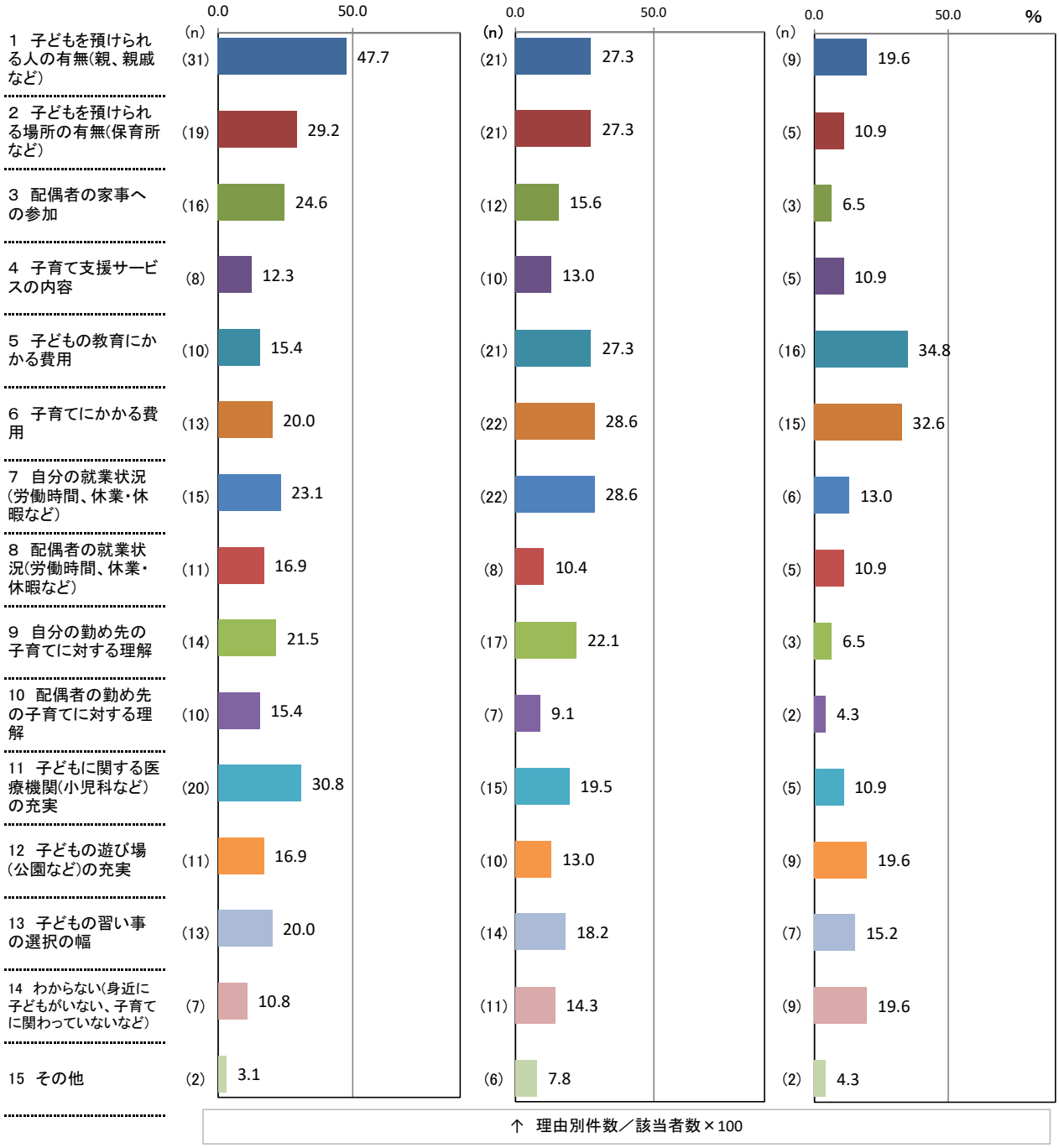
分野別実感の変化別（計画開始年（平成31年）からの変化）

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「子育て」（H31-R8）

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (200) 65 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (217) 77 人	③ 実感が低下した人 の回答 (101) 46 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (31)	6 子育てにかかる費用 (22) 7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (22)	5 子どもの教育にかかる費用 (16)
2	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実 (20)	－ －	6 子育てにかかる費用 (15)
3	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (19)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (21) 2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (21) 5 子どもの教育にかかる費用 (21)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (9) 12 子どもの遊び場(公園など)の充実 (9) 14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (9)

（ ）内の数字は件数。



【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）①「あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
① 実感が上昇した人		47.7	29.2	24.6	12.3	15.4	20.0	23.1	16.9	21.5	15.4	30.8	16.9	20.0	10.8	3.1
② 実感が横ばいの人		27.3	27.3	15.6	13.0	27.3	28.6	28.6	10.4	22.1	9.1	19.5	13.0	18.2	14.3	7.8
③ 実感が低下した人		19.6	10.9	6.5	10.9	34.8	32.6	13.0	10.9	6.5	4.3	10.9	19.6	15.2	19.6	4.3

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝65人）	200	31	19	16	8	10	13	15	11	14	10	20	11	13	7	2
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝77人）	217	21	21	12	10	21	22	22	8	17	7	15	10	14	11	6
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝46人）	101	9	5	3	5	16	15	6	5	3	2	5	9	7	9	2

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（65名中2名記載）
・子育てが終了した　・地区により、支援の不公平

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（77名中3名記載）
・3人の子は皆独立している　・全てにおいて親の負担が多い。　・昔と比べて 子育て終了

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（46名中1名記載）
・孫2人の面倒を見ている立場

H31とR8の比較

分野別実感(5)「子どもの教育」の分布（H31とR8）　　（単位：人）

H31→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	不明、未記入、複数回答	（小計）	R6追加対象者	（計）
5 感じる	**6**	*5*	*6*	*1*	*0*	0	1	19	10	29
4 やや感じる	3	**25**	*24*	*9*	*2*	8	0	71	25	96
3 どちらともいえない	**1**	**19**	**38**	*11*	*7*	10	0	86	34	120
2 あまり感じない	**3**	**5**	**16**	**10**	5	3	0	42	11	53
1 感じない	**0**	**0**	**1**	**0**	**4**	0	0	5	4	9
0 わからない（該当しない）	6	34	55	21	12	58	3	189	54	243
不明 未記入 複数回答	0	4	3	2	0	4	0	13	5	18
調査未回答	2	3	3	2	0	8	0	18	9	27
調査対象外	11	33	38	16	8	46	5	157	4	161
（計）	32	128	184	72	38	137	9	600	156	756

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　65 人
H31からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、H31調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　83 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　45 人
H31からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、H31調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

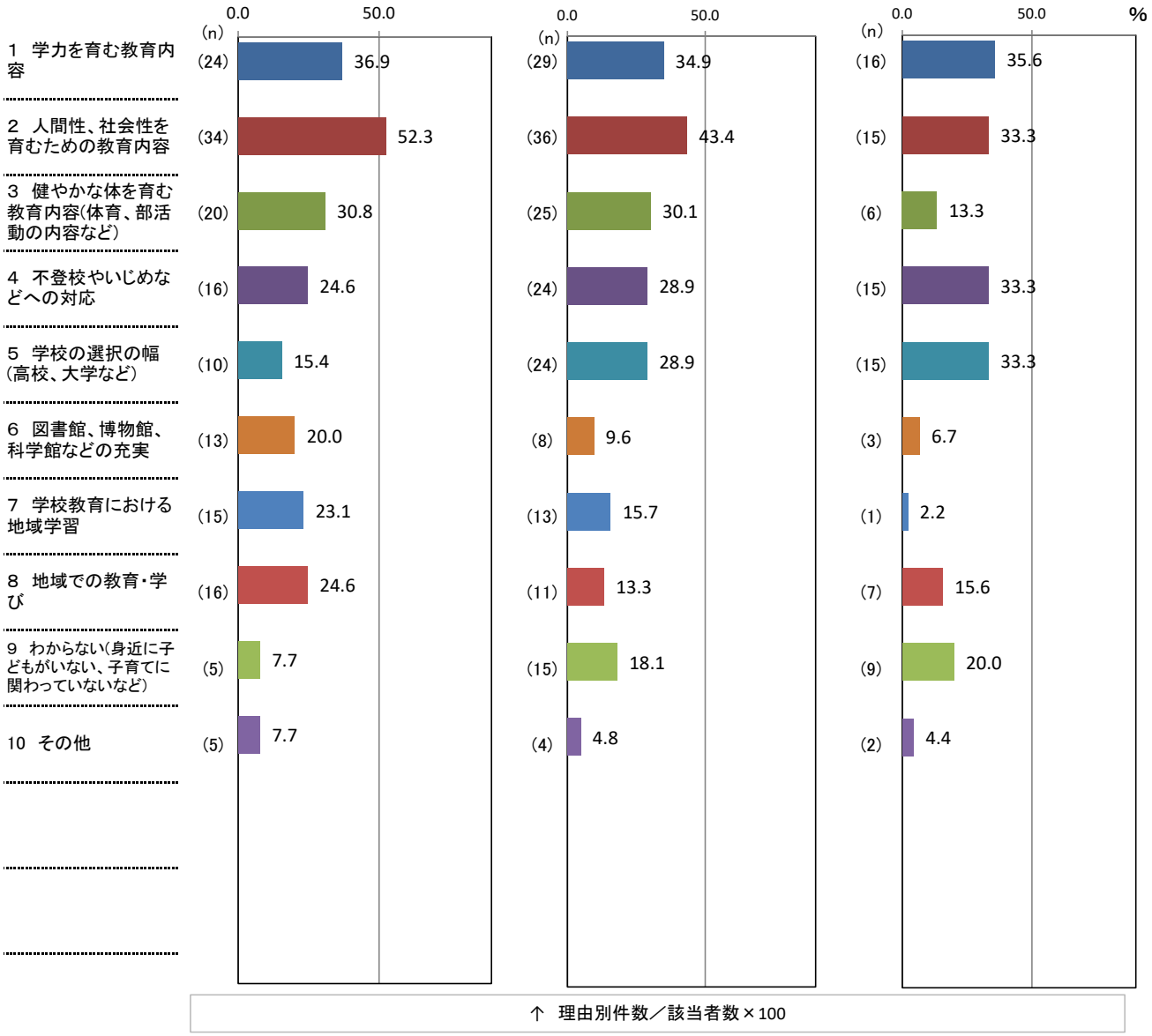
分野別実感の変化別（計画開始年（平成31年）からの変化）

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」（H31-R8）

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (158) 65 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (189) 83 人	③ 実感が低下した人 の回答 (89) 45 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (34)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (36)	1 学力を育む教育内容 (16)
2	1 学力を育む教育内容 (24)	1 学力を育む教育内容 (29)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (15) 4 不登校やいじめなどへの対応 (15) 5 学校の選択の幅(高校、大学など) (15)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (20)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (25)	- -

（ ）内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 実感が上昇した人		36.9	52.3	30.8	24.6	15.4	20.0	23.1	24.6	7.7	7.7
② 実感が横ばいの人		34.9	43.4	30.1	28.9	28.9	9.6	15.7	13.3	18.1	4.8
③ 実感が低下した人		35.6	33.3	13.3	33.3	33.3	6.7	2.2	15.6	20.0	4.4

(件)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R8[2」は除く。 (サンプル数=65人)	158	24	34	20	16	10	13	15	16	5	5
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=83人)	189	29	36	25	24	24	8	13	11	15	4
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R8[4」は除く。 (サンプル数=45人)	89	16	15	6	15	15	3	1	7	9	2

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(65名中2名記載)
・具体的な例が思いうかばない　・保育の役割、小学校入学前の検査(言葉)

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント(83名中3名記載)
・タブレット・PC　・保育園　・子育て終了

③実感が低下した人の「その他」コメント(45名中1名記載)
・保護者の関心

H31とR8の比較

分野別実感(6)「住まいの快適さ」の分布（H31とR8）　　（単位：人）

H31→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	不明、未記入、複数回答	（小計）	R6追加対象者	（計）
5 感じる	**35**	*42*	*13*	*2*	*2*	0	0	94	31	125
4 やや感じる	17	**86**	*43*	*15*	*4*	1	0	166	52	218
3 どちらともいえない	**6**	**25**	**31**	*19*	*5*	2	0	88	33	121
2 あまり感じない	**2**	**11**	**14**	**14**	4	0	0	45	18	63
1 感じない	**0**	**4**	**7**	**10**	**10**	0	0	31	8	39
0 わからない（該当しない）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明 未記入 複数回答	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2
調査未回答	4	5	5	2	2	0	0	18	9	27
調査対象外	34	47	35	21	18	1	1	157	4	161
（計）	98	221	148	83	45	4	1	600	156	756

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　145 人
H31からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、H31調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　176 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　79 人
H31からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、H31調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

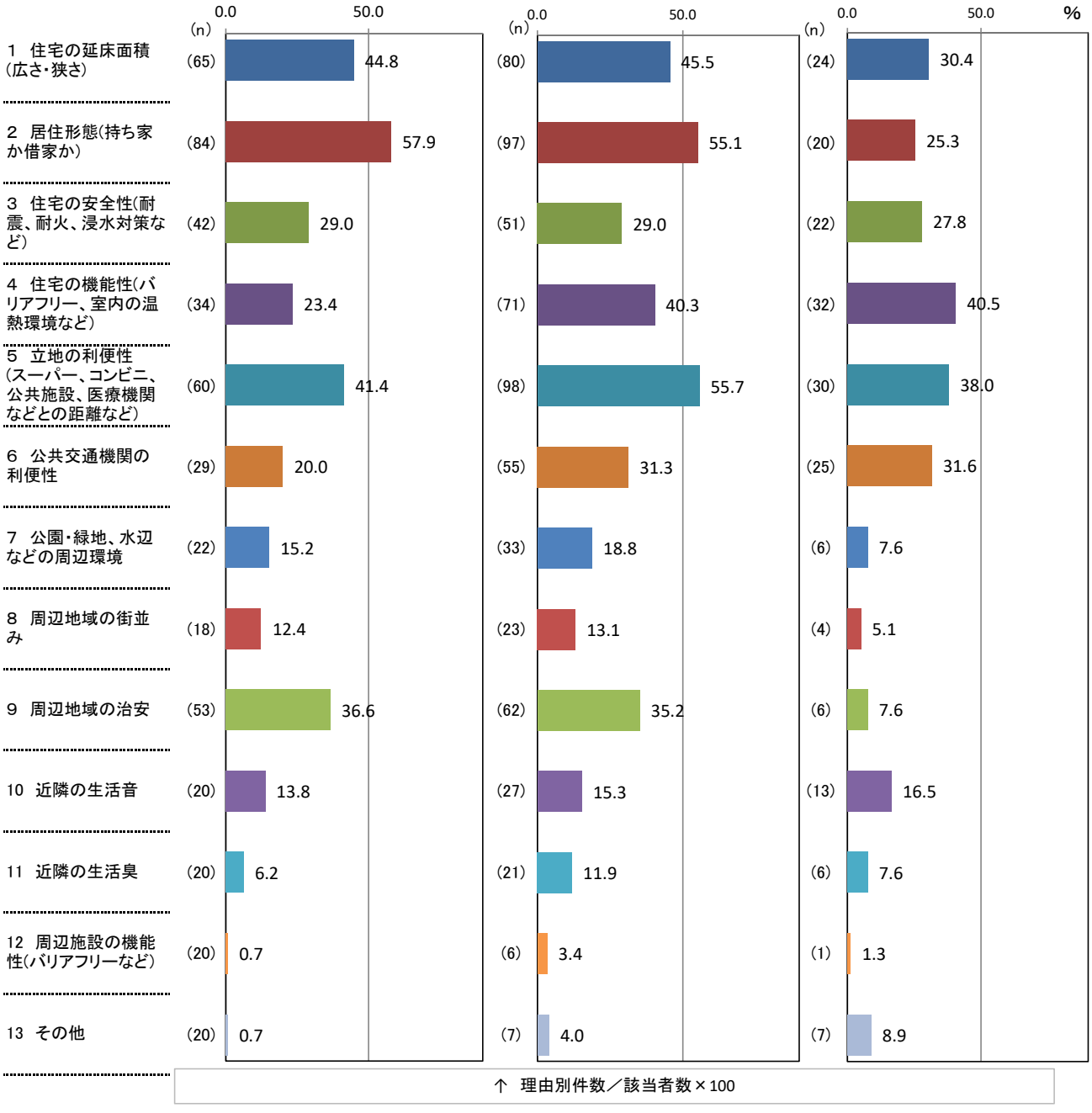
分野別実感の変化別（計画開始年（平成31年）からの変化）

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「住まいの快適さ」（H31-R8）

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (438) 145 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (631) 176 人	③ 実感が低下した人 の回答 (196) 79 人
1	2 居住形態(持ち家か借家か) (84)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) (98)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) (32)
2	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ) (65)	2 居住形態(持ち家か借家か) (97)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) (30)
3	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) (60)	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ) (80)	6 公共交通機関の利便性 (25)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（6） 住まいの快適さについての回答理由（問1-1（6）①「あなたはお住まいに快適さを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か借家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)	13 その他
① 実感が上昇した人		44.8	57.9	29.0	23.4	41.4	20.0	15.2	12.4	36.6	13.8	6.2	0.7	0.7
② 実感が横ばいの人		45.5	55.1	29.0	40.3	55.7	31.3	18.8	13.1	35.2	15.3	11.9	3.4	4.0
③ 実感が低下した人		30.4	25.3	27.8	40.5	38.0	31.6	7.6	5.1	7.6	16.5	7.6	1.3	8.9

（件）

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か借家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝145人）	438	65	84	42	34	60	29	22	18	53	20	9	1	1
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝176人）	631	80	97	51	71	98	55	33	23	62	27	21	6	7
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝79人）	196	24	20	22	32	30	25	6	4	6	13	6	1	7

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（145名中1名記載）
・近隣の付き合い

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（176名中5名記載）
・猫の糞・尿被害　・断熱　・持ち家ではあるが、古い家屋で屋根から●●しつつある。　・津波警報発令時の避難　・冬期間の除雪が大変

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（79名中5名記載）
・子どもがうまれ、成長につれて夫婦2人の生活の時より考えなければならないことがふえたから。危ないところをなくすようになど…　・築年数や設備　・住宅の気密性、断熱性能が低い　・雪かきが辛い　・隣人関係

H31とR8の比較

分野別実感(7)「地域社会とのつながり」の分布（H31とR8）　（単位：人）

H31→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	不明、未記入、複数回答	（小計）	R6追加対象者	（計）
5 感じる	**30**	*18*	*4*	*3*	*2*	0	0	57	11	68
4 やや感じる	33	**74**	*31*	*17*	*5*	4	0	164	49	213
3 どちらともいえない	**8**	**38**	**35**	*13*	*3*	2	0	99	34	133
2 あまり感じない	**2**	**17**	**24**	**24**	4	1	0	72	33	105
1 感じない	**0**	**4**	**4**	**5**	**10**	1	0	24	15	39
0 わからない（該当しない）	0	2	3	0	1	2	0	8	0	8
不明 未記入 複数回答	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2
調査未回答	2	7	5	1	1	2	0	18	9	27
調査対象外	26	52	34	23	12	9	1	157	4	161
（計）	101	213	140	86	38	21	1	600	156	756

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　96 人
H31からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、H31調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　173 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　102 人
H31からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、H31調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

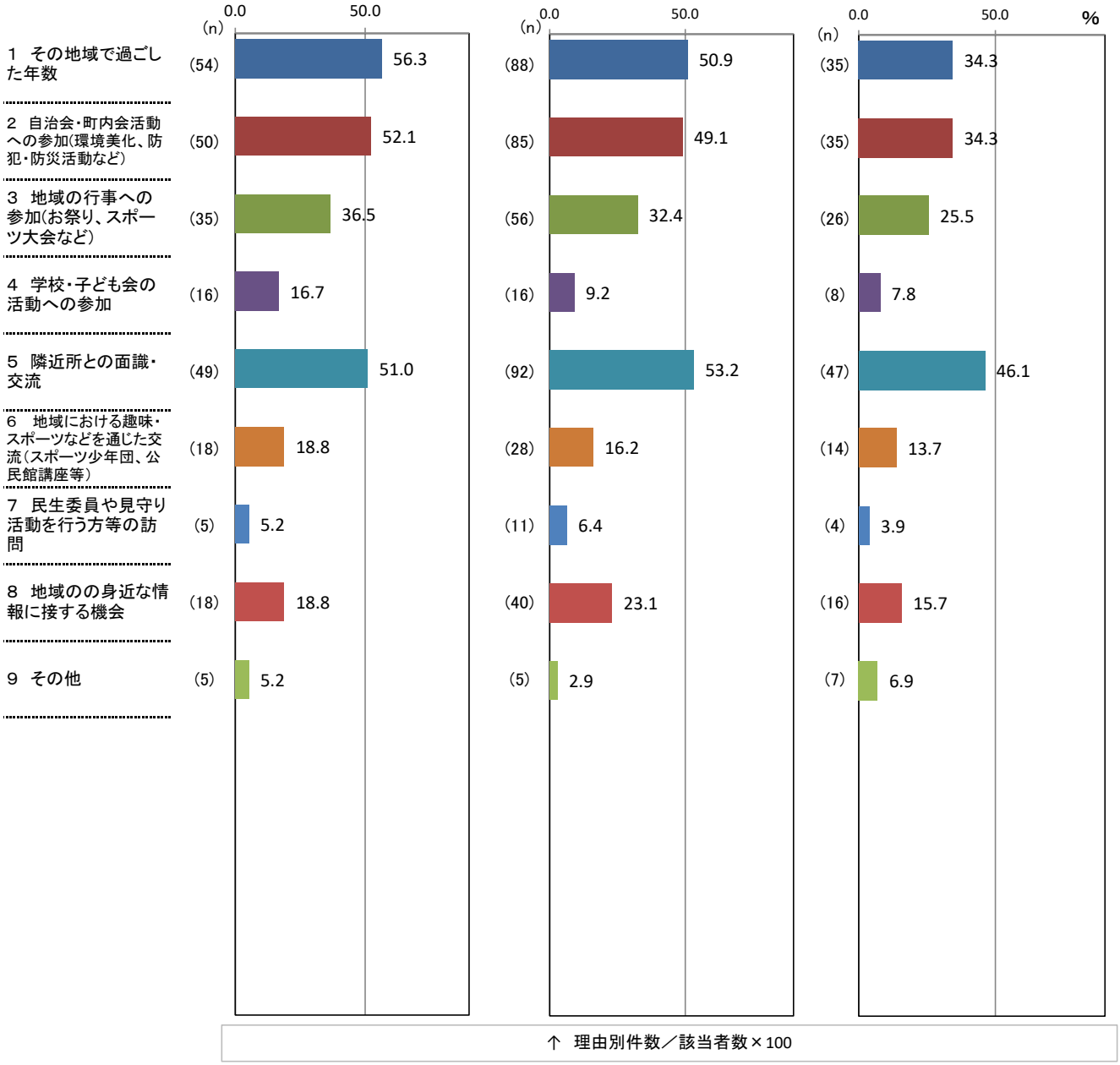
分野別実感の変化別（計画開始年（平成31年）からの変化）

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「地域社会とのつながり」（H31-R8）

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (250) 96 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (421) 173 人	③ 実感が低下した人 の回答 (192) 102 人
1	1 その地域で過ごした年数 (54)	5 隣近所との面識・交流 (92)	5 隣近所との面識・交流 (47)
2	2 自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など） (50)	1 その地域で過ごした年数 (88)	1 その地域で過ごした年数 (35) 2 自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など） (35)
3	5 隣近所との面識・交流 (49)	2 自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など） (85)	－ －

（ ）内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）①「あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のス	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
① 実感が上昇した人		56.3	52.1	36.5	16.7	51.0	18.8	5.2	18.8	5.2
② 実感が横ばいの人		50.9	49.1	32.4	9.2	53.2	16.2	6.4	23.1	2.9
③ 実感が低下した人		34.3	34.3	25.5	7.8	46.1	13.7	3.9	15.7	6.9

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のス	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝96人）	250	54	50	35	16	49	18	5	18	5
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝173人）	421	88	85	56	16	92	28	11	40	5
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝102人）	192	35	35	26	8	47	14	4	16	7

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（96名中2名記載）
・Netでの交流が中心になっている。　・消防団活動

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（173名中4名記載）
・つながりがない　・自分達も地域の活動に参加している。　・回覧板がこない。集合住宅のため。　・町内会費は払っているが回覧板は回って来ない立場なので

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（102名中3名記載）
・一人住いだとつながりの機会が少ない　・さいきんは病院がよいが多い。　・高齢者

H31とR8の比較

分野別実感(8)「地域の安全」の分布（H31とR8）　　（単位：人）

H31→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	不明、未記入、複数回答	（小計）	R6追加対象者	（計）
5 感じる	**23**	*32*	*4*	*2*	*1*	1	1	64	22	86
4 やや感じる	61	**97**	*38*	*15*	*1*	3	0	215	65	280
3 どちらともいえない	**12**	**39**	**32**	*8*	*0*	0	0	91	38	129
2 あまり感じない	**3**	**14**	**8**	**6**	2	1	0	34	12	46
1 感じない	**1**	**6**	**1**	**1**	**2**	0	0	11	5	16
0 わからない（該当しない）	1	1	1	0	0	0	0	3	0	3
不明 未記入 複数回答	5	1	0	1	0	0	0	7	1	8
調査未回答	6	9	3	0	0	0	0	18	9	27
調査対象外	47	65	24	8	5	6	2	157	4	161
（計）	159	264	111	41	11	11	3	600	156	756

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　101 人
H31からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、H31調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　160 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　85 人
H31からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、H31調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

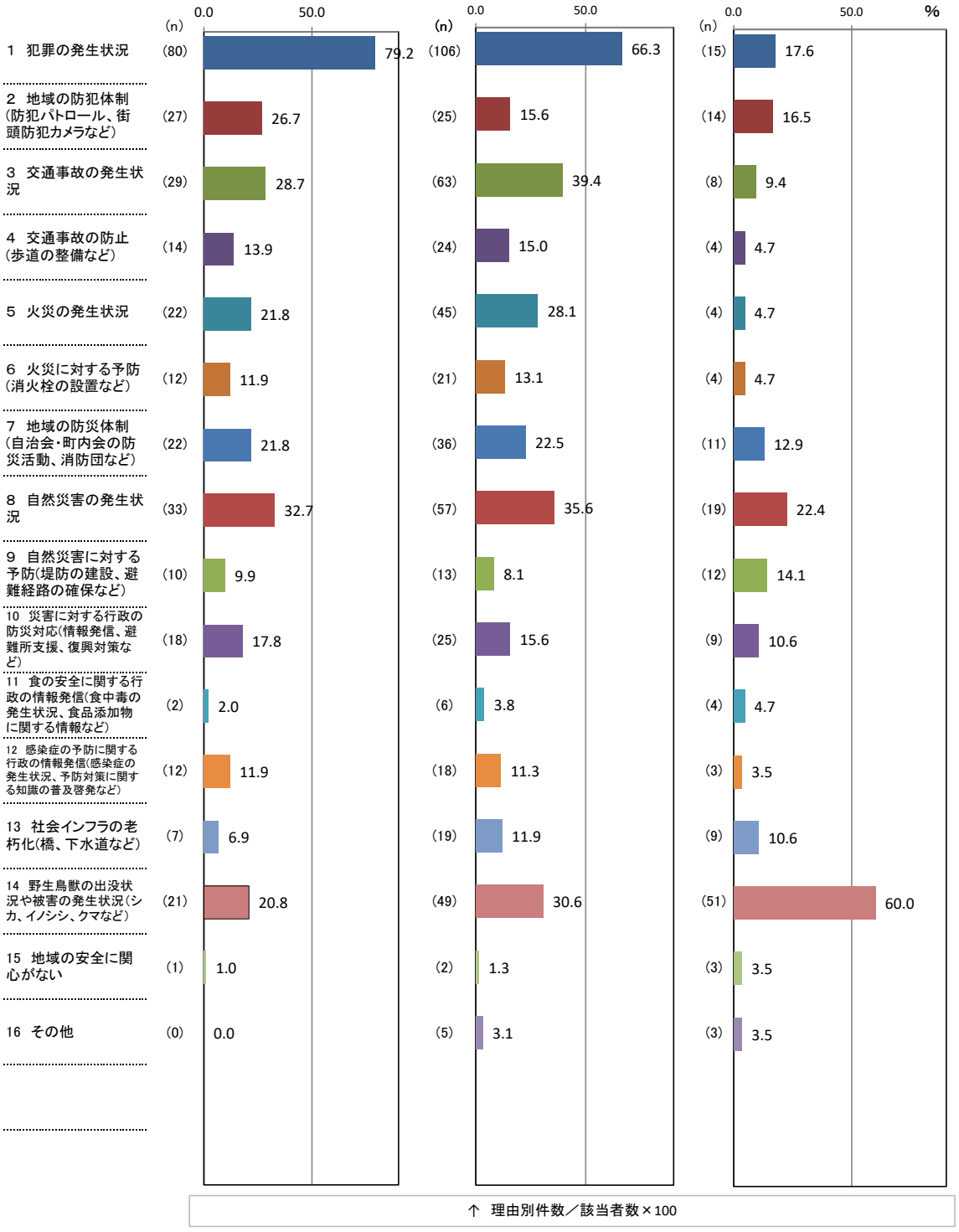
分野別実感の変化別（計画開始年（平成31年）からの変化）

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「地域の安全」（H31-R8）

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (310) 101 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (514) 160 人	③ 実感が低下した人 の回答 (173) 85 人
1	1 犯罪の発生状況 (80)	1 犯罪の発生状況 (106)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況（シカ、イノシシ、クマなど） (51)
2	8 自然災害の発生状況 (33)	3 交通事故の発生状況 (63)	8 自然災害の発生状況 (19)
3	3 交通事故の発生状況 (29)	8 自然災害の発生状況 (57)	1 犯罪の発生状況 (15)

（ ）内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（8）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（8）①「あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
① 実感が上昇した人		79.2	26.7	28.7	13.9	21.8	11.9	21.8	32.7	9.9	17.8	2.0	11.9	6.9	20.8	1.0	0.0
② 実感が横ばいの人		66.3	15.6	39.4	15.0	28.1	13.1	22.5	35.6	8.1	15.6	3.8	11.3	11.9	30.6	1.3	3.1
③ 実感が低下した人		17.6	16.5	9.4	4.7	4.7	4.7	12.9	22.4	14.1	10.6	4.7	3.5	10.6	60.0	3.5	3.5

（件）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝101人）	310	80	27	29	14	22	12	22	33	10	18	2	12	7	21	1	0
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝160人）	514	106	25	63	24	45	21	36	57	13	25	6	18	19	49	2	5
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝85人）	173	15	14	8	4	4	4	11	19	12	9	4	3	9	51	3	3

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（101名中0名記載）

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（160名中3名記載）
・1・3・5はどこで知れるのですか？　・熊の出没あり　・除雪が不充分

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（85名中3名記載）
・除雪があまい。ボコボコ道路。　・ネコのフンで5年も被害にあってようやく解決した　・近所に人格的に問題ある人がいる

H31とR8の比較

分野別実感(9)「仕事のやりがい」の分布（H31とR8）　　（単位：人）

H31→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	不明、未記入、複数回答	（小計）	R6追加対象者	（計）
5 感じる	**46**	*14*	*5*	*2*	*2*	1	0	70	31	101
4 やや感じる	39	**66**	*21*	*4*	*3*	7	1	141	50	191
3 どちらともいえない	**7**	**24**	**12**	*11*	*4*	7	0	65	27	92
2 あまり感じない	**4**	**9**	**7**	**8**	4	5	1	38	7	45
1 感じない	**3**	**5**	**3**	**4**	**7**	0	0	22	8	30
0 わからない（該当しない）	21	17	9	2	7	20	3	79	18	97
不明 未記入 複数回答	1	3	2	0	1	3	0	10	2	12
調査未回答	3	8	3	0	2	2	0	18	9	27
調査対象外	27	39	30	11	12	23	15	157	4	161
（計）	151	185	92	42	42	68	20	600	156	756

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　66 人
H31からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、H31調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　139 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　66 人
H31からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、H31調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

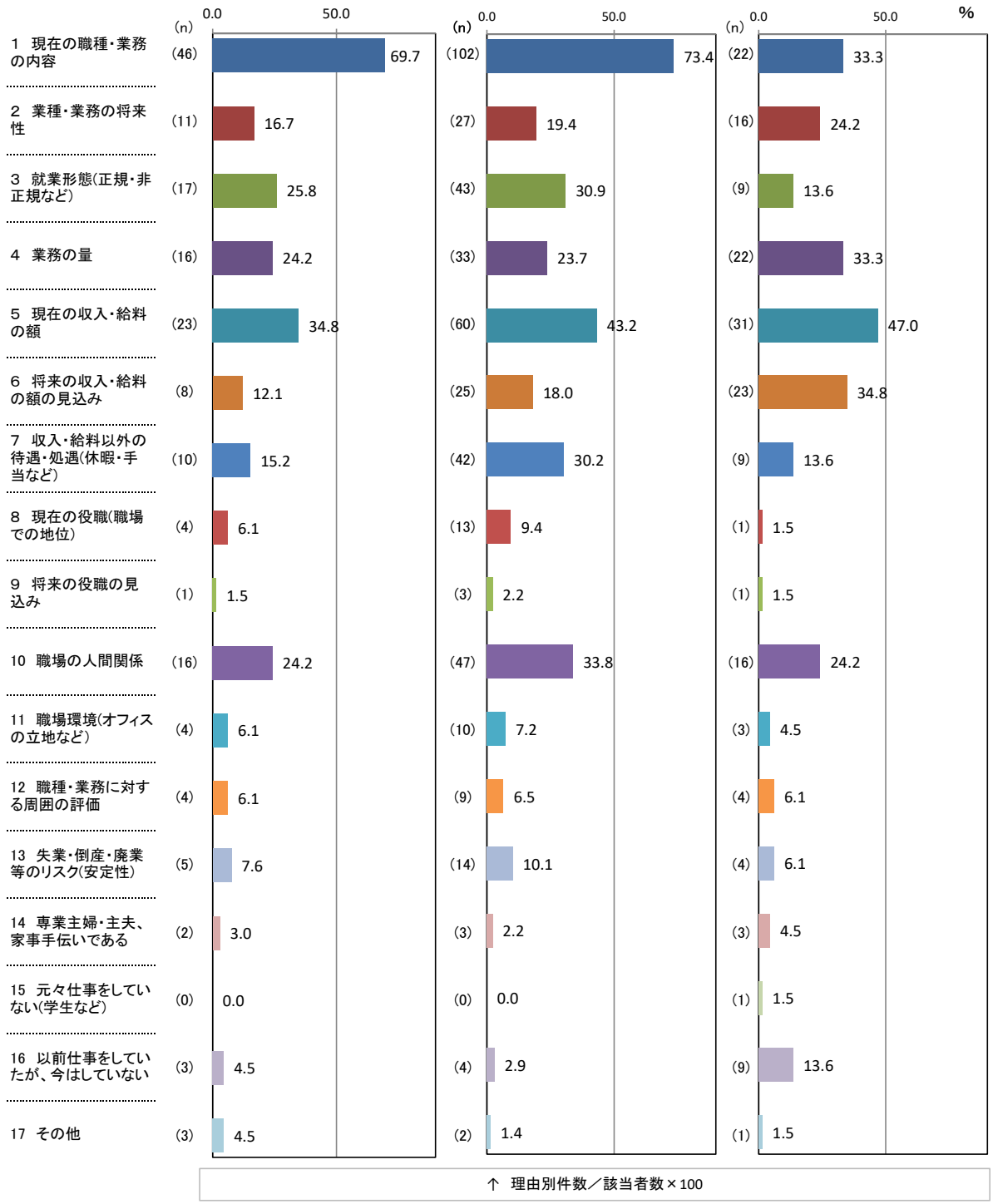
分野別実感の変化別（計画開始年（平成31年）からの変化）

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「仕事のやりがい」（H31-R8）

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (173) 66 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (437) 139 人	③ 実感が低下した人 の回答 (175) 66 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (46)	1 現在の職種・業務の内容 (102)	5 現在の収入・給料の額 (31)
2	5 現在の収入・給料の額 (23)	5 現在の収入・給料の額 (60)	6 将来の収入・給料の額の見込み (23)
3	3 就業形態(正規・非正規など) (17)	10 職場の人間関係 (47)	1 現在の職種・業務の内容 (22)
			4 業務の量 (22)

（ ）内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9）「仕事のやりがい」についての回答理由（問1-1（9）①「あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
① 実感が上昇した人		69.7	16.7	25.8	24.2	34.8	12.1	15.2	6.1	1.5	24.2	6.1	6.1	7.6	3.0	0.0	4.5	4.5
② 実感が横ばいの人		73.4	19.4	30.9	23.7	43.2	18.0	30.2	9.4	2.2	33.8	7.2	6.5	10.1	2.2	0.0	2.9	1.4
③ 実感が低下した人		33.3	24.2	13.6	33.3	47.0	34.8	13.6	1.5	1.5	24.2	4.5	6.1	6.1	4.5	1.5	13.6	1.5

（件）

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝66人）	173	46	11	17	16	23	8	10	4	1	16	4	4	5	2	0	3	3
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝139人）	437	102	27	43	33	60	25	42	13	3	47	10	9	14	3	0	4	2
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝66人）	175	22	16	9	22	31	23	9	1	1	16	3	4	4	3	1	9	1

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（66名中0名記載）

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（139名中1名記載）
・生活の糧を得るための手段だから

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（66名中0名記載）

H31とR8の比較

分野別実感(10)「必要な収入や所得」の分布(H31とR8)　　(単位：人)

H31→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない(該当しない)	不明、未記入、複数回答	(小計)	R6追加対象者	(計)
5 感じる	**16**	*7*	*9*	*2*	*5*	0	0	39	21	60
4 やや感じる	15	**51**	*26*	*11*	*15*	7	1	126	45	171
3 どちらともいえない	**3**	**27**	**27**	*26*	*19*	6	0	108	41	149
2 あまり感じない	**6**	**11**	**9**	**24**	22	4	1	77	21	98
1 感じない	**2**	**5**	**6**	**13**	**37**	5	1	69	13	82
0 わからない(該当しない)	0	1	0	2	1	1	0	5	2	7
不明 未記入 複数回答	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
調査未回答	0	3	1	7	6	1	0	18	9	27
調査対象外	10	30	30	36	34	10	7	157	4	161
(計)	52	135	109	121	139	34	10	600	156	756

① 実感が上昇した人(斜体かつ黄色セル)　120 人
H31からR8にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、H31調査「1(感じない)」→R8「2(あまり感じない)」は除く。)

② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字)　155 人

③ 実感が低下した人(青色かつ太字のセル)　82 人
H31からR8にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、H31調査「5(感じる)」→R8「4(やや感じる)」は除く。)

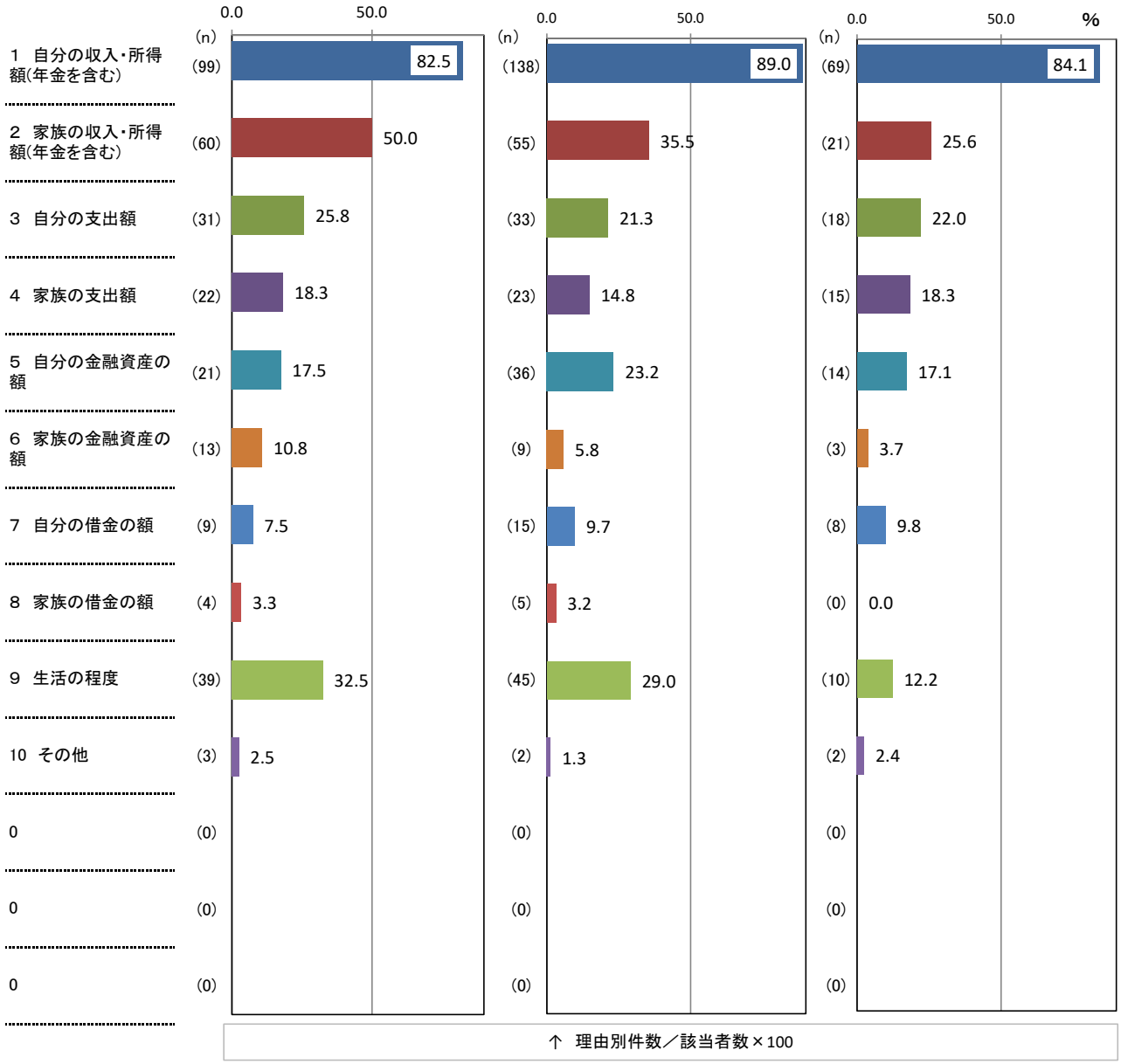
分野別実感の変化別（計画開始年（平成31年）からの変化）

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」（H31-R8）

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (301) 120 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (361) 155 人	③ 実感が低下した人 の回答 (160) 82 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (99)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (138)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (69)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (60)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (55)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (21)
3	9 生活の程度 (39)	9 生活の程度 (45)	3 自分の支出額 (18)

（ ）内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10）「必要な収入や所得」についての回答理由（問1-1（10）①「あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人		82.5	50.0	25.8	18.3	17.5	10.8	7.5	3.3	32.5	2.5
② 実感が横ばいの人		89.0	35.5	21.3	14.8	23.2	5.8	9.7	3.2	29.0	1.3
③ 実感が低下した人		84.1	25.6	22.0	18.3	17.1	3.7	9.8	0.0	12.2	2.4

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝120人）	301	99	60	31	22	21	13	9	4	39	3
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝155人）	361	138	55	33	23	36	9	15	5	45	2
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝82人）	160	69	21	18	15	14	3	8	0	10	2

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（120名中１名記載）
・障がい者年金

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（155名中１名記載）
・家が買えない。マイホーム。

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（82名中0名記載）

H31とR8の比較

分野別実感(11)「歴史・文化への誇り」の分布（H31とR8）　　（単位：人）

H31→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	不明、未記入、複数回答	（小計）	R6追加対象者	（計）
5 感じる	**20**	*18*	*6*	*2*	*0*	0	0	46	14	60
4 やや感じる	27	**75**	*38*	*14*	*4*	9	1	168	55	223
3 どちらともいえない	**7**	**29**	**44**	*18*	*4*	8	0	110	43	153
2 あまり感じない	**2**	**9**	**23**	**16**	2	2	0	54	18	72
1 感じない	**0**	**3**	**7**	**7**	**8**	2	1	28	5	33
0 わからない（該当しない）	1	3	4	2	1	2	0	13	8	21
不明 未記入 複数回答	0	1	4	1	0	0	0	6	0	6
調査未回答	3	5	7	1	0	2	0	18	9	27
調査対象外	23	46	39	22	9	12	6	157	4	161
（計）	83	189	172	83	28	37	8	600	156	756

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　104 人
H31からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、H31調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　163 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　87 人
H31からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、H31調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

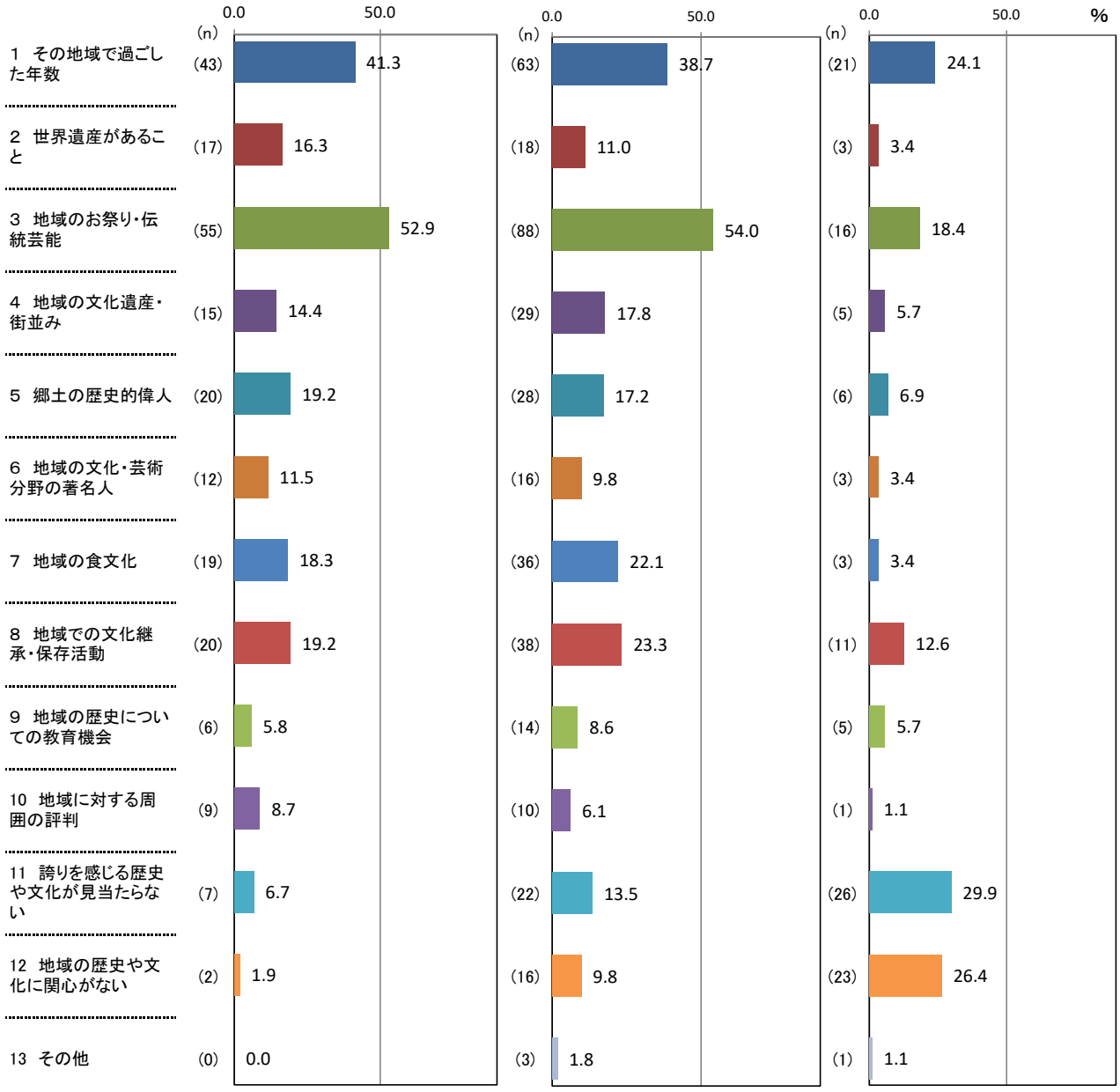
分野別実感の変化別（計画開始年（平成31年）からの変化）

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」（H31−R8）

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (225) 104 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (381) 163 人	③ 実感が低下した人 の回答 (124) 87 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (55)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (88)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (26)
2	1 その地域で過ごした年数 (43)	1 その地域で過ごした年数 (63)	12 地域の歴史や文化に関心がない (23)
3	5 郷土の歴史的偉人 (20) 8 地域での文化継承・保存活動 (20)	8 地域での文化継承・保存活動 (38)	1 その地域で過ごした年数 (21)

（ ）内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）①「あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 実感が上昇した人		41.3	16.3	52.9	14.4	19.2	11.5	18.3	19.2	5.8	8.7	6.7	1.9	0.0
② 実感が横ばいの人		38.7	11.0	54.0	17.8	17.2	9.8	22.1	23.3	8.6	6.1	13.5	9.8	1.8
③ 実感が低下した人		24.1	3.4	18.4	5.7	6.9	3.4	3.4	12.6	5.7	1.1	29.9	26.4	1.1

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝104人）	225	43	17	55	15	20	12	19	20	6	9	7	2	0
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝163人）	381	63	18	88	29	28	16	36	38	14	10	22	16	3
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝87人）	124	21	3	16	5	6	3	3	11	5	1	26	23	1

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（104名中0名記載）

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（163名中0名記載）

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（87名中1名記載）
・あってもわからない

H31とR8の比較

分野別実感(12)「自然のゆたかさ」の分布（H31とR8）　　（単位：人）

H31→ R8 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない（該当しない）	不明、未記入、複数回答	（小計）	R6追加対象者	（計）
5 感じる	**128**	*41*	*6*	*1*	*0*	0	2	178	66	244
4 やや感じる	82	**85**	*15*	*6*	*0*	0	0	188	61	249
3 どちらともいえない	**12**	**20**	**10**	*2*	*0*	1	0	45	9	54
2 あまり感じない	**2**	**2**	**3**	**1**	1	0	0	9	6	15
1 感じない	**2**	**2**	**0**	**0**	**0**	0	0	4	0	4
0 わからない（該当しない）	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2
不明 未記入 複数回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査未回答	9	6	2	1	0	0	0	18	9	27
調査対象外	79	58	9	6	0	2	3	157	4	161
（計）	314	215	45	17	1	3	5	600	156	756

① 実感が上昇した人（斜体かつ黄色セル）　71 人
H31からR8にかけて1段階以上上昇した人
（ただし、H31調査「1（感じない）」→R8「2（あまり感じない）」は除く。）

② 実感が変化なしの人（黒色セル、白文字）　224 人

③ 実感が低下した人（青色かつ太字のセル）　43 人
H31からR8にかけて1段階以上低下した人。
（ただし、H31調査「5（感じる）」→R8「4（やや感じる）」は除く。）

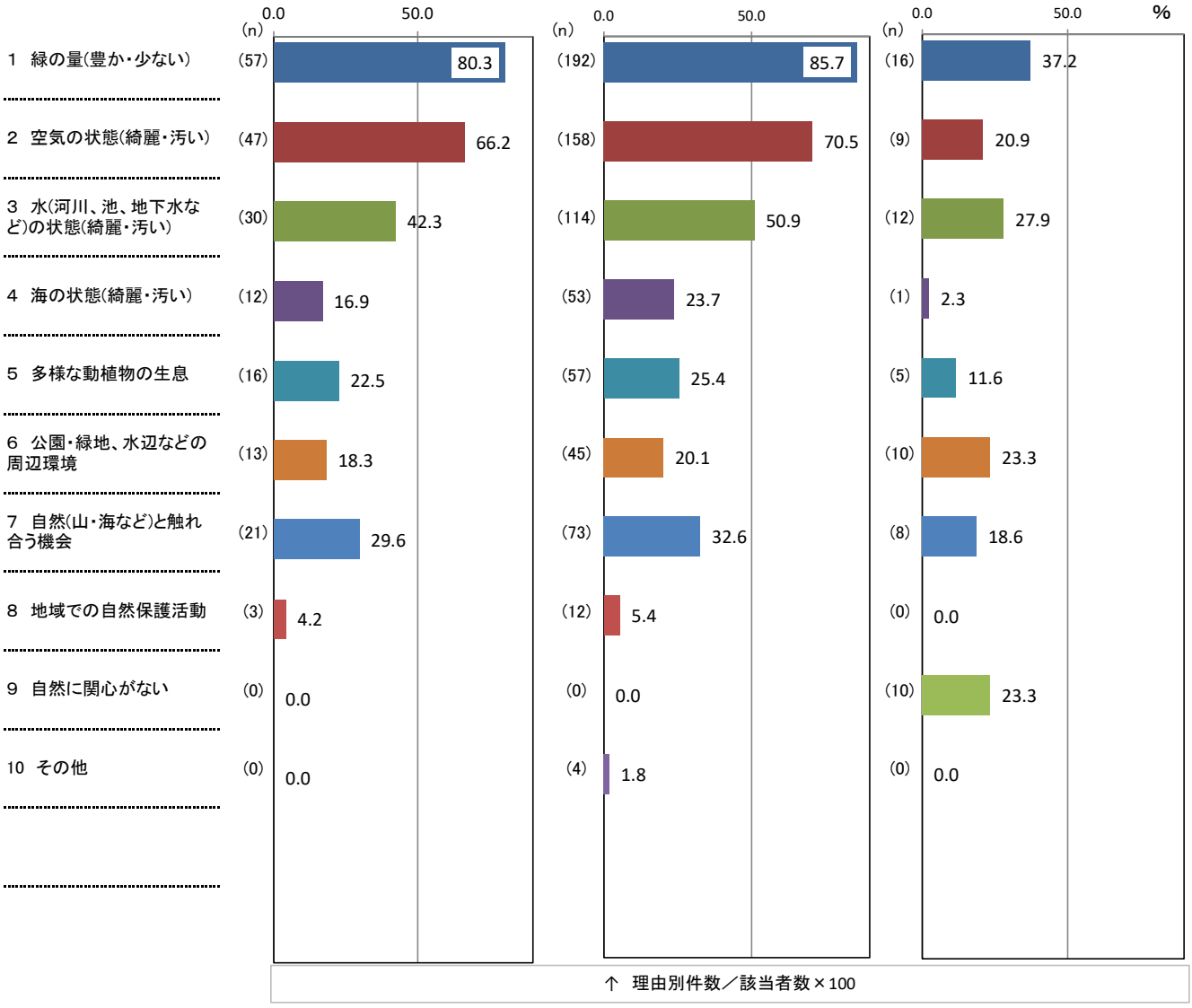
分野別実感の変化別（計画開始年（平成31年）からの変化）

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「自然のゆたかさ」（H31-R8）

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (199) 71 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (708) 224 人	③ 実感が低下した人 の回答 (71) 43 人
1	1 緑の量(豊か・少ない) (57)	1 緑の量(豊か・少ない) (192)	1 緑の量(豊か・少ない) (16)
2	2 空気の状態(綺麗・汚い) (47)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (158)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (12)
3	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (30)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (114)	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境 (10)
			9 自然に関心がない (10)

（ ）内の数字は件数。



【補足調査】
（12）「自然のゆたかさ」についての回答理由（問1-1（12）①「あなたは自然に恵まれていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
① 実感が上昇した人		80.3	66.2	42.3	16.9	22.5	18.3	29.6	4.2	0.0	0.0
② 実感が横ばいの人		85.7	70.5	50.9	23.7	25.4	20.1	32.6	5.4	0.0	1.8
③ 実感が低下した人		37.2	20.9	27.9	2.3	11.6	23.3	18.6	0.0	23.3	0.0

（件）

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R8[2」は除く。 （サンプル数＝71人）	199	57	47	30	12	16	13	21	3	0	0
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝224人）	708	192	158	114	53	57	45	73	12	0	4
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R8[4」は除く。 （サンプル数＝43人）	71	16	9	12	1	5	10	8	0	10	0

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（71名中0名 記載）

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（224名中2名記載）
・クマが出る　　・外出が困難なので自然にふれる機会がない

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（43名中0名記載）

【補足調査】有意差が見られた属性の回答（計画開始年比較）

＜実感が上昇した分野＞

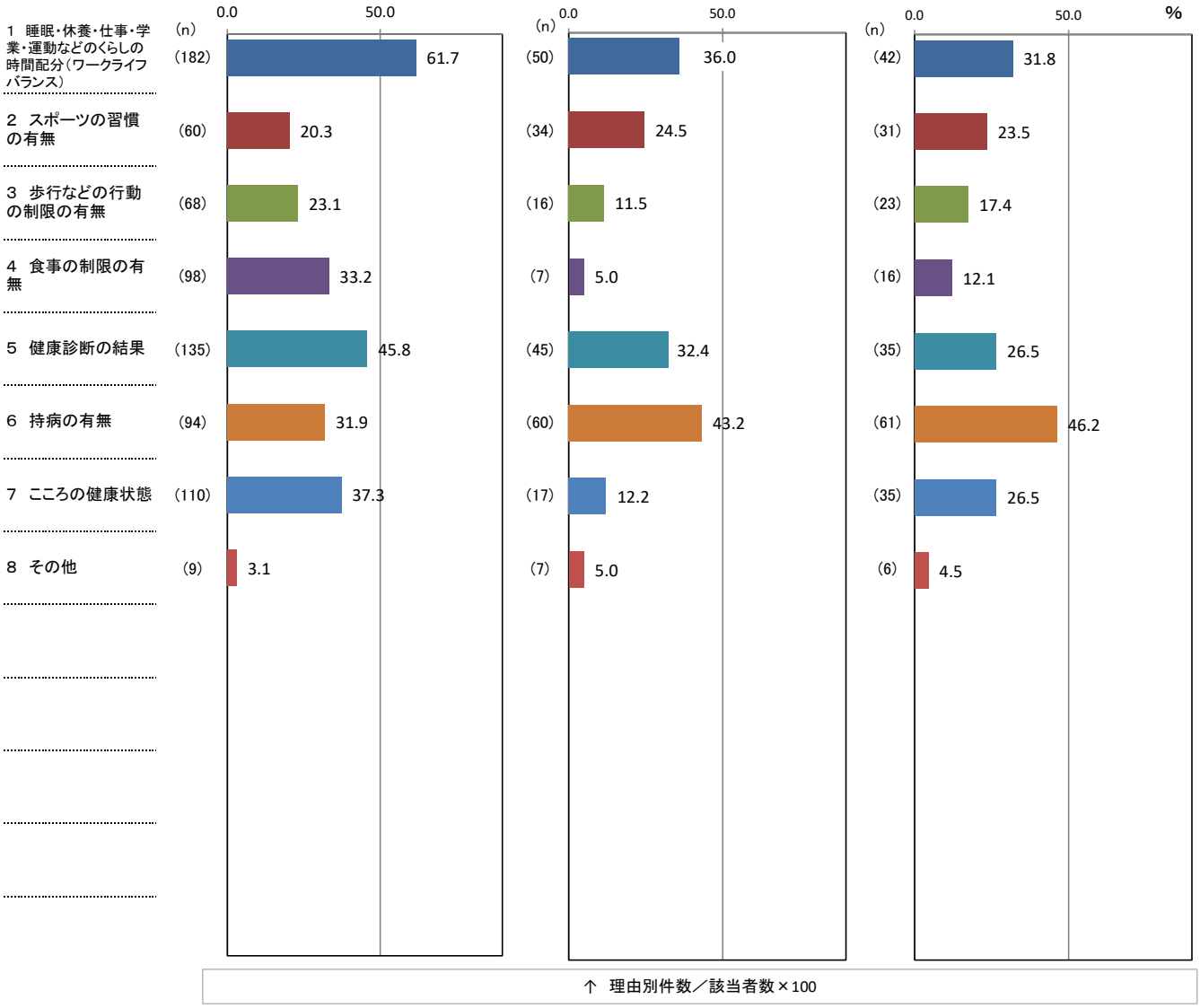
【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「からだの健康」

※「心身の健康」は学生+その他、ひとり暮らし、３世代世帯、その他世帯い、子ども４人以上、居住年数10～20 年未満を除く属性が有意に上昇しているため、分野別実感の回答結果を掲載（再掲）

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (756) 295 人	②「どちらともいえない」の回答 (236) 139 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (249) 132 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (182)	6 持病の有無 (60)	6 持病の有無 (61)
2	5 健康診断の結果 (135)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (50)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (42)
3	7 こころの健康状態 (110)	5 健康診断の結果 (45)	5 健康診断の結果 (35) 7 こころの健康状態 (35)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1-1） からだの健康についての回答理由（問1-1（1）「あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		61.7	20.3	23.1	33.2	45.8	31.9	37.3	3.1
②「どちらともいえない」		36.0	24.5	11.5	5.0	32.4	43.2	12.2	5.0
③「あまり感じない・感じない」		31.8	23.5	17.4	12.1	26.5	46.2	26.5	4.5

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝295人）	756	182	60	68	98	135	94	110	9
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝139人）	236	50	34	16	7	45	60	17	7
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝132人）	249	42	31	23	16	35	61	35	6

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（295名中6名記載）
・筋力・体力　・持病があっても不自由なく暮らせている　・趣味の継続　・腰の不調　・１日4km以上速足で歩いている。高血圧かあるが自分でコントロールして(減塩)いる　・特にそれが‼というのはない

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（139名中3名記載）
・子育てで忙しく問題があり治療が必要な歯医者に行けていない　・経過観察の病気有り　・80代の2人暮らし

③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（132名中3名記載）
・加齢による関節などの痛み　・身体障がい者だから　・仕事のストレス

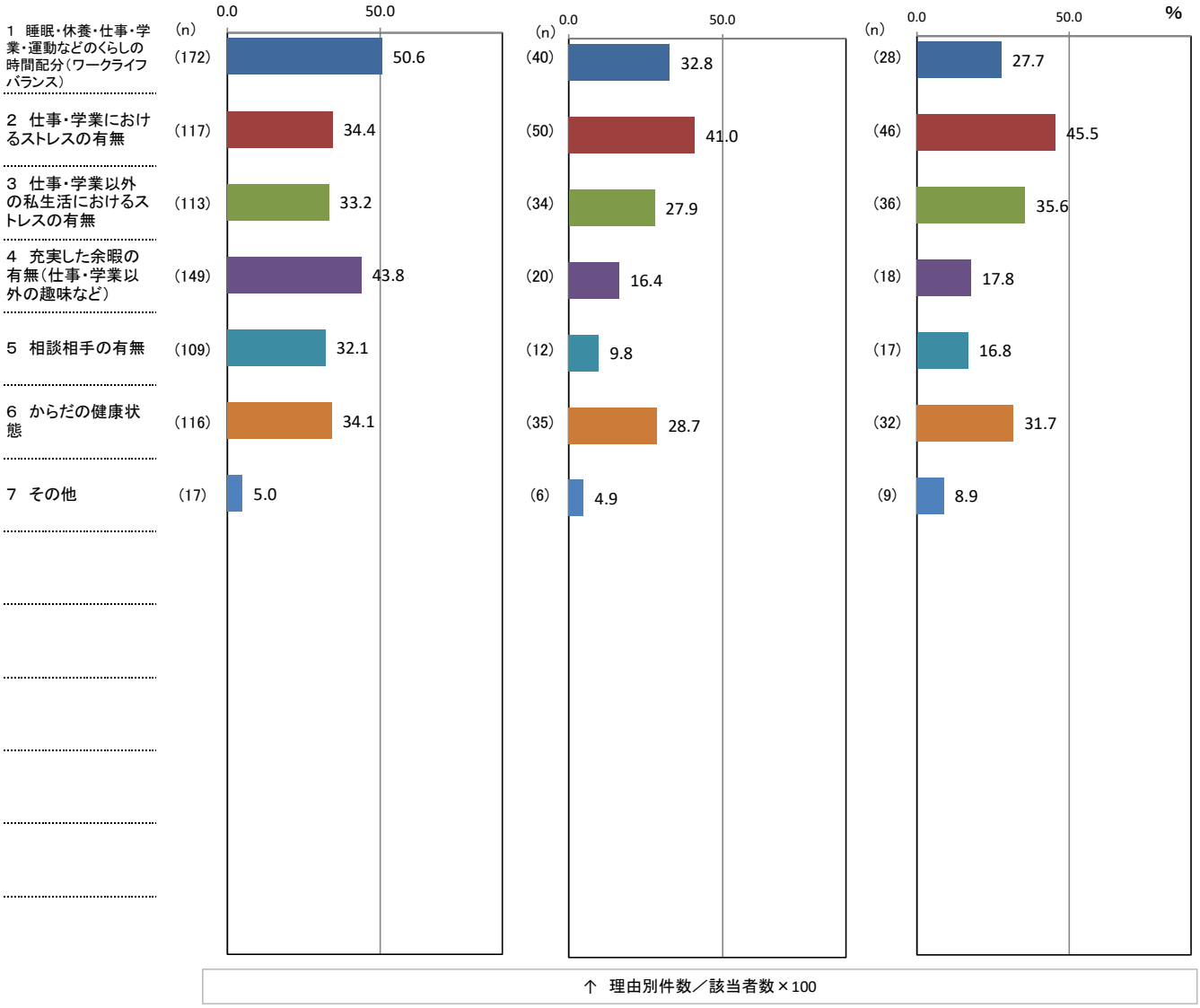
【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「こころの健康」

※「心身の健康」は学生+その他、ひとり暮らし、３世代世帯、その他世帯い、子ども４人以上、居住年数10～20 年未満を除く属性が有意に上昇しているため、分野別実感の回答結果を掲載（再掲）

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (793) 340 人	②「どちらともいえない」の回答 (197) 122 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (186) 101 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (172)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (50)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (46)
2	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (149)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (40)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (36)
3	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (117)	6 からだの健康状態 (35)	6 からだの健康状態 (32)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1-2） こころの健康についての回答理由（問1-1（2）「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		50.6	34.4	33.2	43.8	32.1	34.1	5.0
②「どちらともいえない」		32.8	41.0	27.9	16.4	9.8	28.7	4.9
③「あまり感じない・感じない」		27.7	45.5	35.6	17.8	16.8	31.7	8.9

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝340人）	793	172	117	113	149	109	116	17
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝122人）	197	40	50	34	20	12	35	6
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝101人）	186	28	46	36	18	17	32	9

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（340名中8名記載）
・自分の為に使う時間がある　・義母との関係。若い頃から折り合いが悪い　・一人暮らしだが孫の存在がありがたい　・身内の死　・家族　・認知の状態　・なんとなく　・子供が生まれたため

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（122名中3名記載）
・借金の支払いが残っているため　・家族のこと　・特になし

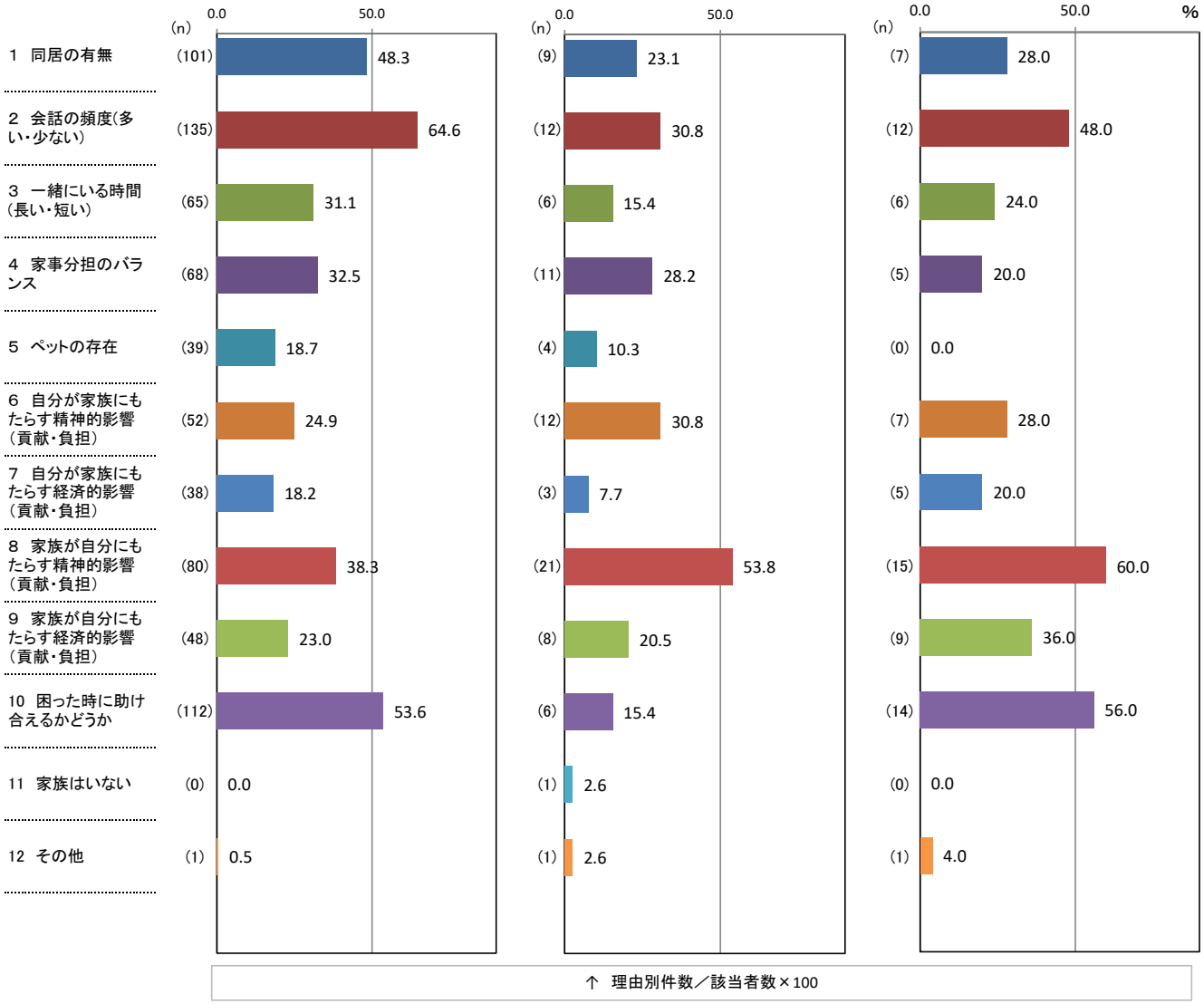
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（101名中6名記載）
・盛岡西警察署・家族の介護生活のマネジメント全てを背負う立場のストレス　・未婚であること　・孫の事、夫の事、自分も物忘れ多発　・家族(配偶者)が病気になり、障がい者になってしまった。　・地域との交流、コミが極端に減少し、寂しい限りです

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (739) 209 人	②「どちらともいえない」の回答 (94) 39 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (81) 25 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (135)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (21)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (15)
2	10 困った時に助け合えるかどうか (112)	2 会話の頻度(多い・少ない) (12) 6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (12)	10 困った時に助け合えるかどうか (14)
3	1 同居の有無 (101)	－ －	2 会話の頻度(多い・少ない) (12)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（3） 家族関係についての回答理由（問1-1（3）「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜女性＞

（%）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		48.3	64.6	31.1	32.5	18.7	24.9	18.2	38.3	23.0	53.6	0.0	0.5
②「どちらともいえない」		23.1	30.8	15.4	28.2	10.3	30.8	7.7	53.8	20.5	15.4	2.6	2.6
③「あまり感じない・感じない」		28.0	48.0	24.0	20.0	0.0	28.0	20.0	60.0	36.0	56.0	0.0	4.0

（件）

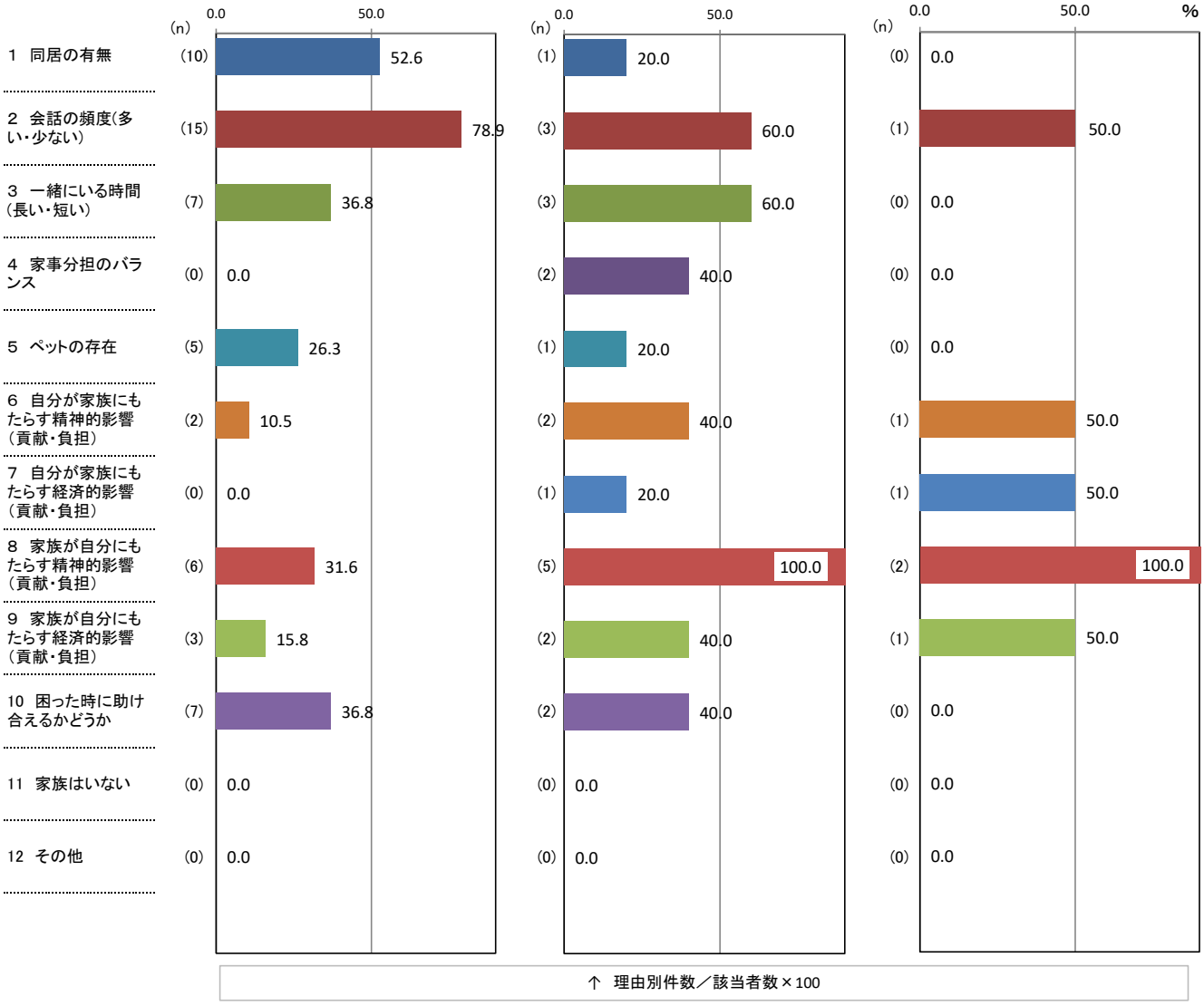
区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝209人）	739	101	135	65	68	39	52	38	80	48	112	0	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝39人）	94	9	12	6	11	4	12	3	21	8	6	1	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝25人）	81	7	12	6	5	0	7	5	15	9	14	0	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜20～29歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (55) 19 人	②「どちらともいえない」の回答 (22) 5 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (6) 2 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (15)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (5)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (2)
2	1 同居の有無 (10)	2 会話の頻度(多い・少ない) (3) 3 一緒にいる時間(長い・短い) (3)	2 会話の頻度(多い・少ない) (1) 6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (1) 7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担) (1) 9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (1)
3	3 一緒にいる時間(長い・短い) (7) 10 困った時に助け合えるかどうか (7)	－ －	－ －

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（3） 家族関係についての回答理由（問1-1(3)「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜20～29歳＞

（%）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		52.6	78.9	36.8	0.0	26.3	10.5	0.0	31.6	15.8	36.8	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		20.0	60.0	60.0	40.0	20.0	40.0	20.0	100.0	40.0	40.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0

（件）

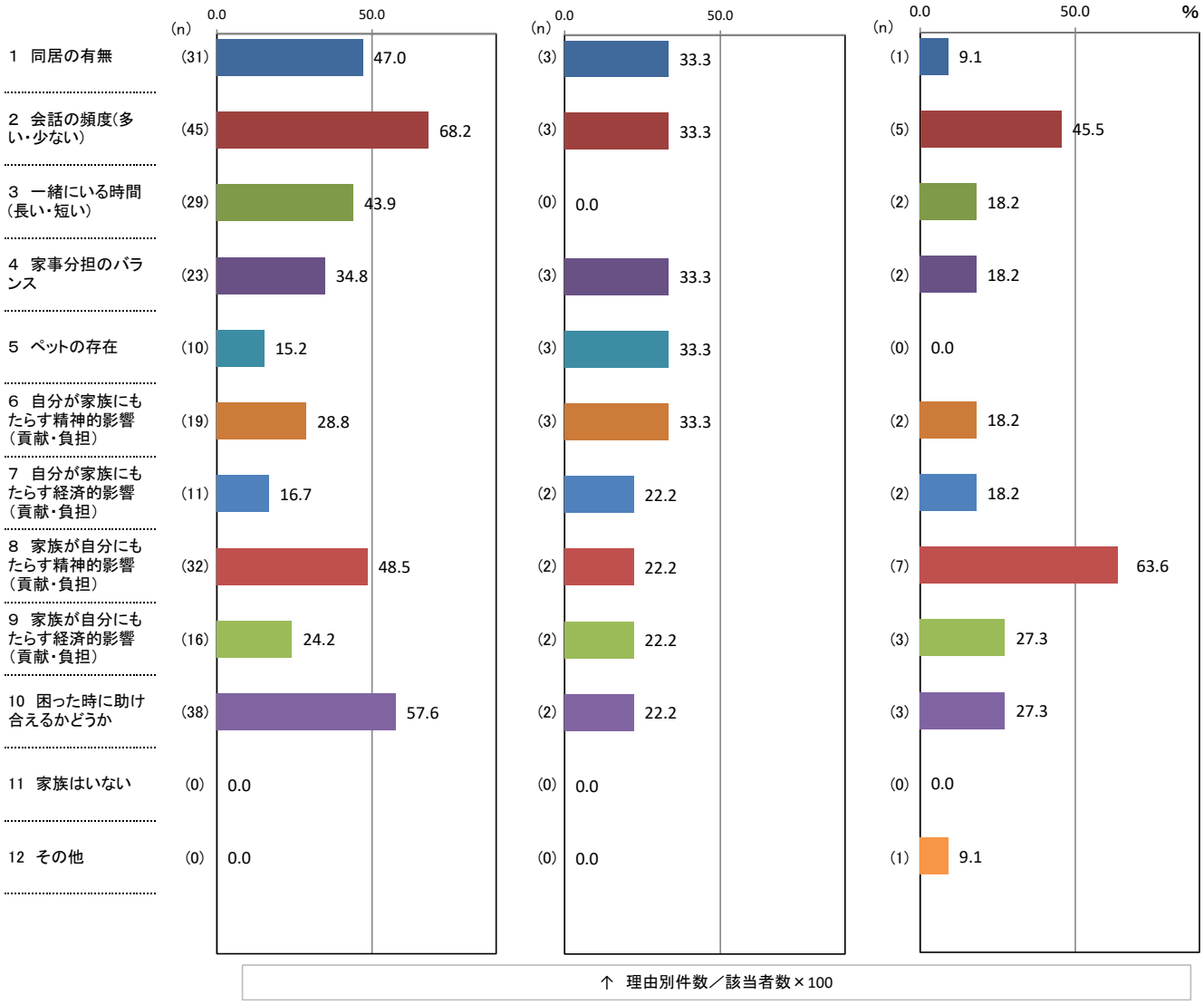
区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝19人）	55	10	15	7	0	5	2	0	6	3	7	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝5人）	22	1	3	3	2	1	2	1	5	2	2	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝2人）	6	0	1	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜30～39歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (254) 66 人	②「どちらともいえない」の回答 (23) 9 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (28) 11 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (45)	1 同居の有無 (3) 2 会話の頻度(多い・少ない) (3) 4 家事分担のバランス (3) 5 ペットの存在 (3) 6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (3)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (7)
2	10 困った時に助け合えるかどうか (38)	－ －	2 会話の頻度(多い・少ない) (5)
3	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (32)	－ －	9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (3) 10 困った時に助け合えるかどうか (3)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（3） 家族関係についての回答理由（問1-1(3)「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜30～39歳＞

（%）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		47.0	68.2	43.9	34.8	15.2	28.8	16.7	48.5	24.2	57.6	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	22.2	22.2	22.2	22.2	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		9.1	45.5	18.2	18.2	0.0	18.2	18.2	63.6	27.3	27.3	0.0	9.1

（件）

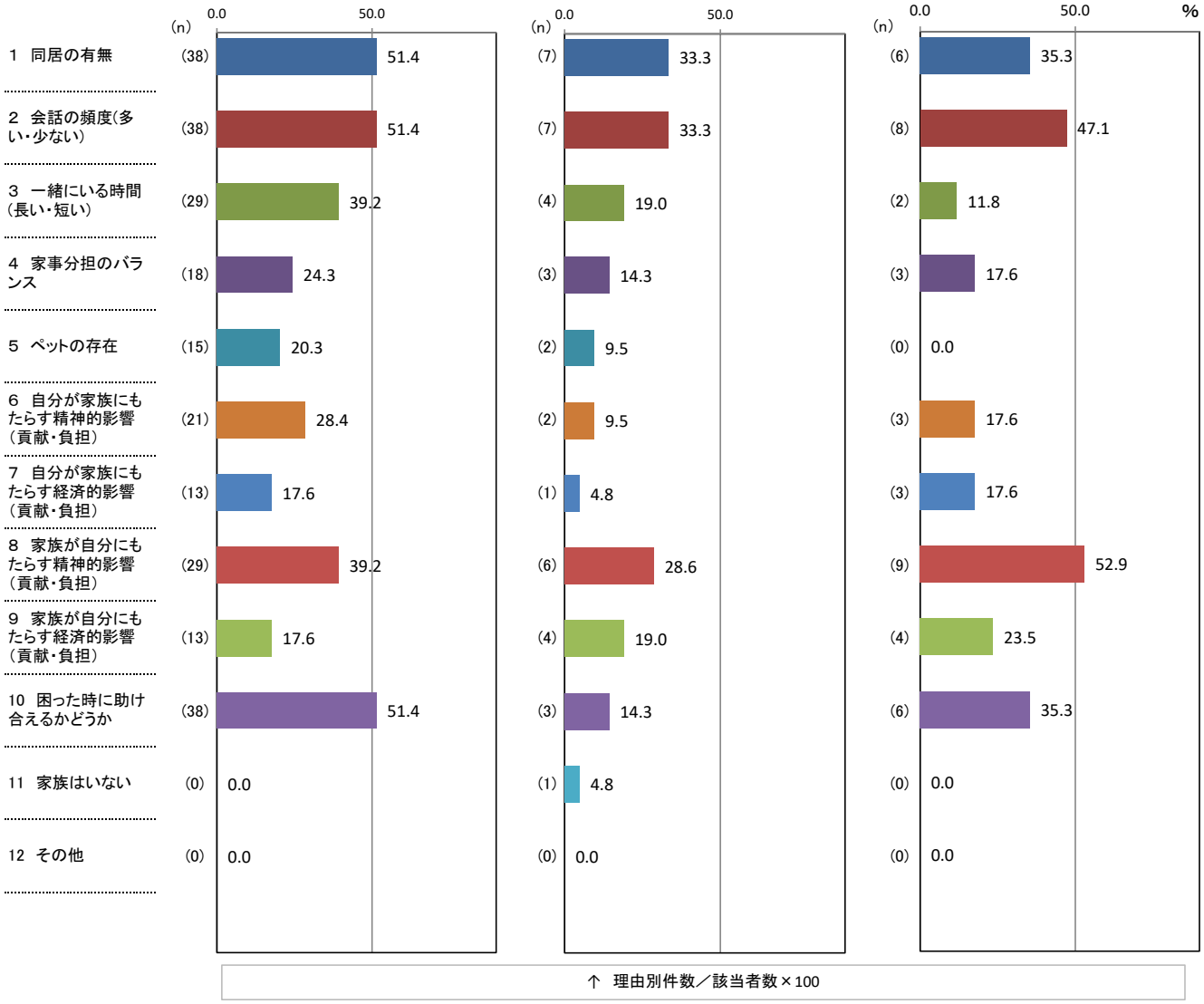
区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝66人）	254	31	45	29	23	10	19	11	32	16	38	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝9人）	23	3	3	0	3	3	3	2	2	2	2	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝11人）	28	1	5	2	2	0	2	2	7	3	3	0	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜50～59歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (252) 74 人	②「どちらともいえない」の回答 (40) 21 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (44) 17 人
1	1 同居の有無 (38) 2 会話の頻度(多い・少ない) (38) 10 困った時に助け合えるかどうか (38)	1 同居の有無 (7) 2 会話の頻度(多い・少ない) (7)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (9)
2	－ －	－ －	2 会話の頻度(多い・少ない) (8)
3	－ －	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (6)	1 同居の有無 (6) 10 困った時に助け合えるかどうか (6)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（3） 家族関係についての回答理由（問1-1（3）「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜50～59歳＞

（%）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		51.4	51.4	39.2	24.3	20.3	28.4	17.6	39.2	17.6	51.4	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		33.3	33.3	19.0	14.3	9.5	9.5	4.8	28.6	19.0	14.3	4.8	0.0
③「あまり感じない・感じない」		35.3	47.1	11.8	17.6	0.0	17.6	17.6	52.9	23.5	35.3	0.0	0.0

（件）

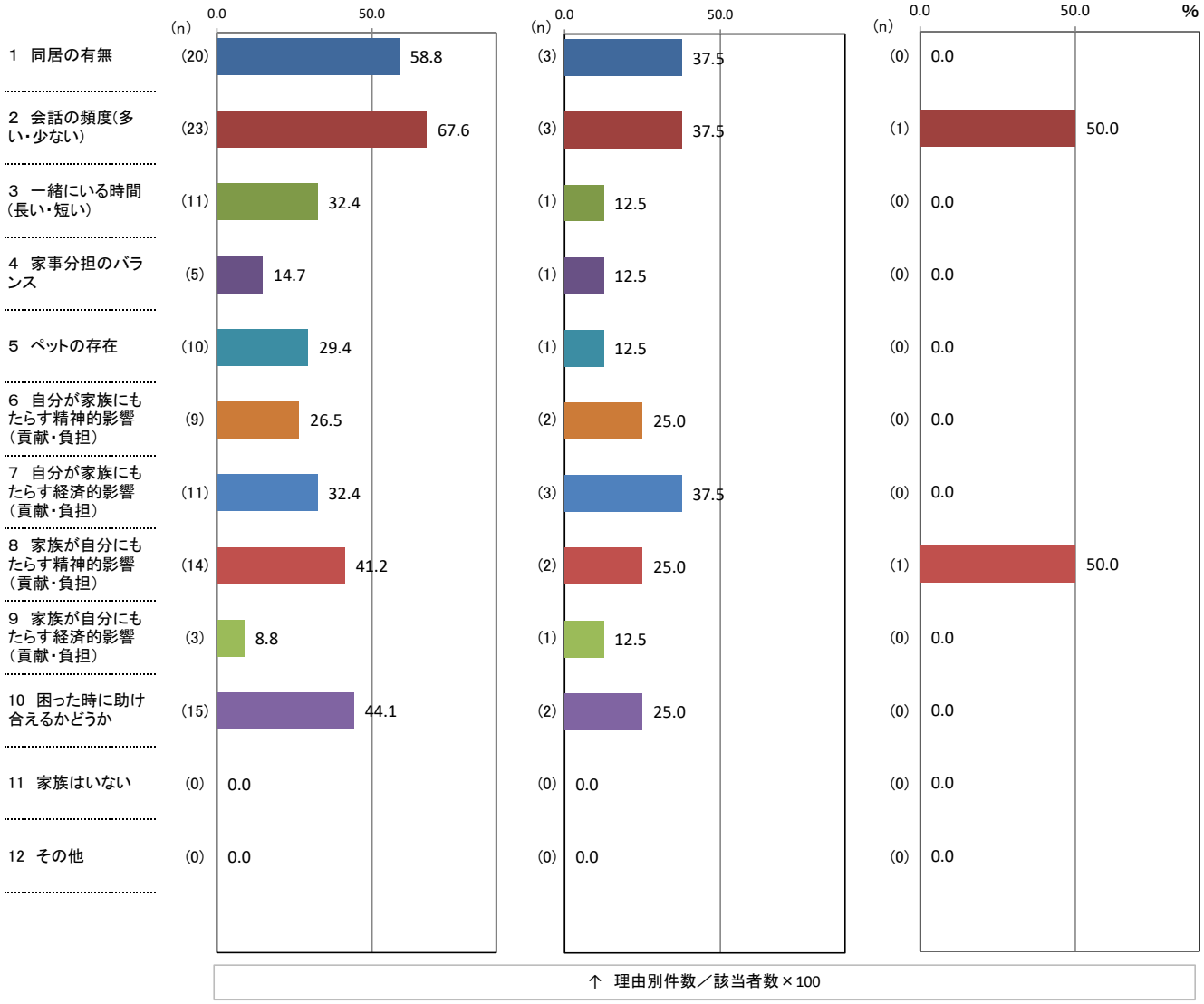
区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝74人）	252	38	38	29	18	15	21	13	29	13	38	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝21人）	40	7	7	4	3	2	2	1	6	4	3	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝17人）	44	6	8	2	3	0	3	3	9	4	6	0	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜会社役員・団体役員＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (121) 34 人	②「どちらともいえない」の回答 (19) 8 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (2) 2 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (23)	1 同居の有無 (3) 2 会話の頻度(多い・少ない) (3) 7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担) (3)	2 会話の頻度(多い・少ない) (1) 8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (1)
2	1 同居の有無 (20)	－ －	－ －
3	10 困った時に助け合えるかどうか (15)	－ －	－ －

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（3） 家族関係についての回答理由（問1-1（3）「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜会社役員・団体役員＞

（%）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		58.8	67.6	32.4	14.7	29.4	26.5	32.4	41.2	8.8	44.1	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		37.5	37.5	12.5	12.5	12.5	25.0	37.5	25.0	12.5	25.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（件）

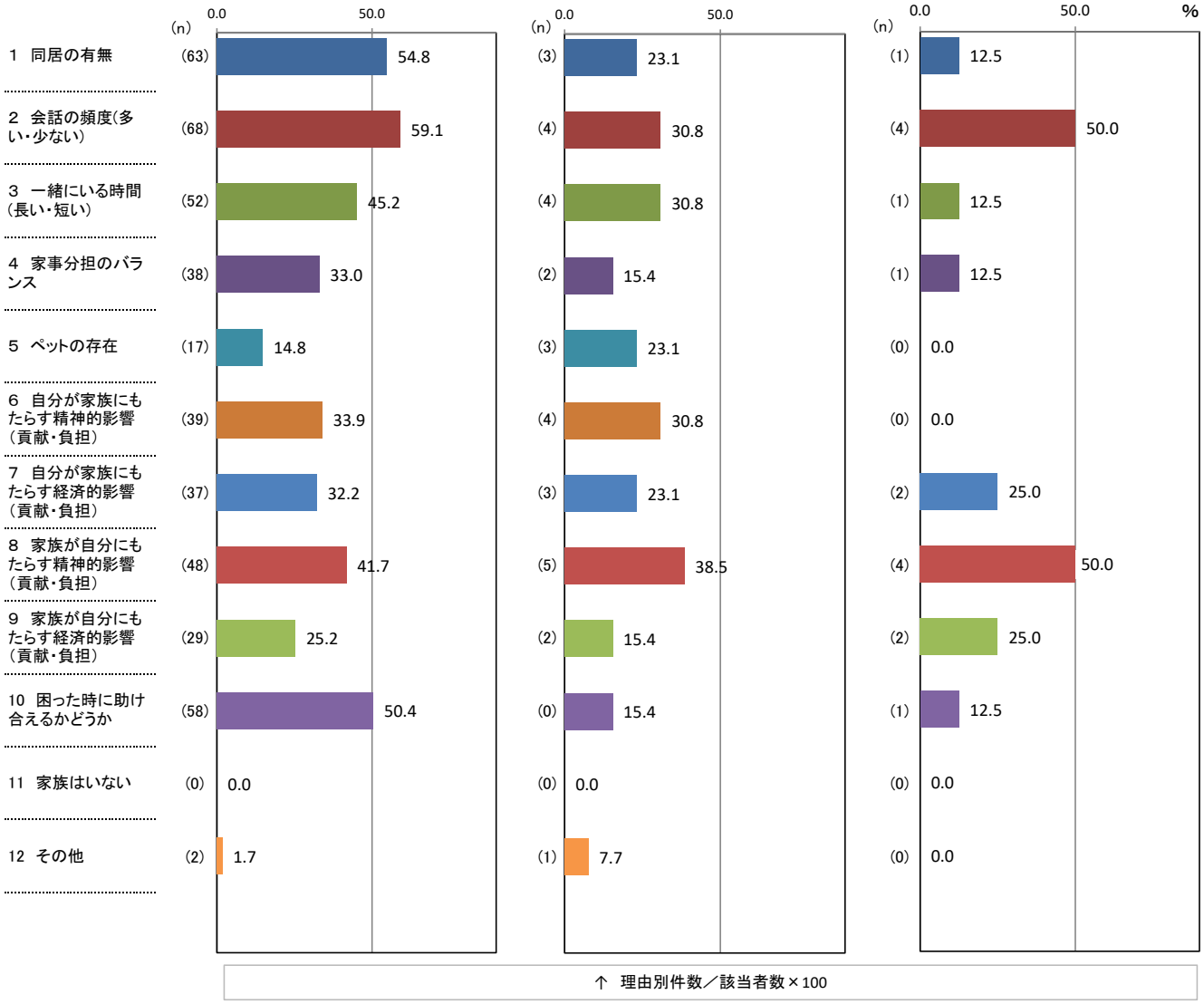
区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝34人）	121	20	23	11	5	10	9	11	14	3	15	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝8人）	19	3	3	1	1	1	2	3	2	1	2	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝2人）	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜夫婦のみ＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (451) 115 人	②「どちらともいえない」の回答 (33) 13 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (16) 8 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (68)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (5)	2 会話の頻度(多い・少ない) (4) 8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (4)
2	1 同居の有無 (63)	2 会話の頻度(多い・少ない) (4) 3 一緒にいる時間(長い・短い) (4) 6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (4)	－ －
3	10 困った時に助け合えるかどうか (58)	－ －	7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担) (2) 9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (2)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（3） 家族関係についての回答理由（問1-1（3）「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜夫婦のみ＞ （%）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		54.8	59.1	45.2	33.0	14.8	33.9	32.2	41.7	25.2	50.4	0.0	1.7
②「どちらともいえない」		23.1	30.8	30.8	15.4	23.1	30.8	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0	7.7
③「あまり感じない・感じない」		12.5	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0

（件）

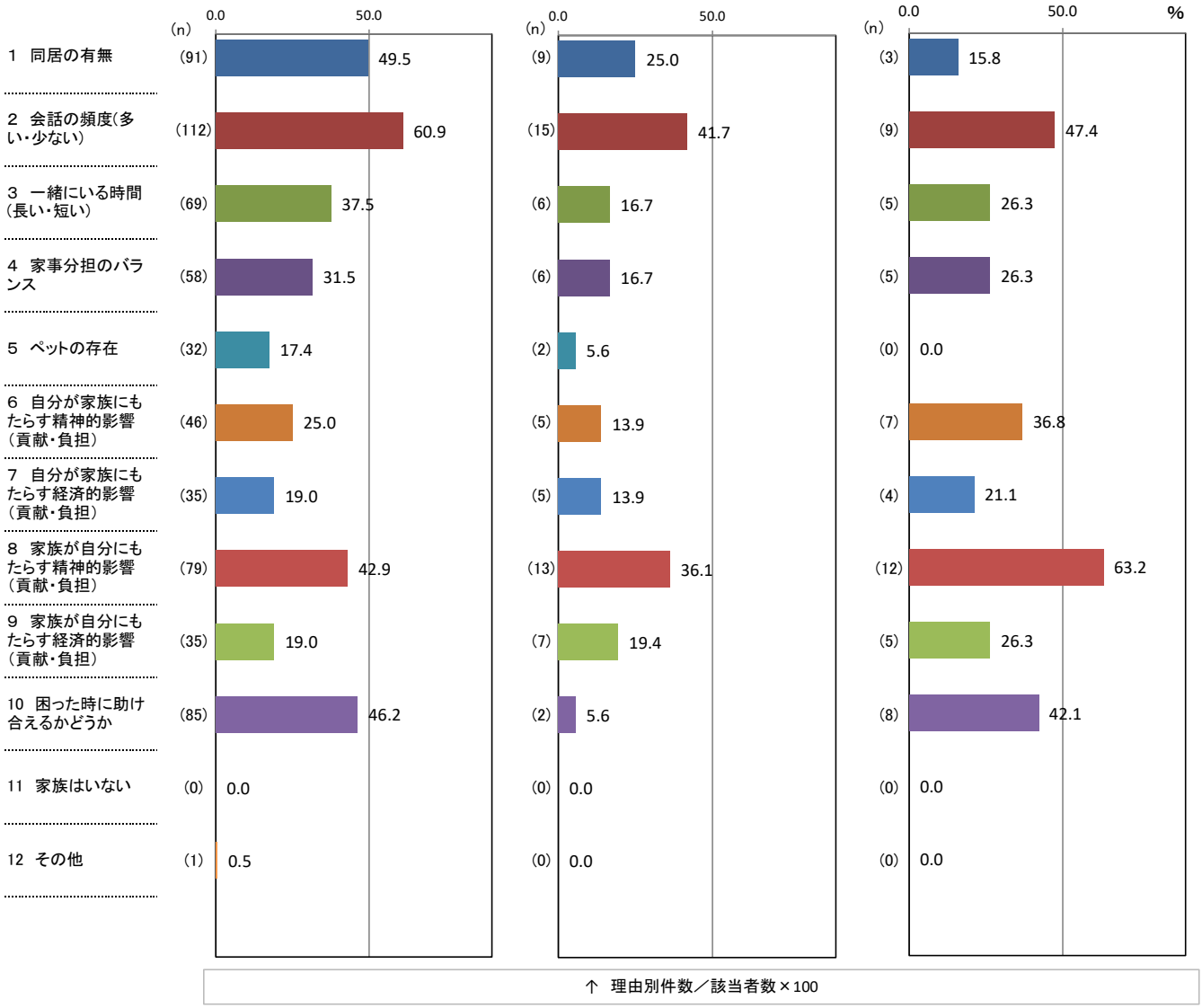
区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝115人）	451	63	68	52	38	17	39	37	48	29	58	0	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝13人）	33	3	4	4	2	3	4	3	5	2	2	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝8人）	16	1	4	1	1	0	0	2	4	2	1	0	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜2世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (643) 184 人	②「どちらともいえない」の回答 (70) 36 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (58) 19 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (112)	2 会話の頻度(多い・少ない) (15)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (12)
2	1 同居の有無 (91)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (13)	2 会話の頻度(多い・少ない) (9)
3	10 困った時に助け合えるかどうか (85)	1 同居の有無 (9)	10 困った時に助け合えるかどうか (8)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（3） 家族関係についての回答理由（問1-1(3)「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜2世代世帯＞

（%）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		49.5	60.9	37.5	31.5	17.4	25.0	19.0	42.9	19.0	46.2	0.0	0.5
②「どちらともいえない」		25.0	41.7	16.7	16.7	5.6	13.9	13.9	36.1	19.4	5.6	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		15.8	47.4	26.3	26.3	0.0	36.8	21.1	63.2	26.3	42.1	0.0	0.0

（件）

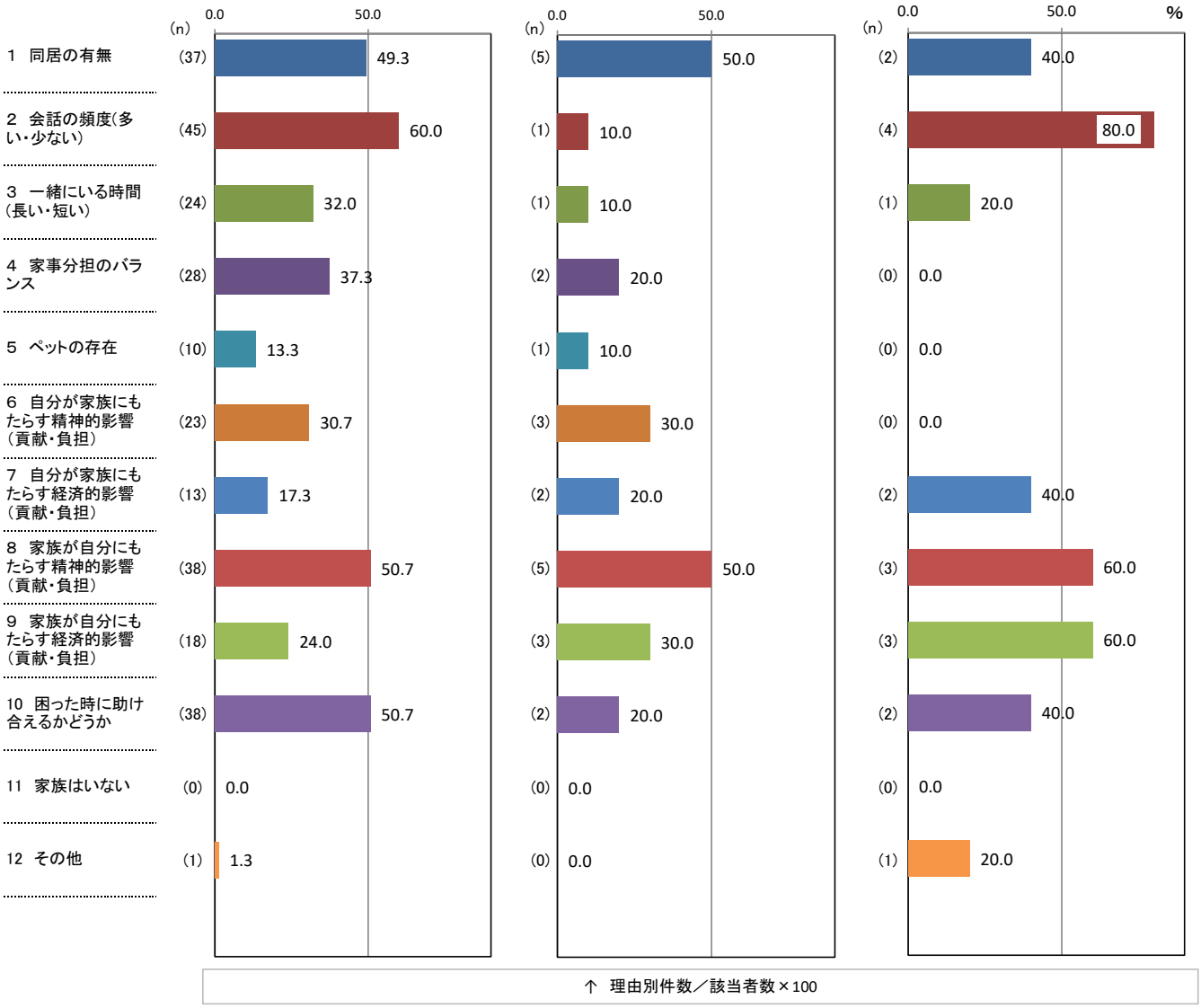
区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝184人）	643	91	112	69	58	32	46	35	79	35	85	0	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝36人）	70	9	15	6	6	2	5	5	13	7	2	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝19人）	58	3	9	5	5	0	7	4	12	5	8	0	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜子どもの数1人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (275) 75 人	②「どちらともいえない」の回答 (25) 10 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (18) 5 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (45)	1 同居の有無 (5) 8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (5)	2 会話の頻度(多い・少ない) (4)
2	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (38) 10 困った時に助け合えるかどうか (38)	－ －	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (3) 9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (3)
3	－ －	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (3) 9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (3)	－ －

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（3） 家族関係についての回答理由（問1-1（3）「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもの数1人＞

（%）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		49.3	60.0	32.0	37.3	13.3	30.7	17.3	50.7	24.0	50.7	0.0	1.3
②「どちらともいえない」		50.0	10.0	10.0	20.0	10.0	30.0	20.0	50.0	30.0	20.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		40.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0	60.0	40.0	0.0	20.0

（件）

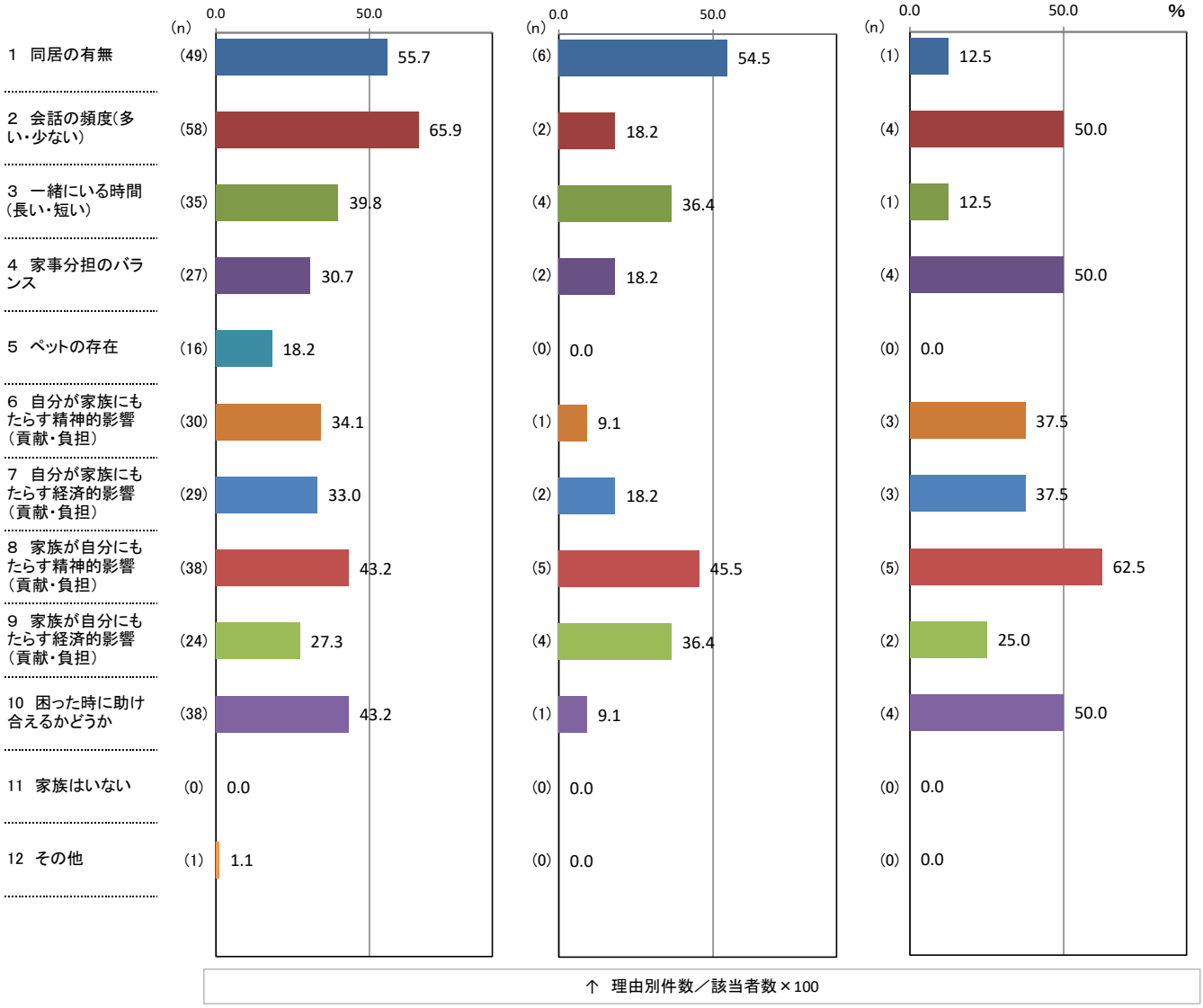
区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝75人）	275	37	45	24	28	10	23	13	38	18	38	0	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝10人）	25	5	1	1	2	1	3	2	5	3	2	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝5人）	18	2	4	1	0	0	0	2	3	3	2	0	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜子どもの数3人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (345) 88 人	②「どちらともいえない」の回答 (27) 11 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (27) 8 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (58)	1 同居の有無 (6)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (5)
2	1 同居の有無 (49)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (5)	2 会話の頻度(多い・少ない) (4) 4 家事分担のバランス (4) 10 困った時に助け合えるかどうか (4)
3	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (38) 10 困った時に助け合えるかどうか (38)	3 一緒にいる時間(長い・短い) (4) 9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (4)	－

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（3） 家族関係についての回答理由（問1-1（3）「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもの数3人＞

（%）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		55.7	65.9	39.8	30.7	18.2	34.1	33.0	43.2	27.3	43.2	0.0	1.1
②「どちらともいえない」		54.5	18.2	36.4	18.2	0.0	9.1	18.2	45.5	36.4	9.1	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		12.5	50.0	12.5	50.0	0.0	37.5	37.5	62.5	25.0	50.0	0.0	0.0

（件）

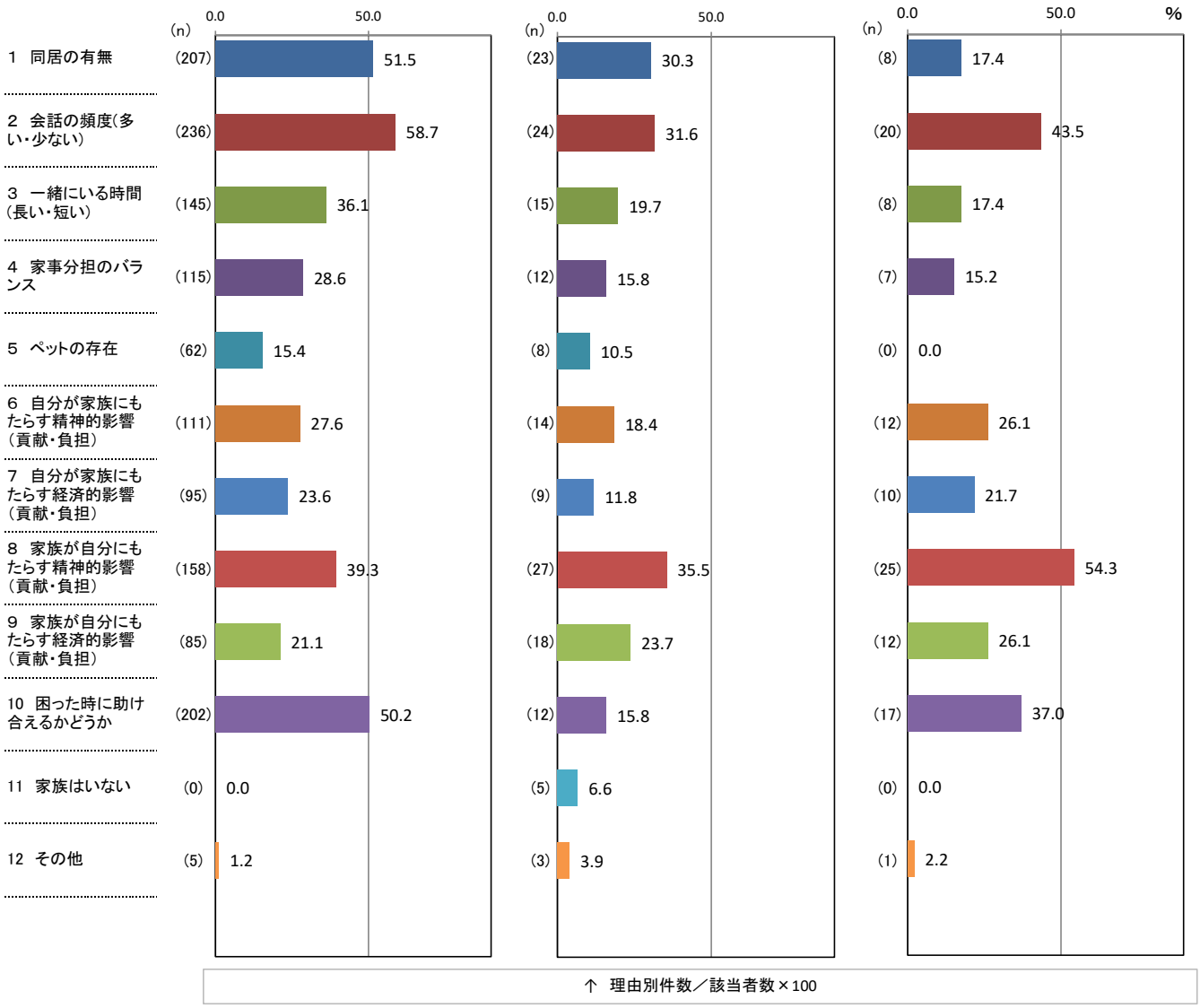
区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝88人）	345	49	58	35	27	16	30	29	38	24	38	0	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝11人）	27	6	2	4	2	0	1	2	5	4	1	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝8人）	27	1	4	1	4	0	3	3	5	2	4	0	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,421) 402 人	②「どちらともいえない」の回答 (170) 76 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (120) 46 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (236)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (27)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (25)
2	1 同居の有無 (207)	2 会話の頻度(多い・少ない) (24)	2 会話の頻度(多い・少ない) (20)
3	10 困った時に助け合えるかどうか (202)	1 同居の有無 (23)	10 困った時に助け合えるかどうか (17)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（3） 家族関係についての回答理由（問1-1（3）「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		51.5	58.7	36.1	28.6	15.4	27.6	23.6	39.3	21.1	50.2	0.0	1.2
②「どちらともいえない」		30.3	31.6	19.7	15.8	10.5	18.4	11.8	35.5	23.7	15.8	6.6	3.9
③「あまり感じない・感じない」		17.4	43.5	17.4	15.2	0.0	26.1	21.7	54.3	26.1	37.0	0.0	2.2

（件）

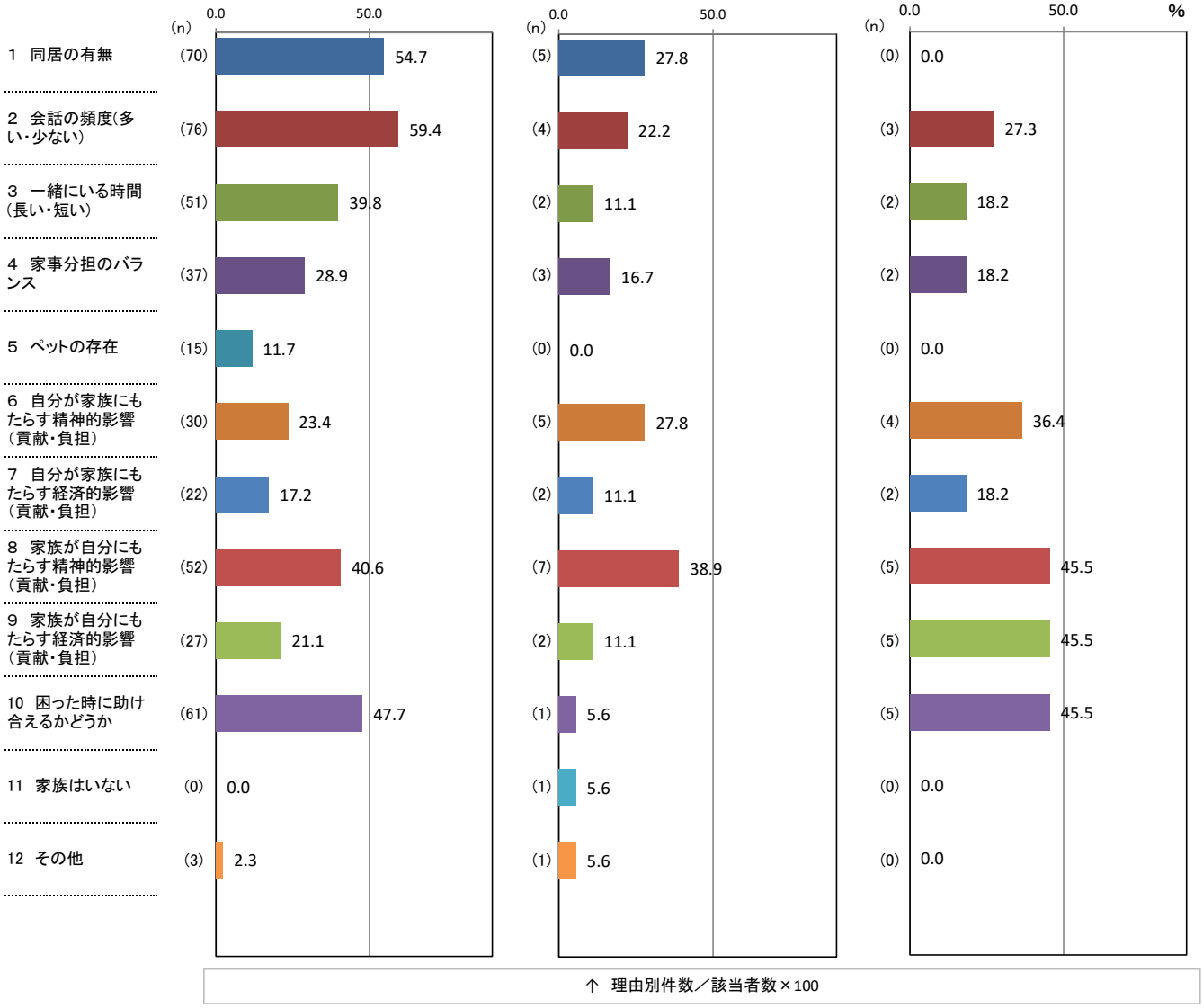
区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝402人）	1421	207	236	145	115	62	111	95	158	85	202	0	5
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝76人）	170	23	24	15	12	8	14	9	27	18	12	5	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝46人）	120	8	20	8	7	0	12	10	25	12	17	0	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (444) 128 人	②「どちらともいえない」の回答 (33) 18 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (28) 11 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (76)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (7)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (5) 9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (5) 10 困った時に助け合えるかどうか (5)
2	1 同居の有無 (70)	1 同居の有無 (5) 6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (5)	－ －
3	10 困った時に助け合えるかどうか (61)	－ －	－ －

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（3） 家族関係についての回答理由（問1-1（3）「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県央広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		54.7	59.4	39.8	28.9	11.7	23.4	17.2	40.6	21.1	47.7	0.0	2.3
②「どちらともいえない」		27.8	22.2	11.1	16.7	0.0	27.8	11.1	38.9	11.1	5.6	5.6	5.6
③「あまり感じない・感じない」		0.0	27.3	18.2	18.2	0.0	36.4	18.2	45.5	45.5	45.5	0.0	0.0

（件）

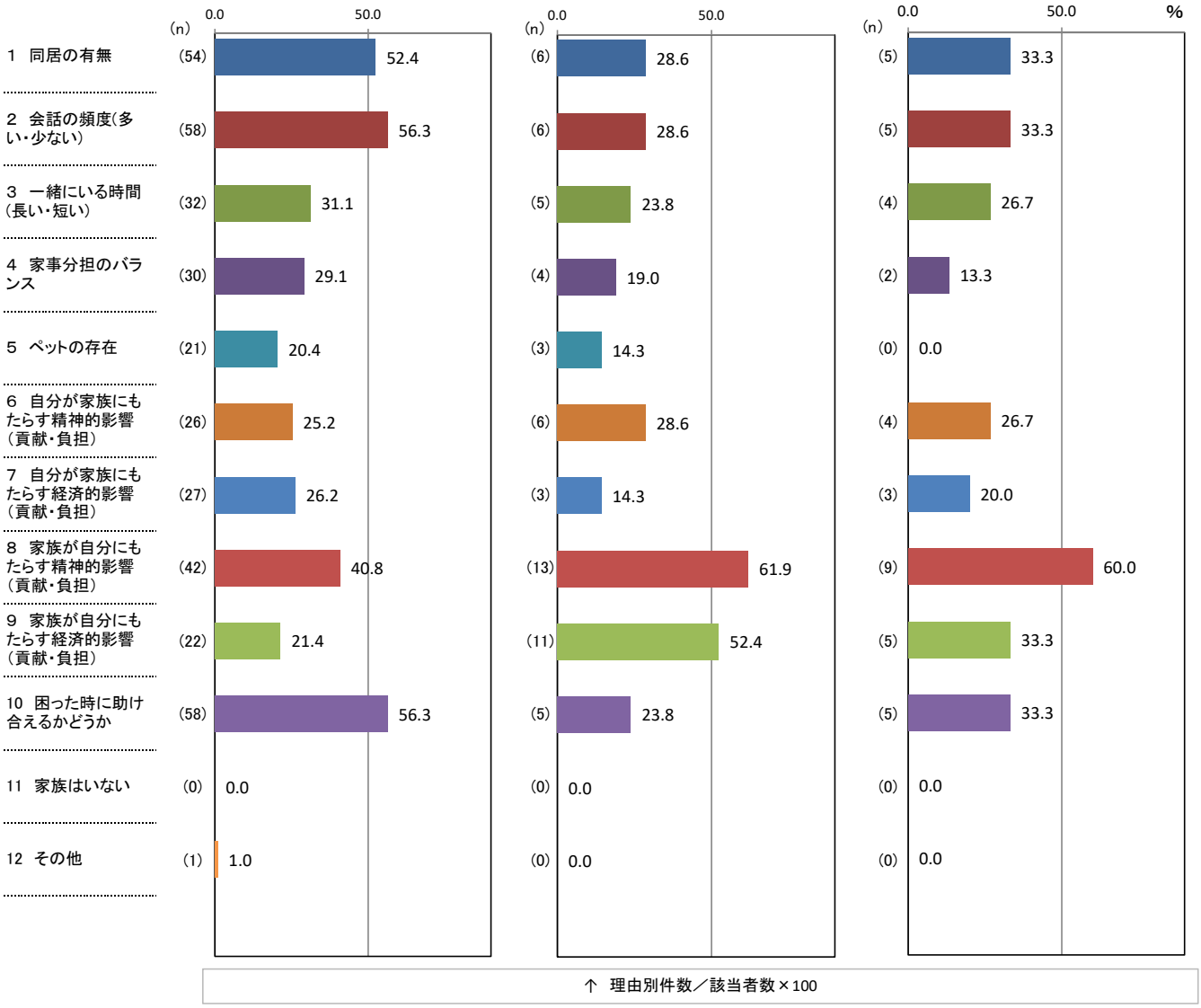
区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝128人）	444	70	76	51	37	15	30	22	52	27	61	0	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝18人）	33	5	4	2	3	0	5	2	7	2	1	1	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝11人）	28	0	3	2	2	0	4	2	5	5	5	0	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜県南広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (371) 103 人	②「どちらともいえない」の回答 (62) 21 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (42) 15 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (58) 10 困った時に助け合えるかどうか (58)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (13)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (9)
2	－ －	9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (11)	1 同居の有無 (5) 2 会話の頻度(多い・少ない) (5) 9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (5) 10 困った時に助け合えるかどうか (5)
3	1 同居の有無 (54)	1 同居の有無 (6) 2 会話の頻度(多い・少ない) (6) 6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (6)	－ －

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（3） 家族関係についての回答理由（問1-1(3)「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県南広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		52.4	56.3	31.1	29.1	20.4	25.2	26.2	40.8	21.4	56.3	0.0	1.0
②「どちらともいえない」		28.6	28.6	23.8	19.0	14.3	28.6	14.3	61.9	52.4	23.8	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		33.3	33.3	26.7	13.3	0.0	26.7	20.0	60.0	33.3	33.3	0.0	0.0

（件）

区分	計	1 同居の有無	2 会話の頻度(多い・少ない)	3 一緒にいる時間(長い・短い)	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか	11 家族はいない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝103人）	371	54	58	32	30	21	26	27	42	22	58	0	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝21人）	62	6	6	5	4	3	6	3	13	11	5	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝15人）	42	5	5	4	2	0	4	3	9	5	5	0	0

＜実感が低下した分野＞

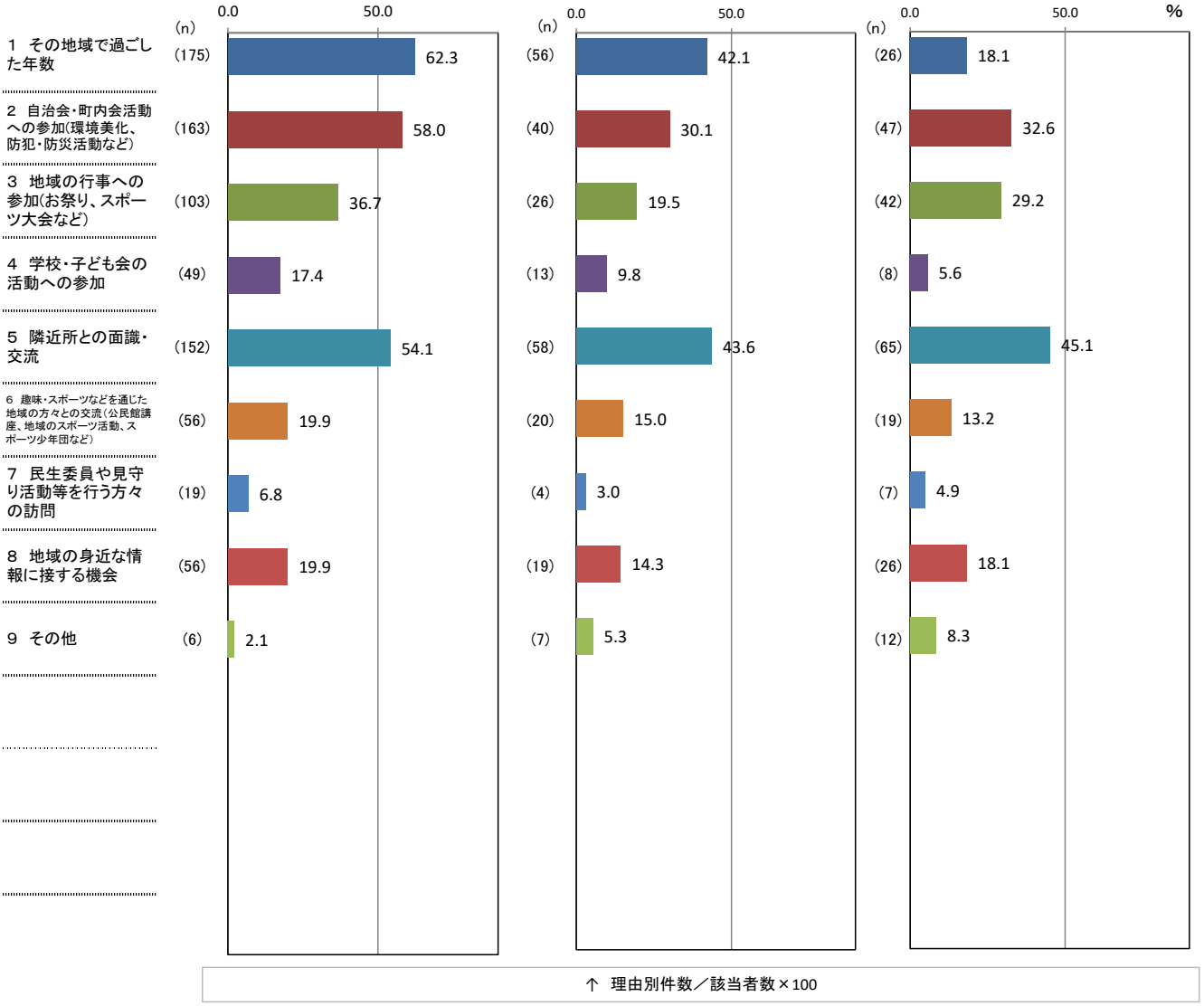
【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会とのつながり」

※「地域社会とのつながり」は20～29歳、自営業主、会社役員・団体役員、学生+その他、ひとり暮らし、居住年数10～20 年未満を除く属性が有意に低下しているため、分野別実感の回答結果を掲載（再掲）

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (779) 281 人	②「どちらともいえない」の回答 (243) 133 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (252) 144 人
1	1 その地域で過ごした年数 (175)	5 隣近所との面識・交流 (58)	5 隣近所との面識・交流 (65)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (163)	1 その地域で過ごした年数 (56)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (47)
3	5 隣近所との面識・交流 (152)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (40)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (42)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など）	3 地域の行事への参加（お祭り、スポーツ大会など）	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流（公民館講座、地域のスポーツ活動、スポーツ少年団など）	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		62.3	58.0	36.7	17.4	54.1	19.9	6.8	19.9	2.1
②「どちらともいえない」		42.1	30.1	19.5	9.8	43.6	15.0	3.0	14.3	5.3
③「あまり感じない・感じない」		18.1	32.6	29.2	5.6	45.1	13.2	4.9	18.1	8.3

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など）	3 地域の行事への参加（お祭り、スポーツ大会など）	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流（公民館講座、地域のスポーツ活動	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝281人）	779	175	163	103	49	152	56	19	56	6
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝133人）	243	56	40	26	13	58	20	4	19	7
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝144人）	252	26	47	42	8	65	19	7	26	12

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（281名中3名記載）
・自分達も地域の活動に参加している　・消防団活動　・特に無し

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（133名中4名記載）
・一人住いだとつながりの機会が少ない　・さいきんは病院がよいが多い。　・Netでの交流が中心になっている。　・特になし

③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（144名中6名記載）
・つながりがない　・高齢者　・回覧板がこない。集合住宅のため。　・町内会費は払っているが回覧板は回って来ない立場なので　・仕事上つながれなかった　・地域性

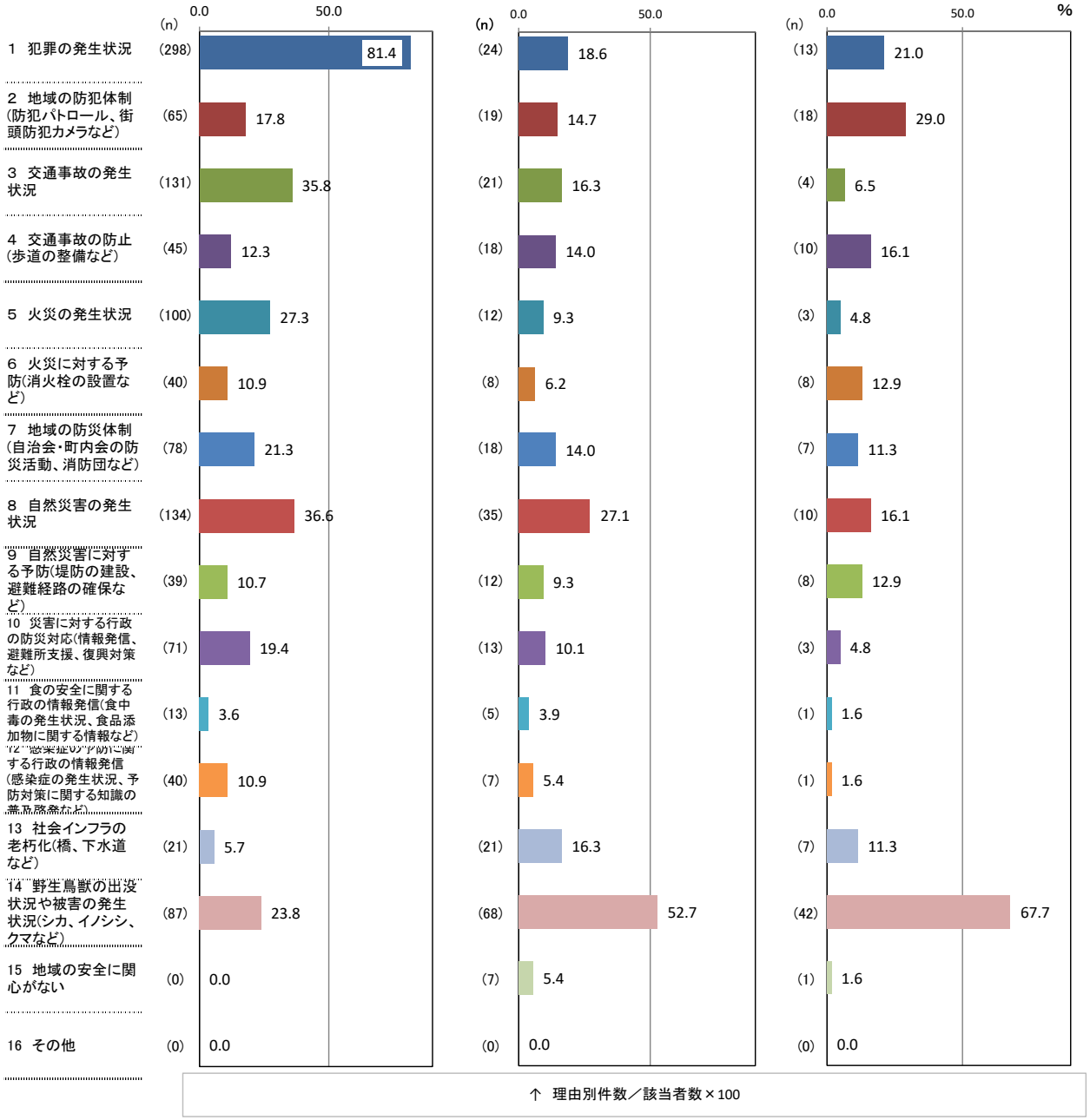
【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」

※「地域の安全」は20～29歳、自営業主、会社役員・団体役員、臨時雇用者、学生+その他、その他世帯、子ども１人、子どもはいない、居住年数10～20 年未満を除く属性が有意に低下しているため、分野別実感の回答結果を掲載（再掲）

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,162) 366 人		②「どちらともいえない」の回答 (288) 129 人		③「あまり感じない・感じない」の回答 (136) 62 人	
1	1 犯罪の発生状況	(298)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	(68)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	(42)
2	8 自然災害の発生状況	(134)	8 自然災害の発生状況	(35)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	(18)
3	3 交通事故の発生状況	(131)	1 犯罪の発生状況	(24)	1 犯罪の発生状況	(13)

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（8）「地域の安全」についての回答理由（問1-1(8)「①あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		81.4	17.8	35.8	12.3	27.3	10.9	21.3	36.6	10.7	19.4	3.6	10.9	5.7	23.8	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		18.6	14.7	16.3	14.0	9.3	6.2	14.0	27.1	9.3	10.1	3.9	5.4	16.3	52.7	5.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		21.0	29.0	6.5	16.1	4.8	12.9	11.3	16.1	12.9	4.8	1.6	1.6	11.3	67.7	1.6	0.0

（件）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝366人）	1,162	298	65	131	45	100	40	78	134	39	71	13	40	21	87	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝129人）	288	24	19	21	18	12	8	18	35	12	13	5	7	21	68	7	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝62人）	136	13	18	4	10	3	8	7	10	8	3	1	1	7	42	1	0

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（366名中3名記載）
・1・3・5はどこで知れるのですか？　・熊の出没あり　・各種情報発信

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（129名中3名記載）
・除雪が不充分　・ネコのフンで5年も被害にあってようやく解決した　・時代ごとに発生する物だと思う

③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（62名中2名記載）
・除雪があまい。ボコボコ道路。　・近所に人格的に問題ある人がいる

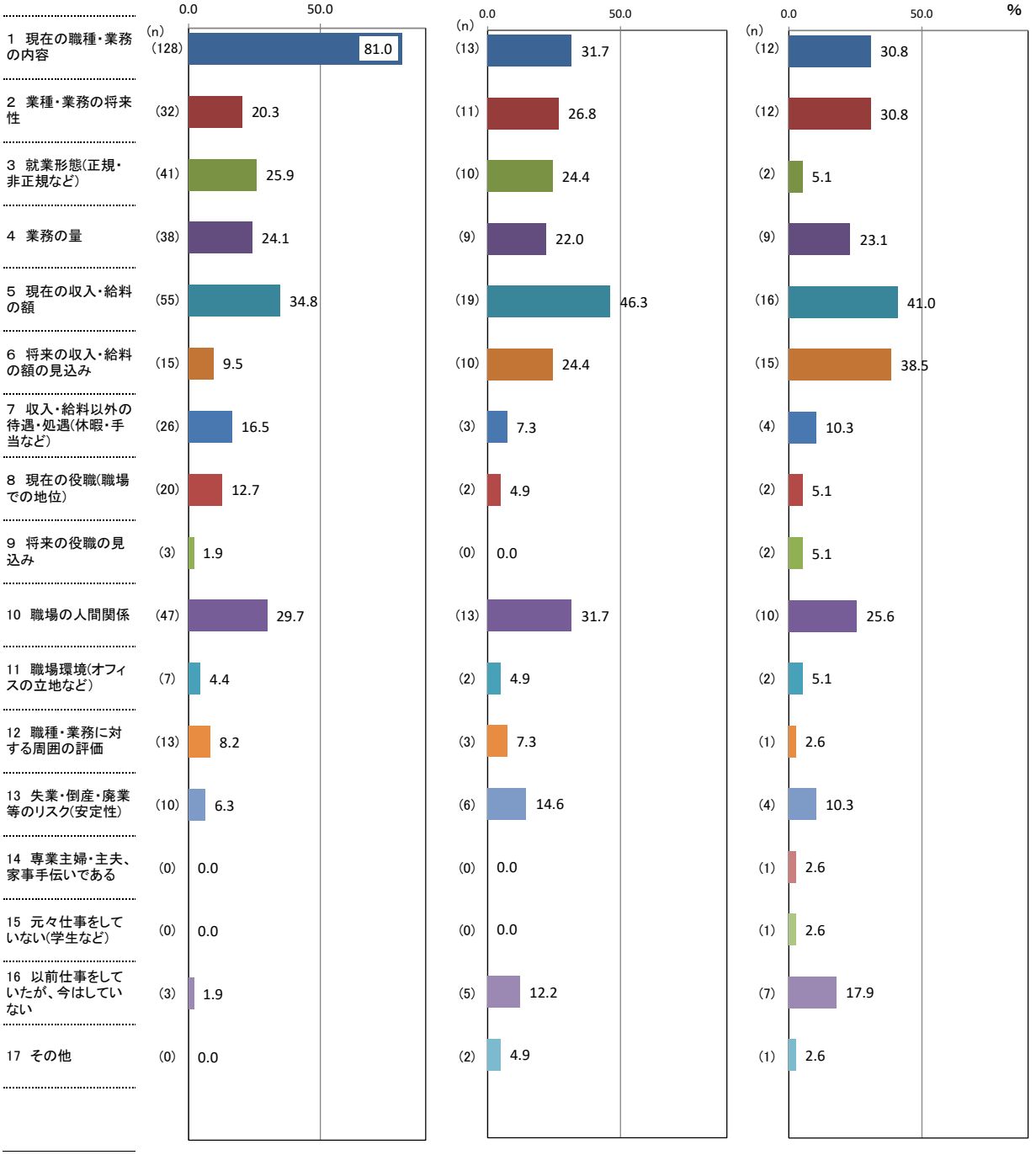
県民意識調査で有意な差が見られた属性(H31 - R8)

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜男性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (438) 158 人	②「どちらともいえない」の回答 (108) 41 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (101) 39 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (128)	5 現在の収入・給料の額 (19)	5 現在の収入・給料の額 (16)
2	5 現在の収入・給料の額 (55)	1 現在の職種・業務の内容 (13) 10 職場の人間関係 (13)	6 将来の収入・給料の額の見込み (15)
3	10 職場の人間関係 (47)	－ －	1 現在の職種・業務の内容 (12) 2 業種・業務の将来性 (12)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9） 仕事のやりがいについての回答理由（問1（9）「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜男性＞

	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		81.0	20.3	25.9	24.1	34.8	9.5	16.5	12.7	1.9	29.7	4.4	8.2	6.3	0.0	0.0	1.9	0.0
②「どちらともいえない」		31.7	26.8	24.4	22.0	46.3	24.4	7.3	4.9	0.0	31.7	4.9	7.3	14.6	0.0	0.0	12.2	4.9
③「あまり感じない・感じない」		30.8	30.8	5.1	23.1	41.0	38.5	10.3	5.1	5.1	25.6	5.1	2.6	10.3	2.6	2.6	17.9	2.6

（件）

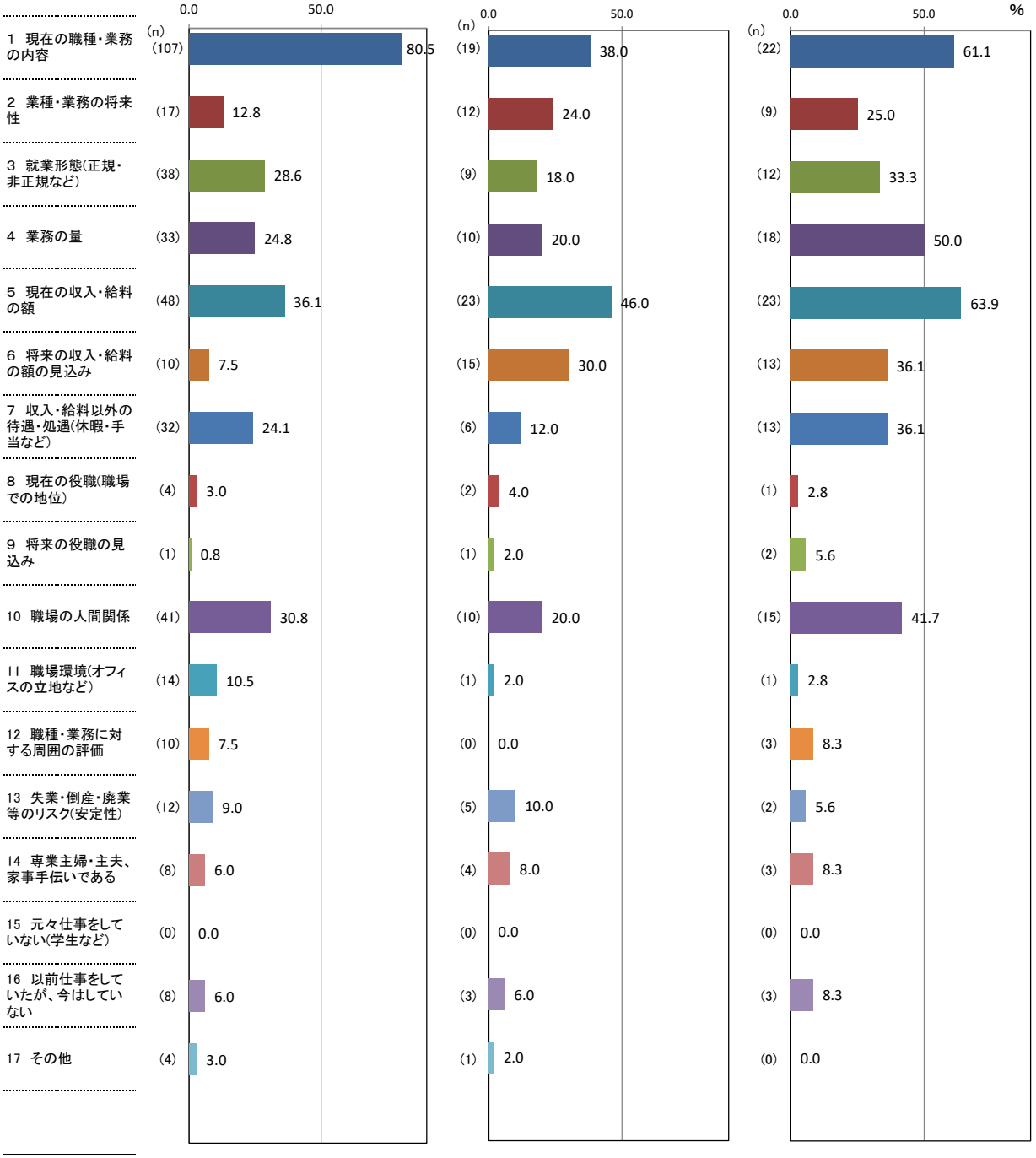
区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝158人）	438	128	32	41	38	55	15	26	20	3	47	7	13	10	0	0	3	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝41人）	108	13	11	10	9	19	10	3	2	0	13	2	3	6	0	0	5	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝39人）	101	12	12	2	9	16	15	4	2	2	10	2	1	4	1	1	7	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (387) 133 人	②「どちらともいえない」の回答 (121) 50 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (140) 36 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (107)	5 現在の収入・給料の額 (23)	5 現在の収入・給料の額 (23)
2	5 現在の収入・給料の額 (48)	1 現在の職種・業務の内容 (19)	1 現在の職種・業務の内容 (22)
3	10 職場の人間関係 (41)	6 将来の収入・給料の額の見込み (15)	4 業務の量 (18)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9） 仕事のやりがいについての回答理由（問1（9）「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜女性＞

	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		80.5	12.8	28.6	24.8	36.1	7.5	24.1	3.0	0.8	30.8	10.5	7.5	9.0	6.0	0.0	6.0	3.0
②「どちらともいえない」		38.0	24.0	18.0	20.0	46.0	30.0	12.0	4.0	2.0	20.0	2.0	0.0	10.0	8.0	0.0	6.0	2.0
③「あまり感じない・感じない」		61.1	25.0	33.3	50.0	63.9	36.1	36.1	2.8	5.6	41.7	2.8	8.3	5.6	8.3	0.0	8.3	0.0

（件）

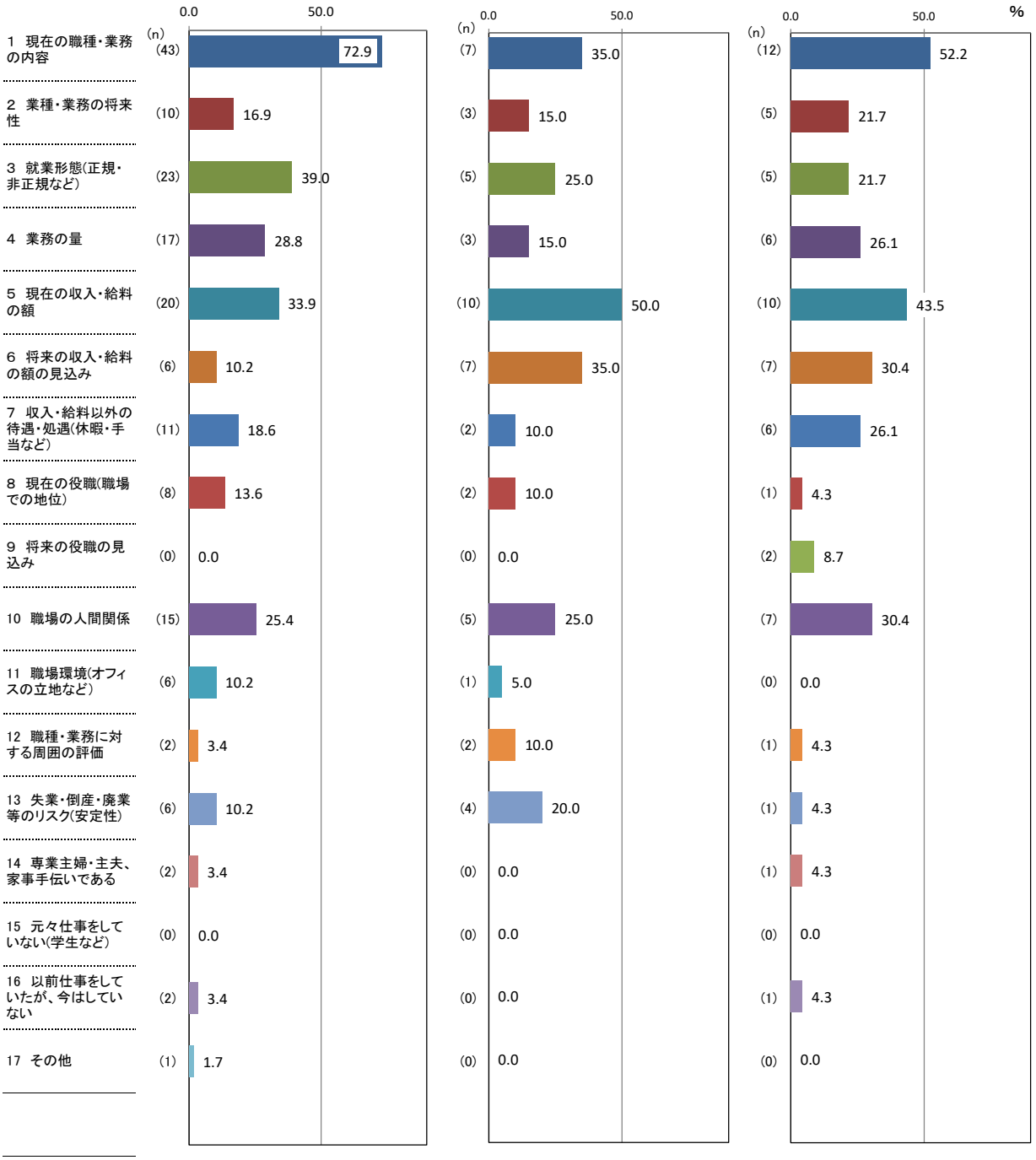
区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝133人）	387	107	17	38	33	48	10	32	4	1	41	14	10	12	8	0	8	4
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝50人）	121	19	12	9	10	23	15	6	2	1	10	1	0	5	4	0	3	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝36人）	140	22	9	12	18	23	13	13	1	2	15	1	3	2	3	0	3	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜50～59歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (172) 59 人	②「どちらともいえない」の回答 (51) 20 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (65) 23 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (43)	5 現在の収入・給料の額 (10)	1 現在の職種・業務の内容 (12)
2	3 就業形態(正規・非正規など) (23)	1 現在の職種・業務の内容 (7) 6 将来の収入・給料の額の見込み (7)	5 現在の収入・給料の額 (10)
3	5 現在の収入・給料の額 (20)	－	6 将来の収入・給料の額の見込み (7) 10 職場の人間関係 (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9） 仕事のやりがいについての回答理由（問1（9）「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜50～59歳＞ （%）

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		72.9	16.9	39.0	28.8	33.9	10.2	18.6	13.6	0.0	25.4	10.2	3.4	10.2	3.4	0.0	3.4	1.7
②「どちらともいえない」		35.0	15.0	25.0	15.0	50.0	35.0	10.0	10.0	0.0	25.0	5.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		52.2	21.7	21.7	26.1	43.5	30.4	26.1	4.3	8.7	30.4	0.0	4.3	4.3	4.3	0.0	4.3	0.0

（件）

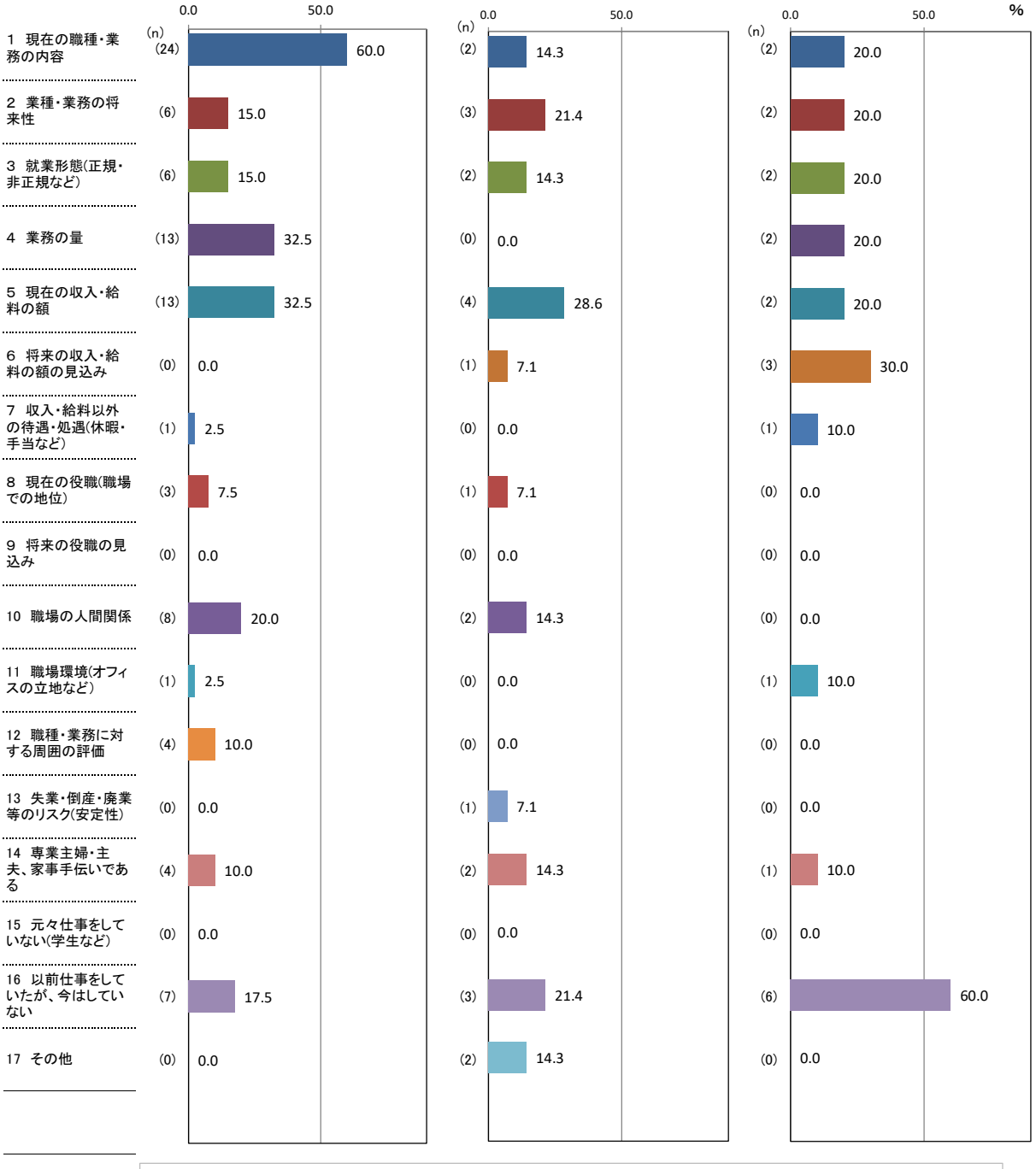
区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝59人）	172	43	10	23	17	20	6	11	8	0	15	6	2	6	2	0	2	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝20人）	51	7	3	5	3	10	7	2	2	0	5	1	2	4	0	0	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝23人）	65	12	5	5	6	10	7	6	1	2	7	0	1	1	1	0	1	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜70歳以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (90) 40 人	②「どちらともいえない」の回答 (23) 14 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (22) 10 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (24)	5 現在の収入・給料の額 (4)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない (6)
2	4 業務の量 (13) 5 現在の収入・給料の額 (13)	2 業種・業務の将来性 (3) 16 以前仕事をしていたが、今はしていない (3)	6 将来の収入・給料の額の見込み (3)
3	－ －	－ －	－ －

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9） 仕事のやりがいについての回答理由（問1（9）「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜70歳以上＞ （%）

	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		60.0	15.0	15.0	32.5	32.5	0.0	2.5	7.5	0.0	20.0	2.5	10.0	0.0	10.0	0.0	17.5	0.0
②「どちらともいえない」		14.3	21.4	14.3	0.0	28.6	7.1	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0	21.4	14.3
③「あまり感じない・感じない」		20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	60.0	0.0

（件）

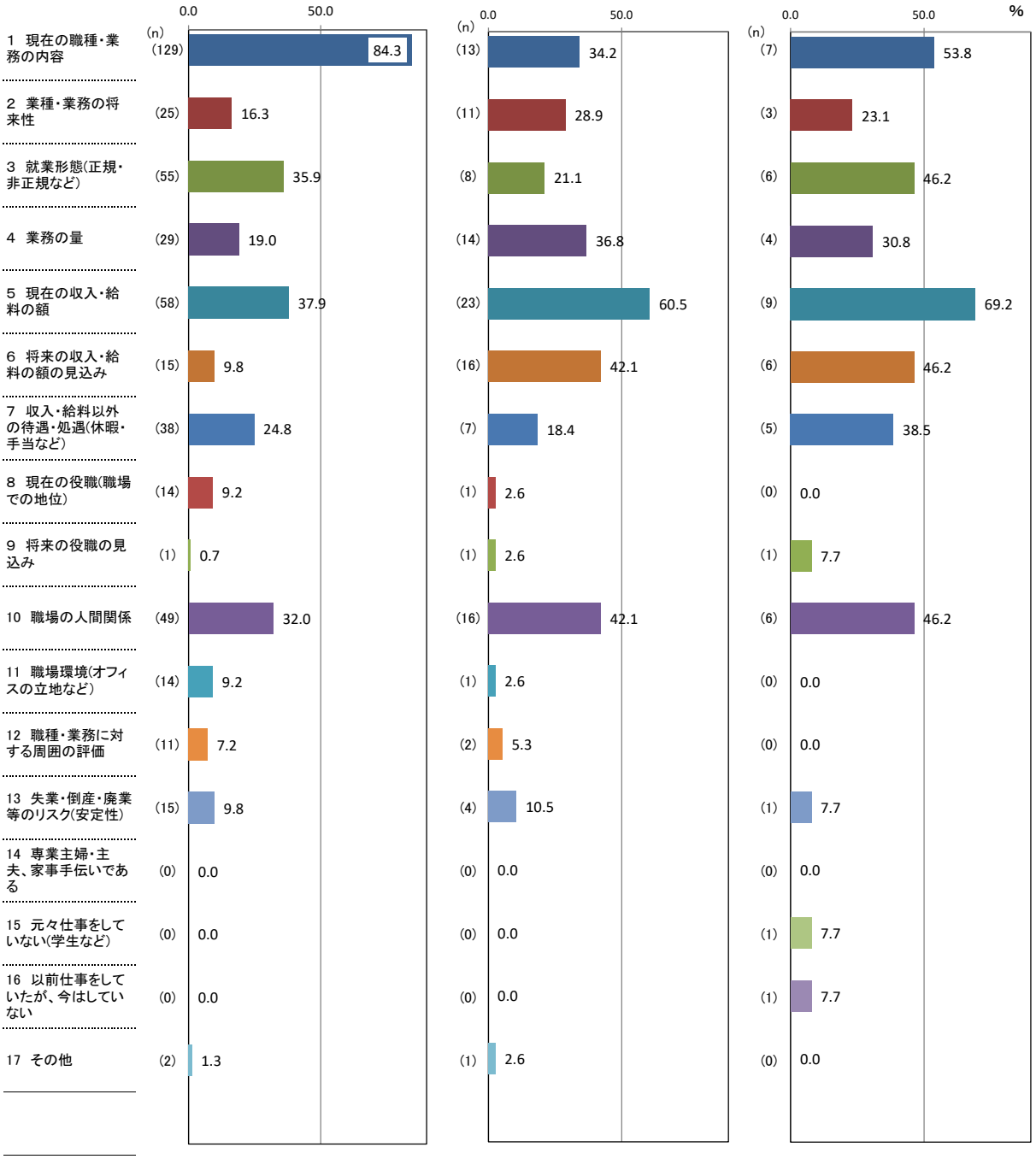
区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝40人）	90	24	6	6	13	13	0	1	3	0	8	1	4	0	4	0	7	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝14人）	23	2	3	2	0	4	1	0	1	0	2	0	0	1	2	0	3	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝10人）	22	2	2	2	2	2	3	1	0	0	0	1	0	0	1	0	6	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」<常用雇用者>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (455) 153 人	②「どちらともいえない」の回答 (118) 38 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (50) 13 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (129)	5 現在の収入・給料の額 (23)	5 現在の収入・給料の額 (9)
2	5 現在の収入・給料の額 (58)	6 将来の収入・給料の額の見込み (16) 10 職場の人間関係 (16)	1 現在の職種・業務の内容 (7)
3	3 就業形態(正規・非正規など) (55)	− −	3 就業形態(正規・非正規など) (6) 6 将来の収入・給料の額の見込み (6) 10 職場の人間関係 (6)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9） 仕事のやりがいについての回答理由（問1（9）「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜常用雇用者＞ （%）

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		84.3	16.3	35.9	19.0	37.9	9.8	24.8	9.2	0.7	32.0	9.2	7.2	9.8	0.0	0.0	0.0	1.3
②「どちらともいえない」		34.2	28.9	21.1	36.8	60.5	42.1	18.4	2.6	2.6	42.1	2.6	5.3	10.5	0.0	0.0	0.0	2.6
③「あまり感じない・感じない」		53.8	23.1	46.2	30.8	69.2	46.2	38.5	0.0	7.7	46.2	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0

（件）

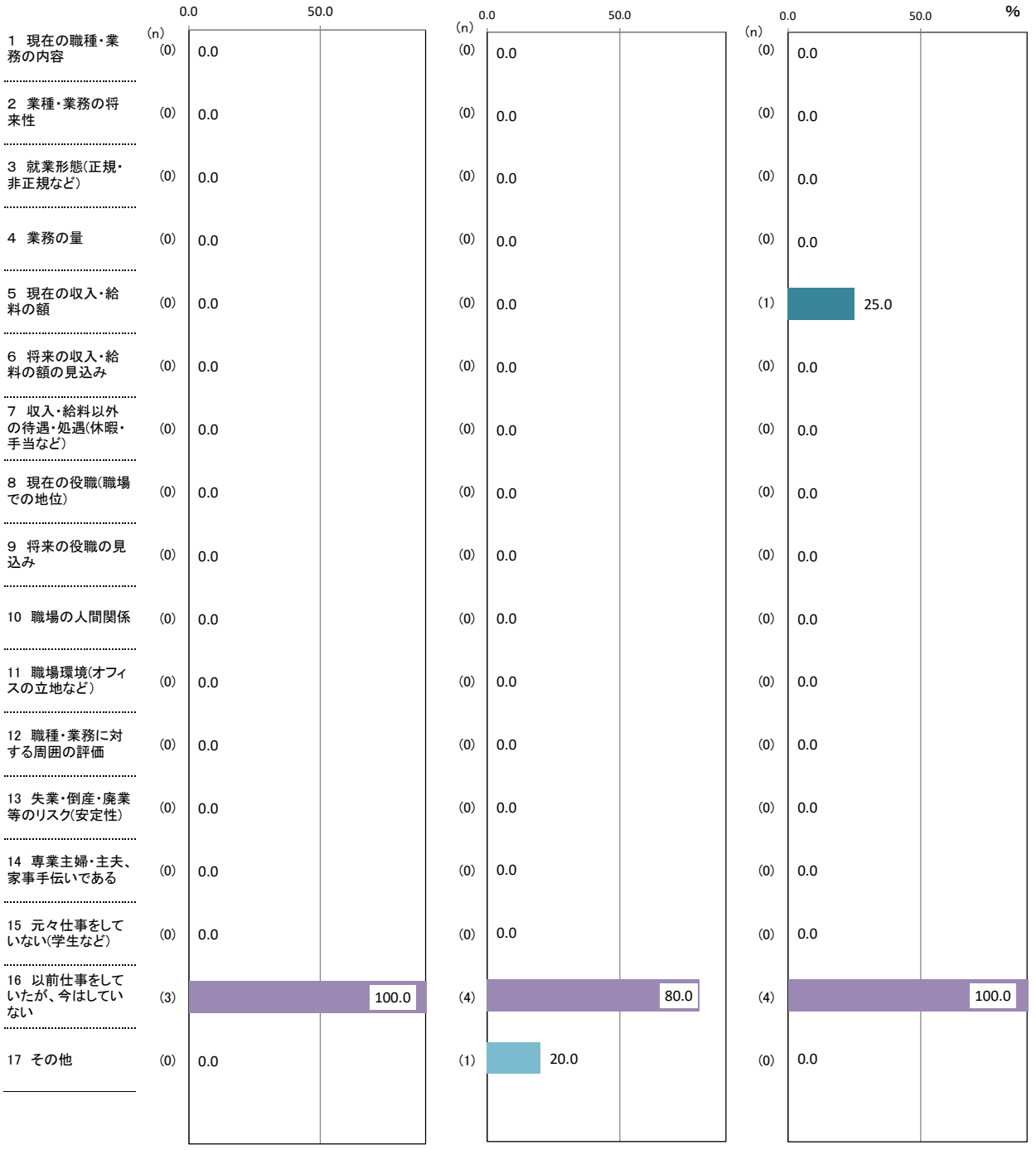
区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝153人）	455	129	25	55	29	58	15	38	14	1	49	14	11	15	0	0	0	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝38人）	118	13	11	8	14	23	16	7	1	1	16	1	2	4	0	0	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝13人）	50	7	3	6	4	9	6	5	0	1	6	0	0	1	0	1	1	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜60歳以上の無職＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (3) 3 人	②「どちらともいえない」の回答 (5) 5 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (5) 4 人
1	16 以前仕事をしていたが、今はしていない (3)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない (4)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない (4)
2	－ －	17 その他 (1)	5 現在の収入・給料の額 (1)
3	－ －	－ －	－ －

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9） 仕事のやりがいについての回答理由（問1（9）「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60歳以上の無職＞

（%）

	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
②「どちらともいえない」		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

（件）

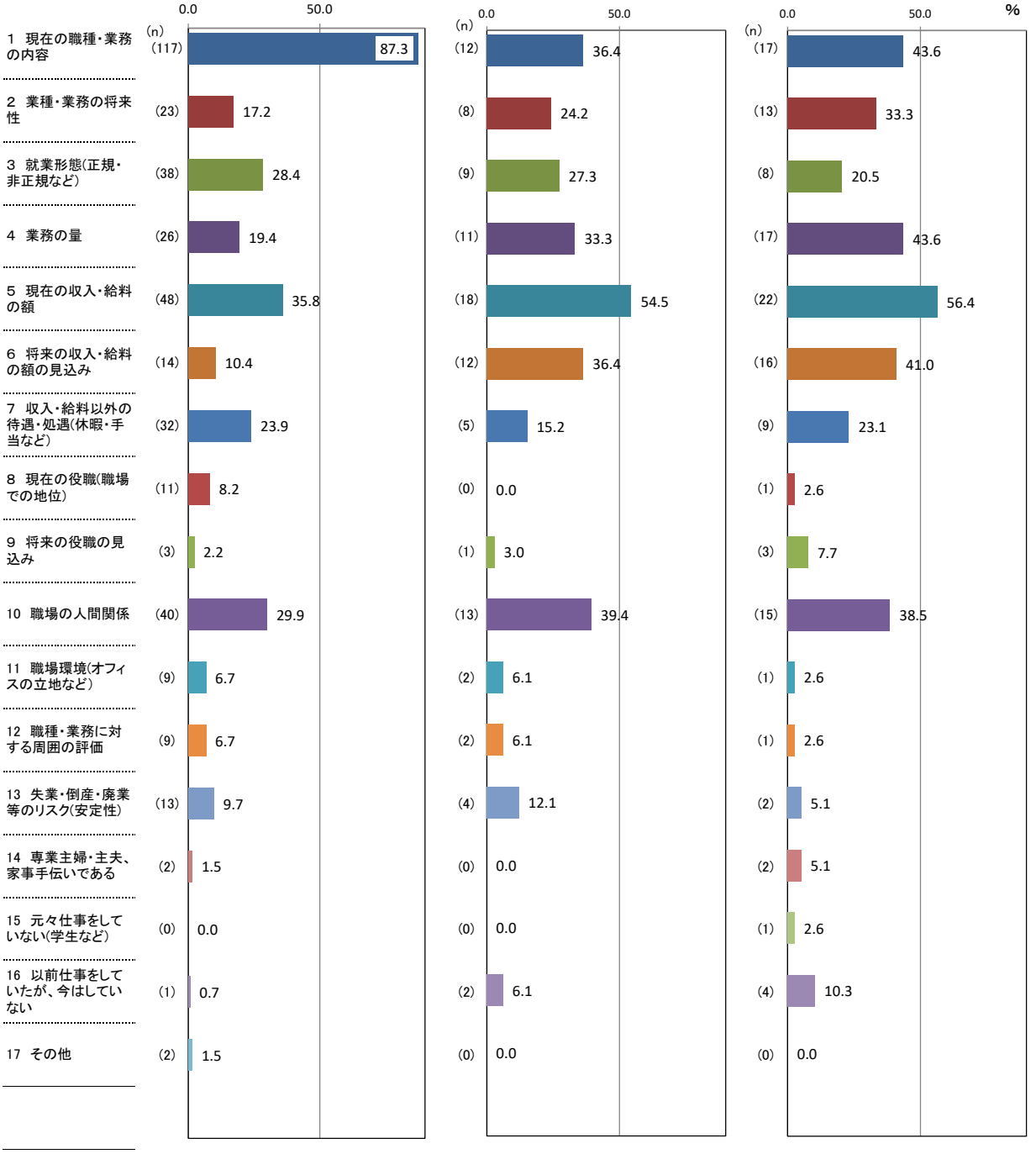
区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝3人）	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝5人）	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝4人）	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」<2世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (388) 134 人	②「どちらともいえない」の回答 (99) 33 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (132) 39 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (117)	5 現在の収入・給料の額 (18)	5 現在の収入・給料の額 (22)
2	5 現在の収入・給料の額 (48)	10 職場の人間関係 (13)	1 現在の職種・業務の内容 (17) 4 業務の量 (17)
3	10 職場の人間関係 (40)	1 現在の職種・業務の内容 (12) 6 将来の収入・給料の額の見込み (12)	－ －

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9） 仕事のやりがいについての回答理由（問1（9）「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜2世代世帯＞ （%）

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		87.3	17.2	28.4	19.4	35.8	10.4	23.9	8.2	2.2	29.9	6.7	6.7	9.7	1.5	0.0	0.7	1.5
②「どちらともいえない」		36.4	24.2	27.3	33.3	54.5	36.4	15.2	0.0	3.0	39.4	6.1	6.1	12.1	0.0	0.0	6.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		43.6	33.3	20.5	43.6	56.4	41.0	23.1	2.6	7.7	38.5	2.6	2.6	5.1	5.1	2.6	10.3	0.0

（件）

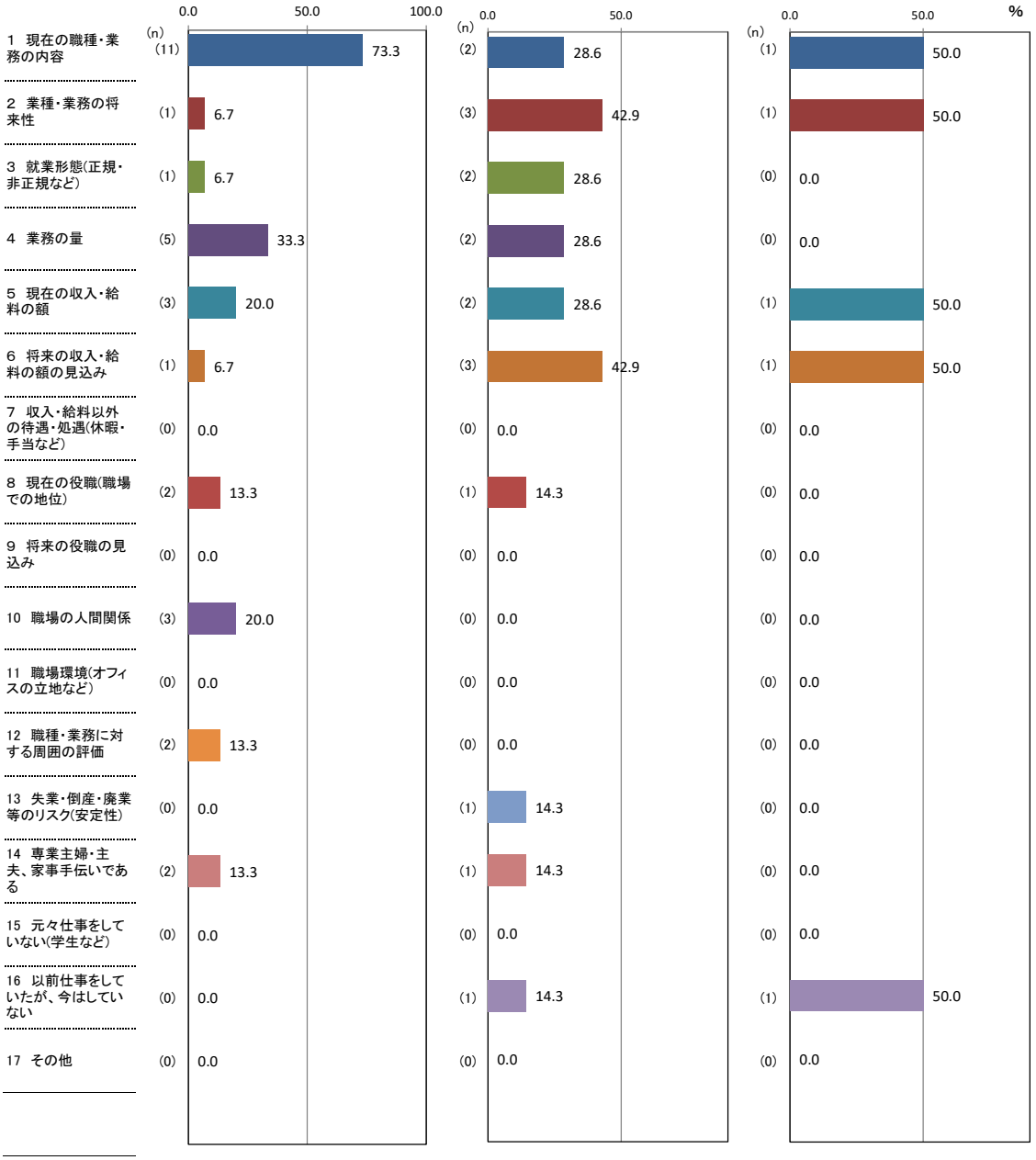
区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝134人）	388	117	23	38	26	48	14	32	11	3	40	9	9	13	2	0	1	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝33人）	99	12	8	9	11	18	12	5	0	1	13	2	2	4	0	0	2	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝39人）	132	17	13	8	17	22	16	9	1	3	15	1	1	2	2	1	4	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」<その他世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (31) 15 人	②「どちらともいえない」の回答 (18) 7 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (5) 2 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (11)	2 業種・業務の将来性 (3)	1 現在の職種・業務の内容 (1)
			2 業種・業務の将来性 (1)
		6 将来の収入・給料の額の見込み (3)	5 現在の収入・給料の額 (1)
			6 将来の収入・給料の額の見込み (1)
			16 以前仕事をしていたが、今はしていない (1)
2	4 業務の量 (5)	－	－
3	5 現在の収入・給料の額 (3)	1 現在の職種・業務の内容 (2)	－
		3 就業形態(正規・非正規など) (2)	
	10 職場の人間関係 (3)	4 業務の量 (2)	
		5 現在の収入・給料の額 (2)	

－ ( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9） 仕事のやりがいについての回答理由（問1（9）「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜その他世帯＞

（%）

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		73.3	6.7	6.7	33.3	20.0	6.7	0.0	13.3	0.0	20.0	0.0	13.3	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		28.6	42.9	28.6	28.6	28.6	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

（件）

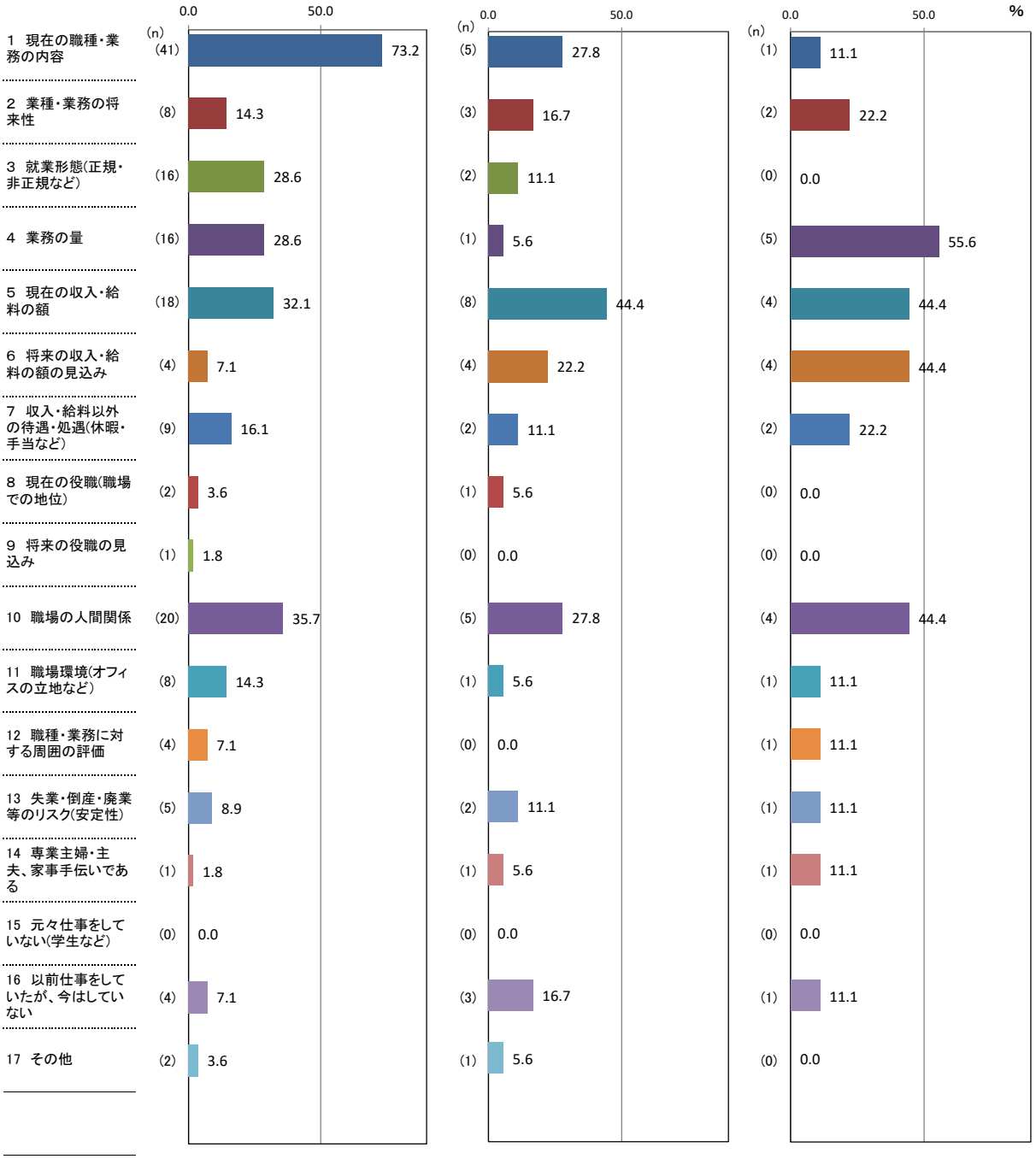
区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝15人）	31	11	1	1	5	3	1	0	2	0	3	0	2	0	2	0	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝7人）	18	2	3	2	2	2	3	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝2人）	5	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜子どもの数3人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (159) 56 人	②「どちらともいえない」の回答 (39) 18 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (27) 9 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (41)	5 現在の収入・給料の額 (8)	4 業務の量 (5)
2	10 職場の人間関係 (20)	1 現在の職種・業務の内容 (5)	5 現在の収入・給料の額 (4)
		10 職場の人間関係 (5)	6 将来の収入・給料の額の見込み (4)
			10 職場の人間関係 (4)
3	5 現在の収入・給料の額 (18)	－	－

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9） 仕事のやりがいについての回答理由（問1（9）「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜(子どもの数3人)＞

（%）

	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態(正規・非正規など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		73.2	14.3	28.6	28.6	32.1	7.1	16.1	3.6	1.8	35.7	14.3	7.1	8.9	1.8	0.0	7.1	3.6
②「どちらともいえない」		27.8	16.7	11.1	5.6	44.4	22.2	11.1	5.6	0.0	27.8	5.6	0.0	11.1	5.6	0.0	16.7	5.6
③「あまり感じない・感じない」		11.1	22.2	0.0	55.6	44.4	44.4	22.2	0.0	0.0	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0

（件）

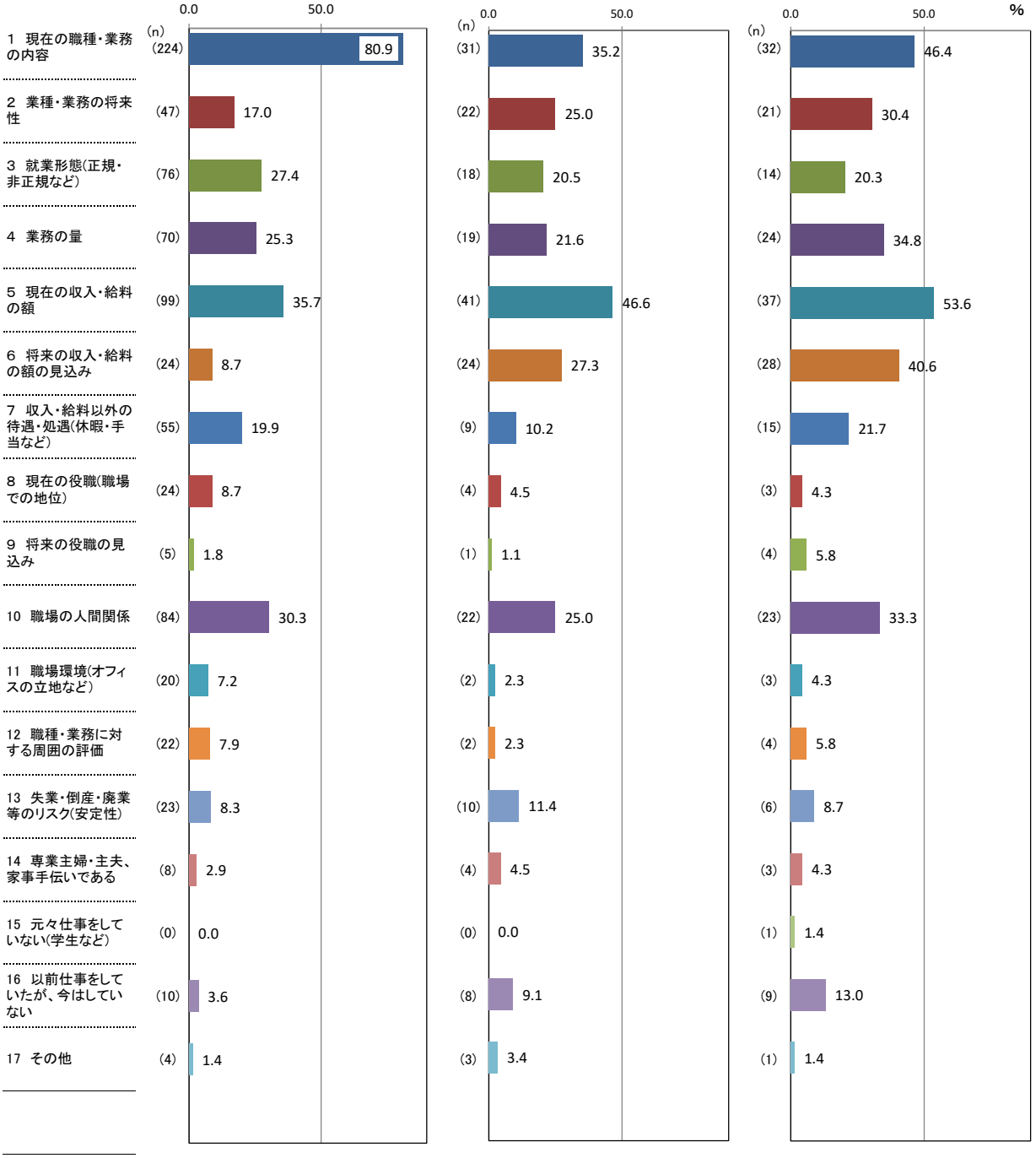
区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態(正規・非正規など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝56人）	159	41	8	16	16	18	4	9	2	1	20	8	4	5	1	0	4	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝18人）	39	5	3	2	1	8	4	2	1	0	5	1	0	2	1	0	3	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝9人）	27	1	2	0	5	4	4	2	0	0	4	1	1	1	1	0	1	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (795) 277 人	②「どちらともいえない」の回答 (220) 88 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (228) 69 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (224)	5 現在の収入・給料の額 (41)	5 現在の収入・給料の額 (37)
2	5 現在の収入・給料の額 (99)	1 現在の職種・業務の内容 (31)	1 現在の職種・業務の内容 (32)
3	10 職場の人間関係 (84)	6 将来の収入・給料の額の見込み (24)	6 将来の収入・給料の額の見込み (28)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9） 仕事のやりがいについての回答理由（問1（9）「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		80.9	17.0	27.4	25.3	35.7	8.7	19.9	8.7	1.8	30.3	7.2	7.9	8.3	2.9	0.0	3.6	1.4
②「どちらともいえない」		35.2	25.0	20.5	21.6	46.6	27.3	10.2	4.5	1.1	25.0	2.3	2.3	11.4	4.5	0.0	9.1	3.4
③「あまり感じない・感じない」		46.4	30.4	20.3	34.8	53.6	40.6	21.7	4.3	5.8	33.3	4.3	5.8	8.7	4.3	1.4	13.0	1.4

（件）

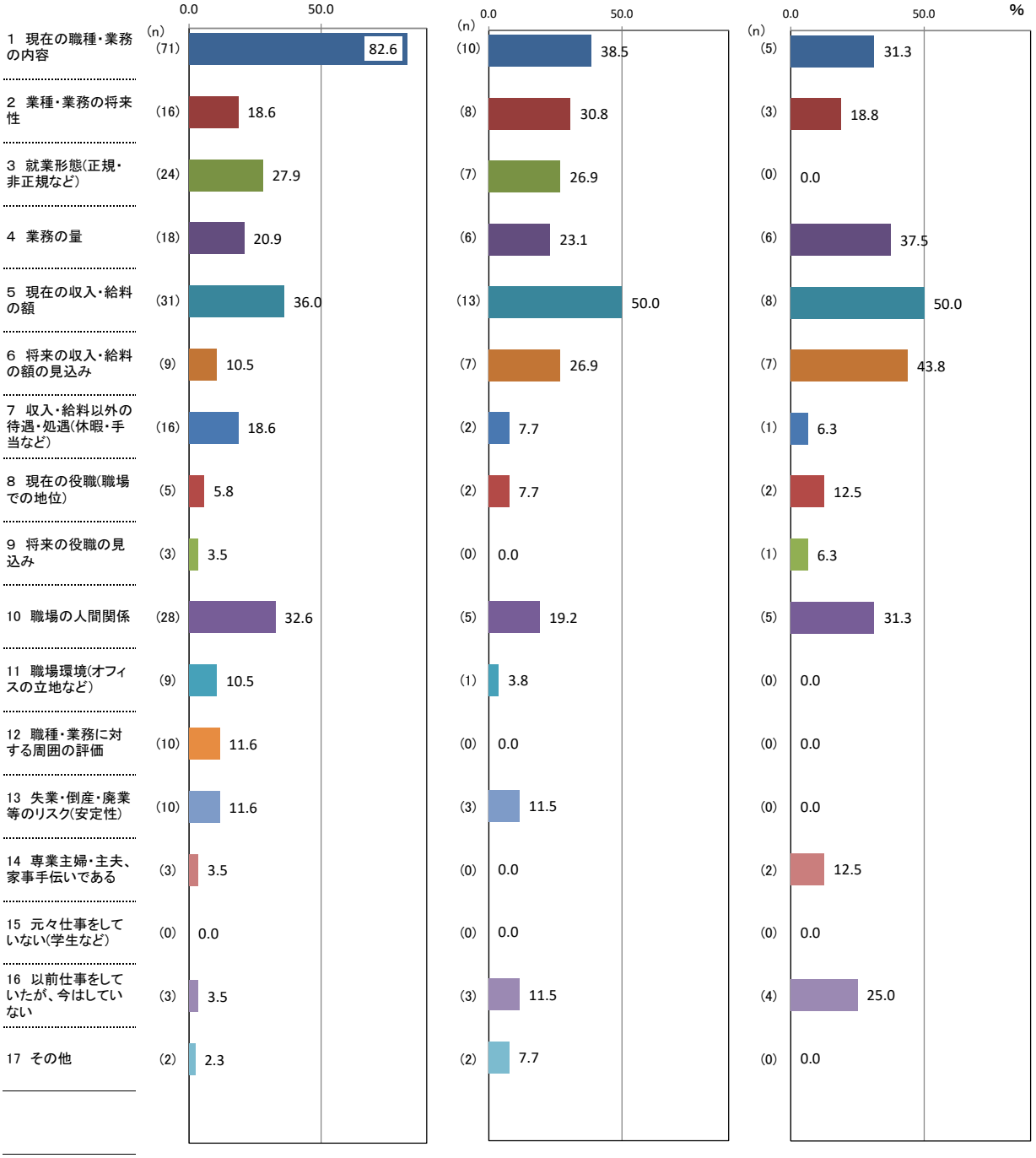
区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝277人）	795	224	47	76	70	99	24	55	24	5	84	20	22	23	8	0	10	4
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝88人）	220	31	22	18	19	41	24	9	4	1	22	2	2	10	4	0	8	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝69人）	228	32	21	14	24	37	28	15	3	4	23	3	4	6	3	1	9	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (258) 86 人	②「どちらともいえない」の回答 (69) 26 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (44) 16 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (71)	5 現在の収入・給料の額 (13)	5 現在の収入・給料の額 (8)
2	5 現在の収入・給料の額 (31)	1 現在の職種・業務の内容 (10)	6 将来の収入・給料の額の見込み (7)
3	10 職場の人間関係 (28)	2 業種・業務の将来性 (8)	4 業務の量 (6)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9） 仕事のやりがいについての回答理由（問1（9）「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県央広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		82.6	18.6	27.9	20.9	36.0	10.5	18.6	5.8	3.5	32.6	10.5	11.6	11.6	3.5	0.0	3.5	2.3
②「どちらともいえない」		38.5	30.8	26.9	23.1	50.0	26.9	7.7	7.7	0.0	19.2	3.8	0.0	11.5	0.0	0.0	11.5	7.7
③「あまり感じない・感じない」		31.3	18.8	0.0	37.5	50.0	43.8	6.3	12.5	6.3	31.3	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0

（件）

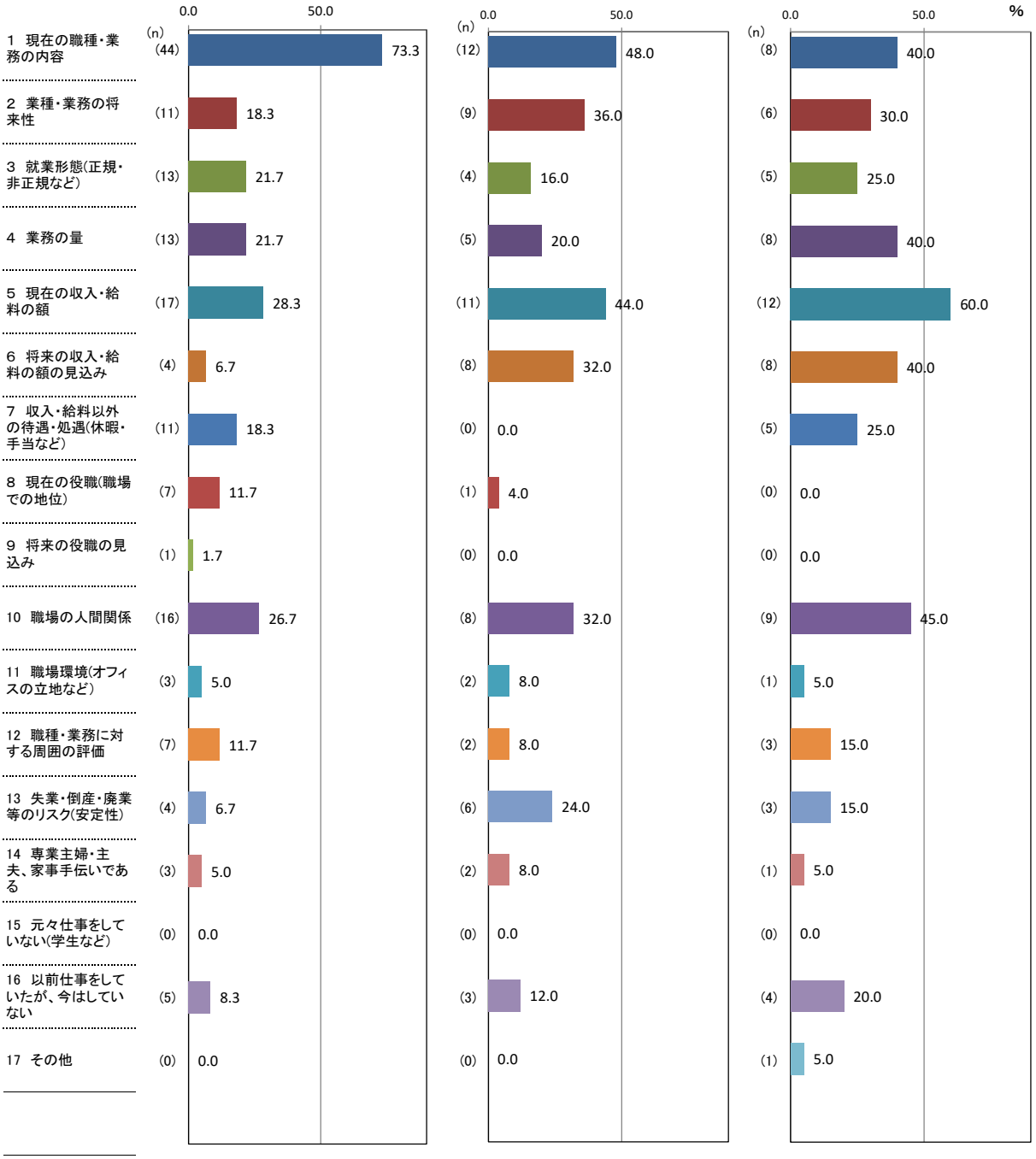
区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝86人）	258	71	16	24	18	31	9	16	5	3	28	9	10	10	3	0	3	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝26人）	69	10	8	7	6	13	7	2	2	0	5	1	0	3	0	0	3	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝16人）	44	5	3	0	6	8	7	1	2	1	5	0	0	0	2	0	4	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (159) 60 人	②「どちらともいえない」の回答 (73) 25 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (74) 20 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (44)	1 現在の職種・業務の内容 (12)	5 現在の収入・給料の額 (12)
2	5 現在の収入・給料の額 (17)	5 現在の収入・給料の額 (11)	10 職場の人間関係 (9)
3	10 職場の人間関係 (16)	2 業種・業務の将来性 (9)	1 現在の職種・業務の内容 (8) 4 業務の量 (8) 6 将来の収入・給料の額の見込み (8)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9） 仕事のやりがいについての回答理由（問1（9）「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜沿岸広域振興圏＞

（%）

	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		73.3	18.3	21.7	21.7	28.3	6.7	18.3	11.7	1.7	26.7	5.0	11.7	6.7	5.0	0.0	8.3	0.0
②「どちらともいえない」		48.0	36.0	16.0	20.0	44.0	32.0	0.0	4.0	0.0	32.0	8.0	8.0	24.0	8.0	0.0	12.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		40.0	30.0	25.0	40.0	60.0	40.0	25.0	0.0	0.0	45.0	5.0	15.0	15.0	5.0	0.0	20.0	5.0

（件）

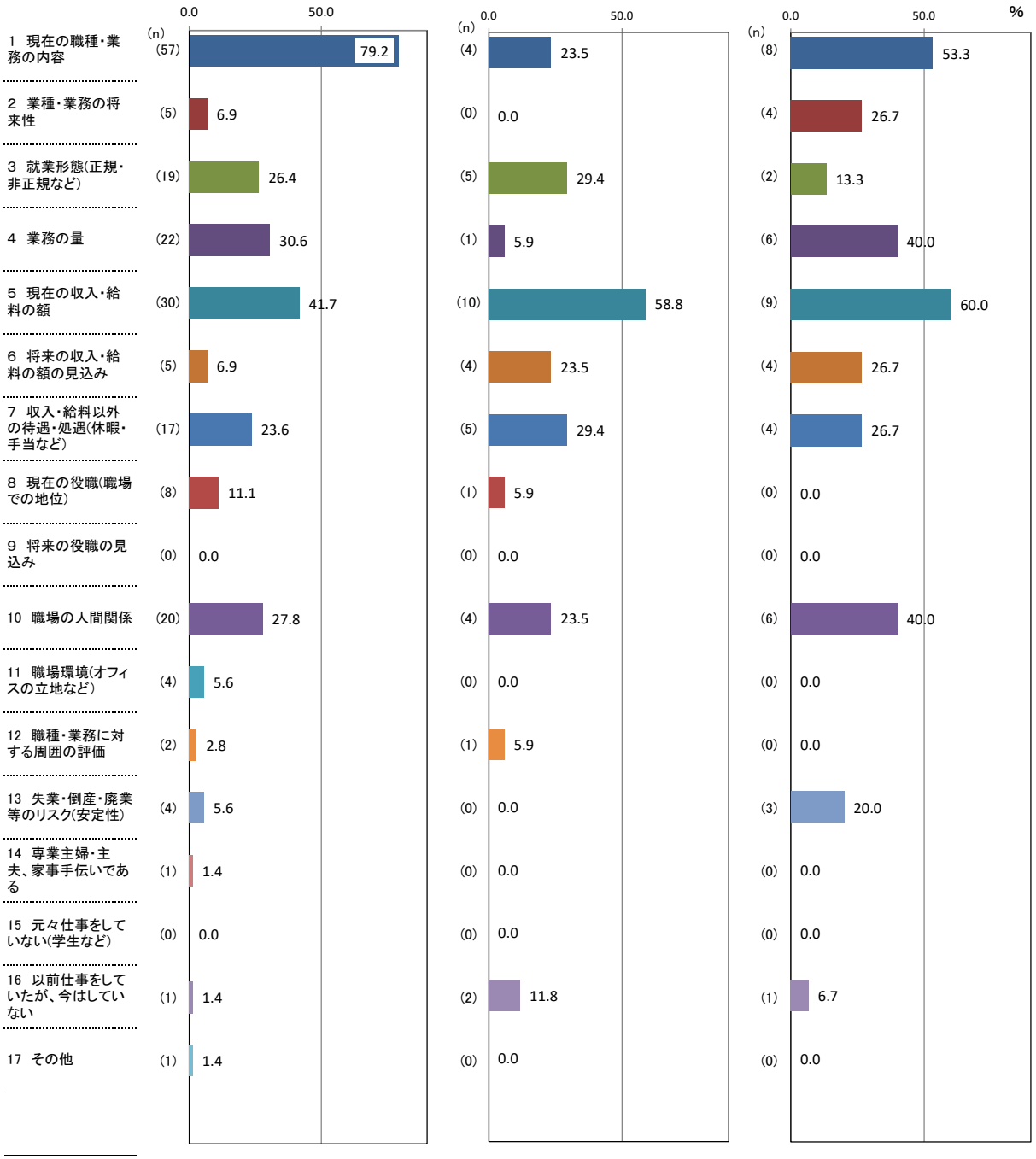
区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝60人）	159	44	11	13	13	17	4	11	7	1	16	3	7	4	3	0	5	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝25人）	73	12	9	4	5	11	8	0	1	0	8	2	2	6	2	0	3	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝20人）	74	8	6	5	8	12	8	5	0	0	9	1	3	3	1	0	4	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜県北広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (196) 72 人	②「どちらともいえない」の回答 (37) 17 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (47) 15 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (57)	5 現在の収入・給料の額 (10)	5 現在の収入・給料の額 (9)
2	5 現在の収入・給料の額 (30)	3 就業形態(正規・非正規など) (5) 7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など) (5)	1 現在の職種・業務の内容 (8)
3	4 業務の量 (22)	－ －	4 業務の量 (6) 10 職場の人間関係 (6)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9） 仕事のやりがいについての回答理由（問1（9）「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県北広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		79.2	6.9	26.4	30.6	41.7	6.9	23.6	11.1	0.0	27.8	5.6	2.8	5.6	1.4	0.0	1.4	1.4
②「どちらともいえない」		23.5	0.0	29.4	5.9	58.8	23.5	29.4	5.9	0.0	23.5	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0
③「あまり感じない・感じない」		53.3	26.7	13.3	40.0	60.0	26.7	26.7	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	6.7	0.0

（件）

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態（正規・非正規など）	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇（休暇・手当など）	8 現在の役職（職場での地位）	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境（オフィスの立地など）	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク（安定性）	14 専業主婦・主夫、家事手伝いである	15 元々仕事をしていない（学生など）	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝72人）	196	57	5	19	22	30	5	17	8	0	20	4	2	4	1	0	1	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝17人）	37	4	0	5	1	10	4	5	1	0	4	0	1	0	0	0	2	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝15人）	47	8	4	2	6	9	4	4	0	0	6	0	0	3	0	0	1	0

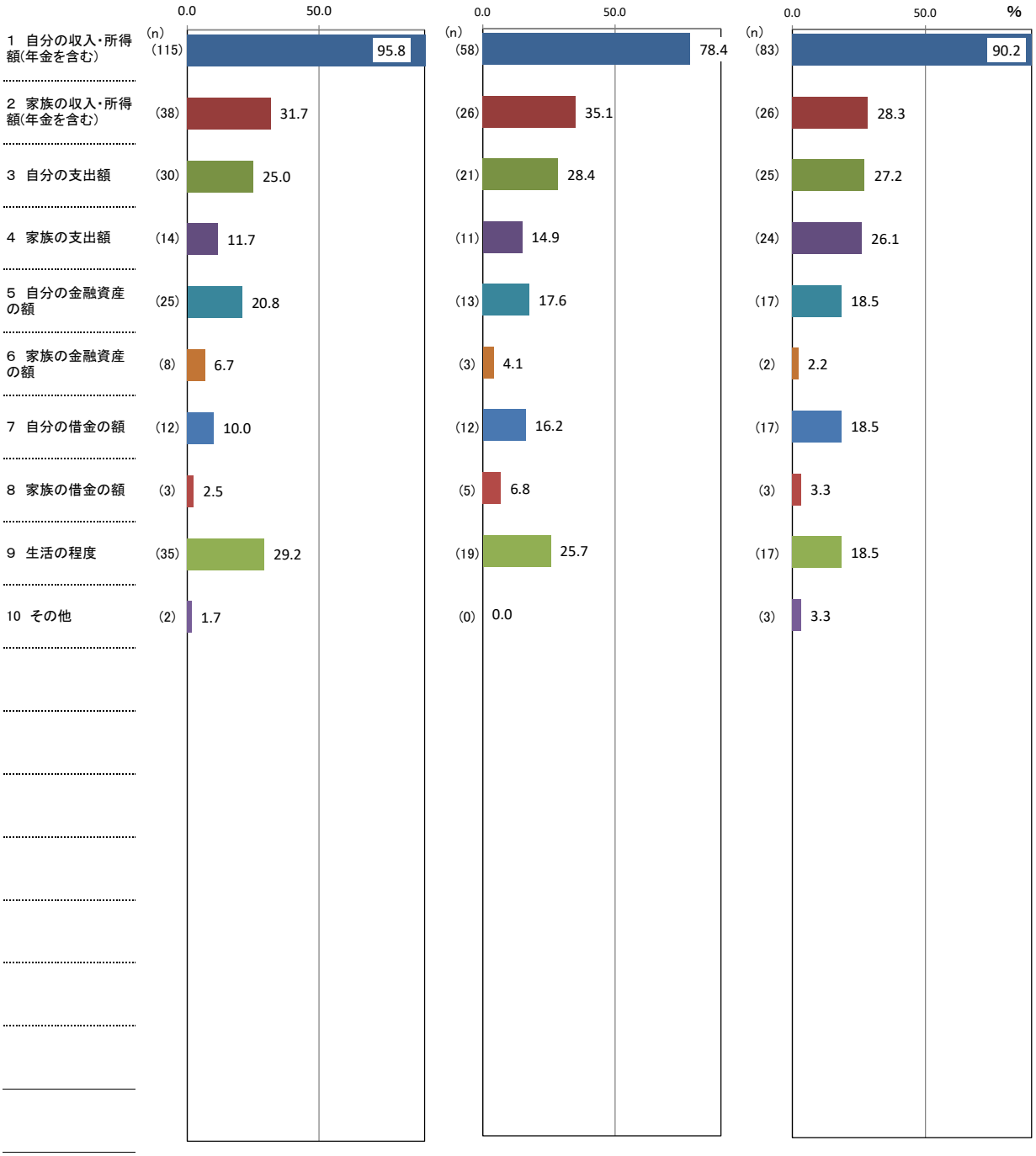
（1） 県民意識調査で有意な差が見られた属性(H31 - R8)

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜男性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (282) 120 人	②「どちらともいえない」の回答 (168) 74 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (217) 92 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (115)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (58)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (83)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (38)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (26)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (26)
3	9 生活の程度 (35)	3 自分の支出額 (21)	3 自分の支出額 (25)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜男性＞ （%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		95.8	31.7	25.0	11.7	20.8	6.7	10.0	2.5	29.2	1.7
②「どちらともいえない」		78.4	35.1	28.4	14.9	17.6	4.1	16.2	6.8	25.7	0.0
③「あまり感じない・感じない」		90.2	28.3	27.2	26.1	18.5	2.2	18.5	3.3	18.5	3.3

（件）

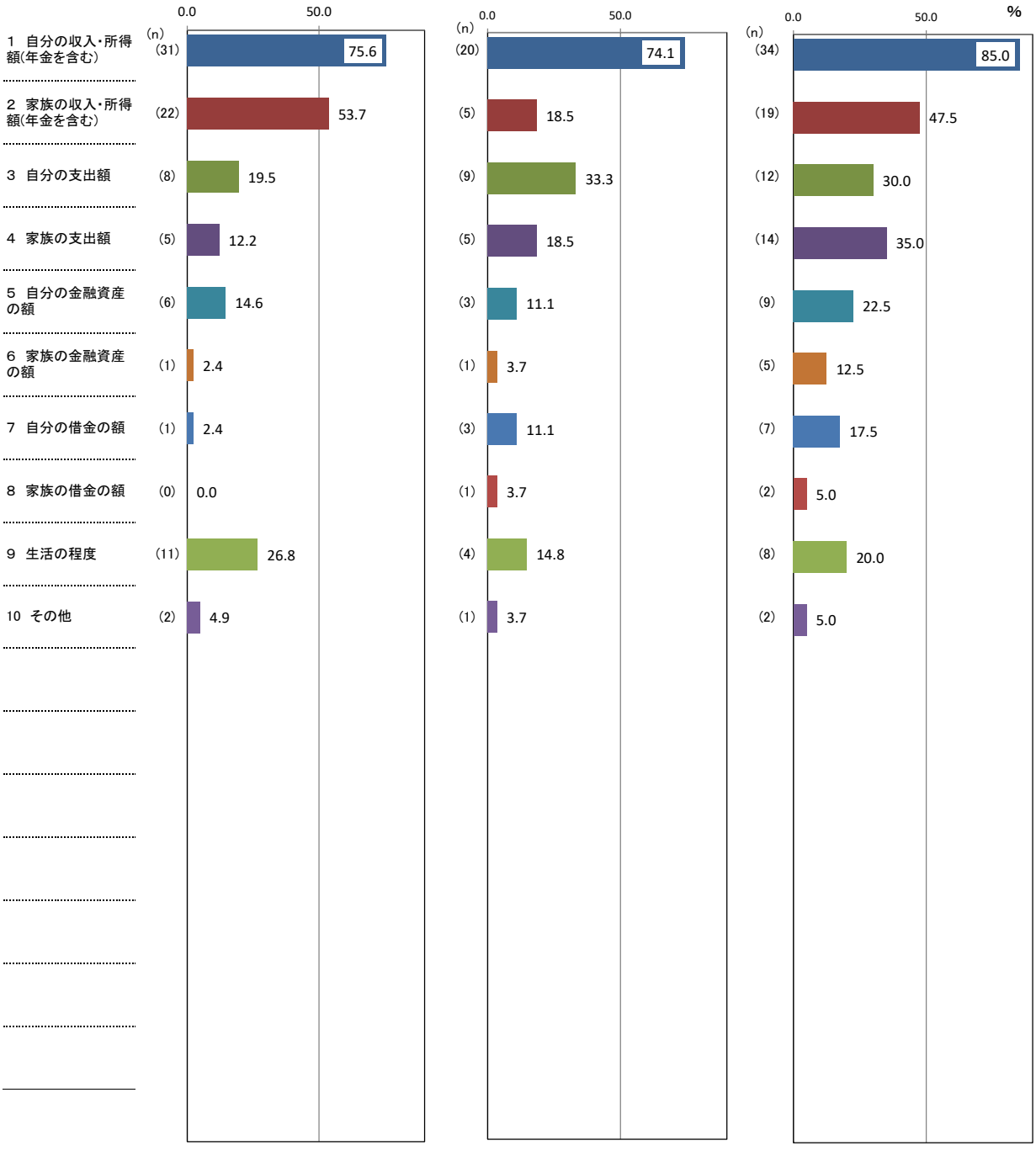
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝120人）	282	115	38	30	14	25	8	12	3	35	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝74人）	168	58	26	21	11	13	3	12	5	19	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝92人）	217	83	26	25	24	17	2	17	3	17	3

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜40～49歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (87) 41 人	②「どちらともいえない」の回答 (52) 27 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (112) 40 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (31)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (20)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (34)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (22)	3 自分の支出額 (9)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (19)
3	9 生活の程度 (11)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (5) 4 家族の支出額 (5)	4 家族の支出額 (14)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10）必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜40～49歳＞ （%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		75.6	53.7	19.5	12.2	14.6	2.4	2.4	0.0	26.8	4.9
②「どちらともいえない」		74.1	18.5	33.3	18.5	11.1	3.7	11.1	3.7	14.8	3.7
③「あまり感じない・感じない」		85.0	47.5	30.0	35.0	22.5	12.5	17.5	5.0	20.0	5.0

（件）

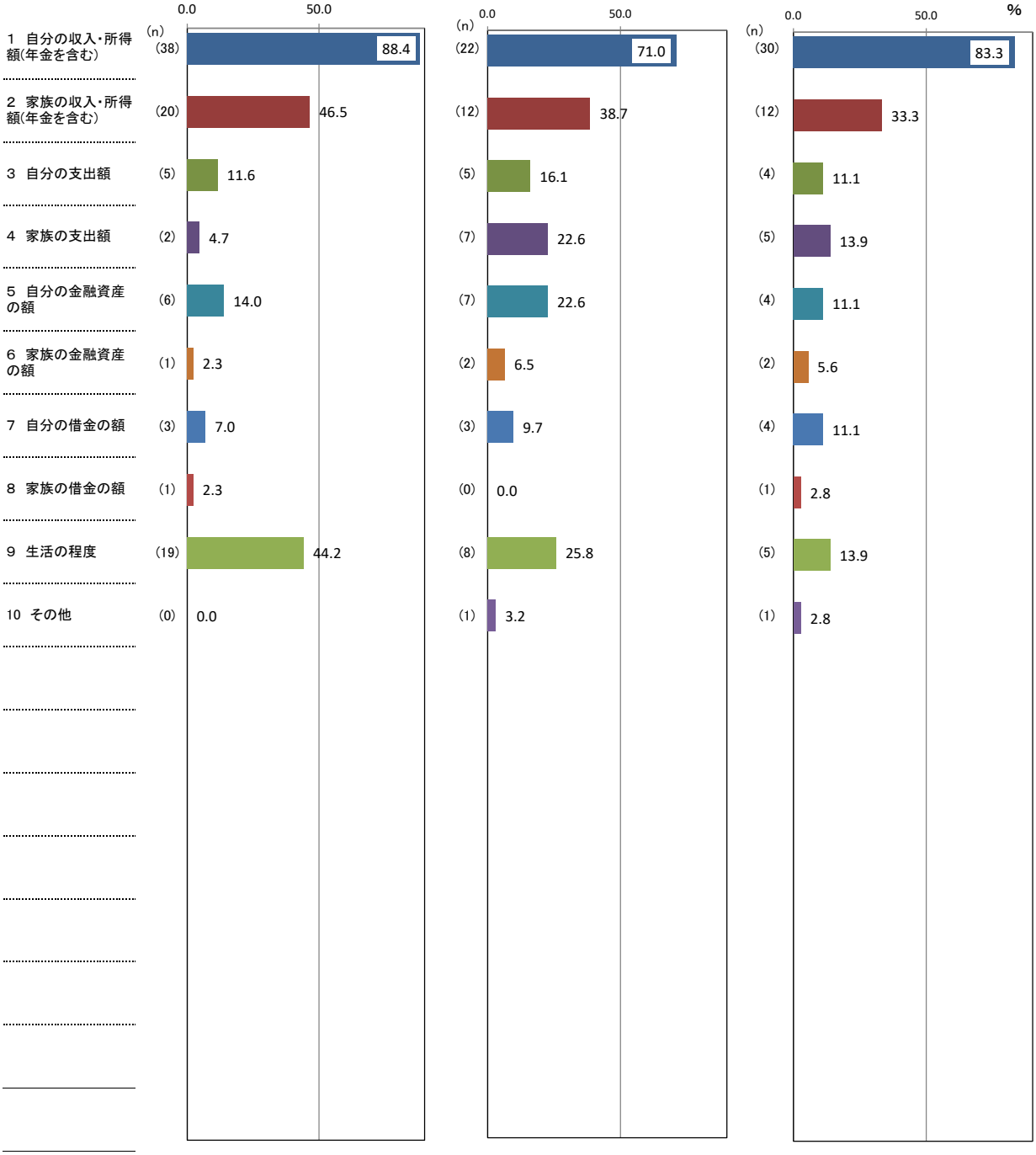
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝41人）	87	31	22	8	5	6	1	1	0	11	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝27人）	52	20	5	9	5	3	1	3	1	4	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝40人）	112	34	19	12	14	9	5	7	2	8	2

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜50～59歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (95) 43 人	②「どちらともいえない」の回答 (67) 31 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (68) 36 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (38)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (22)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (30)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (20)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)
3	9 生活の程度 (19)	9 生活の程度 (8)	4 家族の支出額 (5) 9 生活の程度 (5)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10）必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜50～59歳＞ （%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		88.4	46.5	11.6	4.7	14.0	2.3	7.0	2.3	44.2	0.0
②「どちらともいえない」		71.0	38.7	16.1	22.6	22.6	6.5	9.7	0.0	25.8	3.2
③「あまり感じない・感じない」		83.3	33.3	11.1	13.9	11.1	5.6	11.1	2.8	13.9	2.8

（件）

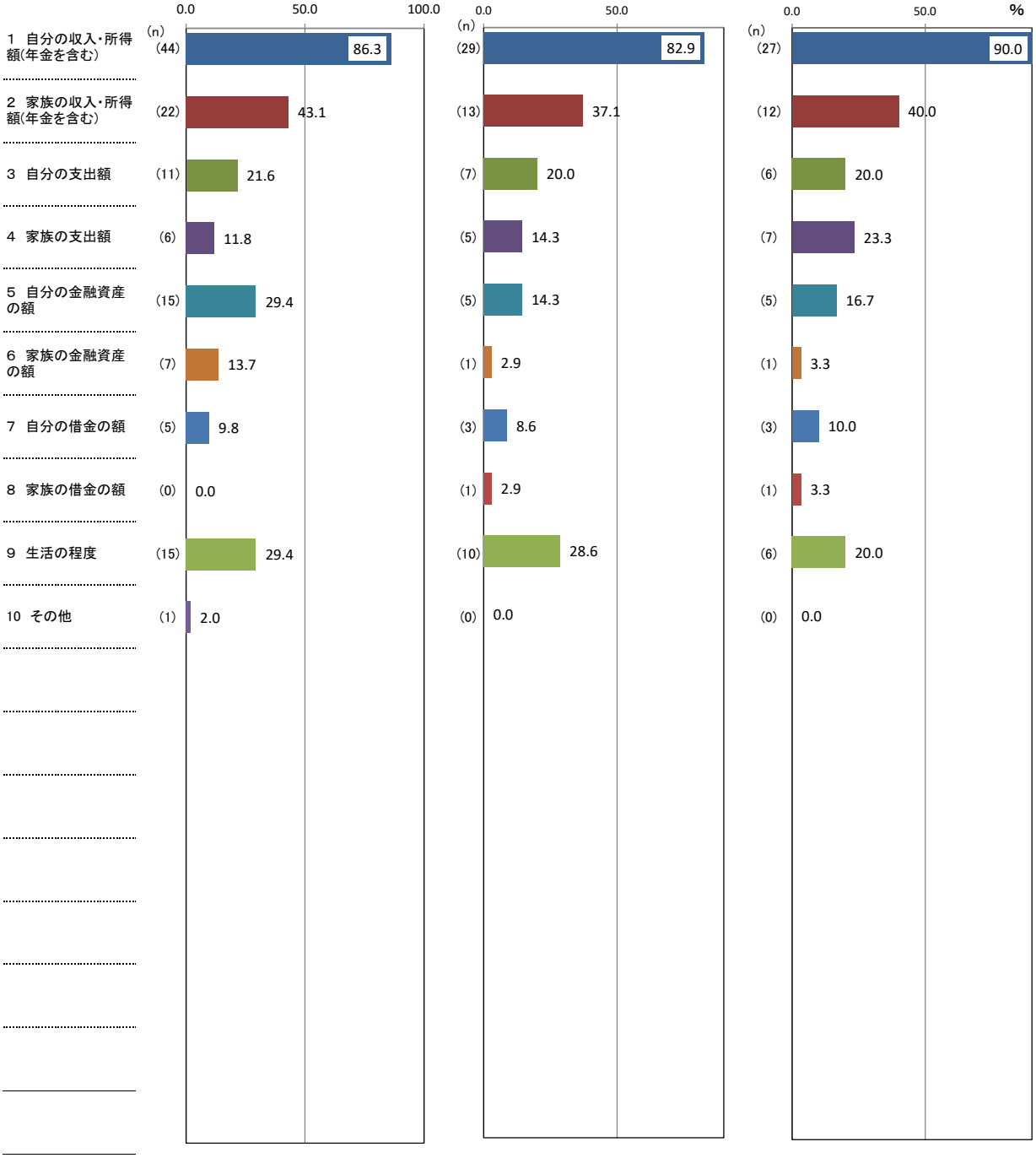
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝43人）	95	38	20	5	2	6	1	3	1	19	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝31人）	67	22	12	5	7	7	2	3	0	8	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝36人）	68	30	12	4	5	4	2	4	1	5	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜70歳以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (126) 51 人	②「どちらともいえない」の回答 (74) 35 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (68) 30 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (44)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (29)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (27)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (22)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (13)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)
3	5 自分の金融資産の額 (15) 9 生活の程度 (15)	9 生活の程度 (10)	4 家族の支出額 (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10）必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜70歳以上＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		86.3	43.1	21.6	11.8	29.4	13.7	9.8	0.0	29.4	2.0
②「どちらともいえない」		82.9	37.1	20.0	14.3	14.3	2.9	8.6	2.9	28.6	0.0
③「あまり感じない・感じない」		90.0	40.0	20.0	23.3	16.7	3.3	10.0	3.3	20.0	0.0

（件）

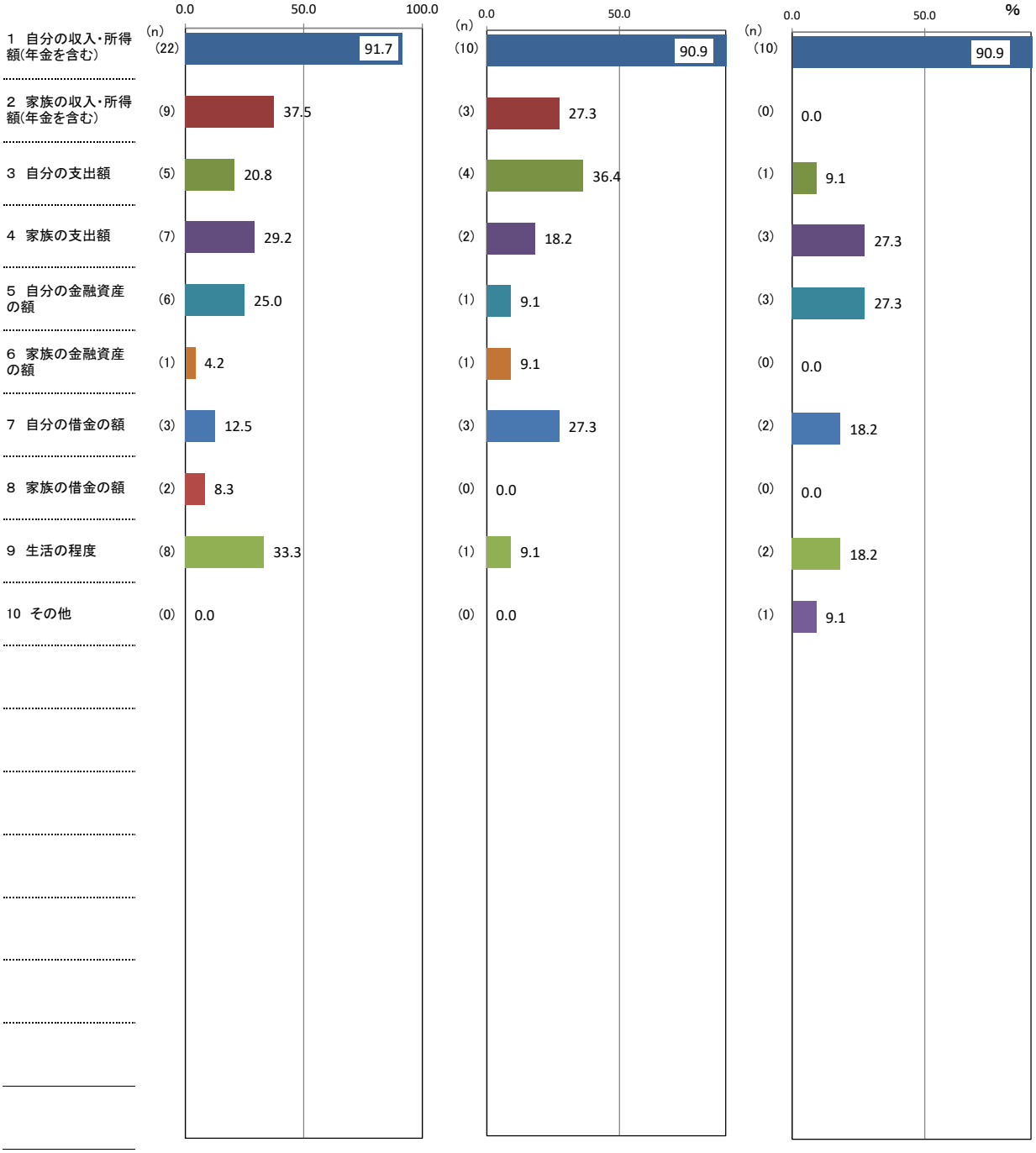
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝51人）	126	44	22	11	6	15	7	5	0	15	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝35人）	74	29	13	7	5	5	1	3	1	10	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝30人）	68	27	12	6	7	5	1	3	1	6	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜自営業主＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (63) 24 人	②「どちらともいえない」の回答 (25) 11 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (22) 11 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (22)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (10)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (10)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (9)	3 自分の支出額 (4)	4 家族の支出額 (3) 5 自分の金融資産の額 (3)
3	9 生活の程度 (8)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (3) 7 自分の借金の額 (3)	－ －

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10）必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜自営業主＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		91.7	37.5	20.8	29.2	25.0	4.2	12.5	8.3	33.3	0.0
②「どちらともいえない」		90.9	27.3	36.4	18.2	9.1	9.1	27.3	0.0	9.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		90.9	0.0	9.1	27.3	27.3	0.0	18.2	0.0	18.2	9.1

（件）

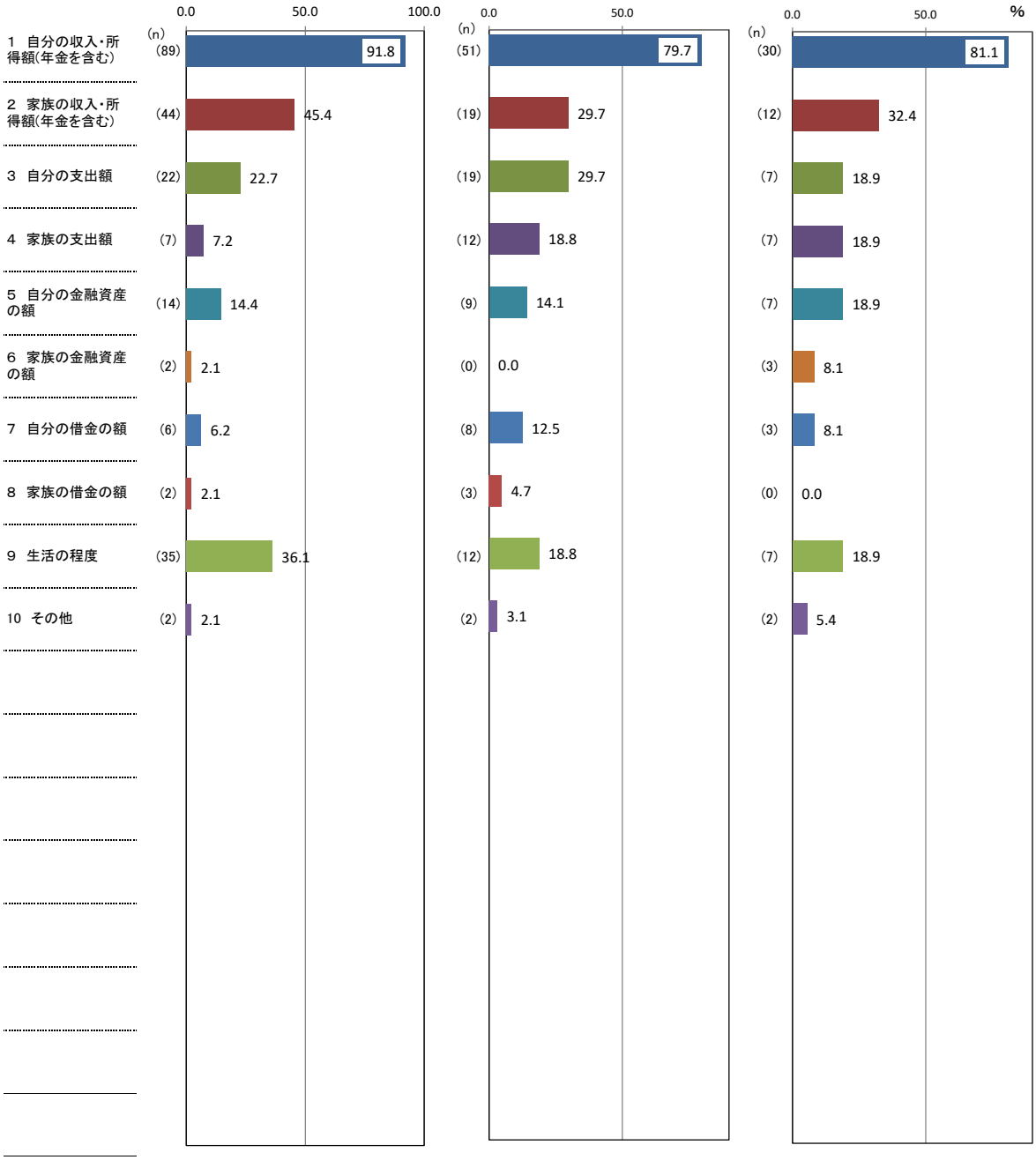
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝24人）	63	22	9	5	7	6	1	3	2	8	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝11人）	25	10	3	4	2	1	1	3	0	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝11人）	22	10	0	1	3	3	0	2	0	2	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜常用雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (223) 97 人	②「どちらともいえない」の回答 (135) 64 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (78) 37 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (89)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (51)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (30)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (44)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (19) 3 自分の支出額 (19)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)
3	9 生活の程度 (35)	－	3 自分の支出額 (7) 4 家族の支出額 (7) 5 自分の金融資産の額 (7) 9 生活の程度 (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜常用雇用者＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		91.8	45.4	22.7	7.2	14.4	2.1	6.2	2.1	36.1	2.1
②「どちらともいえない」		79.7	29.7	29.7	18.8	14.1	0.0	12.5	4.7	18.8	3.1
③「あまり感じない・感じない」		81.1	32.4	18.9	18.9	18.9	8.1	8.1	0.0	18.9	5.4

（件）

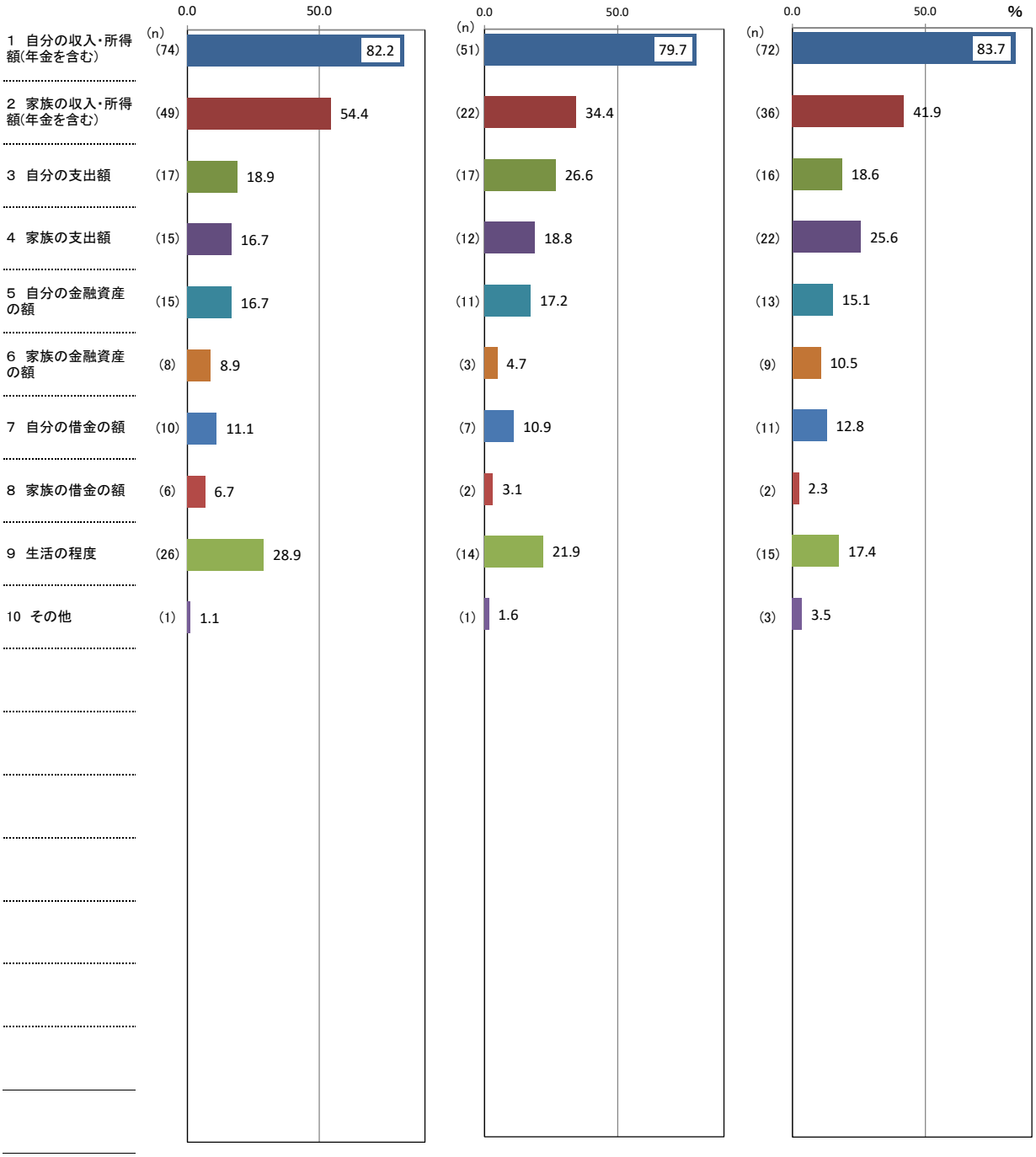
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝97人）	223	89	44	22	7	14	2	6	2	35	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝64人）	135	51	19	19	12	9	0	8	3	12	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝37人）	78	30	12	7	7	7	3	3	0	7	2

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜2世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (221) 90 人	②「どちらともいえない」の回答 (140) 64 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (199) 86 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (74)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (51)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (72)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (49)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (22)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (36)
3	9 生活の程度 (26)	3 自分の支出額 (17)	4 家族の支出額 (22)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜2世代世帯＞ （%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		82.2	54.4	18.9	16.7	16.7	8.9	11.1	6.7	28.9	1.1
②「どちらともいえない」		79.7	34.4	26.6	18.8	17.2	4.7	10.9	3.1	21.9	1.6
③「あまり感じない・感じない」		83.7	41.9	18.6	25.6	15.1	10.5	12.8	2.3	17.4	3.5

（件）

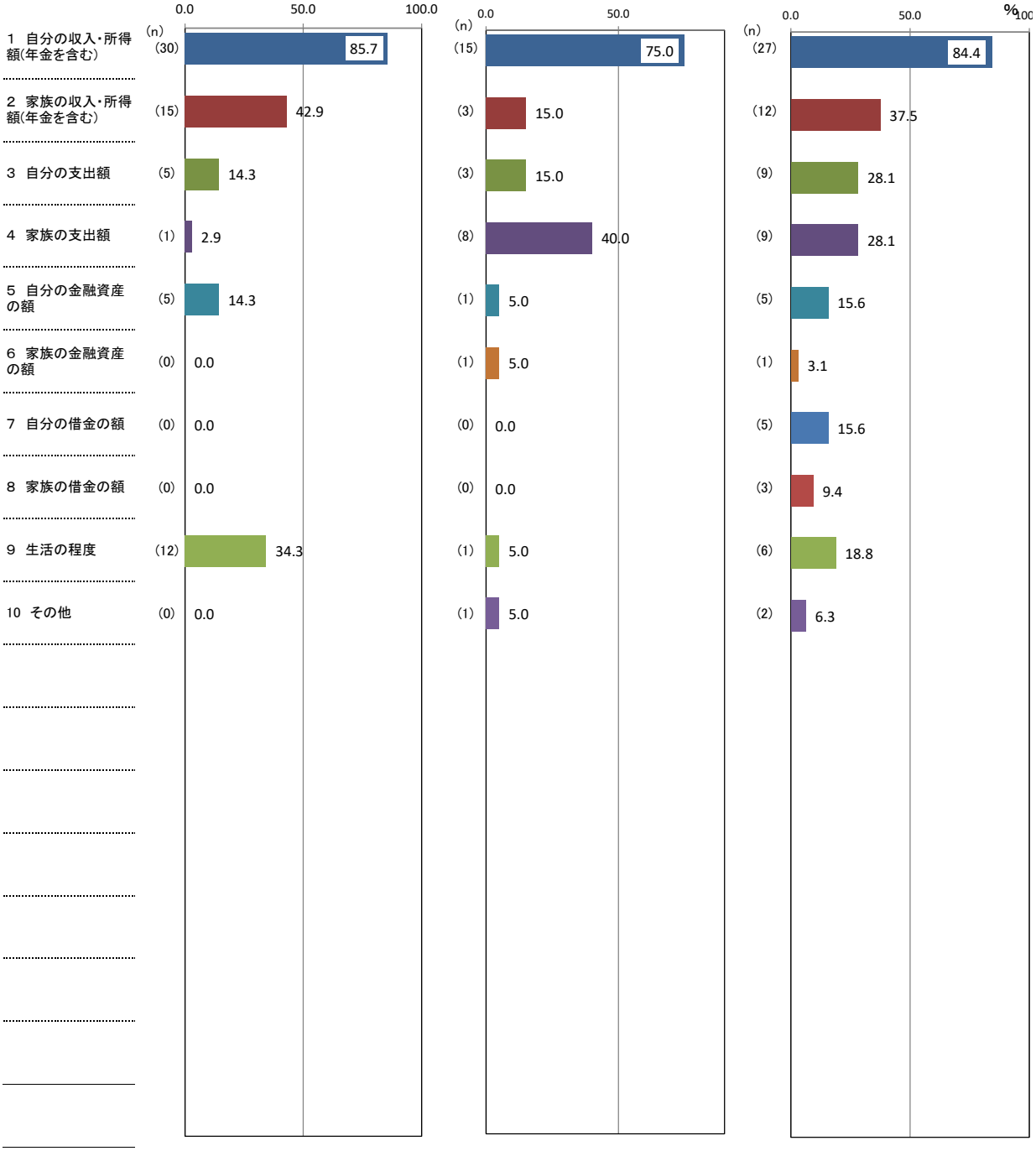
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝90人）	221	74	49	17	15	15	8	10	6	26	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝64人）	140	51	22	17	12	11	3	7	2	14	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝86人）	199	72	36	16	22	13	9	11	2	15	3

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜3世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (68) 35 人	②「どちらともいえない」の回答 (33) 20 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (79) 32 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (30)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (15)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (27)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (15)	4 家族の支出額 (8)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)
3	9 生活の程度 (12)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (3)	3 自分の支出額 (9)
		3 自分の支出額 (3)	4 家族の支出額 (9)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜3世代世帯＞ （%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		85.7	42.9	14.3	2.9	14.3	0.0	0.0	0.0	34.3	0.0
②「どちらともいえない」		75.0	15.0	15.0	40.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0	5.0
③「あまり感じない・感じない」		84.4	37.5	28.1	28.1	15.6	3.1	15.6	9.4	18.8	6.3

（件）

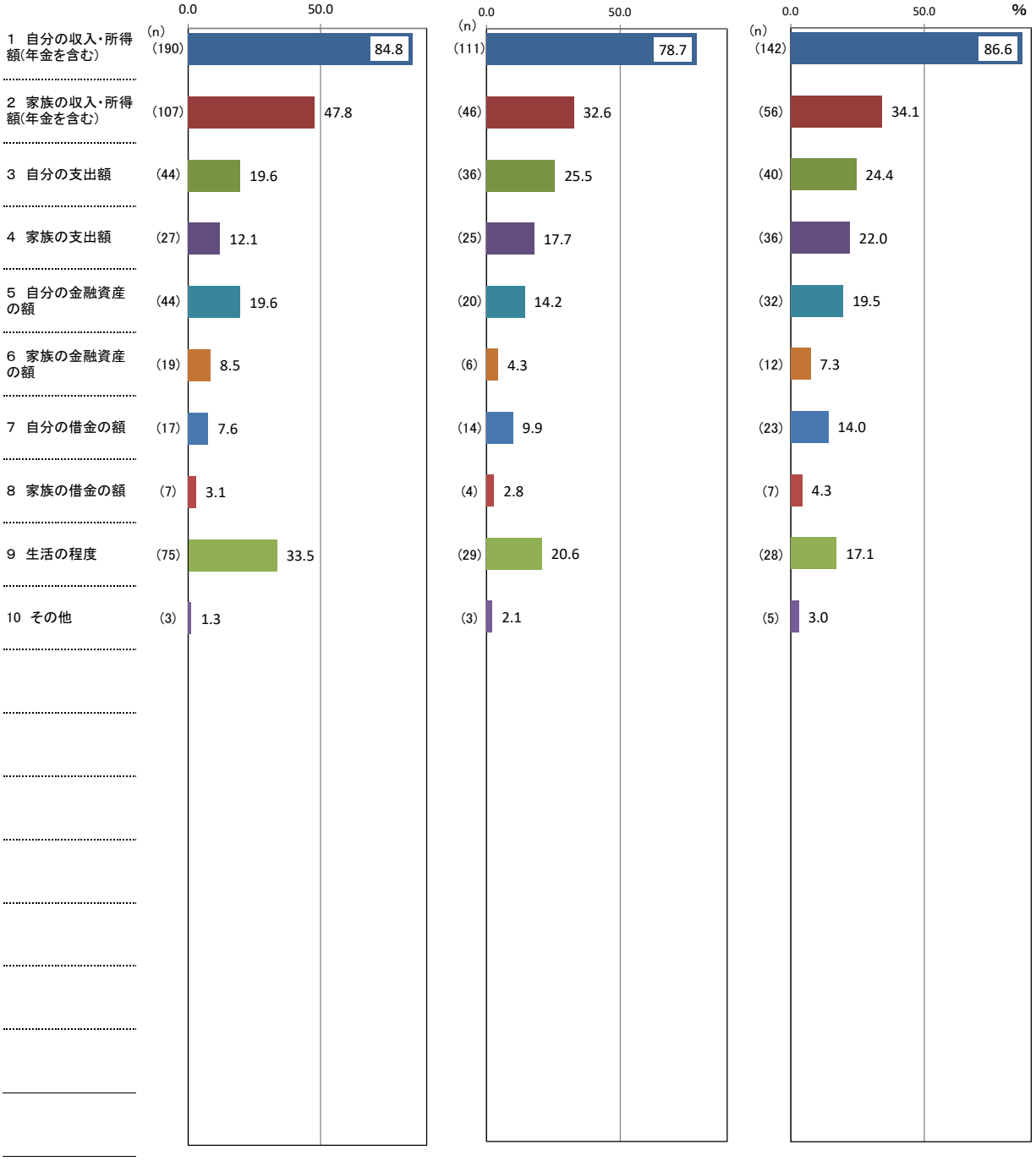
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝35人）	68	30	15	5	1	5	0	0	0	12	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝20人）	33	15	3	3	8	1	1	0	0	1	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝32人）	79	27	12	9	9	5	1	5	3	6	2

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (533) 224 人	②「どちらともいえない」の回答 (294) 141 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (381) 164 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (190)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (111)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (142)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (107)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (46)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (56)
3	9 生活の程度 (75)	3 自分の支出額 (36)	3 自分の支出額 (40)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10）必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		84.8	47.8	19.6	12.1	19.6	8.5	7.6	3.1	33.5	1.3
②「どちらともいえない」		78.7	32.6	25.5	17.7	14.2	4.3	9.9	2.8	20.6	2.1
③「あまり感じない・感じない」		86.6	34.1	24.4	22.0	19.5	7.3	14.0	4.3	17.1	3.0

（件）

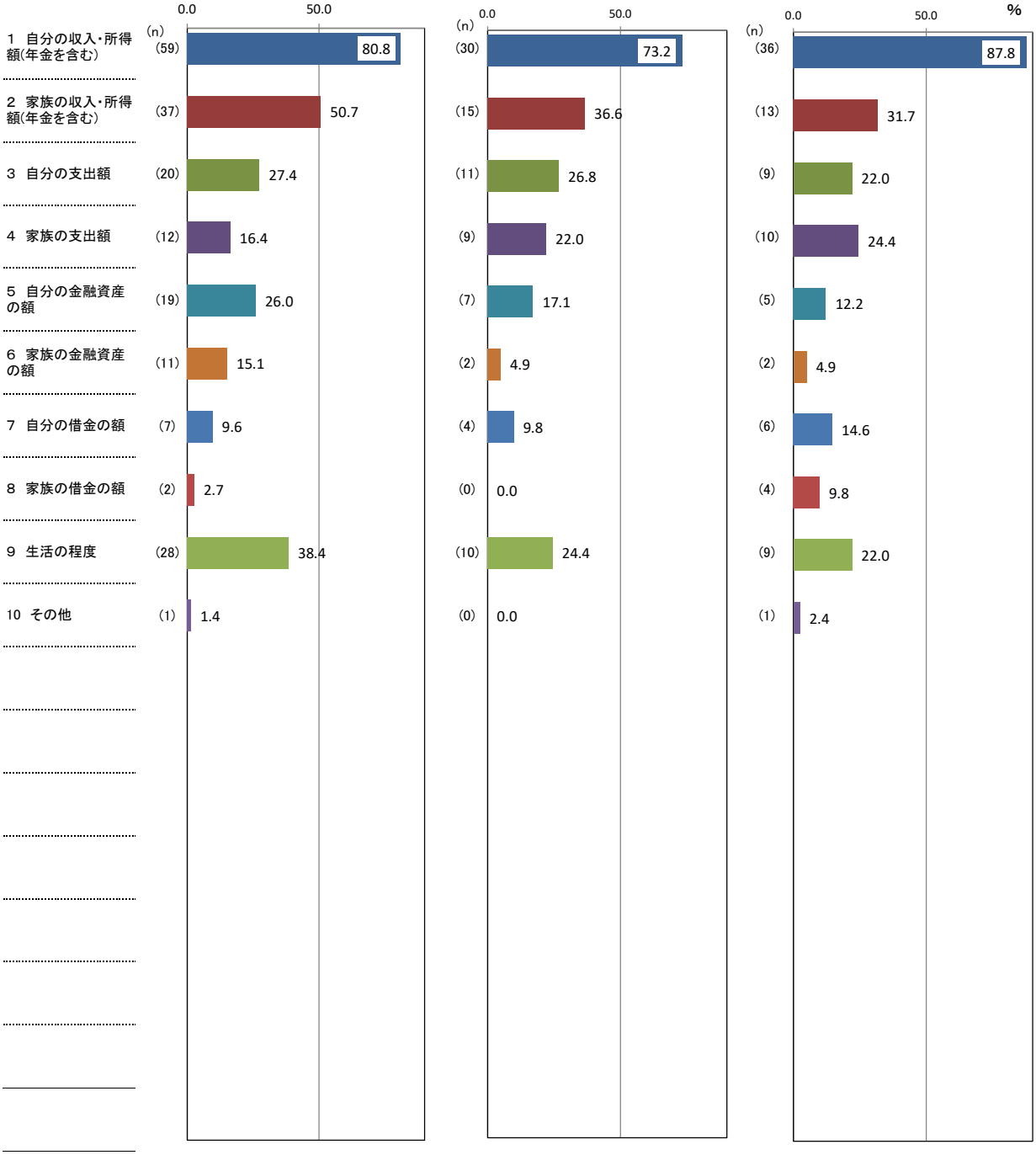
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝224人）	533	190	107	44	27	44	19	17	7	75	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝141人）	294	111	46	36	25	20	6	14	4	29	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝164人）	381	142	56	40	36	32	12	23	7	28	5

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (196) 73 人	②「どちらともいえない」の回答 (88) 41 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (95) 41 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (59)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (30)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (36)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (37)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (15)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (13)
3	9 生活の程度 (28)	3 自分の支出額 (11)	4 家族の支出額 (10)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県央広域振興圏＞ （%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		80.8	50.7	27.4	16.4	26.0	15.1	9.6	2.7	38.4	1.4
②「どちらともいえない」		73.2	36.6	26.8	22.0	17.1	4.9	9.8	0.0	24.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		87.8	31.7	22.0	24.4	12.2	4.9	14.6	9.8	22.0	2.4

（件）

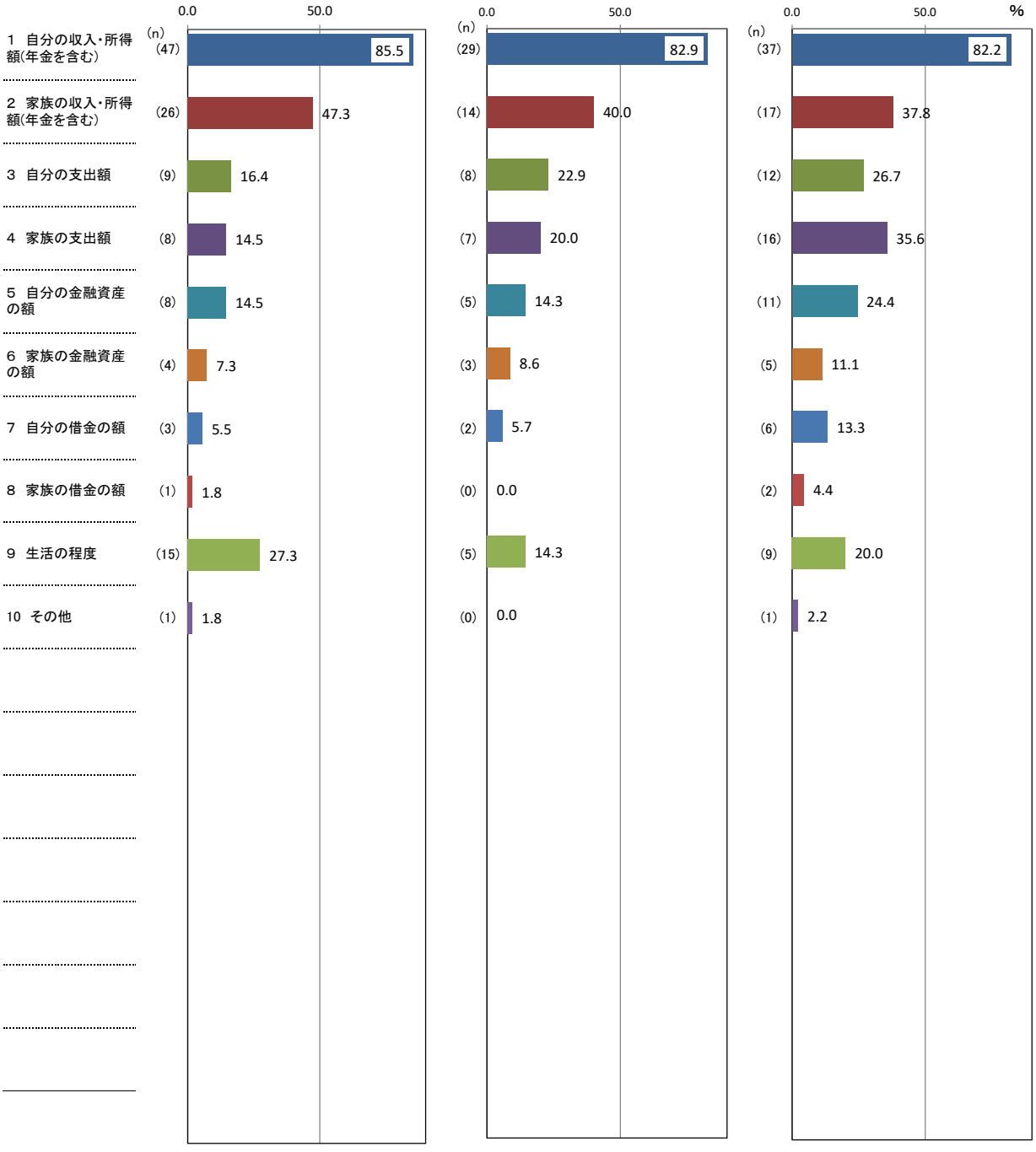
区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝73人）	196	59	37	20	12	19	11	7	2	28	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝41人）	88	30	15	11	9	7	2	4	0	10	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝41人）	95	36	13	9	10	5	2	6	4	9	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (122) 55 人	②「どちらともいえない」の回答 (73) 35 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (116) 45 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (47)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (29)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (37)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (26)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (14)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (17)
3	9 生活の程度 (15)	3 自分の支出額 (8)	4 家族の支出額 (16)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10）必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜沿岸広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		85.5	47.3	16.4	14.5	14.5	7.3	5.5	1.8	27.3	1.8
②「どちらともいえない」		82.9	40.0	22.9	20.0	14.3	8.6	5.7	0.0	14.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		82.2	37.8	26.7	35.6	24.4	11.1	13.3	4.4	20.0	2.2

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額（年金を含む）	2 家族の収入・所得額（年金を含む）	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝55人）	122	47	26	9	8	8	4	3	1	15	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝35人）	73	29	14	8	7	5	3	2	0	5	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝45人）	116	37	17	12	16	11	5	6	2	9	1

要因の具体的な内容（H31-R8 比較）

(1)-1 からだの健康

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	• 毎日規則正しい生活を行っている • 73 才で仕事を辞めた後、スポーツジムで4日程／週運動している。 • 睡眠の質 • 毎日の生活習慣が出来ているので今の所は、病気もなく仕事をしているので安心かなと思っています。 • 十分な睡眠が出来る環境にある • 仕事・休みなど時間配分し、毎日⇒1年を過ごしている • 残業がほぼなく 睡眠時間もとれている • 睡眠時間がちょうど良くとれている • 育児時短による負担軽減 • 仕事に一区切りついたので、ワークライフバランスがとりやすくなった • 子育てが終わり自分の時間を持てるようになった • 休める時に休もうとしている為 • 仕事にも慣れリズムが整っているから • 仕事でそれなりの役職になり、WLBを調整できるようになってきたため。 • 仕事が自分の体力に合わせてできる。十分睡眠が取れるから • 仕事が忙しく睡眠時間が少ないが、特に病気もない • 睡眠8時間～10 時間 • パートもなくなり時間的余裕が気持ちを楽にする	• 仕事フルタイムなので時間のバランスを自由にとれない • 忙しい • 不眠 • 年の為体が変化してきている	• 仕事に取られる時間が多いため。 • 仕事しながら、家族の介護など色々ありすぎる… • なかなかストレスで睡眠・休養を取れてないため • 仕事が忙しい
2 スポーツの習慣の有無	• スノーボード • マスターズ陸上で毎年競技会に参加（4月～11 月まで月1回ペース）。その為の年間を通じたトレーニングの実施。 • パークゴルフ・自宅で軽運動 • 年間を通じてターゲット・バードゴルフというスポーツを楽しんでいる • マラソン大会の出場と、そのための練習により、心身の状態を調整できているため。 • 趣味のおどりも続けている	• 運動習慣がない • 運動の習慣がない(時間がない) • 50 才代の頃はバレークラブに入って活動していたが、70 才中になると、入るグループがない為出来ない! • 雪がふるためアウトドアの歩行が思うようにできない	• 仕事に取られる時間が多いことにより運動時間を削ってしまいがち • なかなかスポーツをする機会がないため • スポーツする余暇がない
3 歩行などの行	• 腰痛、歩行困難	• 脚力の低下	• 心臓に負担のかかる好悪道の禁止

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
動の制限の有無	• 股関節の手術を昨年人工にし、自由に歩けるようになった • 自分で車を運転し、行動できるので		• 脊髄梗塞を患い、24 時間痺れがあり、歩くと痛みが出る。 • 酸素使用 • 熊の出没等の恐れのため、外出機会が減った
4 食事の制限の有無	• いつもおいしくご飯を食べられる • 自分が好きな物を食べられ、制限がないので	• 心筋梗塞、腎機能の数値がよくない	• 人工透析を 35 年間続けているので水分制限もあり食事もいろいろと制限がある • 太りすぎ • 食欲がない。
5 健康診断の結果	• 高血圧 • 良好 • 総コレステロールが高めで経過観察中 • 大きな心配が無い(メタボ位) • 高血圧、脊柱管狭窄症、前立腺ガン • 健康診断の結果 B。薬は飲んでいません • コレステロールなど気になる数値ではあるが、特に病名などはついていない	• 高血圧 • 視力聴力の低下 • 血圧C・眼科 D • 要精密検査の項目がある • 心筋梗塞、腎機能の数値がよくない • 健診で BMI が高めになった	• 耳鼻科(難聴)耳鳴り、めまい、ふらつきの症状 • 心筋梗塞で2回手術したので健康診断では C 判定が多くあります • 不整脈、心肥大、ヒザ、背中等の痛みあり
6 持病の有無	• ポリープがあるため • 心房細動、変形性股関節症 • 病院にかかることがなく、健康と感じる。 • 特段、持病はないが、年々体力の衰えを感じている。持病を持っていないことが、健康寿命への期待がある。 • 高血圧、脊柱管狭窄症、前立腺ガン	• 薬の服用があること • 心筋梗塞、前立腺ガン、腹部大動脈瘤の持病あり、いずれも処置済みだが3カ月に1回定期的に観察中 • 高血圧 • 前立腺癌手術予定 • 高血圧 • 不眠症 • 持病がある • 心筋梗塞、腎機能の数値がよくない	• 入院による体力の衰え • 軽いヘルニア。不整脈のためいずれ手術必要ある。 • 血液の病気で、余命9～10ヶ月と宣告された • 4年程前から発症。病気のコントロールが上手くいかない。年齢的なものもあるが、まだ少し張りを持って生きたい。 • ガン(肝ガン) • ガンの手術などして落ち込んでいる • 2025 末、体調をくずし通院するようになった • 耳鼻科(難聴)耳鳴り、めまい、ふらつき • 腎不全なのでそれに伴う合併症がいろいろ出てきている
7 こころの健康状態	• ストレスをあまり感じていない。 • 白内障、緑内障の手術でメガネが不必要になった • たまに友達と一ぱいやって、グチを言い合っています。		• 難病の夫、難病と認知症の母、身体障害者の妹などの介護や、私が色々とストレスを感じる事が日々増えて来てることで… • ストレスによる心身の負担が大きいため • 妻のうつ病を介護の為イライラする
8 その他( )	• 運動と人との出会いと交流	• コロナにかかったばかり	• 老化、加齢で関節や筋肉に激痛 • 介護で疲れている

(1)-2 こころの健康

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス)	• 特に不満がないため • 毎日規則正しい生活を行っている • 今は仕事をしていないので心が楽です • 定刻の睡眠、食事 • 育児時短による負担軽減 • 子育てが終わり自分の時間が持てるようになった • (1)-1②と同じ	• 睡眠時間の不足 • 忙しい	• 仕事に取られる時間が多い • なかなかストレスで睡眠・休養を取れてないため
2 仕事・学業におけるストレスの有無	• 仕事は大変な事もあるが、やりがいを持っている。 • 仕事において全く評価されないこと • 勤務時間がフリータイムです。 • 現役を退き、農業関連の仕事に携わり仕事でのストレスが軽減した • あまり深く考えないようにしている為 • 離職したことで仕事のストレスがへった。 • 昨年に比べ充実しているから • 職場の環境や周りの人達が良いのでストレス少ない • パートという仕事がないことが淋しいようで楽になった • 特別なストレスがない • 自分が本当に好きで、したい仕事をしているか • 友人とのスポーツ • 人間関係良好	• 対人関係のストレスは常にある • 仕事上ストレスを感じる事がある	• 転職先がなかなか安定しない。会社都合により労働時間を短縮されたりで、転職せざる負えない。 • 雇用されていながら仕事を与えられないまま 13 年 • 年々短縮される履行期間と工期に追われている。 • 締め切りに追われる仕事のため • 休みの日でも仕事を考えなければならない時がある • 仕事での職場環境へのストレス
3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	• 地域ボランティアの活動が多い • 私生活において、家族が皆健康なのでストレスが少ない • 書物の整理、廃棄 • 資格活用や友人等の交流が充実していると感じている • ストレスが無く毎日楽しく暮らしている • 介護によって時々気持ちの安定が保てない • あまり深く考えないようにしている為 • 特別なストレスがない	• 家族の体調があまり良くないから。 • 私の母親と姉の件で妻と喧嘩になることがある(母は死亡、姉は施設入所中)	• 仕事しながら、家族の介護など色々ありすぎる…難病の夫、難病と認知症の母、身体障害者の妹などの介護や、私が色々とストレスを感じる事が日々増えて来ていることで… • 育児につまずいている。経済的不安感が強い。 • 精神障害の甥のため、住む家を追い出され 13 年
4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など)	• 休日はゆっくり過ごし、休められていることから健康と判断。 • 読書や音楽が好きなので、毎日楽しむことができて嬉しい。 • 4月～11 月までは 30 坪程の家庭菜園、朝夕は犬と	• これからの時間の過ごし方を考えさる • なかなか充実した余暇は送れていない	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	の散歩で充実した生活。 • 自分一人の時間の有無/量・質 • 人生のミッションと思えるマスターズ陸上(棒高跳)の存在 • 家庭菜園など • 趣味を通しての出会いと交流 • 良好 • 趣味の家庭菜園と地域でのボランティア活動(町内会)をしているが、他世代との交流や親睦は充実感を与えてくれる。 • アマチュア無線と庭園管理など • 休日自分の時間を過ごすことができている。 • 勤務時間がフリータイムです。 • 趣味の時間を作れるようになった。 • 趣味(読書等) • 家族で共に旅行などが出来ている • 趣味に余暇を活用している • 白内障の術後で盛岡の病院に行く事が楽しみになった		
5 相談相手の有無	• 何かあれば子に相談できる • 家庭環境がおちついていて何でも相談できる • 健康に対する不安はあるが、家族に支えられていると感じるため。 • 友人 • いろんなことを主人と話をすることで、充実している • 妻と二人暮らし • 若い世代との交流により、様々な相談を受けることが多く、この世代は相談相手が少ないのかとも感じている。小生も同輩、先輩と話す機会多く幸せ。 • 兄弟がいるし友もいるので • 妹が近くに居るので会話ができ笑う事が多い • すぐ近くに相談相手が複数いるから	• 両親、兄弟共不在になった為	• ストレスにより体調を崩すことが多かったため
6 からだの健康状態	• 健康に対する不安はあるが、家族に支えられていると感じるため。 • 歩行困難、下半身がだるい • からだも健康である • 腰痛	• 自分の動きがとれないことで、色々なことを諦めたりして気力が弱くなってきているように思う。 • 体調不良の有無 • 検査結果への対応(ストレス) • 不眠症	• 余命を宣告されたため • 心臓に負担のかかる好悪道の禁止 • 年令(高齢)になると色々と痛いところもでてきて年令にかてない • マイナス思考で行動に自信が持てず不安になる事が多い。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
			• 持病の為、通院の負担、利用費がかかるようになった
7 その他( )	• 1～6はマイナス方向の時に影響としてとり上げられます。それらを心においてマイナスに向かないように自分でかなり努力しています。仕事がないことはとてもいい(楽)です。経験上。 • 沿岸部にて高齢・独居中。体調不良が多くなり頻繁に来訪。長期宿泊する事が多い。 • 波風はあるが家族の存在		• 同居～家族関係 • 介護疲れ

(2) 余暇の充実

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 自由な時間の確保	• 自由に過ごせる時間がある。 • 自由な時間があり、気もちが安定している • 子供の世話があるのでまとまった自由時間がとりにくい • 友人とのスポーツ(ビリヤード等) • 家庭のことをやっていると時間がなくなる • 部活の送迎や父母会活動、家事と仕事に追われ、あまり時間的な余裕が無いから。 • つい昼まで寝がちなので、わざとドライブに出掛けるようにしている。 • 子育てが終わり自分の時間が持てるようになった • 農家もしている為、仕事の休みは農業がある • 余暇と意識したことはない。ボーっとする時間はある • 一日の時間自分の好きな様に使っています • 自分時間はある方だと思う • 土日も仕事に追われ、ゆっくりできない • 行動することに制限がかからない日々 • 義父母が高齢の為、見守りが必要になってきている。通院の付添いに時間をとられる。 • 自分の好きなことができる • ｺﾝｻｰﾄや美術展にいつでも行ける。	• 自由な時間があり、町内会活動、放送大学などいろいろできる • 自分の時間を持てるよう工夫している • 中々、自分の時間が取れない。仕事が休みの日などは、病院へ家族を連れて行ったり、買い物頼まれたりで、自分の時間があまりない… • 夫も勤務していて自由時間は多い • 年金暮らしだが自由な時間が多く一人の時間を楽しめている。近くに図書館があり好きな本を読める環境があることも大きい • 空き時間があって趣味に使える • 自分の為に使える時間が少なめ • 自由に時間を確保できない、したいことができない • 介護がなくなったため、自由な時間が増え、好きなことに時間を使うことができる。これまでは介護のため、色々な時間の制約があり、趣味や娯楽にも不自由を感じていた。 • オンとオフの時間 • 家事仕事以外の時間自由で読書、逢物、園芸 • 身寄りのない親族が入院し施設に入ったりと何かとする事が多いので、気が休まらないし時間がないと感じる事が多い。 • 自由な時間が無い • 忙しい(仕事) • 時間があれば仕事の事を考える • 自由な時間は無い	• 仕事と家庭生活、地域活動に多くの時間を割いている • 毎日の家庭内作業でいっぱい。身体の動きが悪い為 • 休日は家事・育児に忙しいため、自由時間がほぼない • 自分の時間が作れていない • 仕事が時間内で終わらず、家に持ち帰らなければならなくて、自由が少ない。 • 余暇の時間が確保できない • 自由な時間は沢山あるが、なにをするにしても以前程積極的になれない。億劫である。 • 孫の事、夫の事、自分も物忘れ多発 • 障害年金くらしで、働いてないこともあり家にほとんどいます。突発的な出費がいつくるかわからないので、ムダ使いできません。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• ボイ活ができる時間があるから • 週1回健康麻雀5時間 • 外食や買い物など、好きなことが楽しめている。 • 自由時間の確保ができない • 家族の理解、信頼もお互いに持っていて自由な時間はとれている • 老人クラブの会長として自由な時間を有効に活かしている • 親が残した、土地や建物、会社やその土地、建物が延べ 30 個所ぐらい有、手入や、草刈り、枝払い、メンテナンスなどの時間にとらわれ、自分の余暇を確保することができない • 家族の世話で自由な時間が少ない • 週2日間は自由な時間が確保できる • 自分の時間を大切にしているから。 • 確保が難しい • 友達とお休みに出かけたり趣味の共有が出来るので楽しいです。	
2 運動や行動の制限の有無	• 毎週、毎日、スポーツクラブ通い日が決まっており、充実している。 • やろうと思えばできるものがある	• 運転をしないのでなかなか出かけられない • 心臓の病気がある為に制限がある為 • 体を動かすことに制限はない。 • 運動や行動の制限がなく、散歩、ラジオ体操などができる • 歩行困難のため、外へ出かけにくい。 • 送迎ありの施設で運動4時間週2回 • その都度、場所や時間を説明し合って協力している • 制限がないことから朝1時間体操等運動している(4:30～5:30 まで) • 年齢に応じた体力があり行動に制限が無い	• 体の痛みで行動範囲が決まっている • 毎日の家庭内作業でいっぱい。身体の動きが悪い為
3 文化・芸術の鑑賞	• 頻度は多くないが、スポーツ観戦、音楽鑑賞を行う機会があるため。 • コロナ禍で制限されていたことが、ようやくできる様になってきたと感じています。 • 退職し時間があるので県内で様々な施設を見に行っているので • 美術館に行ってゆっくり鑑賞する時間がある。 • 音楽を聴く • 家族との鑑賞	• 自分の時間があり、ライブに参加できる。 • 千厩に住んでいたのでは鑑賞なんてできません • オペラコンサート等又絵画等 TV で好んで見ている • コロナ禍がおさまって芸術鑑賞しやすくなった • 天候の悪い時などは、一緒にテレビのスポーツ観戦で盛り上がる	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 時間を見つけてコンサートなどを楽しむこともある • ｺﾝｻｰﾄや美術展にいつでも行ける。		
4 スポーツ観戦	• 子育て真っ最中なので、自分の時間を確保するのが難しいが、何だかんだ家族との時間が楽しいから。 • 野球観戦(高校野球、学童野球) • 子供達のスポーツ活動への帯同。 • ビッグブルズの観戦に初めて行った • 野球、サッカーなど TV 観戦	• テレビでの野球観戦	• スポーツの観戦はすきでよく見る • 野球観戦に球場へ足を運びたいが、仙台へ年1回しか行けない。
5 文化・芸術活動の場所・機会	• 個人・グループとして作品出品 • ｺﾝｻｰﾄや美術展にいつでも行ける。	• 地域の生活応援センター企画・行事に参加 • 文化祭にR6年に出品し(時々出品)皆の作品も見れて楽しい	
6 スポーツの場所・機会	• 健康の為に施設利用により、交流ができている。 • ゴルフ • この冬期間、趣味のボーリングを充分楽しめている。 • サークルでヨガをしている。仲間と会えることもうれしい時間です • パークゴルフ • 冬は積雪のため、秋までは熊がこわくて、趣味のランニングをひかえていた	• スポーツ施設が身近に少ない	• 古い友人達が近くに不在で有る。
7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	• 海釣り • 自然が多い • 登山を行い、生活の一部になっている。 • 花見をしたり、紅葉をみたりできる。 • キャンプなど	• 遭難救助訓練を行っている • 遠野市は自然(山)が多く山菜きのこ採り出来る • あまり行けずにいる • 春は山菜、秋はキノコ採り • 四季に応じて自然に触れ合っている	• ドライブ(子守？)しながら海山などは良く行く
8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	• 資格・勉強など学べる場がもっと欲しい。	• 市内ガイド会在籍して僅かの時間を和んでいる • 盛岡ゆうゆう大学・町内会ふれあいサロンなどで学習できる • 盛岡市の「ゆうゆう大学」2年目。楽しく参加しています。	
9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	• 自治会行事への参加 • 気象予報士として地域で「天気教室」「防災講座」を開講 • 町内会への活動など • 少子化による子供会や、地域の行事の減少 • ボランティアがしづらい世の中？時代？少しだけしている • 自治会活動	• 町内会活動2年目。自学、自習の場でもあり、やりがいもある。 • 調理ボランティア週1回 • 会場遠い所など道路雪ふったり天候悪い時参加したいが思うだけ • 高齢者ではあるが、これまでの経験を活かし、町内会等地域におけるボランティア活動を通じ地域への恩返しできることを嬉しく、活動を続けている。	• 高齢化による機会の減少 • 以前福祉関係で週一でボランティアしていたけどもすごくいやな事がありやめました。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 介護施設でボランティア活動	• 地域ボランティアや役員として土日が潰れる • コロナ以降に地域の活動が少なくなりそのままになっている。 • 地域の和っか会・はまなすの会に出席 • 近隣の高齢者の通院等の補助をボランティアとして実施 • 老人クラブ（太田地区も含め）の企画、運営	
10 趣味・娯楽活動の場所・機会	• 好きなことを自由にできている。 • 趣味が多く、自由な時間を確保するように心掛けている。 • 求めて自分から参加するには、地域的には不便さや交通事情もありおっくうである • 全て良好 • 身体的には不調が続いているが趣味の時間を確保できるようになり、それを通じて、バザーに参加したり、友人との交流が増えて次へのやる気になった。 • 行ってみたい、体験してみたいと思ったことを優先してできた • 趣味の無線の会社が年2回談笑のアルコールの会が • 旅行の頻度 • 趣味を学べるような場がもっと欲しい。去年仕事を辞め、現在主婦だが、次の仕事が決まるまで自分を輝きたいと思っていたが、なかなか勉強・趣味などを学べる場が少ないのが、とても残念でした。 • マージャン • ライブ参加を年1回は必ず行って、仲間やアーティストに会えることが元気の源元です • TV や読書等退職したからこそ時間を気にしないで思いっきりやれるので • 自分の好きなテレビでも(BS)妹の家で見れる事 • やろうと思えばできるものがある • コンサートに行って楽しむ時間がある。 • ライブに行きたいが岩手だとなかなか行けない • 読書(自宅)	• 年と共に最近は釣行(海(遠距離))が皆減しました。 • 今まで趣味がない為どうするか考える • 源流釣りをしています • 習ったり学んだりしたくても場所と機会がない • 会場遠い所など道路雪ふったり天候悪い時参加したいが思うだけ • 50 年以上続けている趣味は公民館活動の一つ • 友達とお休みに出かけたり趣味の共有が出来るので楽しいです。	• 日曜大工程度の物をたまにしていく。 • 近くに趣味・娯楽活動の場所・機会が少ないように感じる。 • 公共交通機関が少ない。又は無い
11 家族との交流	• だんらん • 仕事をする時間を短縮し、家族のために時間を使えるようになった	• 殆どが家族との時間 • 休日はたいてい息子、娘の練習や大会の帯同(コーチとしても)忙しいが充実している	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 実家の家族との交流 • 子供達のスポーツ活動への帯同。 • 一緒に、温泉に行く • 家族といられるのは重要で大事だと思う。 • 今は、子供も小さいため、知人や友人とプライベート会うことがないので、そこも出来ればいいなと思います。 • たすけ合って生活している • 家族と過ごす時間が多い • コロナ禍で制限されていたことが、ようやくできる様になってきたと感じています。 • 娘・孫が海外に移住しており、旅行が楽しみ。 • 全て良好 • 子どもと余暇を過ごせている • 子供や孫との交流が多い • 家族で誕生、父、母の日、正月お盆、なにかに付けて食事会 • 家族はもちろん親戚ともコミュニケーションが取れる事 • 年に何回か、子供達と集まって会食している。 • キャンプなど	• 家族との旅行、買物など • 家族とうまくいかない • 子供の応援 • 個人主義となり、交流できていない • 子どもや孫たちが遊びに来てくれるといろいろできる • できるだけ、かかわりをもち、良い関係が保たれていると思います。 • 家族と出かけたりする事。	
12 知人・友人との交流	• グループ LINE にて会えずとも共有したり相談できる • 知人、友人との交流で色々な情報を得、楽しめている。 • 年齢もあってか、仕事が忙しく友人と会う機会が減った。 • 友人とも自由に会うことができる • ゴルフ、マージャン • 全て良好 • 友人とヨガをしている。家族も大事で私が中心になっている • 飲み会でリフレッシュ	• 地区の卓球愛好者との交流が楽しい。 • 元職員の同僚、そして小学校からの友人数名とお話しできる • 集り等に参加している • 仕事で暮れ、これからの近所付き合いを考えている。 • 同級生友人とは楽しく話合っている • 老人クラブを通して交流 • できるだけ、かかわりをもち、良い関係が保たれていると思います。 • 友達とお休みに出かけたり趣味の共有が出来るので楽しいです。	• 高齢化による機会の減少 • 姉2人とやや何でも話せる友人2人 • まったくないです。コミュニケーションへたで他人はこわいです。
13 その他	• YoutubuやXなどで活動。調査。 • 温泉 • ペットとの交流	• 金銭的に余裕がない • 休みに平日やらなかった家事や用事をやりがち • 身寄りのない親族が入院し施設に入ったりと何かとする事が多いので、気が休まらないし時間がないと感じる事が多い。	• 父の介護で手一杯です。 • 今女性首相の口がわざわいのもと • 体力低下で思うように活動できない

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 嫁さんがみつからない • 給料が減って、買いたいものも我慢している。趣味や旅行にもお金使えない	

(3) 家族関係

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 同居の有無	• 同居をしていない。今が楽でストレスもほぼない。 • 同居していることで時間を共有できる • 様々な面で家族に支えられていると感じる。 • 同居家族がいないとフルタイムでの勤務は難しいから。 • そばに誰かが居る安心感。 • 4人家族 • 同居の有無 • 気をつかう事 • 同居している(高齢にも関わらず)家事頼り大。	• 長男夫婦と二世帯住宅で同居している。(孫 3 人) • 親と同居。今の所、介護負担はない。 • 完全同居なので、不便も多いが、たすけてもらえる • 一緒にいて会話が多いわけでもないが、一緒に買物に行ったりして、二人で協力して生活しているので、良好ではないかと思っている。 • 同居だがよくやっていると思う • 実母との同居 • 高校教師のため息子家族とは年3、4回のみ交流 • いっしょにいるのがいやだ • 義母との同居 • 妻と同居 • お互いに相談し手助け出来る • 妻と同居している • 農業で仕事が一緒なので • 高齢の両親との同居が良かった思うときもあれば、大変と思うときもある。(将来が不安) • 実父母との同郷で常に会話があり、助けてもらっている	• 同居の親が年をとり、コミュニケーションが難しくなってきた • 妻と同居。子供は独立
2 会話の頻度(多い・少ない)	• 会話が多く、仲良くできている。 • 妻と 2 人暮らしですが会話は十分有ります • 会話が多い • 会話の頻度が多いから。 • 夫としっかり目を見て会話ができている • 子供が思春期で、なかなか心を割って話をしてくれない。 • もっと一緒にいる時間を確保したい(平日) • 仕事や地域役員のため時間がない • 同居している(高齢にも関わらず)家事頼り大。	• 会話を多くする様に心掛けているし、孫の話題・帰省・上京を多くしている。 • 長女が近くに居るので毎日のように家に来る • 子供達も仕事をしている為、頻繁では無いが連絡は来るので、まあこんなものかと。 • 充実 • 妻との会話はあるが、息子との会話が非常に少ない。 • 子どもとは会話があるが、配偶者とは会話なし。努力していたが、改善無し。 • 妻との会話が多い • 毎日、一緒に食事をとりながら会話がある。 • 夫とは会話がある方だと思う	• 妻と一緒にいる時間が多く会話が多い • 会話が少ない • 会話をすることがあまりないため

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 用事がある時の会話のみ(妻と) • 未婚であることや、母親と２人暮らしであったが２年前に入院したままで、今は１人暮らし、その事で、姉が別世帯だが母親の遺産を生前にほしいと言い出し、私は反対していてケンカ別れ状態で、口もききたくない状況 • 今は両親は亡くなって、独身ということもあって、一人でくらしてます。兄弟は3人で下に妹2人、たまに会って1，2時間話すくらいです。 • 家内と会話をしながら笑って暮らしている。 • 夫・義母との会話が多い • 会話は少ない方だと思う。だまっていてもわかる。 • 会話の多い方と思う。とことん話し合う。 • 実父母との同郷で常に会話があり、助けてもらっている	
３ 一緒にいる時間(長い・短い)	• 家族や両親の身の周りの世話をする時間を確保できていること。 • 別々に暮らしているので、ある意味適度な長さかな • 趣味が一緒でほぼ一緒にいる時間が長い • 少しの事でも、話し合いで良くなっている事かな? • もっと一緒にいる時間を確保したい(平日) • ほとんど土日は２人で行動していますので、良好な関係です。 • 職場も同じためほぼ一緒にいる • 仕事や地域役員のため時間がない	• 一所にいる時間が長いと相手の"つい"欠点をみてしまう。 • おやとけんかをしています。 • 毎日一緒にいる時間が長い。もういやだ。 • 一緒にいる時間長い • 毎日、一緒に食事をとりながら会話がある。 • 終日妻と一緒にいる • 農業で仕事が一緒なので • すぐに話し合える	• 仕事のシフトがすれ違いで会話機会が減りがちだ • 妻と一緒にいる時間が多く会話が多い
４ 家事分担のバランス	• 身体の痛みでやれない家事を手伝ってくれる • 私が入退院を繰り返してきたので、家事の多くを夫がやってくれるようになった。 • 食器洗い・洗濯物取り込み・清掃 • お互いがお互いを思い合って家事をしている • 同居している(高齢にも関わらず)家事頼り大。	• 子供の送迎。日々の洗濯等の分担 • たまに家事を手伝ってくれる • 共働きなので、自然に分担、できるほうがやる感じになっている。 • 共同分担 • 食器洗い • 役割を尊重して生活している • 食事後の食器洗浄等は私がやっている • ゴミ出し、フロ掃除、食器洗い、買い物などを行っている。 • 妻と役割分担して暮らしている • 家事を手伝ってもらっていて、とても助かっている。 • 家事はほとんど主人にお願いしている	• 家事の大半を担っているが、これで良いのか? • 主婦はいつまでたっても現役家事をしていて主人は何もしない • 夫婦間の家事分担がバランス悪い

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
5 ペットの存在	• 猫4匹に家族皆癒されている • 現在猫3匹と生活 • 夫婦と犬の生活であり、ペットに癒しを感じる。	• ペットは癒しです • 実父母との同郷で常に会話があり、助けてもらっている • 帰りが遅くても迎えてくれます	• ペットの存在が関係性に好影響。 • 猫を飼っていて癒されている
6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）		• 母の認知症のためストレス • 義母との色々なバランスがうまくできない • 地域における活動や健康であることが、妻や遠くにいて暮らす子供達に安心感を与えている。 • 何か困った事があれば連絡はあるので、まァそんなとこですか。	• それぞれ自由に過ごせる時間がある。 • 家族が無視する • 自分が家に帰るのが遅かったり、夕食を食べるのが遅くなるため。
7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	• 仕事を辞めても経済的な心配はしていない。 • 自分が仕事を辞めてしまったので早く働かなければどんどん家計に負担が出てしまうので。 • 米、野菜を作って、経済的に助かっている • 経済的な協力 • 再雇用になったので給与が少なくなった	• 収入が少なく負担や不安をさせている • 農業による収入の確保 • 充実 • 医療費が高いので負担に思う。 • 年金以外にも収入があり、行楽などが多い。 • これから年を取っていくので、迷惑はかけたくないなと思っています。 • 経済的に貢献している	• 自分が経済的に貢献できていない。 • 自分が給料が少なく、家に入れるお金が少ないため。
8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	• 精神的に助けられている。 • 様々な面で家族に支えられていると感じる。 • 時に負担に感じることもあるが、支えてもらっているのも大きいから。 • 病気の前兆から種々支えられ大 • 家計や進路など大半が自分のため、つかれる	• 家族旅行(旅は気持ちを豊にする) • いつも味方がいるという安心感 • 精神障害の甥がいる、その父親である兄はそのムスコがかわいいいだけでまともな判断を失っている。そのおかげでまともな家族関係を失った。 • 苦痛 • 家族には精神面経済的に助けられています • 長女、孫が来てくれる • 義母との色々なバランスがうまくできない • 自分の親の介護に対する不安 • 遠くで暮らす子供達や孫達とのラインやメールなどにより情報交換できたり、一緒に集まったりすることが小生の元気の源にもなる。 • 転ぶ前に手をさし出されている様な助け方をしてくれる。 • どちらも助かっています	• 慣れない介護で気持ちに余裕がない • 自分も、精神的に参って来てる。 • 父親とうまくいかない。精神的苦痛。 • 家族間で改善に向けての話がなかなかできない • 何事にも協力的でない • 家計や進路など大半が自分のため、つかれる
9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	• 特に、生活費には困らない • 県内では安定した会社が少なく、給料安い。その分自分の年金の持出が多い。もっと正社員となれる会社が欲しい	• 介護や入院がないので、今のところ良いほうだ • 精神障害の甥がいる、その父親である兄はそのムスコがかわいいいだけでまともな判断を失っている。そのおかげでまともな家族関係を失った。	• 主人の収入がない • 同居の家族ではないから、姉の子が東京に居り、持病があるため毎月の仕送りをしている。姉夫婦は死去しており、後妻はとても酷い人だったため、別居。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 事業規模拡大に対する人的支援 • 夫が働いていて、充分な所得がある。 • 様々な面で家族に支えられていると感じる。 • 家計や進路など大半が自分のため、つかれる	• 家族には精神面経済的に助けられています • 子供の生活費(大学生)負担である • どちらも助かっています	本人は 30 才過ぎたから仕事できていないと思われる。(通院療養) • パートで仕事しているが配偶者からの金銭援助がない。(家計分離)
10 困った時に助け合えるかどうか	• 1人暮らしではあるが何か困り事があると兄弟が集まって助けに来てくれる • お互いに困ったときは助け合って生活している • 電話で連絡し内容を聞いてもらう • 困ったときに助け合っている • 困った時等相談相手になる • 私が入退院を繰り返してきたので、家事の多くを夫がやってくれるようになった。 • 兄弟や娘と良い関係 • 病気の前兆から種々支えられ大	• 当り前 • 一緒にいて会話が多いわけでもないが、一緒に買物に行ったりして、二人で協力して生活しているので、良好ではないかと思っている。 • 家族が病気の時助けあえる • お互いに相談し手助け出来る • 上記のようなので困った時助け合える • 充実 • 転ぶ前に手をさし出されている様な助け方をしてくれる。 • 実父母との同郷で常に会話があり、助けてもらっている	• 確約できない
11 家族はいない		• 自分独り身独身ですが、親の子(自分と妹、妹)3人います。	
12 その他	• 家族で温泉		
番号選択無し	• 妹に助けられている(同居)	• お互いに良く話あえて良い関係だと思う • とても良い関係が保たれていると思います。幸福です。	

(4) 子育て

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	• 両親が近くにいること • 祖父母がおなじ地域に住んでくれているので。 • 子供を預ける環境が整っている • 恵まれていると思う	• 近くに親が住んでおり、すぐに預けられる • 子の祖父母に放課後みてもらえる • 子供の送り迎え等、協力してくれる家族がいるから。 • 環境に恵まれている • 預けられる人がいなく医療機関や遊び場もない	• 親がボケてしまった。
2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	• 充分に対応していただいている • 近くに保育園児童館がある	• 葛巻町は幼稚園が無くなり、保育園だけとなってしまった為。 • 近くに頼れる親族がいないが、日中の一時保育施設が複数あるので安心できる。 • 今は保育料も無料化で子供をあずけやすい環境になっていると思う。 • 私達が子育ての頃は保育園の定員が少なく入園できず、大変苦労。今は子供も少なく解消されている。	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
3 配偶者の家事への参加	• 家事の分担ができること • 恵まれていると思う	• 主人が家のことをほとんど行ってくれます • 妻が良く子供を看てくれる。	• 皿を洗っていないと不機嫌になる。
4 子育て支援サービスの内容	• 病児保育が充実されていない	• 医療補助はありがたい	• 充実している • 子育て支援の制度は整備されてきていると思いますが、実態が十分に伴っていないと感じます。
5 子どもの教育にかかる費用	• 子供が学費が全くかからない進路を選んでくれた。 • 第2、3子無償 • 経済状況が良くないため、子供の望む進学が出来ない • 制服の費用が高い。	• 教育費が高い。給食費を無料にしてほしい • 子供3人、公立大学まで卒業しているが、当時正直しんどかった • 市の話にはなりますが、未満児保育の無償化をしてほしかったです。 • 葛巻には塾が無い為、公的な塾は存在するが、それで十分なのか?	• 公的支援を拡大してほしい • 収入に大きな変化がないのに対し、子の成長に比例して教育費が上がっている。 • 学費の負担が大きいと感じた時があるため • 収入によって教育費の免除にひっかかっていた
6 子育てにかかる費用	• 大学までのお金が心配。	• 子供の費用が町が助成しているから。 • 習事の費用が高い • 町の助成等もあり、現在の子育ては恵まれていると思う。 • 支援はあるが足りない	• とにかく金がかかる • 学年が上がるにつき金額が高くなる
7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	• 休みを手軽にとれる • 育児時短勤務 • 母である自分の帰宅時間が遅い	• 仕事が忙しく、子育てがうまくできない。 • 時間の融通がきく	• 労働時間が長めのため
8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	• 専従者なので、子どもの都合に合わせて仕事を抜けられる	• 福祉関連に勤めているが、つらい割に安給だ • 子供の行事等に積極的に参加してくれます	• 主人が忙しすぎて、家族の時間確保が難しい
9 自分の勤め先の子育てに対する理解	• 何かあった時には、休みをいただけるから。 • 理解がある	• 急に休んでも対応してもらえる。理解してもらえる。 • 小さい子への理解はあるが、高校くらいは無理。 • 勤め先の理解はある	• 休みを取りやすい
10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解		• 休みが取得しやすい職場です • 勤め先の理解はある	• 休みを取りやすい
11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	• 少ない(居住地周辺) • 大人も含め病院にかかりづらい • 小児科まで最低車で1時間かかる • 医療機関が充実している • 受診時、近くに良いHPが少なくて、1時間以上かけて受診する事が多い。 • 小児科が多いので助かっている。	• 医療機関が遠い(盛岡まで) • 小児科が過疎地域で少ない • 土・日もやっている小児科がある • 唯一の病院葛巻病院はあるが、小児科が無い為、他の市町村へ。やはりちょっと遠いかなと。 • 今は医療費助成等もあり恵まれておりいいなあと感じる • 預けられる人がいなく医療機関や遊び場もない	• 過疎地域での選択の不便さ • 充実している • 内科などはあるが皮膚科がない
12 子どもの遊び	• 遊び場が少なく、他県、他市町村へ行くことが多い。	• 自然は恵まれているが整備された遊び場などは無	• 不審者がよくいるのと、熊が出やすいので、子供一

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
場(公園など)の充実	• 子供の遊び場がある • 学校、公園が充実している	い • 遊び場が少ない • 近所に公園がない。 • 子供が外で遊べない • 預けられる人がいなく医療機関や遊び場もない	人で外に出しにくい。 • 屋内で子どもたちが自由に過ごせる場所が無い • 過疎地域での選択の不便さ
13 子どもの習い事の選択の幅	• 習い事が週末に限定される、そして町場に行かないとない	• 親が送迎しないといけないため幅がせばまる • 近辺には珠算位で選択できない • 子供がやりたい事に近い習い事が少ないと思う。※勉強以外のもの。 • 預けられる人がいなく医療機関や遊び場もない	• 過疎地域での選択の不便さ • 田舎に進学塾等はない
14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	• 孫がいるが近くに住んでいるので手伝うことある。留守番など	• 既に独立している • 子そだては卒業 • 子育ても終わった 75 才の私には過去形で語るより⑭にしました	• 子供がそれぞれ独立したから • 高齢者世帯であまり感じない • 地域柄(子育て世帯が一世帯のみ)。ここで若い人達は子育ては大変なのでは…。自分の孫はここでは難しいのではと思ってしまう。
15 その他	• 子育ては終了したが家庭や地域の環境を鑑みると子育てはしやすかったと思う • 言葉の教室場所の学校の設定。設定されない学校の子は親の送迎が必要。開催時間が午後2時～で、ひとり親には負担。(600 円程かかる代行サービスを使えと言う関係者に疑問)	• 子育ては終わっている(4人) • 市内に医療機関がそろっている。 • 自分の子育ては終っているが、孫達が遊びに来るのを私達も孫達も楽しみにして、仲良く暮らしている。	• 親は共働きで習い事の送迎を全て担っている • 子育てが終ったので

(5) 子どもの教育

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 学力を育む教育内容	• 他県と比較すると学力が下のように感じる • 世界的には高水準。しかし重要な課題がある。文科省と教職員のリベラル、左翼的思想が強いこと。日本の歴史文化を軽視し、捻じ曲げ、軽蔑している人が多い。このため多くの子供達は自国に対して劣等感を抱いている。日本こそ最も理想的で文化レベルの高い国であることを教職員が認識する必要がある。 • 評価、対象内容が不透明	• 岩手の学力が低いと思う • 子供の学力及び教員の能力が低い • 葛巻高校は公営の学習塾あるというが、はたしてそれだけで十分なのかな。 • 中学生の息子の学校で点数 20 点以下が 40～50%の時がある。教え方が悪いのか問題の作り方が悪いのか分からないがおかしいと思っている。 • 時代に合っていない教育 • 学校で有意義に過ごしているから。	• 学習内容が終わらないとよく聞き、心配しています。 • 子供自身が自分で考え行動する力がなくなってきている様な気がする事 • 学校の授業が分かりにくい。クラス崩壊状態のためうるさくて聞こえない。学校に行くだけでは十分な学力が身につきにくく、学校をなんとかしてほしい。 • 学力が低い(他の県に比べて) • 時代に合わない学校、同じことを一緒に学ぶのはおかしい • 不登校の生徒への教育を変えてほしい。(ほぼ授業を受けられないため。) • 過去の事は忘れているので
2 人間性、社会性を育むための	• 小学校の中でしっかりと教えていただいている。 • 子供の数が減る中、小学校の数は変わらないため	• 挨拶の出来ない、声をかけても答えない子供が多くなっていると感じる。	• 担任の先生の言動について、校長に相談済。(人格否定に繋がる言動をしない様伝えている)

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
教育内容	複式学級が増えているが、今の学校体制で満足のいく教育が得られるのか不安に思います。 • 様々な体験を通じて社会性を身につけている • 世界的には高水準。しかし重要な課題がある。文科省と教職員のリベラル、左翼的思想が強いこと。日本の歴史文化を軽視し、捻じ曲げ、軽蔑している人が多い。このため多くの子供達は自国に対して劣等感を抱いている。日本こそ最も理想的で文化レベルの高い国であることを教職員が認識する必要がある。	• 教師の質の個人差、高齢者の指導が古く、現代では問題となる様なこともある。 • 自分の子は良くても周りの子はどうなのか • 個性を潰す教育 • 人数が少ないため制約がある	• 子供自身が自分で考え行動する力がなくなってきている様な気がする事 • 友達の大切さ、友達が困っていたらどうする？など社会性を学ぶ事が少ない
3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	• 特別な活動で、チームワークや上下関係や教え合うしせいがつくられていって良い • 少子化によりスポ少等活動の選択ができない • 季節にあわせたスポーツをやっているので。	• 猛暑や感染対策でプール等が容易に中止になり、身体を動かす機会が少ない。 • 小規模校の為、先生と生徒が睦まじく学校生活を行なっています。 • 学区内の教育機関で部活動が熱心に取り組まれているのを聞くので • 子供の出生数減少の為、クラブ活に影響が出ていると聞きます。 • 人数が少ないため制約がある	• 子供が体力低下 • 部活が満足にできない状況が続いている。
4 不登校やいじめなどへの対応	• 生活指導協議会、地域教育協議会等の会議行事に出席しての様子から • いじめについては対応が難しいところもあり、不十分と感じる。 • 何がいけないのかということを大人が言っていただいている。	• 以前より不登校やいじめなど聞かなくなった • 不登校にいじめに対しては徹底的に対策をとってもらいたい。一番大事なことです。いじめなく子供達が元気に学校にいけるように。 • いじめは大人のわからない所であると思っている。対応は難しいと思う。 • 教育委員会のレベルが低い • こまめに学校生活について担任の先生から連絡があります。	• 孫が背が低い事や体育が苦手な事でかなりいじめられた • 不登校への対応が悪い • 不登校の生徒への教育を変えてほしい。(ほぼ授業を受けられないため。) • 0歳からの親の支援、人間性社会性、教師、大人の学びが必要
5 学校の選択の幅(高校、大学など)	• 高校進学にあたっての通学距離が大きく影響する • 少子化と過疎化により、小学校から高校までが廃校となり、再編・統合される昨今、進路や職業選択の幅がどんどん狭くなっていることが気がかり。	• 大学へ行きたいのに経済的理由で難しい • 選択の幅は小さいと思った。 • 高校は通学経路も考えると結構広範囲でも可能である • 近くに高校が多いので選択の幅が広いと思う • 大学が近隣になく、経済的なこともあり、進学率が低く、町発展を阻害している。 • 経済的な理由で幅が狭められていると思う。 • 中学生で自分でやりたい事がある子供は専門分野のある高校・大学へ進学等するが、まだわからない	• 大学や学部の種類が少ない。 • 大学が少ない、遠いため、経済的負担がある。 • 大学が家から遠い • 難関、上位と呼ばれる大学へ進学するには、高校2年生末の段階で3年分の過程を終了する位のことが必要だが、県内の高校はその体制が整っていない。 • 選べる学校がない(通学方法がない・親の送迎が必要になる)

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		子供達は、地元の高校が1つしかない。少子化なので高校再編等も仕方ないか。 • 充実していない	
6 図書館、博物館、科学館などの充実	• 公共の施設があるのは良いと思う。駐車場などより便性がUPすれば、もっと利用しやすくなると思う。アイーナ等 • 充実した施設が少ない。地方なため大きい施設は遠く感じる	• 物的、人的充実を望む • 充実していない	• 良い施設があるのに、活用が少ないと感じる。 • 図書館がなかなか新しくならない • 専門的知識を習得できる施設がない
7 学校教育における地域学習	• 地域の偉人である石川啄木について沢山学んでいて凄い • 公共の施設があるのは良いと思う。駐車場などより便性がUPすれば、もっと利用しやすくなると思う。アイーナ等 • 教科の学習が強化された今日にあって、先生方の労働時間管理も当然のことながら縮小の流れ。→心豊な青少年育成は誰の手に委ねられているのか。		
8 地域での教育・学び			• 先生が見てないところ
9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	• 子どもの教育に協力はしたいと思ってはいる	• 現在子供の教育に携わっていないが高学歴社会で、大学を終わるのがごく当たり前の時代になっているが、卒業後大学卒でない仕事に携わっている人が多い • 孫は近くにいないし外孫にも時々しか接しないので	• 社会人になって家から独立しているから
10 その他	• ハードル上がっている。検査員の質。 • 近所の子供達にもかかわるようにし、朝夕の声掛けもしている • 子供の数が減る中、小学校の数は変わらないため複式学級が増えているが、今の学校体制で満足のいく教育が得られるのか不安に思います。	• 子どもは全員大学まで行っている。皆幸せにしている • タブレットやパソコンを使って、SNSやゲームをする事がすぐできるので、不安になる時がある。	• 保護者が文化に関心がないように思われる。文化施設を紹介しても、大型スーパーやゲームに流れる。 • 教師の負担軽減と地域や保護者への負担増

(6) 住まいの快適

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	• 介護のためベッドを置く場所がなくリフォームが必要だった。 • 持ち家の為、広さも 45 坪ほどあり、快適といえば快適であり、スーパーも徒歩5分くらいのところにあり利便性がある • 45 年前に建てた家で家族も亡くなり広い	• 狭い • 住宅の延床面積が狭いため • 家族形態が数年以内で半減、築年数もあるがリノベ等自分の意見が反映されるようになった為 • 家族それぞれの室があるので • 2人世帯には広過ぎて、光熱費が大きい	• 一人生活には広過ぎる • 子供が大きくなり、少し狭く感じるようになった • 家族が少なく(3人)なり築 65 年の木造住宅は広いが寒くて古くて維持に大変である • 287 ㎡(2階建て) • 子供が結婚後、孫も増え、お盆、お正月は大変苦

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 部屋も多く、災害を受ける可能性があるとも市からお知らせがきたが、引っ越しやリフォームをしたとしてもなかなか金銭が厳しい。 • 広さがちょうどいいと思う • 土地 100 坪、建坪 50 で満足している • 東日本大震災で自宅が流失し高台移転をしたため • 住宅が狭い • 広い • 一人暮らしだが不便なく暮らせている	• 高齢となり広い家は不用と思い始めている • 二人の生活には十分な広さで帰省した子供も泊まれる • 不満はない • 築 50 年昔風の間取りにて保温環境悪く高齢者夫妻には難	労して迎えている。 • 築 60 年の家なので特に冬は大変寒い。 • 全て該当です（アパート）
2 居住形態(持ち家か借家か)	• 特に、不自由は感じない。 • 築年数 50 年を超えており不安 • 自分たちの音なども気にならなくなった。 • 仕事もプライベートも持ち家で過ごせる • 建てて日が浅いので快適 • 築 70 年に近いので老朽化が激しい • 持ち家 • 持ち家です。家があって生活できている事が今は幸せです。 • 借家の古さと小動物の害 • 持ち家の為、広さも 45 坪ほどあり、快適といえば快適であり、スーパーも徒歩5分くらいのところにあり利便性がある • 持ち家 • 一人暮らしだが不便なく暮らせている	• 持ち家でゆっくり過ごせている。 • 持ち家 • やや古くなってきたが3年前・昨年とリフォームした。 • 持ち家でコンビニ、スーパー(小型ですが)まで徒歩5分程度。 • 家は持ち家、近くに他の家がないので気を使わず生活できる。 • 同居だが持ち家 • 持ち家でローンもないのでそこは安心 • 持ち家なので自由に住んでいるから • 持ち家 • 借家が古くなってきた • 家族形態が数年以内で半減、築年数もあるがリノベ等自分の意見が反映されるようになった為 • 長年住みなれた持ち家で不満はない • 不満はない • 築 50 年昔風の間取りにて保温環境悪く高齢者夫妻には難	• 借家の為 • 持ち家 • 住宅が古い • 一番近い医療機関までの距離は4㎞ぐらい。スーパーも同様。自家用車タクシーがないと移動ができない • 全て該当です（アパート）
3 住宅の安全性（耐震、耐火、浸水対策など）	• 古い街なので、防犯上、防犯カメラなどの設置も無ければ、耐震、耐火など、となりとの間がせますぎたりで… • 高性能住宅に建て替えたから • 浸水や土砂災害の危険性が低い場所に住んでいるので • 築年数が古いから • 1年前リフォーム済 • 自宅が古いので少し不安 • 部屋も多く、災害を受ける可能性があるとも市からお知らせがきたが、引っ越しやリフォームをしたとしても	• 築年数が経過しているため、雨漏りや外壁にヒビが入ったりと、毎年、メンテナンスが必要なため。 • 住宅の築年数がかなりたっているが、子供の大学費用の為修繕できない • 東日本大震災の影響で地盤沈下になっている。 • 耐震耐火に備えている • 耐震、耐火、浸水対策 • 大雨になると水路が氾濫し床下浸水する • 築 50 年昔風の間取りにて保温環境悪く高齢者夫妻には難	• 両親の建てた家で 60 年以上も経つけどリフォームもできないので感謝しながら住んでいます • 耐震構造だから安心だが、築 20 年になるとあちこちリフォームが必要。屋根、壁など • 家が古い為 • 築年数が古いので、安全性が心配 • 耐震の心配、築 35 年 • 築 60 年の家なので特に冬は大変寒い。 • 全て該当です（アパート）

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	なかなか金銭が厳しい。 • 東日本大震災で自宅が流失し高台移転をしたため		
4 住宅の機能性（バリアフリー、室内の温熱環境など）	• 夏は暑い • 古い家で断熱が悪い • 昨年リフォームしたので、断熱性能が向上し、冬暖かくなった • 上水道、下水道無い井戸水。汲み取式使用 • リフォームをしたことで生活はやや快適になった。 • 介護のためベッドを置く場所がなくリフォームが必要だった。 • バリアフリーでなく2階には上がれない • バリアフリーなので安心 • バリアフリー	• エアサイクルで建てたのでとても快適です • 太陽光の設置や断熱性能の向上に要する補助が無い、薄い • 暖かい • エアコンが無い(夏が大変) • 大工さんに頼んで建てた家で悪質な大工さんでひどい目にあった。 • 二男が車椅子常用(身辺自立)家は完全バリアフリーで快適 • 住宅の築年数がかなりたっているが、子供の大学費用の為修繕できない • バリアフリーと断熱性が良いので • 家族形態が数年以内で半減、築年数もあるがリノベ等自分の意見が反映されるようになった為 • 町内の中心部の近くで利便性は良い • 不満はない • 築50年昔風の間取りにて保温環境悪く高齢者夫妻には難	• 寒い • 築年数が古いため、色々傷みが目立つようになってきた。 • 今年の寒さや積雪では、昔の家(築 50 年)は厳しかった。老人には住みにくいことが分かった。 • 震災後求めた中古住宅。姑も自身も年令を重ねて、生活するためにバリアフリーは必要だと思うようになった。 • 子育て、親の介護の時は、居住形態は快適だったが、夫の身体の障害が重度のため、居住形態が快適ではない。 • 和風のつくりのため、部屋の使い勝手が悪い • 将来バリアフリー化が必要 • 夏の暑さ、冬の寒さ対応が厳しい。 • 両親の建てた家で60年以上も経つけどリフォームもできないので感謝しながら住んでいます • 家が古い為 • 築年数が古いので、機能性が低い。 • 築60年の家なので特に冬は大変寒い。 • 暑さ寒さが厳しくなり、家の直しや光熱費がかさむ。高齢になり自分でやれることも減った
5 立地の利便性（スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など）	• 徒歩圏内にコンビニがあること。 • スーパー、医療機関まで徒歩が可能。官公庁、駅も近い。 • 便利である • スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関など利便性が良く又、県内の移動なども不便がない。 • 思い立った時に買いに行ける、病院に行ける距離だから。 • 盛岡駅前に住んでおり車がなくても生活できるので便利 • 何をするにも車で約30分、バスで50分かかります。 • 利便性を感じれないことで不安が強い • 歩いてでも、買い物出来る所があるので。 • 車がないと生活できない。店が遠い。公共交通機関が少ない。	• 利便性良いと感じている • スーパーが遠い • 葛巻町の住民は、皆感じていると思います。大型商業施設まで遠いと。 • スーパー、コンビニが近くにない • スーパーコンビニ病院郵便局等歩いて5分以内にある • スーパー近くにない。約2km、医療機関には遠い • 車を持っていないと不便 • 遅くまで営業しているスーパー、コンビニがない。 • ほぼ近くにあり、不自由はない • 持ち家でコンビニ、スーパー(小型ですが)まで徒歩5分程度。 • 立地に恵まれている • 近くに買い物できるお店がない。(車で 15 分はかか	• 公共交通機関、特にバスが少ない。タクシーは高いと共に殿様商売化で自由に出かけられない • 自動車が無いと生活できない • 役場、済生会病院近い • 歩いていけるコンビニがある • 買物には車が必要である為 • 住み始めたころより、近くの店はなくなり、バスも減少、タクシーもなかなか来ない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 立地は良い • スーパー。コンビニ公共施設等 1.5K 有 • スーパーも近いし病院も近いので安心です • 一人暮らしだが不便なく暮らせている	る) • スーパーまで4㎞とちょっと遠い • スーパー等もそれなりに近い。 • 近くにスーパーや安心して通院できる病院がないため • スーパー、コンビニ、病院が比較的近い • もう少し高齢になっても歩いて行けるスーパーがある • 5 の買い物難民(地元に商店無)以外環境良	
6 公共交通機関の利便性	• 現在の居住地に大変満足している。 • バスが無いので何も出来ないです。 • 交通機関は不便です • 駅が近く高速インターも近い • バス、汽車の本数が少ないです。 • 今現在は車を運転できるのであまり不便を感じないが、今後が心配。 • 車がないと生活できない。店が遠い。公共交通機関が少ない。 • 利便性は悪い • 選択肢の少なさ • 国鉄駅まで 500m	• 住みやすい地域ですが、バスの路線が少ない。 • バス、電車近い • 家の前がバス停 • 駅までが遠い。汽車やバスの本数が生活にあわない(少なすぎる) • バス停が徒歩 10 分位にあるので便利。 • 駅までの距離がある。駅までの公共交通機関が少ない • 公共交通機関の運行本数が少ないため • BRTの利用で家から4分程で乗車できる(停留所近い) • バスの回数不足、本線バスとの連絡が不便 • 車を持っていないと不便 • 住んでいるところがコンビニ一軒だけで、買い物はバス、電車で行かなければならないので不便です。 • 高速バス停まで徒歩5分 • バス停が近い • 5 の買い物難民(地元に商店無)以外環境良	• バスなど、もっと利用したいが、本数が少ない。 • 路線バスがない • バスの便が少ない • 公共交通機関、特にバスが少ない。タクシーは高いと共に殿様商売化で自由に出かけられない • JR、バスも減便し不便。 • 市内から遠い • バスが本数少ない • 岩泉線(JR)の廃止等、またJRバスの減便等あり、高齢者は大変である。 • 住み始めたころより、近くの店はなくなり、バスも減少、タクシーもなかなか来ない。
7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	• のどかです • 静か。公園も近い • 自然がある • 小さな公園が多く子供に良いと思う • 一人暮らしだが不便なく暮らせている	• 周辺環境も良い • 5 の買い物難民(地元に商店無)以外環境良	• 敷地脇に川があるが、敷地を侵食している。
8 周辺地域の街並み	• 子供を遊ばせるには見晴らしもいいし車通りも少ない・・・が公園が遠い • 孤立感が強い	• 大型店舗(アネックス川徳閉店)高齢者が買い物に行けず…困った。 • 見晴らしが良い	
9 周辺地域の治安	• 静かで平和 • 地域の関係性が密で、子どもの頃からのつきあいがあるので、接しやすい。 • 隣の住民がいなくなったので…	• 今年は熊が何度も出て思うような行動活動が出来なかった。 • 昔からの住人 • 安心して暮らせていると思う	• 地域で泥棒がいたが、まだ捕まっていない • 熊と不審者がよく出る。 • 変質者出現で夜に警官がでまわったり、不審な勧誘の訪問が以前より増えた。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 治安は良い方だと思う • 地域の交番のお巡りさんが家庭訪問 • 周辺地域の治安が良い • 一人暮らしだが不便なく暮らせている	• 5の買い物難民(地元に商店無)以外環境良	
10 近隣の生活音	• 静かで平和 • まったく聞こえてこないので。 • 一人暮らしだが不便なく暮らせている	• 隣家とはほど良い距離がある。 • 静かな空間である。 • 家は持ち家、近くに他の家がないので気を使わず生活できる。 • 住宅街に住んでいるので車の騒音がない。 • 近隣の人の叫ぶ声に時々、大丈夫かと不安になる。	• 隣の部屋から壁ドンされる • 借家なので隣の音が気になる。自分も気を付けている。 • 日中うるさい • 全て該当です(アパート)
11 近隣の生活臭	• 一人暮らしだが不便なく暮らせている	• 養鶏所のニオイがひどい時がある • 隣家とはほど良い距離がある。	• 野焼きの臭いがヒドイ • ブロイラーの悪臭 • 鶏舎の臭いがある • 太田油脂のにおいが、臭く思う時がある。 • 油脂産業の異臭に悩まされている
12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)		• 高台住居なれど、道路狭く救急車通れないのが不安	• 歩道に段差が多く、杖をついてもつまずく
13 その他		• 項目を並べたら不便な事ばかり。車が無いと何もできない。ただ笑って暮らせている • 海岸近くの立地なので、津波警報発令時はすぐに避難必要。 • 近所で餌だけ与えて、野放しで飼っている為、直接話すと後々何かあったら怖いので言えずにいる。 • やや寒い。全室暖房ではない • 野生動物(クマ、シカ、イノシシ)朝夕の散歩も不安	• 断熱等6以上の住宅が今後は望ましい。 • 隣の家の人との関係が悪い。とてもストレスを感じる。 • 隣の家のせいで日陰になる
番号選択無し		• 東日本大震災の後建てた家なので快適さは感じます。近所の家にも高齢化が進み、空き家が増えたり、一人暮らしが増えたり、子どもが少ないのが淋しい。	

(7) 地域社会とのつながり

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 その地域で過ごした年数	• 幼少時代から慣れたところで生活しているから。 • 41年過ごしています • 50年以上当地に住んでいる • 退職して10年実家に帰ったが同級生、町内会との繋がりがあまりないので。年1回程度お祭りの時活	• 同じ町内で長い間暮らしており、知人友人が多い • 生まれた時から同じ地域で過ごしている。 • 隣近所との面識交流は感じるが、他から越してきて定年まで他の地域に通勤していたため、隣近所より大きい社会とのつながりは薄いと思う。	• 結婚後の住居であるが、仕事をしていたので、地域のことが分からない。 • 年数が増すごとに過疎化を感じる • 隣近所、顔を見れば仲良く話せる環境

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	動のみ。 • 永年地元との関わりが多かったので	• 一関に住んで 50 年になり知人・友人隣近所と親密 • 今年度から住み始めており、地域行事を知らない。 • 44 年 • 震災後に移住したので年数は少ない • 生れも育ちも地元で学校も仕事もこの地で離れて生活したこと無 • 年数は長いが行事参加が少なかった • 生まれてからずっと • 54 年過ごした • 震災で現在住んでいる場所が 13 年目。震災前に戻りたい。 • 隣近所付き合い無	
2 自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など）	• 家族が役員と交通安全見守りしている • 朝の清掃などに参加させていただき仲良していただいている。 • 自治会の役員 • 役員をやらされているので、強制参加(やりたくない) • 行事、活動、それでいいのか、続けるだけではどうなんだろう • 自治会運営の参加 • 近所の草刈りなどはやります • 公共施設の庭園の草取り作業に参加 • 退職して 10 年実家に帰ったが同級生、町内会との繋がりがあまりないので。年1回程度お祭りの時活動のみ。 • 町内会の役員をさせてもらっており、種々の活動に参加している。 • 永年地元との関わりが多かったので	• 消防団員で活動を行っている • 町内活動の内容が分からず、参加しづらい。 • 自治会行事にはできるだけ参加している。 • 公民館の行事に参加する人が固定している • 町内会活動。草取作業。部落会館の掃除。 • 行政連絡員をしている • 町内会活動への参加で楽しく作業を毎年続けている • 近くの百才体操のお手伝い • 年に数回草刈、ゴミ拾いに出るくらい • 町内会のイベントに参加している • 時々ある集まりには参加し、交流している • 町内会活動(ふれあいサロン、年間行事)に参加している • そもそも、自治体の広報紙も配られてないので地域の一員とみなされていない。自治会費の集金もない。ただ、特に不満もない。 • 自治会の役員4年 • 子育ての時代からこの年まで町内会には関わってきました • 夫と一緒に町内会の役員を 10 年以上やっていました。現在は老人クラブの企画運営が中心ですが地域の方との関りが楽しいと思いながら過ごしています。 • 隣近所付き合い無	• 住民が減っているのに役員の数が減らない • 年2回くらいの環境美化、草とりとか協力している • 自治会に参加、するが、時々くらい。 • 地域への行事への参加等も高齢化の為、参加人員が少ない。 • 地域行事の減少 • 田舎だと 10 ㎞位離れても屋号で言うとすぐ解るが、町の中だとせいぜい2～3軒隣くらいまでしか解からない。隣近所の面識少なく交流もない!!自治会、町内会の活動もない。町内会の班長の時少し顔を合わせる程度 • 人口減少によるコミュニティ組織簡略化で約当番が減り、地域活動が激減したため。 • 町内会の解散 • 体が不自由なので、参加してもやれることがないと思ってしまう。 • 町内会の体育部になっていますが、人が少ない。 • 班長を行ったくらい。 • 行事の減少、縮小
3 地域の行事へ	• 地域差はあると思うが、多くの活動を開催いただけ	• 地域の生活応援センター等行事に参加	• 参加しにくい感じがある

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
の参加(お祭り、スポーツ大会など)	ている と感じる。 • 普段は地域との交流は多くありませんが、回覧板などによる情報提供があり助かっています。 • お祭り • 参加している • 役員をやらされているので、強制参加(やりたくない) • 夏祭り参加(山車作り、祭りの山車運行等に参加) • 町内会の役員をさせてもらっており、種々の活動に参加している。 • 永年地元との関わりが多かったので	• いろいろ • 雫石町裸祭りの行事に参加している • お祭りや消防団に参加している • 地域の行事にも皆で協力出来ることはし、スポーツ大会にも出ている。 • 近隣の友達同士で行い、入る隙が無い。 • 隣近所付き合い無	• 子供が成長すると関りがうすくなる • 球技大会に誘われる • PTA活動が終了したから • スポーツ大会に積極的に参加している • 地域になじめず不参加。田町村から移り住むとなかなか交流できない風習がある部落です。 • 地域行事の参加者が減っている。人口も減っているせいか • 子供達が独立すると、地域への参加等も少なくなります。 • 地域行事の減少 • 人口減少によるコミュニティ組織簡略化で約当番が減り、地域活動が激減したため。 • 少子高齢化による行事参加者の片寄
4 学校・子ども会の活動への参加	• 地域差はあると思うが、多くの活動を開催いただけていると感じる。 • 近所の人々と公民館でのカラオケ	• 子供会の集まりには行くようにしている	• 子供が成長すると関りがうすくなる • コロナ以降、学校行事や子供会の行事も少なくなり、つながりが薄いと感じる。 • 少子高齢化による行事参加者の片寄
5 隣近所との面識・交流	• 近所の奥さん達とかは、会話などしますが、年配の方ばかりなので… • 長期で不在となる時に声をかけたり、日々、様々な情報の交換をしている。 • 民生委員ではないが、医療機関への通院、生活相談等への対応をしている。住宅改修等も • 隣近所は面識のある人ばかりで交流がある • スポ少を主宰 • 町内会の役員をさせてもらっており、種々の活動に参加している。 • 永年地元との関わりが多かったので	• 隣近所の方と良好な関係でいる。 • 近所づきあいがごく数人しかいない • 近所や自治会、部落、民生委員など、一人暮らしの老人を守る支援するコミュニティーがある。とても助けられた。 • 良好 • 私は 87 才の老人で一人暮らしで居るが近所の人達は声を掛けてくれる • 近所との交流がほとんどない。会うと挨拶する程度で、長話しするこ事もほとんどない • 交流した方が良いとは思っているが、できていない。 • 日中、あまり隣近所の方と会う機会がなく、知らない人もいると思う。 • 自治会行事にはできるだけ参加している。 • なかなか顔を合わせることがない • 隣近所との面識交流は感じるが、他から越してきて定年まで他の地域に通勤していたため、隣近所より大きい社会とのつながりは薄いと思う。 • 回覧板、区長の見廻り等々挨拶で親近感を保つ • –	• あまり交流はない • ほとんど交流なし。挨拶程度 • 自分の親世代までは地域の交流が盛んであったと感じるが 自分の親の聞くらいの世代から少なくなってきていると感じる。 • 若い人との付き合いはない。昔からいる人とは OK • 周りとの交流がないので • 転居の人が多いので • 田舎なので仕方ないが基本近所づきあいはしたくない • お隣さんとの元気なあいさつ • 隣近所とはあいさつ程度の付き合い。 • 転入者が多くなっている。交際の機会がない • 仕事が常勤(フル)のため平日・日中不在のため。また上記理由もあり交流ほぼ無し。 • 隣近所、顔を見れば仲良く話せる環境

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 年数は長いが行事参加が少なかった • 交流がある • 隣近所とも仲良く、自分の畑で沢山収穫した時はお互いにおすそ分けしてくれる • 夫と一緒に町内会の役員を 10 年以上やっていました。現在は老人クラブの企画運営が中心ですが地域の方との関りが楽しいと思いながら過ごしています。 • 近隣の友達同士で行い、入る隙が無い。 • 隣近所付き合い無	
6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流（公民館講座、地域のスポーツ活動、スポーツ少年団など）	• 交流がない • 県内広域が有る(趣味を通して) • 公民館活動も多い • 交流によって、楽しめている。 • 町内会の役員をさせてもらっており、種々の活動に参加している。 • 永年地元との関わりが多かったので	• 老人クラブの定期的集まりスポーツ • 地域としては、不活発と感じる • 町の伝統芸能をしている。 • 地域で行っている百歳体操等 • 近くの百才体操のお手伝い • 健康講座、町内会会員の経験談、施設見学などに参加している。 • 趣味の会を通じて交流 • 夫と一緒に町内会の役員を 10 年以上やっていました。現在は老人クラブの企画運営が中心ですが地域の方との関りが楽しいと思いながら過ごしています。 • 近隣の友達同士で行い、入る隙が無い。	• スポ少に所属しているが、自身が運動不足のため、不参加中 • ほとんど交流なし。挨拶程度 • 公民館活動が少ない
7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	• 見守りがない	• 親の介護中も現在一人暮しでも民生委員が来たことが一度もない。→他の地域(市内)の人の話とは、全くちがう。 • 自身民生委員として活動している。 • 民生委員で活動している • 民生委員は何をしているかわからない。会った事も無い。	• 民生委員の方はよく来てくれる
8 地域の身近な情報に接する機会	• 情報が早いので助かっている。 • 良くも悪くも自然に情報が入ってくる • 町内会の役員をさせてもらっており、種々の活動に参加している。 • 永年地元との関わりが多かったので	• 町内会で防犯活動(パトロール)等に参加している。 • 地元の消防団活動をやり、地域の環境整備等をおこなっているから。 • 近所づきあいがごく数人しかいない • 夫と一緒に町内会の役員を 10 年以上やっていました。現在は老人クラブの企画運営が中心ですが地域の方との関りが楽しいと思いながら過ごしています。	• 高齢化やコロナ禍で交流の機会は少なくなっていると思う。もっと地域で交流するイベントや●●があると良いと思う • いろんな研修会などに参加しているが、近隣では行われていないので遠方に行く事が多い • 知りたければネットで検索している

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
9 その他( )	• 地区の役員してます • 仕事の一環でイベントを企画し、行政を巻き込んで地域、職場で取り組んでいます。 • 地域社会とのつながりは、個々人、コミュニケーションだと思う	• 仕事をしているため町内会活動には出ない	• 地域住民の高齢化により、交流の負担増しています。 • 加齢で外に出歩けなくなった。 • 社会との関わりがないため実感がなくなった。体が健康ではない夫の介護で日々終わってしまうため、仕方ないと思う。 • 借家ということもあるのか町内活動などへの参加有無がない。どんな活動をしているのか全くわかりません。

(8) 地域の安全

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 犯罪の発生状況	• ほぼありえない環境 • ほとんどなし。 • 犯罪の話は聞かない • 大きな事件、事故もなく • 犯罪が少ないと思うが今後は不安がある。くまの問題。 • 犯罪等等に不安に思った事はない。 • 以前隣のアパートにいた方が窃盗で捕まっていたので、アパートには色々な方がいるので怖いと思った。 • 犯罪の話聞かない • 犯罪の発生はありません。 • 住み良い町 • ほとんど犯罪がない • 少ないのでやや安全性を感じる為 • 犯罪なし • 地域で犯罪がないから	• 発生した情報がないこと。 • サギの電話らしき物が、何回もかかってくる。 • 近隣の地域において犯罪が発生して警察が来たとか火災の発生、自然災害の発生を聞いたことがない。 • 犯罪は身近では少ないと思う • 犯罪がない • 発生なし • 発生なし • 少ない • 犯罪が少ない • 地区内での犯罪が少ない • 発生件数が少ない • 犯罪がない • 空き家の多い地域ですが何事も無いので • 過去、現在に至り発生していない。 • 町内会活動で種々啓蒙を行っており、効果が実感できる。 • 犯罪は少ないと思うが、近年のクマ等の被害が心配です。 • 犯罪の発生少なく、安全だと感じる。シカ、イノシシ等市委託の人が罠で捕まえてくれる	• 過去に犯罪に遭いそうになった(玄関のガラスを割っている人と出くわす) • 多いと思う • 市内で未成年の犯罪が続いていて、親として心配です。該当の学校では保護者説明会も開かれていないと聞き不安もある。 • あまり聞かない • 5 年前と 1 年前に自宅前に停めて有る自分の車から、6 万円と 5 万円、盗まれるという事があった、犯人はみつかっていない • 外国人の事件が身近で発生している • いつ何があるか分からない時代だ
2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	• 警察のパトロールをよく見る。 • 防犯隊 • 防犯パトロールの人たちが朝に立っていてくれる • 自分が参加している。	• 防犯カメラの設置が、まずない • 住宅街に防犯カメラが無く、街灯も少なく暗い。 • 一人暮らしの方を守る支援するために、見守り電話や声がけなど実施。	• 近所の人が不審者を見たようだが、街頭防犯カメラがあれば良いと思った。 • 警察官の体制がルーズです • 近所で空巣、不審者などの被害がある。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 不審な電話について、役場に相談に行ったらていねいに対応してくれ、交番につなげてくれた。	• 夜は真っ暗で外を歩くのは怖い • 防犯カメラの設置箇所が少ない。犯罪発生時のことを考えると増設を望んでいる。 • 昨今の特殊詐欺事件を思うと、地域の道路などに防犯カメラなど安全対策がなされていないことに不安を感じる。 • 高齢者が多いため体制としては弱い • 犯罪は少ないと思うが、近年のクマ等の被害が心配です。	• 交番に誰もいない • 街灯は少なく、カメラも無い。夏は暴走車が多い。
3 交通事故の発生状況	• 交通事故昨年1件 • 交通事故なし	• 通学路なので、車もいきかうことも多いので。 • 最近、交通事故が多い。 • 発生なし • 近所で交通事故が少ない • 発生件数が少ない	• 住宅街だが往来する車はスピード出過ぎだ
4 交通事故の防止(歩道の整備など)	• 近くの交差点でよく事故があるが、信号機が設置されない • 周辺にカーブミラーの設置が望ましい。子供が多い事から。 • 歩く歩道が整備されてきている。	• 歩道の整備は進んでいるものの不十分 • 通学路のアンダーパスの道の細さや歩道がない所がある • スクールゾーンの道幅が狭く車でのすれ違いが危険。又、街灯が暗く少ない。 • 今はそれほどでもないが、車や自転車のマナーが悪い	• 歩道の整備はできていない。車の運転中に子供が飛び出てくる。注意して運転している。 • 街灯は少なく、カメラも無い。夏は暴走車が多い。
5 火災の発生状況	• 犯罪等等に不安に思った事はない。 • 少ないのでやや安全性を感じる為 • 火災0件	• すぐそばで野焼をされる、もらい火が恐い • 近隣の地域において犯罪が発生して警察が来たとか火災の発生、自然災害の発生を聞いたことがない。 • 発生なし • 昨年県内で大きな火事があったため • 地域で防災活動に取り組んでいる	
6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	• 消火栓近くにない	• 消火栓、防火槽無し	
7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	• 町内会や地元交番の防犯活動	• 地域の消防団が見廻り声かけ運動をしている • 自治会で防犯灯設備 • 活動は精力的に行われている • 町内会活動で種々啓蒙を行っており、効果が実感できる。 • 地域で防災活動に取り組んでいる	• 町内で「自主防災」のメンバーに入っていましたが、区画整理が始まってからは、自然消滅となっています。 • 消防団員の減少 • 過疎化インフラの低下が著名 • 防災体制の書き物は有るが機能が心配 • 若者の消防団員が地区に多くいます。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
8 自然災害の発生状況	• 自然災害の発生がほとんどない • ほとんどなし。 • 海もないので津波もない	• 川・山から遠く安心である。 • 川が近くになく、高い所にあるため水害は今まで聞いたことがない • 津波浸水区域だから • 大雨が降ると泥とかが流れてくる • 過去、現在に至り発生していない。 • 近隣の地域において犯罪が発生して警察が来たとか火災の発生、自然災害の発生を聞いたことがない。 • 発生なし • 過去に小規模な災害があったが、今はほとんどない • 水害はないが雪害が若干あります	• 水路が氾濫し床下浸水する • 海が近いため津波が怖い • 海溝型の巨大地震、最大クラスの津波がいつ発生するか心配。 • 少ないと思う • 今のところ身の危険を感じる自然災害は起きていないが、今後は不安もある。 • 個人で防げるものではない • 山寄りの家も結構ある。九月に熊が出た。九月に一頭捕獲した。
9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)		• 震災以降、整備されている。 • 大雨など、土砂崩れなどの対策が行なわれているかが明確に行われているか分からないため。	• 北上川、山田線にはさまれていて、河川敷も線路ぎわも草ボーボー。今まではボランティアと思い刈ったがもうできず、シカ、キツネなど出ている。熊も出ると思う。駅前の観光目的の美化ほどでなくていいので、国やJRと協力してせめて歩きやすいくらいに刈って頂きたい! • 避難所までが遠いのが心配。 • 地震に強い地盤の建設 • 河川の整備がおろそか
10 災害に対する行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	• 防災体制はととのっている。 • 住み良い町 • 情報発信でたらめ • 岩手山噴火や熊については市で情報を出してくれていると思う	• 普通の時は十分安心安全な地域と感じていますが、地震・津波の際、直近の宮古短大体育館へ避難すべきだと思うが、宮古市の避難所に指定されていない、市有・県有の話をされるが、それは市民には全く関係のない話である。改善すべきであると思っているが、なぜ出来ない？やらないのか解らない。	• スピーカーが遠く、何を言っているかわからない。(おいてけぼり)
11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)			• 北上川、山田線にはさまれていて、河川敷も線路ぎわも草ボーボー。今まではボランティアと思い刈ったがもうできず、シカ、キツネなど出ている。熊も出ると思う。駅前の観光目的の美化ほどでなくていいので、国やJRと協力してせめて歩きやすいくらいに刈って頂きたい! • 市の食改で知識を得てます。
12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染		• 町内会活動で種々啓蒙を行っており、効果が実感できる。	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など）			
13 社会インフラの老朽化（橋、下水道など）	• 川の底が壊れている(市に予算が無い) • 家の前の川の河川改修をすると県から説明を受けたが、10 年以上進んでおらず、どうなっているのか不安。（五内川）	• 下水道が心配である • 下水道が老朽化している。先日震度4の地震で折老朽化したボイラー室の水道管の腐食部分がはずれ水害業者に連絡して修理しました。古い所は危険との事でした。 • 田舎なのであてにならない	• 古い団地なので、更新時期であれば、行ってほしい。
14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況（シカ、イノシシ、クマなど）	• 熊の発生に対する盛岡市の対応、県の対応は遅いと感じる。緊急銃猟制度が開始となった段階で準備ができていないのは危機感の欠如でしかない。 • クマ • 熊が出るが、学校や警察が注意、対処してくれる • クマ目撃情報の迅速な広報がある • 住み良い町	• 孫達の登下校が車になった • 出没の回数が多くなりやや不安です。 • 熊。散歩もできなくなった。 • クマの出現、近くの人がかまれた。イノシシの足跡。近所の空家に、タヌキ、キツネが住みついているらしい • 犯罪の発生少なく、安全だと感じる。シカ、イノシシ等市委託の人が罠で捕まえてくれる • 子供を外で遊ばせられなくなった • 何時もいます。出ます。近所の畑の野菜が食べられてる。 • 熊の出没が身近で心配 • 熊出没に不安がある • クマなどが目撃すると情報発信をしてくれるから。 • くまが出ている • 熊が出る • 去年が多かったので。 • すぐ裏が山で、庭や縁側に鹿が来るので怖い。熊も今は落ちついているが、動物が身近にいるので、うまく付き合っていきたいと思う。 • 昨年の野生獣の出没状況を思うと、近くでも熊や鹿などが出没しており、被害が発生していないものの日々の暮らしに不安を感じる。 • 近郊に出没の情報があった(鹿、熊) • 町内会活動で種々啓蒙を行っており、効果が実感できる。 • 犯罪は少ないと思うが、近年のクマ等の被害が心配です。	• クマ対策が不十分 • 田舎なので熊も怖いし、鳥獣被害も増えている。 • 熊やイノシシが多く、農作業や子供達の遊びや運動に危険が伴う。 • クマ、イノシシ • 常に怖い • クマの出没状況 • 近い場所にクマが出ている。 • 早朝から夜間がこわい • シカ庭に来ることがある。クマ 100m 位離れた所で被害にあっている • シカ、クマが生活圏内に多く発生、身の危険を感じる。 • 熊の発生による外出の不安 • クマが出る • 近くで熊の出没情報があり、散歩の際は気を付けている。 • 被害などはないが周辺で出没しているのでこわい • 野獣対策が進んでいない • イノシシに畑や田んぼを荒らされた • 熊の出没が多い。鹿にあっては役場も警察も相手にしてくれない • 山寄りの家も結構ある。九月に熊が出た。九月に一頭捕獲した。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 田舎なので出没するのが普通	
15 地域の安全に関心がない		• あまり意識したことがない	
16 その他		• 何が起こるかわからない世の中、皆で気をつけて生きる時代だと思います • 車道も歩道も、除雪がされていない日がある。 • 不審な車の徘徊、不用品買取業者、夜中の無言電話(同地区、同時刻に発生が数回)	• ネコを飼っている人が責任感がなくてただエサをやってあとはフンの始末などタレ流し状態で、ネコは畑などでフンして大変迷惑で 20 匹も飼っていて保健所と話してようやく解決しましたが、ネコは犬より始末が悪くて提案ですが、ネコにも首輪をつけて登録制にできないものでしょうか。ただネコにエサをやって知らんぷり外においたままの飼い主もいるので、ノラネコ、飼いネコ周辺に迷惑をかけない対策ないものでしょうか よろしくおねがいします。 • 自宅前で、小便や大便をする人がいる(異常)
番号選択無し		• ほぼ聞いた事が無い。	

(9) 仕事のやりがい

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 現在の職種・業務の内容	• やりたい業務ができている。 • 子供にかかわれる仕事で楽しさがある • 子供の保育に従事していてやりがいがある • 現在福祉関係での仕事 • 今は、会社を辞めて個人でやっていますが、もう少し仕事がないと、収入が不安です。 • 自分の土地を管理・活用している(農業) • いろいろまかせてもらえるようになった	• 訪問介護 • 大変なこともあるが、やりがいを持って働いている。 • 寺男 • 自分が学んだことを活かせる • 仕事が合っている • 23 年この仕事しているので、それなりの責任はあると思いますが、再雇用という事なので(定年過ぎたので)必要以上には頑張らないです。(笑) • 現在の職種は需要が高まっているものなので安泰だと思っている。 • 自分に合っていると思う • 身体の悩みに寄り添う仕事 • 農業(定年後の仕事)は米価が高くなって来た。やや感じる、野菜も殆んど自分で作ってやりがいを感じる • 嫌いではないが負担を感じる • 仕事させてもらえない • 順調 • 農業 • 良好 • 業務の内容が自分に合っているが、量が多い • 仕事は合っているし、人間関係良好、しかし沿岸地	• 仕事内容が変わり、やりがいが感じられない。 • 定年後に転職して新しい事にチャレンジし、業務・作業に満足しているが給料の額が少ないと思う。 • 負担ばかりが大きい • 定年前に新しい業務にされた • 漁業に従事したが現在の不振、将来性の減退感じる • やりたい仕事ではない

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		域は収入が少ない。 • お寺の清掃 • 仕事の内容は自分に合っていると思う • 会社を経営しているが、人手不足や、高齢化が進み、社員も少なくなる方向で、この先、いつ人員不足で事業ができなくなるか不安がある • 親から続いた飲食店を夫婦 2 人で経営している • 年の為体がだんだんきついが楽しくやりがいがある。 • パンづくり • 業務内容と休みのバランスが取れていると思う。収入はまあまあ。 • つづけていけば何とかなる	
2 業種・業務の将来性	• 満足がいく給料をもらってはいるが、業務量が多いので、パートさんを増やしてほしいと願っています。	• 人にたずさわる仕事なので。 • 小規模農家は将来不安定 • 現在の職種は需要が高まっているものなので安泰だと思っている。 • 順調 • つづけていけば何とかなる	• 後継者不足、果樹園の経営 • 昨年よりも業務量が減り将来的に大丈夫なのか心配なところ • 建設関係の仕事に若い人がいない • 漁業に従事したが現在の不振、将来性の減退感じる • 医療職への将来的な見通しが良くない
3 就業形態（正規・非正規など）	• パートから正社員になった	• 仕事させてもらえない • 良好 • 夫婦2人で役割分担しながら経営している	• 非正規で不安定
4 業務の量		• 自分の能力にあっている • 周りがカバーしてくれるので時間内に終わる • 嫌いではないが負担を感じる • 2人で営業していく上で見合った業務量である • 収入と仕事量のバランスが悪い	• 産休で補充されるが、責任ある仕事を任せられない時間外が当たり前の業務量だが、認めてくれない。 • 多すぎる • 育休明けで時短勤務だが、業務量は変わらず、むしろ増えている気がする。やりがいは感じるが、給料が見合っていない。こなした分、上げて欲しい。職場初の時短勤務希望者だったそうで、いろいろ整っていない。 • 仕事の量が多い
5 現在の収入・給料の額	• 昇給が続いている • ボーナスも出るので • ボーナスがない • 満足がいく給料をもらってはいるが、業務量が多いので、パートさんを増やしてほしいと願っています。	• 不安。物価高に対応する額がほしい。 • 76 歳としては給料が高く安定している • 65 歳を過ぎても満足できる給料で雇用してもらっている • 自分から社員からパートとなったが、パートなのに社員より知識がある為、複雑な業務をやらされ、でも、	• 物価上昇に対応できていない • 人口が少なくなっているから。 • 定年後に転職して新しい事にチャレンジし、業務・作業に満足しているが給料の額が少ないと思う。 • 低い • 物価が高くなっているのに収入・給料の額が上がら

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		収入は社員より少ない(あたりまえですが…) • 何年いてもほとんど基本給があがらない。 • 定年になった事で収入のダウンは、ま…仕方ないかぁ。子育てが終わったので、まぁ収入ダウンでもいっか…今更仕事変えるのも大変だし…と言ったとこです。 • 年の割には良いと思っていた。 • 同年代、日本の平均給与から見ても多くもらっている。 • 自分次第です • 収入と仕事量のバランスが悪い	ないため
6 将来の収入・給料の額の見込み	• 昇給が続いている	• 不安。物価高に対応する額がほしい。 • 自分の力で上にいけるので。 • 繰り上げ受給の(年金)の手続きをしたので、年金をもらいながら仕事していこうかなと思ってました。	• シルバーで仕事をしているが年数のしばり等がある。会社訪問等で仕事をもっと増やしてほしい • 将来の収入に夢が無い • 定年後の収入がどうなるのか不安(教えてもらえない) • 再雇用になったので給与が少なくなった • 人口が少なくなっているから。 • 将来を見通せない • 低い • 医療職への将来的な見通しが良くない
7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)		• 毎年昇給して、休みもしっかしている • それなりに休暇も取れている • 融通がきく • 休暇は取りやすい	• サービス残業が多い
8 現在の役職(職場での地位)			
9 将来の役職の見込み			
10 職場の人間関係	• 職場が楽しい • 場を乱しがちな人がいるので、やりづらい時がある	• 職場の長が変わり、正当な評価のない職場に変わったため。 • 良い関係がある • 今まで仕事をした中で一番人間関係が悪い。 • ハラスメントもなく、職場内の人間関係が良好 • 人間関係も良いと思う • とても良い • みんなと仲良く出来ているので。 • 疲れる	• 我慢して働いています • 態度が人によって変わるので、嫌気がさす。 • 若年者の消極的姿勢、主体性の無さ • 職場での人間関係がうまくいっていないため • 単純に雰囲気が良くない

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 良い関係がある	
11 職場環境(オフィスの立地など)	• 自宅からも近く、勤務時間も短い為、家族の事などで時間が取れたりしてる。(最低賃金、保障もなし)だけど…	• 通勤時間が 20 分程度なので、近くて良い。	• 2 階から雨漏りがする • 問題が山積みなのに解決する姿勢が見られない
12 職種・業務に対する周囲の評価	• 社会からの期待が大きいこと		
13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	• 正社員ではないので不安なところもあります	• リスクがほとんど無い • 安定している	• 物価高で家を建てる人が減った • 問題が山積みなのに解決する姿勢が見られない
14 専業主婦・主夫、又は家事手伝いである	• 春から秋自宅で食べる分(野菜果物少々)はやや自給出来てる		
15 元々仕事をしていない(学生など)			
16 以前仕事をしていたが、今はしていない	• 年金生活です	• 年金暮らし。仕事はしていない • 健康でしたら花作り野菜作り、手編み等したいですね。今 81 才となりました。それでもそうじ庭の花の手いれはします。	• 定年退職し、今は自営業(農漁業)で自分の能力に合わせてはたらいている • 退職後数十年経過している • 病気発症後、1・2の理由から休職中
17 その他	• 充分貢献できてると実感できている。 • 時間に融通がきくので子供達の送迎もできる • 仕事の拘束時間が長い	• 土・日・祝など保育がキャンセルになると有休を使う意味がわからない	•
番号選択無し		•	• 私は前に書いた通り 83 才です。仕事は細々とやっております

(10) 必要な収入や所得

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 自分の収入・所得額(年金を含む)	• 自分の収入に満足している。 • 不自由なく生活できている。 • 主人と2人で年金生活ですが、生活をするのには困っていません。通販も利用し、楽しんでいます。 • 収入は悪くないと思う • 自分の所得が増えたので • 年金月●●●円で生活している。借金もなく収入の範囲で暮らせている • 生活費のために役立っている • 現在の世帯年収は申し分ないと思う。	• 年金生活ですが、健康状態もよく元気に暮らしている • 何年働いても最低賃金とほぼ同じため • 収入が上がらない。物価は高騰している。 • 現在、年金生活であるが、年金3ヶ所、配当所得があり、生活には困らない。就業時に将来の為に貯蓄していたもの。 • 年金含み手取り 28 万円 • 厚生年金を 70 才まで納め、73 才まで就業していたので、今後に心配していない。	• 昨年春まで常勤で働いていたが、パートで働き収入が減少 • 年金額が少ない。 • 年金の生活ですが苦しい • 年金だけでの生活は厳しい(物価高騰) • 年金生活です。少ないです。生活は苦しい • 定年になった事で、減額となりましたが、最低賃金の変更や、年金を受給する事にしたので、まァなんとかやれるかなと思っています。 • 就業形態や業務の質が同様であるのに高齢者の収

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 衣食住に必要な分はほぼ賄っているが、不足感はある。 • もっと増やしていかないと思っている。 • 生活するのに特に不便はない収入である • 収入は多いと思う(その分の仕事はしている) • 急激な物価高に対し、年金は上がらない。稲作農家であるが7年産米の概算金は上がったものの、干ばつで収量大幅減となり、米価上昇のメリットなし。 • 決して収入は高くないが、0よりは良い • 年収 200 万 • 自分と主人の年金(遺族)でやれています • 給与が少なくなった • 自分と妻の年金で現在の生活を行う。預貯金への余裕無。病気治療は保険金で助かっている • 年金でやりくりしながら生活している • 年金生活者なので生活は楽では決してないが、ｽﾎﾟｰﾂ(年会費の安いもの)をし、地域の人達との交流を保っている。	• 収入のほとんどは年金です。自営業で少しありますが • 年齢の割には働いて収入を得ていると思う • 自分が仕事を辞めてしまったので、家庭の収入も減ってしまった為。 • 安い‼ • 昨年、米価が良かったので • 手取り 15 万でなんでこんなに税金とられるのかわからない。年金も月9万。いくらなんでも格差ありすぎ。おかしい • 少ない • 自分一人の収入では生活していけないと思うが、家族の中に居る分にはなんとかなるという感じです。 • 物価上昇が生活を圧迫している。 • 年金と所得でなんとか暮らせるのでありがたいと思う • 現在は求職中で退職金で年金受給まで行ければと思ってほそぼそ暮らしています。2 人暮らしなので良いかな！と感じています。 • 自分が必要としている収入・所得額が少ないため • 収入よりも支出の方が上まっている。 • 仕事は合っているし、人間関係良好、しかし沿岸地域は収入が少ない。 • 年金のみ • 物価が高くなっているので賃金がさらに上がらないと厳しいと思う • 余裕がない収入、手取額の不足。 • 生活できている • 障害年金は不支給とされたが、だからと言って一般就労はどうしたらいいものか。 • パートで 10 万くらい • 夫、自分、長い間会社員だったので • 営業収入年金収入は十分である • 自分の収入で家族を養えるから。 • 年金生活、何とか現在生活している。	入が低い • 物価高なので、給料上げてほしい。 • 所得額が少ないところ、物価が高く、インフラ代も高い。不足分は借金するが、借金も増え続け、いずれは生活保護が必要となる事も近い • 近年の物価高で収入が十分とは思えない。早く賃金を上げてほしい。 • 給料は高いとは言えない • 厚生年金と米造りの収入しかない。年間 300 万位、厳しい • 収入が少ない。生活にこまっている。 • 収入が少なく • 退職延長なのに給料が3割カットされている • 年金収入しかない現在、持病の悪化で医療費の支出の方が多くなっていて生活が苦しい。 • 仕事の責任からしてどうなのかなと思います • 自分の収入だけの生活で大変 • 本来であればもう少し多くもらえるはずでした • 年金収入だけなので、大変である • 2人の年金で不足はない‼ • 年金 • 20 年近く給料が同じ • 会社が倒産して収入が減った • 余裕があるとは言えないが体力的に限界 • これからを考えると不安 • 非常勤だが、勤務日数を増やしてほしい • 必要な分、働いています • 昨今の諸物価の高騰は年金生活世帯の日々の暮らしを押し潰す勢いがあり、可処分所得が皆無で、この先が思いやられる。政治の問題として片づけたくはないが憤慨やるかたない。
2 家族の収入・所得額(年金を含む)	• 夫と自分の年金でどうにかで入院の時保険を解約しました • 主人と2人で年金生活ですが、生活をするのには困っていません。通販も利用し、楽しんでいます。	• 家内も健康状態が良く仲良く暮らしている • 収入が上がらない。物価は高騰している。 • 収入よりも支出の方が上まっている。 • 夫、自分、長い間会社員だったので	• 夫の障害年金だけの生活は大変です。夫のリハビリ機能回復を祈るばかり。 • 妻と現在2人暮らしなので、妻も働いているので、まァ今の所は、なんとかやっていけるのではないかと

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 生活費のために役立っている • 現在の世帯年収は申し分ないと思う。 • 年収 200 万 • 自分と主人の年金(遺族)でやれています • 自分と妻の年金で現在の生活を行う。預貯金への余裕無。病気治療は保険金で助かっている • 年金生活者なので生活は楽では決してないが、ｽﾎﾟｰﾂ(年会費の安いもの)をし、地域の人達との交流を保っている。	• 夫婦2人の収入は十分である	思っています。 • 所得額が少ないところ、物価が高く、インフラ代も高い。不足分は借金するが、借金も増え続け、いずれは生活保護が必要となる事も近い • 義母、夫とも年金が少ない • 2人の年金で不足はない‼ • 昨今の諸物価の高騰は年金生活世帯の日々の暮らしを押し潰す勢いがあり、可処分所得が皆無で、この先が思いやられる。政治の問題として片づけたくはないが憤慨やるかたない。
3 自分の支出額	• 給料プラス願う • 自分の支出が少なくなった • 自分と妻の年金で現在の生活を行う。預貯金への余裕無。病気治療は保険金で助かっている • 生活用品は自分の好きな物は買えないが、たまに少額のお気に入りの物を買って満足するよう工夫して生活している。借金は残したくないし、身体が動かなくなっても施設に入居出来ないので、今は皆と楽しくやれる公民館での集まりやスポーツをして身体を動かしている。	• 多い • 物価が高くなって支出額が多くなっているため	• 医療費が多い(高額医療) • 物価の高騰により出費額が増えている • 決まった支出があるので支出額は減らない。 • 近年の物価高で収入が十分とは思えない。早く賃金を上げてほしい。 • 年金収入しかない現在、持病の悪化で医療費の支出の方が多くなっていて生活が苦しい。 • 昨今の諸物価の高騰は年金生活世帯の日々の暮らしを押し潰す勢いがあり、可処分所得が皆無で、この先が思いやられる。政治の問題として片づけたくはないが憤慨やるかたない。
4 家族の支出額	• 子どもがうまれ、今後子どもにかかる費用が心配なところもある • 子どもがいると、支出が多くなります • 借金はなし • 生活用品は自分の好きな物は買えないが、たまに少額のお気に入りの物を買って満足するよう工夫して生活している。借金は残したくないし、身体が動かなくなっても施設に入居出来ないので、今は皆と楽しくやれる公民館での集まりやスポーツをして身体を動かしている。	• 収入が増えないのに支出が増えている • 物価・固定費が上がっているため	• 今はそれほど感じないが、将来的に大学に2人の子どもが進学することを考えると… • 自分の収入は大学費用に全て使用している。夫の収入で生活している • 家全体の支出に耐えられない • 支出が多い • 物価、税金が高くて大変である • 昨今の諸物価の高騰は年金生活世帯の日々の暮らしを押し潰す勢いがあり、可処分所得が皆無で、この先が思いやられる。政治の問題として片づけたくはないが憤慨やるかたない。
5 自分の金融資産(預貯金や有価証券等)の額	• 貯金ができない。投資に興味はあるが、余裕がない。 • 父が亡くなり、多少の遺産が入ったので、余裕が少しできた為。	• 厚生年金を 70 才まで納め、73 才まで就業していたので、今後に心配していない。 • 収入が上がらない。物価は高騰している。 • ない • 老後の心配の無い資産は確保している	• 預貯金にまわす余力がない • 預金がどんどん減ってくる。
6 家族の金融資		• 夫の年金で、生活できる。(ぜいたくはできない)	• 預貯金にまわす余力がない

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
産(預貯金や有価証券等)の額			
7 自分の借金の額	• 家族も自分も借金ないので良しとする • 年金月●●●円で生活している。借金もなく収入の範囲で暮らせている • 毎月、借金が増えており、返済が大変。 • 1の米価への期待から0となり、借金はそのまま持ち越しの状況である。	• 車のローン、奨学金の返済など • 借金なし • 教育ローン • かなりの借金がある	• 多すぎる • 所得額が少ないところ、物価が高く、インフラ代も高い。不足分は借金するが、借金も増え続け、いずれは生活保護が必要となる事も近い
8 家族の借金の額	• 給料プラス願う • 主人と2人で年金生活ですが、生活をするのには困っていません。通販も利用し、楽しんでいます。	• リフォームを思い切った分、支払い(借金)が今後、15年間続くと思うと不安がつのる。	
9 生活の程度	• 収入の範囲で快適に暮らせている。 • 子供達にも好きなことをさせてあげられる(スポーツ) • 旅行できるかというと、少し足りない • 外食や買い物など • 最近は良くなっていると思う • 貯蓄できない • 生活の程度は変わらない • 生活用品は自分の好きな物は買えないが、たまに少額のお気に入りの物を買って満足するよう工夫して生活している。借金は残したくないし、身体が動かなくなっても施設に入居出来ないので、今は皆と楽しくやれる公民館での集まりやスポーツをして身体を動かしている。	• こんなもんだろうと思うから • 近年は米・物価等の値上りにより、生活の維持が大変になってきている。	• それなりに背伸びしないで身の丈にあった生活をしていけば、やっていけるかなァと思っています。
10 その他	• 弱い体となれば二人での家族でいても、肩身がせまく感じます。もう少し金額がふえてほしいです。 • 病気が再発した時が不安。 • 将来、介護となった時に足りなくなりそう	• 1年に何度も葬式に呼ばれる。出費がかさむ	• 物価高 • 物価高に合っていない

(11) 歴史・文化への誇り

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 その地域で過ごした年数	• 60 年 • これらの歴史文化財があれば、人的交流も盛んで誇りを感じる	• 良い町だと思うが歴史や文化に関心が無い為、あまり感じない • 嫁に来て 47 年 • 震災があっても地元が一番 • 年数 50 年以上。市の祭りのサポート。 • 東日本大震災後、街に家や人が減ったが、山があり海がありとても良い所。今、鵜住居の歴史を調べて	• 10 年程度なので一… • 唯一権現様 • 震災前に比べると過ごした年数が1／3なので感心がない • 54 年住んで何もないのが一番かな • 世界遺産はあるが、ごく一部の人々達だけで活動しているようにみえる。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		いる人がいるが、とても興味深く毎回ワクワクしながら楽しみに聞いている • 自分の地域に生れてから住んでいる • 歴史的政実や博士偉人のあるこの地に愛着があります • 50 年住んでいます • 生まれた時からいるので。	
2 世界遺産があること	• 平泉、中尊寺、金色堂 • これらの歴史文化財があれば、人的交流も盛んで誇りを感じる	• 橋野鉄鉱山 • 東日本大震災後、街に家や人が減ったが、山があり海がありとても良い所。今、鵜住居の歴史を調べている人がいるが、とても興味深く毎回ワクワクしながら楽しみに聞いている	• 世界遺産はあるが、ごく一部の人々達だけで活動しているようにみえる。
3 地域のお祭り・伝統芸能	• 県外から来たので、さんさになじみがない • さんさ • チャグチャグ馬っ子がある。神社も近い • 地域の伝統芸能が子供たちに継承されているから • 様々な伝統芸能があって素敵ですが担い手が少ないです。 • コロナ禍後、少し規模が変わりつつも町が活気になる。 • これらの歴史文化財があれば、人的交流も盛んで誇りを感じる	• 私たちの若い頃はお祭りがありましたが今日少子化でなくなった。寂しいです • 町内にはたくさんの伝統芸能がある • 花巻まつりや鹿踊り • 遠野の郷土芸能は素晴らしい • ししおどりがある • 無形民俗文化財がある • 「江刺甚句まつり」は自分が商工観光部勤務時代に提案し出来たまつりで、地域の伝統文化に観光的要素を打ち出してできたまつりだと思っています。 • 大槌祭り • 地域のお祭りなど今は義務的に参加している感が強く心から楽しめない。 • 年数 50 年以上。市の祭りのサポート。 • 高齢となり見に行く機会は少なくなりました • 東日本大震災後、街に家や人が減ったが、山があり海がありとても良い所。今、鵜住居の歴史を調べている人がいるが、とても興味深く毎回ワクワクしながら楽しみに聞いている • お祭りがさかんなので。	• 地域の伝統芸能が、何年か前に復活しました。自分はまったく興味がありませんが、その人達には、御苦労様でした。 • 鬼剣舞は誇りをもてる伝統だと思う • 子供が成長すると関りがうすくなる。 • 昔は良かったと思うばかり。3人の子育てしながら家族で参加したったなと思い出で振り返るばかり。介護と向き合う人生は、社会から孤立してしまう。 • 地域の郷土芸能に参加、活動してはいるが、誇れる程ではない • 人口が少なくなり、祭りの参加も出来なくなった為 • 地域での文化活動、お祭りなど(参加)が少なくなってきているため。 • 震災前に比べると過ごした年数が1／3なので感心がない
4 地域の文化遺産・街並み	• 退職後に県内の神社・寺に参拝しています。本当に種々な立派な建物が多くあり、本当に岩手県の歴史に驚いています。 • 盛岡の街並み	• ゆっくり散歩できる古い町並みがある。	
5 郷土の歴史的偉人	• 国際人新渡戸稲造 • 九戸政実はすごいです。同じ地域にいた事にかん	• さむらい武家屋敷、千田正記念館 • 宮沢賢治	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	しゃです。 • 大槻三賢人	• 奥州藤原氏、発祥の地として • 三浦命助 • たくさんおられるので。	
6 地域の文化・芸術分野の著名人	• 町内に歴史のあるお寺があり保存会の会員である	• たくさんおられるので。	• 歴史文化にふれる機会がない。興味はあるので歴史や文化に関する企画イベントがあれば参加してみたい
7 地域の食文化	• もっと、みんなに広げたい • 麺文化 • 餅料理	• 食する機会(法事等)が少なく、作れる人も少なくなった。 • まめぶ、かっけ • 手打ちそば、ミソもちひっつめなどウマイ!!	
8 地域での文化継承・保存活動	• 地域の文化継承を一生懸命取り組んでいいる • 地域の人で保存しようとする気持ちが高いため • 今年も部落の虎舞が家々を歩いたが、親子、地域が一つになって、1年が始まる気持ちになった。 • これらの歴史文化財があれば、人的交流も盛んで誇りを感じる	• 伝統文化の継承が出来なくなっている • 自宅に観音様のお堂がある。この先どうお守りしていけば良いかわからない • 人が少なくなり大変に思われる	• 地域の方から話を聞き、興味を持った。良い機会だった。 • コロナ以後町内の伝統行事が滅んだから • 歴史文化にふれる機会がない。興味はあるので歴史や文化に関する企画イベントがあれば参加してみたい • −
9 地域の歴史についての教育機会	• これらの歴史文化財があれば、人的交流も盛んで誇りを感じる	• 太田は、盛岡城ができる前から栄えていたとの事。歴史についての勉強会があり、もう少し学びたいと思っています。 • 震災があっても地元が一番	• 歴史文化にふれる機会がない。興味はあるので歴史や文化に関する企画イベントがあれば参加してみたい
10 地域に対する周囲の評判		• 周囲の評判が多い	
11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	• 当町は龍泉洞以外他に誇るものがなく、又保存活動にもあまり力を入れていない。		• あまり感じない • 文化(蘇民祭の廃止)の衰退、保存会の高齢化 • 地域の歴史に感心が無い。 • 約 50 年住んでいるが、特にわからない。
12 地域の歴史や文化に関心がない		• 良い町だと思うが歴史や文化に関心が無い為、あまり感じない	• 漆文化はあるが個人的には関心がない。 • 興味がない • 地域のお年寄りや子供が少なくなっている • 地域にあまり関心がない • すみません‼まったく興味が無いです。
13 その他		• 体育館のことで県と揉めているようなニュースを見る。首長の判断ミスで町民・県民が不幸になるような事は辞めて欲しいし、次世代に引きずらない解決に向かって欲しい。 • あまり興味がない。今を生きる • 地域の活性化を望む	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
番号選択無し	• 小さく考えるとあまりないが大きくとらえると(岩手として)すごく良いと思う。		

(12) 自然のゆたかさ

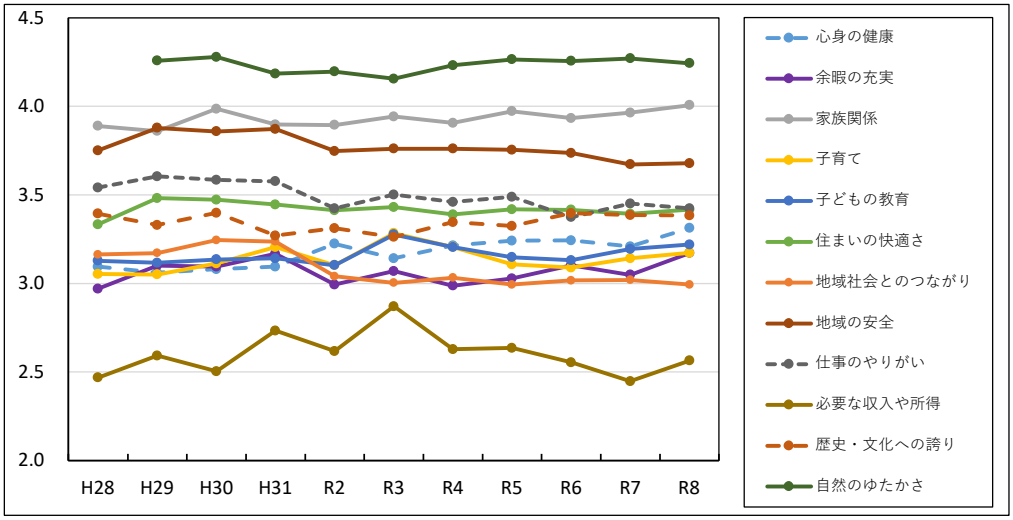
要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 緑の量(豊か・少ない)	• 多いぐらいに緑がある • 栗駒山が一望出来る • 緑の量が多い • 四方八方見回しても緑だけ(自然に恵まれているとは言えるけどやや…) • 自然環境に最も重要なものが当地に豊富	• 近くに緑豊かな公園がある。 • 自然の豊かさはベストです。(田舎ですが熊が出なければ尚良) • 山が近いので • 緑が多すぎる • 超!!田舎!山が近い!山に囲まれている。 • みどりが豊かである • 緑が多くて景色も良い。 • すべてがうまい。 • 県内どこに行っても身近に自然がありふれ合うことができる • 田舎なので • 住んでいる所が緑に囲まれている • 「あるのが普通」という認識 • 自然環境が良い為 • 豊か • 自然が豊か • 家の廻りや、歩ける距離に山や、川が有り山菜やきのこなど、採取する、楽しみがある • 市外から遠いので緑が豊か • 周りの木が切れてきているのが目立つ • 雫石町本当に自然が豊かな所です • 生活するための自然の豊かさは十分で住みやすい地域だと思っています。 • 緑が多く、空気が奇麗で水もきれい。 • 今年は熊の出没があり近く(山の)には行かないが、春はうぐいす、秋は紅葉など四季の景色が見られ気持ち良い。 • 振り向けば山	• 緑が豊かですが、赤川があるので • 空き家空き地多くなる。宅地造成多い • 自然はあるのかもしれないが、人間がそうとう野生動物の領域を奪ってしまっている。野生の生物の生活を守ることがたいせつ。人間至上主義は愚か。あらたな開発、自然破壊はやめるべき。害獣といういきものはいません。人間の自分勝手で野生動物を殺すなどありえません。熊は山に返してください。 • 少ない • 周りは山だらけ • 自然に恵まれている。湧き水もきれい。
2 空気の状態(綺麗・汚い)	• 岩手の空気はおいしい • 束稲山からの風 • 空気が綺麗 • 大都会と比べると圧倒的にきれい、安心して深呼吸	• 空気がキレイ • 空気は良いと感じる • 自然の豊かさはベストです。(田舎ですが熊が出なければ尚良)	• 自然に恵まれている。湧き水もきれい。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	できる。 • 自然環境に最も重要なものが当地に豊富	• 山が近いので • 空気がおいしい • すべてがうまい。 • 田舎なので • 自然環境が良い為 • 綺麗 • 空気が綺麗 • 雫石町本当に自然が豊かな所です • 生活するための自然の豊かさは十分で住みやすい地域だと思っています。 • 緑が多く、空気が奇麗で水もきれい。 • 日常、空気が汚れていると感じたことはない。（黄砂は別として）	
3 水（河川、池、地下水など）の状態（綺麗・汚い）	• 目の前の小さな川。釜石湾の眺め。 • 磐井川が近くに流れている • 自然環境に最も重要なものが当地に豊富	• 近くにきれいな川がある • 水もありがたい • 自然の豊かさはベストです。（田舎ですが熊が出なければ尚良） • 山が近いので • すべてがうまい。 • 田舎なので • 雫石町本当に自然が豊かな所です • 生活するための自然の豊かさは十分で住みやすい地域だと思っています。 • 緑が多く、空気が奇麗で水もきれい。 • 馬渕川は良い川だと思います。	• 河の水が少なくなった • 自然に恵まれている。湧き水もきれい。
4 海の状態（綺麗・汚い）	• 目の前の小さな川。釜石湾の眺め。 • 海の状態も良好 • 自然環境に最も重要なものが当地に豊富	• 海が近くだと気候もよい • 海があり景色がよい • 自然環境が良い為	• 砂浜があってそれだけが散歩できるたのしみ
5 多様な動植物の生息	•	• 動物も多すぎる • 鹿、猪、熊、生息。カモシカも…。 • 家の近くでもキツネやイタチがいる。 • 「あるのが普通」という認識 • 生活するための自然の豊かさは十分で住みやすい地域だと思っています。 • 熊は困りますが、山菜採りは楽しい。かたくりの春は美しい。	• 今年はクマが多くニュースでも見てて、県や市の対策などただ見てるだけって感じ。クマ対策アプリなど作ろうとしてるみたいだけど、けいさつのアプリで見れるし、何も考えてないと思う！ • 熊はこわい
6 公園・緑地、水辺などの周辺環	• 大震災後、緑地環境が復旧されていないのが残念	• 近くに大きい公園がある • ベッドから太平洋と広田湾が見える。近くに白鳥の	• 空気等キレイと思うが公園などは少ない • 自然に恵まれている。湧き水もきれい。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
境		来る池があり私の家から飛び立つのが見える • 公園も自分も町内会活動で草刈り、草取りをし整備されているので気持ちがいい。	
7 自然(山・海など)と触れ合う機会		• 登山で近くに移動しやすいため • 四季折々の自然に驚いています。始めてまほら岩手に行きましたが、地域に住む方々のがんばりに感激しました。 • 春は山菜、秋はキノコ採り • 山にクマでいけない。海は漁協がうるさくいけない • 自然が豊かな町だから。 • 県内どこに行っても身近に自然がありふれ合うことができる • 自然、山菜、キノコ等ゲットできる。 • 今年は熊の出没があり近く(山の)には行かないが、春はうぐいす、秋は紅葉など四季の景色が見られ気持ち良い。 • 熊は困りますが、山菜採りは楽しい。かたくりの春は美しい。	• 地域の山登りに行きたいので。ツアーなど安心して参加できるような企画などを市や県で開いてほしいです。
8 地域での自然保護活動		• 地区で除草を年3回行っている。道の両側はいつもきれいになっている	
9 自然に関心がない			
10 その他(		• 空き家も増えており、荒れてしまっている所は心配です。 • 四季を感じられる土地だが、春と秋がなくなりそうとだと感じる	

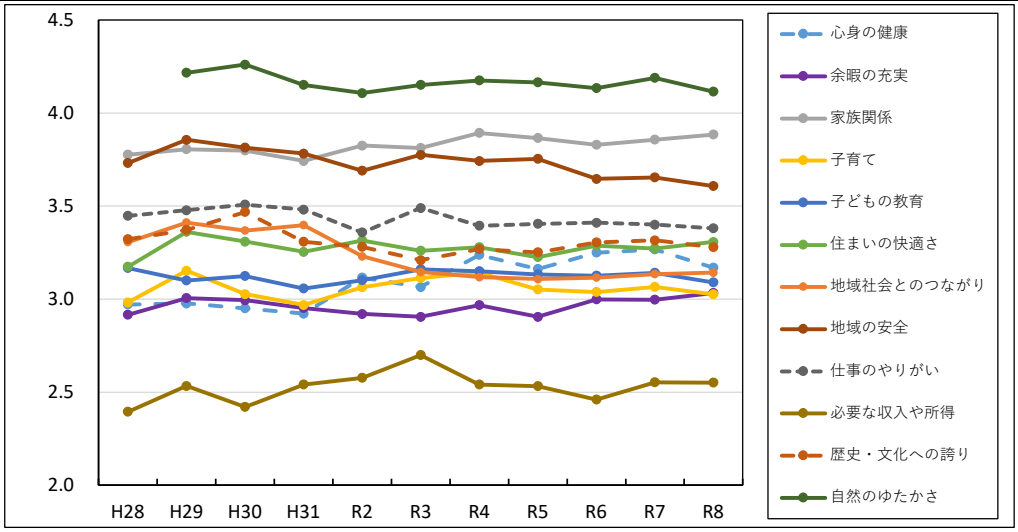
広域振興圏別分野別実感の推移

【県央広域振興圏】



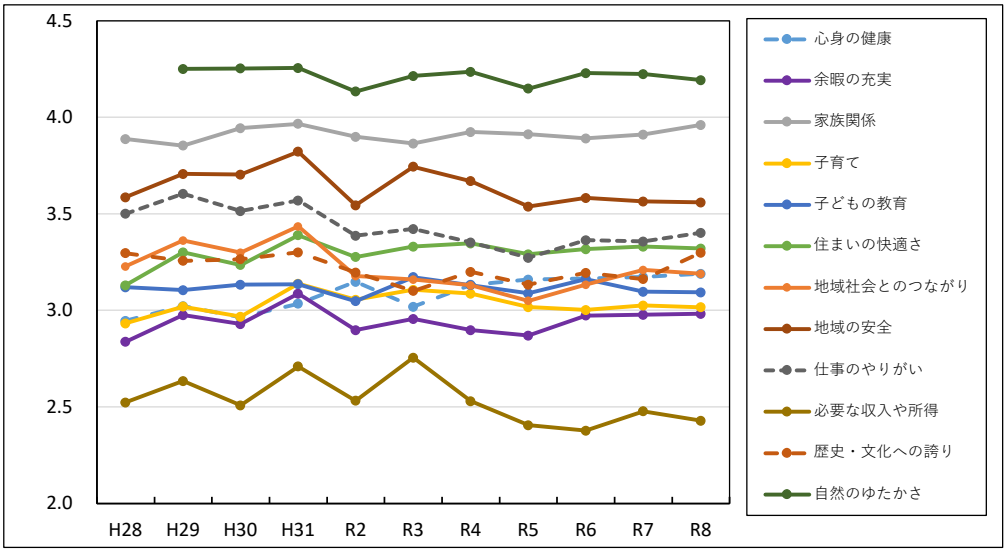
	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
心身の健康	3.09	3.06	3.08	3.09	3.22	3.14	3.21	3.24	3.24	3.21	3.31
余暇の充実	2.97	3.10	3.10	3.17	2.99	3.07	2.99	3.03	3.10	3.05	3.17
家族関係	3.89	3.86	3.99	3.90	3.89	3.94	3.91	3.97	3.93	3.96	4.01
子育て	3.05	3.05	3.11	3.20	3.10	3.28	3.21	3.11	3.09	3.14	3.17
子どもの教育	3.13	3.12	3.14	3.14	3.10	3.28	3.21	3.15	3.13	3.19	3.22
住まいの快適さ	3.33	3.48	3.47	3.45	3.41	3.43	3.39	3.42	3.42	3.39	3.42
地域社会とのつながり	3.16	3.17	3.25	3.24	3.04	3.00	3.03	2.99	3.02	3.02	2.99
地域の安全	3.75	3.88	3.86	3.87	3.75	3.76	3.76	3.75	3.74	3.67	3.68
仕事のやりがい	3.54	3.60	3.58	3.58	3.42	3.50	3.46	3.49	3.37	3.45	3.42
必要な収入や所得	2.47	2.59	2.50	2.73	2.62	2.87	2.63	2.64	2.55	2.45	2.56
歴史・文化への誇り	3.39	3.33	3.40	3.27	3.31	3.26	3.35	3.32	3.40	3.39	3.38
自然のゆたかさ		4.26	4.28	4.19	4.20	4.16	4.23	4.27	4.26	4.27	4.24

【県南広域振興圏】



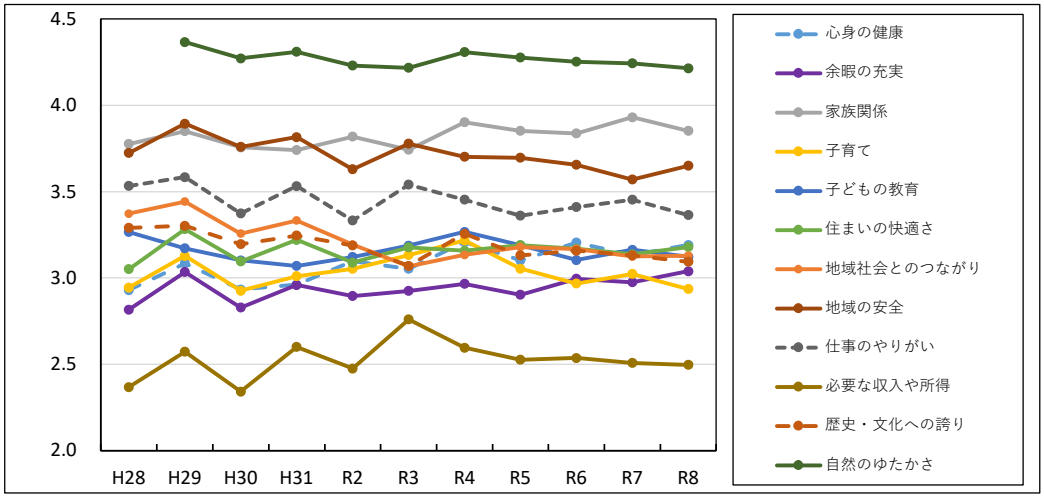
	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
心身の健康	2.97	2.98	2.95	2.92	3.12	3.06	3.24	3.16	3.25	3.27	3.17
余暇の充実	2.92	3.01	2.99	2.95	2.92	2.90	2.97	2.90	3.00	3.00	3.03
家族関係	3.78	3.81	3.80	3.74	3.83	3.81	3.89	3.87	3.83	3.86	3.88
子育て	2.98	3.15	3.03	2.97	3.06	3.11	3.14	3.05	3.04	3.07	3.03
子どもの教育	3.17	3.10	3.12	3.06	3.10	3.16	3.15	3.13	3.13	3.14	3.09
住まいの快適さ	3.17	3.36	3.31	3.25	3.32	3.26	3.28	3.23	3.29	3.27	3.31
地域社会とのつながり	3.31	3.41	3.37	3.40	3.23	3.15	3.12	3.11	3.12	3.13	3.14
地域の安全	3.73	3.86	3.81	3.78	3.69	3.78	3.74	3.75	3.65	3.65	3.61
仕事のやりがい	3.45	3.48	3.51	3.48	3.36	3.49	3.39	3.40	3.41	3.40	3.38
必要な収入や所得	2.39	2.53	2.42	2.54	2.58	2.70	2.54	2.53	2.46	2.55	2.55
歴史・文化への誇り	3.32	3.37	3.47	3.31	3.28	3.21	3.27	3.25	3.31	3.32	3.28
自然のゆたかさ		4.22	4.26	4.15	4.11	4.15	4.17	4.17	4.13	4.19	4.12

【沿岸広域振興圏】

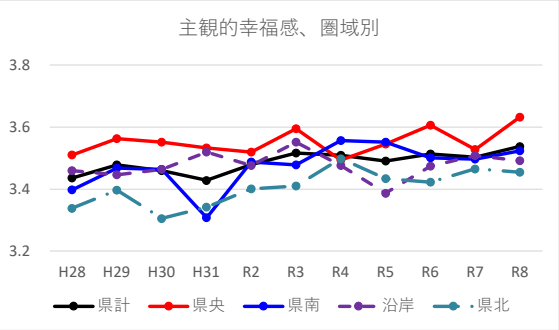


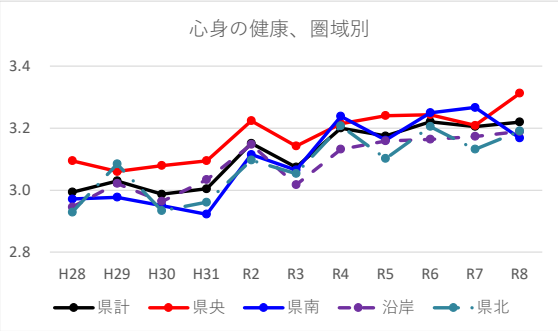
	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
心身の健康	2.95	3.02	2.96	3.03	3.15	3.02	3.13	3.16	3.16	3.17	3.19
余暇の充実	2.84	2.98	2.93	3.09	2.90	2.96	2.90	2.87	2.97	2.98	2.98
家族関係	3.89	3.85	3.94	3.97	3.90	3.86	3.92	3.91	3.89	3.91	3.96
子育て	2.93	3.02	2.97	3.14	3.05	3.11	3.09	3.02	3.00	3.02	3.02
子どもの教育	3.12	3.10	3.13	3.14	3.05	3.17	3.13	3.09	3.16	3.10	3.09
住まいの快適さ	3.13	3.30	3.23	3.39	3.28	3.33	3.35	3.29	3.32	3.33	3.32
地域社会とのつながり	3.23	3.36	3.30	3.43	3.18	3.16	3.13	3.05	3.13	3.21	3.19
地域の安全	3.59	3.71	3.70	3.82	3.54	3.74	3.67	3.54	3.58	3.56	3.56
仕事のやりがい	3.50	3.60	3.51	3.57	3.39	3.42	3.35	3.27	3.36	3.36	3.40
必要な収入や所得	2.52	2.63	2.51	2.71	2.53	2.76	2.53	2.41	2.38	2.48	2.43
歴史・文化への誇り	3.30	3.26	3.26	3.30	3.20	3.10	3.20	3.13	3.19	3.16	3.30
自然のゆたかさ		4.25	4.25	4.26	4.13	4.21	4.24	4.15	4.23	4.22	4.19

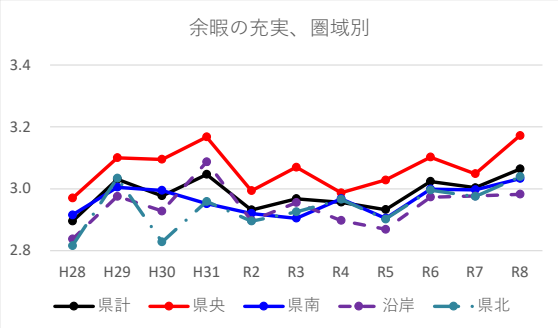
【県北広域振興圏】

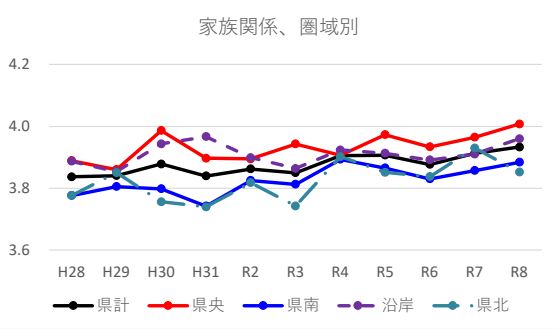


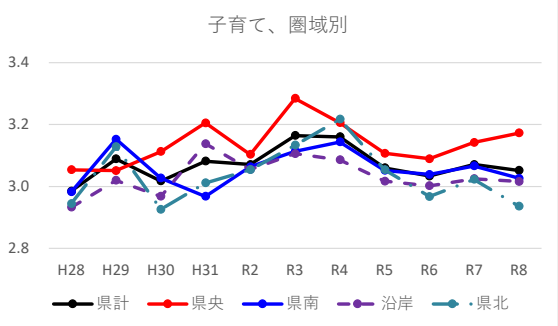
	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
心身の健康	2.93	3.08	2.93	2.96	3.10	3.05	3.21	3.10	3.21	3.13	3.19
余暇の充実	2.82	3.03	2.83	2.96	2.90	2.93	2.97	2.90	3.00	2.98	3.04
家族関係	3.78	3.85	3.76	3.74	3.82	3.74	3.90	3.85	3.84	3.93	3.85
子育て	2.94	3.13	2.93	3.01	3.05	3.13	3.22	3.05	2.97	3.02	2.94
子どもの教育	3.27	3.17	3.10	3.07	3.12	3.19	3.27	3.19	3.10	3.16	3.12
住まいの快適さ	3.05	3.28	3.10	3.22	3.09	3.18	3.16	3.19	3.17	3.14	3.18
地域社会とのつながり	3.37	3.44	3.26	3.33	3.19	3.07	3.13	3.18	3.17	3.12	3.13
地域の安全	3.72	3.89	3.76	3.82	3.63	3.78	3.70	3.70	3.66	3.57	3.65
仕事のやりがい	3.53	3.58	3.37	3.53	3.33	3.54	3.45	3.36	3.41	3.45	3.36
必要な収入や所得	2.37	2.57	2.34	2.60	2.48	2.76	2.60	2.53	2.54	2.51	2.50
歴史・文化への誇り	3.29	3.30	3.20	3.25	3.19	3.07	3.26	3.13	3.16	3.13	3.09
自然のゆたかさ		4.37	4.27	4.31	4.23	4.22	4.31	4.28	4.25	4.24	4.21

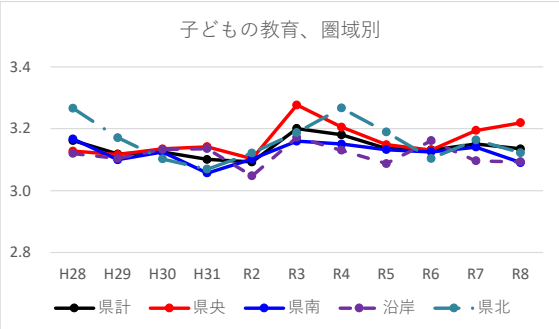

主観的幸福感、圏域別
3.8
3.6
3.4
3.2
H28 H29 H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
県計 県央 県南 沿岸 県北

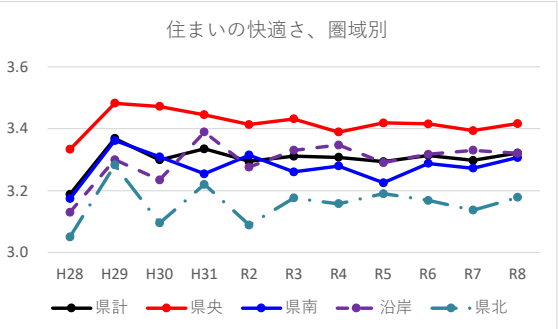

心身の健康、圏域別
3.4
3.2
3.0
2.8
H28 H29 H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
県計 県央 県南 沿岸 県北

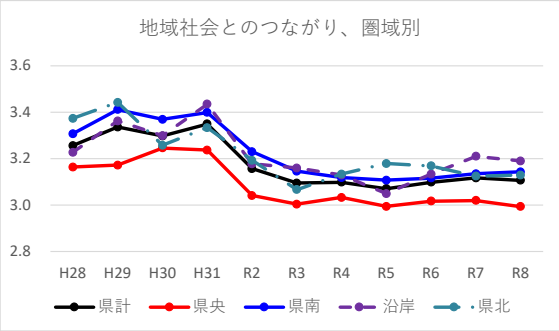

余暇の充実、圏域別
3.4
3.2
3.0
2.8
H28 H29 H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
県計 県央 県南 沿岸 県北

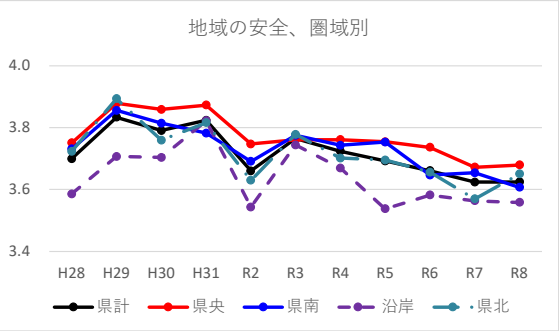

家族関係、圏域別
4.2
4.0
3.8
3.6
H28 H29 H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
県計 県央 県南 沿岸 県北

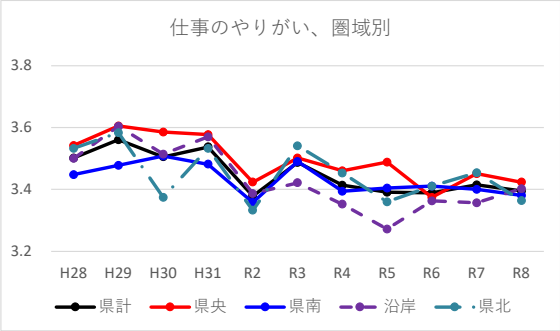

子育て、圏域別
3.4
3.2
3.0
2.8
H28 H29 H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
県計 県央 県南 沿岸 県北

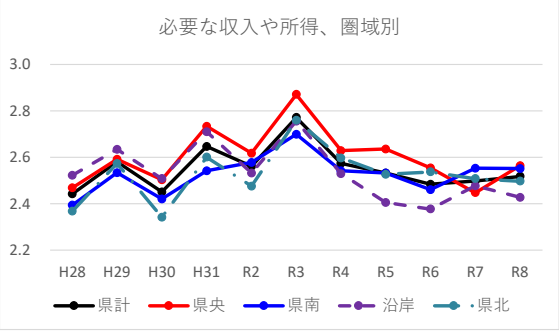

子どもの教育、圏域別
3.4
3.2
3.0
2.8
H28 H29 H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
県計 県央 県南 沿岸 県北

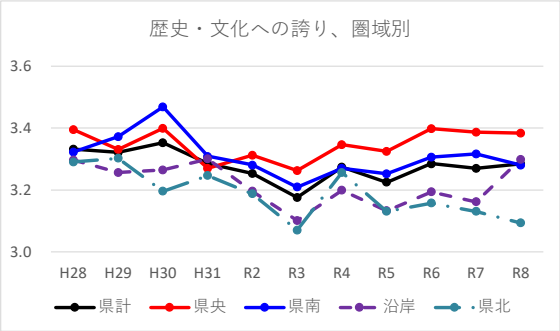

住まいの快適さ、圏域別
3.6
3.4
3.2
3.0
H28 H29 H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
県計 県央 県南 沿岸 県北

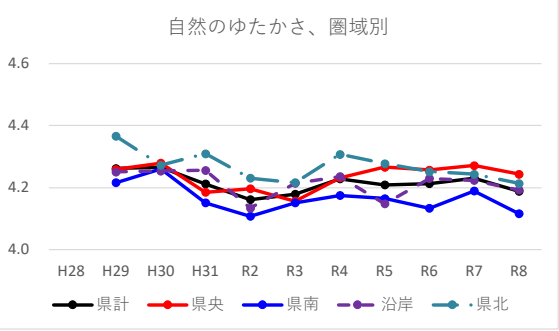

地域社会とのつながり、圏域別
3.6
3.4
3.2
3.0
2.8
H28 H29 H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
県計 県央 県南 沿岸 県北


地域の安全、圏域別
4.0
3.8
3.6
3.4
H28 H29 H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
県計 県央 県南 沿岸 県北


仕事のやりがい、圏域別
3.8
3.6
3.4
3.2
H28 H29 H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
県計 県央 県南 沿岸 県北


必要な収入や所得、圏域別
3.0
2.8
2.6
2.4
2.2
H28 H29 H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
県計 県央 県南 沿岸 県北


歴史・文化への誇り、圏域別
3.6
3.4
3.2
3.0
H28 H29 H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
県計 県央 県南 沿岸 県北


自然のゆたかさ、圏域別
4.6
4.4
4.2
4.0
H28 H29 H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
県計 県央 県南 沿岸 県北

広域振興圏別の回答取りまとめ結果

○　県央広域振興圏（R8補足調査・単純集計）

分　　野	感じる・やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない・感じない
（1）－１ からだの健康	・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・ 健康診断の結果 ・ こころの健康状態	・ 持病の有無 ・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・ 健康診断の結果	・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・ 持病の有無 ・ スポーツの習慣の有無
（1）－２ こころの健康	・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・　充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など） ・　仕事・学業におけるストレスの有無 ・　仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	・　仕事・学業におけるストレスの有無 ・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・　からだの健康状態	・　仕事・学業におけるストレスの有無 ・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・　仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無
（2）　余暇の充実	・ 自由な時間の確保 ・ 家族との交流 ・ 趣味・娯楽活動の場所・機会	・ 自由な時間の確保 ・ 家族との交流 ・ 趣味・娯楽活動の場所・機会	・ 自由な時間の確保 ・ 趣味・娯楽活動の場所・機会 ・ 知人・友人との交流
（3）　家族関係	・　会話の頻度（多い・少ない） ・　同居の有無 ・　困った時に助け合えるかどうか	・　家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担） ・　同居の有無 ・　会話の頻度（多い・少ない） ・　自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	・　家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担） ・　家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担） ・　困った時に助け合えるかどうか
（4）　子育て	・　子どもを預けられる人の有無（親、親戚など） ・　子どもを預けられる場所の有無（保育所など） ・　自分の勤め先の子育てに対する理解	・　子どもを預けられる人の有無（親、親戚など） ・　子どもの遊び場（公園など）の充実 ・　子どもの教育にかかる費用 ・　子育てにかかる費用	・　子どもの教育にかかる費用 ・　子育てにかかる費用 ・　自分の就業状況（労働時間、休業・休暇など）
（5）　子どもの教育	・　人間性、社会性を育むための教育内容 ・　学力を育む教育内容 ・　健やかな体を育む教育内容（体育、部活動の内容など）	・　学力を育む教育内容 ・　学校の選択の幅（高校、大学など） ・　人間性、社会性を育むための教育内容	・　不登校やいじめなどへの対応２　・人間性、社会性を育むための教育内容 ・　学校の選択の幅（高校、大学など）
（6）　住まいの快適さ	・　立地の利便性（スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など） ・　居住形態（持ち家か借家か） ・　住宅の延床面積（広さ・狭さ）	・　住宅の延床面積（広さ・狭さ） ・　居住形態（持ち家か借家か） ・　立地の利便性（スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など） ・　公共交通機関の利便性	・　住宅の機能性（バリアフリー、室内の温熱環境など） ・　立地の利便性（スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など） ・　住宅の延床面積（広さ・狭さ） ・　居住形態（持ち家か借家か） ・　住宅の安全性（耐震、耐火、浸・対策など） ・　公共交通機関の利便性 ・　近隣の生活者
（7）　地域社会とのつながり	・　その地域で過ごした年数 ・　隣近所との面識・交流 ・　自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など）	・　隣近所との面識・交流 ・　その地域で過ごした年数 ・　自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など）	・　隣近所との面識・交流 ・　自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など ・　地域の行事への参加（お祭り、スポーツ大会など）
（8）　地域の安全	・　犯罪の発生状況 ・　自然災害の発生状況 ・　交通事故の発生状況	・　野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況（シカ、イノシシ、クマなど） ・　犯罪の発生状況 ・社会インフラの老朽化（橋、下水道など）	・　野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況（シカ、イノシシ、クマなど） ・　地域の防犯体制（防犯パトロール、街頭防犯カメラなど） ・　犯罪の発生状況 ・　交通事故の発生状況 ・　地域の防災体制（自治会・町内会の防災活動、消防団など）
（9）　仕事のやりがい	・　現在の職種・業務の内容 ・　現在の収入・給料の額 ・　職場の人間関係	・　現在の収入・給料の額 ・　現在の職種・業務の内容 ・　業種・業務の将来性	・　現在の収入・給料の額 ・　将来の収入・給料の額の見込み ・　業務の量
(10)　必要な収入や所得	・　自分の収入・所得額（年金を含む） ・　家族の収入・所得額（年金を含む） ・　生活の程度	・　自分の収入・所得額（年金を含む） ・　家族の収入・所得額（年金を含む） ・　自分の支出額	・　自分の収入・所得額（年金を含む） ・　家族の収入・所得額（年金を含む） ・　家族の支出額
(11)　歴史・文化への誇り	・　地域のお祭り・伝統芸能 ・　地域の文化遺産・街並み ・　地域の食文化	・　その地域で過ごした年数 ・　誇りを感じる歴史や文化が見当たらない ・　地域の歴史や文化に関心がない	・　地域の歴史や文化に関心がない ・　誇りを感じる歴史や文化が見当たらない ・　その地域で過ごした年数
(12)　自然のゆたかさ	・　緑の量（豊か・少ない） ・　空気の状態（綺麗・汚い） ・　水（河川、池、地下水など）の状態（綺麗・汚い）	・　緑の量（豊か・少ない） ・　空気の状態（綺麗・汚い） ・　水（河川、池、地下水など）の状態（綺麗・汚い） ・　公園・緑地、水辺などの周辺環境	・　緑の量（豊か・少ない） ・　多様な動植物の生息 ・　空気の状態（綺麗・汚い） ・　水（河川、池、地下水など）の状態（綺麗・汚い） ・　海の状態（綺麗・汚い） ・　公園・緑地、水辺などの周辺環境 ・　自然（山・海など）と触れ合う機会 ・　地域での自然保護活動 ・　自然に関心がない

○　県南広域振興圏（R8補足調査・単純集計）

分　　野	感じる・やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない・感じない
（1）－１ からだの健康	・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・ 健康診断の結果 ・ こころの健康状態	・ 健康診断の結果 ・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・　持病の有無	・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・ 持病の有無 ・ 健康診断の結果
（1）－２ こころの健康	・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・　充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など） ・　仕事・学業におけるストレスの有無 ・　からだの健康状態	・　仕事・学業におけるストレスの有無 ・　仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 ・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	・　仕事・学業におけるストレスの有無 ・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・　仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無
（2）　余暇の充実	・　自由な時間の確保 ・ 家族との交流 ・ 知人・友人との交流	・　自由な時間の確保 ・ 趣味・娯楽活動の場所・機会 ・ 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会 ・　知人・友人との交流	・ 自由な時間の確保 ・ 趣味・娯楽活動の場所・機会 ・ 家族との交流 ・ 知人・友人との交流 ・ その他
（3）　家族関係	・　会話の頻度(多い・少ない)困った時に助け合えるかどうか ・　困った時に助け合えるかどうか ・　同居の有無	・　家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担） ・　家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担） ・　同居の有無 ・　会話の頻度（多い・少ない） ・　自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	・　家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担） ・　同居の有無 ・　会話の頻度（多い・少ない） ・　家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担） ・　困った時に助け合えるかどうか
（4）　子育て	・　子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) ・　自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) ・　子どもを預けられる場所の有無(保育所など) ・　配偶者の家事への参加	・　子育てにかかる費用 ・　子どもに関する医療機関(小児科など)の充実 ・　子どもの教育にかかる費用	・　子どもの遊び場(公園など)の充実 ・　子どもの教育にかかる費用 ・　子育てにかかる費用
（5）　子どもの教育	・　人間性、社会性を育むための教育内容 ・　健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) ・　学力を育む教育内容 ・　不登校やいじめなどへの対応	・　人間性、社会性を育むための教育内容 ・　学力を育む教育内容 ・　学校の選択の幅（高校、大学など）	・　人間性、社会性を育むための教育内容 ・　学力を育む教育内容 ・　不登校やいじめなどへの対応
（6）　住まいの快適さ	・　居住形態(持ち家か借家か) ・　住宅の延床面積(広さ・狭さ) ・　立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	・　住宅の延床面積(広さ・狭さ) ・　住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など) ・　住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	・　住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) ・　立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) ・　住宅の延床面積(広さ・狭さ) ・　住宅の安全性(耐震、耐火、浸・対策など)
（7）　地域社会とのつながり	・　その地域で過ごした年数 ・　自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) ・　隣近所との面識・交流	・　隣近所との面識・交流 ・　その地域で過ごした年数 ・　自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	・　隣近所との面識・交流 ・　地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) ・　自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)
（8）　地域の安全	・　犯罪の発生状況 ・　自然災害の発生状況 ・　火災の発生状況	・　野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) ・　交通事故の発生状況 ・　自然災害の発生状況	・　野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) ・　地域の防犯体制（防犯パトロール、街頭防犯カメラなど） ・　犯罪の発生状況
（9）　仕事のやりがい	・　現在の職種・業務の内容 ・　現在の収入・給料の額 ・　職場の人間関係	・　現在の収入・給料の額 ・　業務の量 ・　現在の職種・業務の内容 ・　業種・業務の将来性 ・　将来の収入・給料の額の見込み ・　職場の人間関係	・　現在の収入・給料の額 ・　現在の職種・業務の内容 ・　将来の収入・給料の額の見込み
(10)　必要な収入や所得	・　自分の収入・所得額(年金を含む) ・　家族の収入・所得額(年金を含む) ・　生活の程度	・　自分の収入・所得額(年金を含む) ・　自分の支出額 ・　生活の程度	・　自分の収入・所得額(年金を含む) ・　家族の収入・所得額(年金を含む) ・　自分の金融資産の額
(11)　歴史・文化への誇り	・　地域のお祭り・伝統芸能 ・　その地域で過ごした年数 ・　郷土の歴史的偉人	・　その地域で過ごした年数 ・　地域のお祭り・伝統芸能 ・　誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	・　誇りを感じる歴史や文化が見当たらない ・　地域の歴史や文化に関心がない ・　その地域で過ごした年数
(12)　自然のゆたかさ	・　緑の量(豊か・少ない) ・　空気の状態(綺麗・汚い) ・　水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)	・　空気の状態(綺麗・汚い) ・　緑の量(豊か・少ない) ・　公園・緑地、水辺などの周辺環境	・　緑の量(豊か・少ない) ・　水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) ・　空気の状態(綺麗・汚い) ・　公園・緑地、水辺などの周辺環境 ・　自然(山・海など)と触れ合う機会

○　沿岸広域振興圏（R8補足調査・単純集計）

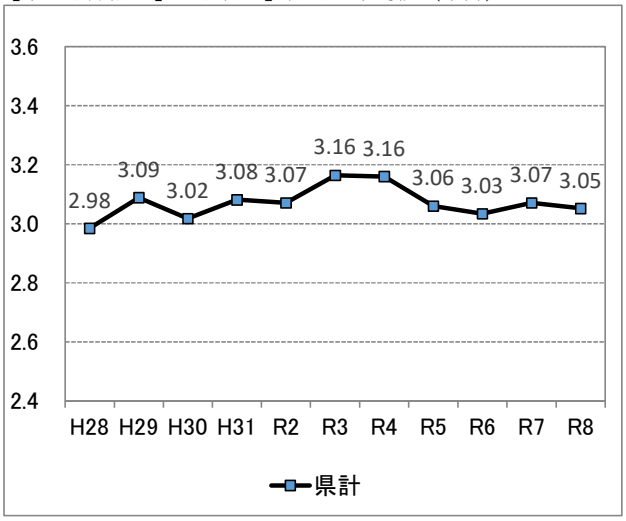
分　　野	感じる・やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない・感じない
（1）－１ からだの健康	・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・ 健康診断の結果 ・ こころの健康状態	・ 持病の有無 ・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・ スポーツの習慣の有無 ・ 健康診断の結果	・ 持病の有無 ・ こころの健康状態 ・ 健康診断の結果
（1）－２ こころの健康	・　仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 ・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・　相談相手の有無	・　睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・　仕事・学業におけるストレスの有無 ・　仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 ・　からだの健康状態	・　仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 ・　仕事・学業におけるストレスの有無 ・　からだの健康状態
（2）　余暇の充実	・ 自由な時間の確保 ・ 趣味・娯楽活動の場所・機会 ・ 家族との交流	・ 自由な時間の確保 ・ 知人・友人との交流 ・ 家族との交流	・ 自由な時間の確保 ・ 趣味・娯楽活動の場所・機会 ・ 知人・友人との交流
（3）　家族関係	・　会話の頻度(多い・少ない) ・　同居の有無 ・　困った時に助け合えるかどうか	・　同居の有無 ・　会話の頻度(多い・少ない) ・　自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担） ・　家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担） ・　困った時に助け合えるかどうか	・　会話の頻度(多い・少ない) ・　家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担） ・　家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担） ・　困った時に助け合えるかどうか
（4）　子育て	・　子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) ・　子どもを預けられる場所の有無(保育所など) ・　配偶者の家事への参加	・　子育てにかかる費用 ・　子どもに関する医療機関(小児科など)の充実 ・　子どもの教育にかかる費用 ・　子どもの習い事の選択の幅 ・　わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	・　子どもの教育にかかる費用 ・　子育てにかかる費用 ・　子どもに関する医療機関（小児科など）の充実
（5）　子どもの教育	・　学力を育む教育内容 ・　人間性、社会性を育むための教育内容 ・　学校教育における地域学習	・　人間性、社会性を育むための教育内容 ・　不登校やいじめなどへの対応１ ・　学力を育む教育内容	・　人間性、社会性を育むための教育内容 ・　学力を育む教育内容 ・　不登校やいじめなどへの対応
（6）　住まいの快適さ	・　居住形態(持ち家か借家か) ・　住宅の延床面積(広さ・狭さ) ・　立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	・　立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) ・　住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) ・　公共交通機関の利便性	・　立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) ・　住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) ・　公共交通機関の利便性
（7）　地域社会とのつながり	・　その地域で過ごした年数 ・　隣近所との面識・交流 ・　自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	・　その地域で過ごした年数 ・　隣近所との面識・交流 ・　自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	・　隣近所との面識・交流 ・　自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) ・　地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)
（8）　地域の安全	・　犯罪の発生状況 ・　交通事故の発生状況 ・　災害に備えた行政の防災体制（情報発信、避難所支援、復興対策など） ・　野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	・　野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) ・　自然災害の発生状況 ・　地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	・　野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) ・　自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) ・　自然災害の発生状況
（9）　仕事のやりがい	・　現在の職種・業務の内容 ・　現在の収入・給料の額 ・　職場の人間関係	・　現在の職種・業務の内容 ・　現在の収入・給料の額 ・　業種・業務の将来性	・　現在の収入・給料の額 ・　職場の人間関係 ・　現在の職種・業務の内容 ・　業務の量 ・　将来の収入・給料の額
(10)　必要な収入や所得	・　自分の収入・所得額(年金を含む) ・　家族の収入・所得額(年金を含む) ・　生活の程度	・　自分の収入・所得額(年金を含む) ・　家族の収入・所得額(年金を含む) ・　自分の支出額	・　自分の収入・所得額(年金を含む) ・　家族の収入・所得額(年金を含む) ・　家族の支出額
(11)　歴史・文化への誇り	・　地域のお祭り・伝統芸能 ・　その地域で過ごした年数 ・　地域での文化継承・保存活動	・　その地域で過ごした年数 ・　地域のお祭り・伝統芸能 ・　地域での文化継承・保存活動	・　誇りを感じる歴史や文化が見当たらない ・　地域の歴史や文化に関心がない ・　地域のお祭り・伝統芸能
(12)　自然のゆたかさ	・　緑の量(豊か・少ない) ・　空気の状態(綺麗・汚い) ・　海の状態(綺麗・汚い)	・　水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) ・　自然(山・海など)と触れ合う機会 ・　緑の量(豊か・少ない)	－

○　県北広域振興圏（R8補足調査・単純集計）

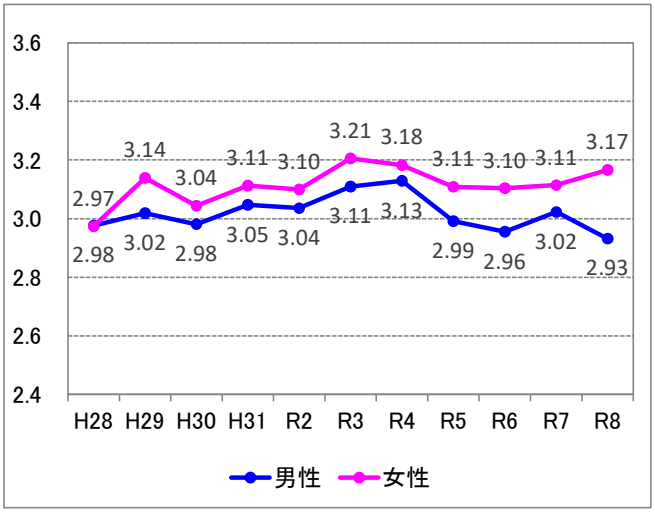
分　　野	感じる・やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない・感じない
（1）－１ からだの健康	・ 健康診断の結果 ・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・ 食事の制限	・ 健康診断の結果 ・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・ 持病の有無	・ 持病の有無 ・ 歩行などの行動の制限の有無 ・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）
（1）－２ こころの健康	・ 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ・ からだの健康状態 ・ 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	・ からだの健康状態 ・ 仕事・学業におけるストレスの有無 ・ 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	・ からだの健康状態 ・ 仕事・学業におけるストレスの有無 ・ 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無
（2） 余暇の充実	・ 自由な時間の確保 ・ 家族との交流 ・ 趣味・娯楽活動の場所・機会	・ 自由な時間の確保 ・ 運動や行動の制限の有無 ・ 家族との交流	・ 自由な時間の確保 ・ 趣味・娯楽活動の場所・機会 ・ 知人・友人との交流
（3） 家族関係	・ 会話の頻度(多い・少ない) ・ 困った時に助け合えるかどうか ・ 同居の有無	・ 会話の頻度(多い・少ない) ・ 同居の有無 ・ 一緒にいる時間（長い・短い） ・ 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	・ 会話の頻度(多い・少ない) ・ 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担） ・ 同居の有無 ・ 困った時に助け合えるかどうか
（4） 子育て	・ 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) ・ 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) ・ 配偶者の家事への参加 ・ 自分の勤め先の子育てに対する理解	・ 子育てにかかる費用 ・ わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) ・ 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) ・ 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) ・ 子どもに関する医療機関（小児科など）の充実	・ 子育てにかかる費用 ・ 子どもの教育にかかる費用 ・ 子どもの習い事の選択の幅
（5） 子どもの教育	・ 人間性、社会性を育むための教育内容 ・ 学力を育む教育内容 ・ 健やかな体を育む教育内容（体育、部活動の内容など）	・ わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) ・ 学校の選択の幅(高校、大学など) ・ 人間性、社会性を育むための教育内容	・ 学校の選択の幅(高校、大学など) ・ 学力を育む教育内容 ・ 人間性、社会性を育むための教育内容 ・ 健やかな体を育む教育内容（体育、部活動の内容など） ・ わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)
（6） 住まいの快適さ	・ 居住形態(持ち家か借家か) ・ 住宅の延床面積(広さ・狭さ) ・ 周辺地域の治安	・ 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など) ・ 住宅の延床面積(広さ・狭さ) ・ 居住形態(持ち家か借家か) ・ 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) ・ 公共交通機関の利便性	・ 公共交通機関の利便性 ・ 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) ・ 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)
（7） 地域社会とのつながり	・ その地域で過ごした年数 ・ 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) ・ 隣近所との面識・交流	・ その地域で過ごした年数 ・ 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) ・ 隣近所との面識・交流	・ 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) ・ 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) ・ 隣近所との面識・交流
（8） 地域の安全	・ 犯罪の発生状況 ・ 交通事故の発生状況 ・ 自然災害の発生状況	・ 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) ・ 自然災害の発生状況 ・ 交通事故の防止（歩道の整備など）	・ 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) ・ 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) ・ 犯罪の発生状況 ・ 自然災害の発生状況
（9） 仕事のやりがい	・ 現在の職種・業務の内容 ・ 現在の収入・給料の額 ・ 業務の量	・ 現在の収入・給料の額 ・ 就業形態(正規・非正規など) ・ 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	・ 現在の収入・給料の額 ・ 現在の職種・業務の内容 ・ 業務の量 ・ 職場の人間関係
(10) 必要な収入や所得	・ 自分の収入・所得額(年金を含む) ・ 家族の収入・所得額(年金を含む) ・ 生活の程度	・ 自分の収入・所得額(年金を含む) ・ 家族の収入・所得額(年金を含む) ・ 自分の支出額	・ 自分の収入・所得額(年金を含む) ・ 家族の収入・所得額(年金を含む) ・ 自分の支出額
(11) 歴史・文化への誇り	・ 地域のお祭り・伝統芸能 ・ その地域で過ごした年数 ・ 地域の食文化	・ 地域のお祭り・伝統芸能 ・ その地域で過ごした年数 ・ 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	・ 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない ・ 地域の歴史や文化に関心がない ・ その地域で過ごした年数 ・ 地域のお祭り・伝統芸能
(12) 自然のゆたかさ	・ 緑の量(豊か・少ない) ・ 空気の状態(綺麗・汚い) ・ 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)	・ 緑の量(豊か・少ない) ・ 自然に関心がない ・ 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) ・ 海の状態(綺麗・汚い) ・ 多様な動植物の生息	・ 公園・緑地、水辺などの周辺環境 ・ 空気の状態(綺麗・汚い) ・ 多様な動植物の生息 ・ 自然(山・海など)と触れ合う機会 ・ その他

「子育て」に関する属性別実感の推移

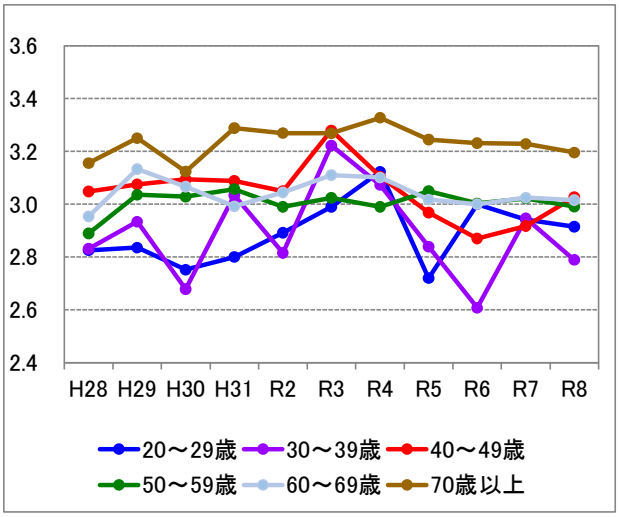
【県民意識調査】「子育て」分野の平均値（県計）



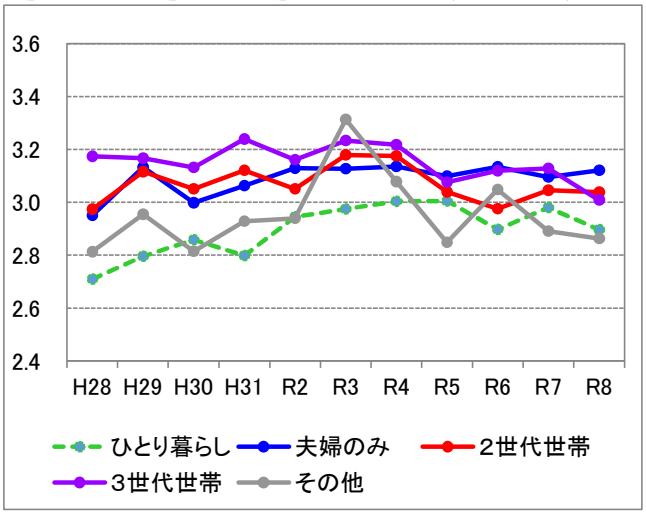
【県民意識調査】「子育て」分野の平均値（性別）



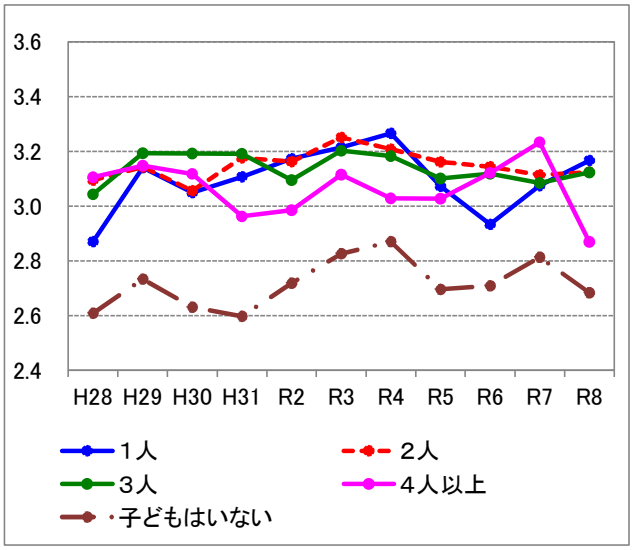
【県民意識調査】「子育て」分野の平均値（年代別）



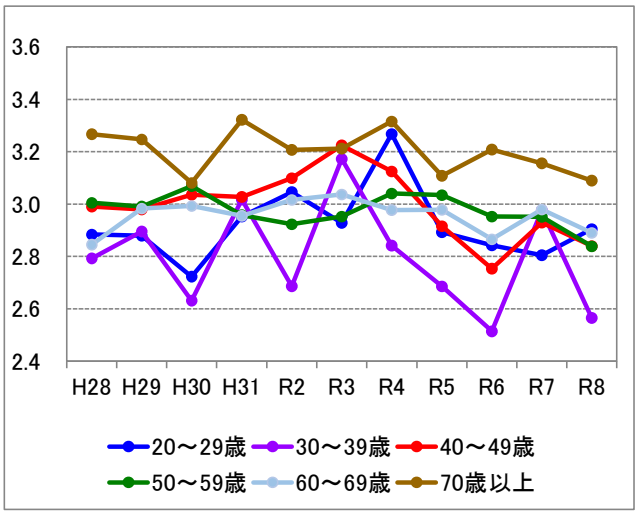
【県民意識調査】「子育て」分野の平均値（世帯構成別）



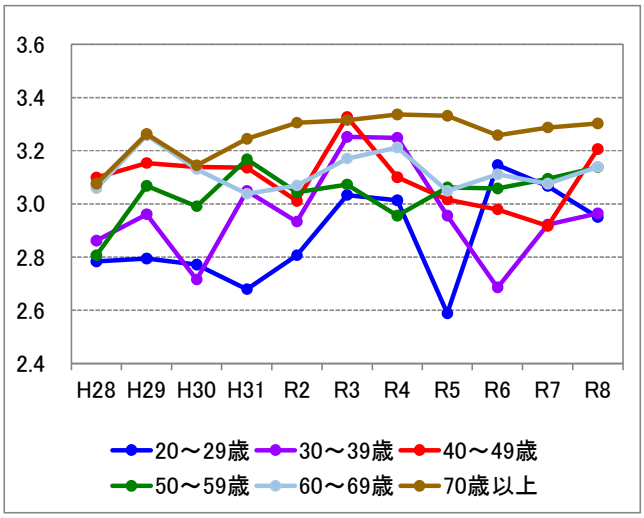
【県民意識調査】「子育て」分野の平均値（子どもの数別）の推移



【県民意識調査】「子育て」分野の平均値（男性・年代別）

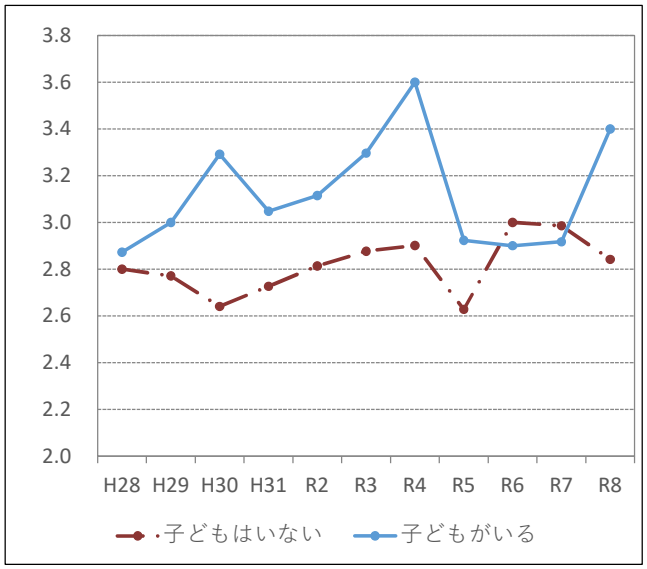


【県民意識調査】「子育て」分野の平均値（女性・年代別）

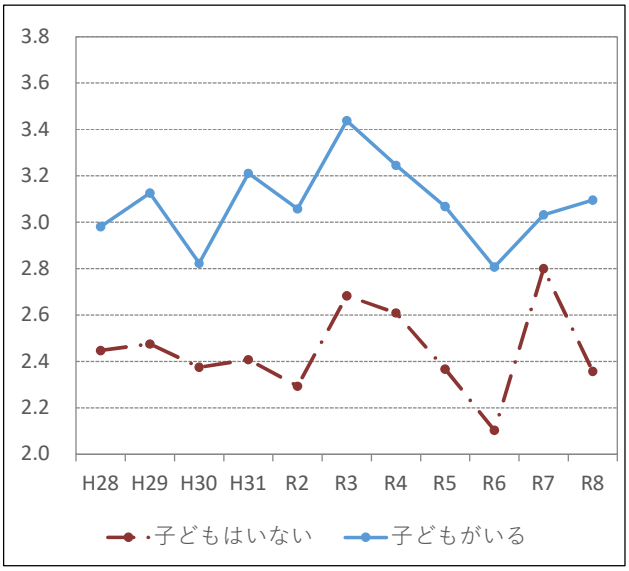


「子育て」分野の平均値の推移（子どもの有無・年代別）

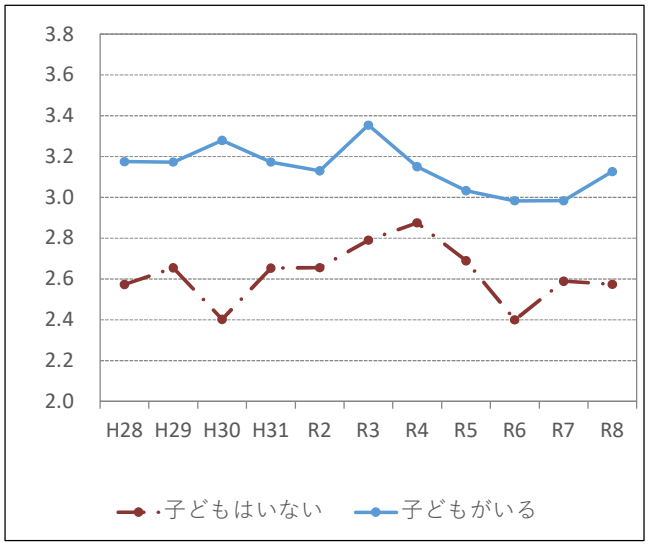
（20～29歳）



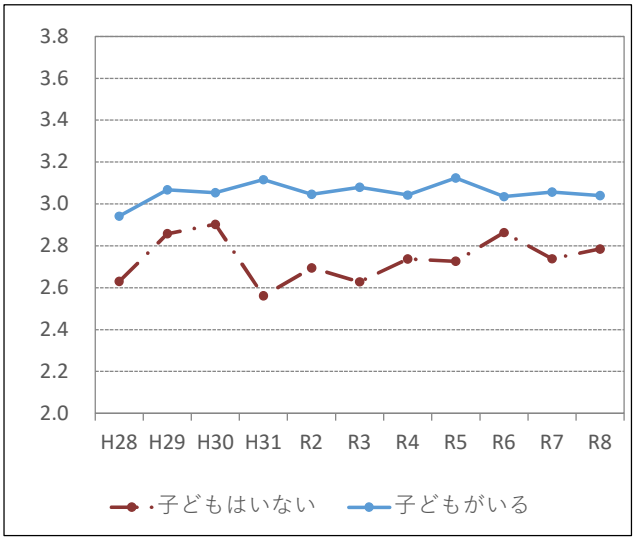
（30～39歳）



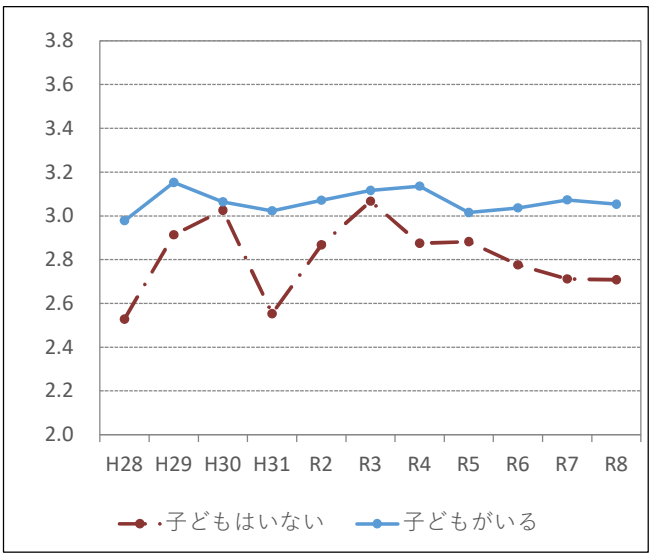
（40～49歳）



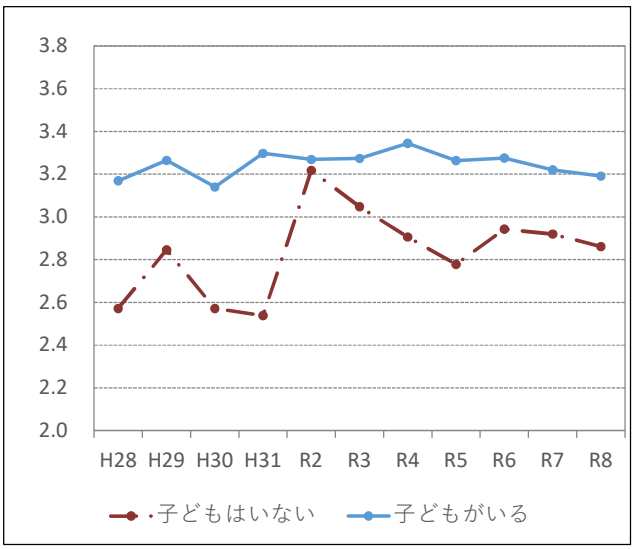
（50～59歳）



（60～69歳）



（70歳以上）



県民の幸福感に関する分析部会運営要領

（設置）

第１条　岩手県附属機関条例（令和５年岩手県条例第４号）第７条第１項の規定に基づき、岩手県総合計画審議会に県民の幸福感に関する分析部会（以下「部会」という。）を置く。

（所掌）

第２条　部会の所掌事項は、次のとおりとする。

（１）　「県の施策に関する県民意識調査」等で把握した、県民の幸福に対する実感の分析に関すること。

（２）　その他いわて県民計画の推進に当たって必要な事項に関すること。

（組織）

第３条　部会は、委員７名以内で組織し、岩手県総合計画審議会の委員及び専門委員をもって構成する。

２　委員の任期は、２年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（部会長及び副部会長）

第４条　部会に、部会長及び副部会長を各１名置く。

２　部会長及び副部会長は、委員の互選によって定める。

３　部会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

４　副部会長は部会長を補佐し、部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（オブザーバー）

第５条　部会にオブザーバーを置くことができる。

２　オブザーバーは、知事が任命する。

３　オブザーバーは、必要に応じて会議に出席し、意見を述べることができる。

（会議）

第６条　部会は、知事が招集する。

２　部会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

３　部会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（意見の聴取）

第７条　部会は、必要に応じて専門的知識を有する者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

（庶務）

第８条　部会の庶務は、政策企画部政策企画課において処理する。

（補則）

第９条　この要領に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附　則

この要領は、令和元年６月６日から施行する。

附　則

この要領は、令和２年４月１日から施行する。

附　則

この要領は、令和４年４月１日から施行する。

附　則

この要領は、令和５年４月１日から施行する。

附　則

この要領は、令和６年４月１日から施行する。

令和８年県の施策に関する県民意識調査

岩手県が実施する「県の施策に関する県民意識調査」は、県民の皆様が、身の回りの暮らしの事柄について、どの程度重要だと感じ、どの程度満足しているかなどについての御意見を伺うものです。

県では、県民の皆様の御意見を取り入れながら、施策を展開していきたいと考えておりますので、調査への御協力をお願いいたします。

なお、この調査の結果につきましては、令和８年５月頃に公表する予定としており、岩手県調査統計課のホームページでお知らせします。

「いわての統計情報～イーハトーブ・データ館～」

https://www2.pref.iwate.jp/~stat/

ご記入にあたってのお願い

◆　この調査は、無記名式であり、回答は全て統計的に処理され、調査票は、集計後、処分します。**秘密の保護には万全を期していますので、ありのままをお答えください。**

◆　このアンケート調査には、調査票をお送りした封筒に書かれた**あて名の御本人様**がお答えください。（ただし、御本人様が長期不在などでお答えいただけない御事情がある場合には、御本人様に代わって、御家族の方などが御自身の立場でお答えください。）

◆　お答えは、直接この調査票にお書きいただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**１月 26 日（月）**までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。

◆　返信状況を確認するため、同封の返信用封筒に整理番号を印字しています。
この番号は、**回答内容とは一切紐付けず、集計時には削除します**ので、個人の回答が特定されることはありません。

◆　回答数が少なく調査の信頼性を確保できない場合には、**未回答の方へ改めて調査のお願いをすることがあります**ので、御了承ください。

【お問合せ先】

この調査について、御不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

岩手県ふるさと振興部調査統計課　調査分析担当
〒020-8570　盛岡市内丸 10 番１号
TEL:019-629-5300（直通）　FAX:019-629-5309
E-mail: stat@pref.iwate.jp
（電話受付時間：平日８時 30 分から 17 時まで）

1　調査の目的

岩手県では、**「いわて県民計画（2019～2028）」**を策定し、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわての実現に向けて、計画を推進しています。

この調査は、**「いわて県民計画（2019～2028）」**に掲げる「10 の政策分野」に基づく取組を推進していくために、**県民の皆様の御意見**をお伺いし、**次の施策に生かしていく**ために行うものです。

「いわて県民計画（2019～2028）」　10 の政策分野

①健康・余暇	健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手
②家族・子育て	家族の形に応じたつながりや支え合いが育まれ、また、安心して子育てをすることができる岩手
③教育	学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手
④居住環境・コミュニティ	不便を感じないで日常生活を送ることができ、また、人や地域の結び付きの中で、助け合って暮らすことができる岩手
⑤安全	災害をはじめとした様々なリスクへの備えがあり、事故や犯罪が少なく、安全で、安心を実感することができる岩手
⑥仕事・収入	農林水産業やものづくり産業などの活力ある産業のもとで、安定した雇用が確保され、また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手
⑦歴史・文化	豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手
⑧自然環境	一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、自然の豊かさとともに暮らすことができる岩手
⑨社会基盤	防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手
⑩参画	男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などの活躍、幅広い市民活動や県民運動など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手

2　調査結果の活用方法

県では、平成 13 年度から**政策評価を本格導入**し、県の仕事が目標に向かってうまく機能しているかどうかをチェックし、その結果を次の施策に反映していくことにしています。

今回の**調査結果は、県民の皆様に、より満足していただけるサービスを提供していくための重要な情報として、政策評価や施策の立案などに活用**することにしています。

3　調査の構成と記入の方法

(1) 質問は、**４ページから 26 ページ**までで、**問１から問７まで**あります。

(2) 回答は、この調査票の所定の欄に直接御記入ください。

(3) 回答は、**全ての項目**についてお願いいたします。

記入例　**ここでは、問2（P5～14）の場合を例示しています。**

問2　次に、１ページで御説明いたしました「10 の政策分野」に関連する次の１から 57 までの調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。あなたの身のまわりを見回してみて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

「あなたの重要度」では、あなたの現在の暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要であるかをお答えください。

「あなたの満足度」では、あなたの現在の暮らしから見て、調査項目の状態にどれくらい満足しているかをお答えください。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
30　犯罪に対する不安が少ない社会であること。	5	4	3	2	(1)	0	5	4	3	(2)	1	0
31　交通事故が少ない社会であること。	(5)	4	3	2	1	0	5	(4)	3	2	1	0

※　「あなたの重要度」の記入例

あなたの現在の暮らしにとって、「30　犯罪に対する不安が少ない社会であること。」という状態を実現することが、どれくらい重要かをお答えいただくものです。

この例では、「重要ではない」と思う場合を例示していますので、数字の「１」に○をつけます。

※　「あなたの満足度」の記入例

あなたの現在の暮らしから見て、「30　犯罪に対する不安が少ない社会であること。」は、どれくらい満足できる状態にあるかをお答えいただくものです。

この例では、「やや不満な状態にある」と思う場合を例示していますので、数字の「２」に○をつけます。

このページから調査票になります。

問1　まず最初にお伺いします。

あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

あなたの気持ちに近いものを１つだけ選び、その番号に○をつけてください。

あなたの満足度 （１つ選び、番号に○をつけてください）					
満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
5	4	3	2	1	0

問2　次に、１ページで御説明いたしました「10 の政策分野」に関連する次の１から 57 の調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。あなたの身のまわりを見回してみて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

「あなたの重要度」では、あなたの現在の暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要であるかをお答えください。

「あなたの満足度」では、あなたの現在の暮らしから見て、調査項目の状態にどれくらい満足しているかをお答えください。

(1) まず、**「健康・余暇」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
１　体の健康づくりについての相談、指導を受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
２　心の健康づくりについての相談、支援を受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
３　必要な医療を適切に受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
４　介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
５　日常的に文化芸術に親しむ機会があること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
６　身近な地域でスポーツを楽しむ機会が充実していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
7　学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(2) 次に、**「家族・子育て」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
8　安心して子どもを生み育てられ、子育てがしやすい環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
9　学校・家庭・地域が連携し、子どもの育ちと学びに取り組んでいること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
10　地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
11　仕事と生活を両立できる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
12　ペットなど動物のいのちを大切にする社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(3) 次に、**「教育」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
13　子どもたちの学力が向上する教育がされていること。〔子どもは、小学生から高校生までをお考えください。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
14　子どもたちが、自分の良さを知り、人を思いやる心を持つなど、人間性豊かに育っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
15　子どもたちが、スポーツや運動に取り組むことによって、体力の向上や心身の健康の保持が図られていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
16　学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
17　学校が、いじめや不登校に適切に対処していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
18　学校施設や登下校時において、子どもたちが安全・安心に学ぶことができる環境となっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
19　特色ある私学教育の充実が図られていること。〔私学教育とは、私学の幼児教育から高等教育までをお考えください。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
20　岩手の復興・発展を支える人材が育成されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
21　文化芸術やスポーツの分野において、本県ゆかりの芸術家や選手が国内外で活躍していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
22　県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(4) 次に、**「居住環境・コミュニティ」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
23　道路や上下水道などの生活基盤の整備、歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化や冬は暖かく夏は涼しいなど良質な住宅の普及等が進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
24　鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
25　つながりや活力を感じられる地域コミュニティであること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
26　岩手への移住・定住を増やすための取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
27　外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
28　文化芸術・スポーツを生かした地域づくりが行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(5) 次に、**「安全」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
29　地域の防災体制が、住民の協力により整っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
30　犯罪に対する不安が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
31　交通事故が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
32　悪質商法、架空請求、多重債務などの消費者トラブルについて、適切な相談や支援を受けられる社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
33　購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
34　感染症に対する備えが整っている社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(6) 次に、**「仕事・収入」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
35　県内に職を求める人が希望どおりに就職できる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
36　身近な商店街が、住民に利用され、にぎわっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
37　中小企業が、より魅力のある商品・サービス等の提供や経営人材の確保等に取り組み、事業活動を活発に展開していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
38　工場や事業所の新設・増設により、県内経済が活性化していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
39　地域の資源を生かした加工食品や工芸品などが開発され、販売されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
40　海外における県産品の販路の拡大が図られること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
41　地域が、魅力ある観光地づくりに取り組んでいること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
42　地域の農林水産業の担い手が確保されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
43　消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
44　本県農林水産物が評価され、販路が拡大していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	ややや満足できる状態にある	どちらともいえない	ややや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
45　生産者や地域住民などとの地域活動や都市との交流により活力ある農山漁村が形成されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(7) 次に、**「歴史・文化」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	ややや満足できる状態にある	どちらともいえない	ややや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
46　世界遺産を守り将来に伝えていくための取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
47　豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(8) 次に、**「自然環境」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	ややや満足できる状態にある	どちらともいえない	ややや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
48　大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動植物を大切にしながら生活していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
49　ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル(資源ごみの分別など)が定着していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
50　地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出量削減の取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(9) 次に、**「社会基盤」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
51　国際リニアコライダー（ＩＬＣ）(注)などの国際研究拠点の形成を見据えた、外国人研究者等の受入環境等の整備や新たな産業振興の取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
52　インターネットや携帯電話・スマートフォンなどの利用により、情報通信技術が暮らしや仕事に生かされていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
53　防災施設の整備等が進み、地震や津波、洪水、土砂災害による被害を受けにくい、安心して暮らせる県土であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
54　高速道路や、インターチェンジ、新幹線駅、港湾、空港などの交通や物流の拠点に通じる道路が整備されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
55　道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

（注）国際リニアコライダー（ILC）とは、全長 20～50km の地下トンネルに建設される、電子と陽電子を加速、衝突させ質量の起源や時空構造、宇宙誕生の謎の解明を目指す大規模施設のことをさします。

（10）次に、**「参画」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
56　性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
57　だれもが市民活動（注１）や県民運動（注２）に参加できる社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

（注１）市民活動とは、NPO、ボランティア、自治会・町内会（子供会行事への参加、清掃や美化活動等を含む）などの活動をさします。
（注２）県民運動とは、地域医療体制づくりや地球温暖化防止、交通事故防止など、全県的な目標・課題に関し多様な主体が連携して取り組むことをさします。

問3 県では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向けて様々な取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

問3-1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。①～⑫の各項目について、あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください （該当しない調査項目は、「わからない」を選択してください）					
	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
① こころやからだが健康だと感じますか	5	4	3	2	1	0
② 余暇が充実していると感じますか	5	4	3	2	1	0
③ 家族と良い関係がとれていると感じますか	5	4	3	2	1	0
④ 子育てがしやすいと感じますか	5	4	3	2	1	0
⑤ 子どものためになる教育が行われていると感じますか	5	4	3	2	1	0
⑥ 住まいに快適さを感じますか	5	4	3	2	1	0
⑦ 地域社会とのつながりを感じますか	5	4	3	2	1	0
⑧ お住まいの地域は安全だと感じますか	5	4	3	2	1	0
⑨ 仕事にやりがいを感じますか	5	4	3	2	1	0
⑩ 必要な収入や所得が得られていると感じますか	5	4	3	2	1	0
⑪ 地域の歴史や文化に誇りを感じますか	5	4	3	2	1	0
⑫ 自然に恵まれていると感じますか	5	4	3	2	1	0

問3-2　あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。
最も近いものを１つだけ選び、その番号に○をつけてください。

あなたの現在の幸福感 （１つ選び、番号に○をつけてください）					
幸福だと感じている	やや幸福だと感じている	どちらともいえない	あまり幸福だと感じていない	幸福だと感じていない	わからない
5	4	3	2	1	0

問3-3　あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。該当する全ての番号に○をつけてください。

1　健康状況

2　自由な時間・充実した余暇

3　家族関係

4　友人関係

5　職場の人間関係

6　子育て環境

7　教育環境

8　居住環境

9　社会貢献

10　地域コミュニティとの関係

11　治安・防災体制

12　仕事のやりがい

13　就業状況

14　家計の状況

15　地域の歴史・文化

16　自然環境

17　その他（具体的に：　　）

問3-4 ①～⑥の各項目について、あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください				
	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない
① 身近な周りの人が幸福であると感じますか	5	4	3	2	1
② 周りの人に認められていると感じますか	5	4	3	2	1
③ 大切な人を幸福にしていると感じますか	5	4	3	2	1
④ 安定した日々を過ごしていると感じますか	5	4	3	2	1
⑤ 人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていると感じますか	5	4	3	2	1
⑥ 周りの人たちと同じくらい幸福だと感じますか	5	4	3	2	1

問4 県では、幸福に関連する項目として、「つきあい・交流」、「信頼」、「社会参加」といった「つながり」に注目しており、ここからはあなたの「つながり」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

問4-1 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。つきあいの程度について、次のうちから当てはまるものを１つだけ選び、番号に○をつけてください。

1　互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人もいる

2　日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている

3　あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない

4　つきあいは全くしていない

問4-2 つきあっているご近所の方の数について、次のうちから当てはまるものを１つだけ選び、番号に○をつけてください。

1　近所のかなり多くの人と面識・交流がある（概ね２０人以上）

2　ある程度の人との面識・交流がある（概ね５～１９人）

3　近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある（概ね４人以下）

4　隣の人がだれかも知らない

問4-3 あなたは、①友人・知人、②親戚・親類とどのようなおつきあいをされていますか。次のうちから当てはまるものを１つずつ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	該当するものを１つ選び、番号に○をつけてください					
	日常的にある（毎日から週に数回程度）	ある程度頻繁にある（週に１回～月に数回程度）	ときどきある（月に１回～年に数回程度）	めったにない（年に１回～数年に１回程度）	全くない	該当する人はいない
①　友人・知人とのつきあい（学校や職場以外で）	5	4	3	2	1	0
②　親戚・親類とのつきあい（同居している方を除く）	5	4	3	2	1	0

問4-4　あなたは現在、①地縁的な活動、②スポーツ・趣味・娯楽活動、③ボランティア・ＮＰＯ・市民活動をされていますか。次のうちから当てはまるものを１つずつ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	活動している	活動していない
①　地縁的な活動 （自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子ども会など）	2	1
②　スポーツ・趣味・娯楽活動 （各種スポーツ、芸術文化活動、生涯学習など）	2	1
③　ボランティア・ＮＰＯ・市民活動 （まちづくり、高齢者・障がい者福祉や子育て、スポーツ指導、美化、防犯・防災、環境、国際協力活動など）	2	1

問4-5　あなたのお住まいの地域（小・中学校区から市町村の範囲）に対する実感をおたずねします。①～④の各項目について、あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください				
	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない
①　地域への愛着を感じていますか	5	4	3	2	1
②　ご近所とのつきあいはよいと感じますか	5	4	3	2	1
③　信頼できる人が身近にいると感じますか	5	4	3	2	1
④　地域での活動や社会貢献活動に参加できていると感じますか	5	4	3	2	1

問5　生活時間及び家事関連時間についてお伺いします。

<u>夫婦世帯の方</u>は（１）～（５）に記入してください。<u>夫婦世帯以外の方</u>は（６）にお進みください。

(1) お二人とも職業をお持ちですか。

（あてはまるもの1つに○印）

１．夫婦二人とも仕事を持っている	２．夫のみ持っている
３．妻のみ持っている	４．どちらも持っていない

(2) あなたとあなたの夫（妻）は、普段、どれぐらい家事を行っていますか。
以下の家事の種類ごとに、夫と妻を別に、**<u>１日当たり</u>**の家事労働従事時間を記入してください。（１週間の平均時間を目安にお答えください。）

（□内に数字を記入してください）

家　事　の　種　類	あ　な　た（調査対象者）					あなたの夫（妻）				
①食事の用意・後片付け	約		時間		分	約		時間		分
②掃除・洗濯	約		時間		分	約		時間		分
③育児	約		時間		分	約		時間		分
④介護・看護	約		時間		分	約		時間		分
⑤買い物	約		時間		分	約		時間		分
⑥その他（　　）	約		時間		分	約		時間		分

(3) あなた（調査対象者）は、普段の生活で、（２）のほか、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。
以下の行動の種類ごとに、あなた（調査対象者）の**<u>１日当たり</u>**の行動の時間を記入してください。（１週間の平均時間を目安にお答えください。）

（□内に数字を記入してください）

行　動　の　種　類	行　動　の　時　間				
①睡眠	約		時間		分
②身の回りの用事	約		時間		分
③食事（注１）	約		時間		分
④通勤・通学	約		時間		分
⑤仕事（収入を伴う仕事）	約		時間		分
⑥学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動）	約		時間		分

（注１）仕事や学業の昼休みに食事をした場合、「③食事」には食事の時間だけを記入してください。食事後に休憩した時間は「③食事」には含めないでください。

（注２）行動の種類には（２）、（３）のほかに移動（通勤・通学を除く）、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・付き合い、受診・療養といったものもあるので、（２）と（３）の行動の時間の合計が 24 時間より小さくても構いません。

次の質問は男性の方のみお答えください。

⑷ あなたは、今後（も）、家事を分担したいと思いますか。

（あてはまるもの1つに○印）

１．今後（も）家事を分担したい　　２．特に分担したいとは思わない

次の質問は夫婦世帯の方全員お答えください。

⑸ 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。

（あてはまるもの全てに○印）

１．男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと

２．男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと

３．夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること

４．年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること

５．社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること

６．男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること

７．労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのＩＣＴを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること

８．男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと

９．男性が家事・育児などを行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること

10．その他（　　）

11．特に必要なことはない

夫婦世帯以外の方は（６）に記入してください。
夫婦世帯の方は記入せず次の問６にお進みください。

(6) あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。
以下の行動の種類ごとに、あなた（調査対象者）の**１日当たり**の行動の時間を記入してください。（１週間の平均時間を目安にお答えください。）

（□内に数字を記入してください）

行　動　の　種　類	行　動　の　時　間				
①睡眠	約		時間		分
②身の回りの用事	約		時間		分
③食事（注１）	約		時間		分
④通勤・通学	約		時間		分
⑤仕事（収入を伴う仕事）	約		時間		分
⑥学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動）	約		時間		分
⑦食事の用意・後片付け	約		時間		分
⑧掃除・洗濯	約		時間		分
⑨育児	約		時間		分
⑩介護・看護	約		時間		分
⑪買い物	約		時間		分
⑫その他（⑦～⑪以外の家事）	約		時間		分

（注１）仕事や学業の昼休みに食事をした場合、「③食事」には食事の時間だけを記入してください。食事後に休憩した時間は「③食事」には含めないでください。

（注２）行動の種類には①～⑫のほかに移動（通勤・通学を除く）、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・付き合い、受診・療養といったものもあるので、①～⑫の行動の時間の合計が 24 時間より小さくても構いません。

問6　あなたは、昨年同時期に比べて、以下の行動にかける時間が変化していますか。近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

	増えた	変わらない	減った	やっていない
学習・自己啓発・訓練（学業以外）	3	2	1	0
趣味・娯楽	3	2	1	0
スポーツ	3	2	1	0
ボランティア活動・社会参加活動	3	2	1	0

アンケートに回答した方（あなた）について伺います。

問7　最後に、お答えいただいた「あなた」御自身のことについておたずねします。これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、該当する番号に○をつけてください。

(1) 性別（○は１つ）

1　男性	2　女性	3　その他

(2) 年齢（満年齢）（○は１つ）

1　18～19 歳	2　20～29 歳	3　30～39 歳	4　40～49 歳
5　50～59 歳	6　60～69 歳	7　70 歳以上	

(3) あなたの主な御職業は何ですか。（○は１つ）

1　自営業主
2　家族従業者
3　会社役員・団体役員
4　常用雇用者　※期間を定めずに又は１年を超える期間を定めて雇われる人
5　臨時雇用者（パート、アルバイトなど）　※日々又は１年以内の期間を定めて雇われる人
6　学生
7　専業主婦（主夫）
8　無職
9　その他（具体的に：　　）

※　(3)で１～５に○をつけられた方のみお答えください。
その業種は何ですか。（○は１つ）

1　農業、林業	2　漁業	3　鉱業、採石業、砂利採取業
4　建設業	5　製造業	6　電気・ガス・熱供給・水道業
7　情報通信業	8　運輸業、郵便業	9　卸売・小売業
10　金融業、保険業	11　不動産業、物品賃貸業	
12　学術研究、専門・技術サービス業		13　宿泊業、飲食サービス業
14　その他のサービス業	15　公務	
16　その他（具体的に：　　）		

(4) あなたの世帯についてお伺いします。次のどれに当たりますか。（○は１つ）

1　ひとり暮らしである（単身赴任を含む）
2　一緒に暮らしている人がいる
3　寮、寄宿舎、老人ホームその他の施設にいる
4　その他（　　）

※　(4)で２又は４に○をつけられた方のみお答えください。

あなたの世帯に含まれる方は次のどれにあてはまりますか。該当する番号全てに○をつけてください。（あなたとの続柄でお答えください。）

1　祖父又は祖母（配偶者の祖父（祖母）を含む）	2　父母(配偶者の父（母）を含む)
3　配偶者	4　兄弟・姉妹(配偶者の兄弟・姉妹を含む)
5　子ども	6　子どもの配偶者
7　孫	8　その他（　　）

(5) あなたのお子さんは、何人いますか。（同居・別居は問いません。）

1　１人	2　２人	3　３人
4　４人	5　５人以上	6　子どもはいない

※　(5)で１～５に○をつけられた方のみお答えください。

あなたのお子さんは、次のどこにあてはまりますか。（該当する番号全てに○をつけてください。）

1　小学校入学前（乳幼児を含む。）	2　小学生
3　中学生	4　高校生（高校受験浪人を含む。）
5　高校を卒業し専門学校、短大、大学、大学院に在学（大学受験浪人を含む。）	
6　学校教育終了で同居	7　学校教育終了で別居
8　その他（具体的に：　　）	

(6) あなたは岩手県に住んで通算何年になりますか。（○は１つ）

1　１年未満	2　１～５年未満	3　５～10 年未満
4　10～20 年未満	5　20 年以上	

(7) あなたが現在お住まいの市町村はどこですか。（○は１つ）

県央地域	1 盛岡市	2 八幡平市	3 滝沢市	4 雫石町	5 葛巻町
	6 岩手町	7 紫波町	8 矢巾町		
県南地域	9 花巻市	10 北上市	11 遠野市	12 一関市	13 奥州市
	14 西和賀町	15 金ケ崎町	16 平泉町		
沿岸地域	17 宮古市	18 大船渡市	19 陸前高田市	20 釜石市	21 住田町
	22 大槌町	23 山田町	24 岩泉町	25 田野畑村	
県北地域	26 久慈市	27 二戸市	28 普代村	29 軽米町	30 野田村
	31 九戸村	32 洋野町	33 一戸町		

御協力ありがとうございました。

お手数ですが、１月 26 日（月）までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。

【令和8年県民意識調査結果（統計表）】

問3－1 ①こころやからだが健康だと感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位：人)	3,318	446	1,078	761	654	301	20	58	3.22
男性	1,593	185	508	377	330	153	12	28	3.16
女性	1,712	261	565	383	321	145	8	29	3.28
その他	4	0	0	0	3	1	0	0	1.75
18～19歳	37	16	12	3	5	1	0	0	4.00
20～29歳	172	35	62	34	29	9	1	2	3.50
30～39歳	252	31	85	41	64	31	0	0	3.08
40～49歳	421	49	140	86	103	37	3	3	3.15
50～59歳	546	68	153	128	137	55	2	3	3.08
60～69歳	686	68	236	179	130	60	7	6	3.18
70歳以上	1,204	179	390	290	186	108	7	44	3.30
自営業主	261	37	102	61	37	20	1	3	3.39
家族従業員	71	7	26	15	18	4	0	1	3.20
会社役員・団体役員	179	34	59	36	36	12	1	1	3.38
常用雇用者	946	112	318	204	223	79	5	5	3.17
臨時雇用者	406	58	153	89	66	36	0	4	3.33
学生＋その他	152	32	38	37	29	15	0	1	3.28
専業主婦・主夫	281	43	88	72	44	27	2	5	3.28
60歳未満の無職（参考）	76	8	13	20	22	10	2	1	2.82
60歳以上の無職	691	86	197	174	131	80	5	18	3.12
ひとり暮らし	473	63	138	106	96	53	7	10	3.14
夫婦のみ	728	114	263	169	121	45	2	14	3.39
2世代世帯	1,222	160	373	287	266	119	6	11	3.16
3世代世帯	384	37	138	92	77	37	0	3	3.16
その他	155	23	47	32	33	16	2	2	3.19
1人	425	59	146	101	76	34	3	6	3.29
2人	1,088	154	391	237	195	88	4	19	3.31
3人	612	77	213	149	114	51	0	8	3.25
4人以上	112	13	29	27	26	14	2	1	3.01
子どもはいない	750	101	199	179	180	81	4	6	3.08
10年未満	101	18	33	20	18	11	0	1	3.29
10～20年未満	130	34	43	20	25	7	0	1	3.56
20年以上	2,827	361	914	670	563	264	15	40	3.20
県央広域振興圏	992	157	336	211	181	83	7	17	3.31
県南広域振興圏	1,000	129	315	223	227	90	3	13	3.17
沿岸広域振興圏	767	92	246	188	147	71	6	17	3.19
県北広域振興圏	559	68	181	139	99	57	4	11	3.19

問3－1 ②余暇が充実していると感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位：人)	3,318	376	878	874	717	354	45	74	3.06
男性	1,593	158	408	428	357	181	23	38	3.00
女性	1,712	218	467	443	357	170	22	35	3.12
その他	4	0	0	1	2	1	0	0	2.00
18～19歳	37	12	14	7	4	0	0	0	3.92
20～29歳	172	44	57	33	27	7	2	2	3.62
30～39歳	252	33	66	51	62	36	4	0	2.99
40～49歳	421	42	116	98	106	55	1	3	2.96
50～59歳	546	51	138	129	143	74	6	5	2.90
60～69歳	686	51	173	188	179	74	13	8	2.92
70歳以上	1,204	143	314	368	196	108	19	56	3.17
自営業主	261	33	58	73	58	31	3	5	3.02
家族従業員	71	8	14	25	14	8	1	1	3.00
会社役員・団体役員	179	26	48	47	41	13	2	2	3.19
常用雇用者	946	99	259	219	242	113	6	8	2.99
臨時雇用者	406	43	121	105	90	37	4	6	3.11
学生＋その他	152	29	44	29	32	16	1	1	3.25
専業主婦・主夫	281	38	79	73	54	28	3	6	3.17
60歳未満の無職（参考）	76	7	22	23	10	8	5	1	3.14
60歳以上の無職	691	71	177	206	127	71	16	23	3.08
ひとり暮らし	473	49	126	117	104	50	15	12	3.04
夫婦のみ	728	83	241	207	114	58	6	19	3.25
2世代世帯	1,222	142	296	307	310	140	11	16	2.99
3世代世帯	384	43	90	108	91	48	2	2	2.97
その他	155	21	38	35	32	24	3	2	3.00
1人	425	64	102	118	79	49	5	8	3.13
2人	1,088	111	316	291	231	109	8	22	3.08
3人	612	65	154	175	152	47	6	13	3.06
4人以上	112	13	26	24	27	18	3	1	2.90
子どもはいない	750	95	202	175	168	89	12	9	3.06
10年未満	101	14	28	21	20	16	1	1	3.04
10～20年未満	130	30	43	27	16	11	2	1	3.51
20年以上	2,827	308	746	751	633	298	36	55	3.05
県央広域振興圏	992	133	287	251	190	99	12	20	3.17
県南広域振興圏	1,000	97	271	262	241	96	13	20	3.03
沿岸広域振興圏	767	80	183	208	172	92	10	22	2.98
県北広域振興圏	559	66	137	153	114	67	10	12	3.04

注） 別途公表している県民意識調査結果は、回答者数の地域差を考慮し、居住人口に応じた係数を乗じて集計（母集団拡大集計）を行っていますが、当分析部会の分析データは単純集計結果を用いているため、分析結果は、既に公表されている県民意識調査結果と数値が異なる場合があります。

問3－1 ③家族と良い関係がとれていると感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位：人)	3,318	1,115	1,184	562	176	138	69	74	3.93
男性	1,593	477	575	303	88	73	44	33	3.85
女性	1,712	636	603	257	86	65	25	40	4.01
その他	4	0	2	2	0	0	0	0	3.50
18～19歳	37	20	9	4	2	0	2	0	4.34
20～29歳	172	87	57	18	3	5	0	2	4.28
30～39歳	252	99	96	30	13	11	2	1	4.04
40～49歳	421	142	160	66	22	24	4	3	3.90
50～59歳	546	181	189	103	32	28	7	6	3.87
60～69歳	686	201	239	129	53	30	25	9	3.81
70歳以上	1,204	385	434	212	51	40	29	53	3.96
自営業主	261	86	93	45	12	12	7	6	3.92
家族従業員	71	26	31	11	2	1	0	0	4.11
会社役員・団体役員	179	72	62	35	5	2	2	1	4.12
常用雇用者	946	324	350	159	55	38	11	9	3.94
臨時雇用者	406	139	150	59	25	22	4	7	3.91
学生＋その他	152	60	51	24	5	7	3	2	4.03
専業主婦・主夫	281	112	92	47	15	9	1	5	4.03
60歳未満の無職(参考)	76	23	20	19	5	4	4	1	3.75
60歳以上の無職	691	205	239	126	35	32	31	23	3.86
ひとり暮らし	473	131	124	93	35	29	44	17	3.71
夫婦のみ	728	284	286	109	21	6	4	18	4.16
2世代世帯	1,222	414	465	202	62	58	8	13	3.93
3世代世帯	384	123	146	70	22	19	1	3	3.87
その他	155	59	38	32	13	10	2	1	3.81
1人	425	163	153	73	12	13	4	7	4.07
2人	1,088	380	410	178	60	29	9	22	4.00
3人	612	203	243	99	31	22	5	9	3.96
4人以上	112	38	33	19	10	9	2	1	3.74
子どもはいない	750	240	239	141	43	44	31	12	3.83
10年未満	101	41	29	16	7	4	2	2	3.99
10～20年未満	130	62	28	24	7	5	3	1	4.07
20年以上	2,827	941	1,032	484	146	117	55	52	3.93
県央広域振興圏	992	360	354	154	47	35	21	21	4.01
県南広域振興圏	1,000	323	367	167	56	52	16	19	3.88
沿岸広域振興圏	767	259	267	137	38	25	17	24	3.96
県北広域振興圏	559	173	196	104	35	26	15	10	3.85

問3－1 ④子育てがしやすいと感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位：人)	3,318	200	643	972	409	253	725	116	3.05
男性	1,593	68	303	478	216	153	324	51	2.93
女性	1,712	130	336	493	191	99	399	64	3.17
その他	4	0	0	1	1	1	1	0	2.00
18～19歳	37	3	5	8	4	3	14	0	3.04
20～29歳	172	10	24	34	21	16	65	2	2.91
30～39歳	252	18	45	58	42	41	48	0	2.79
40～49歳	421	26	98	110	69	36	79	3	3.03
50～59歳	546	30	107	171	71	50	108	9	2.99
60～69歳	686	29	120	253	84	43	146	11	3.02
70歳以上	1,204	84	244	338	118	64	265	91	3.20
自営業主	261	13	62	91	26	23	40	6	3.07
家族従業員	71	5	23	13	5	6	16	3	3.31
会社役員・団体役員	179	14	38	60	23	12	31	1	3.13
常用雇用者	946	51	182	261	161	94	188	9	2.91
臨時雇用者	406	26	91	128	49	26	77	9	3.13
学生＋その他	152	11	18	39	19	14	49	2	2.93
専業主婦・主夫	281	23	61	87	26	12	60	12	3.27
60歳未満の無職(参考)	76	0	12	13	4	6	38	3	2.89
60歳以上の無職	691	34	110	200	77	46	184	40	3.02
ひとり暮らし	473	14	59	118	45	35	176	26	2.90
夫婦のみ	728	38	169	230	71	53	144	23	3.12
2世代世帯	1,222	81	233	365	179	90	251	23	3.04
3世代世帯	384	28	95	111	66	41	41	2	3.01
その他	155	7	20	41	20	14	49	4	2.86
1人	425	40	115	121	48	43	47	11	3.17
2人	1,088	72	268	338	160	70	146	34	3.12
3人	612	46	142	208	82	44	74	16	3.12
4人以上	112	7	23	35	18	16	11	2	2.87
子どもはいない	750	12	44	185	76	55	363	15	2.68
10年未満	101	9	13	23	11	16	26	3	2.83
10～20年未満	130	8	24	30	15	12	40	1	3.01
20年以上	2,827	159	562	841	363	206	615	81	3.05
県央広域振興圏	992	73	208	281	110	59	231	30	3.17
県南広域振興圏	1,000	54	195	303	131	76	213	28	3.03
沿岸広域振興圏	767	46	143	217	92	67	167	35	3.02
県北広域振興圏	559	27	97	171	76	51	114	23	2.94

問3－1 ⑤子どものためになる教育が行われていると感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位：人)	3,318	193	654	1,010	370	173	797	121	3.14
男性	1,593	76	297	503	206	96	364	51	3.04
女性	1,712	116	352	506	162	77	430	69	3.22
その他	4	0	0	1	1	0	2	0	2.50
18～19歳	37	7	10	8	2	1	8	1	3.71
20～29歳	172	11	35	42	16	9	57	2	3.20
30～39歳	252	20	53	65	37	22	55	0	3.06
40～49歳	421	26	77	136	56	34	87	5	3.02
50～59歳	546	14	100	186	80	38	119	9	2.93
60～69歳	686	27	128	235	76	33	177	10	3.08
70歳以上	1,204	88	251	338	103	36	294	94	3.31
自営業主	261	13	57	78	36	18	51	8	3.05
家族従業員	71	2	24	14	4	3	22	2	3.38
会社役員・団体役員	179	12	41	57	24	9	35	1	3.16
常用雇用者	946	43	178	313	135	60	207	10	3.01
臨時雇用者	406	25	89	131	40	21	90	10	3.19
学生＋その他	152	11	34	43	14	11	36	3	3.18
専業主婦・主夫	281	24	54	88	22	11	70	12	3.29
60歳未満の無職(参考)	76	1	8	14	9	2	38	4	2.91
60歳以上の無職	691	44	121	203	65	24	195	39	3.21
ひとり暮らし	473	23	72	112	39	22	178	27	3.13
夫婦のみ	728	40	149	239	70	24	178	28	3.21
2世代世帯	1,222	74	238	390	157	75	266	22	3.08
3世代世帯	384	25	105	121	52	25	52	4	3.16
その他	155	5	27	50	15	7	48	3	3.08
1人	425	39	100	141	44	25	64	12	3.24
2人	1,088	71	249	357	142	48	186	35	3.18
3人	612	36	152	217	64	31	97	15	3.20
4人以上	112	6	20	41	14	15	14	2	2.88
子どもはいない	750	19	85	173	78	29	350	16	2.97
10年未満	101	8	13	28	12	9	27	4	2.99
10～20年未満	130	15	29	32	10	8	33	3	3.35
20年以上	2,827	151	569	877	323	138	686	83	3.13
県央広域振興圏	992	68	215	282	117	38	237	35	3.22
県南広域振興圏	1,000	51	192	332	105	61	227	32	3.09
沿岸広域振興圏	767	44	133	241	88	41	189	31	3.09
県北広域振興圏	559	30	114	155	60	33	144	23	3.12

問3－1 ⑥住まいに快適さを感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位：人)	3,318	507	1,104	825	464	311	28	79	3.32
男性	1,593	216	533	408	239	141	16	40	3.29
女性	1,712	290	567	412	224	169	12	38	3.35
その他	4	0	1	2	0	1	0	0	2.75
18～19歳	37	12	11	7	5	2	0	0	3.70
20～29歳	172	31	63	37	22	15	2	2	3.43
30～39歳	252	41	99	42	44	24	1	1	3.36
40～49歳	421	64	147	105	65	34	3	3	3.34
50～59歳	546	77	166	131	96	67	3	6	3.17
60～69歳	686	81	217	178	111	79	10	10	3.17
70歳以上	1,204	201	401	325	121	90	9	57	3.44
自営業主	522	52	83	69	32	20	5	261	3.45
家族従業員	142	12	30	14	6	7	2	71	3.49
会社役員・団体役員	179	33	67	52	14	10	2	1	3.56
常用雇用者	946	125	327	214	177	88	9	6	3.24
臨時雇用者	406	55	127	112	55	47	3	7	3.22
学生＋その他	304	38	47	32	17	17	1	152	3.48
専業主婦・主夫	281	41	98	72	39	21	1	9	3.37
60歳未満の無職(参考)	76	7	30	16	8	12	1	2	3.16
60歳以上の無職	691	106	221	182	76	68	10	28	3.34
ひとり暮らし	473	58	129	125	75	62	8	16	3.10
夫婦のみ	728	104	279	184	87	46	5	23	3.44
2世代世帯	1,222	199	406	304	177	112	9	15	3.34
3世代世帯	384	66	137	85	50	44	0	2	3.34
その他	155	24	41	42	25	16	4	3	3.22
1人	425	79	154	96	52	31	5	8	3.48
2人	1,088	161	410	251	149	90	4	23	3.38
3人	612	102	193	171	71	60	3	12	3.35
4人以上	112	12	26	32	19	19	2	2	2.94
子どもはいない	750	105	234	197	125	68	8	13	3.25
10年未満	101	13	29	25	16	15	1	2	3.09
10～20年未満	130	27	39	32	16	14	1	1	3.38
20年以上	2,827	426	967	701	393	257	23	60	3.33
県央広域振興圏	992	172	344	236	123	83	12	22	3.42
県南広域振興圏	1,000	136	350	260	131	96	5	22	3.31
沿岸広域振興圏	767	136	229	185	121	71	5	20	3.32
県北広域振興圏	559	63	181	144	89	61	6	15	3.18

問3－1 ⑦地域社会とのつながりを感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位：人)	3,318	285	950	1,017	603	291	100	72	3.11
男性	1,593	139	446	512	279	149	36	32	3.10
女性	1,712	144	501	501	322	142	63	39	3.11
その他	4	0	1	1	1	0	1	0	3.00
18～19歳	37	5	14	7	6	0	5	0	3.56
20～29歳	172	19	37	51	28	28	7	2	2.94
30～39歳	252	16	58	70	66	33	8	1	2.83
40～49歳	421	36	108	131	87	47	8	4	3.00
50～59歳	546	39	129	192	104	64	15	3	2.95
60～69歳	686	34	207	235	127	49	23	11	3.08
70歳以上	1,204	136	397	331	185	70	34	51	3.31
自営業主	261	35	92	86	28	13	3	4	3.43
家族従業員	71	8	33	11	12	4	2	1	3.43
会社役員・団体役員	179	17	58	56	29	12	6	1	3.23
常用雇用者	946	68	230	304	210	106	21	7	2.94
臨時雇用者	406	27	119	136	77	30	11	6	3.09
学生＋その他	152	13	49	40	24	17	6	3	3.12
専業主婦・主夫	281	24	74	83	62	21	9	8	3.07
60歳未満の無職(参考)	76	4	14	30	10	12	5	1	2.83
60歳以上の無職	691	62	215	200	110	55	27	22	3.19
ひとり暮らし	473	34	122	138	92	51	22	14	2.99
夫婦のみ	728	71	210	240	122	50	18	17	3.19
2世代世帯	1,222	99	359	375	231	108	33	17	3.09
3世代世帯	384	30	130	114	66	32	9	3	3.16
その他	155	17	35	42	31	21	7	2	2.97
1人	425	32	132	129	77	35	15	5	3.12
2人	1,088	101	329	355	187	68	24	24	3.20
3人	612	60	207	181	102	38	11	13	3.25
4人以上	112	7	27	33	26	16	2	1	2.84
子どもはいない	750	51	173	226	165	97	27	11	2.88
10年未満	101	3	22	28	22	20	4	2	2.64
10～20年未満	130	11	40	40	20	8	10	1	3.22
20年以上	2,827	244	819	877	522	236	75	54	3.12
県央広域振興圏	992	66	268	301	206	100	28	23	2.99
県南広域振興圏	1,000	99	295	295	175	91	26	19	3.14
沿岸広域振興圏	767	71	228	244	127	53	28	16	3.19
県北広域振興圏	559	49	159	177	95	47	18	14	3.13

問3－1 ⑧お住まいの地域は安全だと感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位：人)	3,318	615	1,338	813	278	148	55	71	3.62
男性	1,593	301	657	377	139	66	19	34	3.64
女性	1,712	313	675	435	137	80	36	36	3.61
その他	4	0	2	1	0	1	0	0	3.00
18～19歳	37	14	14	5	2	0	2	0	4.14
20～29歳	172	48	69	29	15	7	2	2	3.81
30～39歳	252	38	109	53	32	15	5	0	3.50
40～49歳	421	86	152	124	39	12	5	3	3.63
50～59歳	546	87	226	136	51	35	8	3	3.52
60～69歳	686	98	291	176	59	36	18	8	3.54
70歳以上	1,204	244	477	290	80	43	15	55	3.70
自営業主	261	57	116	57	21	7	0	3	3.76
家族従業員	71	18	34	12	5	1	0	1	3.90
会社役員・団体役員	179	39	75	38	15	7	4	1	3.71
常用雇用者	946	164	385	245	97	34	13	8	3.59
臨時雇用者	406	72	171	102	32	19	6	4	3.62
学生＋その他	152	36	62	29	12	9	3	1	3.70
専業主婦・主夫	281	42	113	79	21	17	2	7	3.52
60歳未満の無職(参考)	76	10	26	21	8	7	3	1	3.33
60歳以上の無職	691	126	277	172	42	31	17	26	3.66
ひとり暮らし	473	82	182	120	38	27	10	14	3.57
夫婦のみ	728	131	316	168	55	29	12	17	3.67
2世代世帯	1,222	228	478	324	112	47	17	16	3.61
3世代世帯	384	70	177	84	28	18	4	3	3.67
その他	155	32	64	39	11	3	4	2	3.74
1人	425	89	161	106	35	16	10	8	3.67
2人	1,088	190	453	280	88	41	13	23	3.63
3人	612	109	269	140	50	25	5	14	3.65
4人以上	112	16	47	31	9	6	2	1	3.53
子どもはいない	750	146	304	180	65	34	13	8	3.64
10年未満	101	14	44	25	8	7	2	1	3.51
10～20年未満	130	37	50	24	8	6	4	1	3.83
20年以上	2,827	508	1,166	705	239	116	41	52	3.63
県央広域振興圏	992	184	426	225	84	32	20	21	3.68
県南広域振興圏	1,000	194	398	233	93	52	13	17	3.61
沿岸広域振興圏	767	143	274	210	69	40	13	18	3.56
県北広域振興圏	559	94	240	145	32	24	9	15	3.65

問3－1 ⑨仕事にやりがいを感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位：人)	3,318	485	839	862	293	224	495	120	3.40
男性	1,593	242	437	415	146	111	187	55	3.41
女性	1,712	241	398	446	144	112	307	64	3.38
その他	4	1	1	0	1	1	0	0	3.00
18～19歳	37	9	4	6	3	0	15	0	3.86
20～29歳	172	43	40	43	13	8	23	2	3.66
30～39歳	252	45	71	57	30	33	16	0	3.28
40～49歳	421	76	118	122	43	45	13	4	3.34
50～59歳	546	77	156	147	72	51	37	6	3.27
60～69歳	686	95	202	188	48	39	103	11	3.47
70歳以上	1,204	140	248	299	84	48	288	97	3.42
自営業主	261	78	90	53	19	9	8	4	3.84
家族従業員	71	9	30	14	7	3	4	4	3.56
会社役員・団体役員	179	52	49	47	13	12	4	2	3.67
常用雇用者	946	159	308	248	122	90	10	9	3.35
臨時雇用者	406	78	142	111	34	27	9	5	3.54
学生＋その他	152	25	39	30	14	8	34	2	3.51
専業主婦・主夫	281	17	28	92	16	16	99	13	3.08
60歳未満の無職(参考)	76	2	6	19	4	5	38	2	2.89
60歳以上の無職	691	34	86	186	44	34	257	50	3.11
ひとり暮らし	473	54	113	110	46	25	96	29	3.36
夫婦のみ	728	103	199	193	50	28	127	28	3.52
2世代世帯	1,222	187	325	323	120	96	151	20	3.37
3世代世帯	384	71	96	103	29	31	48	6	3.45
その他	155	24	25	43	11	17	30	5	3.23
1人	425	74	109	119	37	26	50	10	3.46
2人	1,088	161	294	283	82	58	171	39	3.48
3人	612	102	158	162	52	33	86	19	3.48
4人以上	112	10	31	27	14	9	17	4	3.21
子どもはいない	750	105	172	187	83	62	126	15	3.29
10年未満	101	18	22	32	7	7	12	3	3.43
10～20年未満	130	31	27	28	11	5	26	2	3.67
20年以上	2,827	405	733	739	251	186	426	87	3.40
県央広域振興圏	992	138	259	246	79	62	170	38	3.42
県南広域振興圏	1,000	143	258	286	84	70	129	30	3.38
沿岸広域振興圏	767	118	183	193	75	48	118	32	3.40
県北広域振興圏	559	86	139	137	55	44	78	20	3.36

問3－1 ⑩必要な収入や所得が得られていると感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位：人)	3,318	225	530	739	717	876	149	82	2.52
男性	1,593	100	267	354	366	413	57	36	2.52
女性	1,712	125	262	381	348	459	92	45	2.52
その他	4	0	0	1	2	1	0	0	2.00
18～19歳	37	4	3	6	10	1	13	0	2.96
20～29歳	172	18	24	37	38	36	16	3	2.67
30～39歳	252	19	46	37	62	81	6	1	2.43
40～49歳	421	32	76	84	88	133	5	3	2.48
50～59歳	546	40	87	108	123	172	12	4	2.43
60～69歳	686	42	104	177	154	169	31	9	2.53
70歳以上	1,204	70	190	290	242	284	66	62	2.55
自営業主	261	20	40	60	64	70	4	3	2.51
家族従業員	71	7	17	22	9	14	1	1	2.91
会社役員・団体役員	179	29	50	32	43	21	3	1	3.13
常用雇用者	946	69	184	183	229	268	5	8	2.53
臨時雇用者	406	26	64	109	94	103	6	4	2.54
学生＋その他	152	16	16	39	23	34	23	1	2.66
専業主婦・主夫	281	13	47	64	52	85	14	6	2.43
60歳未満の無職(参考)	76	1	4	11	14	29	15	2	1.88
60歳以上の無職	691	29	75	159	132	199	65	32	2.33
ひとり暮らし	473	28	73	97	87	130	36	22	2.47
夫婦のみ	728	61	146	181	150	154	18	18	2.73
2世代世帯	1,222	88	182	258	279	356	45	14	2.46
3世代世帯	384	16	64	85	93	112	12	2	2.40
その他	155	9	22	32	29	44	17	2	2.43
1人	425	31	82	88	87	118	13	6	2.56
2人	1,088	84	193	251	232	267	35	26	2.61
3人	612	41	96	163	139	144	19	10	2.57
4人以上	112	3	19	15	26	44	4	1	2.17
子どもはいない	750	49	101	145	169	218	55	13	2.40
10年未満	101	8	19	21	14	32	4	3	2.54
10～20年未満	130	11	17	29	29	26	17	1	2.63
20年以上	2,827	191	462	631	619	755	113	56	2.52
県央広域振興圏	992	72	169	218	208	253	46	26	2.56
県南広域振興圏	1,000	69	171	220	231	250	39	20	2.55
沿岸広域振興圏	767	51	109	169	152	234	29	23	2.43
県北広域振興圏	559	33	81	132	126	139	35	13	2.50

問3－1 ⑪地域の歴史や文化に誇りを感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位：人)	3,318	399	873	1,078	395	217	280	76	3.28
男性	1,593	171	399	559	204	119	104	37	3.21
女性	1,712	225	472	514	191	96	176	38	3.36
その他	4	2	0	2	0	0	0	0	4.00
18～19歳	37	12	14	4	4	1	2	0	3.91
20～29歳	172	39	45	46	14	14	12	2	3.51
30～39歳	252	33	75	81	26	21	16	0	3.31
40～49歳	421	43	103	159	59	20	33	4	3.23
50～59歳	546	65	155	187	57	41	36	5	3.29
60～69歳	686	73	196	221	84	46	59	7	3.27
70歳以上	1,204	134	285	380	151	74	122	58	3.25
自営業主	261	38	73	94	28	14	10	4	3.38
家族従業員	71	9	18	27	5	4	8	0	3.37
会社役員・団体役員	179	26	51	66	19	10	6	1	3.37
常用雇用者	946	105	268	327	131	58	51	6	3.26
臨時雇用者	406	48	115	137	38	25	38	5	3.34
学生＋その他	152	30	44	34	15	13	15	1	3.46
専業主婦・主夫	281	42	78	81	31	18	24	7	3.38
60歳未満の無職(参考)	76	7	20	25	8	5	9	2	3.25
60歳以上の無職	691	65	156	212	91	49	91	27	3.17
ひとり暮らし	473	63	110	149	52	29	54	16	3.31
夫婦のみ	728	95	192	238	93	41	53	16	3.31
2世代世帯	1,222	145	340	408	145	75	96	13	3.30
3世代世帯	384	36	124	113	48	30	29	4	3.25
その他	155	23	32	62	13	8	15	2	3.36
1人	425	56	123	139	42	30	27	8	3.34
2人	1,088	119	295	358	126	69	97	24	3.28
3人	612	71	164	211	76	34	47	9	3.29
4人以上	112	6	23	39	20	11	11	2	2.93
子どもはいない	750	112	202	234	93	46	56	7	3.35
10年未満	101	14	15	38	11	10	11	2	3.14
10～20年未満	130	27	37	35	12	8	10	1	3.53
20年以上	2,827	332	768	927	343	176	229	52	3.29
県央広域振興圏	992	132	284	310	107	51	85	23	3.38
県南広域振興圏	1,000	126	247	348	113	67	81	18	3.28
沿岸広域振興圏	767	103	200	234	97	52	62	19	3.30
県北広域振興圏	559	38	142	186	78	47	52	16	3.09

問3－1 ⑫自然に恵まれていると感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位：人)	3,318	1,338	1,328	393	105	44	52	58	4.19
男性	1,593	598	668	202	53	22	19	31	4.15
女性	1,712	736	656	189	52	21	32	26	4.23
その他	4	2	0	1	0	1	0	0	3.50
18～19歳	37	26	5	4	1	0	1	0	4.56
20～29歳	172	95	57	11	3	0	4	2	4.47
30～39歳	252	121	97	27	6	1	0	0	4.31
40～49歳	421	186	169	44	12	2	5	3	4.27
50～59歳	546	240	218	58	11	9	6	4	4.25
60～69歳	686	258	288	97	17	7	12	7	4.16
70歳以上	1,204	412	494	152	55	25	24	42	4.07
自営業主	261	105	112	23	12	5	1	3	4.17
家族従業員	71	32	28	7	1	1	2	0	4.29
会社役員・団体役員	179	80	62	27	4	1	4	1	4.24
常用雇用者	946	415	391	95	24	6	9	6	4.27
臨時雇用者	406	169	168	48	7	4	6	4	4.24
学生＋その他	152	75	47	16	6	4	3	1	4.24
専業主婦・主夫	281	121	106	31	11	4	2	6	4.21
60歳未満の無職(参考)	76	28	32	8	2	0	3	3	4.23
60歳以上の無職	691	217	303	98	27	11	17	18	4.05
ひとり暮らし	473	183	179	66	14	8	12	11	4.14
夫婦のみ	728	273	309	84	29	7	10	16	4.16
2世代世帯	1,222	524	494	136	33	10	13	12	4.24
3世代世帯	384	165	166	32	8	6	5	2	4.26
その他	155	63	61	17	5	3	5	1	4.18
1人	425	181	172	48	9	6	4	5	4.23
2人	1,088	438	438	124	38	16	14	20	4.18
3人	612	242	274	60	17	3	7	9	4.23
4人以上	112	42	52	9	4	2	2	1	4.17
子どもはいない	750	323	283	95	21	7	15	6	4.23
10年未満	101	45	36	9	4	4	2	1	4.16
10～20年未満	130	72	38	12	3	1	3	1	4.40
20年以上	2,827	1,128	1,171	329	86	29	42	42	4.20
県央広域振興圏	992	408	406	106	29	4	19	20	4.24
県南広域振興圏	1,000	376	405	132	36	20	17	14	4.12
沿岸広域振興圏	767	323	296	92	21	15	6	14	4.19
県北広域振興圏	559	231	221	63	19	5	10	10	4.21

問3－2　あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

	合計	幸福だと感じている（5点）	やや幸福だと感じている（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり幸福だと感じていない（2点）	幸福だと感じていない（1点）	わからない	不明	主観的幸福感平均値
全体(単位：人)	3,318	519	1,386	771	381	158	46	57	3.54
男性	1,593	193	632	403	220	88	31	26	3.40
女性	1,712	324	750	366	157	70	15	30	3.66
その他	4	0	1	1	2	0	0	0	2.75
18～19歳	37	12	17	6	1	1	0	0	4.03
20～29歳	172	38	80	28	19	1	3	3	3.81
30～39歳	252	41	105	51	36	14	5	0	3.50
40～49歳	421	64	173	91	57	30	4	2	3.44
50～59歳	546	86	200	132	81	37	6	4	3.40
60～69歳	686	100	299	172	68	28	9	10	3.56
70歳以上	1,204	178	512	291	119	47	19	38	3.57
自営業主	261	36	117	61	28	10	4	5	3.56
家族従業員	71	11	40	15	1	3	1	0	3.79
会社役員・団体役員	179	36	83	38	14	2	4	2	3.79
常用雇用者	946	142	401	210	136	44	8	5	3.49
臨時雇用者	406	68	170	101	39	19	4	5	3.58
学生＋その他	152	34	61	35	13	4	4	1	3.73
専業主婦・主夫	281	60	120	60	22	12	1	6	3.71
60歳未満の無職(参考)	76	8	17	22	16	10	2	1	2.96
60歳以上の無職	691	82	287	171	84	40	16	11	3.43
ひとり暮らし	473	53	170	118	73	37	12	10	3.29
夫婦のみ	728	146	341	152	58	12	8	11	3.78
2世代世帯	1,222	187	516	289	147	60	12	11	3.52
3世代世帯	384	48	179	87	41	21	5	3	3.51
その他	155	26	52	36	24	12	3	2	3.37
1人	425	69	198	90	45	14	6	3	3.63
2人	1,088	171	502	236	114	36	12	17	3.62
3人	612	111	267	141	60	18	6	9	3.66
4人以上	112	17	38	32	14	9	1	1	3.36
子どもはいない	750	103	271	194	112	49	14	7	3.37
10年未満	101	21	38	20	16	5	0	1	3.54
10～20年未満	130	32	56	21	10	7	3	1	3.76
20年以上	2,827	426	1,199	668	326	130	41	37	3.53
県央広域振興圏	992	186	424	202	107	41	17	15	3.63
県南広域振興圏	1,000	151	428	227	119	50	12	13	3.52
沿岸広域振興圏	767	107	303	216	87	32	6	16	3.49
県北広域振興圏	559	75	231	126	68	35	11	13	3.45

令和８年
県の施策に関する県民意識調査（補足調査）
調査票

お　願　い

◆　このアンケート調査には、調査票をお送りした封筒に書かれた**あて名の御本人様**がお答えください。

◆　お答えは、黒または青色の鉛筆・ペン・ボールペンで御記入ください。

◆　お答えは、直接この調査票にお書きいただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**１月 26 日（月）**までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。

※　この調査について、御不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

岩手県政策企画部政策企画課　評価担当　吉田、松本
TEL　019-629-5181（直通）
FAX　019-629-6229
E-mail　AA0010@pref.iwate.jp

調査対象者番号

問１　現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

(1) 心身の健康

あなたはこころやからだが健康だと感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

(1)－1 からだの健康

①　あなたはからだが健康だと感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

②　そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要　　因
1　睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ) 2　スポーツの習慣の有無 3　歩行などの行動の制限の有無 4　食事の制限の有無 5　健康診断の結果 6　持病の有無 7　こころの健康状態 8　その他(　　)

要因の番号	具体的な内容等

(1)－2 こころの健康

① あなたはこころが健康だと感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要　　因
1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ) 2 仕事・学業におけるストレスの有無 3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) 5 相談相手の有無 6 からだの健康状態 7 その他(　　)

要因の番号	具体的な内容等

(2) 余暇の充実

① あなたは余暇が充実していると感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要　　因
1 自由な時間の確保
2 運動や行動の制限の有無
3 文化・芸術の鑑賞
4 スポーツ観戦
5 文化・芸術活動の場所・機会
6 スポーツの場所・機会
7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会
8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)
9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)
10 趣味・娯楽活動の場所・機会
11 家族との交流
12 知人・友人との交流
13 その他(　　)

要因の番号	具体的な内容等

(3) 家族関係

① あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要　　因
1 同居の有無 2 会話の頻度(多い・少ない) 3 一緒にいる時間(長い・短い) 4 家事分担のバランス 5 ペットの存在 6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) 7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担) 8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) 9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) 10 困った時に助け合えるかどうか 11 家族はいない 12 その他(　　)

要因の番号	具体的な内容等

(4) 子育て

① あなたは子育てがしやすいと感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要　　因
1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)
2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)
3 配偶者の家事への参加
4 子育て支援サービスの内容
5 子どもの教育にかかる費用
6 子育てにかかる費用
7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)
8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)
9 自分の勤め先の子育てに対する理解
10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解
11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実
12 子どもの遊び場(公園など)の充実
13 子どもの習い事の選択の幅
14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)
15 その他(　　)

要因の番号	具体的な内容等

(5) 子どもの教育

① あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要　　因
1 学力を育む教育内容
2 人間性、社会性を育むための教育内容
3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)
4 不登校やいじめなどへの対応
5 学校の選択の幅(高校、大学など)
6 図書館、博物館、科学館などの充実
7 学校教育における地域学習
8 地域での教育・学び
9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)
10 その他(　　)

要因の番号	具体的な内容等

(6) 住まいの快適さ

① あなたはお住まいに快適さを感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要　　因
1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)
2 居住形態(持ち家か借家か)
3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)
4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)
5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)
6 公共交通機関の利便性
7 公園・緑地、水辺などの周辺環境
8 周辺地域の街並み
9 周辺地域の治安
10 近隣の生活音
11 近隣の生活臭
12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)
13 その他(　　)

要因の番号	具体的な内容等

(7) 地域社会とのつながり

① あなたは地域社会とのつながりを感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要　　因
1 その地域で過ごした年数 2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) 3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) 4 学校・子ども会の活動への参加 5 隣近所との面識・交流 6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流 (公民館講座、地域のスポーツ活動、スポーツ少年団など) 7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問 8 地域の身近な情報に接する機会 9 その他(　　)

要因の番号	具体的な内容等

(8) 地域の安全

① あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要　　因
1 犯罪の発生状況
2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)
3 交通事故の発生状況
4 交通事故の防止(歩道の整備など)
5 火災の発生状況
6 火災に対する予防(消火栓の設置など)
7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)
8 自然災害の発生状況
9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)
10 災害に対する行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)
11 食の安全に関する行政の情報発信 (食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)
12 感染症の予防に関する行政の情報発信 (感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)
13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)
14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)
15 地域の安全に関心がない
16 その他(　　)

要因の番号	具体的な内容等

(9) 仕事のやりがい

① あなたは仕事にやりがいを感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要　　因
1 現在の職種・業務の内容
2 業種・業務の将来性
3 就業形態(正規・非正規など)
4 業務の量
5 現在の収入・給料の額
6 将来の収入・給料の額の見込み
7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)
8 現在の役職(職場での地位)
9 将来の役職の見込み
10 職場の人間関係
11 職場環境(オフィスの立地など)
12 職種・業務に対する周囲の評価
13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)
14 専業主婦・主夫、又は家事手伝いである
15 元々仕事をしていない(学生など)
16 以前仕事をしていたが、今はしていない
17 その他(　　)

要因の番号	具体的な内容等

(10) 必要な収入や所得

① あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要　　因
1 自分の収入・所得額(年金を含む)
2 家族の収入・所得額(年金を含む)
3 自分の支出額
4 家族の支出額
5 自分の金融資産(注)の額
6 家族の金融資産(注)の額
7 自分の借金の額
8 家族の借金の額
9 生活の程度
10 その他(　　)

要因の番号	具体的な内容等

(注)金融資産…預貯金や有価証券等

(11) 歴史・文化への誇り

① あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要　　因
1 その地域で過ごした年数
2 世界遺産があること
3 地域のお祭り・伝統芸能
4 地域の文化遺産・街並み
5 郷土の歴史的偉人
6 地域の文化・芸術分野の著名人
7 地域の食文化
8 地域での文化継承・保存活動
9 地域の歴史についての教育機会
10 地域に対する周囲の評判
11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない
12 地域の歴史や文化に関心がない
13 その他(　　)

要因の番号	具体的な内容等

(12) 自然のゆたかさ

① あなたは自然に恵まれていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要　　因
1 緑の量(豊か・少ない)
2 空気の状態(綺麗・汚い)
3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)
4 海の状態(綺麗・汚い)
5 多様な動植物の生息
6 公園・緑地、水辺などの周辺環境
7 自然(山・海など)と触れ合う機会
8 地域での自然保護活動
9 自然に関心がない
10 その他(　　)

要因の番号	具体的な内容等

問 2(1) あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

最も近いものを１つだけ選び、その番号に○をつけてください。

あなたの現在の幸福感 （１つ選び、番号に○をつけてください）					
幸福だと感じている	やや幸福だと感じている	どちらともいえない	あまり幸福だと感じていない	幸福だと感じていない	わからない
5	4	3	2	1	0

問 2(2)

① あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。該当する全ての番号に○をつけてください。

1　健康状況	2　自由な時間・充実した余暇
3　家族関係	4　友人関係
5　職場の人間関係	6　子育て環境
7　教育環境	8　居住環境
9　社会貢献	10　地域コミュニティとの関係
11　治安・防災体制	12　仕事のやりがい
13　就業状況	14　家計の状況
15　地域の歴史・文化	16　自然環境
17　その他（具体的に：　　）	

② ①で○をつけたものの中から、最も重視するものの番号を１つご記入ください。

問３　あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

あなたの気持ちに近いものを１つだけ選び、その番号に○をつけてください。

あなたの満足度 （１つ選び、番号に○をつけてください）					
満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
5	4	3	2	1	0

問４　あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

以下の行動の種類ごとに、あなた（調査対象者）の１日当たりの行動の時間を記入してください**（1週間の平均時間を目安にお答えください。）**。

（□内に数字を記入してください）

行　動　の　種　類	行　動　の　時　間				
①睡眠	約		時間		分
②身の回りの用事	約		時間		分
③食事（注１）	約		時間		分
④通勤・通学	約		時間		分
⑤仕事（収入を伴う仕事）	約		時間		分
⑥学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動）	約		時間		分
⑦食事の用意・後片付け	約		時間		分
⑧掃除・洗濯	約		時間		分
⑨介護・看護	約		時間		分
⑩育児	約		時間		分
⑪買い物	約		時間		分
⑫その他（⑦～⑪以外の家事）	約		時間		分

（注１）仕事や学業の昼休みに食事をした場合、「③食事」には食事の時間だけを記入してください。食事後に休憩した時間は「③食事」には含めないでください。

（注２）行動の種類には①～⑫のほかに移動（通勤・通学を除く）、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・付き合い、受診・療養といったものもあるので、①～⑫の行動の時間の合計が 24 時間より小さくても構いません。

問５　あなたは、昨年同時期に比べて、以下の行動にかける時間が変化していますか。近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

	増えた	変わらない	減った	やっていない
学習・自己啓発・訓練（学業以外）	3	2	1	0
趣味・娯楽	3	2	1	0
スポーツ	3	2	1	0
ボランティア活動・社会参加活動	3	2	1	0

問６　あなたが、この１年間で経験したことについて、あてはまる番号全てに○をつけてください。

１　結婚	２　離婚	３　子ども・孫の誕生
４　家族との死別	５　家族との別居	６　就職・転職・開業
７　昇進、昇給	８　失業・廃業	９　定年退職
10　住宅取得	11　引越し	12　大きな病気、けが
13　病気の克服	14　進学	15　学校の卒業
16　ペットの取得	17　ペットとの死別	18　事故・火災・自然災害による被害
19　交際の開始	20　交際の終了	21　要介護者・障がい者としての認定
22　その他（　　）		

問 7　最後に、お答えいただいた「あなた」御自身のことについておたずねします。これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 性別（○は１つ）

1　男性	2　女性	3　その他

(2) 年齢（満年齢）（○は１つ）

1　18～19 歳	2　20～29 歳	3　30～39 歳	4　40～49 歳
5　50～59 歳	6　60～69 歳	7　70 歳以上	

(3) あなたの年間の可処分所得（手取り）はおよそどのくらいですか（○は１つ）。

1　100 万円未満
2　100 万円以上 300 万円未満
3　300 万円以上 500 万円未満
4　500 万円以上 700 万円未満
5　700 万円以上 1,000 万円未満
6　1,000 万円以上 1,500 万円未満
7　1,500 万円以上

(4) あなたの主なご職業は何ですか（○は１つ）。

1　自営業主
2　家族従業者
3　会社役員・団体役員
4　常用雇用者　※期間を定めずに又は１年を超える期間を定めて雇われる人
5　臨時雇用者（パート、アルバイトなど）　※日々又は１年以内の期間を定めて雇われる人
6　学生
7　専業主婦・主夫
8　無職
9　その他（具体的に：　　）

※ (4)で１～５に○をつけられた方のみお答えください。

その業種は何ですか（○は１つ）。

1　農業、林業	2　漁業	3　鉱業、採石業、砂利採取業
4　建設業	5　製造業	6　電気・ガス・熱供給・水道業
7　情報通信業	8　運輸業、郵便業	9　卸売・小売業
10　金融業、保険業	11　不動産業、物品賃貸業	
12　学術研究、専門・技術サービス業		13　宿泊業、飲食サービス業
14　その他のサービス業	15　公務	
16　その他（具体的に：　　）		

(5) あなたのお子さんは、何人いますか（同居・別居は問いません）。

1　１人	2　２人	3　３人
4　４人	5　５人以上	6　子どもはいない

※ (5)で１～５に○をつけられた方のみお答えください。

あなたのお子さんは、次のどれにあてはまりますか（該当する番号すべてに○をつけてください）。

1　小学校入学前（乳幼児を含む。）	2　小学生
3　中学生	4　高校生（高校受験浪人を含む。）
5　高校を卒業し専門学校、短大、大学、大学院に在学（大学受験浪人を含む。）	
6　学校教育終了で同居	7　学校教育終了で別居
8　その他（具体的に：　　）	

(6) あなたの世帯についてお伺いします。次のどれにあてはまりますか（○は１つ）。

1　ひとり暮らしである	2　一緒に暮らしている人がいる
3　単身赴任である	4　寮、寄宿舎、老人ホームその他の施設にいる
5　その他（　　）	

※　(6)で２～５に○をつけられた方のみお答えください。

あなたの世帯に含まれる方の人数をご記入ください。また、そのうち就労されている方の人数をご記入ください。（あなたとの続柄でお答えください。）

	人数	うち、就労人数
1　祖父母(配偶者の祖父母含む)	(　　)人	(　　)人
2　父母(配偶者の父母含む)	(　　)人	(　　)人
3　配偶者	(　　)人	(　　)人
4　兄弟・姉妹(配偶者の兄弟・姉妹含む)	(　　)人	(　　)人
5　子ども	(　　)人	(　　)人
6　子どもの配偶者	(　　)人	(　　)人
7　孫	(　　)人	(　　)人
8　その他（　　）	(　　)人	(　　)人
(　　)	(　　)人	(　　)人

(7) あなたのお住まいは次のどれにあてはまりますか（○は１つ）。

1　持家（一戸建て）	2　持家（集合住宅(マンション等)）
3　借家（一戸建て）	4　借家（集合住宅(アパート等)）
5　その他（社宅、寮、下宿など）	

(8) あなたは岩手県に住んで通算何年になりますか（○は１つ）。

1　１年未満	2　１～５年未満	3　５～10 年未満
4　10～20 年未満	5　20 年以上	

【 お 願 い 】

住所・お名前の変更等について

ご住所・お名前が変わられた場合（予定がある場合）には、お手数ですが、以下にご記入ください。

【新しいご住所】

〒

【新しいご住所への転居（予定）時期】

（例）転居済み、令和８年４月頃

【新しいお名前】

※　岩手県では、県外へお引越しされる方の理由を把握することで、今後の施策に反映させていきたいと考えています。

差し支えなければ、お引越しの理由を以下にご記入ください。

（例）進学、就職、転職のため、等

ご協力ありがとうございました。

お手数でも１月 26 日（月）までに郵便ポストに投函くださるようお願いいたします。

[令和８年県の施策に関する県民意識調査（補足調査）]調査結果

(1) 問1(1)あなたはこころやからだが健康だと感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）	得点
n	568	89	231	134	81	32	0	1	3.47
%	100.0	15.7	40.7	23.6	14.3	5.6	0.0	0.2	

(2) 問1(1)-1①あなたはからだが健康だと感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）	得点
n	568	70	225	139	95	37	0	2	3.35
%	100.0	12.3	39.6	24.5	16.7	6.5	0.0	0.4	

(3) 問1(1)-1②からだの健康への回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	568	274	126	107	122	215	215	163	22	2	1246
%	100.0	48.2	22.2	18.8	21.5	37.9	37.9	28.7	3.9	0.4	219

(4) 問1(1)-2①あなたはこころが健康だと感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）	得点
n	568	111	229	122	72	29	1	4	3.57
%	100.0	19.5	40.3	21.5	12.7	5.1	0.2	0.7	

(5) 問1(1)-2②こころの健康への回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など)	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	568	241	216	184	187	138	185	32	5	1188
%	100.0	42.4	38.0	32.4	32.9	24.3	32.6	5.6	0.9	209.2

(6) 問1(2)①あなたは余暇が充実していると感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）	得点
n	568	100	241	120	77	23	3	4	3.57
%	100.0	17.6	42.4	21.1	13.6	4.0	0.5	0.7	

(7) 問1(2)②余暇の充実への回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然（山・海など）と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会（生涯学習など）	9 地域や社会のための活動の機会（ボランティアなど）	10 趣味・娯楽活動の場所・機会
n	568	384	116	81	55	36	56	95	23	64	196
%	100.0	67.6	20.4	14.3	9.7	6.3	9.9	16.7	4.0	11.3	34.5

	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	223	167	27	4	1527
%	39.3	29.4	4.8	0.7	269

(8) 問1(3)①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない（該当しない）	不明（無回答等）
n	568	205	219	84	31	18	9	2
%	100.0	36.1	38.6	14.8	5.5	3.2	1.6	0.4

得点
4.01

(9) 問1(3)②家族関係への回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	1 同居の有無	2 会話の頻度（多い・少ない）	3 一緒にいる時間（長い・短い）	4 家事分担のバランス	5 ペットの存在	6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	10 困った時に助け合えるかどうか
n	568	254	301	183	141	76	148	125	228	117	242
%	100.0	44.7	53.0	32.2	24.8	13.4	26.1	22.0	40.1	20.6	42.6

	11 家族はいない	12 その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	12	10	4	1841
%	2.1	1.8	0.7	324

(10) 問1(4)①あなたは子育てがしやすいと感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない（該当しない）	不明（無回答等）
n	568	24	88	125	52	15	243	21
%	100.0	4.2	15.5	22.0	9.2	2.6	42.8	3.7

得点
3.18

(11) 問1(4)②子育てへの回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	1 子どもを預けられる人の有無（親、親戚など）	2 子どもを預けられる場所の有無（保育所など）	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況（労働時間、休業・休暇など）	8 配偶者の就業状況（労働時間、休業・休暇など）	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解
n	568	106	84	57	41	83	87	68	42	57	29
%	100.0	18.7	14.8	10.0	7.2	14.6	15.3	12.0	7.4	10.0	5.1

	11 子どもに関する医療機関（小児科など）の充実	12 子どもの遊び場（公園など）の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない（身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど）	15 その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	74	59	51	207	34	81	1160
%	13.0	10.4	9.0	36.4	6.0	14.3	204

(12) 問1(5)①あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	568	29	96	120	53	9	243	18
%	100.0	5.1	16.9	21.1	9.3	1.6	42.8	3.2

得点
3.27

(13) 問1(5)②子どもの教育への回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
n	568	115	138	84	80	77	47	47	58	207	24
%	100.0	20.2	24.3	14.8	14.1	13.6	8.3	8.3	10.2	36.4	4.2

	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	92	969
%	16.2	171

(14) 問1(6)①あなたはお住まいに快適さを感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	568	125	218	121	63	39	0	2
%	100.0	22.0	38.4	21.3	11.1	6.9	0.0	0.4

得点
3.58

(15) 問1(6)②住まいの快適さへの回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か借家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音
n	568	231	282	162	183	267	143	81	65	161	82
%	100.0	40.7	49.6	28.5	32.2	47.0	25.2	14.3	11.4	28.3	14.4

	11 近隣の生活臭	周辺施設の機能性(バリアフリーなど)	12 その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	46	10	20	8	1741
%	8.1	1.8	3.5	1.4	307

(16) 問1(7)①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	568	68	213	133	105	39	8	2
%	100.0	12.0	37.5	23.4	18.5	6.9	1.4	0.4

得点
3.30

(17) 問1(7)②地域社会とのつながりへの回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 地域における趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動、スポーツ少年団など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）
n	568	258	251	171	70	277	95	31	103	26	20
%	100.0	45.4	44.2	30.1	12.3	48.8	16.7	5.5	18.1	4.6	3.5

	累計
n	1302
%	229

(18) 問1(8)①あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	568	86	280	129	46	16	3	8
%	100.0	15.1	49.3	22.7	8.1	2.8	0.5	1.4

得点
3.67

(19) 問1(8)②地域の安全への回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制（防犯パトロール、街頭防犯カメラなど）	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止（歩道の整備など）	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制（自治会・町内会の防災活動、消防団など）	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)
n	568	336	103	156	73	115	56	104	181	59	87
%	100.0	59.2	18.1	27.5	12.9	20.2	9.9	18.3	31.9	10.4	15.3

	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化（橋、下水道など）	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況（シカ、イノシシ、クマなど）	15 地域の安全に関心がない	16 その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	19	48	49	200	10	12	12	1620
%	3.3	8.5	8.6	35.2	1.8	2.1	2.1	285

(20) 問1(9)①あなたは仕事にやりがいを感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	568	101	191	92	45	30	97	12
%	100.0	17.8	33.6	16.2	7.9	5.3	17.1	2.1

得点
3.63

(21) 問1(9)②仕事のやりがいへの回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態(正規・非正規など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係
n	568	303	95	114	118	185	80	85	32	10	137
%	100.0	53.3	16.7	20.1	20.8	32.6	14.1	15.0	5.6	1.8	24.1

	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫又は家事手伝いである	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	27	30	41	32	6	105	15	16	1431
%	4.8	5.3	7.2	5.6	1.1	18.5	2.6	2.8	252

(22) 問1(10)①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	568	60	171	149	98	82	7	1
%	100.0	10.6	30.1	26.2	17.3	14.4	1.2	0.2

得点
3.05

(23) 問1(10)②必要な収入や所得への回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産(注)の額	6 家族の金融資産(注)の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
n	568	469	225	126	96	99	39	57	20	141	13
%	100.0	82.6	39.6	22.2	16.9	17.4	6.9	10.0	3.5	24.8	2.3

	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	7	1292
%	1.2	227

(24) 問1(11)①あなたは地域の歴史・文化に誇りを感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	568	60	223	153	72	33	21	6
%	100.0	10.6	39.3	26.9	12.7	5.8	3.7	1.1

得点
3.38

(25) 問1(11)②歴史・文化への誇りへの回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判
n	568	193	55	244	76	84	50	93	104	36	34
%	100.0	34.0	9.7	43.0	13.4	14.8	8.8	16.4	18.3	6.3	6.0

	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	81	71	12	25	1158
%	14.3	12.5	2.1	4.4	204

(26) 問1(12)①あなたは自然に恵まれていると感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	568	244	249	54	15	4	2	0
%	100.0	43.0	43.8	9.5	2.6	0.7	0.4	0.0

得点
4.26

(27) 問1(12)②自然のゆたかさへの回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
n	568	462	358	256	113	125	109	165	23	15	5
%	100.0	81.3	63.0	45.1	19.9	22.0	19.2	29.0	4.0	2.6	0.9

	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	10	1641
%	1.8	289

(28) 問2(1)　あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

	全体	幸福だと	やや幸福	どちらと	あまり幸	幸福だと	わからな	不明
n	568	117	293	87	37	27	3	4
%	100.0	20.6	51.6	15.3	6.5	4.8	0.5	0.7

得点
3.78

(29) 問2(2)①あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

	全体	1 健康状	2 自由な	3 家族関	4 友人関	5 職場の	6 子育て	7 教育環	8 居住環	9 社会貢	10 地域コ
n	568	412	308	431	199	165	59	14	216	46	67
%	100.0	72.5	54.2	75.9	35.0	29.0	10.4	2.5	38.0	8.1	11.8

	11 治安・	12 仕事の	13 就業状	14 家計の	15 地域の	16 自然環	17 その他	不明	累計
n	76	149	120	232	27	97	18	3	2636
%	13.4	26.2	21.1	40.8	4.8	17.1	3.2	0.5	464.1

(30) 問2(2)②幸福感を判断する際に最も重視した事項

	全体	1 健康状	2 自由な	3 家族関	4 友人関	5 職場の	6 子育て	7 教育環	8 居住環	9 社会貢	10 地域コ
n	568	167	57	176	7	6	4	0	8	2	4
%	100.0	29.4	10.0	31.0	1.2	1.1	0.7	0.0	1.4	0.4	0.7

	11 治安・	12 仕事の	13 就業状	14 家計の	15 地域の	16 自然環	17 その他	不明
n	1	12	8	43	0	0	11	62
%	0.2	2.1	1.4	7.6	0.0	0.0	1.9	10.9

(31) 問3　あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

	全体	満足でき	やや満足	どちらと	やや不満	不満な状	わからな	不明
n	568	80	288	96	55	44	4	1
%	100.0	14.1	50.7	16.9	9.7	7.7	0.7	0.2

得点
3.54

(32) 問4①睡眠（合計時間：分）

合計(分)	209755.00
平均(分)	409.68
不明(人)	56
全体(人)	512

(33) 問4②身の回りの用事（合計時間：分）

合計(分)	37551.00
平均(分)	73.34
不明(人)	56
全体(人)	512

(34) 問4③食事（合計時間：分）

合計(分)	37275.00
平均(分)	72.80
不明(人)	56
全体(人)	512

(35) 問4④通勤・通学（合計時間：分）

合計(分)	15045.00
平均(分)	29.38
不明(人)	56
全体(人)	512

(36) 問4⑤仕事（収入を伴う仕事）（合計時間：分）

合計(分)	175175.00
平均(分)	342.14
不明(人)	56
全体(人)	512

(37) 問4⑥学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動）（合計時間：分）

合計(分)	1875.00
平均(分)	3.66
不明(人)	56
全体(人)	512

(38) 問4⑦食事の用意・後片付け（合計時間：分）

合計(分)	34995.00
平均(分)	68.35
不明(人)	56
全体(人)	512

(39) 問4⑧掃除・洗濯（合計時間：分）

合計(分)	23851.00
平均(分)	46.58
不明(人)	56
全体(人)	512

(40) 問4⑨介護・看護（合計時間：分）

合計(分)	2420.00
平均(分)	4.73
不明(人)	56
全体(人)	512

(41) 問4⑩育児（合計時間：分）

合計(分)	13140.00
平均(分)	25.66
不明(人)	56
全体(人)	512

(42) 問4⑪買い物（合計時間：分）

合計(分)	24535.00
平均(分)	47.92
不明(人)	56
全体(人)	512

(43) 問4⑫その他（⑦～⑪以外の家事）（合計時間：分）

合計(分)	30380.00
平均(分)	59.34
不明(人)	56
全体(人)	512

（※1）１次活動時間　a（①～③）

合計(分)	284581.00
全体(人)	512.00
平均	555.82

（※2）２次活動時間　b（④～⑫）

合計	321416.00
全体(人)	512.00
平均	627.77

（※3）３次活動時間　24時間-(a+b)

平均	256.4

※以下に該当する人は問４の集計から除外している

・「睡眠」が120分以下。
・「睡眠」、「食事」のどちらか又は両方が空欄。
・１次活動が０分にも関わらず２次活動あり。
・「育児」、「介護・看護」以外の２次活動が10時間超。
・「食事」が10分以下。
・「通勤・通学」が１分以上で「仕事」、「学業」が０分。

(44) 問5 昨年同時期に比べて、以下の行動にかける時間が変化していますか。（学習・自己啓発・訓練（学業以外））

	全体	増えた	変わらない	減った	やっていない	不明
n	568	65	227	82	160	34
%	100.0	11.4	40.0	14.4	28.2	6.0

(45) 問5 昨年同時期に比べて、以下の行動にかける時間が変化していますか。（趣味・娯楽）

	全体	増えた	変わらない	減った	やっていない	不明
n	568	100	289	122	37	20
%	100.0	17.6	50.9	21.5	6.5	3.5

(46) 問5 昨年同時期に比べて、以下の行動にかける時間が変化していますか。（スポーツ）

	全体	増えた	変わらない	減った	やっていない	不明
n	568	38	181	109	211	29
%	100.0	6.7	31.9	19.2	37.1	5.1

(47) 問5 昨年同時期に比べて、以下の行動にかける時間が変化していますか。（ボランティア活動・社会参加活動）

	全体	増えた	変わらない	減った	やっていない	不明
n	568	48	186	74	237	23
%	100.0	8.5	32.7	13.0	41.7	4.0

(48) 問6 この１年間での経験したこと

	全体	1 結婚	2 離婚	3 子ども・孫の誕生	4 家族との死別	5 家族との別居	6 就職・転職・開業	7 昇進、昇給	8 失業・廃業	9 定年退職	10 住宅取得
n	568	3	2	36	59	24	48	73	14	10	8
%	100.0	0.5	0.4	6.3	10.4	4.2	8.5	12.9	2.5	1.8	1.4

	11 引越し	12 大きな病気、けが	13 病気の克服	14 進学	15 学校の卒業	16 ペットの取得	17 ペットとの死別	18 事故・火災・自然災害による被害	19 交際の開始	20 交際の終了	21 要介護者・障がい者としての認定
n	23	45	25	2	5	17	17	17	9	12	6
%	4.0	7.9	4.4	0.4	0.9	3.0	3.0	3.0	1.6	2.1	1.1

	22 その他	不明	累計
n	112	161	728
%	19.7	28.3	128.2

(49) 問7(1)性別

	全体	男性	女性	その他	不明
n	568	289	277	1	1
%	100.0	50.9	48.8	0.2	0.2

(50) 問7(2)年齢（満年齢）

	全体	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明
n	568	0	27	87	108	112	114	119	1
%	100.0	0.0	4.8	15.3	19.0	19.7	20.1	21.0	0.2

(51) 問7(3)年間の可処分所得（手取り）

	全体	100万円未満	100万円以上300万円未満	300万円以上500万円未満	500万円以上700万円未満	700万円以上1,000万円未満	1,000万円以上1,500万円未満	1,500万円以上	不明
n	568	101	243	151	41	18	6	2	6
%	100.0	17.8	42.8	26.6	7.2	3.2	1.1	0.4	1.1

(52) 問7(4)職業

	全体	1 自営業主	2 家族従業者	3 会社役員・団体役員	4 常用雇用者	5 臨時雇用者（パート、アルバイトなど）	6 学生	7 専業主婦・主夫	8 無職	9 その他	不明
n	568	46	12	44	231	83	4	42	80	21	5
%	100.0	8.1	2.1	7.7	40.7	14.6	0.7	7.4	14.1	3.7	0.9

(53) 問7※業種

	全体	1 農業、林業	2 漁業	3 鉱業、採石業、砂利採取業	4 建設業	5 製造業	6 電気・ガス・熱供給・水道業	7 情報通信業	8 運輸業、郵便業	9 卸売・小売業	10 金融業、保険業
n	443	43	5	0	34	52	10	6	11	26	17
%	100.0	9.7	1.1	0.0	7.7	11.7	2.3	1.4	2.5	5.9	3.8

	11 不動産業、物品賃貸業	12 学術研究、専門・技術サービス業	13 宿泊業、飲食サービス業	14 その他のサービス業	15 公務	16 その他	不明	非該当（職業で6（学生）～8（無職））
n	4	43	10	50	55	56	23	123
%	0.9	9.7	2.3	11.3	12.4	12.6	5.2	

(54) 問7(5)子どもの数（同居・別居問わず）

	全体	１人	２人	３人	４人	５人以上	子どもはいない	不明
n	568	90	198	109	19	4	145	3
%	100.0	15.8	34.9	19.2	3.3	0.7	25.5	0.5

(55) 問7※子どもの教育課程

	全体	1 小学校入学前（乳幼児を含む。）	2 小学生	3 中学生	4 高校生（高校受験浪人を含む。）	5 高校を卒業し専門学校、短大、大学、大学院に在学（大学受験浪人を含む。）	6 学校教育終了で同居	7 学校教育終了で別居	8 その他	不明	非該当（子どもの数で6(子どもはいない)）	累計
n	568	57	78	43	42	38	90	203	40	－	145	736
%	100.0	10.0	13.7	7.6	7.4	6.7	15.8	35.7	7.0	－	25.5	

(56) 問7(6)世帯

	全体	1 ひとり暮らしである	2 一緒に暮らしている人がいる	3 単身赴任である	4 寮、寄宿舎、老人ホームその他の施設にいる	5 その他	不明
n	568	56	491	8	2	7	4
%	100.0	9.9	86.4	1.4	0.4	1.2	0.7

(57) 問7※1-1祖父母(配偶者の祖父母含む)（人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人	不明
n	568	468	25	5	0	0	70
%	100.0	82.4	4.4	0.9	0.0	0.0	12.3

(58) 問7※1-2祖父母(配偶者の祖父母含む)（うち、就労人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人	不明	非該当（祖父母無し）
n	568	29	1	0	0	0	70	468
%	100.0	5.1	0.2	0.0	0.0	0.0	12.3	82.4

(59) 問7※2-1父母(配偶者の父母含む)（人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人	不明
n	568	336	85	73	2	2	70
%	100.0	64.1	16.8	14.4	0.4	0.4	3.9

(60) 問7※2-2父母(配偶者の父母含む)（うち、就労人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人	不明	非該当（父母無し）
n	568	167	44	21	0	0	71	336
%	100.0	29.4	7.7	3.7	0.0	0.0	12.5	

(61) 問7※3-1配偶者（人数）

	全体	０人	１人	不明
n	568	128	362	78
%	100.0	22.5	63.7	13.7

(62) 問7※3-2配偶者（うち、就労人数）

	全体	０人	１人	不明	非該当（配偶者無し）
n	568	126	239	75	128
%	100.0	22.2	42.1	13.2	

(63) 問7※4-1兄弟・姉妹(配偶者の兄弟・姉妹含む)（人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人以上	不明
n	568	468	24	3	2	1	70
%	100.0	82.4	4.2	0.5	0.4	0.2	12.3

(64) 問7※4-2兄弟・姉妹(配偶者の兄弟・姉妹含む)（うち、就労人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人以上	不明	非該当（兄弟・姉妹無し）
n	568	11	15	2	1	1	70	468
%	100.0	1.9	2.6	0.4	0.2	0.2	12.3	

(65) 問7※5-1子ども（人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人以上	不明
n	568	253	124	82	35	4	70
%	100.0	44.5	21.8	14.4	6.2	0.7	12.3

(66) 問7※5-2子ども（うち、就労人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人以上	不明	非該当（子ども無し）
n	568	403	75	18	2	0	70	253
%	100.0	71.0	13.2	3.2	0.4	0.0	12.3	

(67) 問7※6-1子どもの配偶者（人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人以上	不明
n	568	485	11	2	0	0	70
%	100.0	85.4	1.9	0.4	0.0	0.0	12.3

(68) 問7※6-2子どもの配偶者（うち、就労人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人以上	不明	非該当（子どもの配偶者無し）
n	568	0	12	1	0	0	70	485
%	100.0	0.0	2.1	0.2	0.0	0.0	12.3	

(69) 問7※7-1孫（人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人以上	不明
n	568	481	6	8	1	2	70
%	100.0	84.7	1.1	1.4	0.2	0.4	12.3

(70) 問7※7-2孫（うち、就労人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人以上	不明	非該当（孫無し）
n	568	12	3	2	0	0	70	481
%	100.0	2.1	0.5	0.4	0.0	0.0	12.3	

(71) 問7※8-1その他Ａ（人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人以上	不明
n	568	489	6	1	1	1	70
%	100.0	86.1	1.1	0.2	0.2	0.2	12.3

(72) 問8※7-2その他Ａ（うち、就労人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人以上	不明	非該当（その他A無し）
n	568	494	3	0	0	1	70	489
%	100.0	87.0	0.5	0.0	0.0	0.2	12.3	

(73) 問7※8-1その他Ｂ（人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人以上	不明
n	568	498	0	0	0	0	70
%	100.0	87.7	0.0	0.0	0.0	0.0	12.3

(74) 問7※8-2その他Ｂ（うち、就労人数）

	全体	０人	１人	２人	３人	４人以上	不明	非該当（その他B無し）
n	568	0	0	0	0	0	70	498
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(75) 問7(7)住まい

	全体	1 持家（一戸建て）	2 持家（集合住宅(マンション等)）	3 借家（一戸建て）	4 借家（集合住宅(アパート等)）	5 その他（社宅、寮、下宿など）	不明
n	568	451	14	27	58	13	5
%	100.0	79.4	2.5	4.8	10.2	2.3	0.9

(76) 問7(8)岩手県での居住年数

	全体	１年未満	１～５年未満	５～10年未満	10～20年未満	20年以上	不明
n	568	0	1	8	20	535	4
%	100.0	0.0	0.2	1.4	3.5	94.2	0.7

（※4）圏域

	全体	県央広域振興圏	県南広域振興圏	沿岸広域振興圏	県北広域振興圏	不明
n	568	158	144	137	129	0
%	100.0	27.8	25.4	24.1	22.7	0.0

（※5）年齢（３区分）

	全体	18～39歳	40～69歳	70歳以上	不明
n	568	114	334	119	1
%	100.0	20.1	58.8	21.0	0.2

（※6）世帯構成

	全体	ひとり暮らし	核家族世帯	核家世帯族のうち夫婦のみの世帯	２世代世帯（核家族世帯以外）	３世代以上世帯	その他世帯	不明
n	568	64	353	138	25	91	31	2
%	100.0	11.3	62.1	24.3	4.4	16.0	5.5	0.4

・単身赴任含む

・夫婦のみ
・夫婦と子ども
・親一人と子ども

・４世帯以上含む